

# 酒々井町飯積原山遺跡 4

— 酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書 5 —

平成27年11月

独立行政法人 都市再生機構

公益財団法人 千葉県教育振興財団

# 酒々井町飯積原山遺跡 4

— 酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書5 —





縄文時代石製装身具(原寸)



土 偶(原寸)

## 序 文

公益財団法人千葉県教育振興財団（文化財センター）は、埋蔵文化財の調査研究、文化財保護思想の涵養と普及などを主な目的として昭和49年に設立され、以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として多数の発掘調査報告書を刊行してきました。

このたび、千葉県教育振興財団調査報告第742集として、独立行政法人都市再生機構の酒々井南部地区土地区画整理事業に伴って実施した酒々井町飯積原山遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

この調査では、旧石器時代の石器群、縄文時代、古墳時代、奈良・平安時代の集落跡に関連する遺構が検出され、また大量の土器・石器等の遺物が発見されるなど、この地域の歴史を知る上で欠くことのできない貴重な成果が得られております。

刊行に当たり、本書が学術資料として、また埋蔵文化財の保護に対する理解を深めるための資料として広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、調査に際し御指導、御協力をいただきました地元の方々をはじめとする関係の皆様や関係機関、また、発掘から整理まで御苦勞をおかけした調査補助員の皆様に心から感謝の意を表します。

平成27年11月

公益財団法人 千葉県教育振興財団  
理 事 長 堀 田 弘 文

# 凡 例

- 1 本書は、独立行政法人都市再生機構による酒々井南部地区土地区画整理事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査報告書である。
- 2 本書に収録した遺跡は、千葉県印旛郡酒々井町飯積字藤蕪562ほかに所在する飯積原山遺跡（遺跡コード322-005）である。
- 3 発掘調査から報告書作成に至る業務は、独立行政法人都市再生機構の委託を受け、公益財団法人千葉県教育振興財団が実施した。
- 4 発掘調査及び整理作業の担当者及び実施期間は本文中に記載した。
- 5 本書の執筆は調査研究部長 伊藤智樹、整理課長 今泉 潔の指導のもと、主任上席文化財主事 木原高弘、上席文化財主事 西川博孝・橋本勝雄、文化財主事 小林昂博が担当した。  
執筆分担は、木原が第1・4・5章、第6章第3節、西川・小林が第3章第1～4節、西川が第3章第5～7節、第6章第2節1・2・4、橋本が第2章、第3章第8節、第6章第1節・第2節3である。
- 6 発掘調査から報告書の刊行に至るまで、下記の諸機関・諸氏から御指導、御協力を得た。  
千葉県教育庁教育振興部文化財課、独立行政法人都市再生機構、酒々井町教育委員会、千葉大学教授柳澤清一氏、千葉大学大学院生 長山明弘氏
- 7 本書で使用した地形図は以下のとおりである。  
第2図ほか 都市再生機構 1/2,500現況図（平成6年作成）  
第4図 国土地理院 1/25,000地形図「酒々井」（N1-54-19-10-4）
- 8 調査地周辺の航空写真は、中島愼也氏が2013（平成25）年10月に撮影したものである。
- 9 本書で使用した座標はすべて日本測地系に基づく平面直角座標（国家標準直角座標第IX系）で、図面の方位はすべてその座標北を示す。
- 10 遺構実測図で使用した記号で特に用例が示されていないものは、●は土器、■は土製品、▲は石器、★は粘土の出土位置を示している。

# 本文目次

第1章 はじめに	1
第1節 調査の概要	1
第2節 遺跡の位置と環境	4
第3節 調査成果の概要	6
第2章 旧石器時代	27
第1節 第29ブロック	27
第2節 単独出土資料	31
第3章 縄文時代	33
第1節 竪穴住居跡	33
第2節 炉跡	84
第3節 土坑等	84
第4節 遺物包含層	84
第5節 土器	131
第6節 土製品	184
第7節 石製装身具	186
第8節 石器	190
第4章 古墳時代	195
第1節 竪穴住居跡	195
第5章 奈良・平安時代以降	207
第1節 掘立柱建物跡	207
第2節 竪穴住居跡・土坑	214
第3節 溝状遺構	216
第6章 まとめ	218
第1節 旧石器時代	218
第2節 縄文時代	218
第3節 奈良・平安時代	229
報告書抄録	巻末

## 挿 図 目 次

<p>第1図 グリッド名称例 …………… 2</p> <p>第2図 調査対象範囲と地形 …………… 3</p> <p>第3図 振替後の地区割り全体図 …………… 5</p> <p>第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡 …………… 7</p> <p>第5図 (78) 区周辺地形図 …………… 11</p> <p>第6図 旧石器時代ブロックと確認グリッド 位置図 …………… 12</p> <p>第7図 (78) 区北側遺構分布図 …………… 13</p> <p>第8図 (78) 区南側遺構分布図 …………… 15</p> <p>第9図 詳細遺構分布図 (1) …………… 17</p> <p>第10図 詳細遺構分布図 (2) …………… 18</p> <p>第11図 詳細遺構分布図 (3) …………… 19</p> <p>第12図 詳細遺構分布図 (4) …………… 20</p> <p>第13図 詳細遺構分布図 (5) …………… 21</p> <p>第14図 詳細遺構分布図 (6) …………… 22</p> <p>第15図 詳細遺構分布図 (7) …………… 23</p> <p>第16図 詳細遺構分布図 (8) …………… 24</p> <p>第17図 詳細遺構分布図 (9) …………… 25</p> <p>第18図 詳細遺構分布図 (10) …………… 26</p> <p>第19図 第29ブロック出土遺物分布図 ー石器別分布図ー …………… 27</p> <p>第20図 第29ブロック出土遺物分布図 ー石材別分布図ー …………… 28</p> <p>第21図 第29ブロック出土遺物実測図 (1) …………… 29</p> <p>第22図 第29ブロック出土遺物実測図 (2) …………… 30</p> <p>第23図 単独出土遺物実測図 …………… 31</p> <p>第24図 縄文時代住居跡 (1) …………… 35</p> <p>第25図 縄文時代住居跡 (2) …………… 37</p> <p>第26図 縄文時代住居跡 (3) …………… 39</p> <p>第27図 縄文時代住居跡 (4) …………… 41</p> <p>第28図 縄文時代住居跡 (5) …………… 43</p> <p>第29図 縄文時代住居跡 (6) …………… 45</p> <p>第30図 縄文時代住居跡 (7) …………… 47</p> <p>第31図 縄文時代住居跡 (8) …………… 48</p> <p>第32図 縄文時代住居跡 (9) …………… 49</p>	<p>第33図 縄文時代住居跡 (10) …………… 51</p> <p>第34図 縄文時代住居跡 (11) …………… 53</p> <p>第35図 縄文時代住居跡 (12) …………… 55</p> <p>第36図 縄文時代住居跡 (13) …………… 57</p> <p>第37図 縄文時代住居跡 (14) …………… 59</p> <p>第38図 縄文時代住居跡 (15) …………… 61</p> <p>第39図 縄文時代住居跡 (16) …………… 63</p> <p>第40図 縄文時代住居跡 (17) …………… 65</p> <p>第41図 縄文時代住居跡 (18) …………… 67</p> <p>第42図 縄文時代住居跡 (19) …………… 69</p> <p>第43図 縄文時代住居跡 (20) …………… 71</p> <p>第44図 縄文時代住居跡 (21) …………… 73</p> <p>第45図 縄文時代住居跡 (22) …………… 75</p> <p>第46図 縄文時代住居跡 (23) …………… 77</p> <p>第47図 縄文時代住居跡 (24) …………… 79</p> <p>第48図 縄文時代住居跡 (25) …………… 80</p> <p>第49図 縄文時代住居跡 (26) …………… 81</p> <p>第50図 縄文時代住居跡 (27) …………… 83</p> <p>第51図 縄文時代炉跡 (1) …………… 85</p> <p>第52図 縄文時代炉跡 (2) …………… 86</p> <p>第53図 縄文時代炉跡 (3) …………… 87</p> <p>第54図 縄文時代炉跡 (4) …………… 88</p> <p>第55図 縄文時代土坑 (1) …………… 91</p> <p>第56図 縄文時代土坑 (2) …………… 92</p> <p>第57図 縄文時代土坑 (3) …………… 93</p> <p>第58図 縄文時代土坑 (4) …………… 94</p> <p>第59図 縄文時代土坑 (5) …………… 95</p> <p>第60図 縄文時代土坑 (6) …………… 96</p> <p>第61図 グリッド別土器出土量 …………… 130</p> <p>第62図 縄文時代住居跡出土土器 (1) …… 135</p> <p>第63図 縄文時代住居跡出土土器 (2) …… 136</p> <p>第64図 縄文時代住居跡出土土器 (3) …… 137</p> <p>第65図 縄文時代住居跡出土土器 (4) …… 138</p> <p>第66図 縄文時代住居跡出土土器 (5) …… 139</p> <p>第67図 縄文時代住居跡出土土器 (6) …… 140</p> <p>第68図 縄文時代住居跡出土土器 (7) …… 141</p> <p>第69図 縄文時代住居跡出土土器 (8) …… 142</p>
--	--

第70図	縄文時代住居跡出土土器 (9)……	143	第110図	古墳時代住居跡 (1)……	197
第71図	縄文時代住居跡出土土器 (10)……	144	第111図	古墳時代住居跡 (2)……	198
第72図	縄文時代住居跡出土土器 (11)……	145	第112図	古墳時代住居跡 (3)……	199
第73図	縄文時代住居跡出土土器 (12)……	146	第113図	古墳時代住居跡 (4)……	200
第74図	縄文時代炉跡出土土器 (1)……	147	第114図	古墳時代住居跡 (5)……	201
第75図	縄文時代炉跡出土土器 (2)……	148	第115図	古墳時代住居跡 (6)……	202
第76図	縄文時代炉跡出土土器 (3)……	149	第116図	古墳時代住居跡出土土器 (1)……	203
第77図	縄文時代土坑出土土器 (1)……	150	第117図	古墳時代住居跡出土土器 (2)……	204
第78図	縄文時代土坑出土土器 (2)……	151	第118図	古墳時代住居跡出土土器 (3)	
第79図	縄文時代土坑出土土器 (3)……	153		・土製品 ……………	205
第80図	縄文時代土坑出土土器 (4)……	155	第119図	奈良・平安時代掘立柱建物跡 (1)	
第81図	縄文時代土坑出土土器 (5)……	156		……………	210
第82図	縄文時代土坑出土土器 (6)……	157	第120図	奈良・平安時代掘立柱建物跡 (2)	
第83図	縄文時代土坑出土土器 (7)……	158		……………	211
第84図	縄文時代土坑出土土器 (8)……	159	第121図	奈良・平安時代掘立柱建物跡 (3)	
第85図	縄文時代土坑出土土器 (9)……	160		……………	212
第86図	縄文時代土坑出土土器 (10)……	161	第122図	奈良・平安時代掘立柱建物跡 (4)	
第87図	縄文時代土坑出土土器 (11)……	162		……………	213
第88図	縄文時代土坑出土土器 (12)……	163	第123図	奈良・平安時代掘立柱建物跡出土土器	
第89図	縄文時代土坑出土土器 (13)……	164		……………	214
第90図	縄文時代土坑出土土器 (14)……	165	第124図	奈良・平安時代住居跡・土坑 ……	215
第91図	縄文時代土坑出土土器 (15)……	166	第125図	奈良・平安時代土坑・遺構外出土土器	
第92図	縄文時代土坑出土土器 (16)……	167		……………	216
第93図	縄文時代土坑出土土器 (17)……	169	第126図	溝状遺構 ……………	217
第94図	縄文時代土坑出土土器 (18)……	170	第127図	縄文時代時期別遺構分布図前1期～	
第95図	縄文時代土坑出土土器 (19)……	171		1期 ……………	222
第96図	縄文時代土坑出土土器 (20)……	172	第128図	縄文時代時期別遺構分布図 2期	
第97図	縄文時代土坑出土土器 (21)……	173		……………	223
第98図	縄文時代土坑出土土器 (22)……	174	第129図	縄文時代時期別遺構分布図 3期	
第99図	縄文時代土坑出土土器 (23)……	175		……………	224
第100図	縄文時代土坑出土土器 (24)……	176	第130図	縄文時代時期別遺構分布図 4期	
第101図	縄文時代土坑出土土器 (25)……	177		……………	225
第102図	縄文時代土坑出土土器 (26)……	179	第131図	縄文時代時期別遺構分布図 5期～	
第103図	縄文時代土坑出土土器 (27)……	181		6期 ……………	226
第104図	縄文時代土坑出土土器 (28)……	182	第132図	飯積原山遺跡及び周辺集落の消長	
第105図	遺構外出土縄文土器 ……………	183		……………	228
第106図	土偶・耳栓 ……………	185	第133図	奈良・平安時代第1建物群の変遷	
第107図	土器片錘重量分布 ……………	186		……………	234
第108図	ミニチュア土器・土製蓋 ……………	187	第134図	奈良・平安時代時期別遺構分布図	
第109図	石製装身具 ……………	189		……………	237



## 表 目 次

第1表	地区割り一覧……………	4	第10表	耳栓一覧……………	188
第2表	周辺遺跡一覧……………	9	第11表	ミニチュア土器一覧……………	188
第3表	第29ブロック石器組成表……………	30	第12表	土製蓋一覧……………	188
第4表	旧石器時代単独出土石器組成表……………	32	第13表	石製装身具等一覧……………	188
第5表	各種炉の時期別集計……………	84	第14表	縄文時代石器石材別組成表……………	194
第6表	炉跡一覧……………	89	第15表	旧石器時代石器組成表……………	218
第7表	土坑等一覧……………	97	第16表	石器の機能・用途別組成……………	220
第8表	グリッド別縄文土器出土量……………	130	第17表	遺構の時期別集計……………	221
第9表	土偶一覧……………	188	第18表	第1建物群の規模……………	230

### 添付CD

附表1	下層第29ブロック出土遺物一覧	附図1	出土土器集成図(1)
附表2	下層単独出土遺物一覧	附図2	出土土器集成図(2)
附表3	土器片錘一覧	附図3	出土土器集成図(3)
附表4	土器片円板一覧	附図4	出土土器集成図(4)
附表5	その他の土製品一覧	附図5	出土土器集成図(5)
附表6	縄文時代石器一覧	附図6	出土土器集成図(6)
附表7	古墳時代土器・土製品一覧	附図7	出土土器集成図(7)
附表8	奈良・平安時代土器一覧	附図8	出土土器集成図(8)

## 図 版 目 次

巻頭図版	縄文時代石製装身具、土偶	図版10	縄文時代住居跡(7)
図版1	調査地周辺の航空写真	図版11	縄文時代住居跡(8)
図版2	(78) 区遠景	図版12	縄文時代住居跡(9)
図版3	(78) 遺構調査状況	図版13	縄文時代住居跡(10)・炉跡(1)
図版4	下層第29ブロック、縄文時代住居跡(1)	図版14	縄文時代炉跡(2)
図版5	縄文時代住居跡(2)	図版15	縄文時代炉跡(3)
図版6	縄文時代住居跡(3)	図版16	縄文時代炉跡(4)
図版7	縄文時代住居跡(4)	図版17	縄文時代炉跡(5)
図版8	縄文時代住居跡(5)	図版18	縄文時代土坑等(1)
図版9	縄文時代住居跡(6)	図版19	縄文時代土坑等(2)
		図版20	縄文時代土坑等(3)

図版21	縄文時代土坑等 (4)	図版58	縄文時代住居跡出土土器 (1)
図版22	縄文時代土坑等 (5)	図版59	縄文時代住居跡出土土器 (2)
図版23	縄文時代土坑等 (6)	図版60	縄文時代住居跡出土土器 (3)
図版24	縄文時代土坑等 (7)	図版61	縄文時代住居跡出土土器 (4)
図版25	縄文時代土坑等 (8)	図版62	縄文時代住居跡出土土器 (5)
図版26	縄文時代土坑等 (9)	図版63	縄文時代住居跡出土土器 (6)
図版27	縄文時代土坑等 (10)	図版64	縄文時代住居跡出土土器 (7)
図版28	縄文時代土坑等 (11)	図版65	縄文時代住居跡出土土器 (8)・ 炉跡出土土器 (1)
図版29	縄文時代土坑等 (12)	図版66	縄文時代炉跡出土土器 (2)
図版30	縄文時代土坑等 (13)	図版67	縄文時代炉跡出土土器 (3)
図版31	縄文時代土坑等 (14)	図版68	縄文時代炉跡出土土器 (4)・ 土坑等出土土器 (1)
図版32	縄文時代土坑等 (15)	図版69	縄文時代土坑等出土土器 (2)
図版33	縄文時代土坑等 (16)	図版70	縄文時代土坑等出土土器 (3)
図版34	縄文時代土坑等 (17)	図版71	縄文時代土坑等出土土器 (4)
図版35	縄文時代土坑等 (18)	図版72	縄文時代土坑等出土土器 (5)
図版36	縄文時代土坑等 (19)	図版73	縄文時代土坑等出土土器 (6)
図版37	縄文時代土坑等 (20)	図版74	縄文時代土坑等出土土器 (7)
図版38	縄文時代土坑等 (21)	図版75	縄文時代土坑等出土土器 (8)
図版39	縄文時代土坑等 (22)	図版76	縄文時代土坑等出土土器 (9)
図版40	縄文時代土坑等 (23)	図版77	縄文時代土坑等出土土器 (10)
図版41	縄文時代土坑等 (24)	図版78	縄文時代土坑等出土土器 (11)
図版42	縄文時代土坑等 (25)	図版79	縄文時代土坑等出土土器 (12)
図版43	縄文時代土坑等 (26)	図版80	縄文時代土坑等出土土器 (13)
図版44	縄文時代土坑等 (27)	図版81	縄文時代土坑等出土土器 (14)
図版45	縄文時代土坑等 (28)	図版82	縄文時代土坑等出土土器 (15)
図版46	縄文時代土坑等 (29)	図版83	縄文時代土坑等出土土器 (16)
図版47	縄文時代土坑等 (30)	図版84	縄文時代土坑等出土土器 (17)
図版48	縄文時代土坑等 (31)	図版85	縄文時代土坑等出土土器 (18)
図版49	縄文時代土坑等 (32)	図版86	縄文時代土坑等出土土器 (19)
図版50	縄文時代土坑等 (33)	図版87	縄文時代土坑等出土土器 (20)
図版51	縄文時代土坑等 (34)	図版88	縄文時代土坑等出土土器 (21)
図版52	縄文時代土坑等 (35)	図版89	縄文時代土坑等出土土器 (22)
図版53	古墳時代住居跡 (1)	図版90	縄文時代土坑等出土土器 (23)
図版54	古墳時代住居跡 (2)、奈良・平安時 代住居跡・掘立柱建物跡 (1)	図版91	縄文時代土坑等出土土器 (24)
図版55	奈良・平安時代掘立柱建物跡 (2)・ 土坑、溝状遺構	図版92	縄文時代土坑等出土土器 (25)
図版56	旧石器時代石器 (1)	図版93	縄文時代土坑等出土土器 (26)
図版57	旧石器時代石器 (2)、 縄文時代石器 (1)	図版94	縄文時代土坑等出土土器 (27)
		図版95	縄文時代土坑等出土土器 (28)

- 図版96 縄文時代土坑等出土土器 (29)  
 図版97 縄文時代土坑等出土土器 (30)  
 図版98 縄文時代土坑等出土土器 (31)  
 図版99 縄文時代土坑等出土土器 (32)  
 図版100 縄文時代土坑等出土土器 (33)・  
 遺構外出土土器 (1)  
 図版101 縄文時代遺構外出土土器 (2)  
 図版102 縄文時代住居跡出土土器 (9)  
 図版103 縄文時代住居跡出土土器 (10)  
 図版104 縄文時代住居跡出土土器 (11)  
 図版105 縄文時代住居跡出土土器 (12)  
 図版106 縄文時代住居跡出土土器 (13)  
 図版107 縄文時代住居跡出土土器 (14)  
 図版108 縄文時代住居跡出土土器 (15)  
 図版109 縄文時代住居跡出土土器 (16)  
 図版110 縄文時代住居跡出土土器 (17)  
 図版111 縄文時代住居跡出土土器 (18)  
 図版112 縄文時代住居跡出土土器 (19)  
 図版113 縄文時代住居跡出土土器 (20)  
 図版114 縄文時代住居跡出土土器 (21)  
 図版115 縄文時代住居跡出土土器 (22)  
 図版116 縄文時代住居跡出土土器 (23)  
 図版117 縄文時代住居跡出土土器 (24)  
 図版118 縄文時代住居跡出土土器 (25)  
 図版119 縄文時代住居跡出土土器 (26)  
 図版120 縄文時代住居跡出土土器 (27)・  
 炉跡出土土器 (5)  
 図版121 縄文時代炉跡出土土器 (6)・  
 土坑等出土土器 (34)  
 図版122 縄文時代土坑等出土土器 (35)  
 図版123 縄文時代土坑等出土土器 (36)  
 図版124 縄文時代土坑等出土土器 (37)・  
 遺構外出土土器 (3)・土製品  
 図版125 土器片錘  
 図版126 土器片円板 (1)  
 図版127 土器片円板 (2)、  
 縄文時代石製装身具  
 図版128 縄文時代石器 (2)  
 図版129 縄文時代石器 (3)  
 図版130 縄文時代石器 (4)  
 図版131 縄文時代石器 (5)  
 図版132 縄文時代石器 (6)  
 図版133 縄文時代石器 (7)  
 図版134 縄文時代石器 (8)  
 図版135 縄文時代石器 (9)  
 図版136 縄文時代石器 (10)  
 図版137 縄文時代石器 (11)  
 図版138 縄文時代石器 (12)  
 図版139 古墳時代土器 (1)  
 図版140 古墳時代土器 (2)  
 図版141 古墳時代土器 (3)・土製品、  
 奈良・平安時代土器・墨書土器

# 第1章 はじめに

## 第1節 調査の概要

### 1 調査の経緯と経過

独立行政法人都市再生機構（平成7年1月1日契約時は住宅・都市整備公団、平成11～16年まで都市基盤整備公団）は、千葉県印旛郡酒々井町において、酒々井南部地区土地区画整理事業を計画した。実施に当たり、千葉県教育委員会へ事業予定地内の埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて照会した結果、予定地内には複数の遺跡が所在する旨、回答があった。千葉県教育委員会は独立行政法人都市再生機構とその取扱いについて協議した結果、記録保存の措置を講ずることとし、発掘調査を公益財団法人千葉県教育振興財団（平成17年8月以前は財団法人千葉県文化財センター、平成17年9月からは財団法人千葉県教育振興財団）に委託した。事業地内に所在する各遺跡の調査対象規模は、飯積上台遺跡は51,041㎡、飯積原山遺跡は482,389㎡、柳沢牧墨木戸境野馬土手は1,442㎡で、総面積は534,872㎡である。

本書は、平成25年度に確認・本調査が行われた飯積原山遺跡の北東端の地点（H2501）について報告するもので、本地点をもって事業地内における埋蔵文化財の発掘調査は完了した。

調査対象面積は24,663㎡である。そのうち南西側の一部2,178㎡については、平成9年度に確認調査が実施された。平成25年度は、残りの22,485㎡について上層1,870㎡、下層590㎡の確認調査を行い、上層22,933㎡、下層64㎡の本調査を実施した。

これまで事業地内において実施した調査成果は、平成6～22年度調査は『酒々井町飯積上台遺跡1』、『酒々井町飯積原山遺跡1・2』、平成23・24年度調査は『酒々井町飯積上台遺跡2・飯積原山遺跡3・柳沢牧墨木戸境野馬土手』において既に報告済みである。

発掘調査期間・担当者は以下のとおりである。

平成9年度 調査期間 平成9年12月1日～平成10年3月27日

調査部長 西山太郎

東部調査事務所長 石田廣美

調査担当者 石塚 浩・廣瀬和之

平成25年度 調査期間 平成25年4月8日～平成26年2月27日

調査研究部長 伊藤智樹

整理課長 今泉 潔

調査担当者 糸川道行・及川淳一・小林昂博

整理作業の概要は以下のとおりである。

平成25年度 整理期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

整理内容 水洗の一部、注記の一部、記録整理の一部

整理担当者 糸川道行・沼澤 豊・及川淳一・小林昂博

平成26年度 整理期間 平成26年4月1日～平成27年3月31日  
 整理内容 水洗の一部、注記の一部、記録整理の一部、分類、接合・復元、実測、拓本、写真撮影、トレース、挿図作成、図版作成、原稿執筆、編集  
 整理担当者 木原高弘・西川博孝・橋本勝雄・小林昂博

平成27年度 整理期間 平成27年4月1日～平成27年7月31日  
 文化財センター長 小久貫隆史  
 整理課長 岸本雅人  
 整理担当者 西川博孝  
 整理内容 校正、印刷・刊行

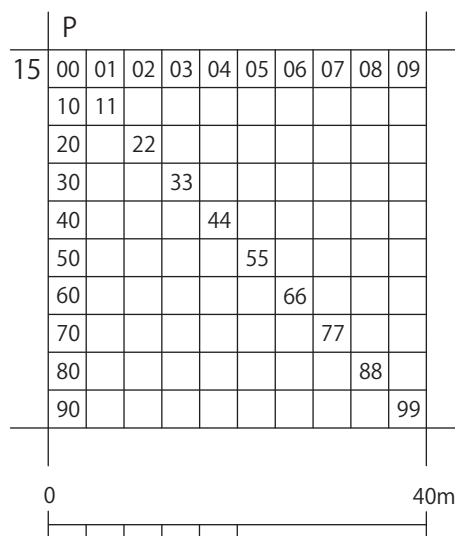
## 2 調査・整理の方法 (第1～3図)

発掘調査は、酒々井南部地区の事業地の全域を公共座標(旧座標・国家標準直角座標第IX系)に基づく方眼網で覆って実施した。方眼は40m×40mの区画を大グリッドとし、起点から南へ1・2…、東へA・B…と振っている。その内部を100分割した4m×4mが小グリッドである。大グリッド内は北西隅の小グリッドを00とし、00を起点に東へ01・02…、南へ10・20…と振っており、南東隅が99である。小グリッド名は大グリッドと組み合わせて15P-55のように表記した。大グリッドの交点の一つである18L-00は、旧座標でX=-31,900.0000、Y=42,100.0000である。JGD2000系変換値ではX=-31,544.7849、Y=41,806.2120、北緯35°42′53″、東経140°17′43″である<sup>1)</sup>。

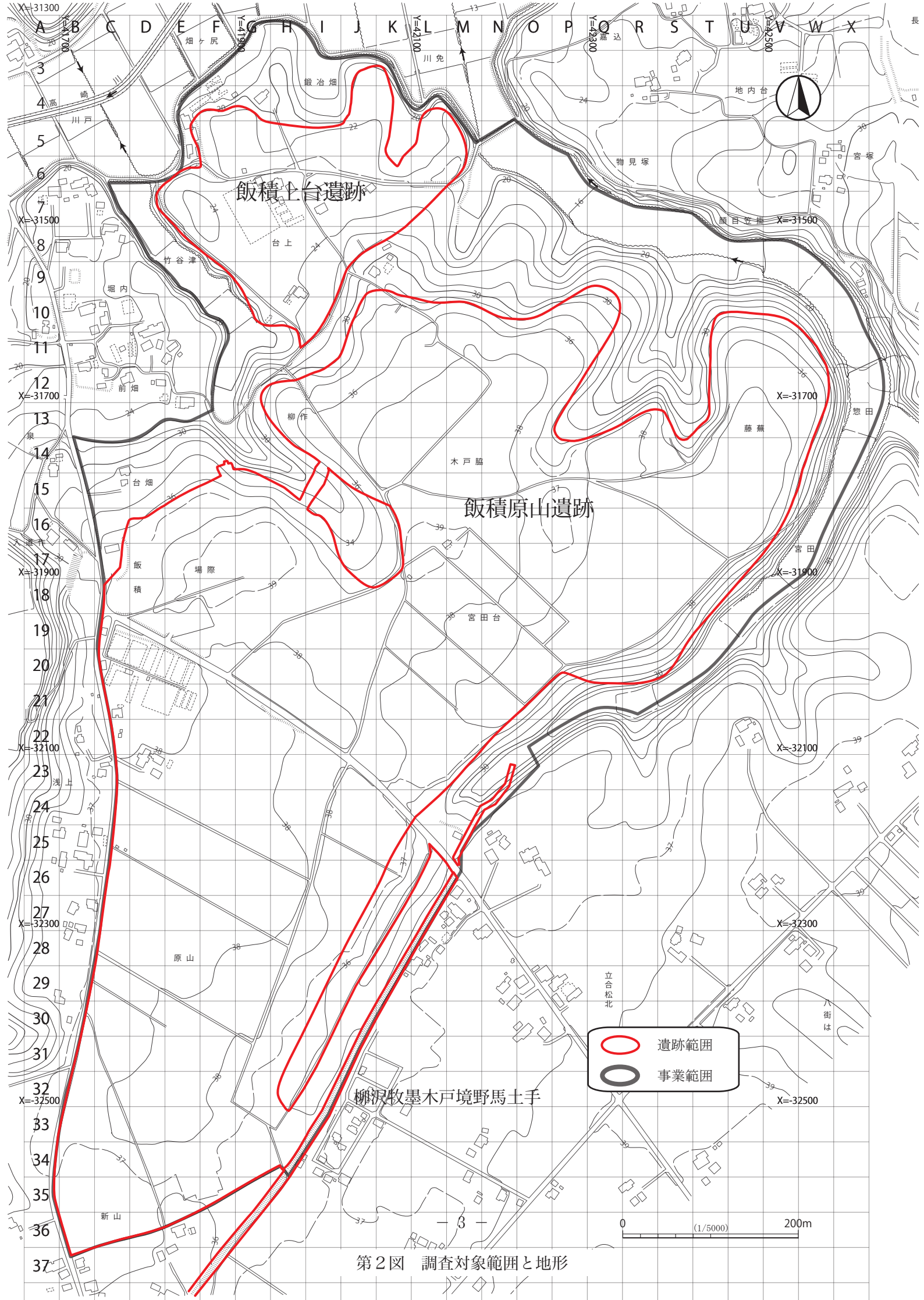
上層の確認調査は、対象面積の10%を原則としてトレンチを設定し、遺構及び遺物の分布状況を調べた上で、本調査範囲を決定して本調査を実施した。下層の確認調査は、対象面積の4%を原則にグリッドを設定して実施した。その結果、一定の石器の分布状況が認められたところについては、本調査範囲の確定後に本調査を実施した。確認調査及び本調査のための表土除去等については、重機を使用した。遺構・遺物集中地点の調査は、平面図、土層断面図、遺物出土分布図などの実測図の作成、写真撮影、遺物の取り上げを行った。

整理作業は、まず遺物の水洗、注記、記録類の整理を行った。注記は、遺跡コード、遺構番号、遺物台帳に記載された遺物番号を順に書き込んだ。遺構外出土遺物については、上記の遺構番号がグリッド名に替わる。注記後、遺物を遺構ごとに種別分類し、接合作業等を実施した。その後、遺物出土状況図・遺物台帳に記載された位置と高さをもとに、接合関係等の遺物出土状況図を平面と断面で作成した。土器・土製品・石器の実測は写真及び手計測による。遺物の拓本、遺構及び遺物実測図等のトレース、挿図作成、写真撮影、写真図版作成、原稿執筆、編集、校正を行い、本報告書の刊行となった。

今回報告する地点は、調査時はH2501と呼称されたが、これまでと同様に既報告の地区番号に連続して付与し、(78)



第1図 グリッド名称例



第2図 調査対象範囲と地形

〃〃〃〃

第1表 地区割り一覧

地区	調査年度・調査区	地区	調査年度・調査区	地区	調査年度・調査区
1	H1904	27	H2006・H2101	53	H2204・H2301
2	H10確認調査	28	H2104A	54	H2304
3	H9確認調査G区	29	H13G区 (H8確認調査)	55	H2304
4	H11A地点	30	H2103	56	H2401
5	H10確認調査	31	H2001	57	H2401
6	H1906	32	H8 確認調査	58	H2401
7	H12仮2区 (H10確認調査)	33	H11B地点	59	H2401
8	H2002	34	H12仮1 b 区	60	H2404
9	H12仮1d区 (H9確認調査A・B・F・G区)	35	H2104B	61	H2312 (H9確認調査J区)
10	H12仮3区 (H9確認調査E・M・N区)	36	H10確認調査	62	H2407 (H9確認調査K区)
11	H13A区 (H9確認調査C・D区)	37	H11C地点 (H10確認調査)	63	H2403 (H9確認調査K区)
12	H1905 (H9確認調査C・D区)	38	H8確認調査	64	H2311 (H9確認調査C区)
13	H12仮4区 (H7確認調査)	39	H1902	65	H2305
14	H12仮1 c 区 (H8確認調査)	40	H7確認調査	66	H2303
15	H2004	41	H2105	67	H2307
16	H2003	42	H13D区確認調査	68	H2310 (H8確認調査)
17	H2005	43	H2202	69	H2306
18	H12仮1a区 (H8確認調査)	44	H8確認調査	70	H2308
19	H13C区	45	H10確認調査	71	H2302
20	H13B区 (H8確認調査)	46	H6確認調査	72	H2406
21	H13H区	47	H1901	73	H2408
22	H13B2区 (H8確認調査)	48	H1901	74	H2406
23	H13B3区 (H8確認調査)	49	H13F区確認調査	75	H2405
24	H2203	50	H10確認調査	76	H2409
25	H2201	51	H2411	77	H2402
26	H2101	52	H2301	78	H2501 (H9確認調査L区)

区とした。各調査年度・調査区と地区番号の関係は第1表、地区番号を振った区割図は第3図に示した。

調査段階での遺構番号は、上層では遺構種別を表すSI等の略号と3桁の数字を組み合わせてSI001のように呼称しているが、既報告と同様に本報告でも遺構番号を地区割り番号+略号+数字で(78)SI001のように表記することとした。

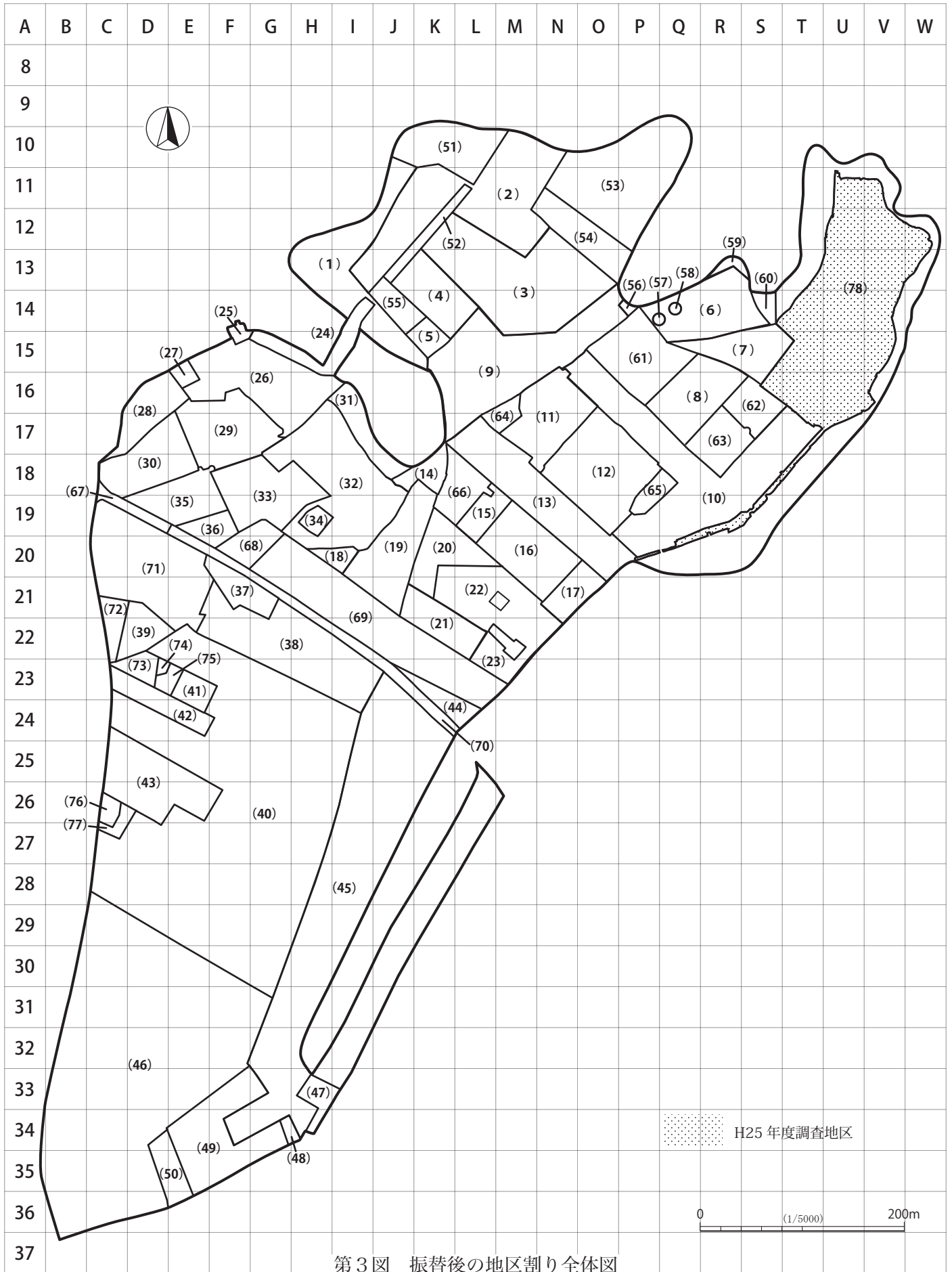
本書で報告する遺構の略号を記すと、竪穴住居跡はSI、掘立柱建物跡はSB、土坑・小竪穴・陥穴・単独埋甕はSK、炉跡はSX、ピット・柱穴と思われる小規模な土坑はP、溝はSDとしている。

注1 変換値はWeb版TKY2JGD Ver.1.3.79 パラメータ Ver.2.1.1による。

## 第2節 遺跡の位置と環境 (第4図)

飯積上台遺跡・飯積原山遺跡・柳沢牧墨木戸境野馬土手は千葉県の北部、下総台地の中央に位置する印旛沼の南東側に立地する。行政域では印旛郡酒々井町の南東端に所在し、北東は富里市、南東は八街市に近接する。

飯積原山遺跡は、北側を流れる高崎川によって開析された台地上に立地する。高崎川は約6km南西側の富里市・八街市付近を水源とし、西流した後、約6.5km西方の佐倉市寺崎付近で西印旛沼の南西部に注ぐ鹿島川に合流する。遺跡周辺の高崎川低地の標高は約12mである。高崎川の南岸は同様な比較的広い台地が南部川側を付け根に東西に連なり、高崎川を挟んで本遺跡の対岸台地は、北側に広大な印旛沼の低地が



第3図 振替後の地区割り全体図



接している。飯積原山遺跡の立地する台地は、標高36m～38mである。遺跡の北半は高崎川から入り込んだ谷に挟まれ、南端は南部川支谷の谷頭部に接する。飯積原山遺跡のほかに事業地内に所在する遺跡は、北側の低地に面する標高15m～24mのテラス状の河岸段丘上に飯積上台遺跡、飯積原山遺跡の東側に柳沢牧墨木戸境野馬土手が位置する。周辺遺跡については第2表、第4図に主なものを示した。内容については刊行済みの報告書<sup>1～4)</sup>で概説している所以他们を参照していただきたい。

- 注1 (公財) 千葉県教育振興財団 2013『酒々井町飯積上台遺跡1ー酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書1ー』  
2 (公財) 千葉県教育振興財団 2014『酒々井町飯積原山遺跡1ー酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書2ー』  
3 (公財) 千葉県教育振興財団 2014『酒々井町飯積原山遺跡2ー酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書3ー』  
4 (公財) 千葉県教育振興財団 2015『酒々井町飯積上台遺跡2・飯積原山遺跡3・柳沢牧墨木戸境野馬土手ー酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書4ー』

### 第3節 調査成果の概要 (第3図)

平成6～24年度に発掘調査を実施した(1)～(77)区では、遺跡北西側を中心に旧石器時代の石器集中地点28か所、縄文時代の竪穴住居跡147軒、掘立柱建物跡2棟、土坑等889基、ピット(群)、奈良・平安時代の竪穴住居跡76軒、掘立柱建物跡43棟、土坑、溝状遺構、中・近世の野馬土手、野馬堀、土坑列、道路状遺構、塚などが検出された。概要は以下のとおりである。

旧石器時代は5枚の文化層の石器群からなり、第3、第5文化層が主体である。第3文化層はIX a層上部～VII層下部に生活面をもち、ナイフ形石器や台形様石器を主要器種としており、第5文化層は野辺山型細石刃石核を有する石器群であった。

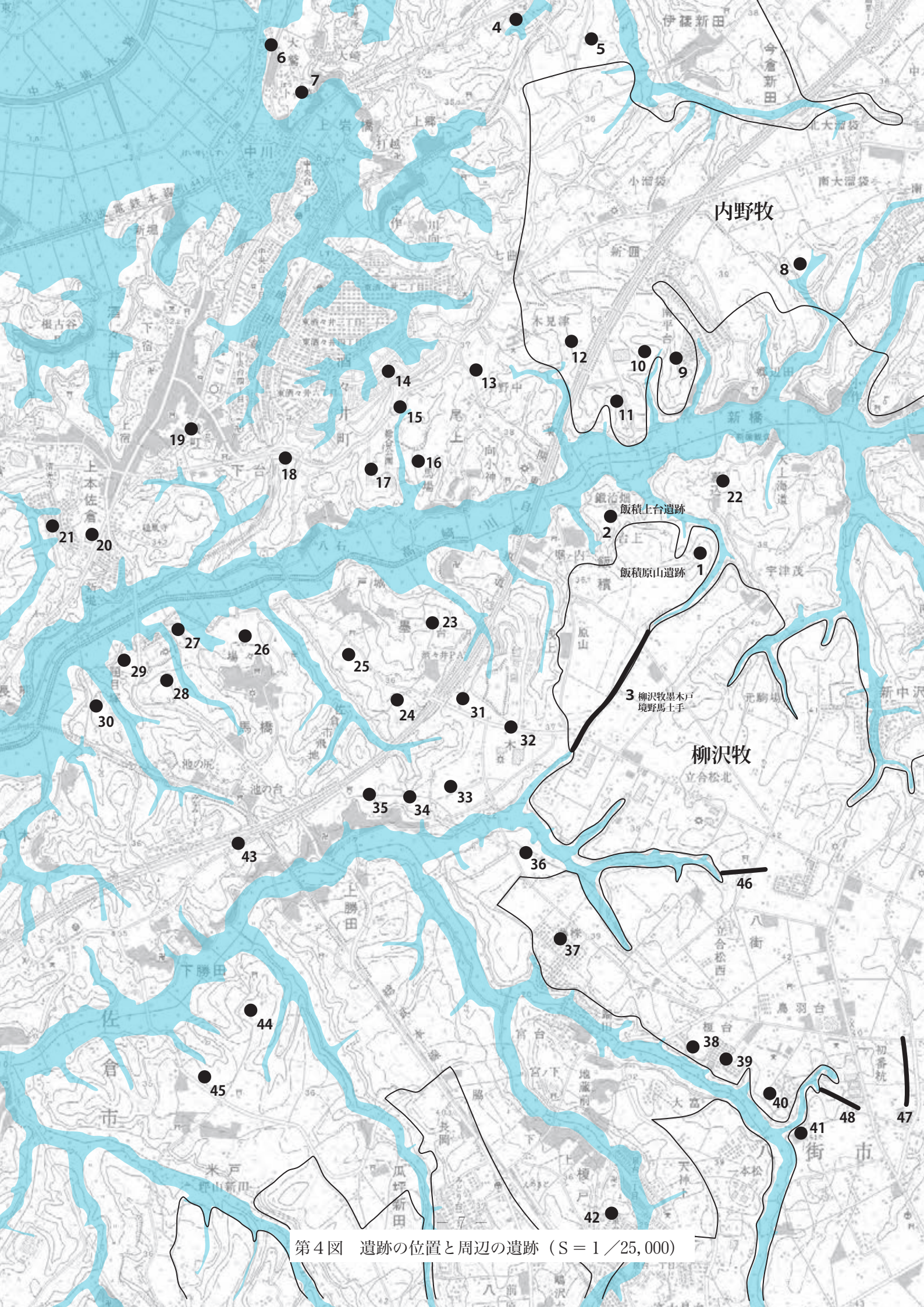
縄文時代は中期中葉から後期初頭を中心とした時期で、袋状土坑、円形土坑を伴う住居跡群が展開する。加曽利E1式期からE2式期の集落は、大小それぞれの規模の集落が3か所あり、今回報告する(78)区に近接していた。加曽利E2-3式からE3式古段階期の遺構は区域内からはほとんど見られない。加曽利E3式中段階期になると集落が復活し、広範囲に住居跡、土坑が分散する。その範囲は大きく2か所に分かれるが、東側は加曽利E4式古段階期で終わるのに対して、西側は称名寺式期まで継続していることが分かった。

奈良・平安時代は、8世紀第4四半期から9世紀第3四半期の条里地割の区画溝を伴う集落跡で、計画的に配置された3か所の掘立柱建物群、竪穴住居跡群が検出され、「庄」「三倉」「寺」などの墨書土器が多量に出土し、初期荘園の性格を有する集落であった。3か所の掘立柱建物群は現地経営拠点である庄所、経営・管理を主導した在地有力者の居宅、村落寺院、周辺の竪穴住居跡群は荘園村落と捉えられた。

中・近世は、佐倉七牧の一つ柳沢牧の北西端に位置し、野馬土手、しし穴・犬落とし穴と考えられる土坑列が検出された。

今回報告する(78)区は、(7)、(10)、(60)、(62)区の北側に隣接する北東側の舌状台地部とその南側の(10)区の東側に沿った幅約2mの細長い範囲である。北側及び東側の遺跡範囲はさらに10m～50m続いているが、緑地保存区域であったため調査対象範囲から除外された。

検出された遺構は、旧石器時代の石器集中地点1か所、縄文時代の竪穴住居跡68軒・炉跡76基・土坑など1,505基・ピット233基、古墳時代中・後期の竪穴住居跡6軒、奈良・平安時代の竪穴住居跡1軒・土坑



第4図 遺跡の位置と周辺の遺跡 (S = 1 / 25,000)

1 基・掘立柱建物跡 8 棟・柱穴 8 基・溝状遺構 2 条、中・近世の道路状遺構 1 条である。

主体となる縄文時代の遺構群は、中央に広場を取り囲む直径約 200メートルの環状に分布し、きわめて密度の濃い状況で検出された。出土土器は、報告済みの北西側の地区と同様に中期中葉から後葉のいわゆる中峠式や加曾利 E 1 式から加曾利 E 4 式が中心である。

なお、今回の報告における縄文時代の遺構の時期区分と土器の分類は、これまで報告で行ったものを踏襲し、次のとおりとした。

このうち、中期阿玉台 II 式以前及び後期堀之内 1 式以降は時期区分を行わなかった。

前 1 期 草創期後半 撚糸文土器、阿玉台式 I a 式・I b 式・II 式

1 a 期 阿玉台 III 式～IV 式・勝坂式末期・いわゆる中峠式及び諸類型・加曾利 E 1 式古段階

1 b 期 加曾利 E 1 式新段階

2 a 期 加曾利 E 2 式古段階

2 b 期 加曾利 E 2 式新段階

2 c 期 加曾利 E 2-3 中間式

3 a 期 加曾利 E 3 式古段階

3 b 期 加曾利 E 3 式中段階

3 c 期 加曾利 E 3 式新段階

4 a 期 加曾利 E 3-4 中間式

4 b 期 加曾利 E 4 式古段階

4 c 期 加曾利 E 4 式中段階

4 d 期 加曾利 E 4 式新段階

5 期 称名寺式

6 期 堀之内 1 式・2 式・加曾利 B 式

1 a 期については各型式の同時期性について問題のあるところだが、ここでは議論せず、集落形成過程を理解する都合において同一時期として扱うこととした。中期土器の分類に当たっては、阿玉台式については西村正衛編年を基準とし、1 a 期の各土器の理解については下総考古学研究会による諸研究を参考とした。また、加曾利 E 式については前半を山形眞理子編年、後半を柳澤清一・長山明弘編年を基準とした。なお、柳澤・長山編年では各期がさらに小細別されているが、土器の出土量が少ない遺構ではその認定が困難となるため細別段階にとどめ、個別の土器で認定できたものについては可能な限り小細別まで記載した。各々、理解に誤りがあれば、報告者の責任である。

#### 参考文献

西村正衛 1984 『石器時代における利根川下流域の研究－貝塚を中心として－』早稲田大学出版部

高橋良治他 1998 「〈特集〉中峠式土器の再検討」『下総考古学』15 下総考古学研究会

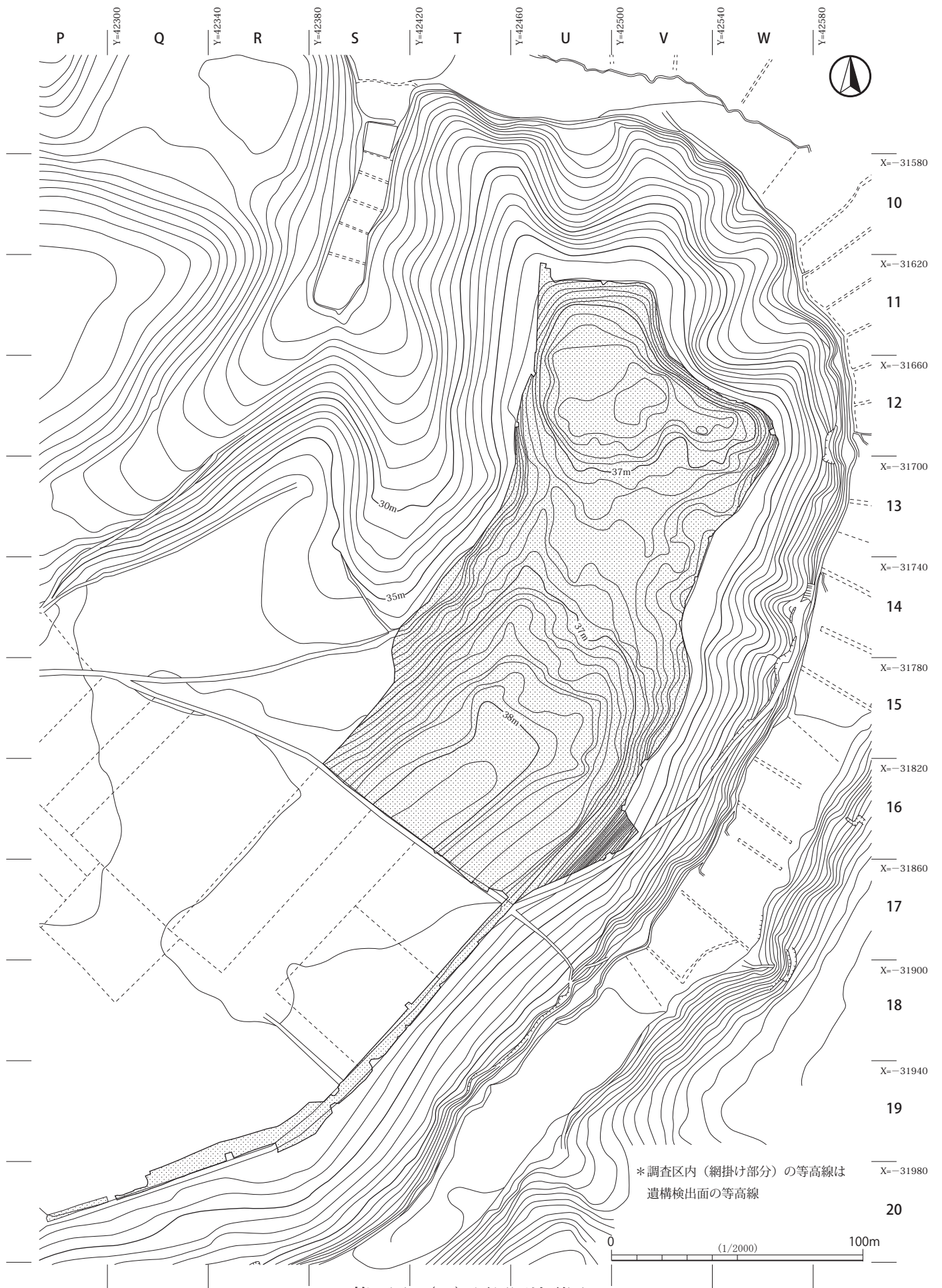
高橋良治他 2004 「〈特集〉房総半島における勝坂式土器の研究」『下総考古学』18 下総考古学研究会

大村 裕他 2014 「中峠6次1住型深鉢の研究」『下総考古学』23 下総考古学研究会

第2表 周辺遺跡一覧

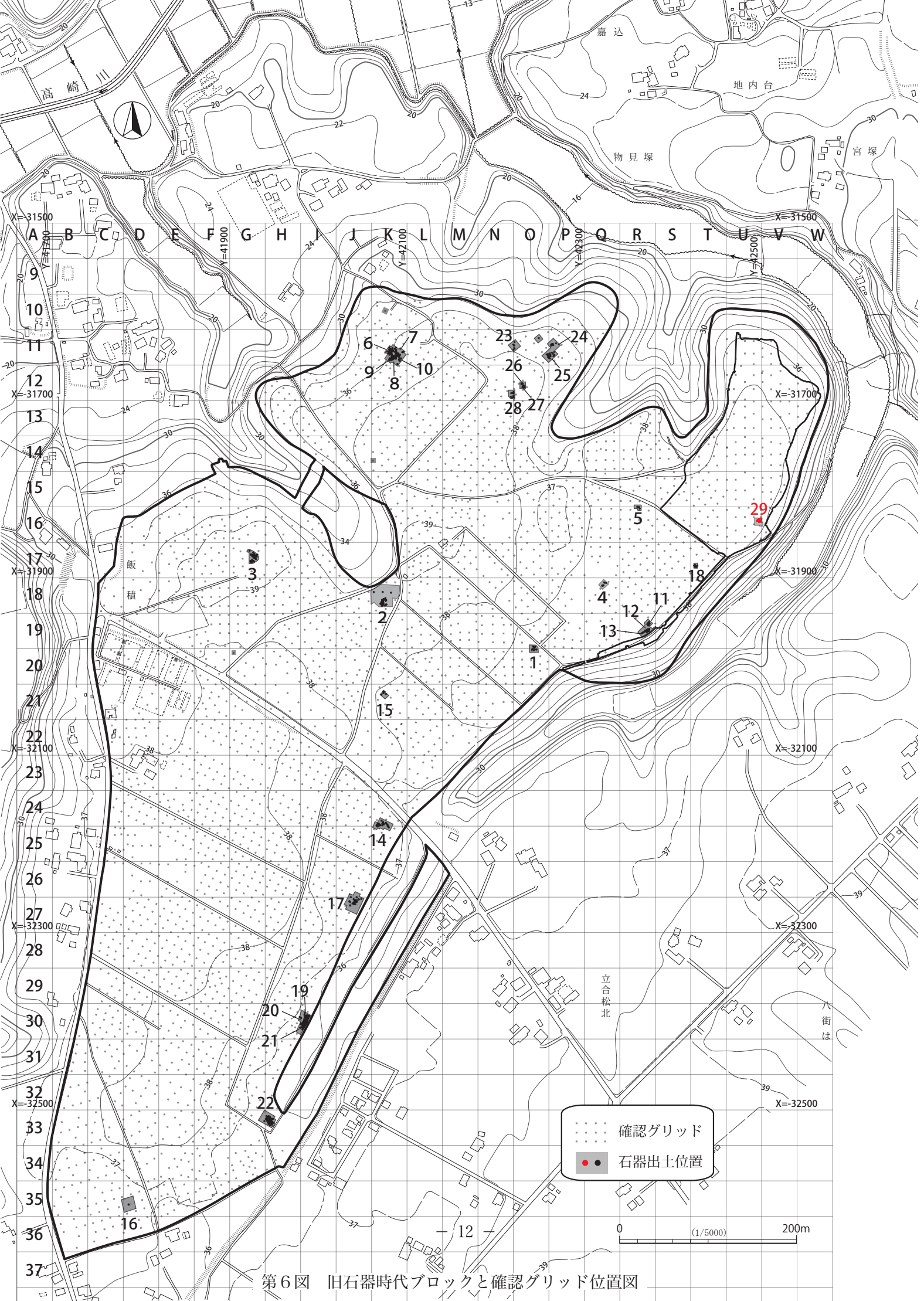
No.	遺跡名	種別	主な時代(時期)
1	飯積原山遺跡	包蔵地・集落跡	旧石器、縄文(阿玉台I b~IV、加曾利E1~4、称名寺、堀之内)、古墳、奈良・平安、近世
2	飯積上台遺跡	包蔵地・集落跡 古墳	旧石器、縄文(茅山、関山、粟島台、黒浜、加曾利E、称名寺)、古墳、奈良・平安
3	柳沢牧墨木戸境野馬土手	牧跡	近世
4	伊篠越徳遺跡	包蔵地	縄文(加曾利E3)、古墳、奈良・平安
5	伊篠白幡遺跡	包蔵地	阿玉台直前~III、加曾利E1~3
6	上岩橋大鷲神社古墳	古墳	古墳
7	上岩橋岩崎遺跡	古墳・集落跡	縄文(阿玉台)、弥生、古墳、奈良・平安、中・近世
8	南大溜袋遺跡	包蔵地	旧石器、縄文
9	寺沢遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(田戸、子母口、茅山、阿玉台IV、加曾利E3)、奈良・平安、近世
10	新橋高松遺跡	集落跡	縄文、奈良・平安、近世
11	尾上木見津遺跡・駒詰遺跡	包蔵地・集落跡	旧石器、縄文、古墳、奈良・平安、近世
12	尾上平台南遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(黒浜、浮島2)、平安
13	尾上出戸遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(茅山下層、関山、黒浜、粟島台、加曾利E3)、古墳、奈良・平安
14	尾上藤木遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(加曾利E、称名寺)、古墳、奈良
15	尾上柳作遺跡	集落跡	縄文(茅山、興津、加曾利B2、五領ヶ台、加曾利E4)、古墳、平安、中・近世
16	尾上広畑遺跡	包蔵地	縄文(加曾利E、称名寺)、古墳、平安
17	墨小盛田古墳	古墳	古墳
18	下台遺跡	包蔵地	縄文(稻荷台、花輪台、三戸、子母口、鶴ヶ島台、黒浜、浮島、前期末、加曾利E2・3)、古墳、奈良・平安
19	狐塚古墳	古墳	古墳
20	本佐倉外宿遺跡	包蔵地	縄文、古墳、平安
21	北押出し遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(田戸、子母口、鶴ヶ島台、花積下層、黒浜、諸磯、浮島)、弥生、奈良・平安
22	新橋遺跡	集落跡	旧石器、縄文(阿玉台I a~IV、加曾利E1・3)、古墳
23	墨古沢遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(阿玉台I b~IV、加曾利E1~3・4、堀之内1、加曾利B1・2、安行)
24	墨古沢南II遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(加曾利E、称名寺)、平安
25	墨広畑遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(阿玉台I、加曾利E1~3、堀之内1、加曾利B1・2、安行)
26	墨大広台遺跡	包蔵地	縄文(加曾利E)、弥生、古墳、平安
27	馬橋鷲尾余II遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(茅山、鶴ヶ島台)、弥生、古墳、平安
28	馬橋鷲尾余I遺跡	包蔵地・集落跡	弥生、古墳、平安
29	馬橋鷲田遺跡	包蔵地	縄文(田戸下層、浮島1、阿玉台直前、加曾利E)
30	八木亀井台遺跡	包蔵地	縄文(子母口、茅山、関山、阿玉台、加曾利E)、弥生
31	墨古沢南I遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(浮島2、阿玉台I b、加曾利E2~4、称名寺1、堀之内2、加曾利B1~3、安行1~3a、前浦、千綱)
32	墨木戸遺跡	集落跡	縄文(井草、夏島、三戸、田戸下層、鶴ヶ島台、関山、黒浜、諸磯、浮島、前期末、五領ヶ台、阿玉台II、加曾利E1~4、加曾利B、安行)、奈良・平安
33	墨新山遺跡	包蔵地・集落跡	旧石器、縄文(夏島、稻荷台、花輪台、黒浜、浮島2・3、興津、十三菩提、前期末~中期初頭、五領ヶ台、阿玉台I b、加曾利E1・3・4、称名寺、加曾利B、安行1・3a)
34	上勝田大谷台遺跡	包蔵地	縄文(茅山、関山、浮島)、古墳、平安
35	上勝田鎌田遺跡	包蔵地	縄文(阿玉台、加曾利E)、平安
36	上勝田瀧向遺跡	包蔵地	縄文(中期後葉)
37	藤株IV遺跡	包蔵地	縄文
38	鉄砲作遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(加曾利E2・3)
39	一之綱I遺跡	包蔵地・集落跡	旧石器、縄文(阿玉台、加曾利E1~3)
40	一之綱II遺跡	集落跡	縄文(中期初)、奈良・平安
41	一之綱III遺跡	包蔵地・集落跡	旧石器、縄文、奈良・平安
42	榎台第I遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(加曾利E2・3)
43	上勝田市ノ坪遺跡	包蔵地	縄文(茅山、加曾利E)
44	下勝田天神台遺跡	包蔵地	縄文(加曾利E)、弥生、古墳、平安
45	下勝田殿台東遺跡	包蔵地・集落跡	縄文(阿玉台I b~IV、加曾利E1~3)
46	野馬土手	牧跡	近世
47	野馬土手	牧跡	近世
48	野馬土手	牧跡	近世

- 山形真理子 1996・1997「曾利式土器の研究（上）・（下）」『東京大学考古学研究室研究紀要』14・15 東京大学文学部考古学研究室
- 柳澤清一 1997「千葉県における加曾利E（新）式編年の検討—下総 利根川下流域の遺跡変動にふれて—」『東邦考古』21 東邦考古学研究会
- 柳澤清一 2006「千葉県における縄紋中期末葉・後期初頭編年の再検討—『縄文セミナー』千葉県編年案の標本資料から（1）—」『東邦考古』30 東邦考古学研究会
- 柳澤清一 2006「縄紋時代中・後期の編年学研究—列島における小細別編年網の構築をめざして—」『千葉大学考古学研究叢書』3
- 長山明弘 2010「加曾利E（新）式における土器系列の研究（1）—「連弧文土器」から「Y字文土器」へ—」『古代』第124号 早稲田大学考古学会
- 長山明弘 2012「関東北に於ける土器系列の相関（1）—「懸華状連接区劃文土器」の分布と加曾利E3式土器の終末（上篇）」『千葉大学文学部考古学研究室30周年記念 考古学論攷I—岡本東三先生退職とともに—』千葉大学文学部考古学研究室 考古学論攷編集委員会

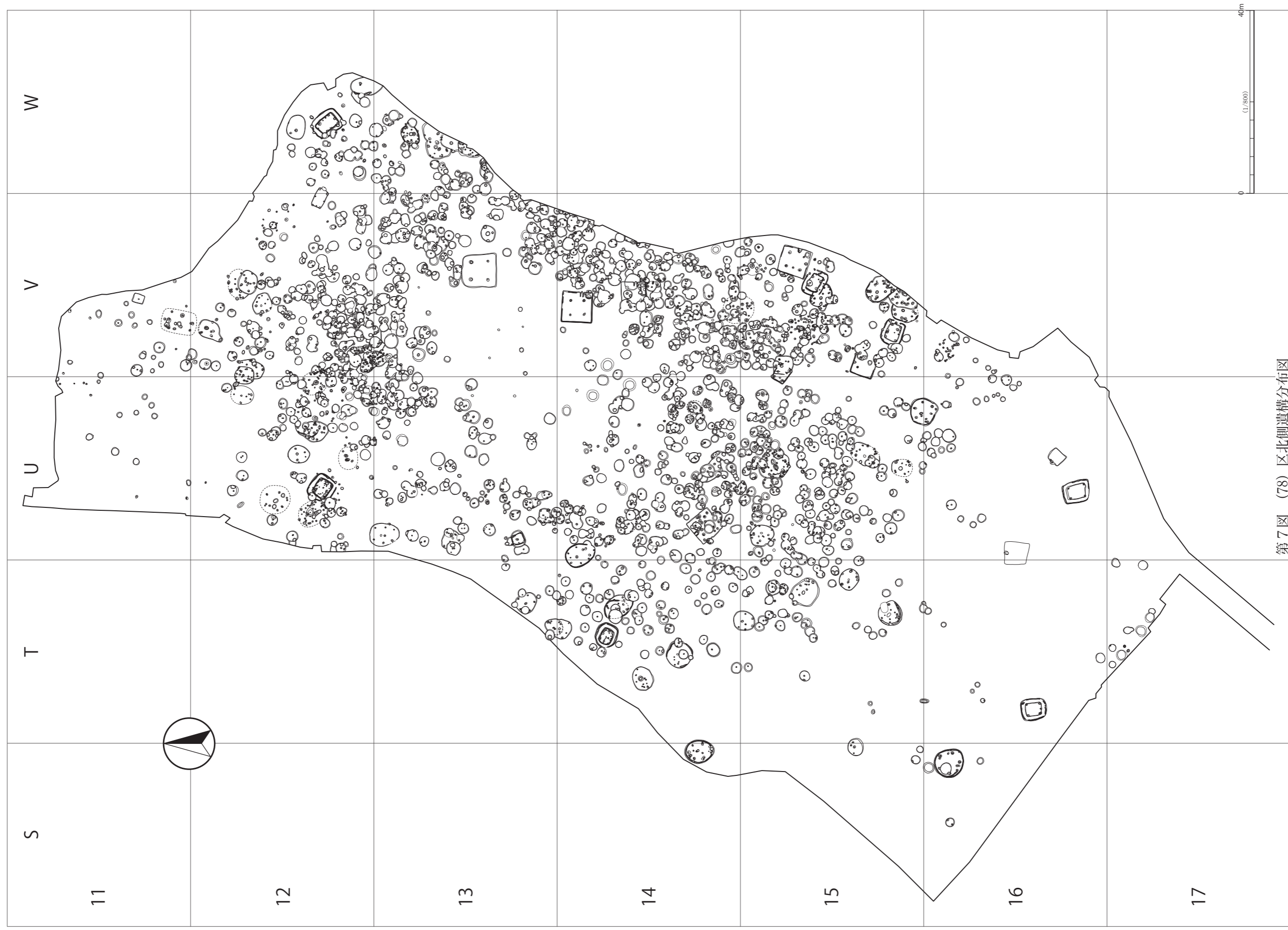


\* 調査区内（網掛け部分）の等高線は  
遺構検出面の等高線

第5図 (78) 区周辺地形図

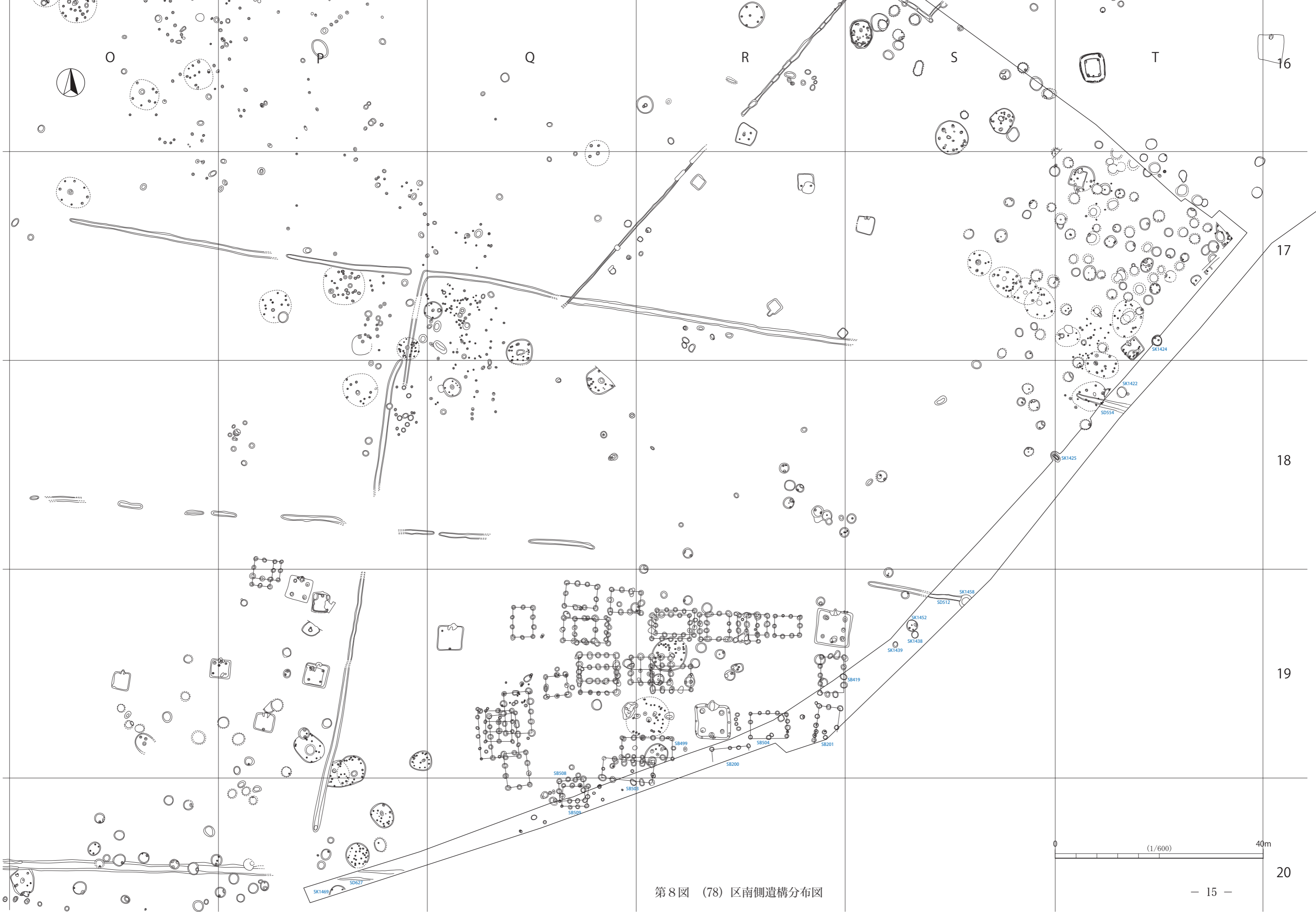


第6図 旧石器時代ブロックと確認グリッド位置図



第7图 (78) 区北侧遺構分布图





第8图 (78) 区南侧遺構分布图



111W.00

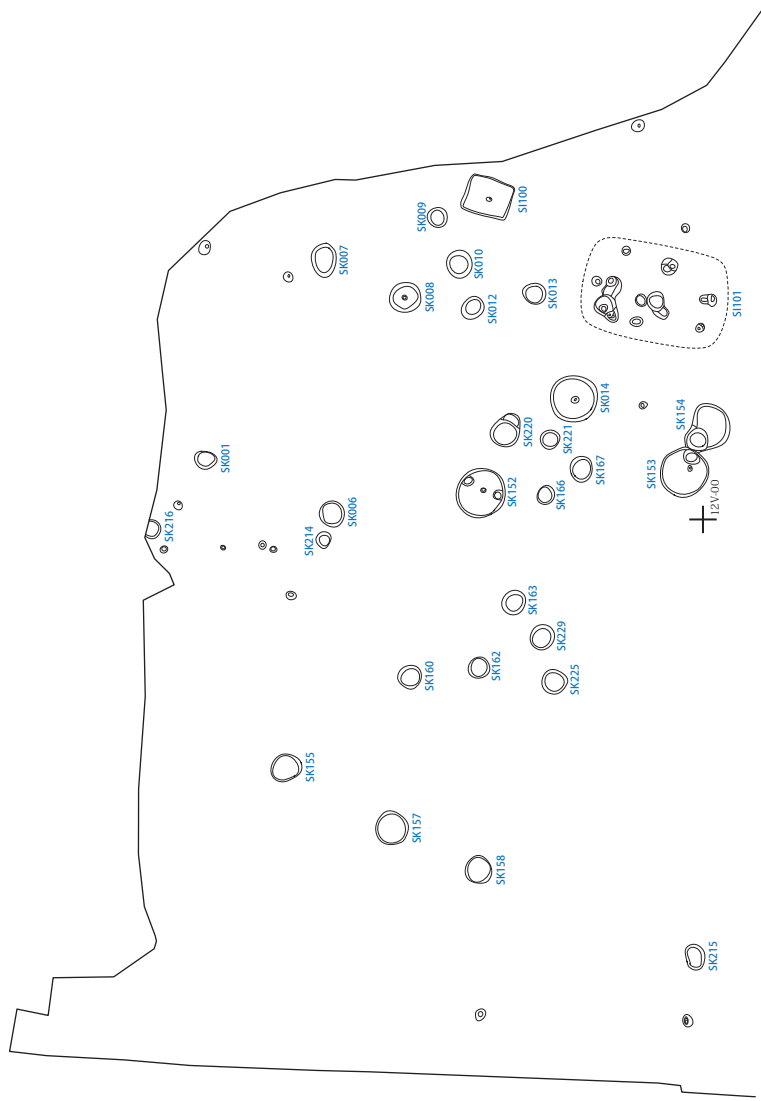
111V.00

111U.00

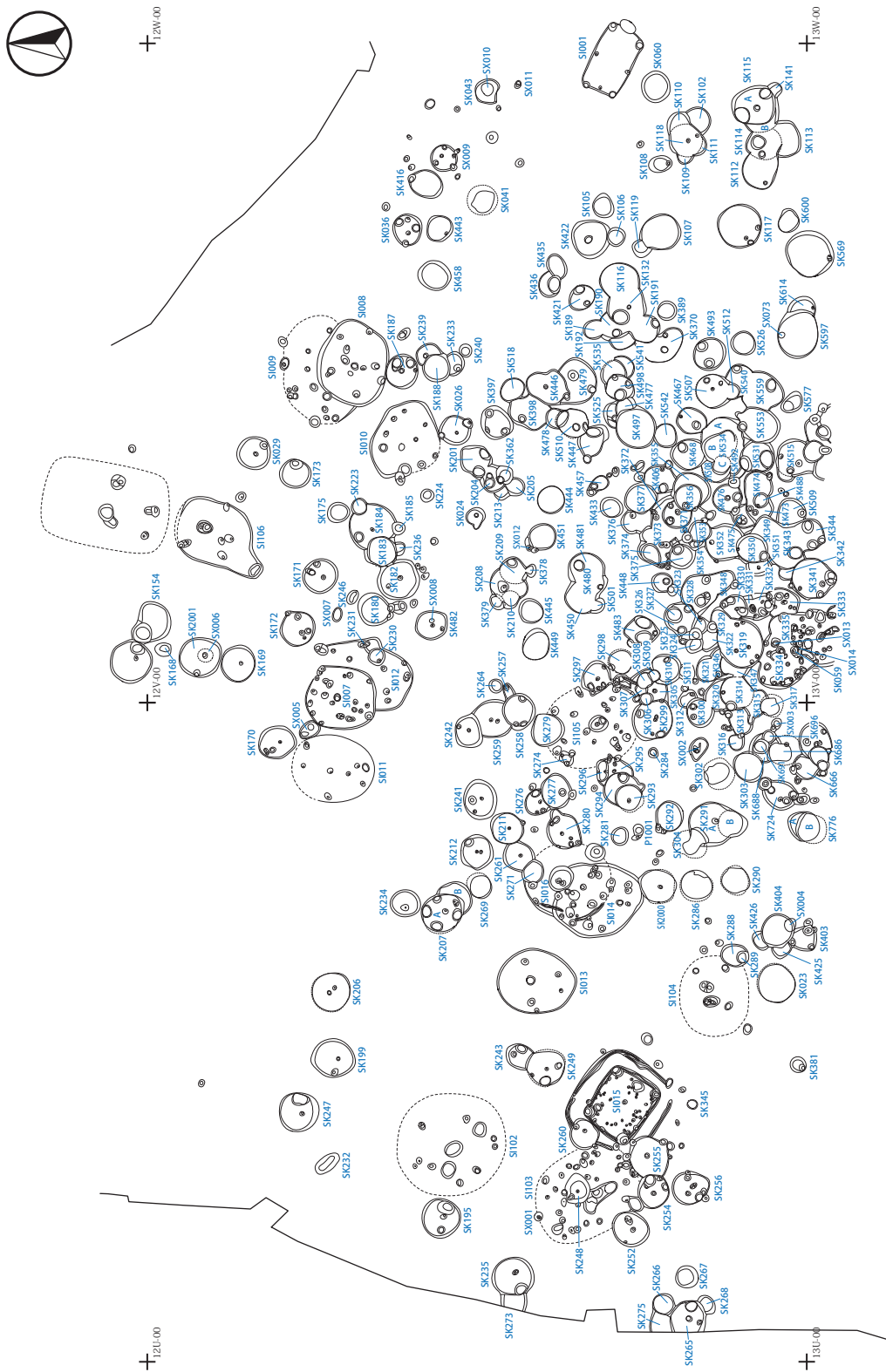
121W.00

121V.00

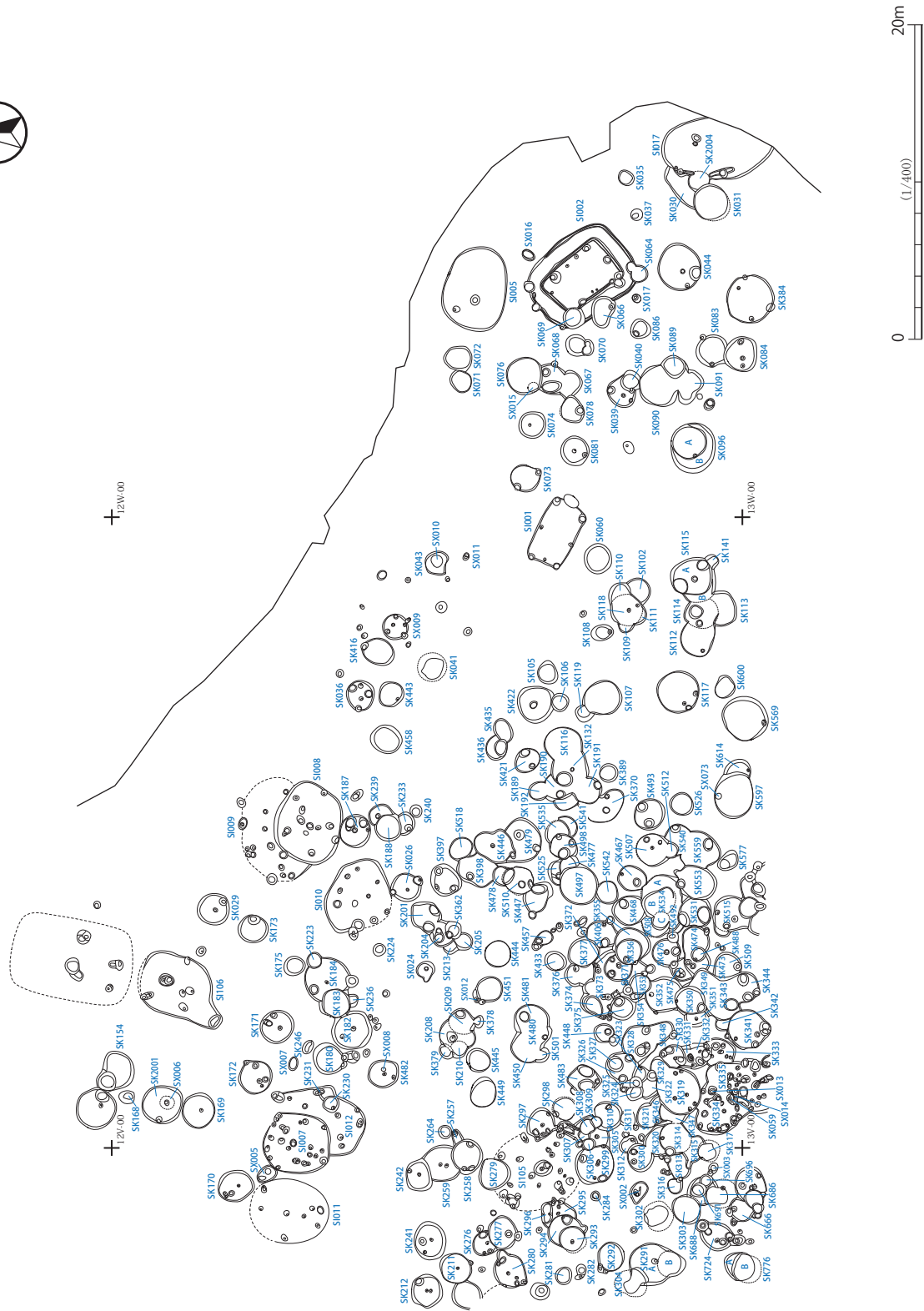
121U.00



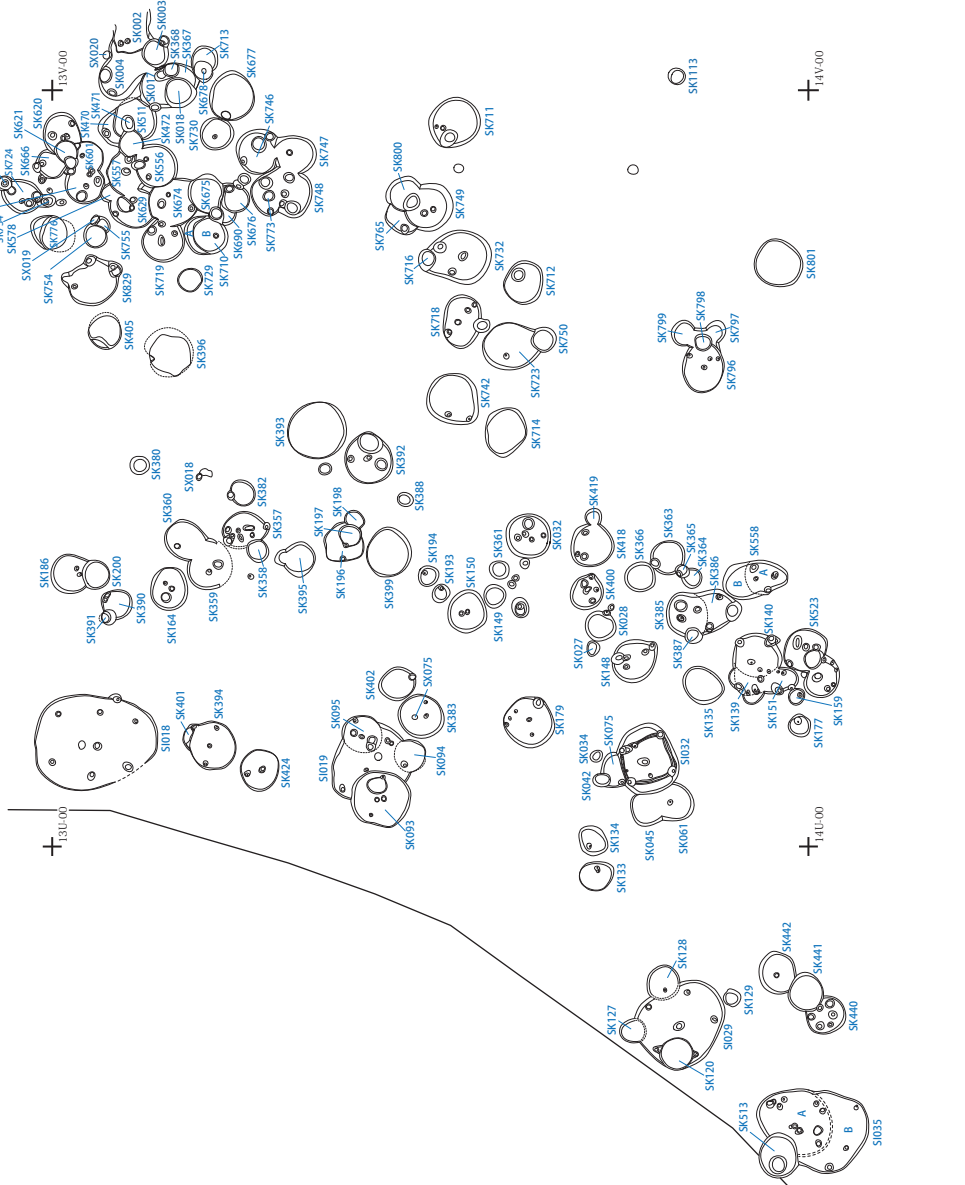
第9図 詳細遺構分布図 (1)



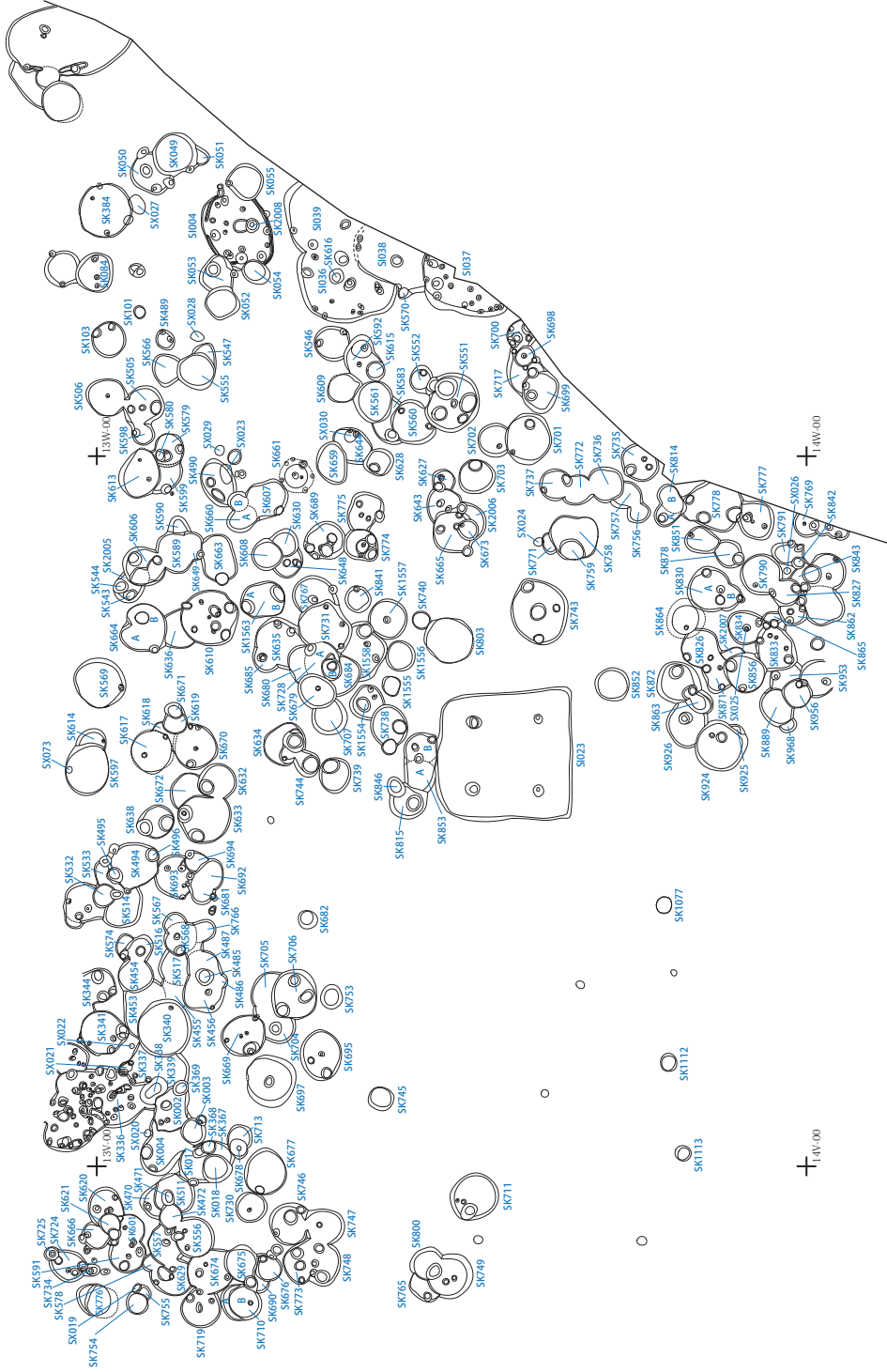
第10圖 詳細遺構分布圖 (2)



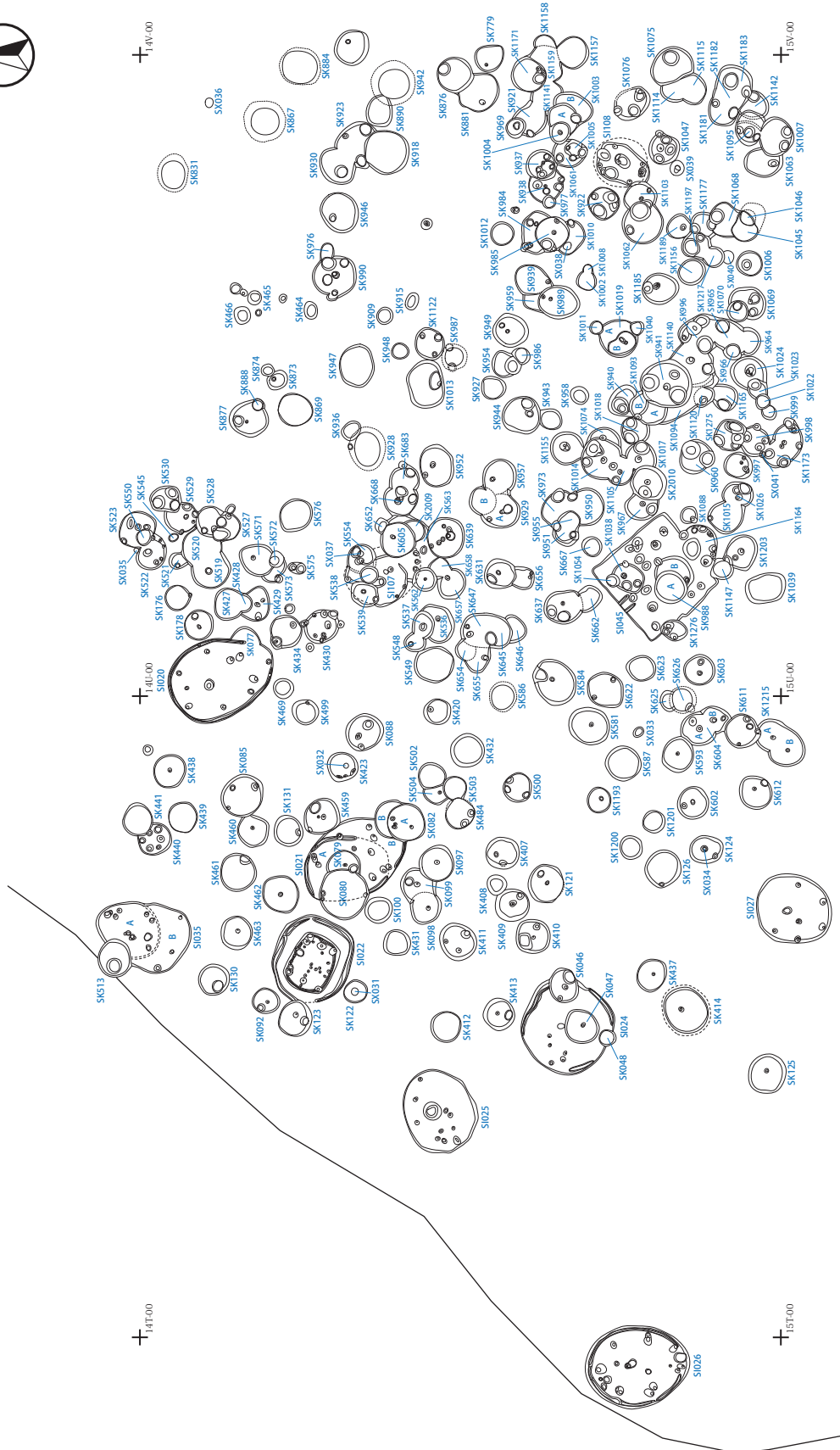
第11図 詳細遺構分布図 (3)



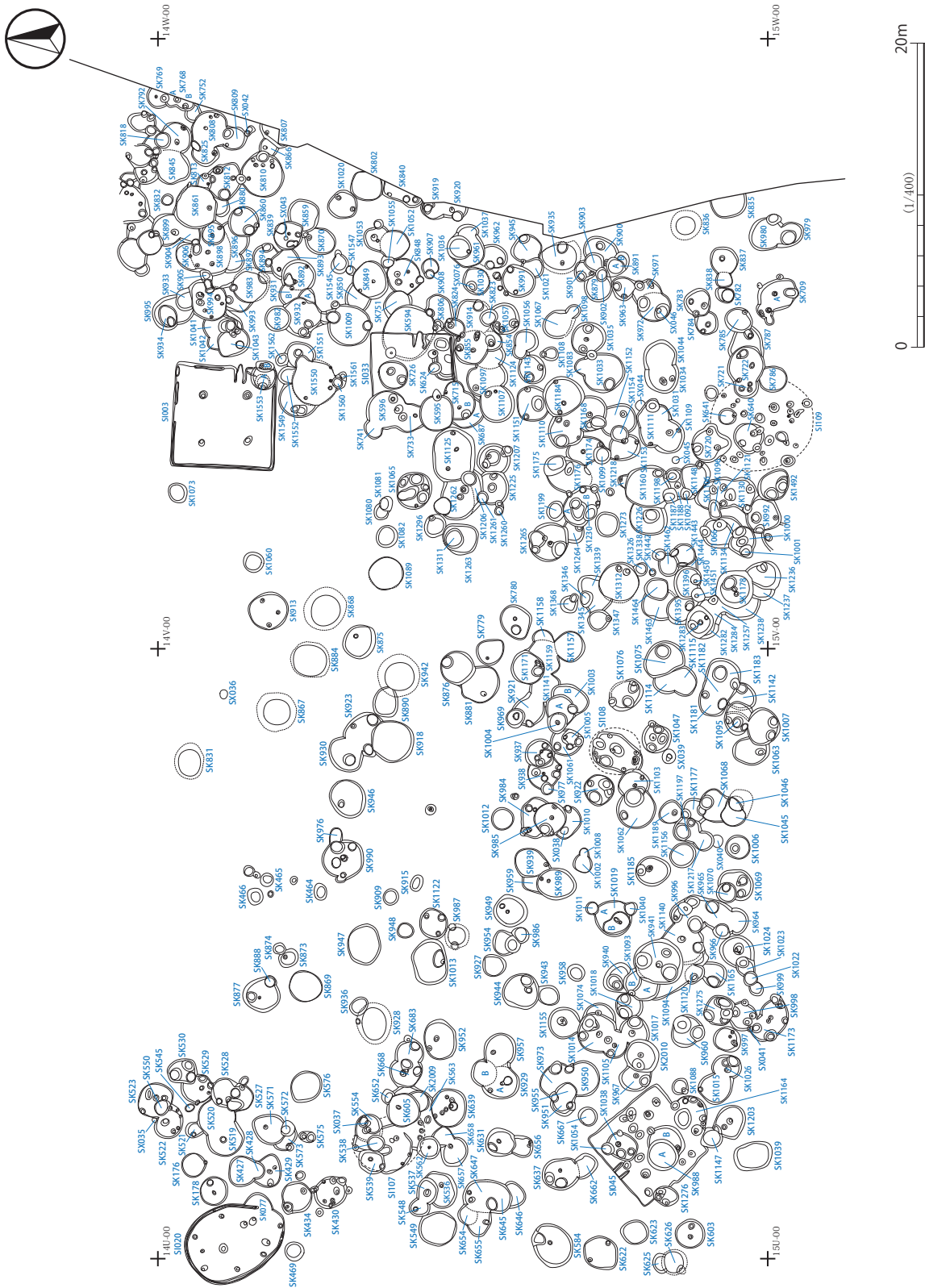
第12図 詳細遺構分布図 (4)



第13図 詳細遺構分布図 (5)

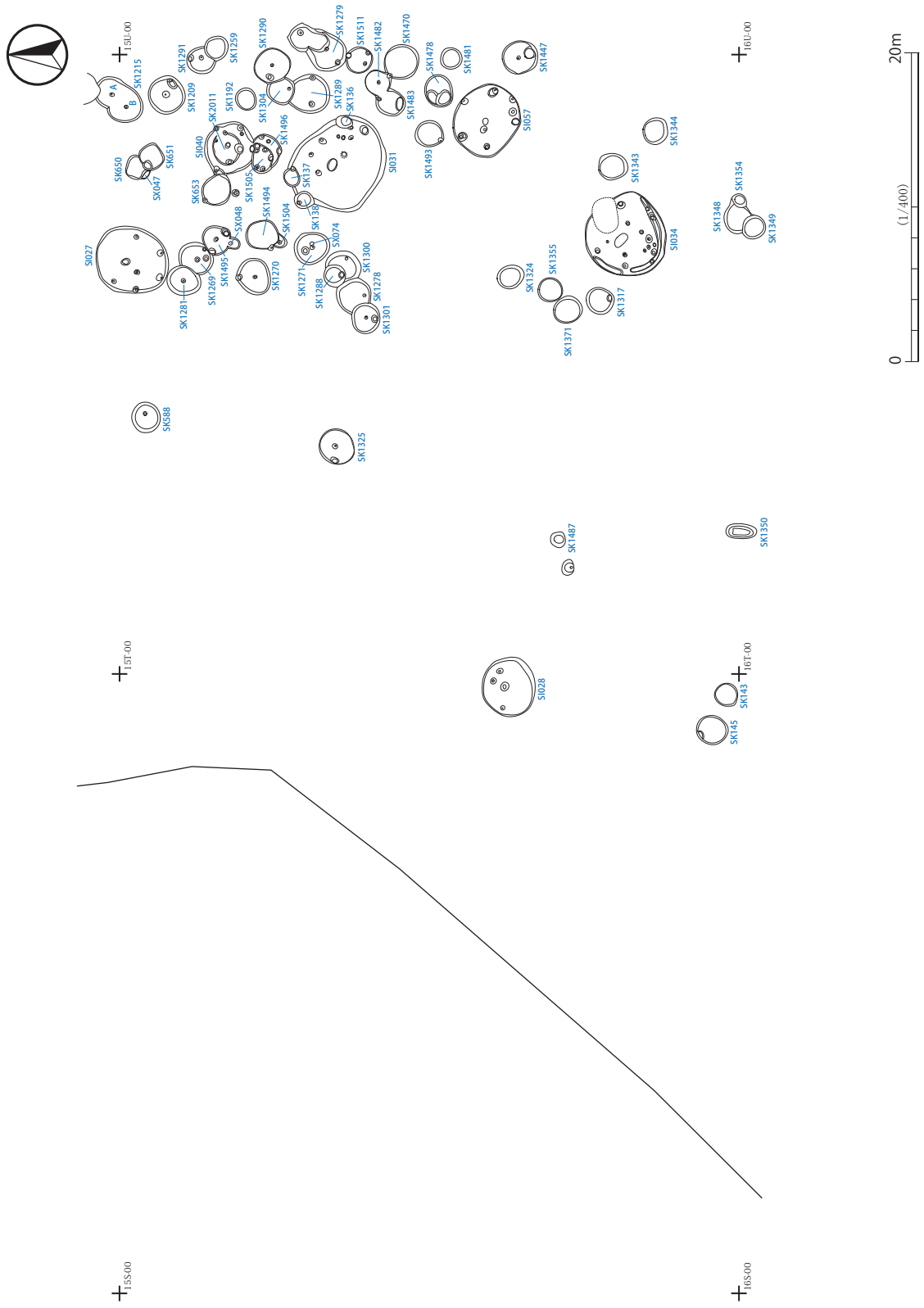


第14図 詳細遺構分布図 (6)



第15図 詳細遺構分布図 (7)



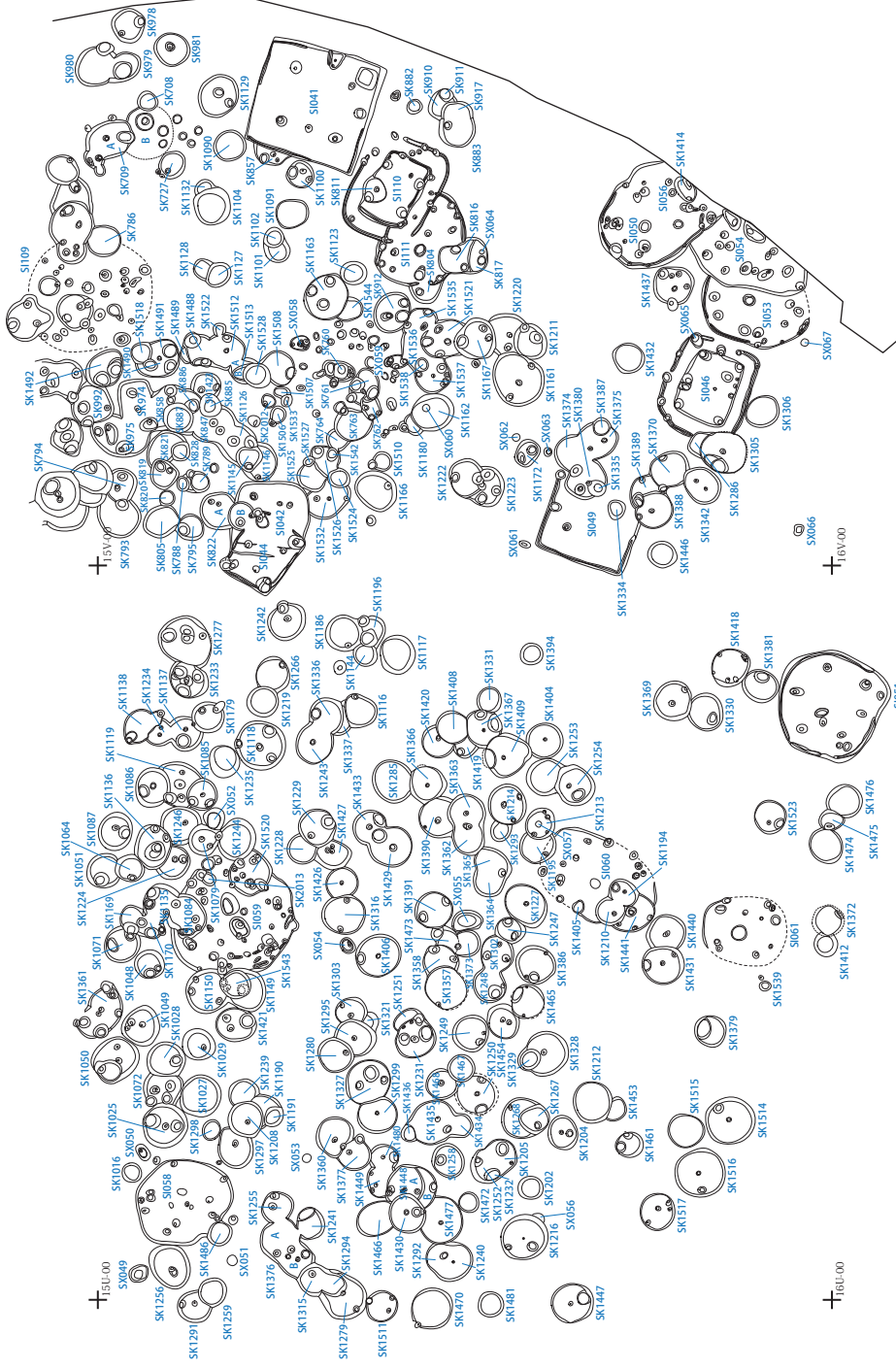


第16図 詳細遺構分布図(8)



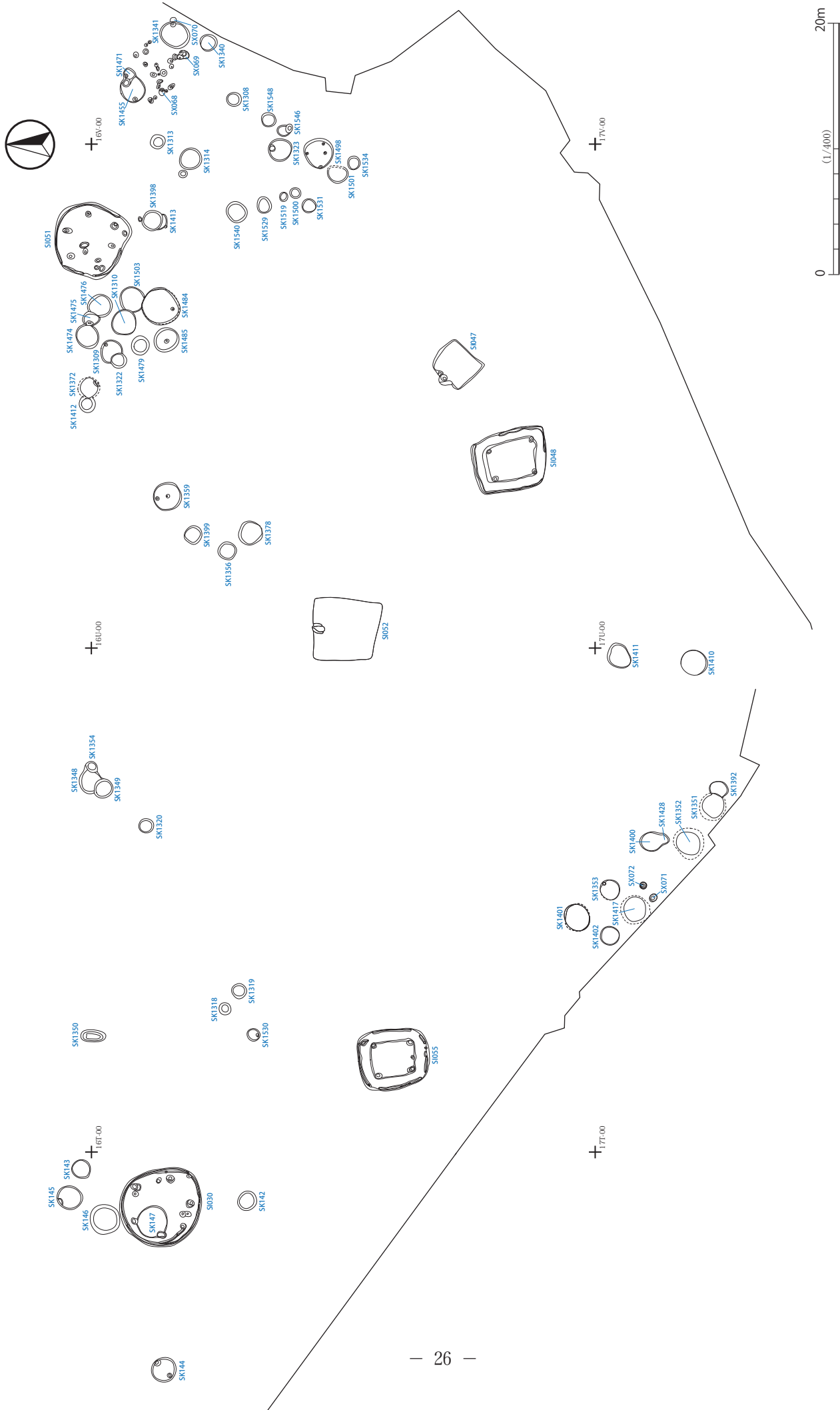
±15W.00

±16W.00



(1/400)

第17図 詳細遺構分布図 (9)



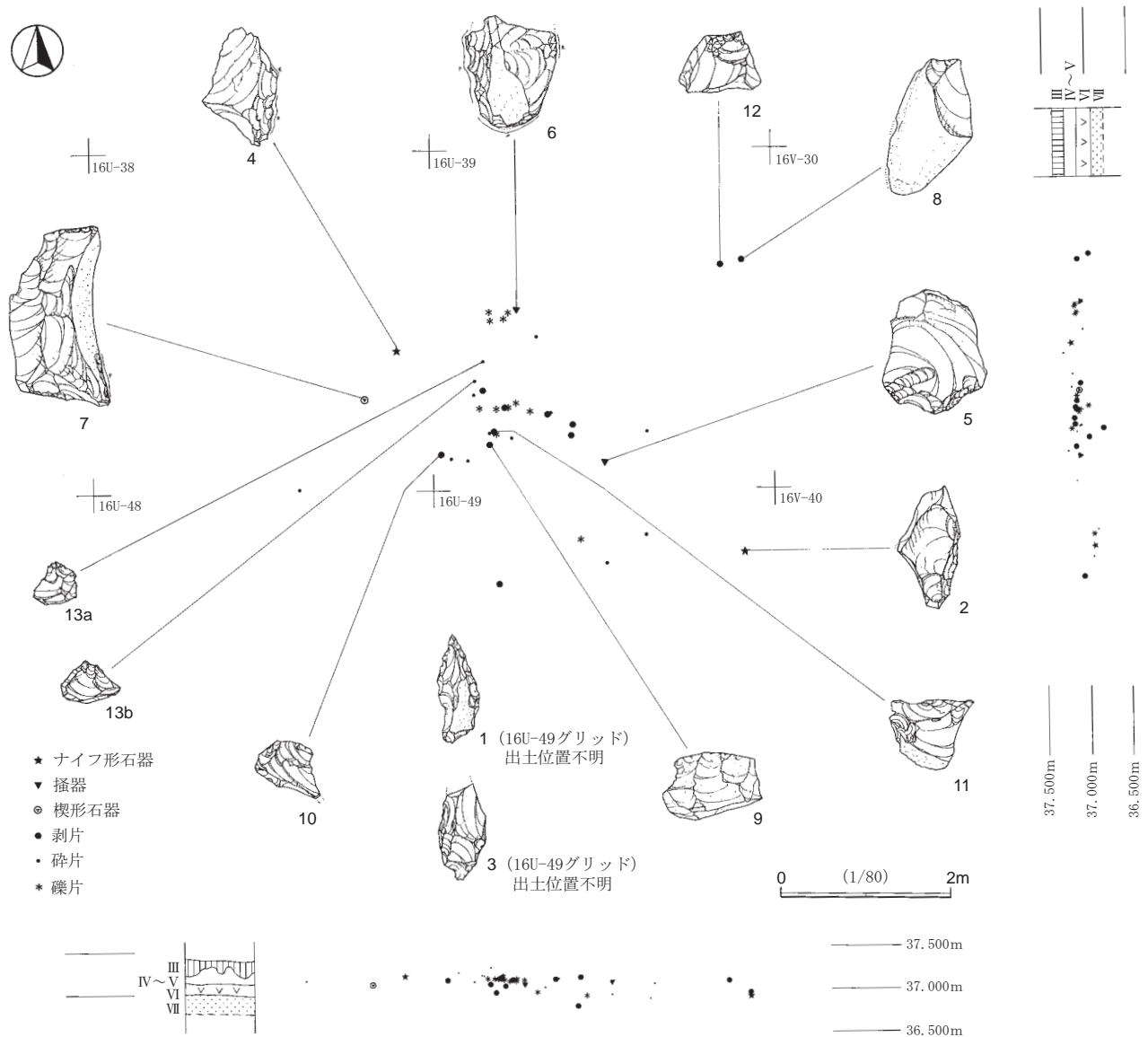
第18図 詳細遺構分布図 (10)

## 第2章 旧石器時代

旧石器時代の調査では遺物集中地点1か所が検出された。この付近は遺跡の北東端にあたり、東に谷津を臨む台地縁辺部に位置する。標高は約38mである。

### 第1節 第29ブロック (第19～22図、第3表、附表1、図版4・56)

**遺物分布** 平面分布は東西約5.2m、南北約3.6mの楕円形を呈する。密集部には剥片・碎片と被熱礫が多数分布しており、これらの接合資料もある。これに対して散漫な周縁部にはナイフ形石器、搔器及び楔形石器などの利器が比較的多い。

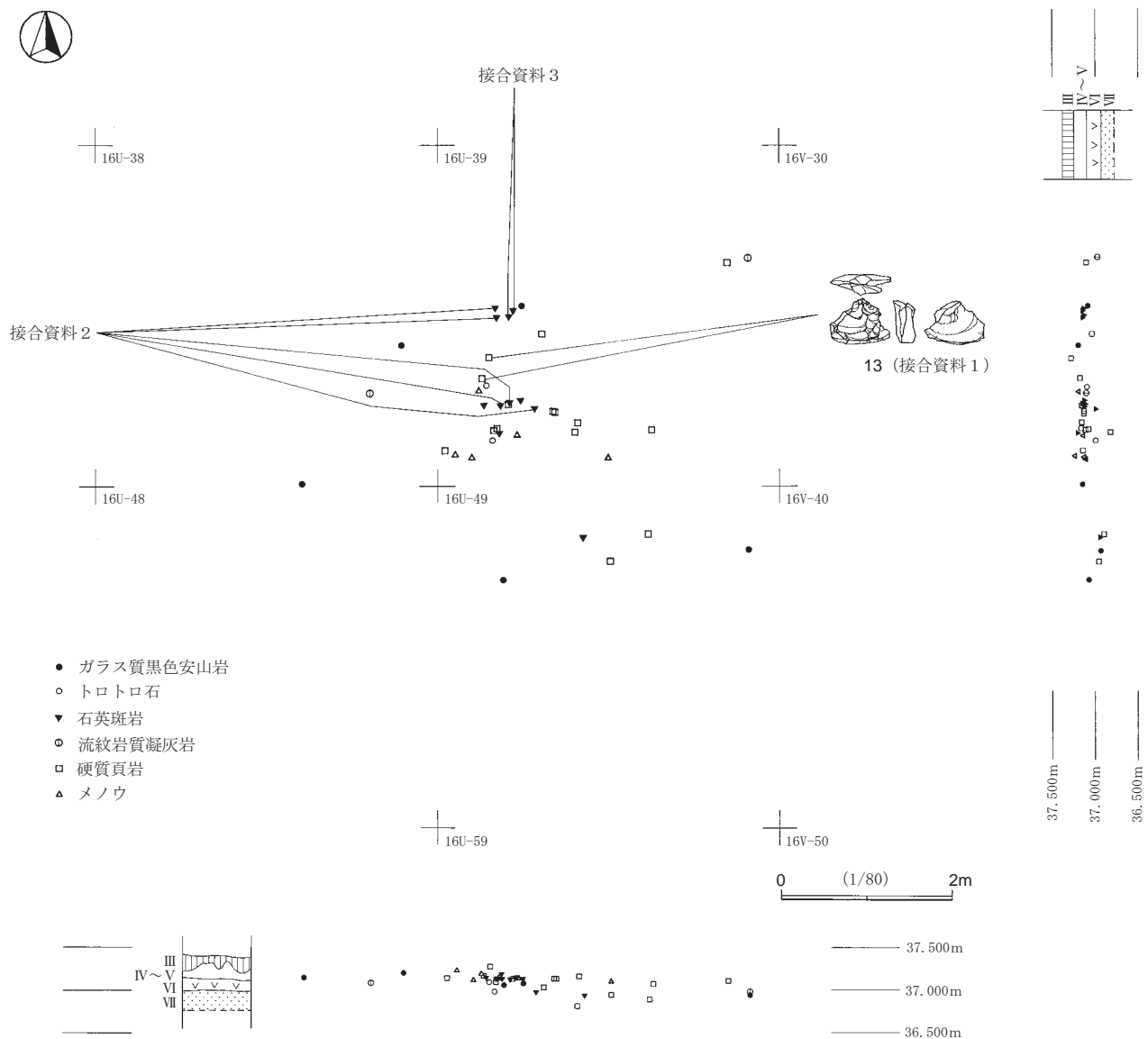


第19図 第29ブロック出土遺物分布図—石器別分布図—

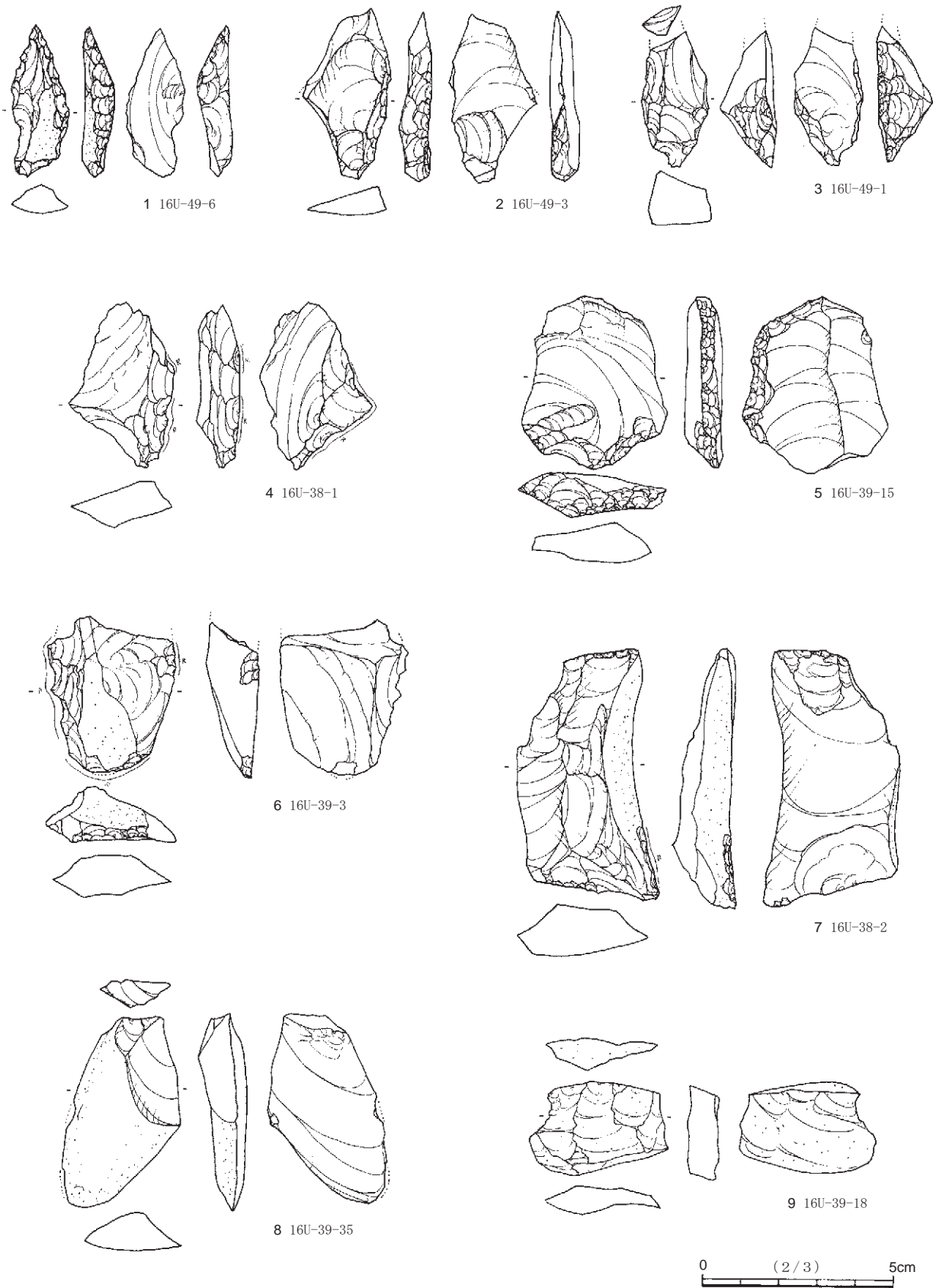
**出土層位** 立川ロームⅢ層からⅦ層にかけて出土した。特にⅣ～Ⅴ層付近に遺物が密集する。遺物の高低差は最大約0.4m、最も密集度高い層準で約0.2mとなっている。

**器種** 計45点の石器が出土した。内訳は、ナイフ形石器3点、角錐状石器1点、搔器2点、楔形石器1点、剥片12点、碎片15点、及び礫片11点となっている（第3表）。

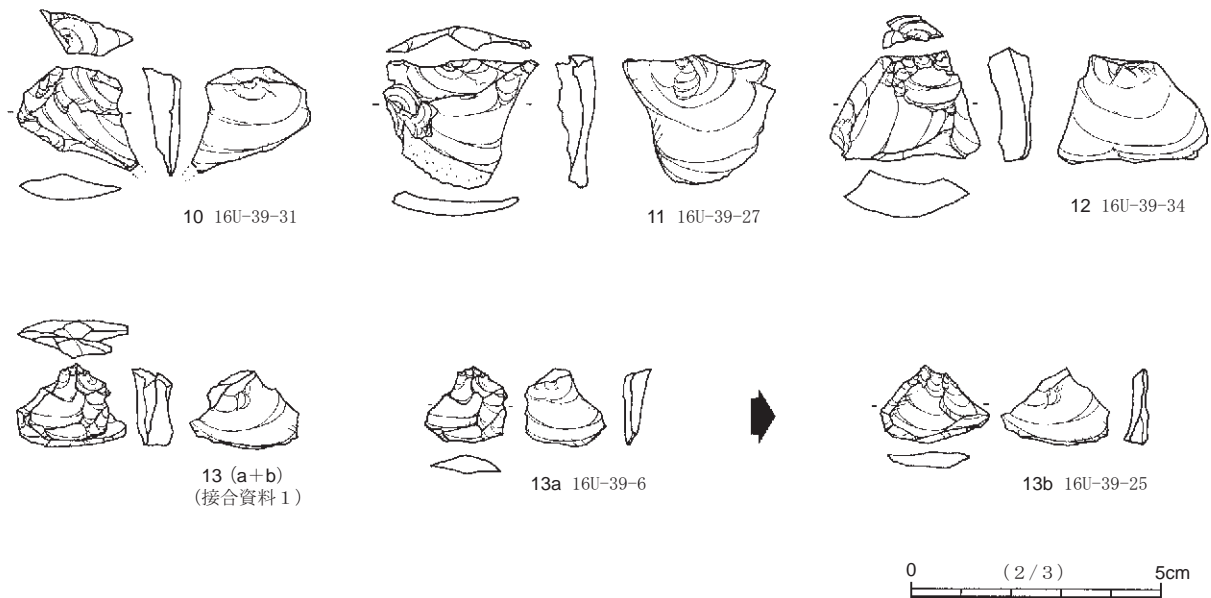
第21図1は角錐状石器である。背面に自然面を残置した横長剥片を素材としており、二側縁加工である。2～4はナイフ形石器である。いずれもガラス質黒色安山岩製で横長剥片を素材としており切出形を呈する。刃潰し加工は急角度で90°に近い。2・3は二側縁加工であるのに対して、4は一側縁加工であり、未成品の可能性もある。5・6は搔器である。いずれも横長剥片を素材としている。5は刃部の欠損後、欠損部（背面）から主要剥離面に向かって連続的な打撃を加え刃部の更新を図っている。石材はメノウである。6は下端部に刃部を作出している。刃部にはガジリによる部分的な損傷がみられる。石材はガラス



第20図 第29ブロック出土遺物分布図－石材別分布図－



第21図 第29ブロック出土遺物実測図(1)



第22図 第29ブロック出土遺物実測図（2）

質黒色安山岩製である。7は楔形石器である。縦長剥片を素材としており、主要剥離面側の上下両端には二次加工による数枚の剥離面が、背面側の右下端部には連続的な小剥離痕がみられる。石材は流紋岩凝灰岩である。8・9、第22図10～12は横長剥片、13は碎片の接合資料である。剥片類の代表例として図化した。8は流紋岩質凝灰岩、9はトロトロ石、10～13は硬質頁岩（チョコ頁岩）である。

**石 材** 石材組成は硬質頁岩17点、石英斑岩11点、ガラス質黒色安山岩7点、メノウ6点、トロトロ石・流紋岩質凝灰岩各2点となっている。この中で石英斑岩はすべて礫片である。

**母岩別資料と接合資料** ガラス質黒色安山岩とトロトロ石に関しては、特徴に乏しく、明確な母岩分類に堪えなかった。この他の石英斑岩・メノウは各2種、硬質頁岩・流紋岩質凝灰岩は各1種に分類できた。単独母岩は搔器1点（第21図4）にとどまる。

一方、接合資料は二次加工にかかわる資料と礫の熱破碎資料に二分され、前者は接合資料1（碎片2点）、接合資料2（礫片5点）と接合資料3（礫片2点）が該当する。

**時 期** 出土層位と石器群の様相から本ブロックは立川ロームIV層下部・V層段階に対比される。

第3表 第29ブロック石器組成表

器種・石材	ナイフ形石器	角錐状石器	搔器	楔形石器	剥片	碎片	礫片	計
ガラス質黒色安山岩	3		1		2	1		7
メノウ			1			5		6
硬質頁岩		1			7	9		17
トロトロ石					2			2
流紋岩質凝灰岩				1	1			2
石英斑岩							11	11
合計	3	1	2	1	12	15	11	45

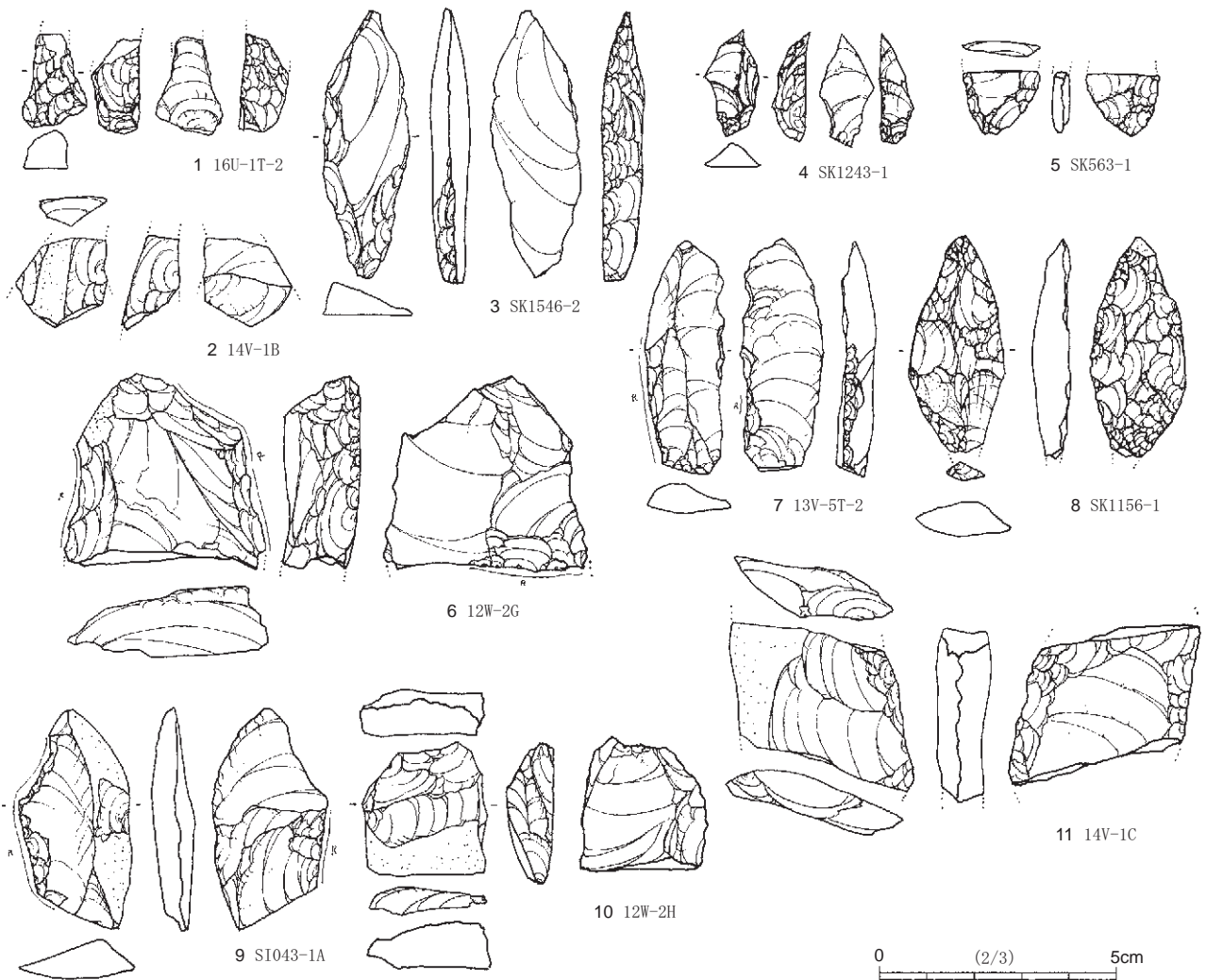
## 第2節 単独出土資料 (第23図、第4表、附表2、図版56・57)

遺物総数は、計36点である。これらは後世の遺構覆土等から出土したものであり、原位置をとどめていない。

内訳は、角錐状石器2点、ナイフ形石器3点、槍先形尖頭器3点、二次加工ある剥片2点、楔形石器1点のほか、石核3点・剥片22点となっている。石器石材はガラス質黒色安山岩を主体として、これに信州系の黒曜石等が加わる。ガラス質黒色安山岩の採取地は利根川と茨城県大洗海岸が想定される。

石器群の様相から、角錐状石器、ナイフ形石器、二次加工ある剥片、石核と剥片類の大半は第29ブックと同時期の立川ロームIV層下部・V層段階、槍先形尖頭器は立川ロームIV層上部に対比される。

第23図1・2は角錐状石器である。1は良質半透明な信州系黒曜石を用いている。先端部はガジリにより欠損している。2は断片であり表面には自然面が残存している。石材はガラス質黒色安山岩である。第23図3・4・7はナイフ形石器である。3は横長剥片を素材として二側縁加工で、技術形態学的には立川ロームVII層段階の可能性もあるが定かではない。石材はガラス質黒色安山岩である。4は信州系黒曜石を用いており寸詰まりな形態を呈する。形態から察すると、再加工の可能性が高い。7は縦長剥片の基部に



第23図 単独出土遺物実測図



第4表 旧石器時代単独出土石器組成表

器種・石材	ナイフ形石器	角錐状石器	槍先形尖頭器	楔形石器	二次加工ある剥片	石核	剥片	計
ガラス質黒色安山岩	2	1	2	1	2	3	21	32
黒曜石	1	1	1					3
メノウ								0
硬質頁岩								0
トロトロ石								0
流紋岩質凝灰岩								0
白滝頁岩							1	1
石英斑岩								0
合計	3	2	3	1	2	3	22	36

鋭角の加工が施されている。石材はガラス質黒色安山岩である。第23図5・8・11は槍先形尖頭器である。5は小型尖頭器の基部破片である。両面加工で、石材はガラス質黒色安山岩である。8は漆黒色の信州系黒曜石を用いた両面加工の小型尖頭器である。ほぼ完形であるが、基部が一部欠損している点が惜しまれる。11は比較的大型な尖頭器の破片である。石材はガラス質黒色安山岩製である。第23図6・9は二次加工ある剥片である。ともにガラス質黒色安山岩製である。いずれも表裏に二次加工がみられる。何らかの未成品の可能性が高い。

第23図10は楔形石器である。ガラス質黒色安山岩製で、右側縁には両極打法により削片が剥離された痕跡をとどめる。

## 第3章 縄文時代

検出された縄文時代の遺構は竪穴住居跡68軒、炉跡76基、土坑1500基以上及びピット多数であった。以下、住居跡は箇条書きで要点を記し、炉跡・土坑は規模等を表にまとめた。これら表記の内、重複の項では当該遺構が重複した遺構より古い場合は、重複した遺構番号の左側に→を、当該遺構が重複した遺構より新しい場合は、重複した遺構番号の右側に→を付した。→がどちらにもない場合は新旧関係が不明であることを示している。また、出土した土器型式の太字表記はその遺構から主体的に出土したことを示す。いわゆる中峠式は、ここでは加曾利E1式古段階に含めている。

### 第1節 竪穴住居跡 (第24～50図、図版4～13)

(78) SI001 (第24図、図版4)

**位置** 12V-69・79、12W-60・70

**平面形** (規模) 長方形 (4.10m×2.55m、深さ20cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (108cm)・P2 (42cm)・P3 (72cm)・P4 (73cm)・P5 (54cm)・P6 (92cm)・P7 (20cm)

**炉** なし

**重複** なし

**時期** 1a期

**遺物** 土器 1,870g 加曾利E1式古段階

石器 磨石1点、二次加工剥片1点、剥片1点、碎片1点

土製品 なし

**備考** 有段の住居跡であるが、掘り込みが浅いため中央部分のみを検出し、1段高い段部の範囲及び壁は検出できなかった。

(78) SI002 (第24図、図版4)

**位置** 12W-63・64・73・74・83・84

**平面形** (規模) 隅丸長方形 (6.70m×5.20m、深さ15～45cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (66cm)・P2 (15cm)・P3 (49cm)・P4 (24cm)・P5 (70cm)・P6 (26cm)・P7 (17cm)・P8 (65cm)・P9 (18cm)・P10 (43cm)・P11 (70cm)・P12 (50cm)・P13 (45cm)・P14 (14cm)・P15 (17cm)・P16 (61cm)・P17 (59cm)

**炉** なし

**重複** →SK064・→SK066・→SK069

**時期** 1a期

**遺物** 土器 67,470g 阿玉台Ⅲ式・同Ⅳ式・勝坂式末期・中峠式・加曾利E1式古段階・同1式・同2式・同3式

石器 コハク玉1点、石鏃2点、打製石斧5点、局部磨製石斧1点、磨製石斧3点、磨石類2点、石皿2点、二次加工剥片3点、剥片32点、碎片12点、原石1点

土製品 土器片錘1点

**備考** 有段住居跡である。中央の低い床面及び段部の床面とも壁溝が巡る。

(78) SI004 (第25図、図版4)

**位置** 13W-12・13・22・23

**平面形** (規模) 楕円形 (4.80m×3.64m、深さ17cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (79cm)・P2 (36cm)・P3 (52cm)・P4 (54cm)・P5 (83cm)・P6 (29cm)・P7 (-51cm)・P8 (-46cm)・P9 (-66cm)・P10 (-46cm)・P11 (-52cm)・P12 (-24cm)・P13 (-52cm)

**炉** (規模) 地床炉 (80cm×70cm、深さ5cm)

**重複** → SK053・→ SK054・SK055→

**時期** 1b期

**遺物** 土器 6,840g 加曾利E1式新段階

石器 石鏃1点、剥片4点、碎片3点、原石1点

土製品 なし

**備考** 壁溝が巡る。炉周辺の床面は硬化していた。

(78) SI005 (第25図、図版4)

**位置** 12W-52・53・54・63・64

**平面形** (規模) 楕円形 (5.35m×4.08m、深さ35cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (68cm)

**炉** (規模) 地床炉 (70cm×58cm、深さ26cm)

**重複** なし

**時期** 2a期

**遺物** 土器 24,835g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式古段階

石器 石鏃1点、磨製石斧1点、磨石類1点、剥片6点、碎片6点、石核1点、石皿1点、浮子1点、軽石1点、原石2点

土製品 土器片錘1点

**備考** 床面から石皿が出土した。

(78) SI007 (第26図、図版4)

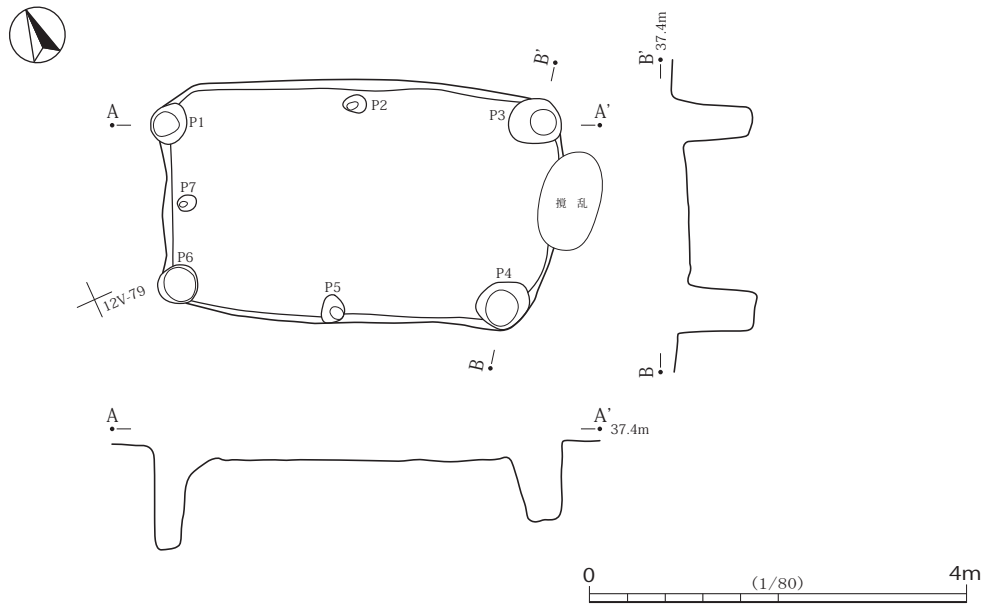
**位置** 12U-29・39、12V-20・30

**平面形** (規模) 楕円形 (4.30m×3.85m、深さ15cm)

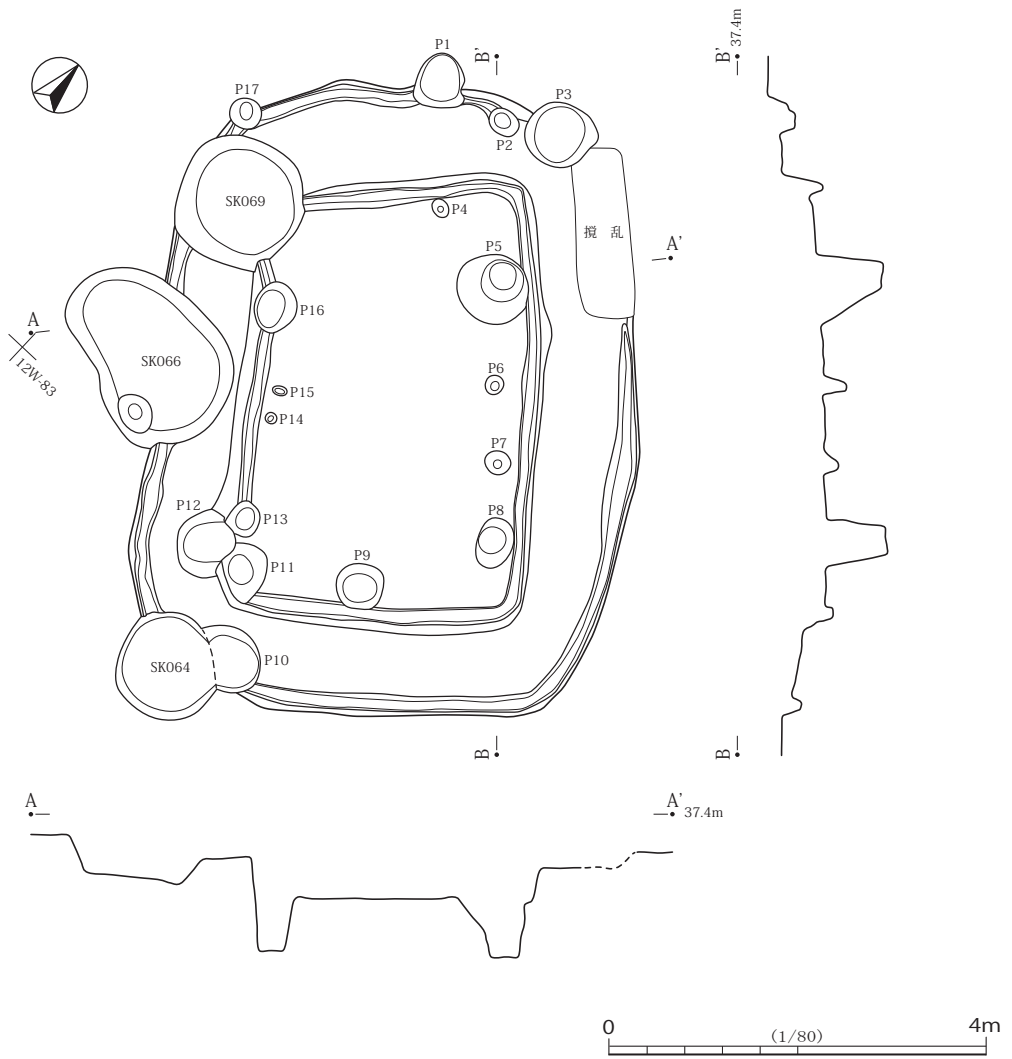
**柱穴** (床面からの深さ) P1 (24cm)・P2 (62cm)・P3 (64cm)・P4 (41cm)・P5 (80cm)・P6 (38cm)・P7 (55cm)・P8 (34cm)・P9 (64cm)・P10 (59cm)・P11 (76cm)・P12 (34cm)・P13 (31cm)・P14 (28cm)・P15 (100cm)・P16 (46cm)・P17 (21cm)・P18 (29cm)・P19 (66cm)・P20 (60cm)・P21 (33cm)・P22 (52cm)・P23 (48cm)

**炉** (規模) 地床炉 (45cm×35cm、深さ5cm)

(78)SI001



(78)SI002



第24図 縄文時代住居跡 (1)

**重複** SI012→

**時期** 不明

**遺物** 土器 3,415g 阿玉台IV式・加曾利E1式

石器 石鏃3点、楔形石器1点、石皿1点、二次加工剥片1点、剥片3点、碎片4点

土製品 円板1点

**備考** 炉は床面が焼けた程度のものであった。

(78) SI008 (第26図、図版4)

**位置** 12V-24・25・34・35

**平面形** (規模) 楕円形 (5.35m×4.55m、深さ20cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (61cm)・P2 (66cm)・P3 (27cm)・P4 (47cm)・P5 (42cm)・P6 (66cm)・P7 (70cm)・P8 (74cm)・P9 (82cm)・P10 (50cm)・P11 (53cm)

**炉** (規模) 地床炉 (32cm×25cm、深さ10cm)

**重複** SI009

**時期** 2c～3a期

**遺物** 土器 20,350g 阿玉台IV式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2-3式・同3式古段階・曾利新1式

石器 石鏃5点、同未成品3点、楔形石器2点、磨石類2点、二次加工剥片2点、剥片12点、石核2点、  
碎片18点、原石2点

土製品 円板1点

**備考** SI009との切り合い関係は不明である。

(78) SI009 (第26図、図版5)

**位置** 12V-24・25・34

**平面形** (規模) 楕円形? (-m×-m、深さ-cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (26cm)・P2 (33cm)・P3 (32cm)・P4 (28cm)・P5 (45cm)・P6 (27cm)・P7 (16cm)・  
P8 (58cm)・P9 (46cm)・P10 (41cm)・P11 (21cm)・P12 (24cm)・P13 (25cm)・P14 (55cm)・P15 (24cm)

**炉** なし

**重複** SI008

**時期** 不明

**遺物** 土器 1,850g 加曾利E3式

石器 石鏃3点、同未成品1点

土製品 なし

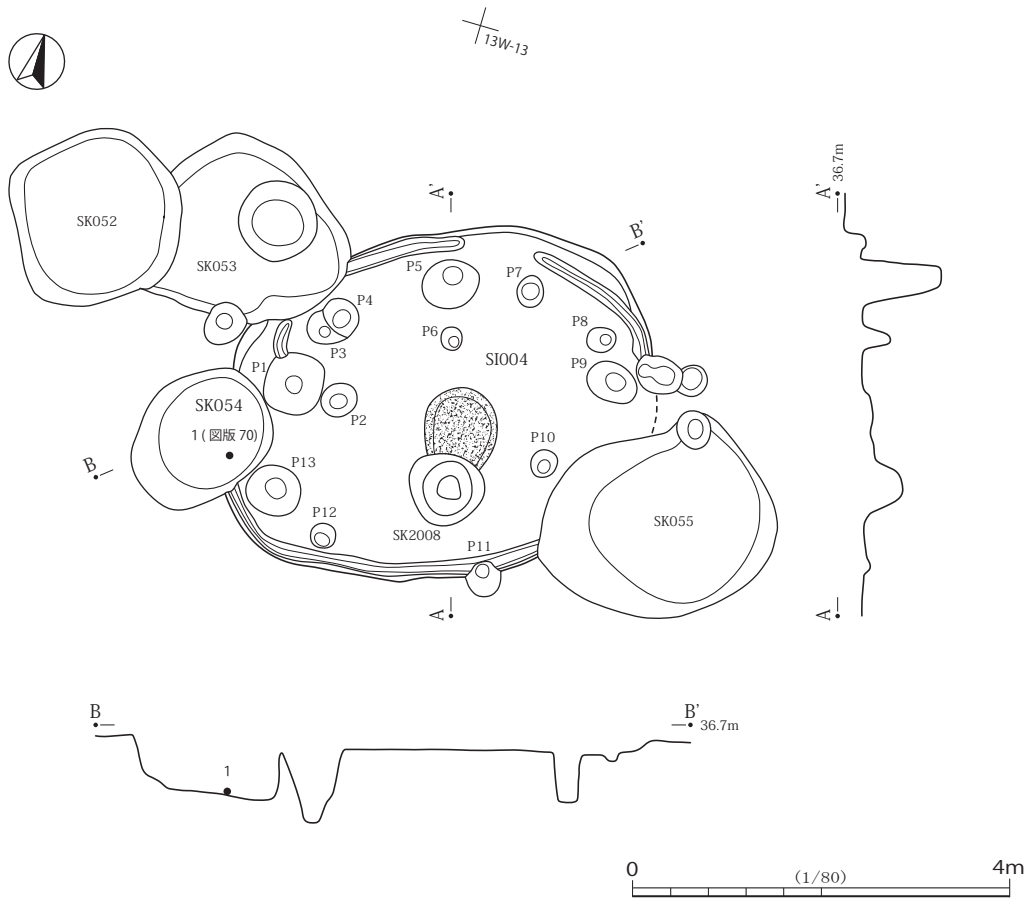
**備考** 掘り込みが浅いため、壁の検出は一部に留まる。SI008との切り合い関係は不明である。

(78) SI010 (第27図、図版5)

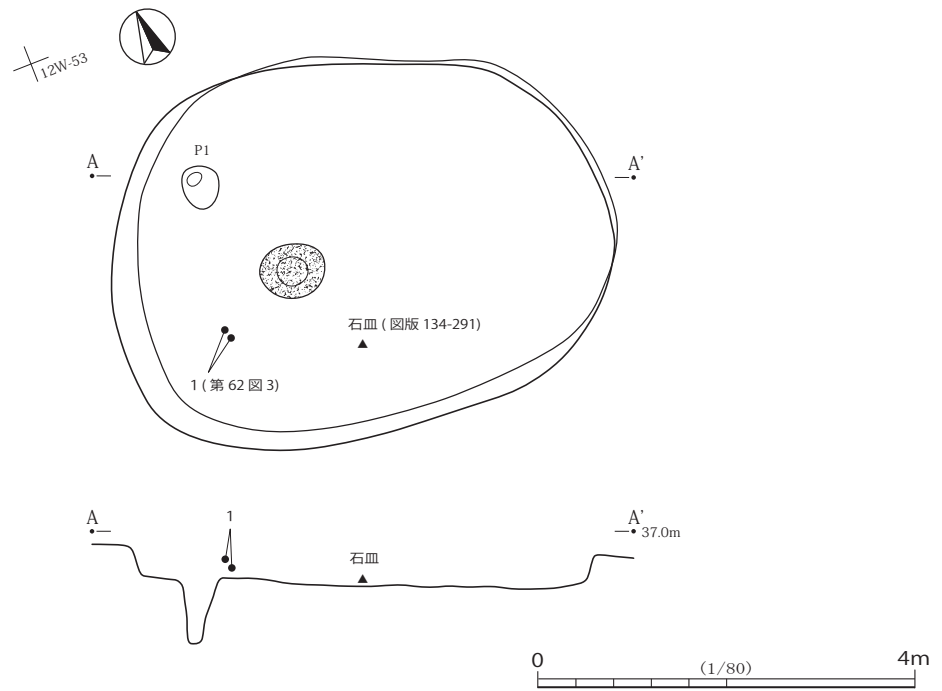
**位置** 12V-34・35・44・45

**平面形** (規模) 不整円形 (4.90m×4.10m、深さ14cm)

(78)SI004・SK054



(78)SI005



第25図 縄文時代住居跡 (2)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (17cm)・P2 (59cm)・P3 (44cm)・P4 (64cm)・P5 (52cm)・P6 (12cm)・P7 (22cm)・P8 (29cm)・P9 (26cm)・P10 (62cm)・P11 (76cm)

**炉** (規模) 地床炉 (43cm×35cm、深さ2cm)

**重複** なし

**時期** 不明

**遺物** 土器 4,985g 勝坂式末期・加曾利E1~2式・同3式古~中段階

石器 石鏃1点、同未成品1点、剥片1点、碎片1点、原石1点

土製品 なし

**備考** 掘り込みが浅く、壁の一部が検出できなかった。

(78) SI011 (第27図、図版5)

**位置** 12U-28・29・38・39

**平面形** (規模) 楕円形 (5.00m×4.15m、深さ6cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (60cm)・P2 (19cm)・P3 (52cm)・P4 (64cm)・P5 (33cm)・P6 (49cm)・P7 (52cm)・P8 (52cm)・P9 (42cm)

**炉** なし

**重複** なし

**時期** 2期

**遺物** 土器 4,105g 阿玉台IV式・加曾利E2~2-3式・同3式古段階

石器 楔形石器1点、打製石斧1点、剥片1点、軽石2点

土製品 なし

**備考** 掘り込みが浅く、壁はほとんど検出できなかった。P5から出土した大型土器片から2期と判断した。

(78) SI012 (第26図、図版4)

**位置** 12V-20・30

**平面形** (規模) 楕円形 (4.80m×3.82m、深さ6cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (122cm) P2 (62cm) P3 (49cm)・P4 (70cm)・P5 (61cm)・P6 (52cm)・P7 (62cm)・P8 (22cm)・P9 (46cm)・P10 (32cm)・P11 (60cm)・P12 (54cm)

**炉** なし

**重複** →SI007・SK230・SK231

**時期** 不明

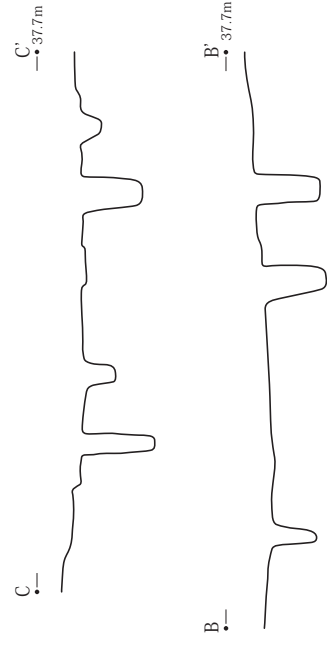
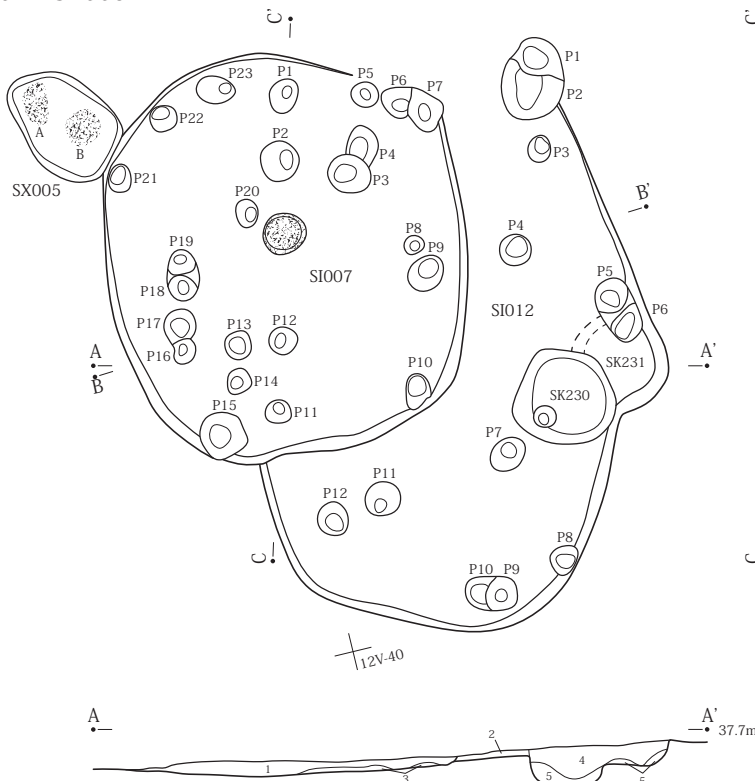
**遺物** 土器 2,785g 勝坂式末期・加曾利E1~2式・同3式

石器 石鏃未成品1点、剥片8点、碎片1点、浮子1点

土製品 なし

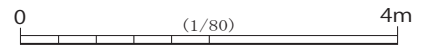
**備考**

(78)SI007・SI012・SX005

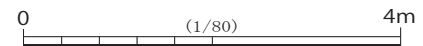
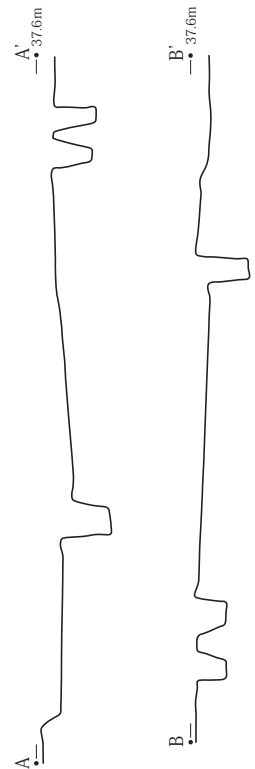
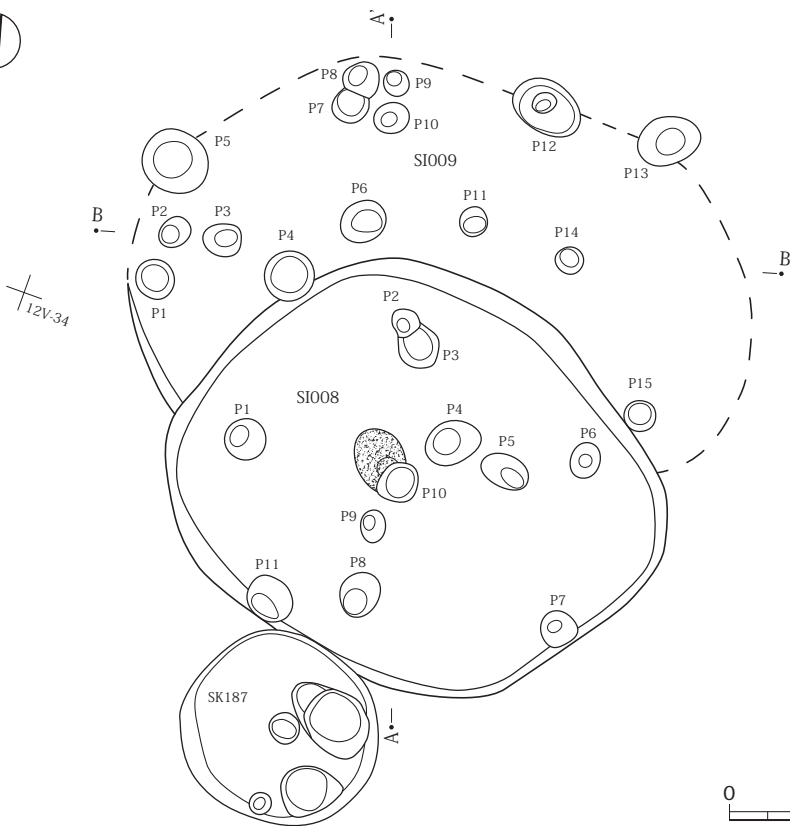


(78)SI007・SI012・SK230・SK231

1. 暗褐色土 ローム粒少
2. 暗褐色土 ローム粒少
3. 暗黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック多
4. 暗褐色土 ローム粒少 ロームブロック少
5. 暗黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック多



(78)SI008・SI009



第26図 縄文時代住居跡 (3)



(78) SI013 (第27図、図版5)

位置 12U-55・56・65・66

平面形 (規模) 楕円形 (4.85m×3.95m、深さ15cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (58cm)・P2 (52cm)・P3 (44cm)・P4 (32cm)・P5 (59cm)

炉 (規模) 地床炉 (62cm×60cm、深さ6cm)

重複 なし

時期 2a期

遺物 土器 8,435g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式古段階

石器 磨石類3点、二次加工剥片1点、碎片1点、原石1点

土製品 なし

備考 炉周辺の床面は一部硬化していた。

(78) SI014 (第28図、図版5)

位置 12U-66・67・76・77

平面形 (規模) 楕円形 (5.55m×4.40m、深さ30cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (48cm)・P2 (55cm)・P3 (72cm)・P4 (44cm)・P5 (59cm)・P6 (40cm)・P7 (58cm)・P8 (70cm)・P9 (83cm)・P10 (58cm)・P11 (63cm)・P12 (37cm)・P13 (48cm)・P14 (75cm)・P15 (52cm)・P16 (61cm)・P17 (77cm)・P18 (43cm)・P19 (70cm)・P20 (29cm)・P21 (25cm)・P22 (49cm)・P23 (73cm)・P24 (49cm)

炉 (規模) 地床炉 (58cm×50cm、深さ15cm)

重複 →SI016

時期 1a期

遺物 土器 30,470g 加曾利E1式古段階・同2式古段階・同3式

石器 石鏃2点、同未成品8点、磨製石斧1点、二次加工剥片4点、剥片・碎片多、原石2点

土製品 なし

備考

(78) SI015 (第29図、図版5)

位置 12U-63・64・73・74

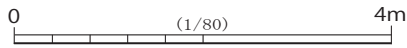
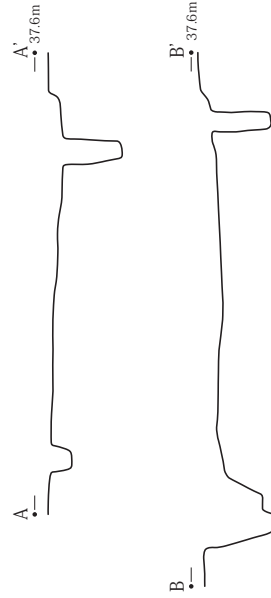
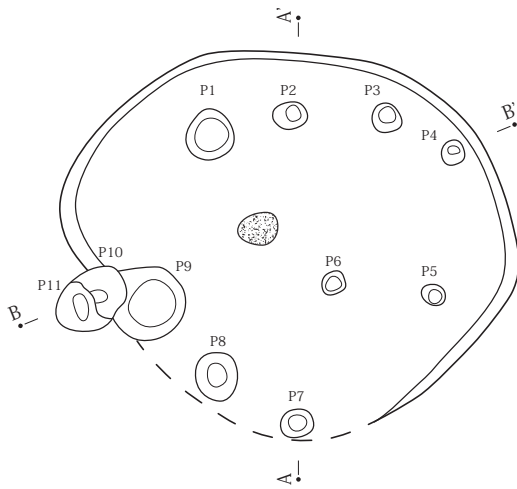
平面形 (規模) 隅丸方形 (5.75m×5.46m、深さ36cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (28cm)・P2 (34cm)・P3 (28cm)・P4 (54cm)・P5 (35cm)・P6 (38cm)・P7 (54cm)・P8 (28cm)・P9 (16cm)・P10 (21cm)・P11 (30cm)・P12 (24cm)・P13 (21cm)・P14 (24cm)・P15 (38cm)・P16 (36cm)・P17 (42cm)・P18 (55cm)・P19 (34cm)・P20 (16cm)・P21 (18cm)・P22 (30cm)・P23 (20cm)・P24 (19cm)・P25 (38cm)・P26 (26cm)・P27 (18cm)・P28 (24cm)・P29 (49cm)・P30 (17cm)・P31 (44cm)・P32 (33cm)・P33 (36cm)・P34 (21cm)・P35 (26cm)・P36 (33cm)・P37 (26cm)・P38 (26cm)・P39 (35cm)・P40 (34cm)・P41 (38cm)・P42 (26cm)・P43 (24cm)・P44 (20cm)・P45 (54cm)・P46 (29cm)・P47 (77cm)・P48 (14cm)・P49 (31cm)・P50 (28cm)・P51 (14cm)

(78)SI010



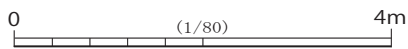
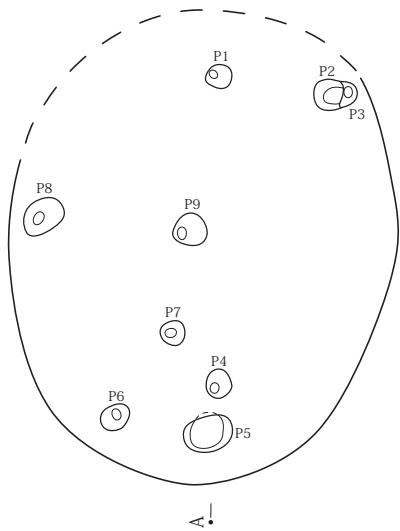
12V-34



(78)SI011



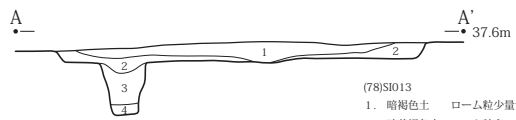
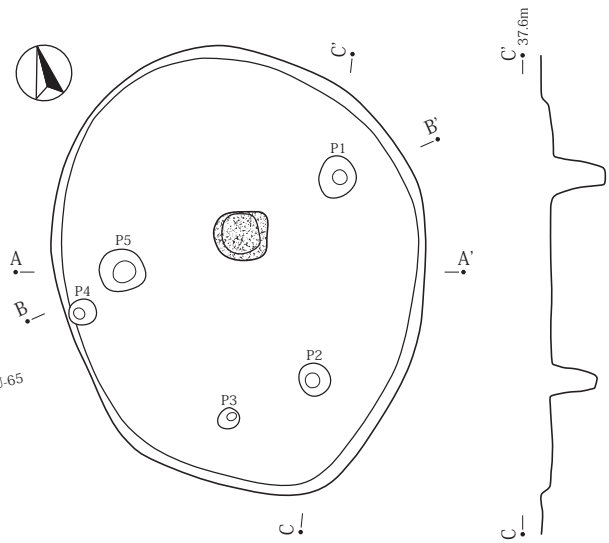
12U-29



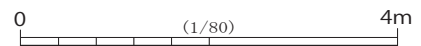
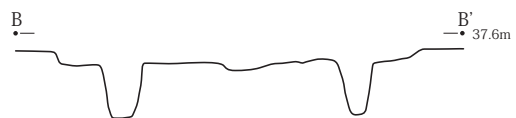
(78)SI013



12U-65



- (78)SI013
- 1. 暗褐色土 ローム粒少量含む
  - 2. 暗黄褐色土 ローム粒多、ロームブロック多
  - 3. 暗褐色土 ローム粒少、ロームブロック少
  - 4. 暗黄褐色土 ローム粒多量含む



第27図 縄文時代住居跡 (4)

炉 なし

重複 SK255・SK260

時期 1a期

遺物 土器 15,620g 阿玉台IV式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同新段階・同3式新段階

石器 石鏃4点、磨石類1点、剥片5点、原石1点

土製品 なし

備考 有段住居跡である。中央の低い床面及び段部の床面とも壁溝が巡る。中央床面は硬化しており、多数の小穴が検出された。覆土上部から土器片がややまとまって出土した。

(78) SI016 (第28図、図版5)

位置 12U-56・57・66・67

平面形(規模) 楕円形(5.20m×4.50m、深さ12cm)

柱穴(床面からの深さ) P1(23cm)・P2(72cm)

炉(規模) 埋甕炉(164cm×148cm、深さ26cm)

重複 SI014→・SK271

時期 2c期

遺物 土器 8,585g 加曾利E2式新段階・同2-3式・同3式古段階

石器 石鏃1点、石鏃未成品1点、磨製石斧1点、二次加工剥片3点、剥片2点、碎片10点、軽石1点

土製品 なし

備考 部分的に壁溝が巡る。

(78) SI017 (第30図、図版6)

位置 12W-84・85・96、13W-05・06

平面形(規模) 長楕円形(7.15m×4.00m、深さ18cm)

柱穴(床面からの深さ) P1(42cm)・P2(55cm)・P3(22cm)

炉(規模) 土器片囲・埋甕炉(61cm×45cm、深さ15cm)

重複 SK030→・SK2004

時期 3b期

遺物 土器 3,400g 加曾利E3式中段階

石器 石鏃未成品1点、二次加工剥片1点、剥片2点、碎片1点

土製品 土器片錘1点、円板2点

備考 一部に壁溝が巡る。

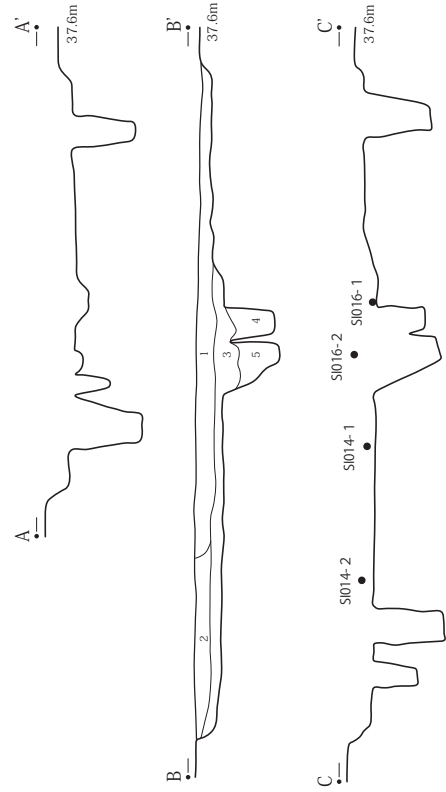
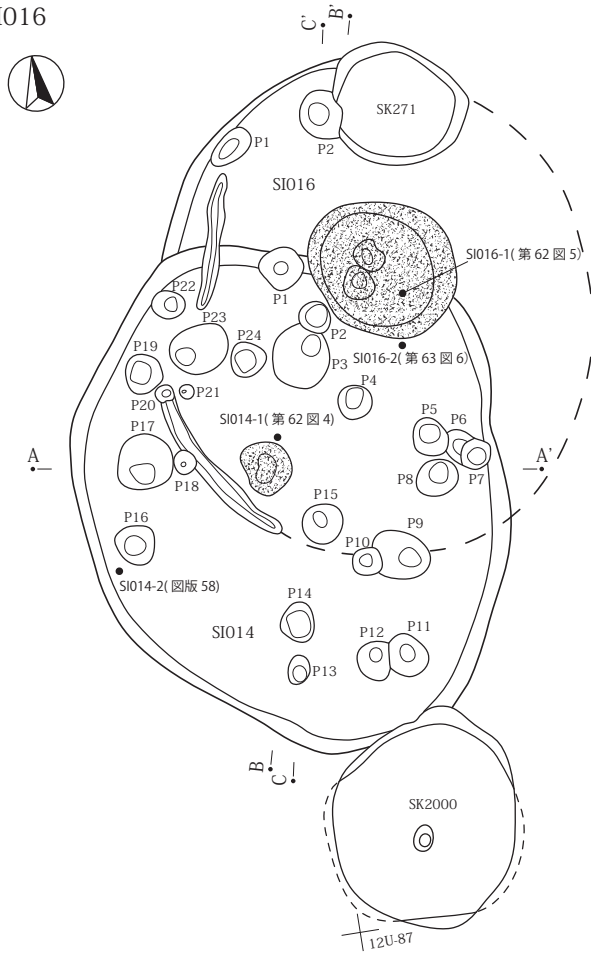
(78) SI018 (第28図、図版6)

位置 12U-90・91、13U-00・01・10・11

平面形(規模) 卵円形(6.53m×5.12m、深さ30cm)

柱穴(床面からの深さ) P1(75cm)・P2(75cm)・P3(38cm)・P4(69cm)・P5(101cm)・P6(85cm)・P7(78

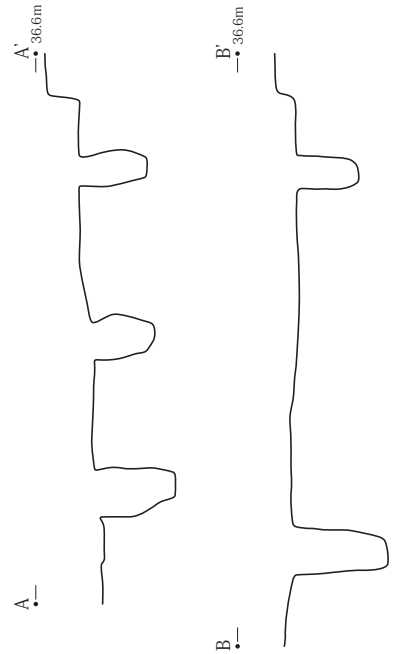
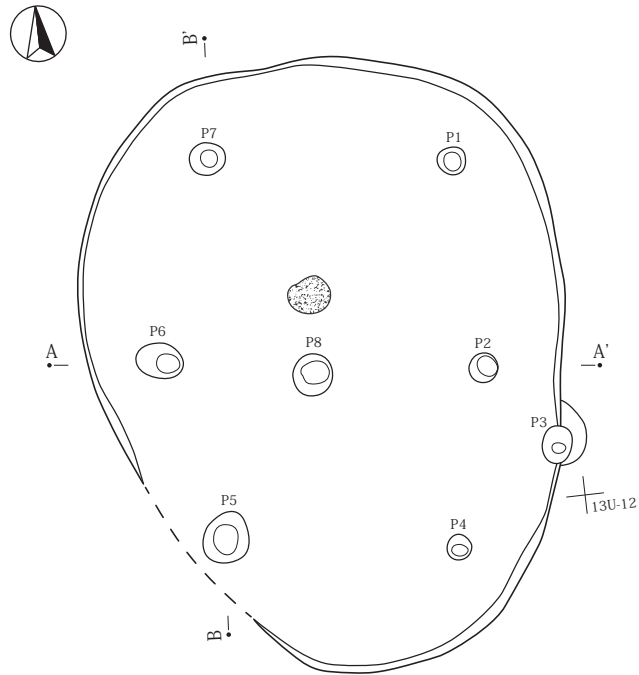
(78)SI014・SI016



- (78)SI014・(78)SI016
1. 暗褐色土 ローム粒少量含む
  2. 暗褐色土 ローム粒少量含む
  3. 暗褐色土 ローム粒少量含む
  4. 暗褐色土 ローム粒少量含む
  5. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多量に含む

0 (1/80) 4m

(78)SI018



0 (1/80) 4m

第28図 縄文時代住居跡 (5)

cm)・P8 (70cm)

**炉** (規模) 地床炉 (45cm×40cm、深さ—cm)

**重複** なし

**時期** 2b期

**遺物** 土器 4,935g 阿玉台Ⅲ式・加曾利E1式古段階・同2式新段階・同3式

石器 石鏃未成品1点、磨製石斧1点、磨石類1点、剥片1点、原石2点

土製品 なし

**備考** 炉は床面が焼けた程度のものであった。

(78) SI019 (第29図、図版6)

**位置** 13U-30・31・40・41

**平面形** (規模) 不整円形 (4.30m×4.08m、深さ38cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (59cm)・P2 (43cm)・P3 (46cm)・P4 (40cm)・P5 (50cm)・P6 (14cm)・P7 (55cm)・P8 (42cm)

**炉** (規模) 地床炉 (40cm×40cm、深さ—cm)

**重複** SK093・SK094・→SK095

**時期** 2b期

**遺物** 土器 13,250g 加曾利E2式古段階・同新段階

石器 石鏃未成品1点、磨石類1点

土製品 なし

**備考** 炉は床面が焼けた程度のものであった。

(78) SI020 (第30図、図版6)

**位置** 14T-09・19、14U-00・10

**平面形** (規模) 卵円形 (6.84m×5.00m、深さ20cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (55cm)・P2 (18cm)・P3 (57cm)・P4 (70cm)・P5 (17cm)・P6 (76cm)・P7 (64cm)・P8 (84cm)・P9 (60cm)・P10 (81cm)・P11 (66cm)・P12 (21cm)

**炉** (規模) 埋甕炉 (58cm×60cm、深さ28cm)

**重複** SK077

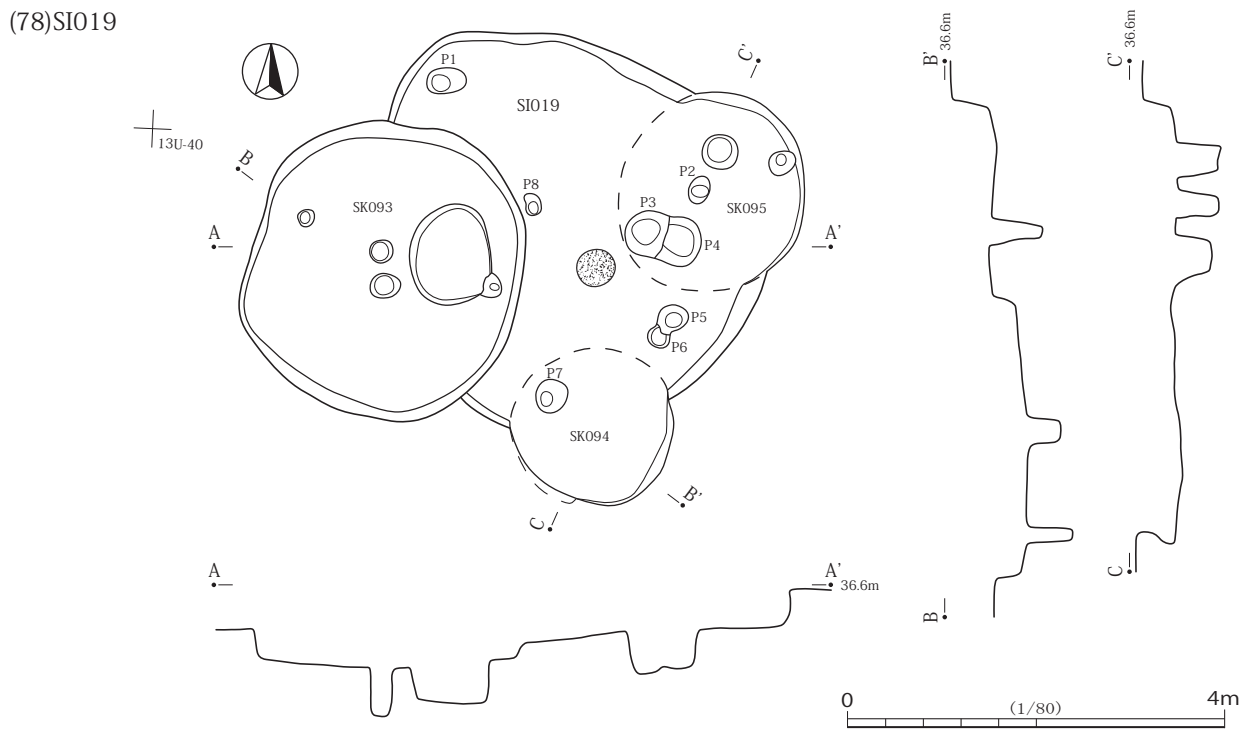
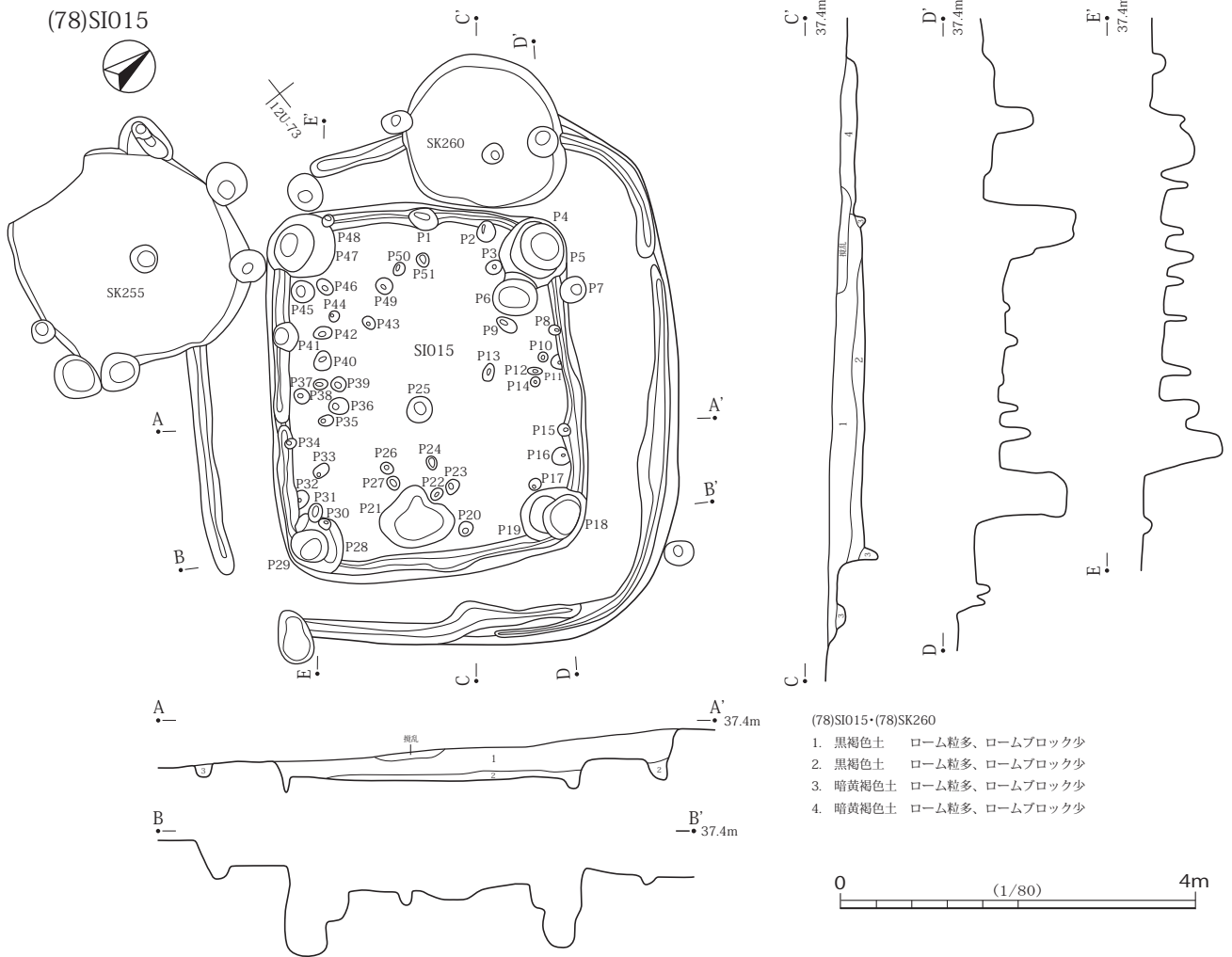
**時期** 1a期

**遺物** 土器 24,040g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同新段階・同2式古段階・同3式・曾利新1式

石器 石鏃2点、磨製石斧2点、磨石類1点、剥片4点、碎片3点、二次加工ある礫1点、原石1点

土製品 なし

**備考** 壁溝が巡る。



第29図 縄文時代住居跡 (6)

(78) SI021A・B (第31図、図版6・7)

**位置** 14T-26・27・36・37・47

**平面形** (規模) A 楕円形 (5.40m×3.90m、深さ14cm) B 楕円形 (6.70m×4.75m、深さ15cm)

**柱穴** (床面からの深さ) A P1 (63cm)・P2 (55cm)・P3 (40cm)・P4 (48cm)・P5 (58cm)・P6 (68cm)・P7 (68cm)・P8 (58cm)・P9 (57cm)・P10 (43cm)

B P1 (58cm)・P2 (53cm)・P3 (49cm)

**炉** (規模) 土器片囲・埋甕炉 (65cm×57cm、深さ20cm)

**重複** SK079→・SK080→・SK082A・B

**時期** 3a期

**遺物** 土器 17,640g 加曾利E1式・同2式・同3式古段階・曾利新1式

石器 石鏃未成品2点、磨製石斧2点、打製石斧1点、剥片6点

土製品 なし

**備考** A・B2軒が重複する。Aは南側を除き、壁溝が巡る。Bは南側のみに壁溝が巡る。炉はSK079の覆土中に構築されるが、A・Bのどちらに属するか決めかねる。遺物はA・Bのどちらに属するか不明。

(78) SI022 (第31図、図版7)

**位置** 14T-25・26・35・36

**平面形** (規模) 楕円形 (5.39m×4.93m、深さ30cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (32cm)・P2 (21cm)・P3 (34cm)・P4 (42cm)・P5 (55cm)・P6 (29cm)・P7 (23cm)・P8 (22cm)・P9 (22cm)・P10 (53cm)・P11 (37cm)・P12 (31cm)・P13 (23cm)・P14 (23cm)・P15 (34cm)・P16 (34cm)・P17 (30cm)・P18 (34cm)・P19 (26cm)・P20 (38cm)・P21 (62cm)・P22 (43cm)・P23 (33cm)・P24 (48cm)・P25 (53cm)・P26 (20cm)・P27 (29cm)

**炉** なし

**重複** なし

**時期** 1a期

**遺物** 土器 65,810g 阿玉台IV式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階

石器 石鏃4点、同未成品2点、打製石斧1点、磨石類1点、石皿1点、二次加工剥片1点、剥片25点、碎片3点、原石1点

土製品 土器片錘3点

**備考** 有段住居跡である。中央の低い床面及び段部の床面とも壁溝が巡る。P10周辺の覆土上部から大量の土器が一括廃棄の状態出土した。

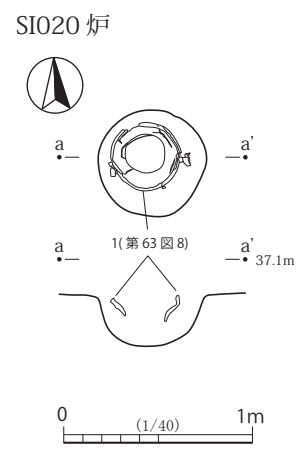
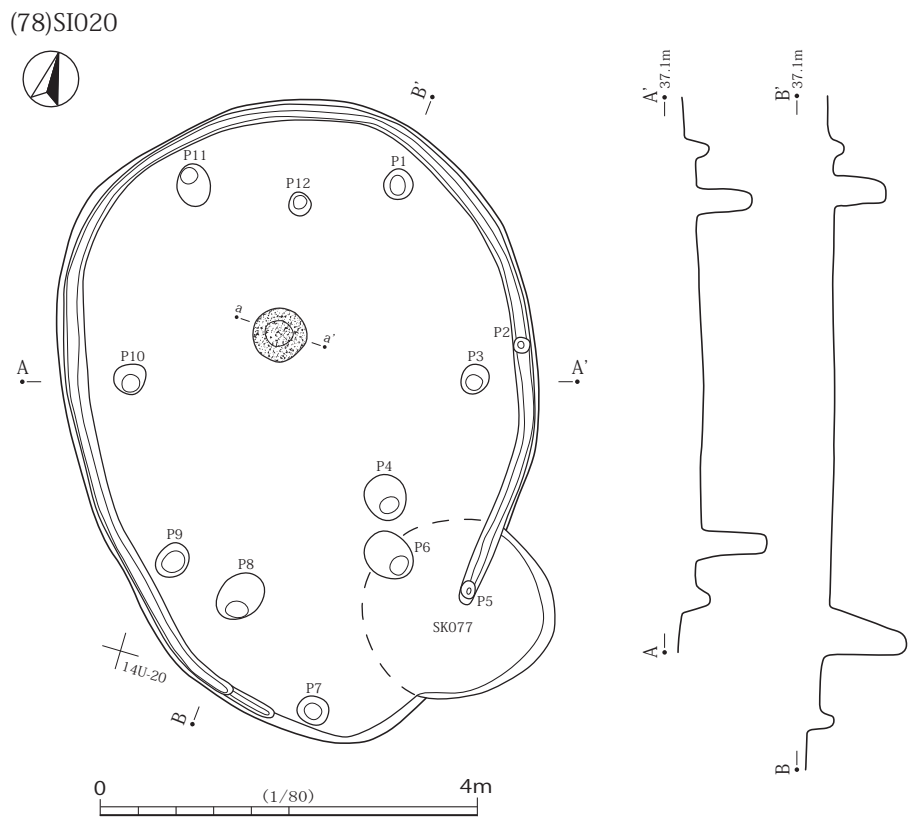
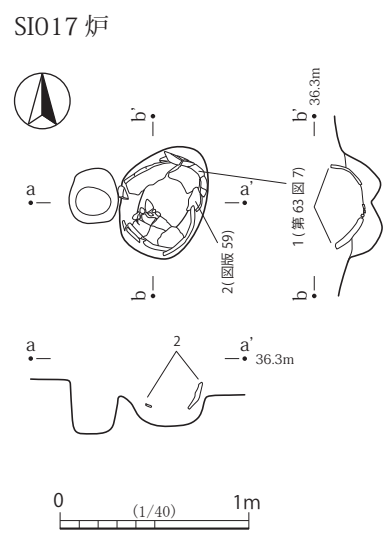
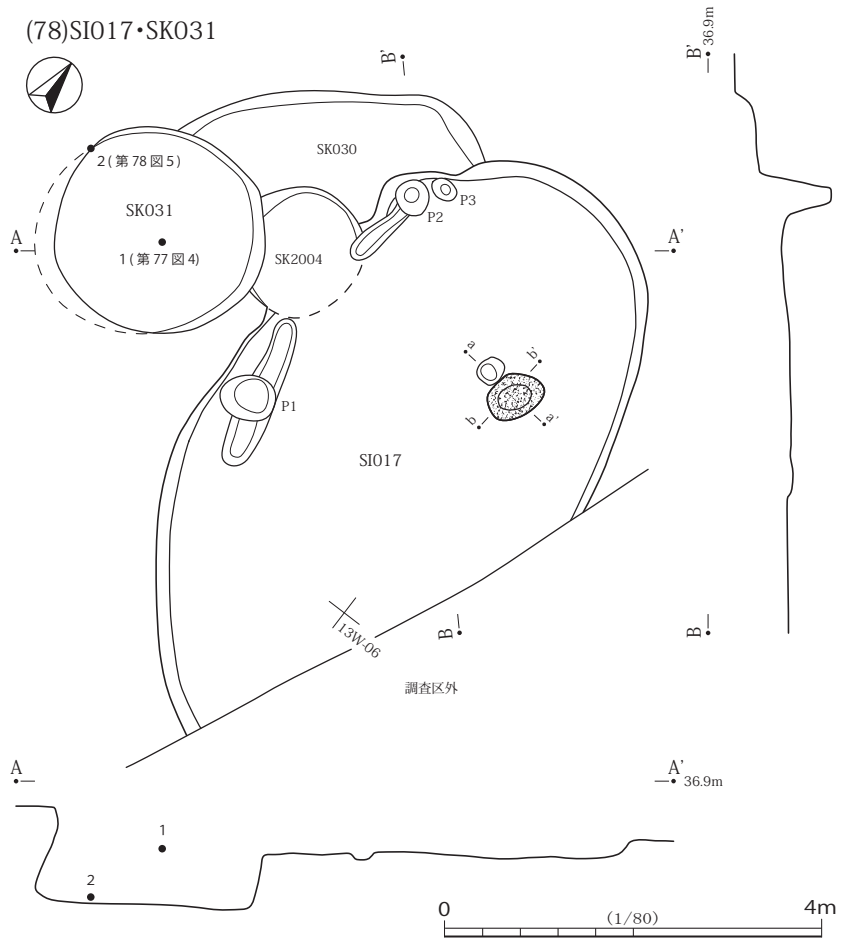
(78) SI024 (第32図、図版7)

**位置** 14T-64・65・74・75

**平面形** (規模) 不整円形 (6.03m×5.75m、深さ21cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (34cm)・P2 (77cm)・P3 (17cm)・P4 (24cm)・P5 (33cm)

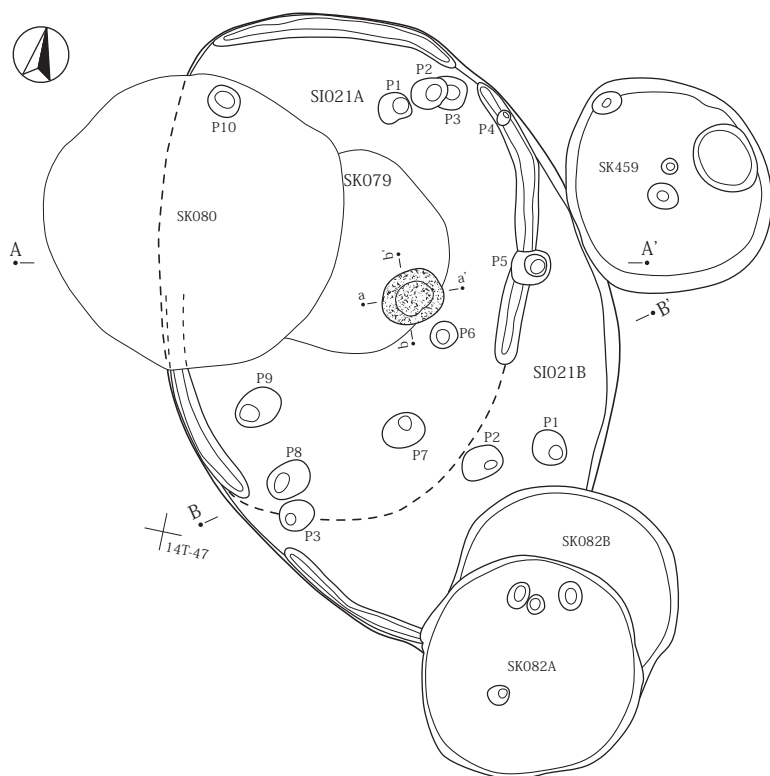
**炉** (規模) 地床炉 (45cm×32cm、深さ-cm)



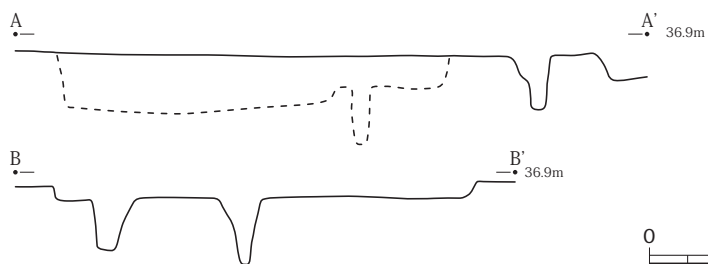
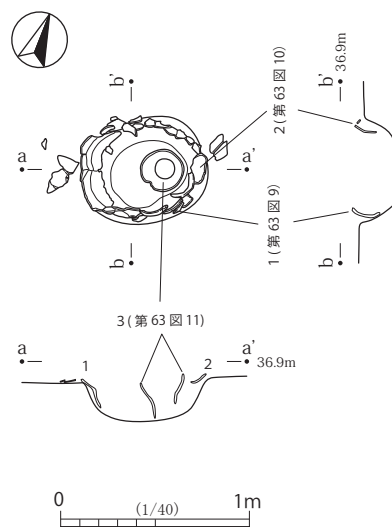
第30図 縄文時代住居跡 (7)



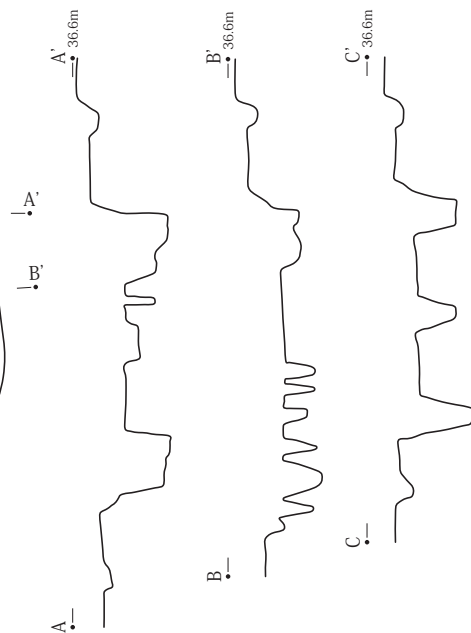
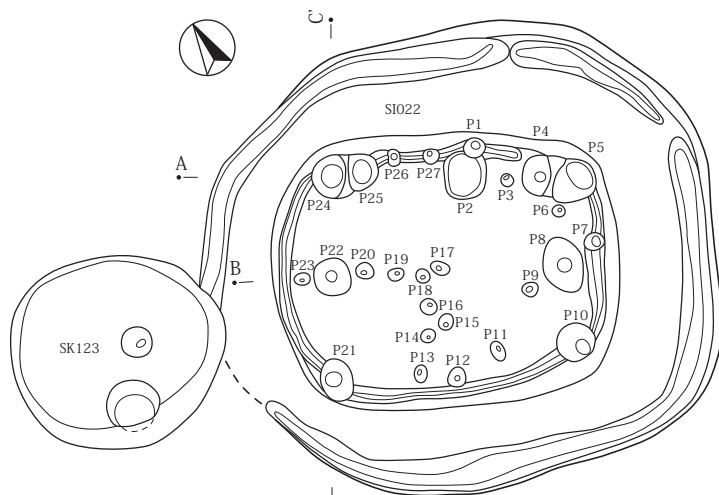
(78)SI021A・B



SI021 炉

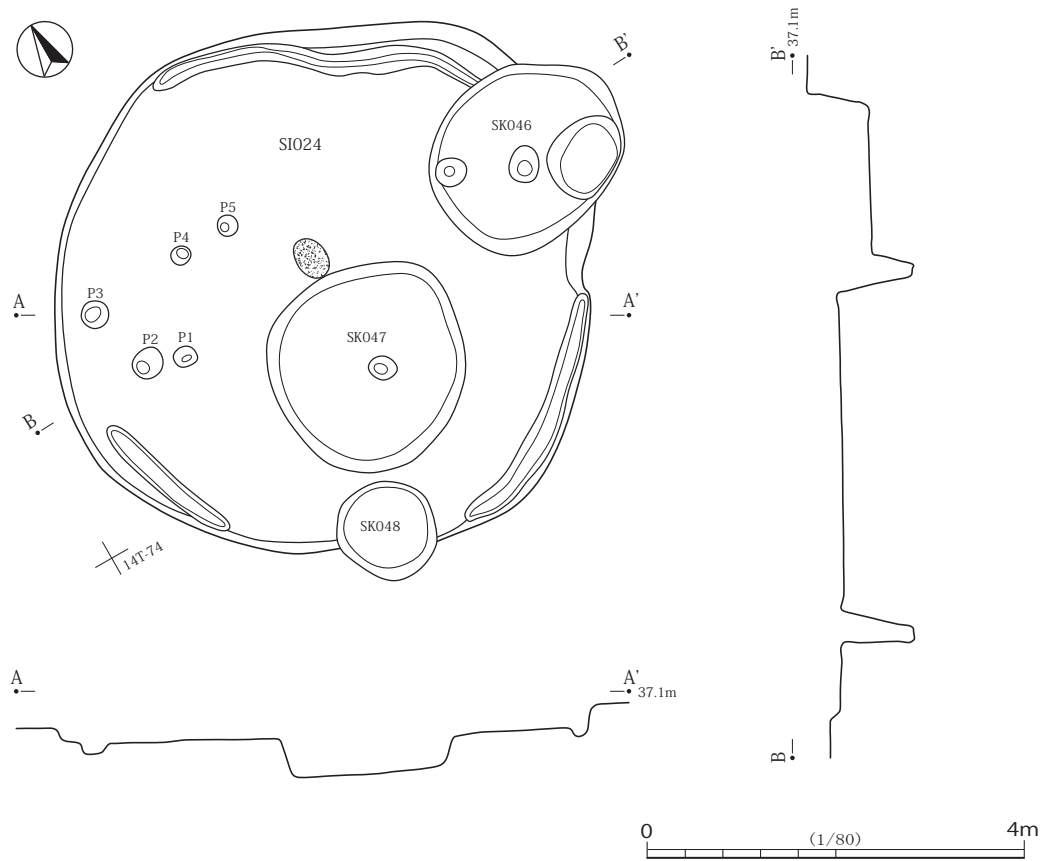


(78)SI022

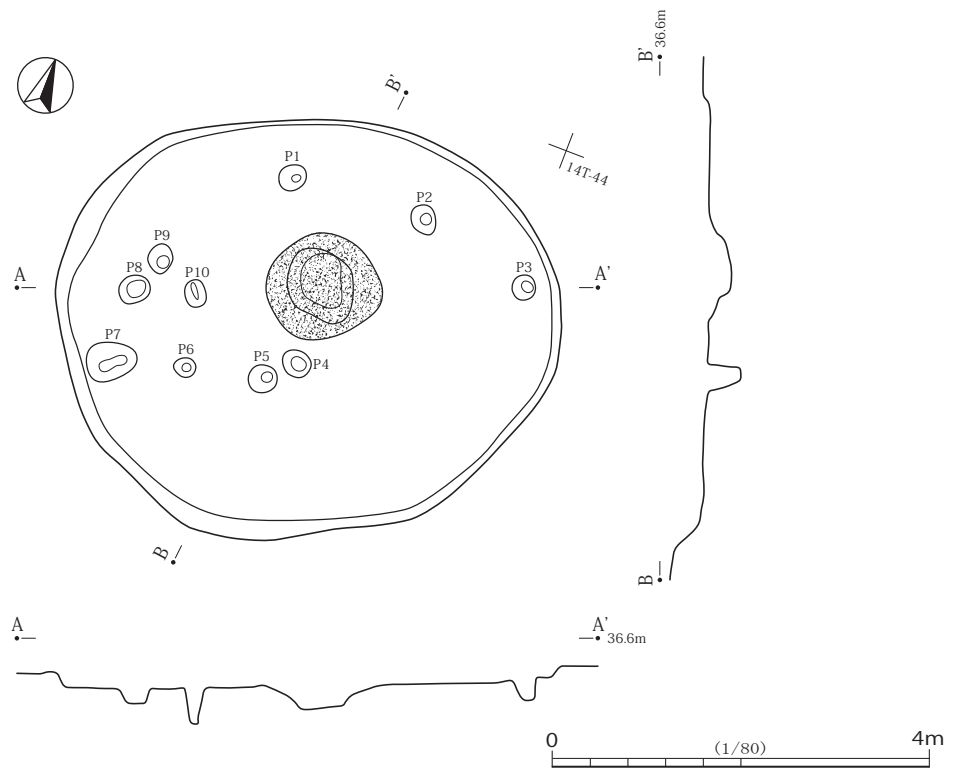


第31図縄文時代住居跡 (8)

(78)SI024



(78)SI025



第32図 縄文時代住居跡 (9)

**重複** SK046・SK047・SK048

**時期** 1a期

**遺物** 土器 9,450g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式・同3式

石器 磨石類1点、剥片1点、碎片1点

土製品 なし

**備考** 壁溝は部分的に途切れながら巡る。炉は床面が焼けた程度のものであった。

(78) SI025 (第32図、図版7)

**位置** 14T-42・43・44・53

**平面形** (規模) 楕円形 (5.30m×4.35m、深さ30cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (27cm)・P2 (26cm)・P3 (24cm)・P4 (17cm)・P5 (38cm)・P6 (38cm)・P7 (31cm)・P8 (18cm)・P9 (27cm)・P10 (41cm)

**炉** (規模) 地床炉 (125cm×113cm、深さ25cm)

**重複** なし

**時期** 3b期

**遺物** 土器 44,510g 勝坂式末期・加曾利E1式・同3式中段階・同新段階

石器 石鏃2点、同未成品5点、楔形石器1点、打製石斧2点、磨製石斧2点、二次加工剥片3点、剥片11点、碎片11点、石皿1点、浮子1点、原石2点、軽石2点

土製品 円板4点

**備考** 炉は底面までよく焼けていた。第66図24の土器が炉の南側床面から出土した。

(78) SI026 (第33図、図版7)

**位置** 14S-79・89、14T-70

**平面形** (規模) 卵円形 (6.55m×5.22m、深さ51cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (59cm)・P2 (51cm)・P3 (16cm)・P4 (73cm)・P5 (67cm)・P6 (73cm)・P7 (22cm)・P8 (23cm)・P9 (57cm)・P10 (62cm)・P11 (70cm)・P12 (42cm)・P13 (59cm)・P14 (62cm)・P15 (16cm)・P16 (17cm)・P17 (28cm)・P18 (13cm)

**炉** (規模) 地床炉 (77cm×50cm、深さ3cm)

**重複** なし

**時期** 1b期

**遺物** 土器 8,065g 加曾利E1式新段階・同E2式

石器 磨製石斧1点

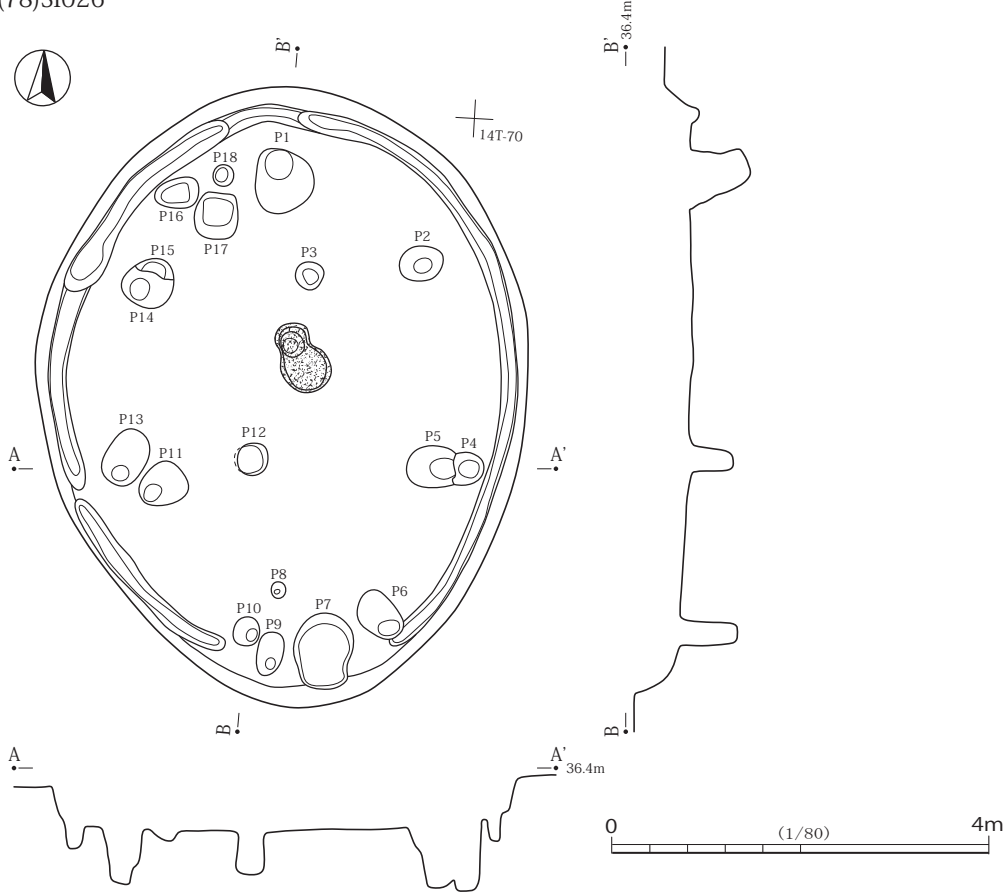
土製品 なし

**備考** 壁溝が巡るが、一部で途切れている。

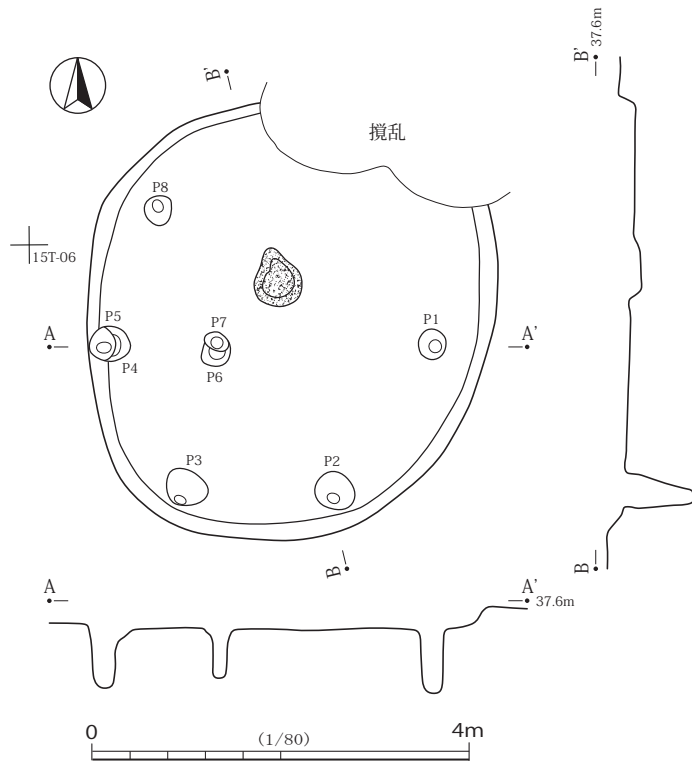
(78) SI027 (第33図、図版7)

**位置** 14T-96・97、15T-06・07

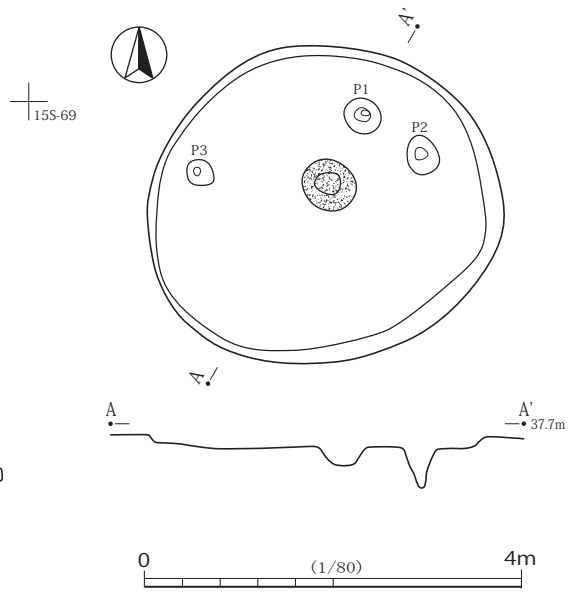
(78)SI026



(78)SI027



(78)SI028



第33図 縄文時代住居跡 (10)

**平面形** (規模) 略円形 (4.55m×4.50m、深さ25cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (72cm)・P2 (76cm)・P3 (72cm)・P4 (19cm)・P5 (64cm)・P6 (12cm)・P7 (72cm)・P8 (63cm)

**炉** (規模) 地床炉 ((63cm×50cm、深さ10cm)

**重複** なし

**時期** 2c期

**遺物** 土器 15,620g 勝坂式末期・加曾利E2-3式

石器 石鏃未成品2点、磨製石斧1点、磨石類1点、使用痕ある剥片1点、剥片7点、碎片6点

土製品 土器片錘1点

**備考**

(78) SI028 (第33図、図版7)

**位置** 15S-59・69、15T-50・60

**平面形** (規模) 略円形 (3.76m×3.35m、深さ13cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (47cm)・P2 (32cm)・P3 (31cm)

**炉** (規模) 地床炉 (58cm×50cm、深さ20cm)

**重複** なし

**時期** 3a期

**遺物** 土器 1,025g 加曾利E3式古段階

石器 石核1点

土製品 なし

**備考** 小規模な住居跡である。

(78) SI029 (第34図、図版8)

**位置** 13T-77・87・88

**平面形** (規模) 不整円形 (4.85m×4.30m、深さ37cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (52cm)・P2 (63cm)・P3 (47cm)・P4 (40cm)・P5 (67cm)・P6 (70cm)

**炉** (規模) 地床炉 (62cm×41cm、深さ-cm)

**重複** SK120・SK127・SK128

**時期** 2a期

**遺物** 土器 10,360g 加曾利E1式新段階・同E2式古段階・同3式・同3式中～新段階

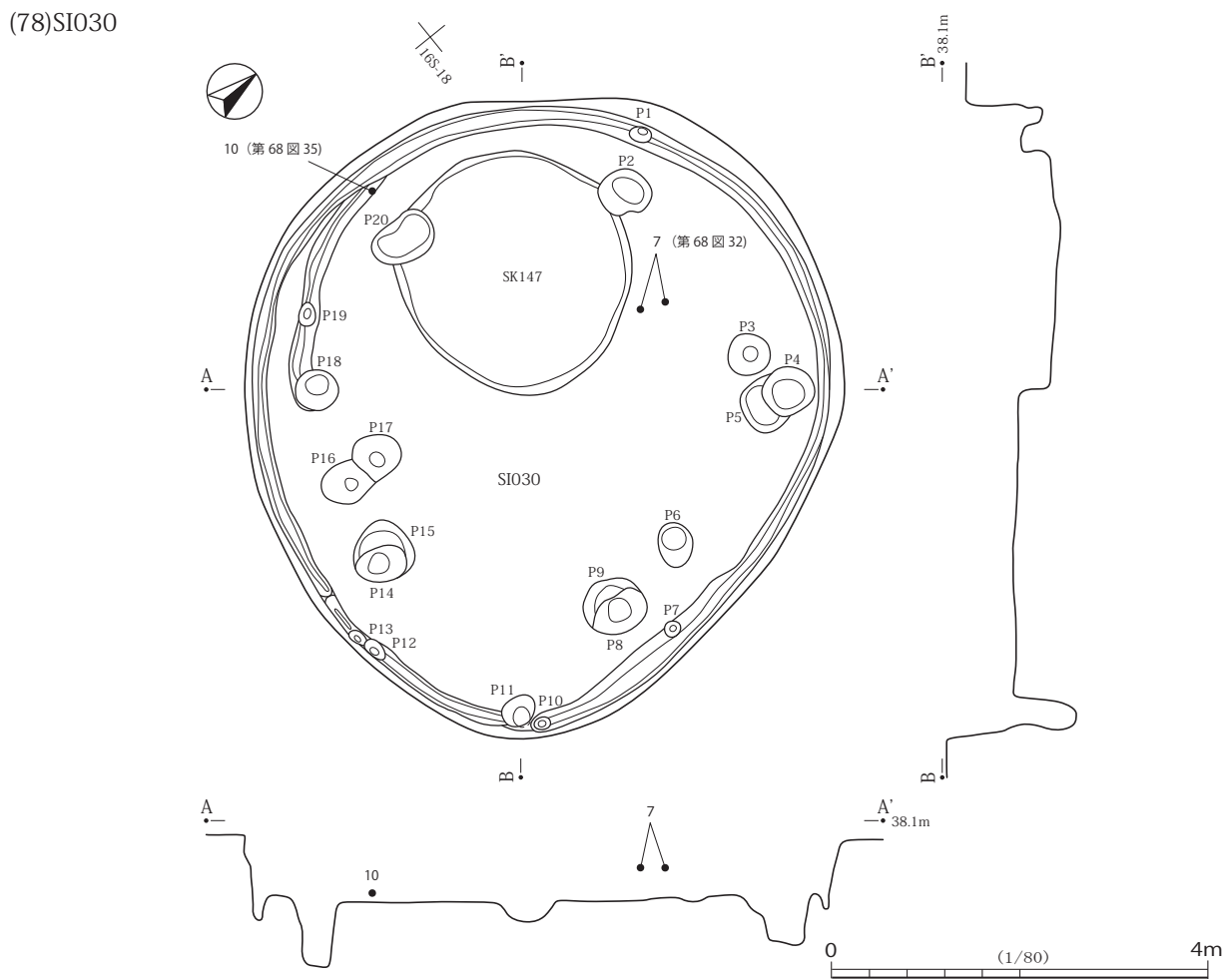
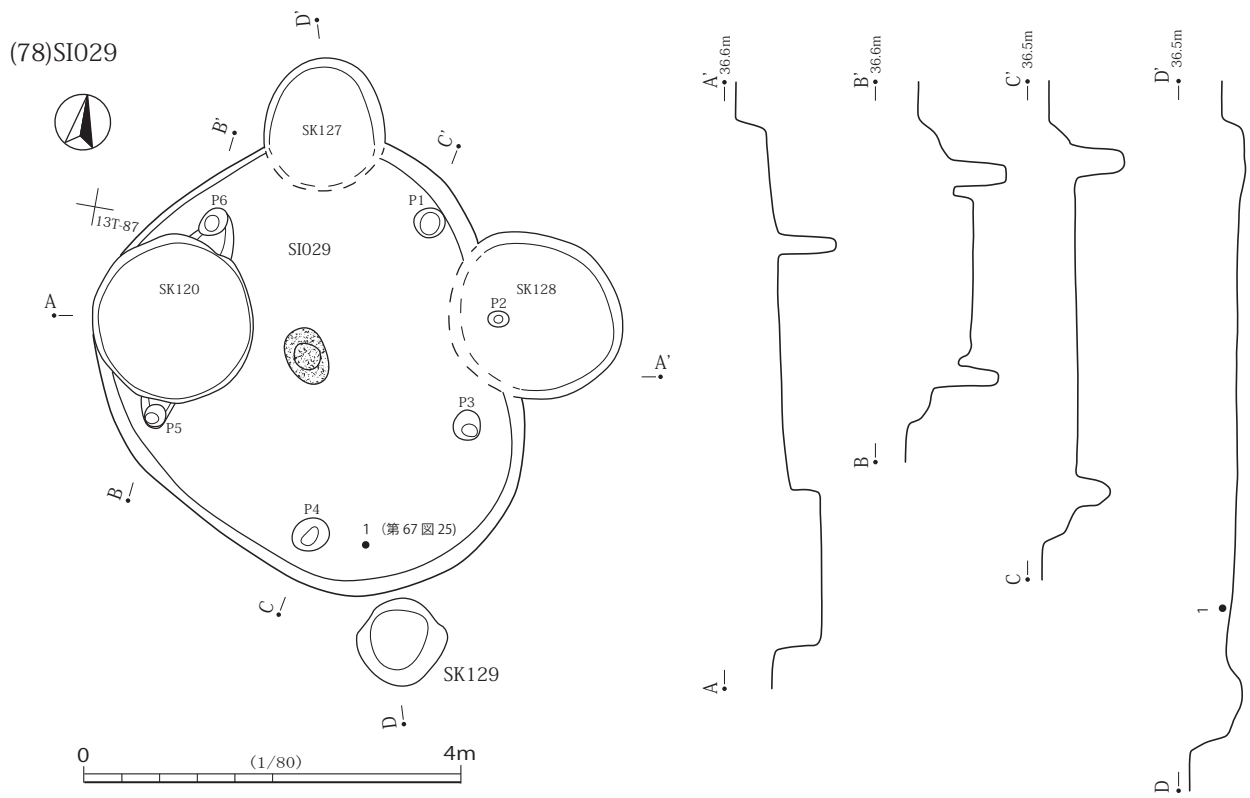
石器 石皿1点、磨石類2点、敲石1点、剥片3点、碎片4点

土製品 なし

**備考** 炉は床面が焼けた程度のものであった。

(78) SI030 (第34図、図版8)

**位置** 16S-08・09・18・19・28・29



第34図 縄文時代住居跡 (11)

**平面形** (規模) 略円形 (6.92m×6.20m、深さ70cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (16cm)・P2 (75cm)・P3 (65cm)・P4 (53cm)・P5 (27cm)・P6 (73cm)・P7 (25cm)・P8 (80cm)・P9 (34cm)・P10 (21cm)・P11 (63cm)・P12 (22cm)・P13 (18cm)・P14 (76cm) P15 (14cm)・P16 (68cm)・P17 (68cm)・P18 (68cm)・P19 (25cm)・P20 (54cm)

**炉** なし

**重複** SK147

**時期** 1a期

**遺物** 土器 45,470g 阿玉台Ⅱ式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式古段階・同3式・曾利新1式  
石器 石鏃未成品1点、磨製石斧4点、楔形石器1点、磨石類1点、石核1点、剥片16点、石皿1点、碎片7点  
土製品 耳栓1点、土器片錘2点、円板1点、ミニチュア土器1点

**備考** 壁溝が巡る。一部が二重になっており、柱穴も重複することから、建て替えが行われたと考えられる。

(78) **SI031** (第35図、図版8)

**位置** 15T-27・28・37・38・47・48

**平面形** (規模) 楕円形 (6.56m×5.60m、深さ15cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (71cm)・P2 (66cm)・P3 (66cm)・P4 (47cm)・P5 (51cm)・P6 (64cm)・P7 (32cm)・P8 (26cm) P9 (68cm)

**炉** (規模) 地床炉 (86cm×62cm、深さ8cm)

**重複** SK136・SK137・→SK138

**時期** 不明

**遺物** 土器 8,106g 加曾利E1式・同2式・同3式  
石器 二次加工剥片1点  
土製品 なし

**備考**

(78) **SI032** (第35図、図版8)

**位置** 13U-70・71・80・81

**平面形** (規模) 楕円形 (3.68m×2.95m、深さ40cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (22cm)・P2 (63cm)・P3 (42cm)・P4 (41cm)・P5 (48cm)・P6 (65cm)・P7 (31cm)・P8 (62cm)・P9 (32cm)

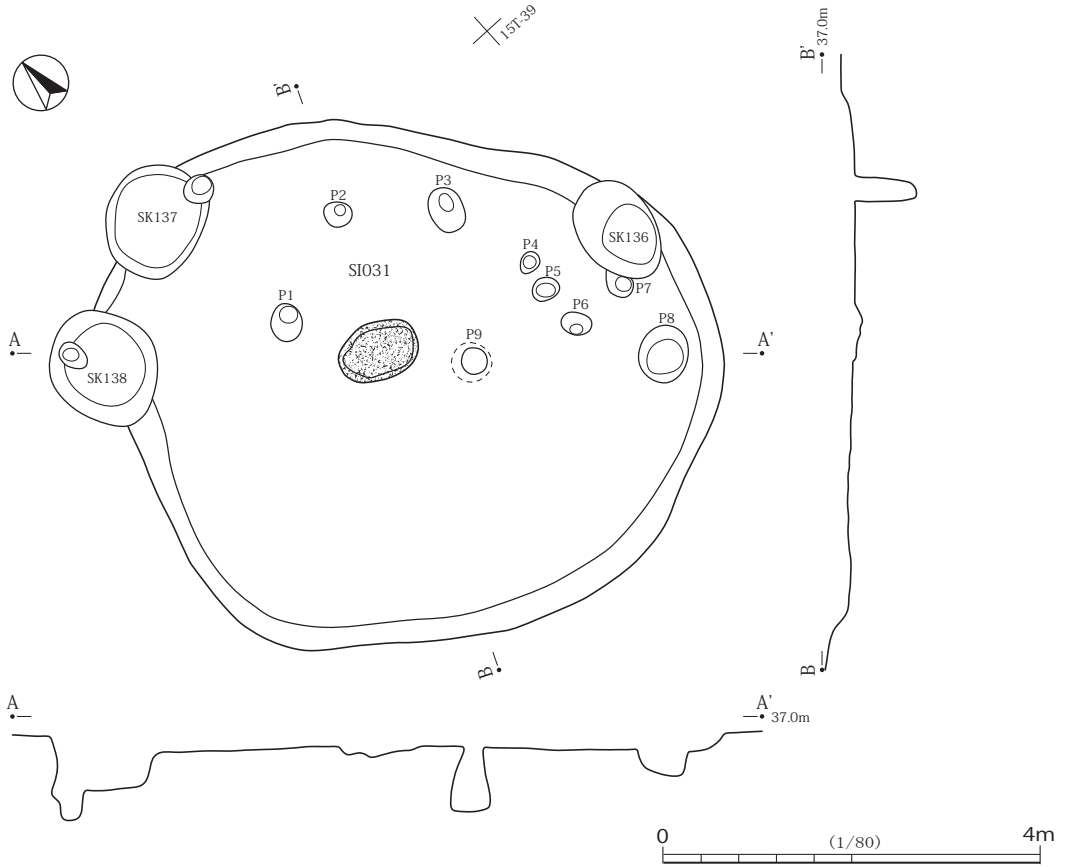
**炉** (規模) 地床炉 (60cm×40cm、深さ10cm)

**重複** SK045・SK061・→SK075

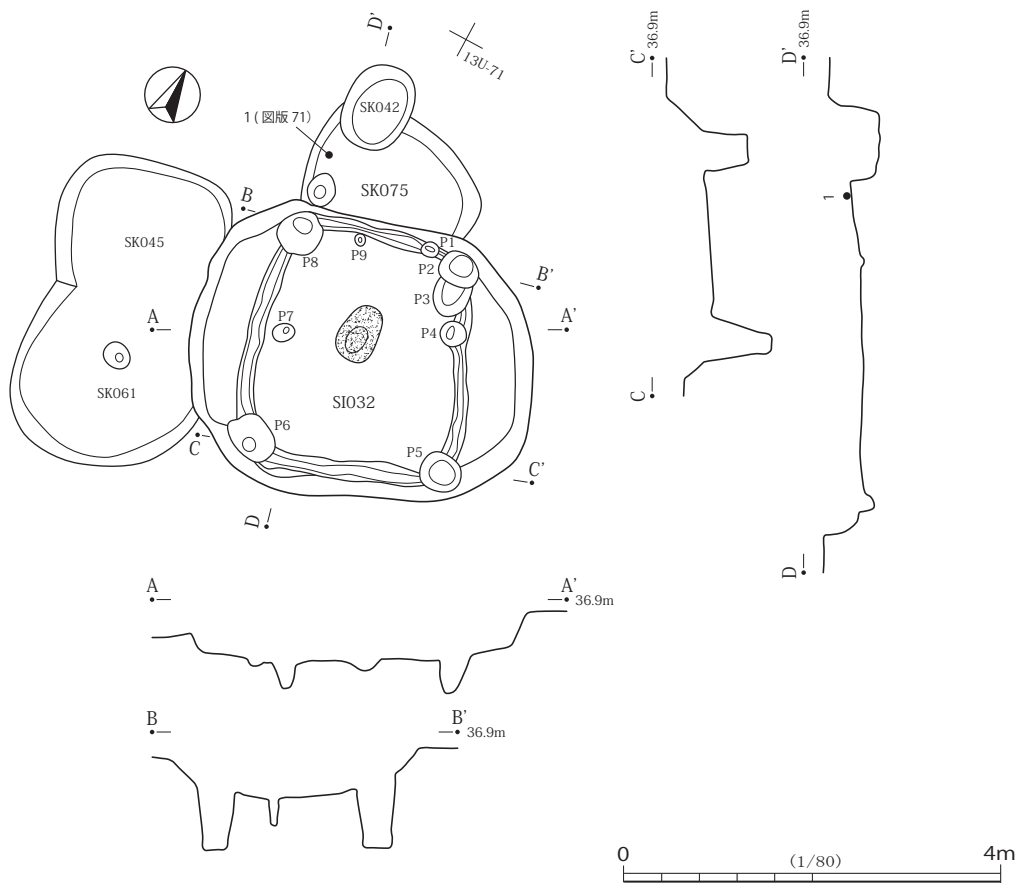
**時期** 1a期

**遺物** 土器 17,760g 阿玉台Ⅳ式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同3式、堀之内1式・同2式  
石器 打製石斧2点、磨製石斧1点、磨石類5点、剥片2点  
土製品 土器片錘1点

(78)SI031



(78)SI032・SK075



第35図 縄文時代住居跡 (12)



**備考** 小型の有段住居跡である。中央に地床炉を持つ。中央の低い床面に壁溝が巡る。

(78) SI034 (第36図、図版8)

**位置** 15T-76・77・86・87

**平面形** (規模) 略円形 (5.30m×5.20m、深さ15cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (62cm)・P2 (61cm)・P3 (51cm)・P4 (33cm)・P5 (12cm)・P6 (28cm)・P7 (17cm)・P8 (34cm)・P9 (13cm)・P10 (62cm)・P11 (44cm)・P12 (45cm)・P13 (35cm)・P14 (24cm)・P15 (66cm)・P16 (12cm)

**炉** (規模) 地床炉 (105cm×57cm、深さ5cm)

**重複** なし

**時期** 不明

**遺物** 土器 930g 加曾利E1~2式・同3式

石器 剥片1点

土製品 なし

**備考** 南側に壁溝が巡る。

(78) SI035A・B (第36図、図版8)

**位置** 13T-95・96、14T-05・06

**平面形** (規模) A 卵円形 (4.10m×3.50m、深さ45cm) B 円形? (4.25m×-m、深さ40cm)

**柱穴** (床面からの深さ) A P1 (66cm)・P2 (53cm)・P3 (65cm)・P4 (70cm)・P5 (61cm)・P6 (53cm)・P7 (64cm)・P8 (59cm)

B P1 (63cm)・P2 (48cm)・P3 (69cm)

**炉** (規模) A 地床炉 (30cm×30cm、深さ9cm) B 地床炉 (34cm×30cm、深さ12cm)

**重複** SK513

**時期** 不明

**遺物** 土器 8,710g 勝坂式末期・加曾利E1式・同2式・同3式古~新各段階・曾利新1式

石器 磨石類1点、剥片1点、原石1点

土製品 円板1点

**備考** A・B2軒が重複するが、新旧関係は不明である。地床炉は2基検出され、北側がA住居跡、南側がB住居跡の炉と考えられる。土器量、石器、土製品はA・B分離不能。

(78) SI036 (第37図、図版9)

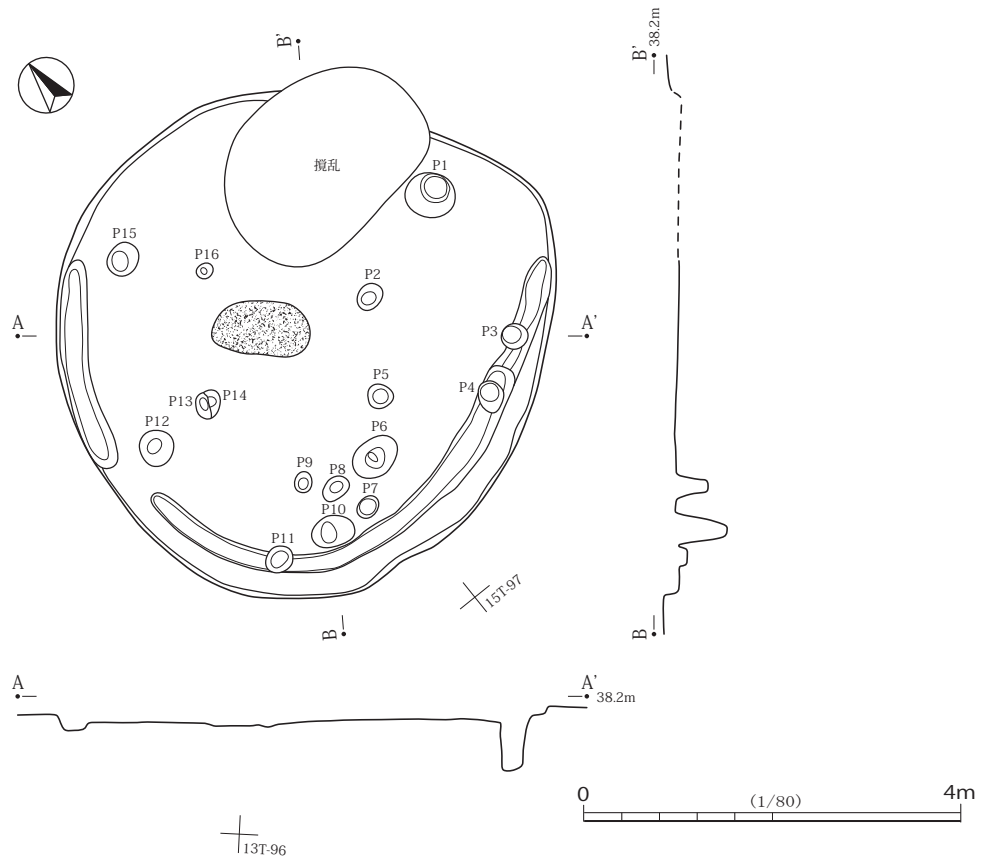
**位置** 13W-22・23・42

**平面形** (規模) 楕円形 (6.10m×-m、深さ37cm)

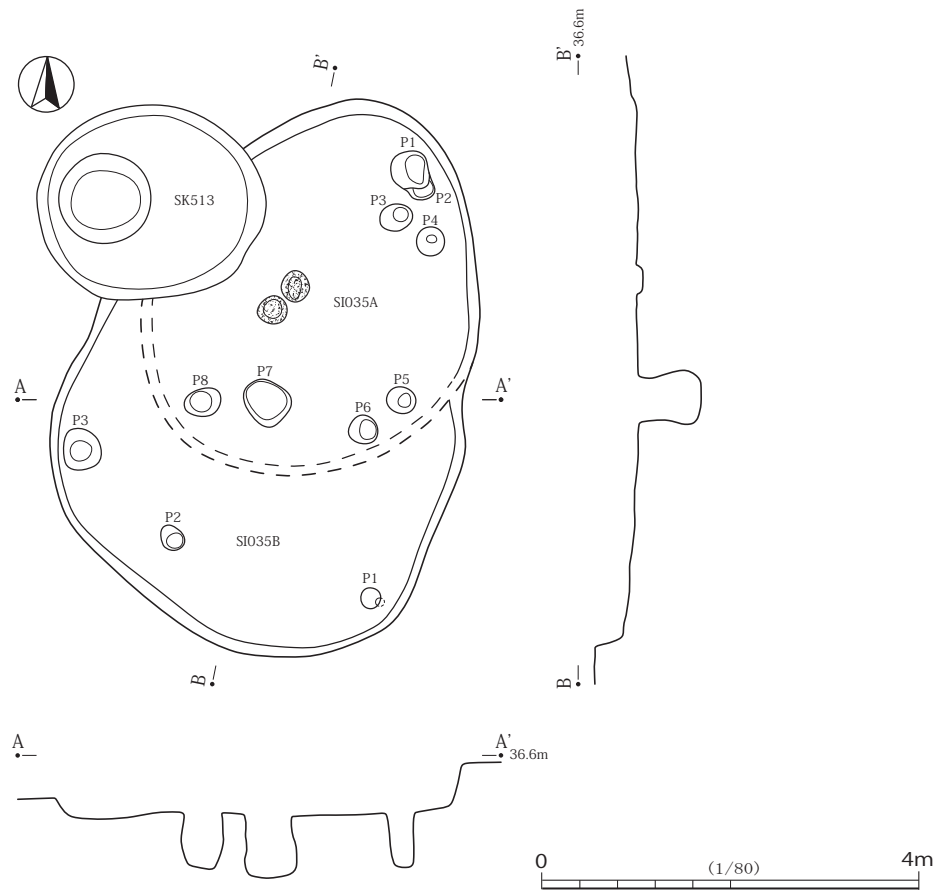
**柱穴** (床面からの深さ) P1 (62cm)・P2 (64cm)・P3 (88cm)・P4 (79cm)・P5 (82cm)・P6 (79cm)・P7 (63cm)・P8 (37cm)・P9 (36cm)・P10 (68cm)・P11 (31cm)・P12 (58cm)

**炉** (規模) 埋甕炉 (80cm×60cm、深さ37cm)

(78)SI034



(78)SI035A・SI035B



第36図 縄文時代住居跡 (13)

**重複** SI038→・SI039

**時期** 3c期

**遺物** 土器 109, 220g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同3式古・中・新段階

石器 石鏃4点、同未成品1点、石匙1点、楔形石器2点、打製石斧2点、磨石類3点、剥片19点、石皿1点、碎片1点、軽石3点

土製品 土器片錘1点、円板14点

**備考**

(78) **SI037** (第37図、図版9)

**位置** 13W-42・52

**平面形** (規模) 楕円形 (-m×-m、深さ13cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (38cm)・P2 (56cm)・P3 (63cm)・P4 (55cm)・P5 (13cm)・P6 (62cm)・P7 (58cm)・P8 (25cm)・P9 (35cm)・P10 (66cm)・P11 (69cm)・P12 (39cm)・P13 (40cm)・P14 (21cm)・P15 (9cm)・P16 (7cm)

**炉** なし

**重複** SI038→

**時期** 3b期

**遺物** 土器 15, 780g 阿玉台IV式・勝坂式末期・加曾利E1式・同3式古段階・同中段階・同3-4式

石器 石錐1点、打製石斧2点、磨石類2点、二次加工剥片1点、剥片3点、石皿1点、石錘1点、浮子1点、原石1点

土製品 なし

**備考**

(78) **SI038** (第37図、図版9)

**位置** 13W-42・43・52・53

**平面形** (規模) 楕円形 (-m×-m、深さ50cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (72cm)・P2 (62cm)・P3 (42cm)

**炉** なし

**重複** →SI036・→SI037・SI039・SK570

**時期** 3a期

**遺物** 土器 15, 820g 加曾利E3式古段階・同中段階・堀之内1式

石器 楔形石器2点、磨製石斧2点、敲石1点、石核1点、剥片3点、原石1点

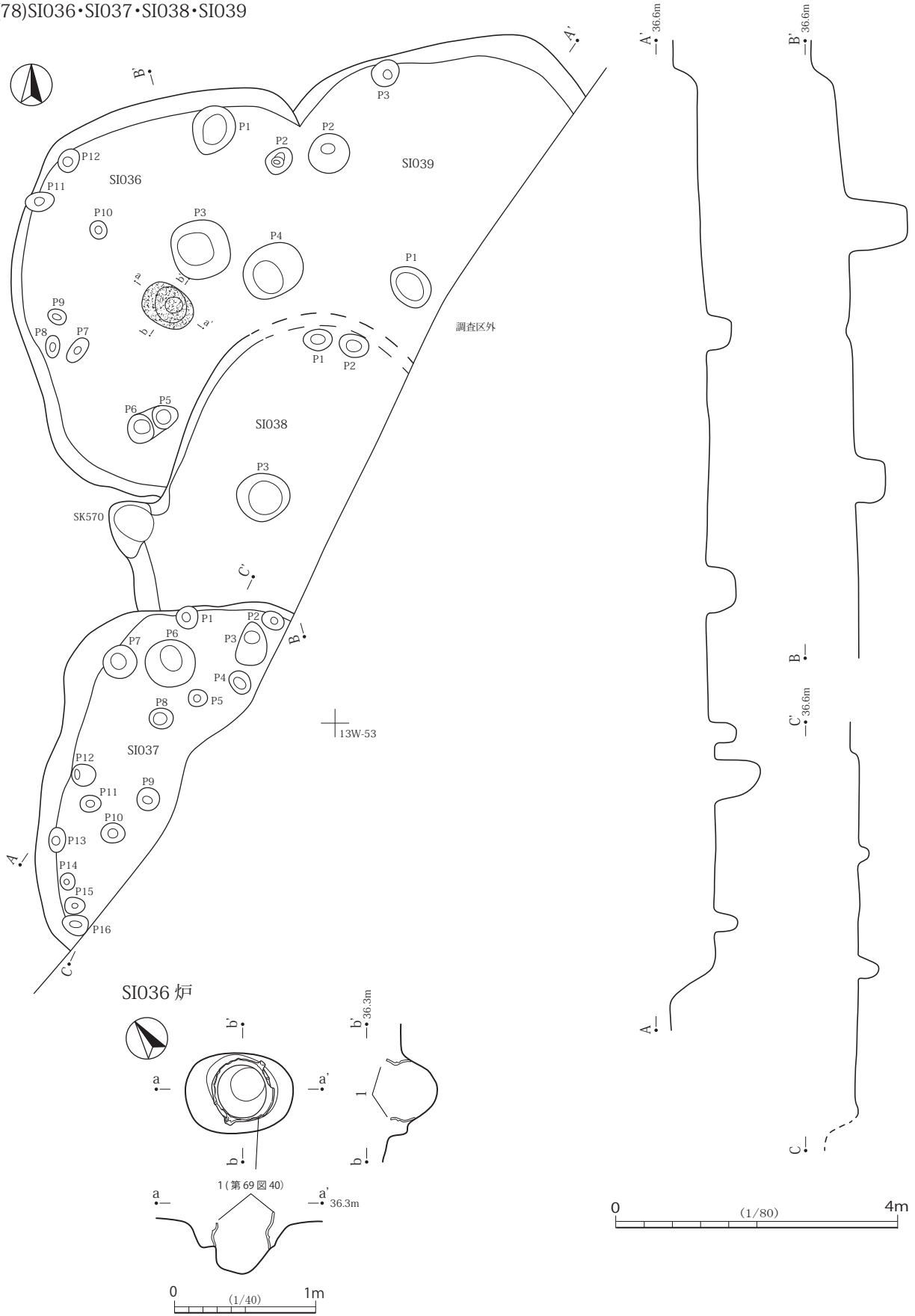
土製品 土器片錘2点

**備考**

(78) **SI039** (第37図、図版9)

**位置** 13W-23・33

(78)SI036・SI037・SI038・SI039



第37図 縄文時代住居跡 (14)

平面形 (規模) 楕円形 (-m×-m、深さ38cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (31cm)・P2 (72cm)・P3 (55cm)

炉 なし

重複 SI036・SI038

時期 3期

遺物 土器 2,650g 加曾利E1式・同3式・曾利新1式

石器 なし

土製品 なし

備考

(78) SI040 (第38図、図版9)

位置 15T-18・28

平面形 (規模) 略円形 (3.37m×3.30m、深さ25cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (42cm)・P2 (53cm)・P3 (21cm)・P4 (30cm)・P5 (29cm)・P6 (67cm)

炉 (規模) 埋甕炉 (-m×-m、深さ-cm)

重複 →SK1505・SK1496・SK2011→

時期 2c期

遺物 土器 17,180g 加曾利E1式古段階・同2-3式

石器 剥片1点

土製品 土器片錘2点、ミニチュア土器1点

備考 炉をSK2001の覆土中に構築している。

(78) SI042 (第38図、図版9)

位置 15V-10・11・20・21

平面形 (規模) 隅丸方形 (4.17m×4.00m、深さ44cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (12cm)・P2 (46cm)・P3 (62cm)・P4 (50cm)・P5 (54cm)・P6 (54cm)

炉 (規模) 地床炉 (75cm×71cm、深さ28cm)

重複 SI044→・SK822B・SK1532

時期 3c期

遺物 土器 38,975g 阿玉台IV式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式新段階・同3式新段階

石器 石鏃15点、同未成品7点、磨製石斧2点、磨石類1点、剥片42点、碎片95点、軽石製品3点、原石1点

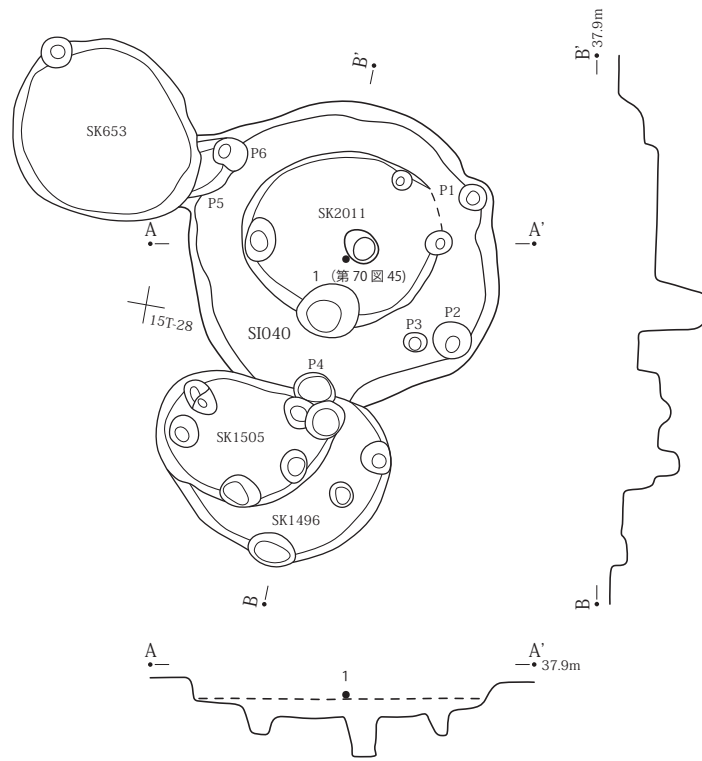
土製品 土器片錘1点、円板6点

備考 炉はSI044のP3上に構築されていた。P2・P4・P5・P6が支柱穴であろう。

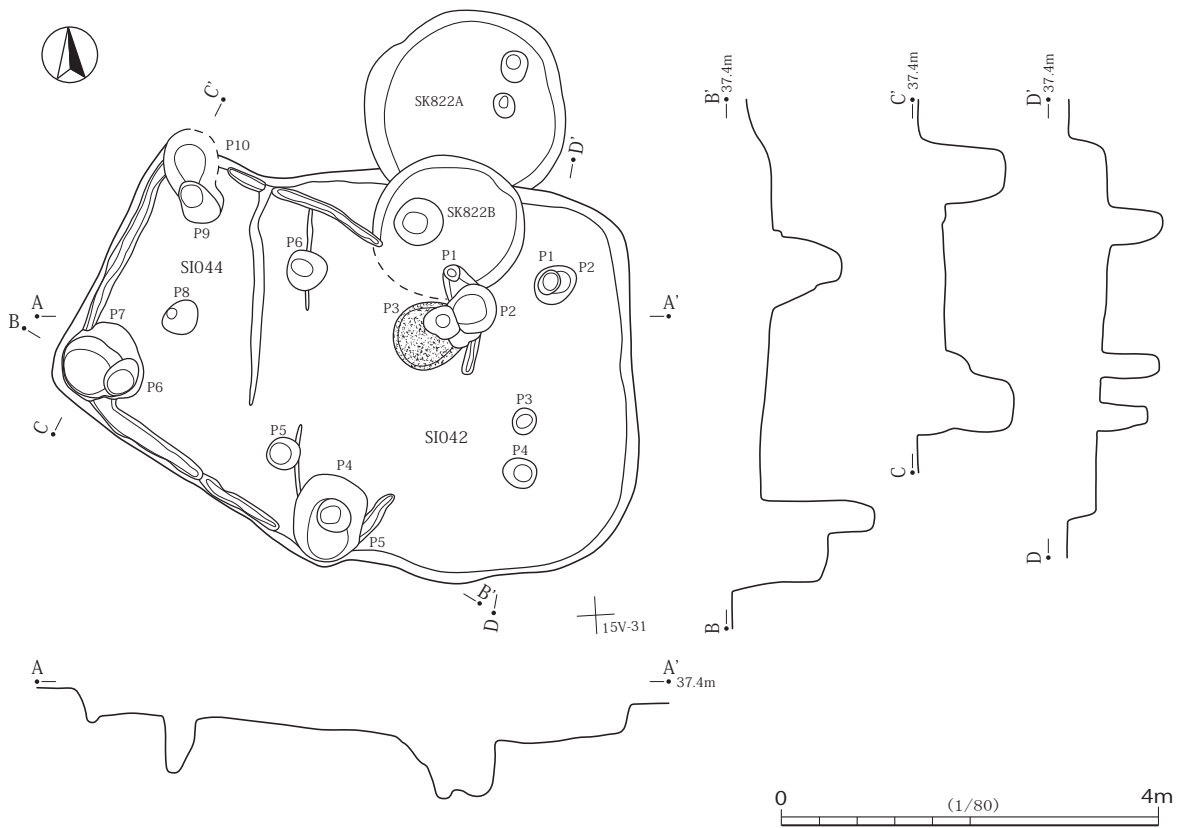
(78) SI044 (第38図、図版9)

位置 15U-19・21、15V-10・20

(78)SI040



(78)SI042・SI044



第38図 縄文時代住居跡 (15)

**平面形** (規模) 長方形 (3.30m×3.85m、深さ27cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (44cm)・P2 (56cm)・P3 (32cm)・P4 (61cm)・P5 (24cm)・P6 (117cm)・P7 (70cm)・P8 (59cm)・P9 (70cm)・P10 (63cm)

**炉** なし

**重複** → S1042・SK822B

**時期** 1a期

**遺物** 土器 25,325g 阿玉台IV式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同3式新段階

石器 磨製石斧3点、磨石類3点、剥片8点、碎片5点

土製品 土器片錘2点、円板2点

**備考** 有段の住居跡であるが、掘り込みが浅いため中央部分のみを検出し、1段高い段部の範囲及び壁は検出できなかった。中央の低い床面は硬化し、壁溝が巡る。四隅の支柱穴は重複しており、建て替えが行われたと考えられる。

(78) S1046 (第39図、図版9)

**位置** 15V-71・72・81・82・83

**平面形** (規模) 隅丸方形 (5.27m×4.55m、深さ30cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (28cm)・P2 (52cm)・P3 (69cm)・P4 (74cm)・P5 (29cm)・P6 (78cm)・P7 (50cm)・P8 (28cm)・P9 (66cm)・P10 (24cm)・P11 (18cm)・P12 (66cm)・P13 (56cm)・P14 (16cm)・P15 (30cm)・P16 (51cm)・P17 (18cm)・P18 (74cm)・P19 (66cm)・P20 (27cm)・P21 (47cm)

**炉** なし

**重複** → SX065・→ SK1286・→ SK1305

**時期** 不明

**遺物** 土器 7,260g 阿玉台I a式・同II式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2-3式・同3式古段階～中段階

石器 石鏃未成品3点、石皿1点、剥片5点、碎片1点

土製品 なし

**備考** 有段住居跡である。一部で途切れているが、壁溝が巡る。中央の低い床面は硬化している。

(78) S1048 (第39図、図版10)

**位置** 16U-73・83・84

**平面形** (規模) 隅丸方形 (5.86m×4.73m、深さ40cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (81cm)・P2 (50cm)・P3 (43cm)・P4 (46cm)

**炉** なし

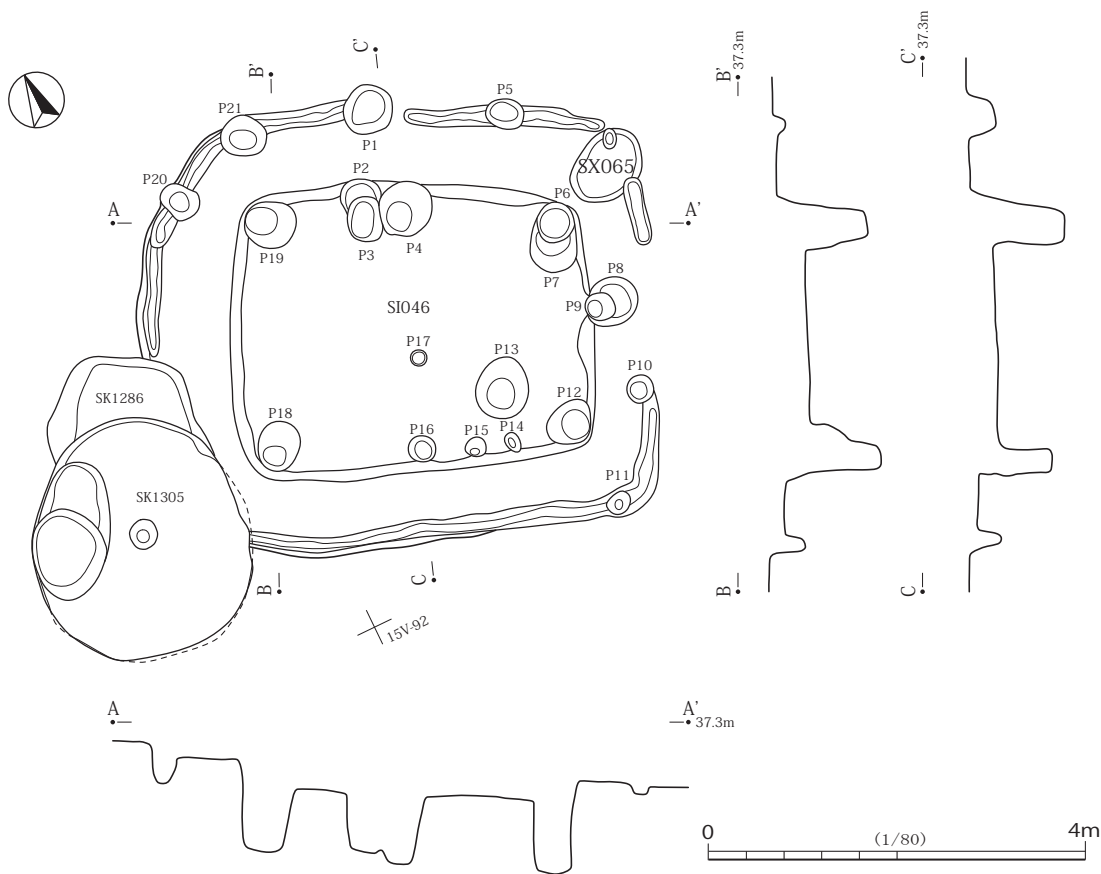
**重複** なし

**時期** 1a期

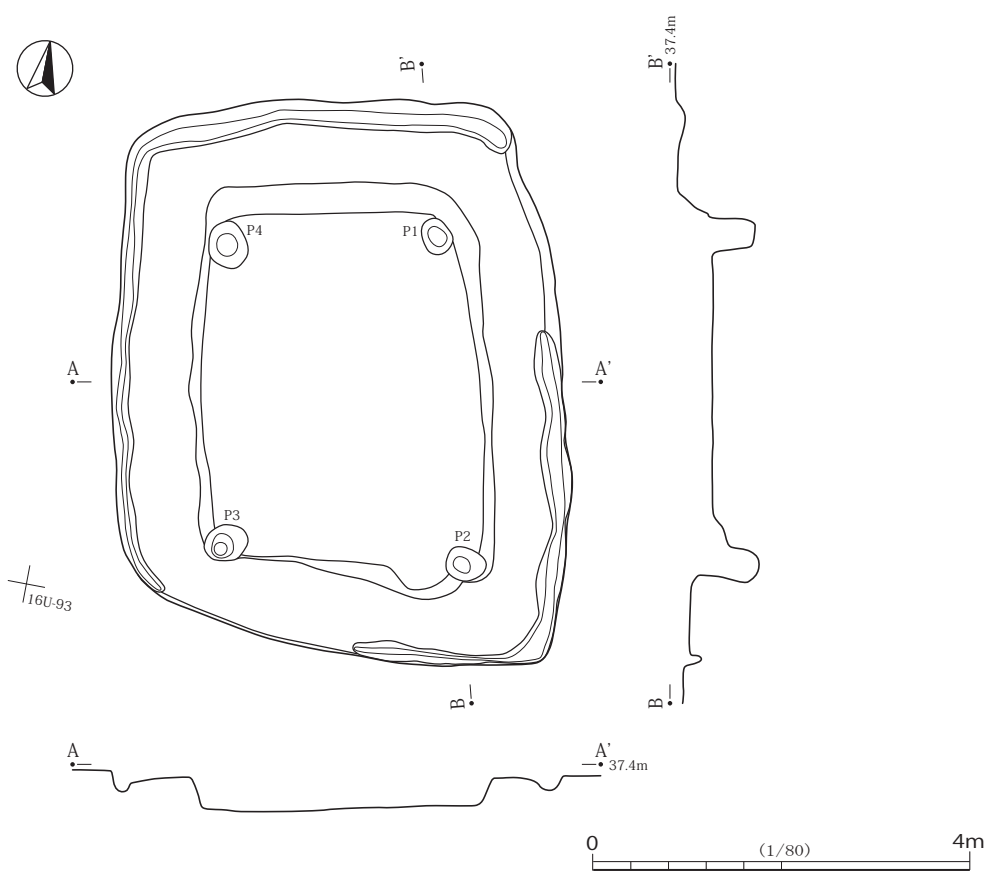
**遺物** 土器 3,465g 阿玉台I式・同III式・勝坂式末期・加曾利E2式・同3式古段階・同新段階

石器 なし

(78)SI046



(78)SI048



第39図 縄文時代住居跡 (16)



土製品 なし

**備考** 有段住居跡である。一部で途切れているが、壁溝が巡る。

(78) **SI050** (第40図、図版10)

**位置** 15V-64・74・75・84

**平面形** (規模) 卵円形 (4.70m×-m、深さ42cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (20cm)・P2 (23cm)・P3 (34cm)・P4 (39cm)・P5 (46cm)・P6 (45cm)・P7 (35cm)・  
P8 (37cm)・P9 (40cm)・P10 (35cm)・P11 (24cm)・P12 (21cm)・P13 (49cm)・P14 (38cm)・P15 (62cm)

**炉** (規模) 埋甕炉 (70cm×65cm、深さ18cm)

**重複** → SI056・SI054→

**時期** 1a期

**遺物** 土器 55,135g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式古段階・同新段階・同3式古段階・曾利  
新1式

石器 石鏃未成品2点、打製石斧1点、磨製石斧2点、磨石類2点、剥片24点、碎片28点

土製品 ミニチュア土器1点、土器片錘4点

**備考** 東側を除き、壁溝が巡る。

(78) **SI051** (第40図、図版10)

**位置** 15U-97・98、16U-07・08

**平面形** (規模) 不整円形 (6.20m×6.10m、深さ50.5cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (96cm)・P2 (88cm)・P3 (74cm)・P4 (87cm)・P5 (43cm)・P6 (98cm)・P7 (44  
cm)・P8 (80cm)・P9 (61cm)・P10 (29cm)・P11 (94cm)

**炉** (規模) 地床炉 (76cm×45cm、深さ5cm)

**重複** なし

**時期** 不明

**遺物** 土器 8,430g 阿玉台Ib式・同Ⅲ式・同Ⅳ式・加曾利E1式古段階・同新段階・同2式・同3式古  
段階

石器 磨製石斧1点、剥片1点

土製品 土器片錘1点、円板1点

**備考** 壁溝が巡る。途切れた南側は入口か。

(78) **SI053** (第41図、図版10)

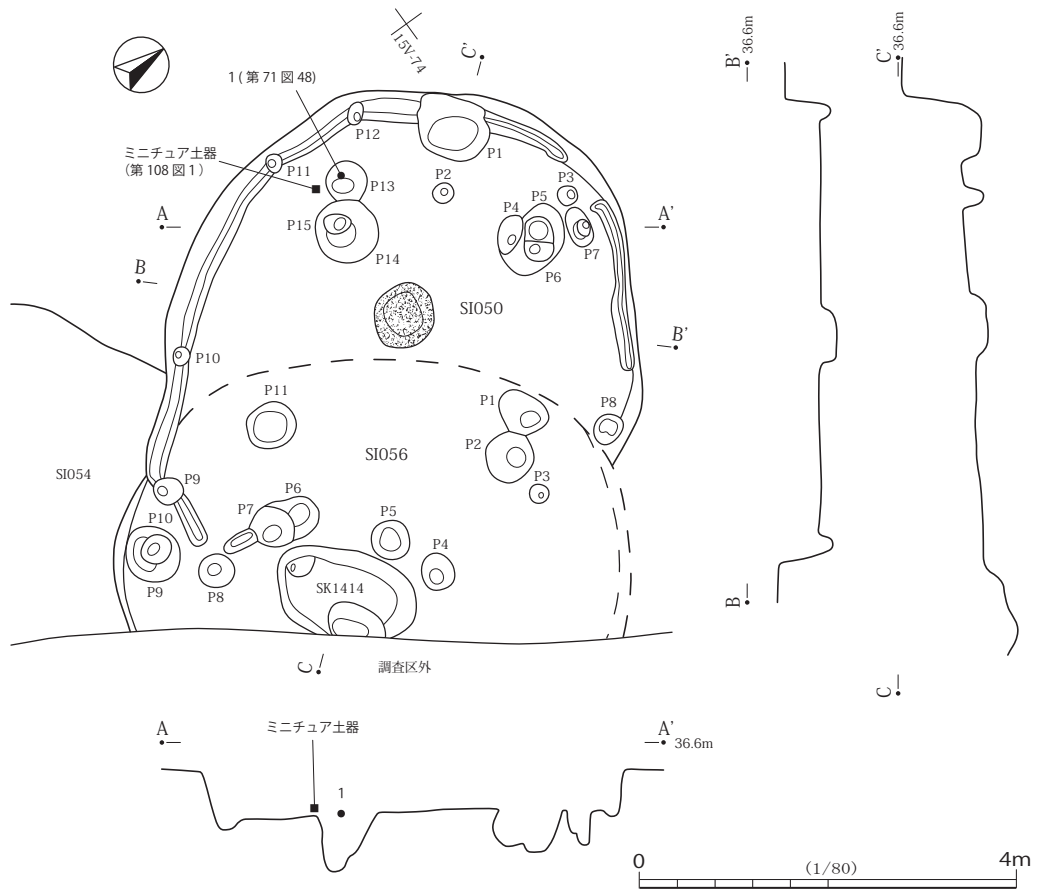
**位置** 15V-83・93

**平面形** (規模) 楕円形 (6.12m×-m、深さ53cm)

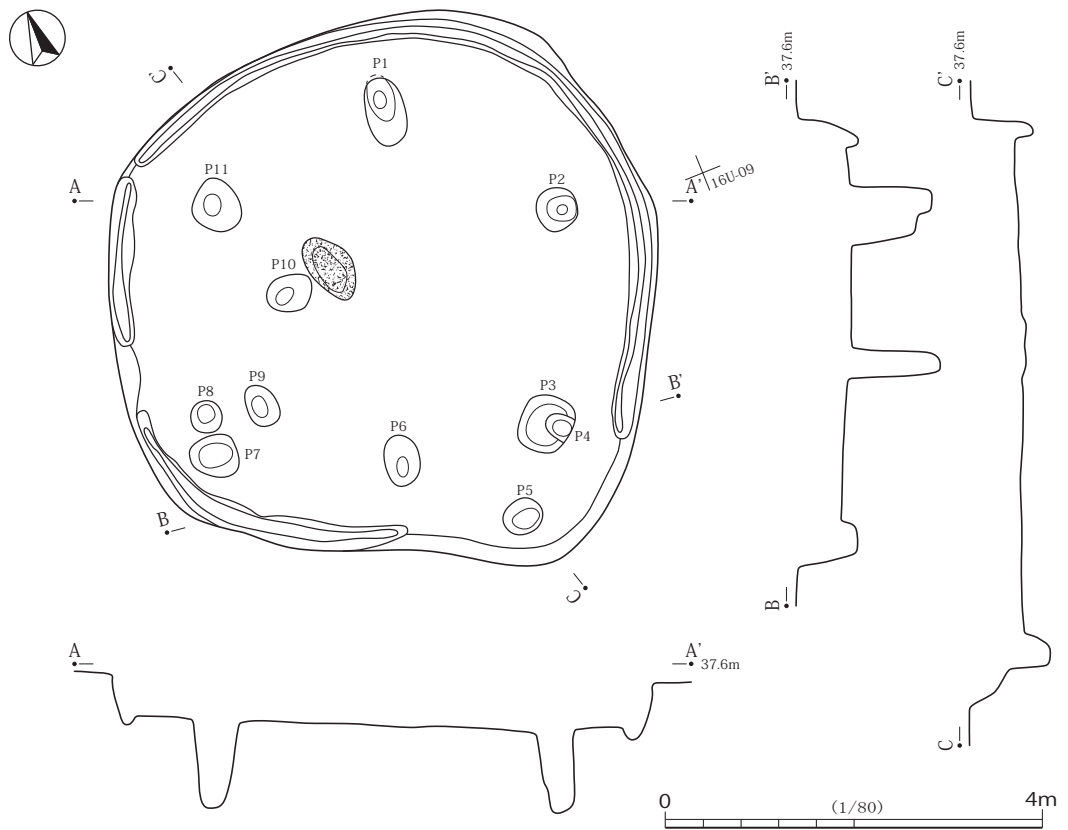
**柱穴** (床面からの深さ) P1 (35cm)・P2 (62cm)・P3 (59cm)・P4 (82cm)・P5 (30cm)・P6 (40cm)・P7 (19  
cm)・P8 (38cm)・P9 (60cm)・P10 (61cm)・P11 (23cm)・P12 (23cm)・P13 (19cm)

**炉** (規模) 地床炉 (70cm×60cm、深さ12cm)

(78)SI050・SI056



(78)SI051



第40図 縄文時代住居跡 (17)

**重複** SI054A・B

**時期** 2期

**遺物** 土器 2,770g 加曾利E2式

石器 剥片2点

土製品 なし

**備考** 部分的に壁溝が巡る。

(78) SI054A・B (第41図、図版10)

**位置** 15V-83・84・93・94

**平面形** (規模) 長楕円形 (-m×-m、深さ22cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (51cm)・P2 (74cm)・P3 (22cm)・P4 (42cm)・P5 (53cm)・P6 (16cm)・P7 (34cm)・P8 (48cm)・P9 (44cm)・P10 (59cm)・P11 (51cm)・P12 (54cm)・P13 (43cm)

**炉** (規模) A地床炉 (13.5cm×12cm、深さ33.1cm) B地床炉 (157cm×-cm、深さ29.2cm)

**重複** SI053・→SI056

**時期** 2b期

**遺物** 土器 17,760g 加曾利E2式新段階

石器 ヒスイ大珠1点、石鏃未成品1点、磨製石斧1点、石皿1点、剥片4点、石核1点

土製品 土器片錘3点

**備考** A・B2軒が重複するが、それぞれの平面形及び新旧関係は不明である。地床炉は2基検出され、北側をA炉、南をB炉とした。

(78) SI055 (第41図、図版10)

**位置** 16T-51・52・61・62

**平面形** (規模) 隅丸方形 (5.67m×4.83m、深さ65cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (50cm)・P2 (73cm)・P3 (58cm)・P4 (22cm)・P5 (22cm)・P6 (7cm)・P7 (17cm)・P8 (30cm)・P9 (68cm)・P10 (25cm)・P11 (22cm)・P12 (69cm)・P13 (23cm)

**炉** なし

**重複** なし

**時期** 1a期

**遺物** 土器 32,065g 勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式古段階

石器 コハク玉1点、石鏃1点、同未成品4点、打製石斧1点、磨石類4点、剥片4点、原石3点、

土製品 土器片錘1点、円板1点

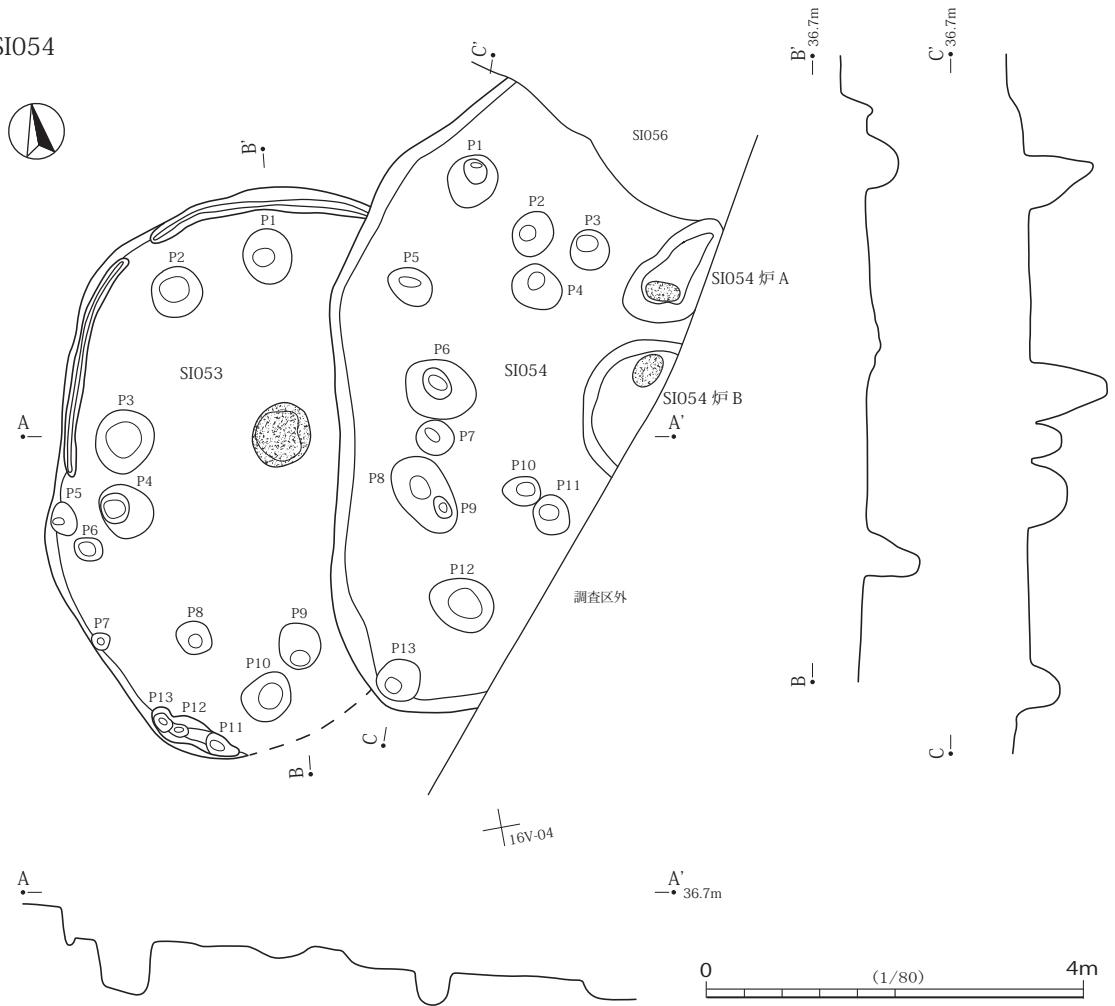
**備考** 有段住居である。一部途切れるが、壁溝が巡る。

(78) SI056 (第40図、図版10)

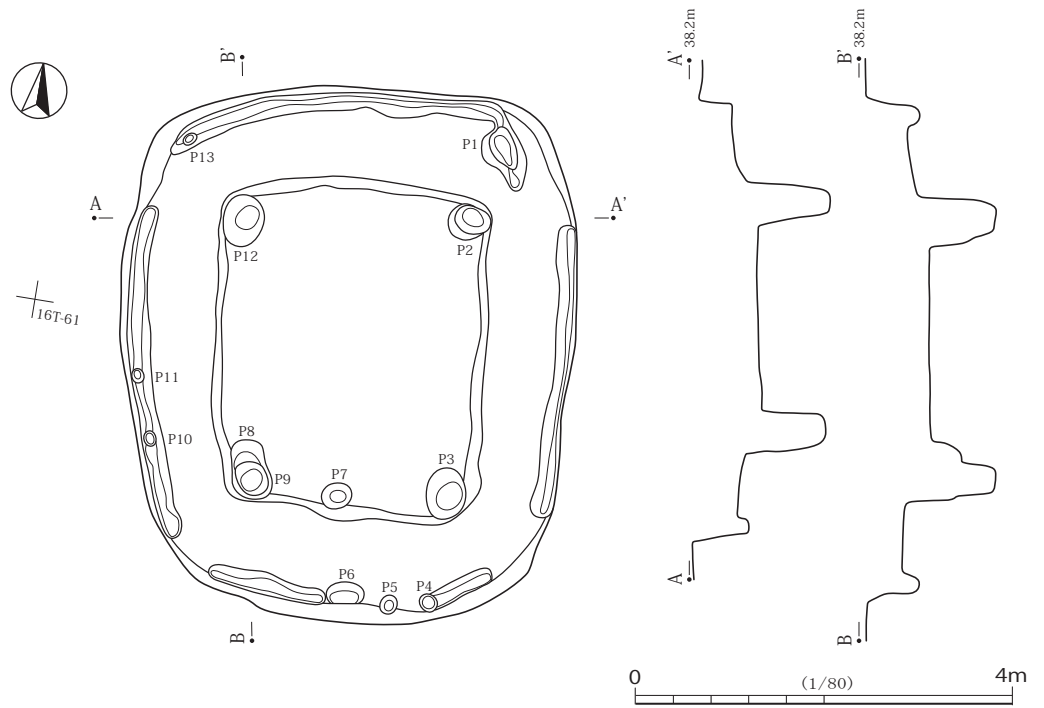
**位置** 15V-74・75・84・85

**平面形** (規模) 楕円形 (5.35m×-m、深さ70cm)

(78)SI053・SI054



(78)SI055



第41図 縄文時代住居跡 (18)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (63cm)・P2 (62cm)・P3 (29cm)・P4 (51cm)・P5 (31cm)・P6 (29cm)・P7 (81cm)・P8 (41cm)・P9 (33cm)・P10 (53cm)・P11 (56cm)

**炉** なし

**重複** SI050→・SI054→・SK1414

**時期** 3a期

**遺物** 土器 1,230g 加曽利E1~2式・同3式古段階  
石器 剥片3点、碎片1点  
土製品 なし

**備考**

(78) SI057 (第42図、図版10)

**位置** 15T-58・59・68・69

**平面形** (規模) 略円形 (4.60m×4.05m、深さ12cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (65cm)・P2 (18cm)・P3 (47cm)・P4 (29cm)・P5 (23cm)・P6 (75cm)・P7 (57cm)・P8 (35cm)・P9 (21cm)・P10 (36cm)

**炉** (規模) 地床炉 (45cm×35cm、深さ3cm)

**重複** なし

**時期** 不明

**遺物** 土器 2,565g 加曽利E1~2式・同3式  
石器 剥片2点  
土製品 なし

**備考**

(78) SI058 (第42図)

**位置** 15U-00・01・10・11

**平面形** (規模) 卵円形 (5.50m×4.70m、深さ15cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (57cm)・P2 (70cm)・P3 (32cm)・P4 (30cm)・P5 (20cm)・P6 (60cm)・P7 (64cm)・P8 (30cm)・P9 (56cm)・P10 (66cm)・P11 (63cm)・P12 (22cm)・P13 (26cm)

**炉** (規模) 地床炉 (49cm×22cm、深さ—cm)

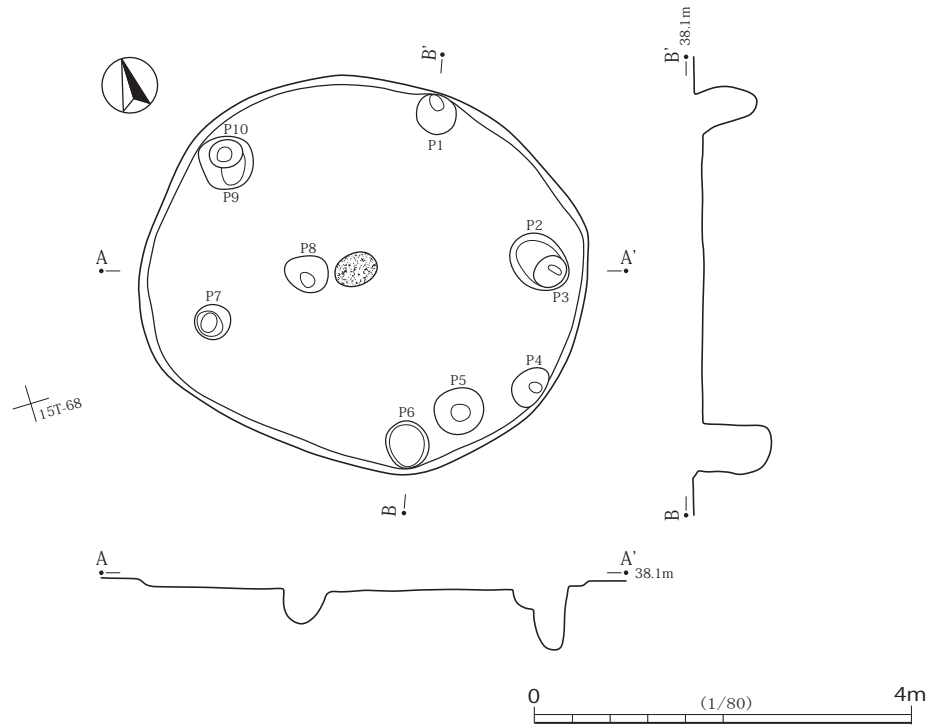
**重複** SK1486

**時期** 3a期

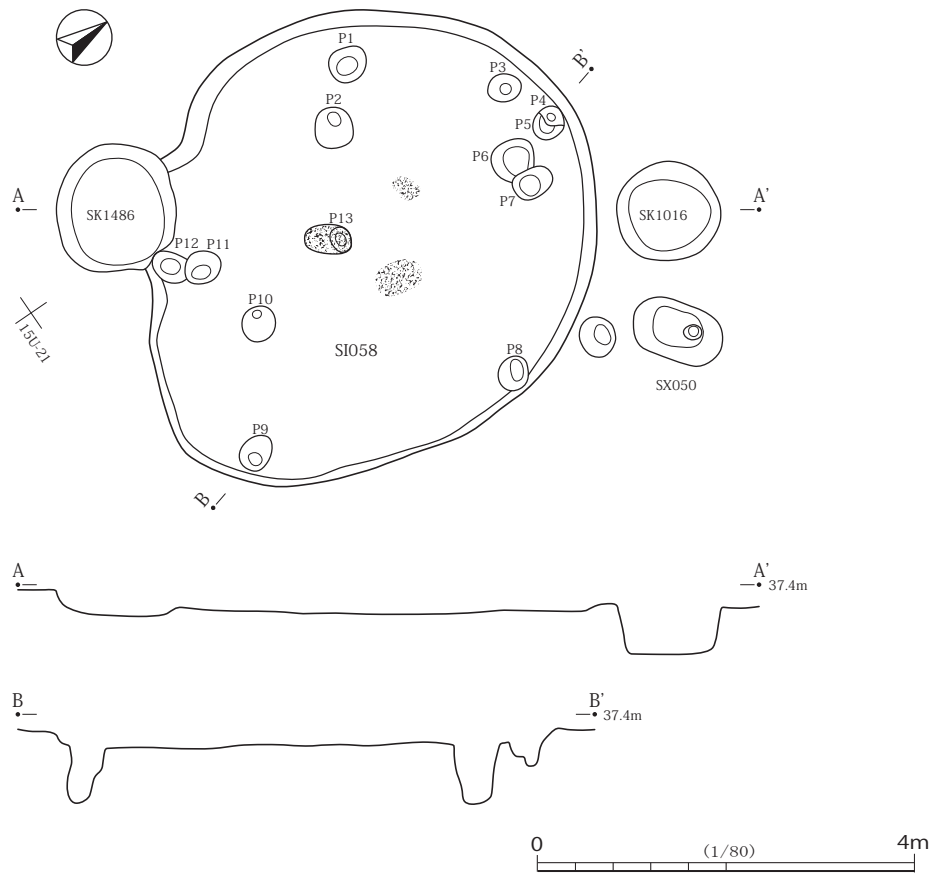
**遺物** 土器 7,515g 勝坂式末期・加曽利E1式古段階・同新段階・同3式古段階  
石器 剥片1点  
土製品 なし

**備考** 炉付近に2か所狭い範囲で焼けた面が検出された。

(78)SI057



(78)SI058



第42図 縄文時代住居跡 (19)

(78) SI059A・B (第43図、図版11)

**位置** 15U-14・15・24・25

**平面形** (規模) 楕円形 (6.84m×6.44m、深さ10cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (72cm)・P2 (39cm)・P3 (88cm)・P4 (107cm)・P5 (34cm)・P6 (23cm)・P7 (35cm)・P8 (71cm)・P9 (71cm)・P10 (65cm)・P11 (56cm)・P12 (61cm)・P13 (82cm)・P14 (78cm)・P15 (52cm)・P16 (74cm)・P17 (72cm)・P18 (46cm)・P19 (60cm)・P20 (47cm)・P21 (63cm)・P22 (46cm)・P23 (86cm)・P24 (36cm)・P25 (43cm)・P26 (52cm)・P27 (49cm)・P28 (75cm)・P29 (55cm)・P30 (72cm)・P31 (94cm)・P32 (18cm)・P33 (42cm)・P34 (47cm)・P35 (21cm)・P36 (68cm)・P37 (80cm)・P38 (41cm)・P39 (74cm)・P40 (25cm)・P41 (67cm)・P42 (46cm)・P43 (28cm)・P44 (58cm)・P45 (70cm)・P46 (72cm)・P47 (52cm)・P48 (56cm)・P49 (57cm)・P50 (49cm)・P51 (46cm)・P52 (47cm)・P53 (37cm)

**炉** (規模) A埋甕炉 (11.2cm×9.1cm、深さ56cm) B埋甕炉 (14.3cm×10.0cm、深さ60cm)

**重複** SK1149→・SK1150・SK2013→・SK1084→・SK1520→

**時期** A 4b期 B 3b期

**遺物** 土器 26,075g 加曾利E1式・同2式・同3式古段階・同中段階・同4式古段階

石器 石鏃2点、楔形石器1点、両極剥片1点、局部磨製石斧1点、礫器2点、磨製石斧2点、剥片6点、軽石製品2点、原石1点

土製品 なし

**備考** A・B2軒が重複する。西側の炉Aは加曾利E4式古段階の埋甕炉、西側の炉Bは加曾利E3式中段階の埋甕炉である。住居跡西側では部分的に壁溝が二重に検出され、その近辺の柱穴の配列もこれに沿っているように見える。内側の壁溝と柱穴が住居跡B、外側の壁溝と柱穴が住居跡Aに属し、加曾利E4式期に住居跡が拡張されたと考えられる。SK2013は加曾利E2-3式期の単独埋甕で、P14が掘られる際、一部が壊されている。

(78) SI060 (第44図、図版11)

**位置** 15U-65・66・75・76

**平面形** (規模) 楕円形 (6.72m×4.26m、深さ10cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (53cm)・P2 (80cm)・P3 (27cm)・P4 (9cm)・P5 (74cm)・P6 (47cm)・P7 (20cm)・P8 (21cm)・P9 (59cm)・P10 (57cm)・P11 (17cm)・P12 (55cm)・P13 (14cm)・P14 (21cm)・P15 (24cm)・P16 (77cm)

**炉** (規模) 地床炉 (60cm×47cm、深さ10cm)

**重複** SK1194・SK1195・SK1210・SK1441

**時期** 2c期

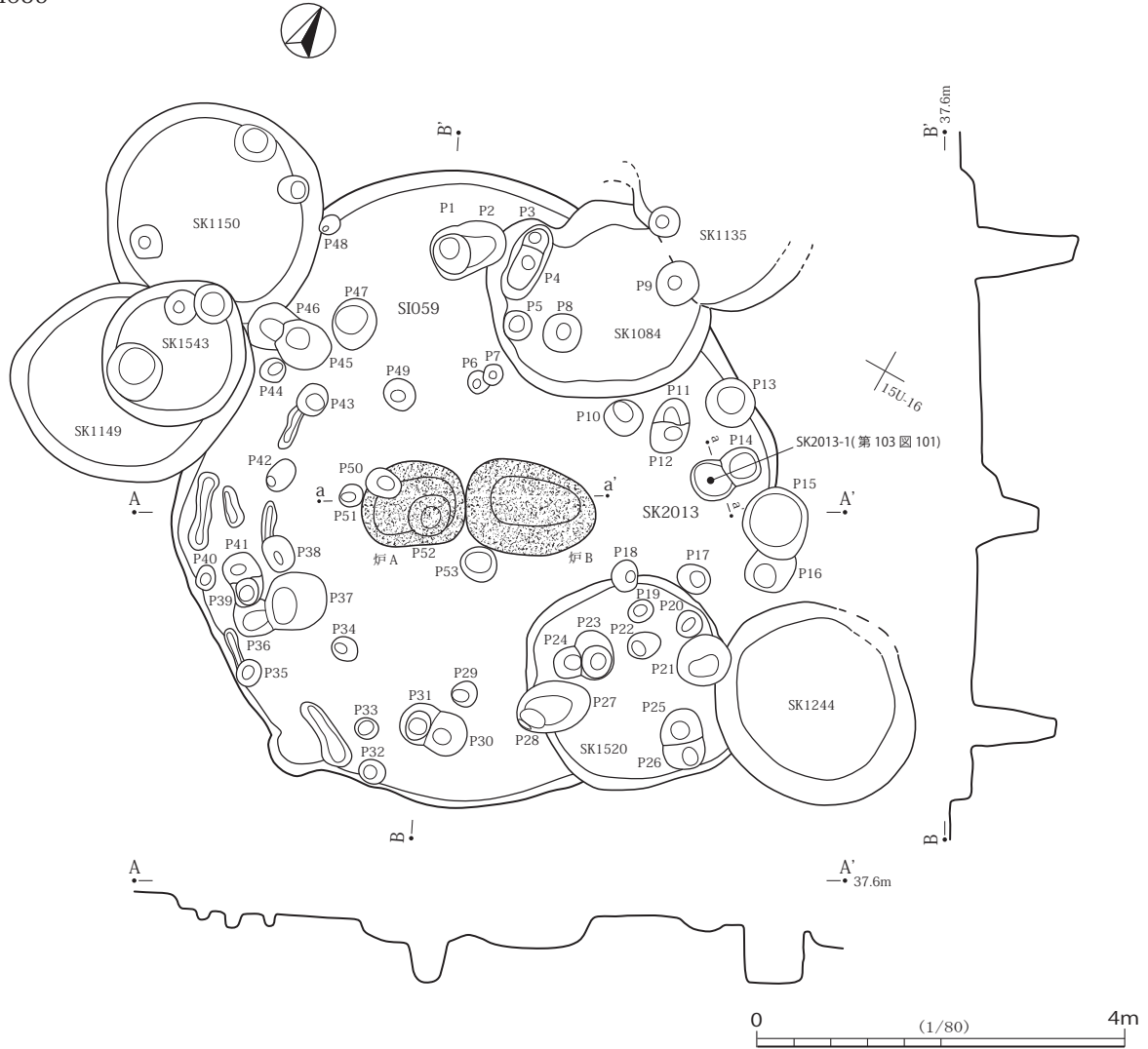
**遺物** 土器 5,770g 勝坂式末期・加曾利E2式古段階・同2-3式

石器 石核2点

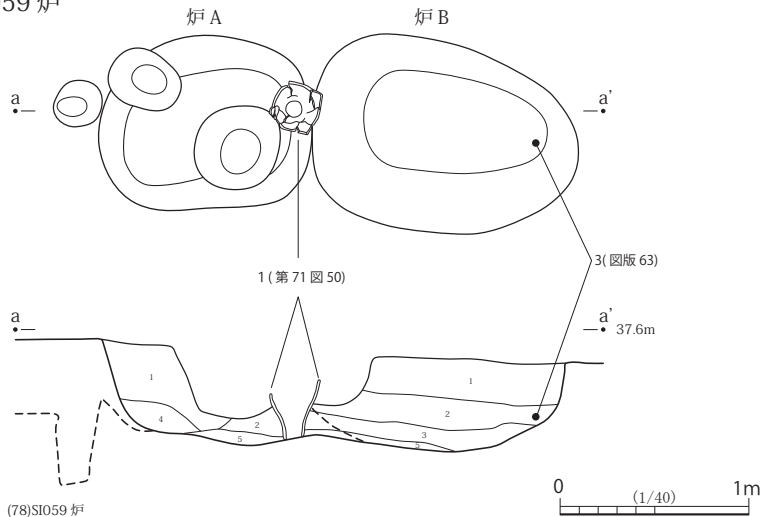
土製品 なし

**備考** 掘り込みが浅く、壁は一部で検出されたのみである。

(78)SI059



(78)SI059 炉



(78)SI059 炉

1. 暗褐色土 少量の焼土粒を含む
2. 暗褐色土 やや少量の焼土粒を含む
3. 赤褐色土 多量の焼土粒、ブロックを含む
4. 暗黄褐色土 少量の焼土粒、ロームブロックを含む
5. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロックを多量に含む 少量の焼土粒を含む

第43図 縄文時代住居跡 (20)



(78) SI061 (第44図、図版11)

位置 15U-84・85・94・95

平面形 (規模) 楕円形? (-m×3.68m、深さ7cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (60cm)・P2 (70cm)・P3 (53cm)・P4 (22cm)・P5 (78cm)・P6 (34cm)・P7 (55cm)・P8 (27cm)・P9 (20cm)・P10 (66cm)・P11 (51cm)・P12 (62cm)

炉 (規模) 地床炉 (88cm×85cm、深さ10cm)

重複 なし

時期 不明

遺物 土器 1,105g 加曾利E1式古段階

石器 石鏃未成品1点

土製品 なし

備考 掘り込みが浅く、壁は一部で検出されたのみである。

(78) SI100 (第44図、図版11)

位置 11V-64・74

平面形 (規模) 長方形 (2.50m×2.00m、深さ18cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (52cm)

炉 なし

重複 なし

時期 前1期

遺物 土器 11,690g 阿玉台II式

石器 石鏃1点、石鏃未成品1点、磨石類2点、石核1点、剥片17点、碎片8点

土製品 なし

備考 阿玉台II式期の唯一の住居跡である。小型で、炉はない。

(78) SI101 (第45図)

位置 11V-82・83・92・93、12V-02・03

平面形 (規模) 隅丸方形? (-m×-m、深さ-cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (66cm)・P2 (64cm)・P3 (44cm)・P4 (58cm)・P5 (75cm)・P6 (38cm)・P7 (75cm)・P8 (17cm)・P9 (53cm)・P10 (66cm)・P11 (14cm)・P12 (12cm)・P13 (53cm)・P14 (69cm)・P15 (47cm)

炉 (規模) 地床炉 (-cm×60cm、深さ27cm)

重複 なし

時期 不明

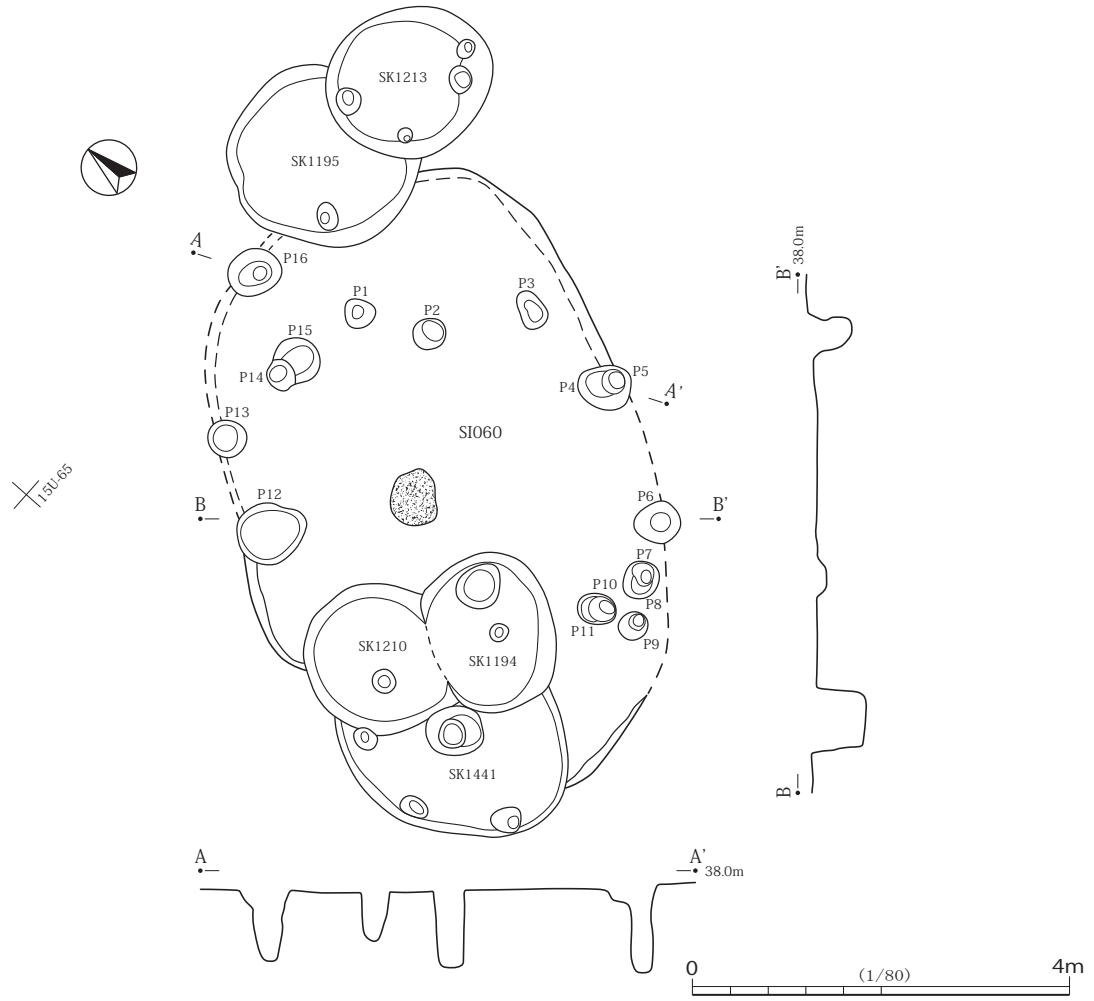
遺物 土器 8,820g 阿玉台IV・加曾利E2式・同2-3式・同3式古段階・中段階

石器 石皿1点、石核1点、剥片3点

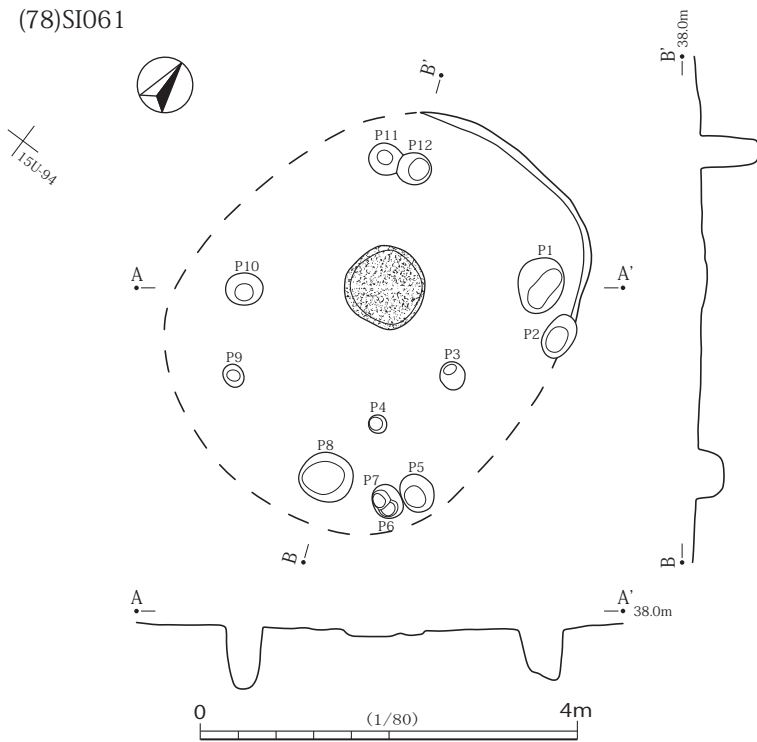
土製品 土器片錘1点

備考 炉と柱穴のみ検出した。

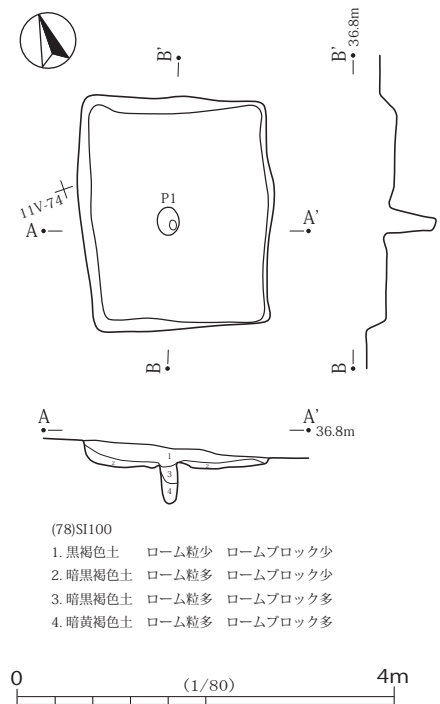
(78)SI060



(78)SI061



(78)SI100



- (78)SI100
- 1. 黒褐色土 ローム粒少 ロームブロック少
  - 2. 暗黒褐色土 ローム粒多 ロームブロック少
  - 3. 暗黒褐色土 ローム粒多 ロームブロック多
  - 4. 暗黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック多

第44図 縄文時代住居跡 (21)

(78) SI102 (第45図、図版11)

位置 12U-42・43・52・53

平面形 (規模) 略円形? (-m×-m、深さ-cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (18cm)・P2 (37cm)・P3 (70cm)・P4 (30cm)・P5 (50cm)・P6 (65cm)・P7 (19cm)・P8 (33cm)・P9 (19cm)・P10 (64cm)・P11 (24cm)・P12 (28cm)

炉 (規模) 2連埋甕炉 (112cm×90cm、深さ20cm)

重複 なし

時期 3a期

土器 土器 3,140g 加曾利E3式古段階・曾利新1式

石器 石皿1点、剥片1点、碎片1点

土製品 なし

備考 炉と柱穴のみを検出した。

(78) SI103A・B (第46図、図版12)

位置 12U-61・62・63・72・73

平面形 (規模) 楕円形? (-m×-m、深さ-cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (27cm)・P2 (51cm)・P3 (37cm)・P4 (46cm)・P5 (36cm)・P6 (18cm)・P7 (22cm)・P8 (43cm)・P9 (-54cm)・P10 (55cm)・P11 (48cm)・P12 (36cm)・P13 (44cm)・P14 (26cm)・P15 (40cm)・P16 (54cm)・P17 (38cm)・P18 (81cm)・P19 (8cm)・P20 (37cm)・P21 (33cm)・P22 (59cm)・P23 (75cm)・P24 (44cm)・P25 (76cm)・P26 (58cm)・P27 (46cm)・P28 (46cm)・P29 (42cm)・P30 (30cm)・P31 (28cm)・P32 (17cm)・P33 (60cm)・P34 (52cm)・P35 (38cm)・P36 (38cm)・P37 (39cm)

炉 (規模) A 地床炉 (65cm×30cm、深さ25cm) B 埋甕炉 (75cm×55cm、深さ19cm)

重複 SX001→・SK248・SK252

時期 3a～3b期

遺物 土器 3,155g 加曾利E1～2式・同3式古段階・古段階～中段階

石器 剥片1点

土製品 なし

備考 炉2か所と柱穴のみを検出した。北側の炉Aは地床炉である。南側の炉Bは加曾利E3式古～中段階の埋甕炉であるが、遺存状態が悪く図示していない。

(78) SI104 (第46図、図版12)

位置 12U-85

平面形 (規模) 不整円形? (-m×-m、深さ-cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (46cm)・P2 (61cm)・P3 (105cm)・P4 (73cm)・P5 (54cm)・P6 (52cm)・P7 (72cm)・P8 (43cm)

炉 (規模) 2連埋甕炉 (100cm×60cm、深さ30cm)

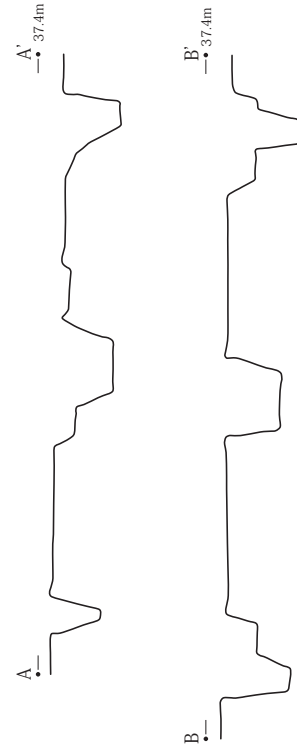
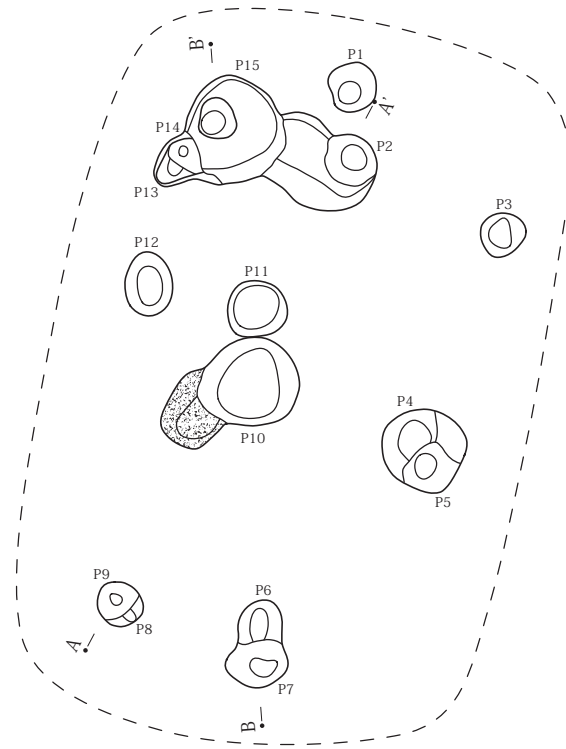
重複 なし

(78)SI101



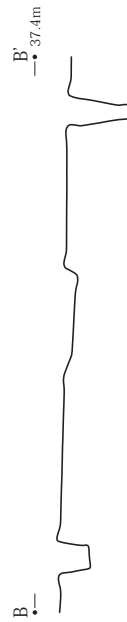
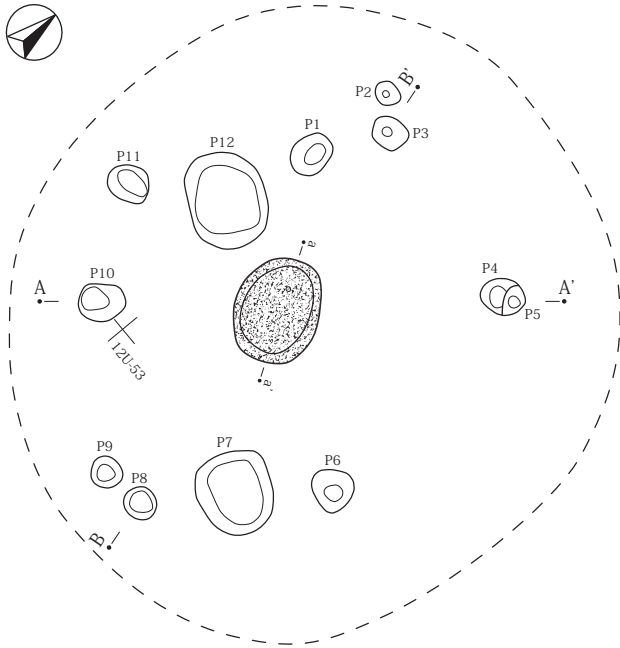
11V-92

12V-02

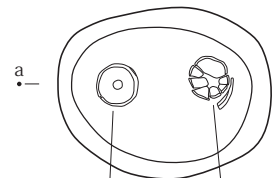


0 (1/80) 4m

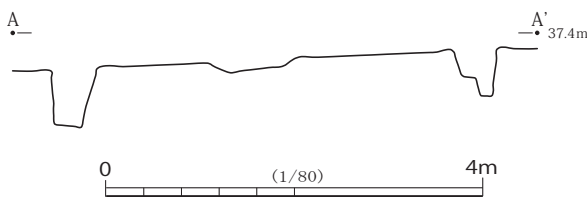
(78)SI102



(78)SI102 炉



0 (1/40) 1m



0 (1/80) 4m

第45図 縄文時代住居跡 (22)

**時期** 2c期

**遺物** 土器 5,870g 加曾利E2-3式

石器 なし

土製品 なし

**備考** 炉と柱穴のみ検出した。2連の炉体土器は類同土器である。

(78) SI105 (第47図、図版12)

**位置** 12U-69・79、12V-60・70

**平面形** (規模) 楕円形? (-m×-m、深さ-cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (54cm)・P2 (53cm)・P3 (47cm)・P4 (54cm)・P5 (34cm)・P6 (23cm)・P7 (28cm)・P8 (16cm)・P9 (42cm)・P10 (50cm)・P11 (36cm)・P12 (75cm)・P13 (46cm)・P14 (43cm)・P15 (46cm)・P16 (42cm)・P17 (44cm)・P18 (52cm)・P19 (68cm)・P20 (63cm)・P21 (35cm)・P22 (54cm)・P23 (15cm)・P24 (34cm)・P25 (25cm)・P26 (68cm)・P27 (98cm)・P28 (53cm)・P29 (28cm)・P30 (38cm)・P31 (36cm)・P32 (53cm)

**炉** (規模) 土器片囲・埋甕炉 (113cm×96cm、深さ35cm)

**重複** SK274・SK279→

**時期** 3a期

**遺物** 土器 1,090g 加曾利E1式・同3式古段階

石器 剥片1点

土製品 なし

**備考** 炉と柱穴のみ検出した。

(78) SI106 (第48図、図版12)

**位置** 12V-02・03・12

**平面形** (規模) 不整楕円形 (6.22m×4.15m、深さ10cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (67cm)・P2 (44cm)・P3 (48cm)・P4 (24cm)・P5 (72cm)・P6 (65cm)・P7 (40cm)・P8 (72cm)

**炉** (規模) 土器片囲・埋甕炉 (97cm×78cm、深さ25cm)

**重複** なし

**時期** 2c期

**遺物** 土器 6,355g 加曾利E2-3式

石器 剥片2点

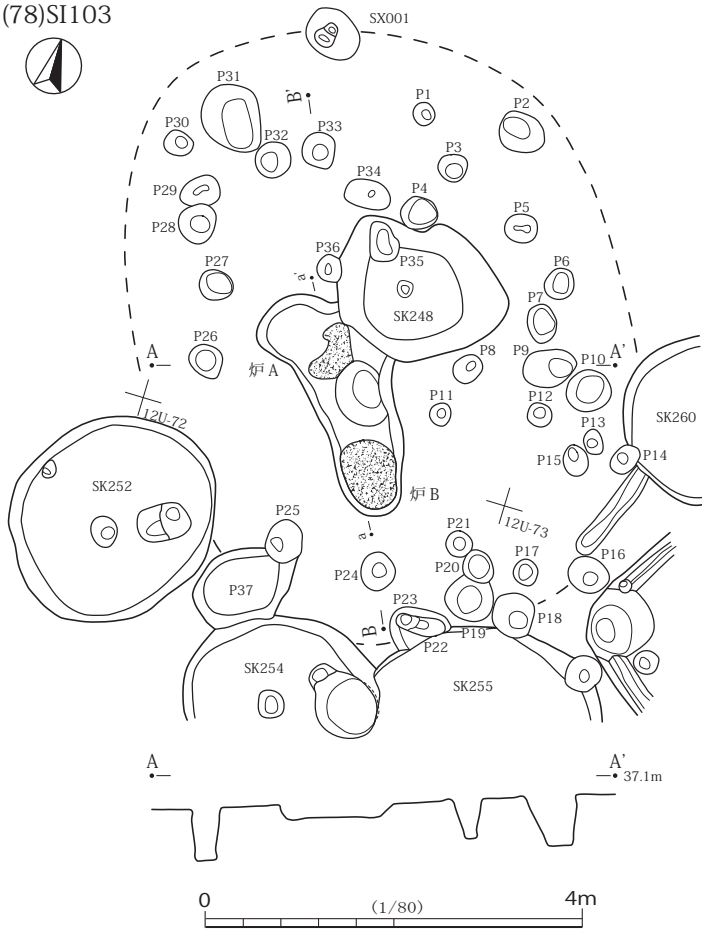
土製品 なし

**備考** 掘り込みが浅く、壁は一部が検出できなかった。

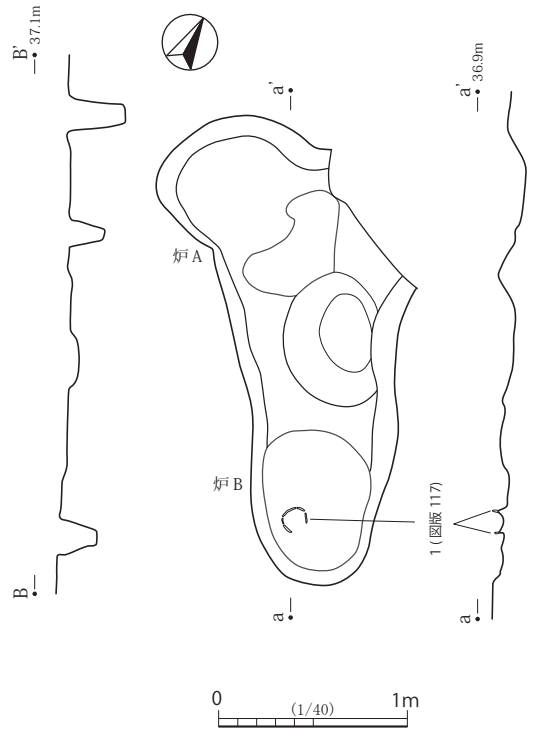
(78) SI107 (第48図、図版12)

**位置** 14U-31・32・41・42

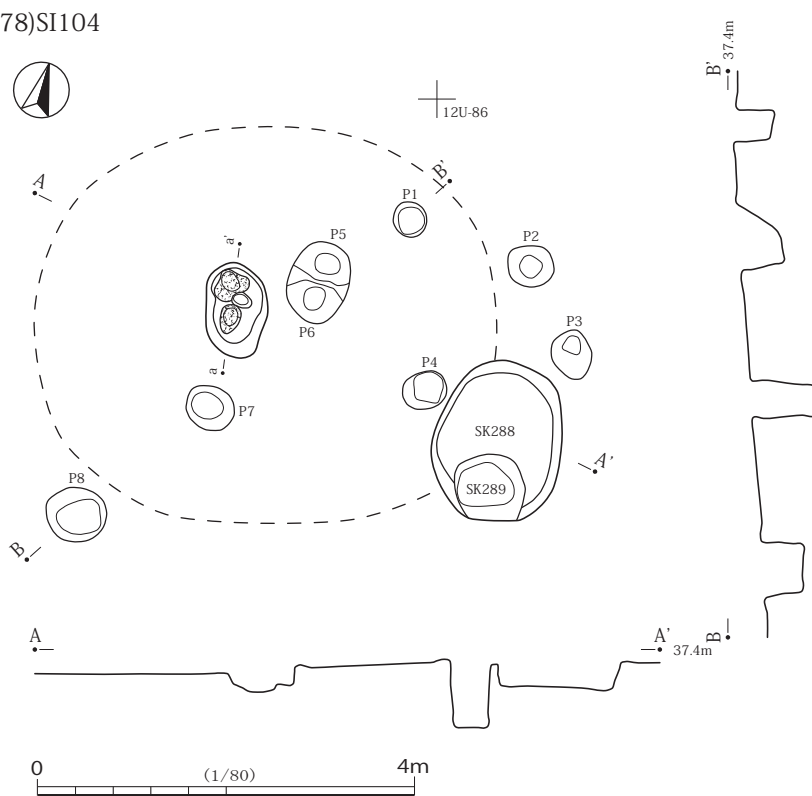
(78)SI103



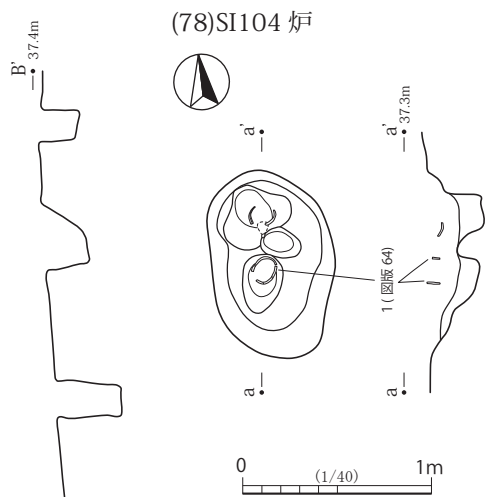
(78)SI103 炉



(78)SI104



(78)SI104 炉



第46図 縄文時代住居跡 (23)

平面形 (規模) 楕円形 (—m×—m、深さ—cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (56cm)・P2 (28cm)・P3 (47cm)・P4 (50cm)・P5 (46cm)・P6 (39cm)・P7 (24cm)・P8 (45cm)・P9 (29cm)・P10 (50cm)・P11 (12cm)

炉 (規模) 地床炉 (—cm×70cm、深さ21.6cm)

重複 SK538・SK539・SK554→・SK562・SK605→

時期 3c期

遺物 土器 8,650g 阿玉台IV式・加曾利E1式古段階・同2式・同3式古段階・同新段階・同4式

石器 楔形石器1点、二次加工ある剥片2点、剥片2点

土製品 土器片錘1点、円板1点

備考 一部の炉・壁が確認された。炉脇の床面が一部焼けていた。破線住居跡推定範囲内にあるピットの大部分は、本住居跡の柱穴と思われる。

(78) SI108 (第49図、図版12)

位置 14U-78

平面形 (規模) 不整楕円形? (—m×—m、深さ25cm)

柱穴 (床面からの深さ) P1 (55cm)・P2 (41cm)・P3 (27cm)・P4 (57cm)・P5 (42cm)・P6 (30cm)・P7 (56cm)・P8 (42cm)・P9 (25cm)・P10 (39cm)

炉 (規模) 土器片囲・埋甕炉 (105cm×70cm、深さ26cm)

重複 SK1103→

時期 6期

遺物 土器 22,840g 土器 阿玉台II式・勝坂式末期・加曾利E2式・同3式新段階・同4式・称名寺式・堀之内I式

石器 磨製石斧2点、砥石1点、剥片3点、碎片2点

土製品 なし

備考 炉体土器はすべて堀之内I式である。

(78) SI109 (第49図、図版12)

位置 14V-93・94、15V-03・04

平面形 (規模) 楕円形? (—m×—m、深さ—cm)

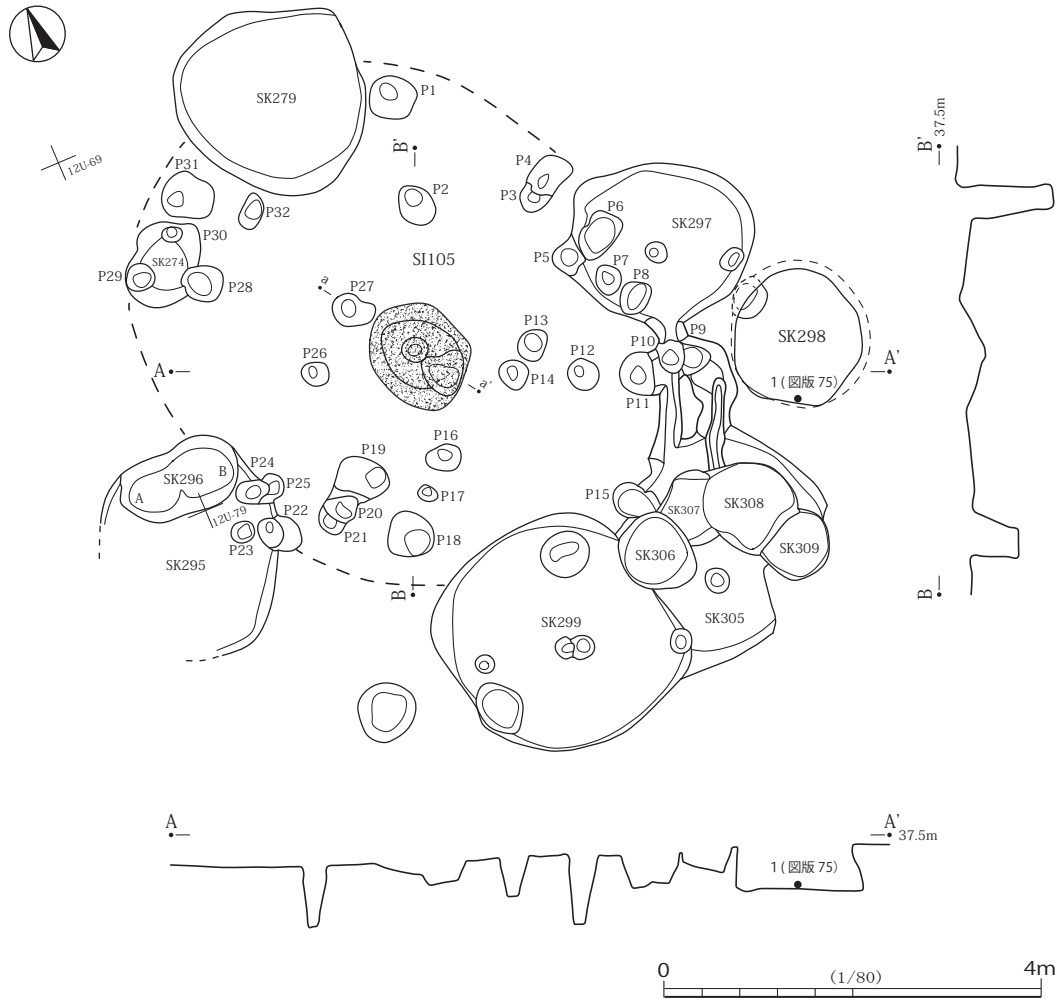
柱穴 (床面からの深さ) P1 (25cm)・P2 (35cm)・P3 (19cm)・P4 (29cm)・P5 (85cm)・P6 (37cm)・P7 (25cm)・P8 (45cm)・P9 (54cm)・P10 (20cm)・P11 (67cm)・P12 (51cm)・P13 (31cm)・P14 (82cm)・P15 (31cm)・P16 (32cm)・P17 (20cm)・P18 (18cm)・P19 (44cm)・P20 (38cm)・P21 (32cm)・P22 (34cm)・P23 (102cm)・P24 (19cm)・P25 (43cm)・P26 (57cm)・P27 (64cm)・P28 (44cm)・P29 (41cm)・P30 (47cm)・P31 (46cm)・P32 (49cm)・P33 (92cm)・P34 (54cm)・P35 (26cm)・P36 (51cm)

炉 (規模) 地床炉 (41cm×35cm、深さ31cm)

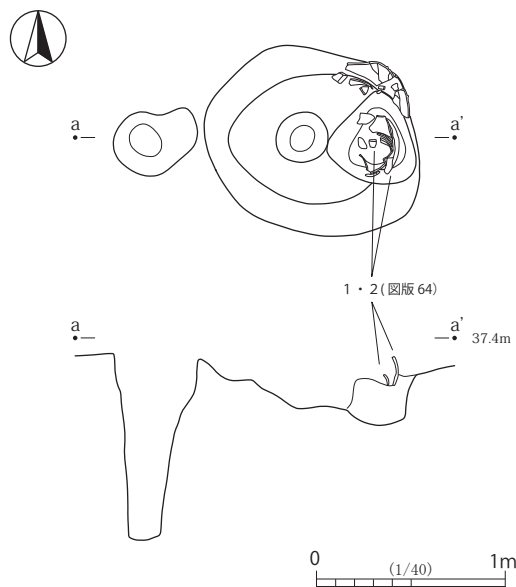
重複 SK640・SK641・SK720・SK721・SK786

時期 3b期

(78)SI105



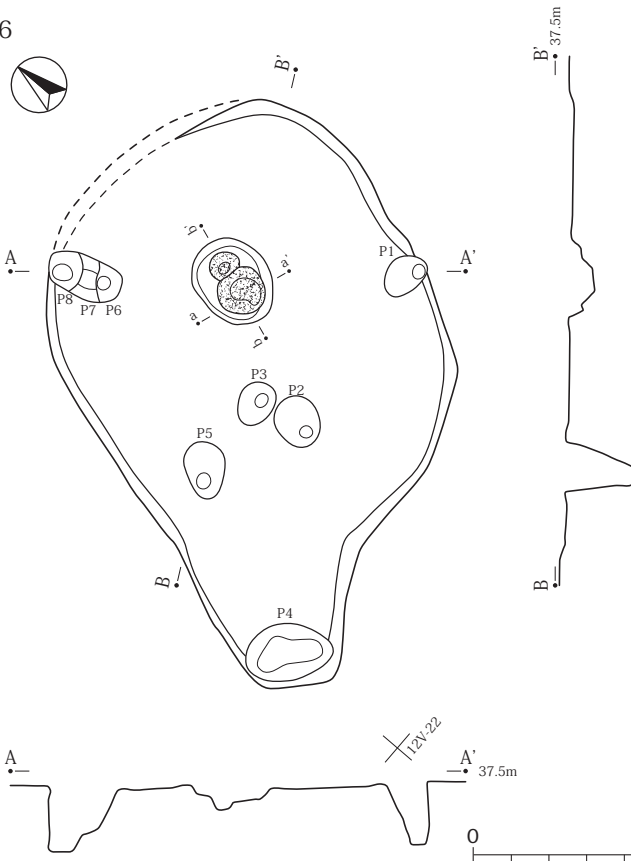
(78)SI105 炉



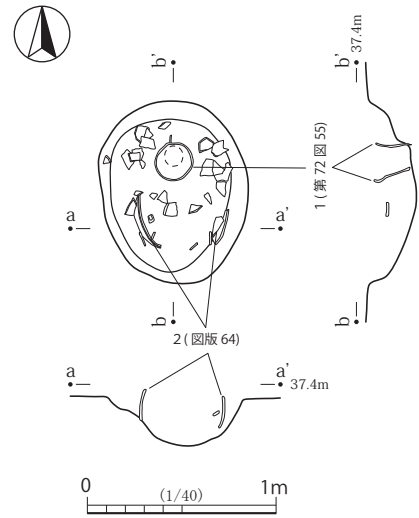
第47図 縄文時代住居跡 (24)



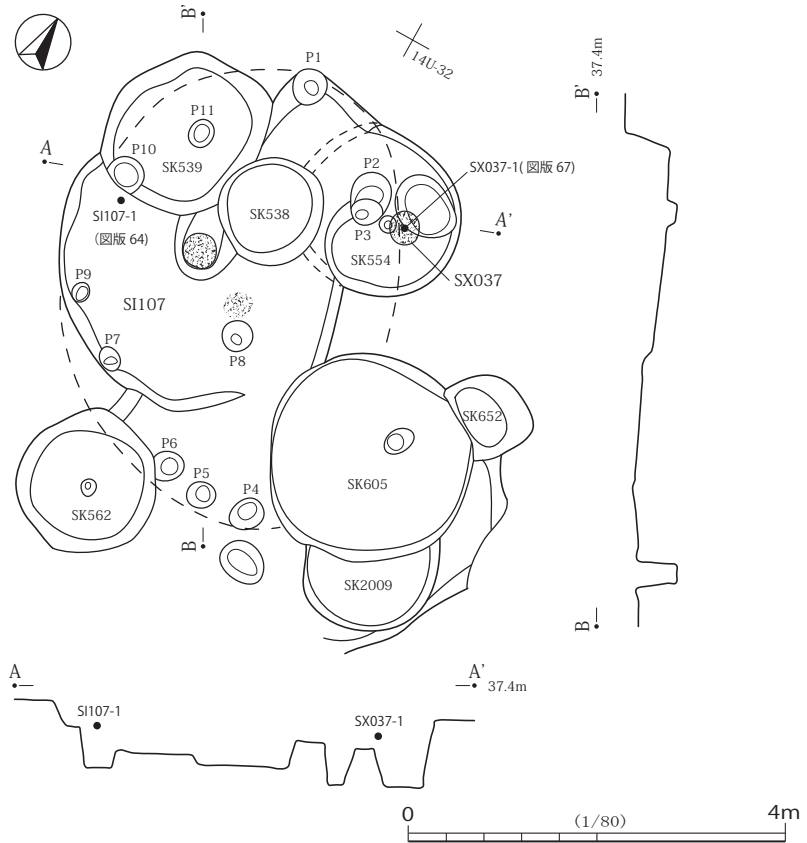
(78)SI106



(78)SI106 炉

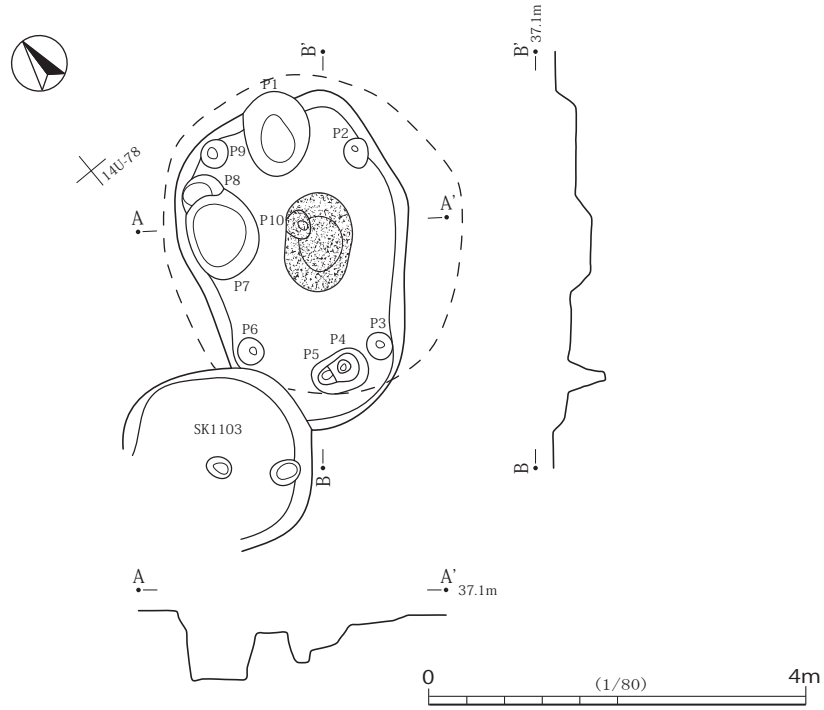


(78)SI107・SX037

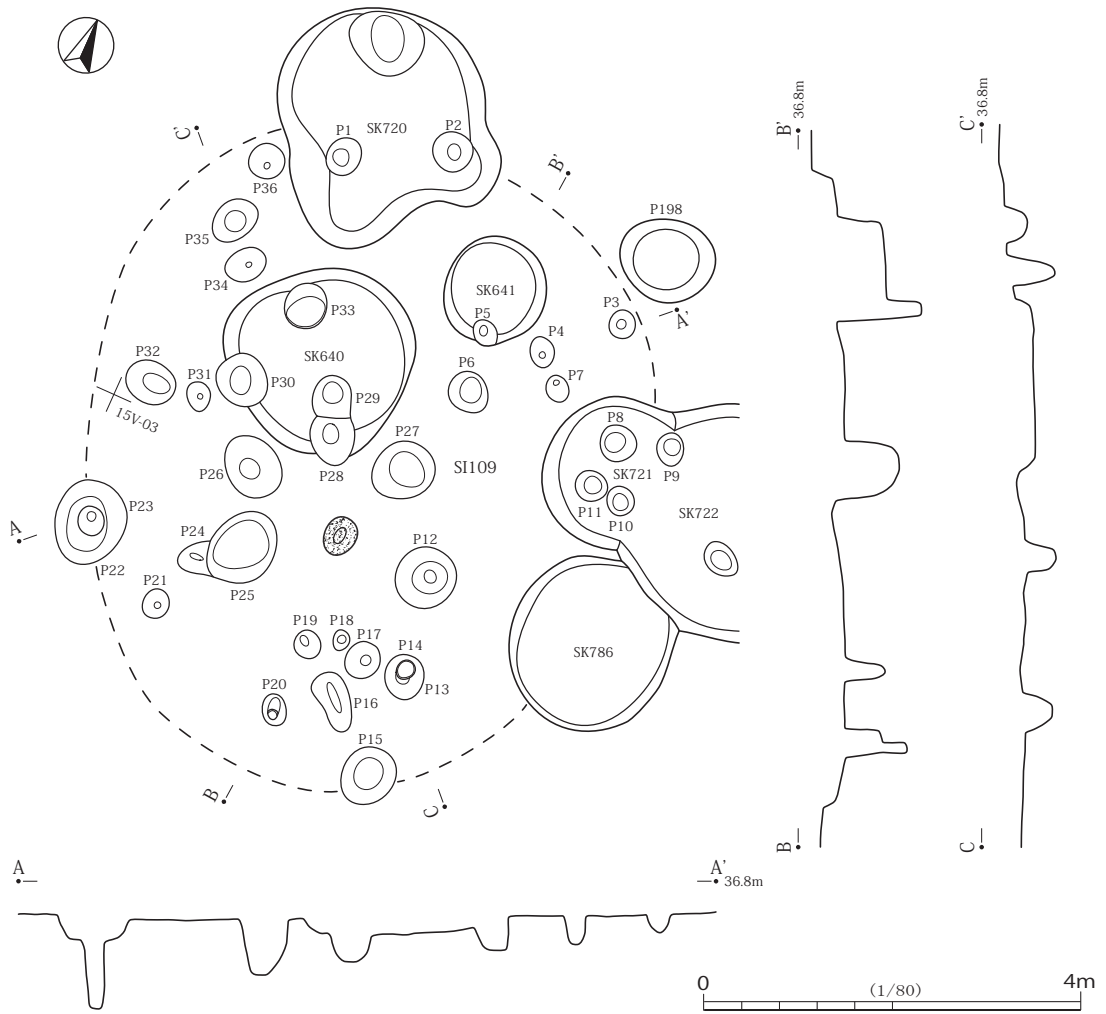


第48図 縄文時代住居跡 (25)

(78)SI108



(78)SI109



第49図 縄文時代住居跡 (26)

**遺物** 土器 2,670g 加曾利E2-3式・同3式古段階・同中段階

石器 なし

土製品 なし

**備考** 炉と柱穴のみが確認できた。

(78) S1110 (第50図、図版13)

**位置** 15V-34・35・44・45

**平面形** (規模) 隅丸方形 (5.85m×4.46m、深さ15~50cm)

**柱/穴** (床面からの深さ) P1 (34cm)・P2 (92cm)・P3 (46cm)・P4 (85cm)・P5 (74cm)・P6 (68cm)・P7 (47cm)・P8 (88cm)・P9 (47cm)・P10 (26cm)・P11 (91cm)・P12 (86cm)・P13 (87cm)・P14 (20cm)・P15 (28cm)・P16 (32cm)・P17 (98cm)

**炉** なし

**重複** S1111・SK811

**時期** 1a期

**遺物** 土器 42,650g 阿玉台Ⅲ式・同Ⅳ式・勝坂式末期・加曾利E1式古段階・同2式・同3式・同4式

石器 石鏃2点、同未成品2点、石錐2点、打製石斧1点、磨製石斧1点、礫器1点、剥片10点、碎片2点

土製品 土器片錘1点、円板3点

**備考** 有段住居跡である。中央の低い床面及び段部の床面とも壁溝が巡るが、一部で途切れている。P13の底面から白色粘土塊が出土した。S1111とは同時期だが、新旧関係は不明である。

(78) S1111 (第50図、図版13)

**位置** 15V-33・34・43・44

**平面形** (規模) 楕円形 (5.50m×4.20m、深さ10cm)

**柱穴** (床面からの深さ) P1 (31cm)・P2 (57cm)・P3 (32cm)・P4 (26cm)・P5 (56cm)・P6 (19cm)・P7 (104cm)・P8 (73cm)・P9 (36cm)・P10 (18cm)・P11 (43cm)・P12 (5cm)・P13 (32cm)・P14 (49cm)・P15 (31cm)・P16 (60cm)・P17 (44cm)・P18 (26cm)

**炉** (規模) 地床炉 (67cm×62cm、深さ6cm)

**重複** S1110・→SK804・→SK816

**時期** 1a期

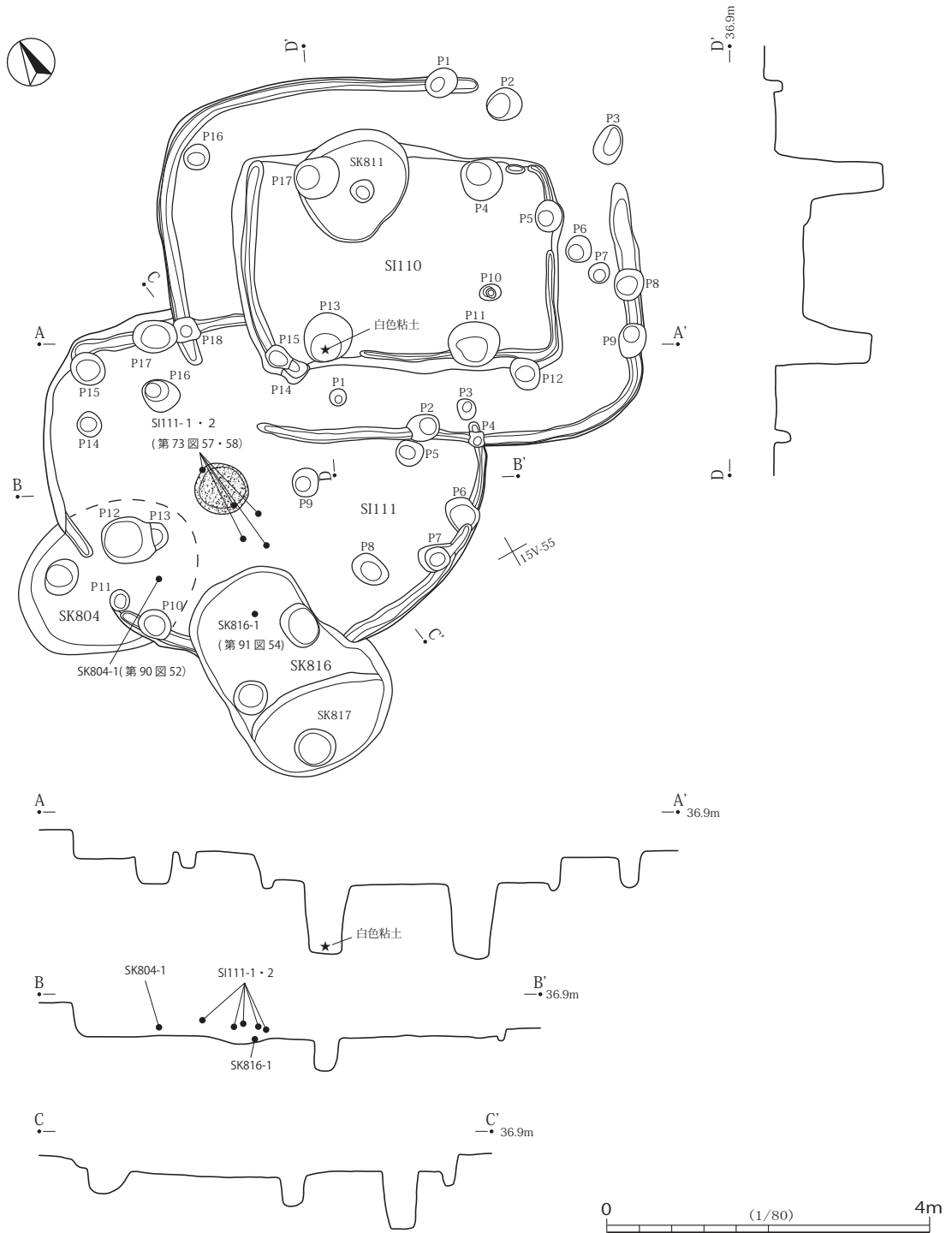
**遺物** 土器 27,480g 加曾利E1式古段階・同2式・同3式古段階

石器 打製石斧2点、磨石類1点、石皿1点、剥片4点、碎片1点、原石1点、軽石製品1点

土製品 土器片錘3点、円板1点

**備考** 壁溝が一部巡る。

(78)SI110・(78)SI111・(78)SK804・(78)SK816



第50図 縄文時代住居跡 (27)

## 第2節 炉跡 (第51～54図、第5・6表、図版13～17)

遺構同士の激しい重複などによって住居跡の床面や柱穴が検出できずに、炉のみが確認されたものが76基あり、SXで表記した。内訳は地床炉が29基、埋甕炉が36基、土器片囲炉が5基、土器片囲・埋甕炉が6基で、うち2連の地床炉が1基、同じく2連の埋甕炉が2基であった。なお、埋甕炉、土器片囲炉は土坑覆土中に構築されたものが多かった。第5表は住居跡に伴う炉及び単独の炉跡のうち、時期がしぼり込めるものを形態別に集計したものである。1期から2b期では地床炉が主体であったが、2c期以降埋甕炉が多くなり、2連の埋甕炉や土器片囲炉、土器片囲・埋甕炉も登場してくることが分かる。

## 第3節 土坑等 (第55～60図、第7表、図版18～52)

土坑は約1500基検出された。大部分は平面円形で、断面がたらい状ないしは袋状をなす貯蔵穴と考えられるものであるが、断面が皿状の浅い土坑もある。そのほか、陥穴が3基、単独の埋甕が3基ある。陥穴はSK232・SK1350・SK1425で、いずれも検出面の平面形が楕円形で、底面が長方形をなす同一形態のものである。単独の埋甕はSK284・SK716・SK2013である。このうち、SK2013は住居跡SI059のP14と切り合っており、P14が掘られた際一部壊された状態が確認できた。なお、SK860からは焼成後に開けられた底部穿孔の土器が出土していて埋甕と考えられる。土坑廃棄後に覆土内に埋設されたものと思われる。

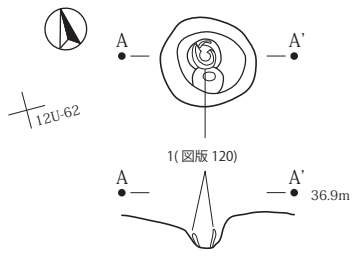
## 第4節 遺物包含層 (第61図、第8表)

グリッド出土の縄文土器総量は約1,400kgであった。第8表に大グリッドごとに出土総量と加曾利E式前半、同後半、後期別の出土量を集計した。第61図1から3で時期別の分布状況を見ると、加曾利E式前半と後半はおおむね遺構分布と重なるが、後期は13V、14U、15Vに多く、中期と大きく異なることが分かった。

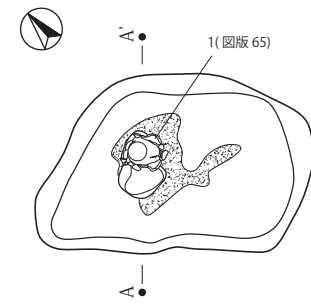
第5表 各種炉の時期別集計

時期区分	土器型式	地床炉	埋甕炉	土器片囲炉	土器片囲・埋甕炉
1a期	阿玉台Ⅲ式～加曾利E1式古	3	2		
1b期	加曾利E1式新	1			
1b～2a期		1	1		
2a期	加曾利E2式古	2			
2b期	加曾利E2式新	2			
2b～2c期			1		
2c期	加曾利E2-3式	2	5 (2連1)	1	
2期		4	4	2	2
2c～3a期		1	2		
3a期	加曾利E3式古	3	18 (2連2)	2	7
3a～3b期		1	4		
3b期	加曾利E3式中	2	3 (2連1)		1
3c期	加曾利E3式新	2	1		
3期		2			
4a期	加曾利E3-4式	0			
4b期	加曾利E4式古	0	1		
4c期	加曾利E4式中	0		1	
4d期	加曾利E4式新	0			
4期		1			
5期	称名寺式	0			
6期	堀之内1式	0			1
計		27	42 (2連4)	6	11

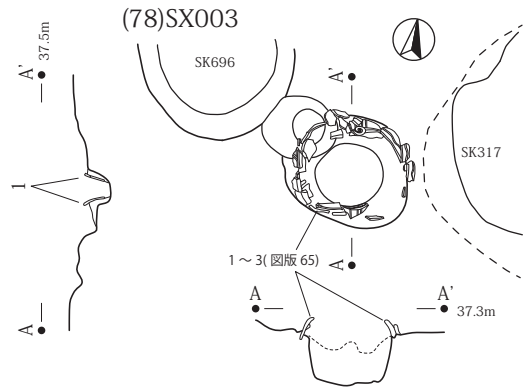
(78)SX001



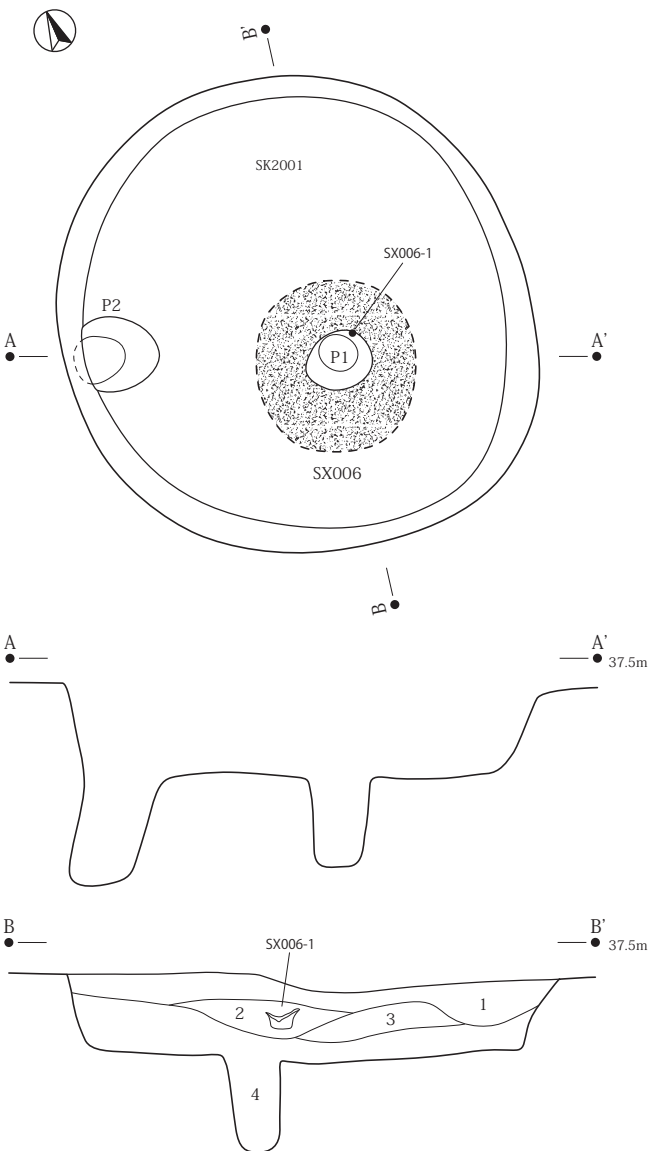
(78)SX002



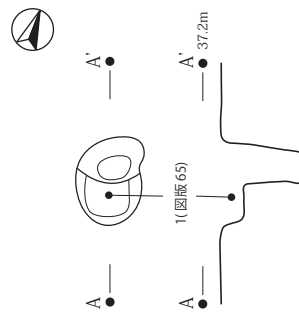
(78)SX003



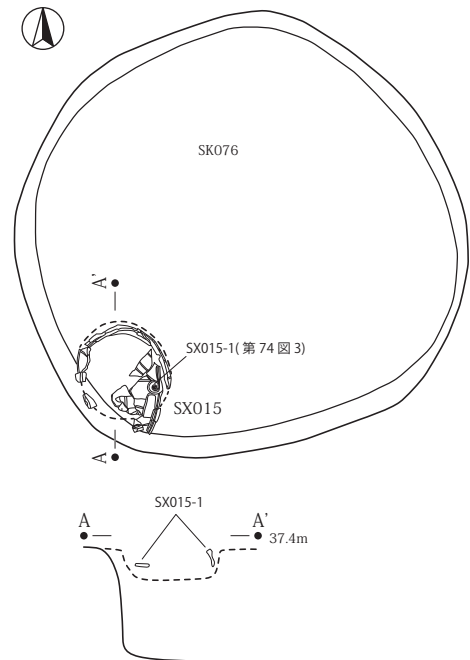
(78)SX006・SK2001



(78)SX011

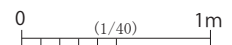


(78)SX015・SK076



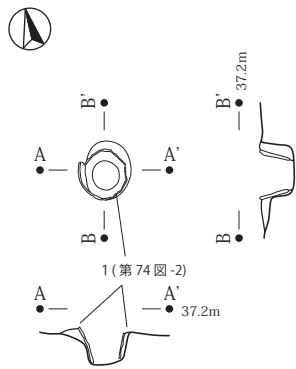
SX006・SK2001

- 1. 暗褐色土 ローム粒少 焼土粒少
- 2. 赤褐色土 ローム粒・ロームブロック少 焼土粒・ブロック多
- 3. 暗黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック少
- 4. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多

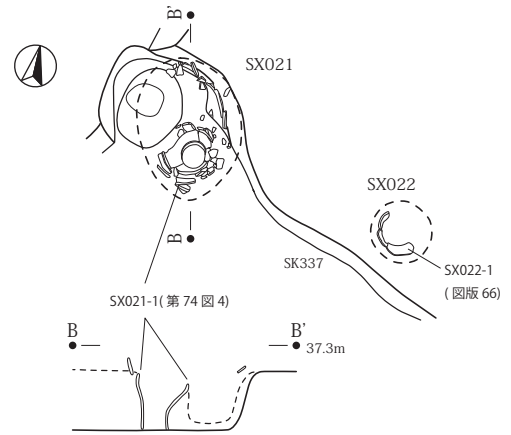


第51図 縄文時代炉跡 (1)

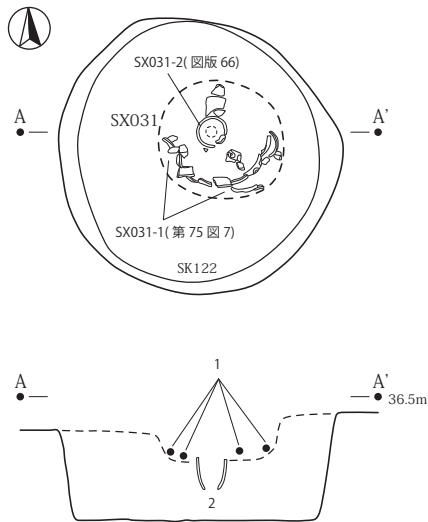
(78)SX017



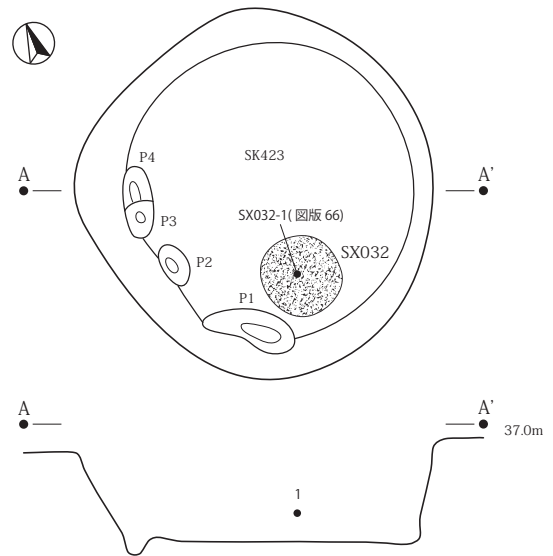
(78)SX021・SX022



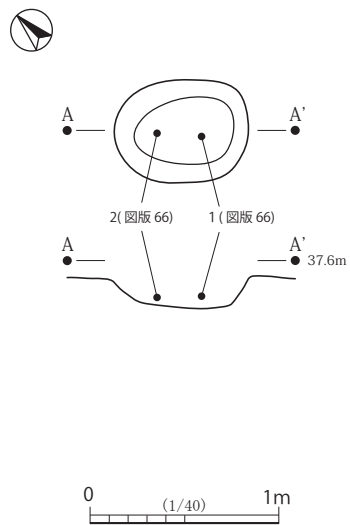
(78)SX031・SK122



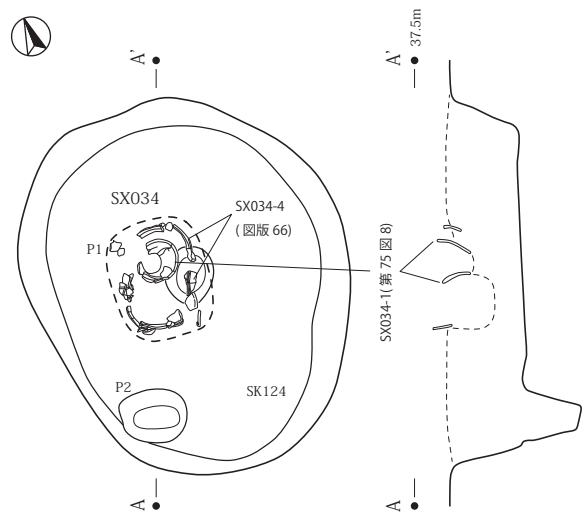
(78)SX032・SK423



(78)SX033

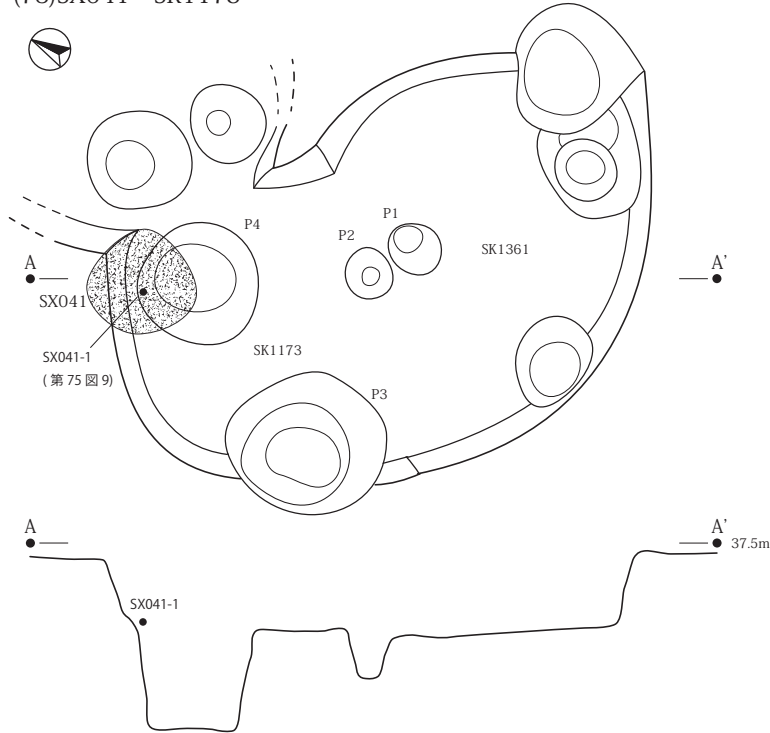


(78)SX034・SK124

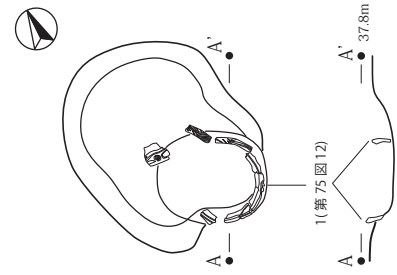


第52图 縄文時代炉跡 (2)

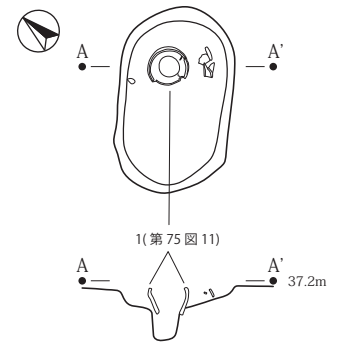
(78)SX041・SK1173



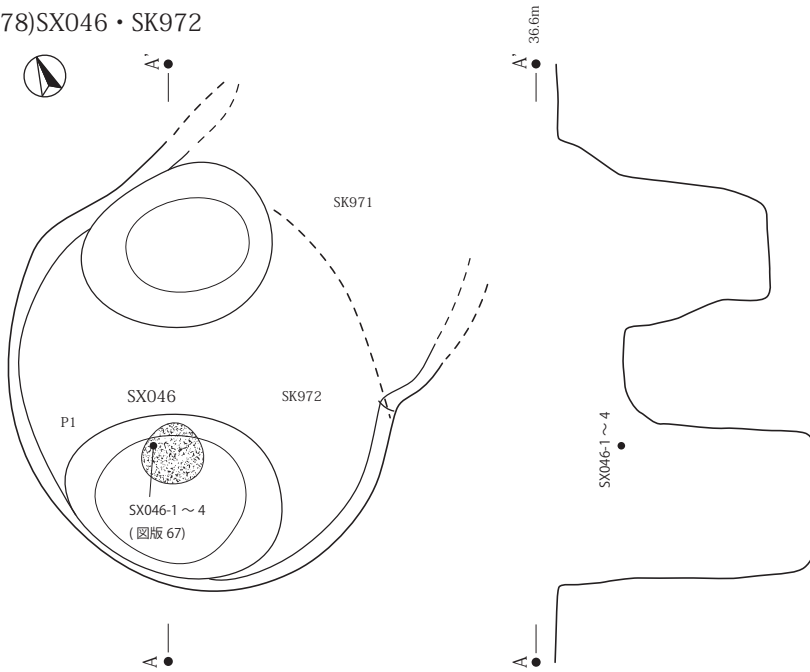
(78)SX049



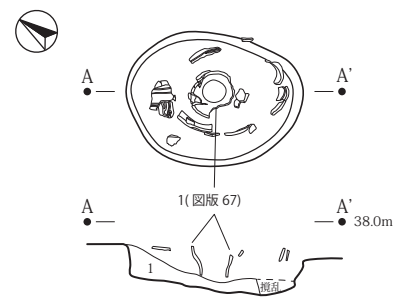
(78)SX050



(78)SX046・SK972

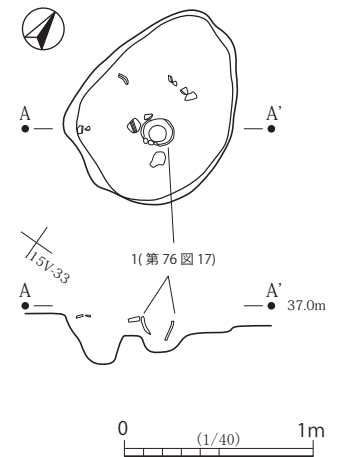


(78)SX051

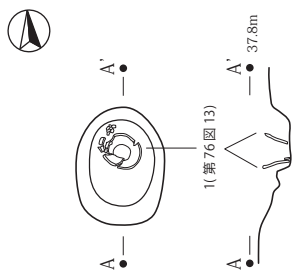


1. 黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多 焼土粒多

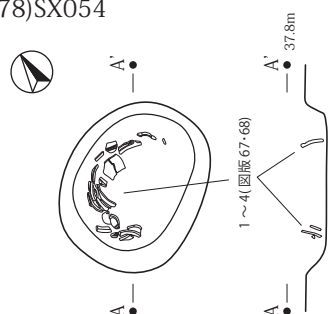
(78)SX058



(78)SX053



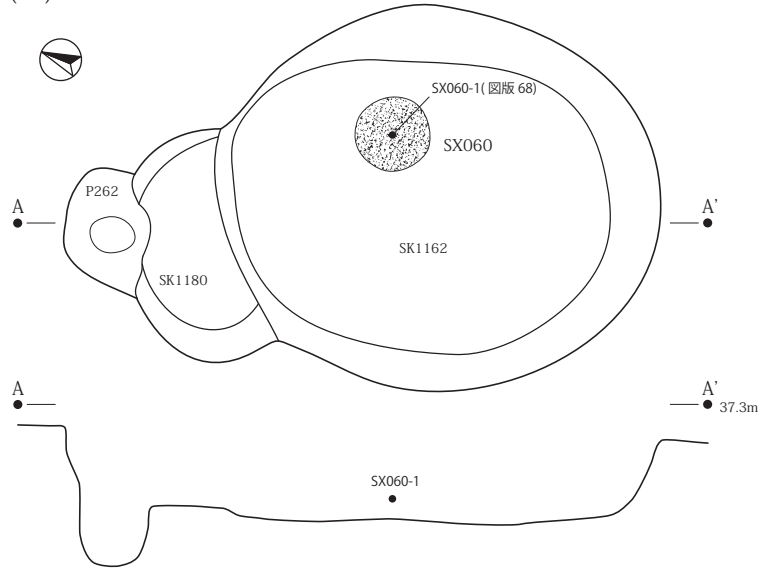
(78)SX054



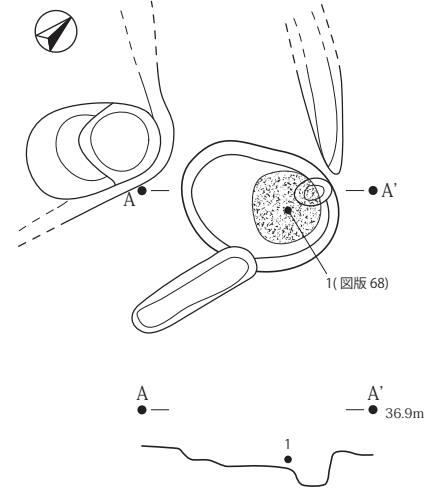
第53図 縄文時代炉跡 (3)



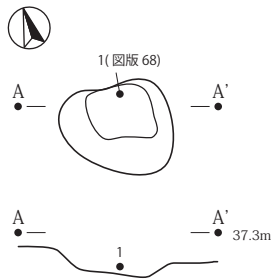
(78)SX060 • SK1162



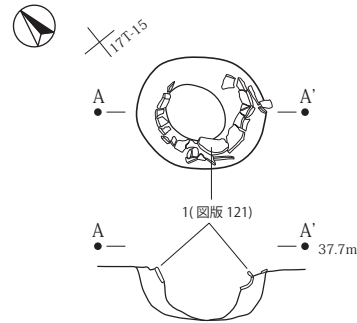
(78)SX065



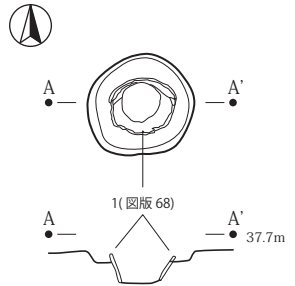
(78)SX066



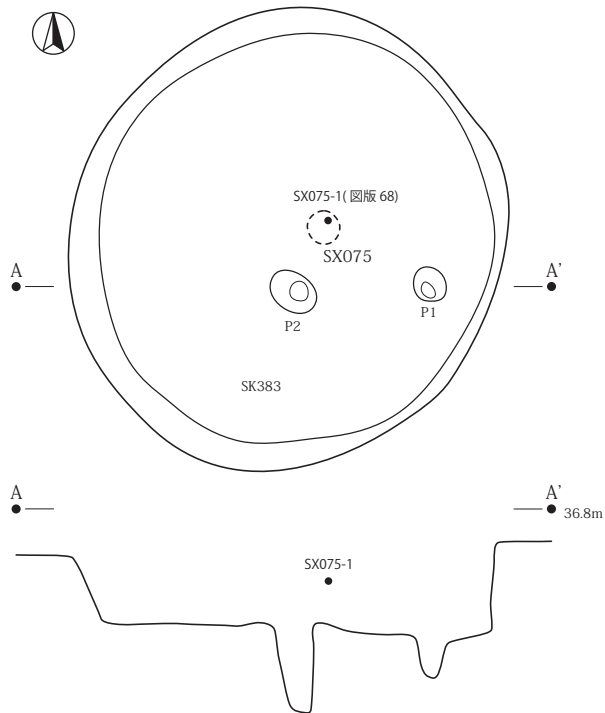
(78)SX071



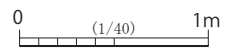
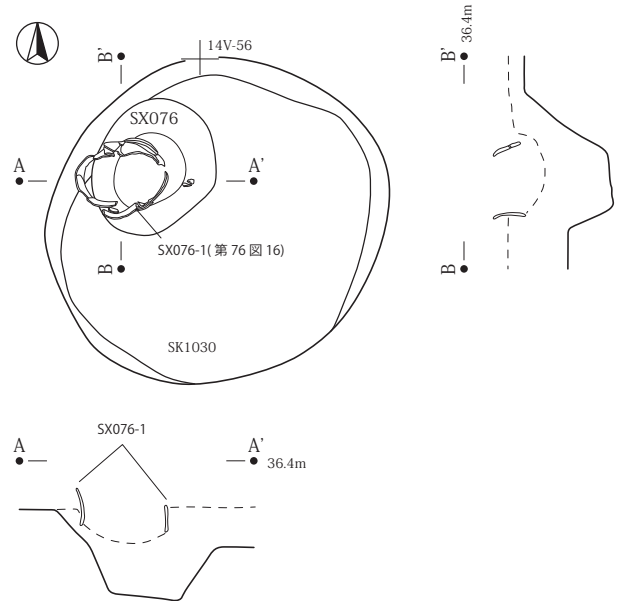
(78)SX072



(78)SX075 • SK383



(78)SX076 • SK1030



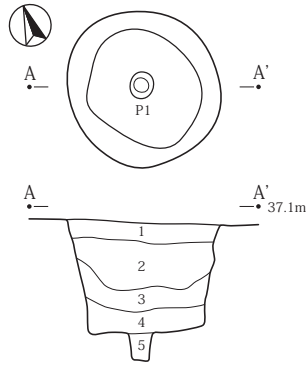
第54图 縄文時代炉跡 (4)

第6表 炉跡一覧

遺構番号	位置	種類	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	重複 関係	土器重量 (g)	土器型式	その他の主な遺物	所属 時期	備考
(78)SX001	12V-52	埋甕炉	0.60×0.48	15	→SI103	175	E2~E2-3		2期	
(78)SX002	12V-89	埋甕炉	1.54×0.80	17		680	E3古	打斧1	3a期	
(78)SX003	12V-99	土器片囲炉	0.59×-	29		4,820	E2-3		2c期	
(78)SX004	12V-96	埋甕炉	0.74×-	20	SK404	800	E3古		3a期	
(78)SX005	12V-29	2連地床炉	1.30×0.95	15		50	E2-3~E3古		2c~3b期	
(78)SX006	12V-00	埋甕炉	-		SK2001→	635	E3古		3a期	
(78)SX007	12V-21	埋甕炉	0.90×0.55	20		1,000	E3古	剥片1	3a期	
(78)SX008	12V-41	埋甕炉	-	52	SK482→	650	E3古		3a期	
(78)SX009	12V-48	埋甕炉	1.66×1.66	19		260	E2-3~E3古		2c~3a期	
(78)SX010	12V-59	埋甕炉	-	28	SK043→	2,860	E3古~E3中		3a~3b期	
(78)SX011	12V-59	埋甕炉	0.43×0.34	14		1,300	E1新~E2古		1b~2a期	
(78)SX012	12V-52	埋甕炉	0.40×0.40	19	SK451	700	E3古		3a期	
(78)SX013	12V-90	地床炉	-		SK334, SK335	-	-		不明	
(78)SX014	12V-90	地床炉	-		SK059, SK334, SK335	-	-		不明	
(78)SX015	12W-62	埋甕炉	2.36×2.34	16	SK076→	3,930	E3古		3a期	
(78)SX016	12W-64	地床炉	0.86×0.64	32		100	E3		3期	
(78)SX017	12W-83	埋甕炉	0.40×0.24	18		1,350	E2~E2-3		2期	
(78)SX018	13U-14	地床炉	0.40×0.28	32		1,166	-		不明	
(78)SX019	13U-08	地床炉	0.56×0.38	37	SK755	200	-		不明	
(78)SX020	13V-00	地床炉	-		→SK004	-	-		不明	
(78)SX021	13V-02	土器片囲・埋甕炉	-	30		4,260	E3古	磨斧1	3a期	
(78)SX022	13V-02	埋甕炉	-	22		550	E3古		3a期	
(78)SX023	13V-19	2連埋甕炉	(1.28)×(0.64)	50	SK490→	3,750	E3中1	磨斧1	3b期	
(78)SX024	13V-68	地床炉	-	46		280	-		不明	
(78)SX025	13V-97	埋甕炉	-	38	SK834→	900	E3古		3a期	
(78)SX026	13V-98	埋甕炉	-	17		520	E3古	剥片3, 石核1	3a期	
(78)SX027	13W-03	地床炉	-	28	SK384	-	-		不明	
(78)SX028	13W-11	地床炉	0.78×0.54	75		-	-		不明	
(78)SX029	13V-19	地床炉	0.64×0.64			-	-		不明	
(78)SX030	13W-30	地床炉	-	28	SK644→	-	-		不明	
(78)SX031	14T-35	土器片囲・埋甕炉	-	57	SK122→	2,600	E3古1		3a期	
(78)SX032	14T-38	埋甕炉	-	63	SK423→	1,200	E2~E2-3		2期	
(78)SX033	14T-79	2連埋甕炉	0.70×0.55	14		1,572	E3古		3a期	
(78)SX034	14T-87	土器片囲・埋甕炉	-	44	SK124→	3,000	E2-3		2c期	
(78)SX035	14U-01	地床炉	-	22	→SK522	0	-		不明	
(78)SX036	14U-19	地床炉	-			-	-		不明	
(78)SX037	14U-32	埋甕炉	-	42	SK554→	1,000	不明		不明	

遺構番号	位置	種類	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	重複 関係	土器重量 (g)	土器型式	その他の主な遺物	所属 時期	備考
(78) SX038	14U-67	地床炉	0.52×0.46	28	→SK1010	-	-		不明	
(78) SX039	14U-88	地床炉	0.93×0.91	38		680	E3古	土鍬1	3a期	
(78) SX040	14U-96	地床炉	-	38	SK1217	-	-		不明	
(78) SX041	14U-93	埋甕炉	-	37	SK1173→	1,240	E3中1		3b期	
(78) SX042	14V-18	地床炉	-		SK809, P233	-	-		不明	
(78) SX043	14V-26	埋甕炉	-	58	SK839→	700	E3古		3a期	
(78) SX044	14V-73	地床炉	-		→SK1031	-	-		不明	
(78) SX045	14V-83	地床炉	-			-	-		不明	
(78) SX046	14V-85	土器片囲炉	0.32×0.30	38	SK972→	4,600	E3古2		3a期	
(78) SX047	15T-08	地床炉	0.68×0.45	31	→SK650	-	-		不明	
(78) SX048	15T-16	埋甕炉	0.76×-	21	SK1495	640	E2		2期	
(78) SX049	15U-00	土器片囲炉	0.93×-	13		1,850	曾利新1	土鍬1, 磨石1, 剥片2, 碎片1	2c~3a期	
(78) SX050	15U-01	土器片囲・埋甕炉	0.98×0.60	23		1,650	E3古		3a期	
(78) SX051	15U-10	土器片囲・埋甕炉	0.95×0.71	28		4,160	E3古1, 曾利新1		3a期	
(78) SX052	15U-16	地床炉	1.22×-	30	SK1079	60	E2~E2-3		2期	
(78) SX053	15U-22	埋甕炉	0.61×0.47	11		1,380	E3古	石鍬未1	3a期	
(78) SX054	15U-34	土器片囲炉	0.90×0.74	17		2,400	E3古		3a期	
(78) SX055	15U-55	土器片囲・埋甕炉	1.71×1.06	14		3,330	E2-3		2c期	
(78) SX056	15U-60	地床炉	-		→SK1216	-	-		不明	
(78) SX057	15U-56	埋甕炉	-		SK1213→	750	E3古		3a期	
(78) SX058	15V-23	埋甕炉	1.20×0.80	10		960	E3古	剥片2	3a期	
(78) SX059	15V-42	地床炉	0.60×0.45			-	-		不明	
(78) SX060	15V-42	埋甕炉	-		SK1162→	1,980	E3古		3a期	
(78) SX061	15V-50	埋甕炉	0.60×0.35	18		500	E3古~E3中		3a~3b期	
(78) SX062	15V-51	地床炉	-			-	-		不明	
(78) SX063	15V-61	埋甕炉	0.48×0.43	60		900	E2-3		2c期	
(78) SX064	15V-54	埋甕炉	-		SK817→	550	E2-3		2c期	
(78) SX065	15V-83	埋甕炉	0.84×0.64	11	SI046→	300	E3古~E3中		3a~3b期	
(78) SX066	15V-90	埋甕炉	0.59×0.46	20		720	E2新~E2-3		2b~2c期	
(78) SX067	15V-92	地床炉	-			-	-		不明	
(78) SX068	16V-11	地床炉	0.60×0.50	15		50	E3		3期	
(78) SX069	16V-11	地床炉	0.98×0.83	34		100	不明		不明	
(78) SX070	16V-12	地床炉	-		SK1341	-	-		不明	
(78) SX071	17T-15	土器片囲炉	0.68×0.59	27		1,694	E4中		4c期	
(78) SX072	17T-05	埋甕炉	0.56×0.52	18		1,900	不明		不明	
(78) SX073	12V-95	埋甕炉	-	18	SK597→	2,140	E3古		3a期	
(78) SX074	15T-36	埋甕炉	-	44	SK1271→	1,400	不明		不明	
(78) SX075	13U-41	埋甕炉	-		SK383→	1,000	E2-3~E3古		2c~3a期	
(78) SX076	14V-55	埋甕炉	0.75×0.72	50	SK1030→	4,910	E3中		3b期	

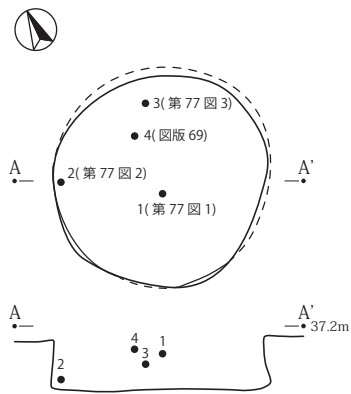
(78)SK008



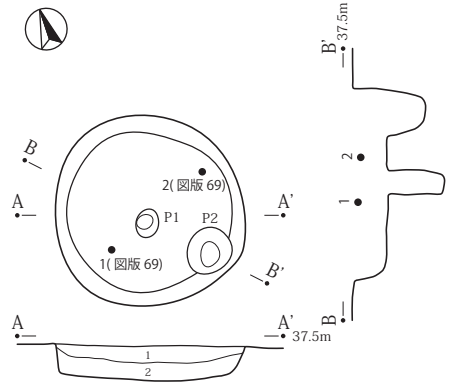
(78)SK008

- 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック多
- 2. 黒褐色土 ローム粒・ロームブロック多
- 3. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多
- 4. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少
- 5. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック少

(78)SK023



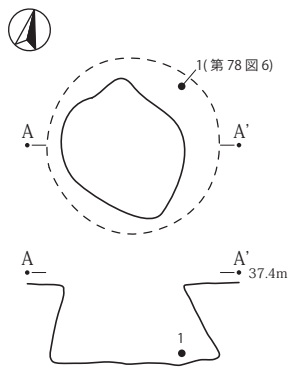
(78)SK029



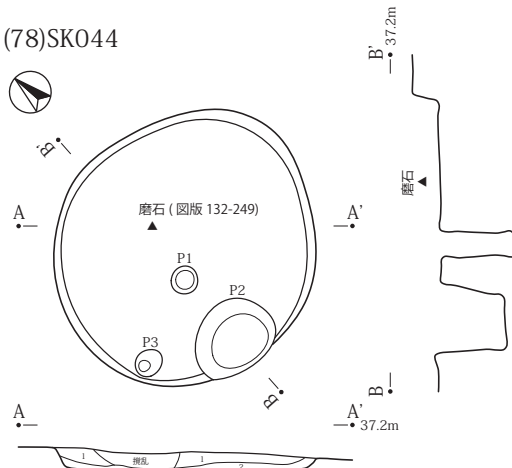
(78)SK029

- 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック多
- 2. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多

(78)SK041



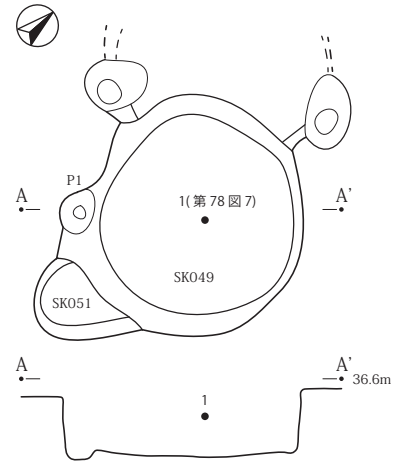
(78)SK044



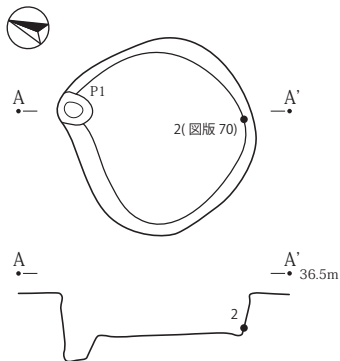
(78)SK044

- 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック多
- 2. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多

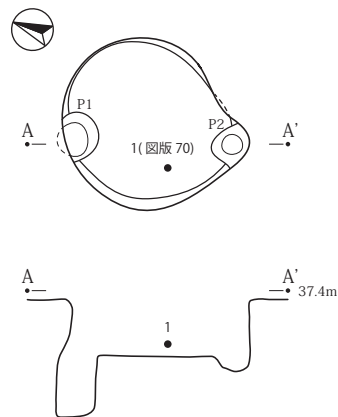
(78)SK049



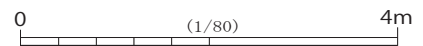
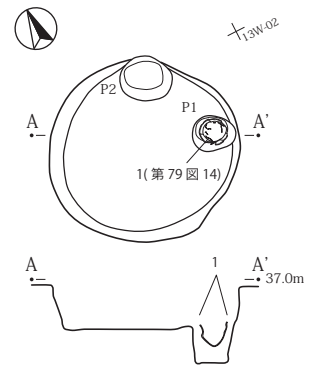
(78)SK055



(78)SK073

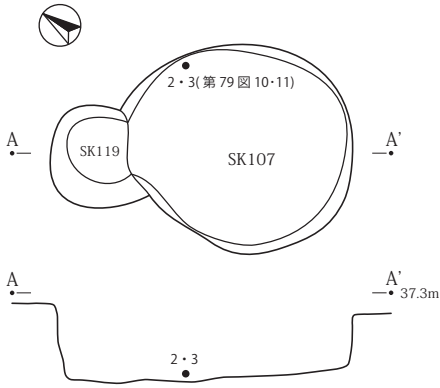


(78)SK103

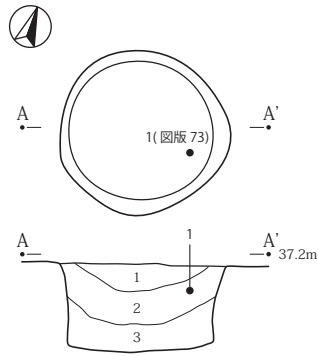


第55図 縄文時代土坑(1)

(78)SK107

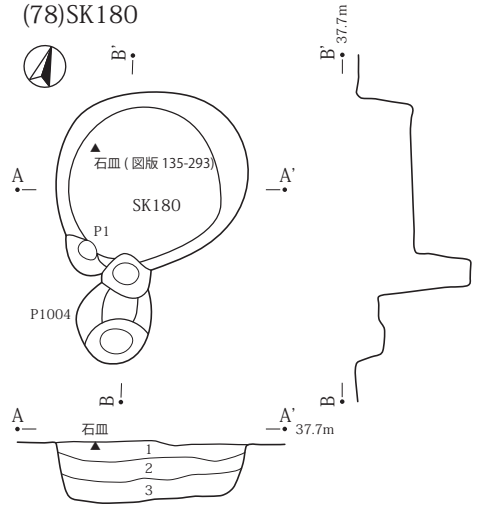


(78)SK157



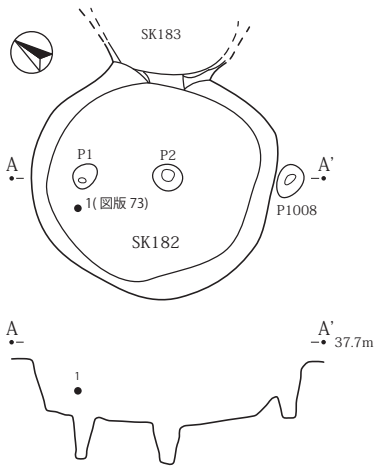
- (78)SK157  
 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック少  
 2. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック少  
 3. 暗黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック少

(78)SK180

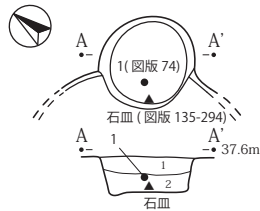


- (78)SK180  
 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック少 焼土粒少  
 2. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多  
 3. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多

(78)SK182

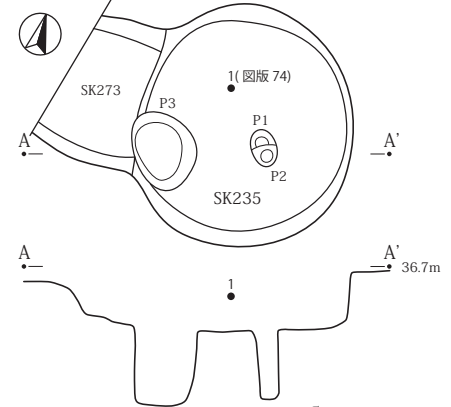


(78)SK223

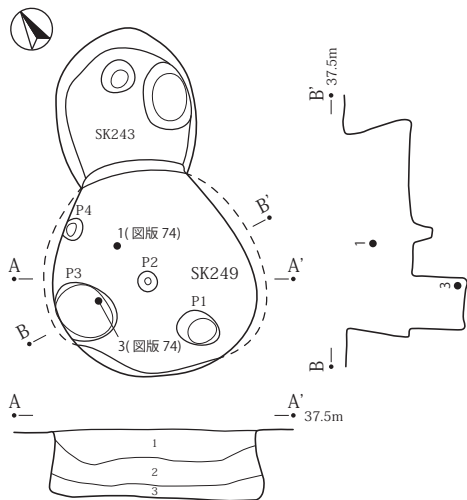


- (78)SK223  
 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック多  
 2. 黒褐色土 ローム粒・ロームブロック少

(78)SK235

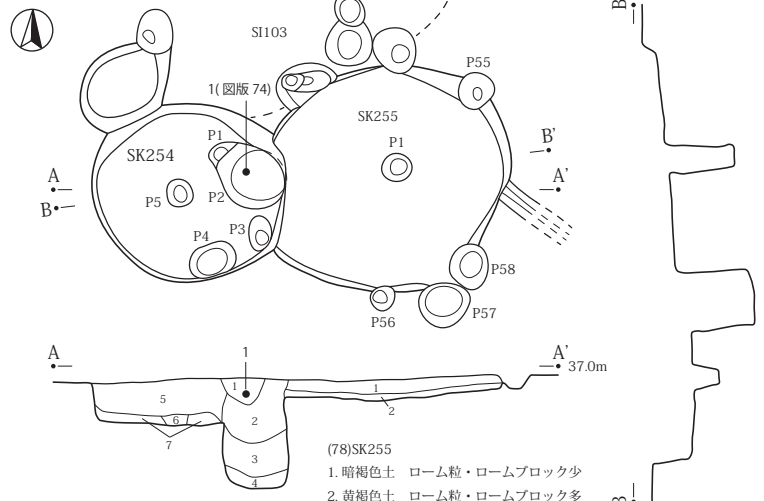


(78)SK249

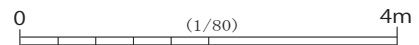


- (78)SK249  
 1. 黒褐色土 ローム粒・ロームブロック少  
 2. 暗黒褐色土 ローム粒・ロームブロック多  
 3. 暗黒褐色土 ローム粒・ロームブロック多

(78)SK254・SK255

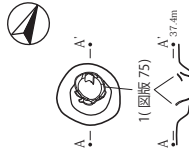


- (78)SK254  
 1. 暗褐色土 ローム粒多 ロームブロック少 焼土粒多  
 2. 暗黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多  
 3. 暗黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック少  
 4. 黄褐色土 ローム粒多 ロームブロック多
- (78)SK255  
 1. 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック少  
 2. 黄褐色土 ローム粒・ロームブロック多

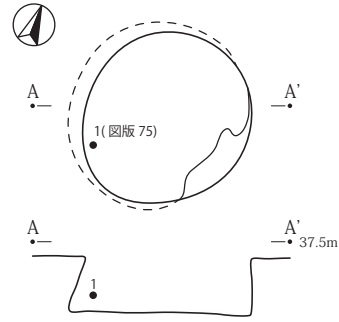


第56図 縄文時代土坑 (2)

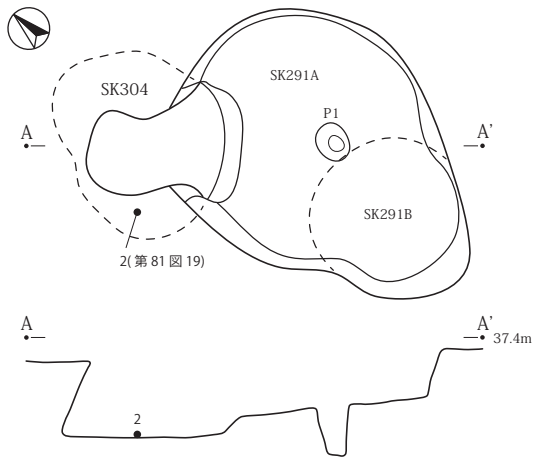
(78)SK284



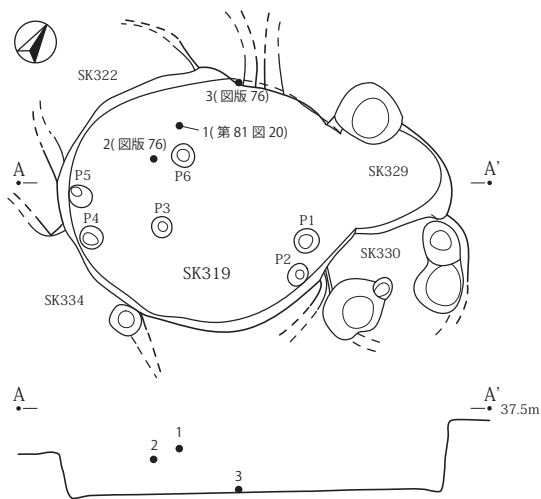
(78)SK286



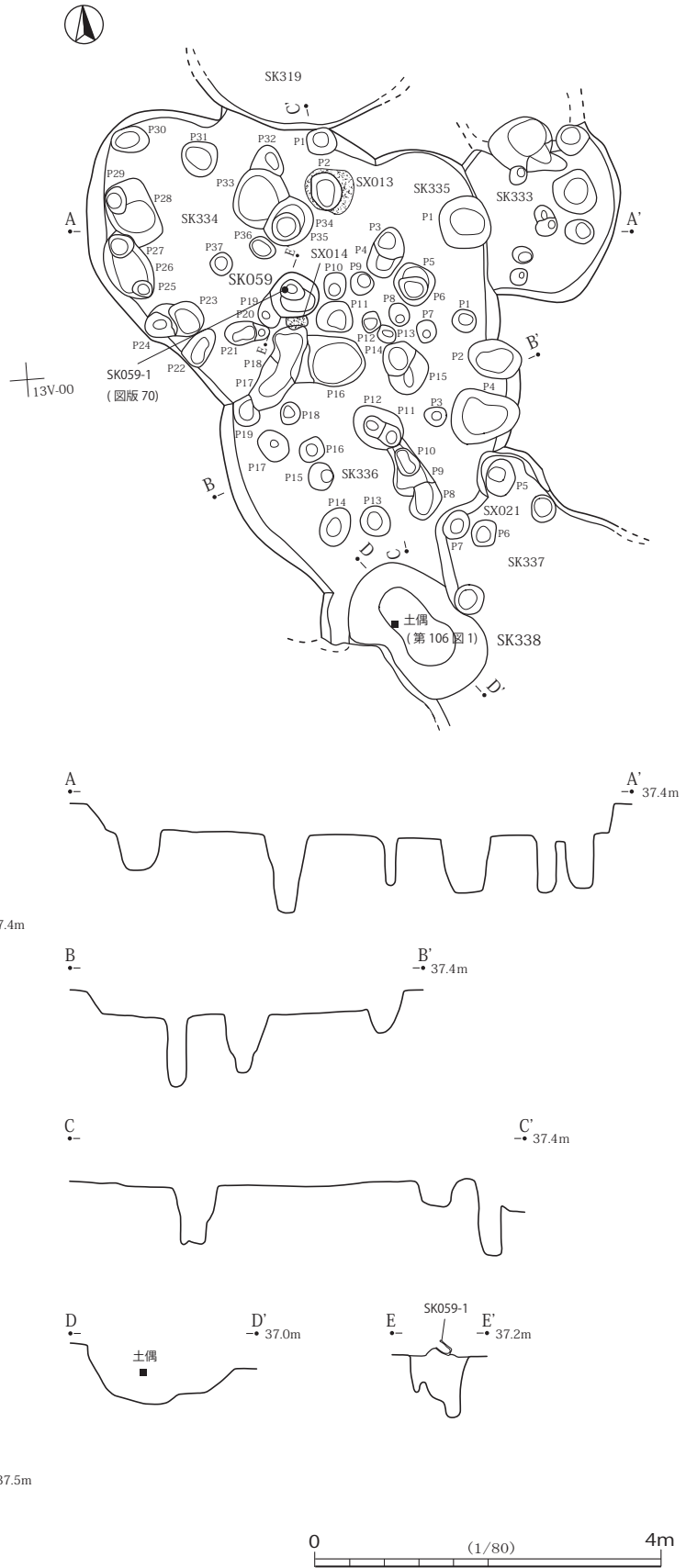
(78)SK304



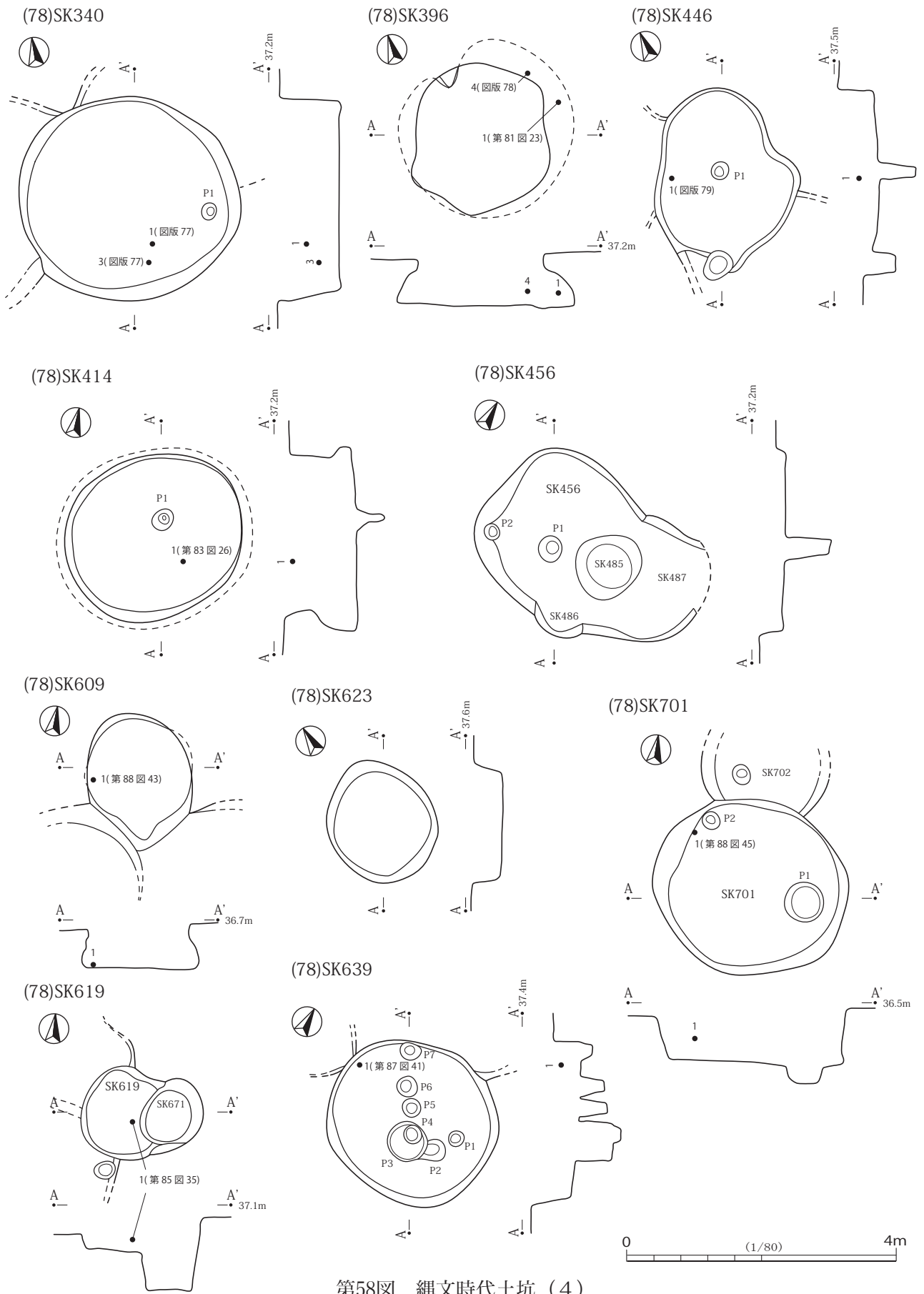
(78)SK319



(78)SK338・SK059

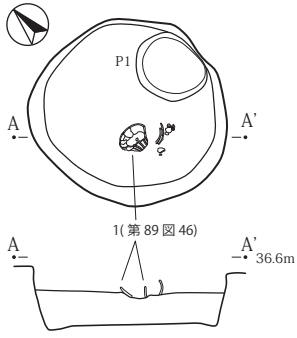


第57図 縄文時代土坑 (3)

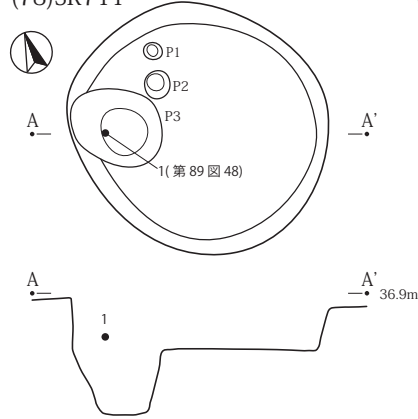


第58圖 縄文時代土坑 (4)

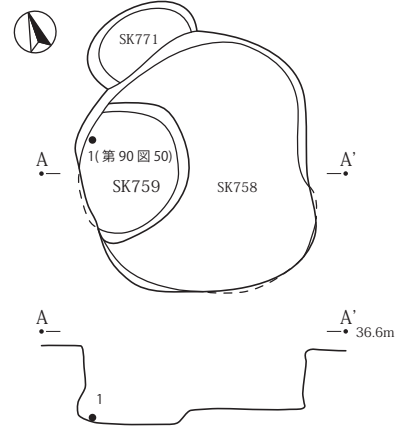
(78)SK703



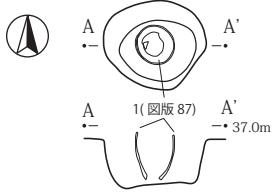
(78)SK711



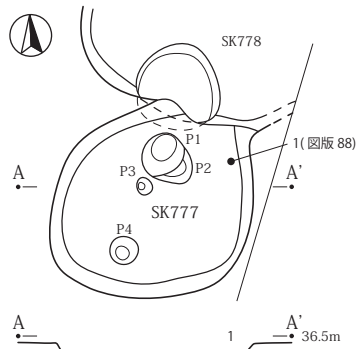
(78)SK759



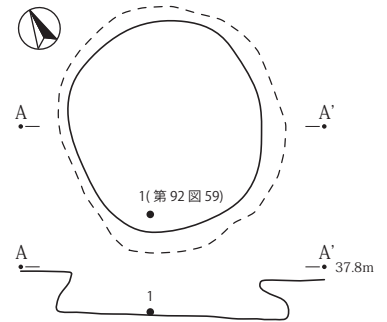
(78)SK716



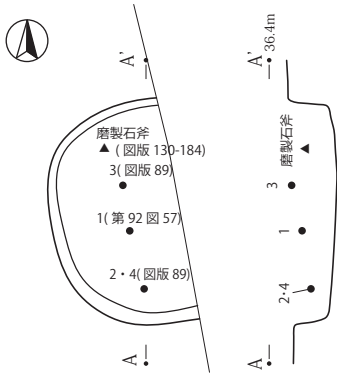
(78)SK777



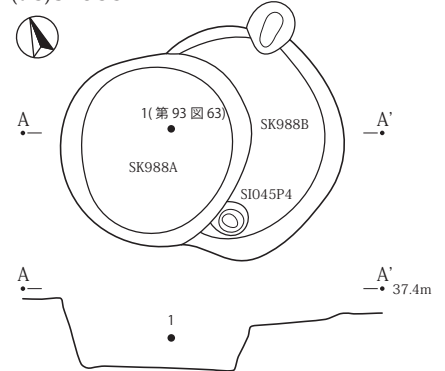
(78)SK884



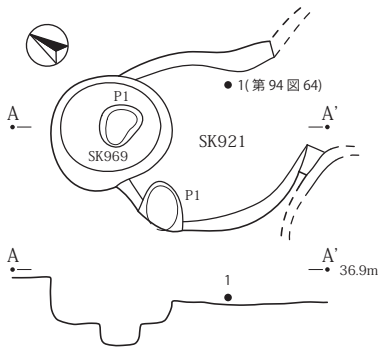
(78)SK835



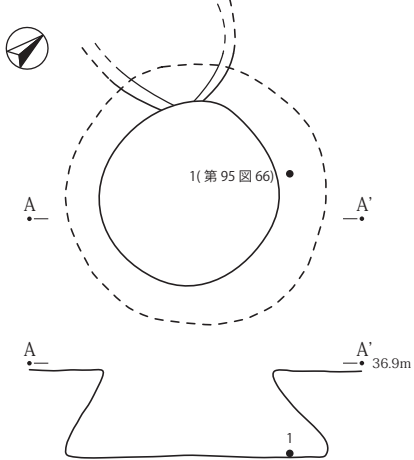
(78)SK988A·B



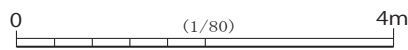
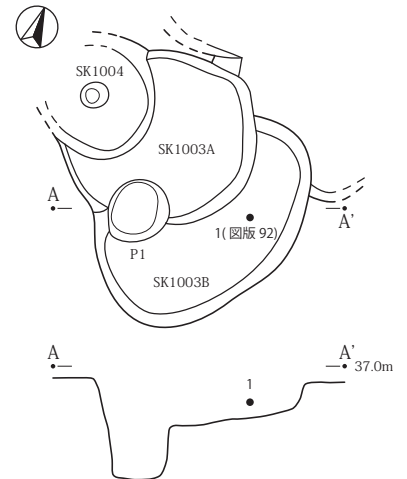
(78)SK921



(78)SK942



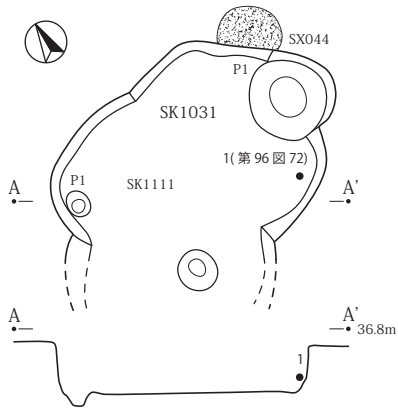
(78)SK1003A·B



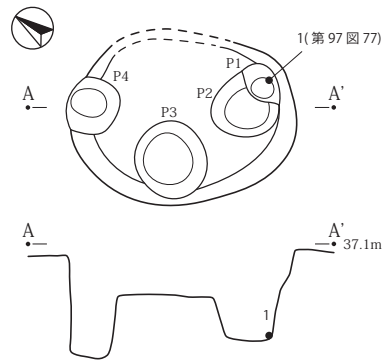
第59圖 縄文時代土坑 (5)



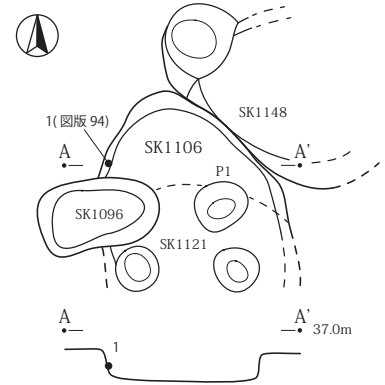
(78)SK1031



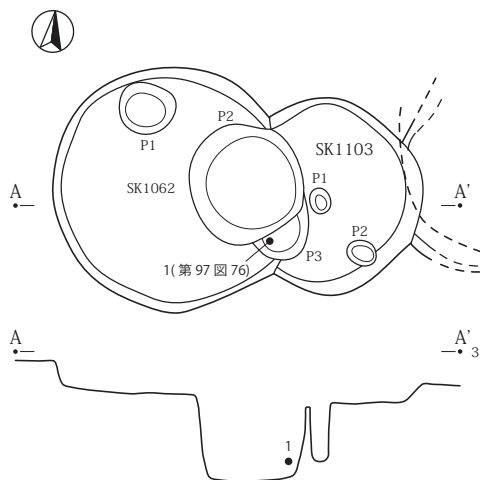
(78)SK1076



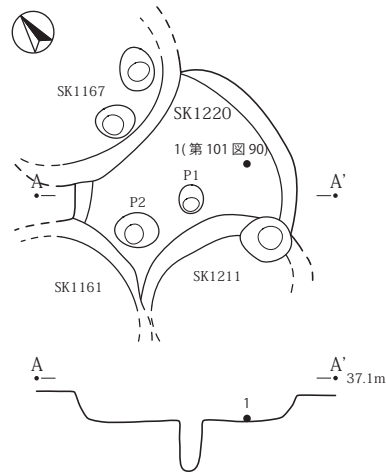
(78)SK1106



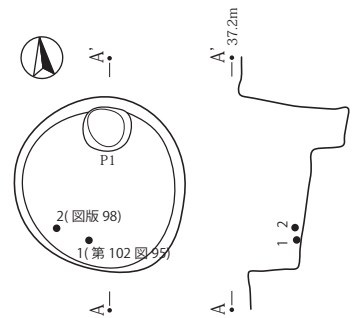
(78)SK1103



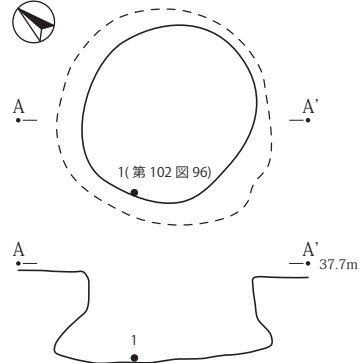
(78)SK1220



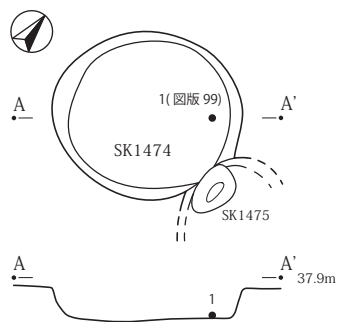
(78)SK1323



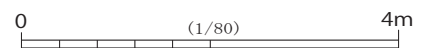
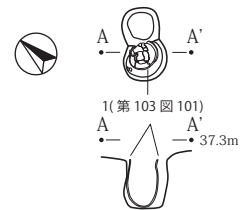
(78)SK1417



(78)SK1474



(78)SK2013



第60図 縄文時代土坑 (6)

第7表 土坑等一覧

遺構No.	位置	平面形	規模(m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK001	11V-30	円形	1.17×0.90	59	たらい状			200	阿, E3		不明	
(78)SK002	13V-00	不整形	2.50×1.86	45	たらい状	3	SK003, SK004, SK338, SK339, SK369	26, 278	勝, E1新, E3古, 堀1	土錐2, 円板1, 石鏃2, 磨斧4	不明	
(78)SK003	13V-10	円形	1.40×1.38	50	たらい状	2	SK002, SK004	0			不明	
(78)SK004	13V-00	円形	(2.06)×-	42	たらい状		SX020→, SK002, SK003, SK017	2, 428	勝, E1, E3古		3a期	
(78)SK006	11V-50	円形	1.38×1.38	58	たらい状			400	E3古?		不明	
(78)SK007	11V-43	楕円形	1.75×1.25	21	皿状			400	E1~E2		不明	
(78)SK008	11V-62	円形	1.73×1.63	123	たらい状	1		1, 950	勝, E1, E2, E3		不明	
(78)SK009	11V-63	円形	1.07×1.05	37	たらい状			250			不明	
(78)SK010	11V-63	円形	1.45×1.30	36	たらい状			350	E3古		不明	
(78)SK012	11V-62	円形	1.29×1.07	31	たらい状			350	E3古		不明	
(78)SK013	11V-73	円形	1.26×1.10	29	たらい状			400	E3中		不明	
(78)SK014	11V-81	円形	2.58×2.51	46	たらい状	1		255	E1, E3古, E3新	円板1, 石鏃未1	不明	
(78)SK017	13V-10	円形	-	35	たらい状	1	SK004, SK018, SK368	2, 350	E2, E3, 曹利, E4	楔形1	不明	
(78)SK018	13V-19	円形	1.65×1.60	40	たらい状		SK017, SK367	1, 150	E3古		不明	
(78)SK023	12U-95	円形	2.24×2.24 (2.30)×(2.28)	64	袋状			19, 299	勝, E1古, E2~E3	円板3, 磨斧1, 石核1	1a期	
(78)SK024	12V-42	楕円形	1.33×1.16	40	たらい状	1		750	阿IV, E1, E3古	磨斧1	不明	
(78)SK026	12V-44	円形	1.92×1.76	28	たらい状	3		1, 700	阿IV, E1古, E3古	磨斧1	不明	
(78)SK027	13U-72	楕円形	0.81×0.69	94	たらい状			15			不明	
(78)SK028	13U-72	円形	1.66×1.60	71	たらい状	1		1, 300	E3古	円板2, 石鏃未1	3a期	
(78)SK029	12V-13	円形	2.08×2.05	40	たらい状	2		9, 110	勝, E1, E2, E2-3	磨斧1	2c期	
(78)SK030	12V-95	円形	-	32	たらい状		SK031→, →S1017, SK2004	12, 381	E1, E2, E3古	楔形1	3a期	
(78)SK031	12W-94	円形	2.39×2.26	110	袋状		→SK030, SK2004	7, 404	E1古, E3古	打斧1, 剥片5	1a期	
(78)SK032	13U-64	円形	2.46×2.40	25	皿状	5		2, 200	E1, E3古, E3新	円板1, 磨石1, 剥片4	3a期	
(78)SK034	13U-71	円形	0.68×0.60	17	皿状			200	E3, 堀1		不明	
(78)SK035	12V-87	円形	1.03×0.85	58	たらい状			150			不明	
(78)SK036	12V-35	円形	1.97×1.74	30	たらい状	5		5, 125	E2, E2-3, E3古	土錐1	不明	
(78)SK037	12W-84	円形	0.76×0.70	74	ピット状			1, 310	E3古, 曹利	石鏃1	不明	
(78)SK039	12W-81	円形	1.84×-	30	たらい状	3		0			不明	
(78)SK040	12W-82	円形	1.30×1.27	51	たらい状	1		0			不明	
(78)SK041	12V-57	円形	1.48×1.29 (1.87)×(1.80)	82	袋状			10, 588	E1, E2古, 新	磨斧2	1期	
(78)SK042	13U-70	楕円形	0.90×0.70	58	たらい状		SK075→	600	堀1		6期	
(78)SK043	12V-59	円形	1.76×1.62	28	たらい状		→SX010	2, 262	E1古		1a期	
(78)SK044	12W-83	円形	3.08×2.76	31	たらい状	3		9, 152	E1, E2-3, E3古	石鏃3, 磨石1	不明	
(78)SK045	13U-70	円形	1.88×-	24	たらい状		S1032, SK061	200	E1		不明	
(78)SK046	14T-65	円形	2.02×1.94	73	たらい状	3		1, 800	E1		不明	
(78)SK047	14T-64	円形	2.12×2.12	57	たらい状	1		14, 600	E1古, E2		不明	
(78)SK048	14T-74	円形	1.06×1.02	32	皿状			100			不明	
(78)SK049	13W-14	円形	2.08×2.03 2.54×2.45	71	袋状	1	SK050, SK051	5, 647	E1古	磨石1, 楔形1	1a期	
(78)SK050	13W-03	円形	2.40×-	30	たらい状	4	SK049	4, 010	E1, E3古, 曹利, E3新	石鏃3, 磨斧1, 石皿1	不明	
(78)SK051	13W-14	円形	0.99×-	38	-		SK049	100	E3新		不明	
(78)SK052	13W-12	円形	1.94×1.90	62	たらい状		→SK053	7, 920	勝, E2, 曹利, E3新	円板4, 石鏃未1, 楔形1	3c期	
(78)SK053	13W-12	円形	1.88×-	53	たらい状	2	S1004→, SK052→	11, 050	E1古, E2, E3新, E3-4	石錐1, 磨斧1	4a期	
(78)SK054	13W-22	円形	1.40×1.32	68	袋状		S1004→	3, 625	E3新	円板1, 剥片3, 砕片6	3c期	
(78)SK055	13W-23	円形	2.07×2.05	66	たらい状	1	→S1004	3, 197	E1古		1a期	
(78)SK059	12V-90	円形	0.54×0.53	52	-		SX013, SX014, SK334, SK335	1, 491	E3古, 堀1		6期	
(78)SK060	12V-79	円形	1.85×1.85	232	たらい状			7, 900	阿III, E2, E3, E4	石鏃未1	4期	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK061	13U-80	円形	2.05×-	28	たらい状	1	SI032, SK045	1,300	E1, E4		不明	
(78)SK064	12W-83	円形	1.14×-	59	たらい状		SI002→	2,200	E3		不明	
(78)SK066	12W-73	楕円形	1.98×1.40	56	たらい状	1	SI002→	3,450	阿I b, 勝, E2, E3中～E3新	石鏃未1	3 b～3 c期	
(78)SK067	12W-72	円形	1.74×-	42	たらい状		SK068, SK078	0			不明	
(78)SK068	12W-62	円形	1.90×-	40	たらい状	3	SK067, SK076	2,500	E1, E2, E3	円板1, 石鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK069	12W-73	円形	1.44×1.35	70	たらい状		SI002→	1,740	阿III, E3新	石鏃1, 石鏃未2	3 c期	
(78)SK070	12W-72	楕円形	1.38×1.30	56	たらい状			2,850	勝, E2, E3, 堀1	石鏃2, 磨斧1	不明	
(78)SK071	12W-52	円形	1.28×-	58	たらい状			1,130	勝, E1, E3		不明	
(78)SK072	12W-52	円形	1.76×-	49	たらい状			400	阿IV, E1古, E3古		不明	
(78)SK073	12W-60	円形	1.86×1.70	63	たらい状	2		5,387	E1, E2～E3	磨斧1	1期	
(78)SK074	12W-61	円形	1.81×1.70	37	たらい状	1		500			不明	
(78)SK075	13U-70	円形	1.90×-	34	たらい状	1	SI032→, →SK042	4,195	勝, E1古, E3中, 堀1		3 b期	
(78)SK076	12W-62	円形	2.36×2.34	57	たらい状		SK068, →SK015	1,330	E2～E2-3	石鏃1, 石核1	不明	
(78)SK077	14U-10	円形	1.85×-	24	たらい状		SI020	1,100	E1古, E2古	打斧1	不明	
(78)SK078	12W-71	円形	1.74×1.37 1.55×1.37	53	袋状	1	SK067	1,650	E2, E3古, 曹利	磨石4	不明	
(78)SK079	14T-37	円形	2.15×-	31	たらい状	1	→SI021A, SK080	3,350	勝, E1, E2, E3古		不明	
(78)SK080	14T-36	円形	3.17×3.10	69	たらい状	2	→SI021A, SK079	7,560	阿III, E1, E2	磨斧1, 石鏃未1	2期	
(78)SK081	12W-71	円形	1.89×1.89	60	たらい状	2		7,860	E2, E2-3, E3古	磨石1	不明	
(78)SK082A	14T-47	円形	2.40×2.40	92	たらい状	4	SI021B, SK082B				不明	
(78)SK082B	14T-47	円形	2.38×-	57	たらい状		SI021B, SK082A	480	E3	円板1	不明	
(78)SK083	12W-92	円形	2.06×1.90	39	たらい状	2	SK084	5,790	E1, E3古, E3中, E3新	円板6, 石鏃1, 石鏃未1, 石鏃	不明	
(78)SK084	12W-92	円形	2.20×2.08	58	たらい状	3	SK083	4,310	E1, E3古, 堀1	円板1, 磨斧1, 磨石1	不明	
(78)SK085	14T-18	円形	2.80×2.46	80	たらい状	3		14,660	阿II, 勝, E2, E2-3	土鏃1, 脛石1, 打斧1	2期	
(78)SK086	12W-82	円形	1.32×1.20	69	たらい状	1		3,380	E3古, 曹利, E3新	円板1	不明	
(78)SK088	14T-39	円形	2.34×2.20	50	たらい状	3		2,050	E1, E3	土鏃1, 剥片3, 砵片2	不明	
(78)SK089	12W-82	円形	1.58×1.40	68	たらい状		SK090, SK091	2,000	E1, E2, E3中	二次剥片1, 原石1	不明	
(78)SK090	12W-82	円形	2.62×2.60	55	たらい状		SK040, SK089, SK091	1,120	阿III, E1, E2		不明	
(78)SK091	12W-92	楕円形	2.16×-	46	たらい状		SK089, SK090	5,530	E1, E3古, E3中～E3新, E4, 堀1, 堀2	円板3, 打斧1, 石鏃未1, 石鏃 1, 脛石1	不明	
(78)SK092	14T-15	円形	1.67×1.58	43	たらい状	2		340	阿I b, E1～E2		不明	
(78)SK093	13U-40	円形	3.20×3.24	56	たらい状	5	SI019	33,846	勝, E1古, E2古, E3中～E3新, E3-4	土鏃1, 石鏃3, 磨斧1, 石鏃1	不明	
(78)SK094	13U-41	円形	(1.70)×(1.65)	42	袋状		SI019	600	E1～E2	楔形1	不明	
(78)SK095	13U-31	円形	(2.10)×(2.00)	38	たらい状	2	SI019→	2,450	勝, 曹利, E3新		3 c期	
(78)SK096A	12W-91	円形	2.27×2.08	96	袋状	1	SK096B				不明	
(78)SK096B	12W-91	円形	3.33×-	48	たらい状		SK096A	4,780	E1新, E3新	土鏃1, 磨石1, 楔形1	不明	
(78)SK097	14T-47	円形	2.27×2.21 (2.22)×(2.09)	69	袋状	1	SK099	5,450	阿IV, E1, E2, E3	磨石2	不明	
(78)SK098	14T-46	円形	1.97×-	42	たらい状	1	SK099	8,850	阿I b, IV, E1古, E2, E3古	磨斧1	不明	
(78)SK099	14T-46	円形	2.21×-	40	たらい状	2	SK097, SK098	2,850	阿IV, 勝, E2新～E2-3		2 b～2 c期	
(78)SK100	14T-36	円形	1.74×1.64	30	たらい状			100	E2		不明	
(78)SK101	13W-02	円形	0.74×0.62	74	たらい状			700	E1, E3		不明	
(78)SK102	12V-88	円形	1.72×-	28	たらい状		SK110, SK118	150	E2, E3		不明	
(78)SK103	13W-01	円形	2.00×2.01	55	たらい状	2		7,677	E3古, 曹利, 堀1	磨石1, 原石1	3 a期	
(78)SK105	12V-67	円形	1.50×1.28	100	たらい状			1,950	E2, E4		4期	
(78)SK106	12V-77	円形	1.20×1.15	61	たらい状			3,350	<b>E4</b>		4期	
(78)SK107	12V-77	円形	2.50×2.17	80	たらい状		SK119	22,617	阿III, 勝	磨石1	1 a期	
(78)SK108	12V-78	楕円形	1.38×1.04	40	たらい状	1		1,075	E1, E3中	円板1, 敲石1	3 c期	
(78)SK109	12V-88	円形	0.94×-	38	たらい状		SK118	2,180	E1古, E3古, 曹利	円板1, 敲石1	不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK110	12V-88	円形	1.40×-	42	たらい状		SK102, SK118	2,230	E2, E3古, 曹利		3 a期	
(78)SK111	12V-88	円形	1.23×-	39	たらい状		SK118	2,310		磨斧1	不明	
(78)SK112	12V-98	円形	2.11×-	38	たらい状	2	SK114		E1古, E3	円板1	1 a期	
(78)SK113	12V-98	円形	2.25×-	28	たらい状		SK114, SK115B	2,360	E1, E3中	石鏃1	不明	
(78)SK114	12V-98	円形	-	34	たらい状	1	SK112, SK113, SK115B	2,070	E3	石皿1	不明	
(78)SK115A	12V-99	円形	2.68×2.28	63	たらい状	3	SK113, SK114, SK115A		勝, E2, E3古, E3中	土鏃1, 円板1, 石皿2, 石核1	不明	
(78)SK115B	12V-98	円形	-	63	たらい状		SK113, SK114, SK115A				不明	
(78)SK116	12V-76	円形	2.34×-	65	たらい状		SK132	2,690	E1古, E2古, E3, E4		不明	
(78)SK117	12V-87	円形	2.68×2.68	55	たらい状	3		2,120	E1古, E2, 称	剥片3	不明	
(78)SK118	12V-88	円形	(2.10)×1.99	47	たらい状	2	SK102, SK109, SK110, SK111	60	勝		不明	
(78)SK119	12V-76	円形	1.11×-	74	ピット状		SK107	400	E3新		不明	
(78)SK120	13T-87	円形	1.75×1.70	40	たらい状		SI029	0			不明	
(78)SK121	14T-67	円形	2.36×2.14 2.04×2.08	59	袋状	2		6,440	E1, E2	土鏃1	不明	
(78)SK122	14T-35	円形	1.50×1.45	48	たらい状		→SX031	0			不明	
(78)SK123	14T-24	円形	2.27×(1.80)	53	たらい状	2		2,000	E1古, E3	石鏃1	不明	
(78)SK124	14T-87	円形	2.15×1.80	44	たらい状	2	→SX034	3,290	E2, E2-3, E3	石鏃1, 石核1	2期	
(78)SK125	14T-94	円形	2.50×2.30	58	たらい状	1		4,110	E1, E2, E3	打斧1	2期	
(78)SK126	14T-87	円形	2.28×2.15	36	たらい状	1		1,780	E1古, E2~E3	磨斧1	不明	
(78)SK127	13T-77	円形	(1.40)×1.25	27	たらい状		SI029	0			不明	
(78)SK128	13T-78	円形	1.82×(1.82)	39	たらい状		SI029	0			不明	
(78)SK129	13T-87	円形	0.96×0.93	50	たらい状			0			不明	
(78)SK130	14T-15	円形	1.99×1.90	71	たらい状	1		4,035	E2, E2-3, E3古, E3中	土鏃1, 石鏃1	3 b期	
(78)SK131	14T-27	円形	1.96×1.75	66	たらい状	1		780	阿IV, E1		1期	
(78)SK132	12V-76	円形	-	61	たらい状	2	SK116, SK190, SK191		1,005	E1, E3, 曹利	磨斧1	不明
(78)SK133	13T-79	円形	1.88×1.58	52	たらい状	1		7,130	E2, E3, E4, 堀1	剥片3	不明	
(78)SK134	13U-70	円形	1.73×1.49	51	たらい状	1		5,170	阿IV, E1古, E2古, E3新~E3-4		1 a期	
(78)SK135	13U-82	円形	2.30×1.88	35	たらい状			3,900	勝	土鏃1	1 a期	
(78)SK136	15T-38	円形	1.15×0.80	90	たらい状		SI031	600			不明	
(78)SK137	15T-28	円形	1.20×1.00	43	たらい状	1	SI031		1,300	勝, E1~E2	不明	
(78)SK138	15T-27	円形	1.30×1.15	58	たらい状	1	SI031→	860	E1, E2, E3, E4		4期	
(78)SK139	13U-92	円形	-	26	たらい状	4	SK140, SK151	1,000	阿IV, E3中	磨石1	不明	
(78)SK140	13U-92	円形	(2.35)×-	15	たらい状	5	SK139, SK151	1,500	E1古, E2-3, E3		不明	
(78)SK141	12V-99	楕円形	0.84×-	36	たらい状		SK115A	210	E3古		不明	
(78)SK142	16S-39	円形	1.55×1.45	35	たらい状			1,900	E4	円板2, 石核1	4期	
(78)SK143	15S-99	円形	1.50×1.48	40	たらい状			300	E		不明	
(78)SK144	16S-15	円形	2.01×1.94	92	たらい状	2		150	勝, E1		不明	
(78)SK145	15S-99	円形	2.02×1.90	47	たらい状	1		550	E1古		1 a期	
(78)SK146	16S-08	楕円形	2.42×2.18	48	皿状			3,560	E1古, 新		1期	
(78)SK147	16S-18	円形	2.60×2.47	38	たらい状		SI030	1,050	E1古		1 a期	
(78)SK148	13U-72	円形	2.68×2.23	38	たらい状	5		2,770	E1, E2, 堀1		6期	
(78)SK149	13U-53	円形	1.26×1.14	42	たらい状			500			不明	
(78)SK150	13U-53	円形	2.26×2.09	43	たらい状	2		1,180	勝, E2-3~E3古	磨斧1, 石鏃未2	不明	
(78)SK151	13U-92	楕円形	1.23×-	16	たらい状	4	SK139, SK140	1,600	勝, E1, E3古, E3新		不明	
(78)SK152	11V-90	円形	2.67×2.60	58	たらい状	3		1,260	E1~E2, E3古		不明	
(78)SK153	11V-90	円形	2.65×2.58	65	たらい状	2		4,600	阿II, E2, E2-3, E3古, E3中	磨斧1, 石鏃未1	3 a期	
(78)SK154	11V-91	円形	2.40×-	52	たらい状	1		1,690	E3古~E3中	剥片2, 砧片3	3 a~3 b期	
(78)SK155	11U-46	円形	1.66×1.42	75	たらい状			1,500	阿, E2, E3, E3新, E3-4		4 a期	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK157	11U-55	円形	1.75×1.74	90	たらい状			3,917	阿I b, E3, E3新, 加B	円板1, 石鏃1, 磨斧1	3c期	
(78)SK158	11U-75	円形	1.50×1.45	84	たらい状			730	E2, E3古		不明	
(78)SK159	13U-91	円形	0.90×0.85	13	たらい状	1		400	E3		不明	
(78)SK160	11U-67	円形	1.27×1.30	40	たらい状			400	E2		2期	
(78)SK162	11U-78	円形	1.15×1.15	32	たらい状			200			不明	
(78)SK163	11U-78	円形	1.30×1.25	56	たらい状			150			不明	
(78)SK164	13U-13	円形	2.34×2.04	28	たらい状	3		5,050	E1, E2, E3, E3新	脛石1	2期	
(78)SK166	11V-70	円形	1.10×0.90	50	たらい状			350	E1, E2, E3		不明	
(78)SK167	11V-80	円形	1.37×1.20	50	たらい状			900	E1古, E2古, E3中		3b期	
(78)SK168	12V-10	楕円形	0.97×0.89	30	たらい状			1,990	E1~E2, E3古, E3中		3a期	
(78)SK169	12V-10	円形	2.30×2.05	47	たらい状	1		3,230	阿II, 勝, E1古, E2		1a期	
(78)SK170	12V-19	円形	2.37×2.00	44	たらい状	4		4,300	阿IV, E1, E2, E3, 曹利		不明	
(78)SK171	12V-21	円形	2.17×2.12	32	たらい状	3		2,890	阿I b, E1, E3	石皿1, 磨石1	不明	
(78)SK172	12V-21	円形	2.17×2.15	35	たらい状	5		1,750	E1古, E2	磨石1, 打斧1	不明	
(78)SK173	12V-23	円形	1.95×1.80	24	たらい状	1		4,160	阿II, E2~E2-3, E3古, 曹利	石鏃1, 石鏃未1	不明	
(78)SK175	12V-22	円形	1.40×1.28	24	たらい状			1,760	B4	打斧1, 石鏃未2	4期	
(78)SK176	14U-01	円形	1.54×1.54	28	たらい状	1		6,757	E1, E2古	敲石1, 磨斧1	2a期	
(78)SK177	13U-91	円形	1.20×1.17	24	たらい状	1		650	E3古		不明	
(78)SK178	14U-01	円形	1.87×1.80	33	たらい状	2		440	E2, E3中	高部磨斧1	不明	
(78)SK179	13U-61	円形	2.77×2.73	42	たらい状	6		8,650	E1古, E2, E3古, 堀1	脛石製品1, 楔形1, 剥片7	不明	
(78)SK180	12V-31	円形	2.05×1.83	63	たらい状	1		5,000	E1, E2, E3古, E3新	土鏃1, 円板3, 石皿1, 石鏃1	3c期	
(78)SK182	12V-31	円形	2.70×2.40	70	たらい状	2		11,815	阿II, E2~E3古, 曹利, E3新	土鏃1, 石鏃1, 楔形1	不明	
(78)SK183	12V-32	円形	(1.85)×(1.80)	75	たらい状	2		3,750	阿II, 勝, E2	脛石製品1, 脛石1	2期	
(78)SK184	13U-32	円形	2.90×-	27	たらい状	3		3,835	E1古, E2古	剥片3, 砂片3	不明	
(78)SK186	13U-03	円形	2.18×2.11	33	たらい状	2		3,200	E1古, E2, 曹利	剥片3	不明	
(78)SK187	12V-	円形	2.12×2.05	36	たらい状	4		7,400	阿IV, E1, E2, E3	ニフコ71, 石鏃1	不明	
(78)SK188	12V-45	円形	1.68×1.68	49	たらい状			2,200	E1	磨石1	不明	
(78)SK189	12V-65	円形	1.17×-	48	たらい状			1,200	E2, E3, E4		不明	
(78)SK190	12V-75	円形	-	49	たらい状	1		0			不明	
(78)SK191	12V-75	円形	1.70×-	39	たらい状	1		1,850	E1新, E4	磨石1, 石核1	不明	
(78)SK192	12V-75	円形	1.44×-	29	たらい状			0			不明	
(78)SK193	13U-53	円形	0.99×0.86	23	たらい状	1		80			不明	
(78)SK194	13U-43	円形	1.11×1.07	34	たらい状	1		600	E1~E2, E4		不明	
(78)SK195	12U-42	円形	2.40×2.39	43	たらい状	3		3,000	E2-3, E3古, 曹利	石鏃1	3a期	
(78)SK196	13U-33	円形	2.19×-	22	たらい状	1		1,100	勝, E3新~E3-4		3c~4a期	
(78)SK197	13U-34	円形	1.20×1.21	37	たらい状	1		600	E2, E4	石鏃1	4期	
(78)SK198	13U-34	円形	1.13×-	27	たらい状			1,700	E3, 堀1	石皿1	6期	
(78)SK199	12U-24	円形	2.73×2.40	63	たらい状	2		5,170	E1, E2, E3	磨石1, 石鏃1	不明	
(78)SK200	13U-03	円形	1.56×1.45	49	たらい状			3,400	曹利, E3新, E4, 竈E4, 柵	土鏃1, 磨石1	5期	
(78)SK201	12V-43	円形	1.88×-	39	たらい状	2		1,500	E2, E3古, 曹利, E3新, E3-4		不明	
(78)SK204	12V-53	円形	1.70×-	46	たらい状	1		2,880	E1, E2, E3古, E3中, E4		不明	
(78)SK205	12V-53	円形	1.16×1.14	34	たらい状			860			不明	
(78)SK206	12U-25	円形	(2.5)×(2.34) 2.34×2.26	75	袋状	2		6,330	阿III, E3古	石鏃1, 石鏃未1	3a期	
(78)SK207A	12U-46	円形	2.70×2.26	83	袋状	6		24,010	E1, E2, E3古, 曹利, E3中~E3新	磨斧1, 石鏃1, 石鏃未2	3a期	
(78)SK207B	12U-46	円形	2.45×(2.26)	56	たらい状							
(78)SK208	12V-51	円形	2.24×-	58	たらい状	1		14,560	E1, E2, E3古, E3新, E3-4, E4	円板1, 石棒3, 楔形1	不明	
(78)SK209	12V-52	円形	2.33×-	54	たらい状	1		2,900	E3古, E3新, E4	楔形1, 石鏃未1	不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK210	12V-51	円形	-	53	たらい状			0			不明	
(78)SK211	12U-58	円形	2.06×1.99	52	たらい状	2	SK208, SK379	3,080	阿Ib, E1古, E2	石鏃1, 球状耳飾1	2期	
(78)SK212	12U-47	円形	2.12×2.00	45	たらい状	3	SK261	3,280	E1, E2, E3, E3-4	打斧2, 石鏃未1	不明	
(78)SK213	12V-53	円形	0.91×-	28	たらい状		SK204, SK205, SK362	0			不明	
(78)SK214	11U-49	円形	0.90×0.82	22	たらい状			0			不明	
(78)SK215	11U-94	楕円形	1.38×1.04	28	たらい状			290	E3?		不明	
(78)SK216	11U-29	円形	1.02×-	55	たらい状			0			不明	
(78)SK220	11V-71	円形	1.85×1.52	66	たらい状			1,000	E3, E3新	石棒1, 磨石1	不明	
(78)SK221	11V-71	円形	1.05×0.95	23	たらい状			350	E3		不明	
(78)SK223	12V-32	円形	1.02×0.98	41	たらい状		SK184	3,400	阿II, E1~3, E4古	石皿1, 磨石1	4b期	
(78)SK224	12V-43	円形	0.75×0.75	36	たらい状			630	E3, E3新		不明	
(78)SK225	11U-87	円形	1.36×1.27	59	たらい状			810	阿, E3		不明	
(78)SK229	11U-78	円形	1.35×1.25	60	たらい状			950	E1, E3		不明	
(78)SK230	12V-30	円形	1.20×1.17	38	皿状	1	S1012	870	阿II, E1, E2, E3古		不明	
(78)SK231	12V-30	円形	0.70×0.30	25	皿状		S1012	870	E1, E3中~E3新		不明	
(78)SK232	12U-22*	楕円形	1.75×0.85	84				30			不明	陥穴
(78)SK233	12V-45	円形	1.41×-	34	たらい状	1	SK188	50			不明	
(78)SK234	12U-36	円形	1.84×1.66	36	たらい状	1		2,050	阿IV, E1古, E2		2期	
(78)SK235	12U-51	円形	2.56×2.36	65	たらい状	3	SK273	11,136	阿III, E2, E3古, 曹利	打斧2, 石核1	3a期	
(78)SK236	12V-32	楕円形	0.83×-	20	たらい状		SK183	0			不明	
(78)SK239	12V-45	円形	1.63×-	27	たらい状	1	SK188	220	E1		不明	
(78)SK240	12V-45	円形	0.80×0.72	62	たらい状			200	E1	石鏃1	不明	
(78)SK241	12U-58	円形	2.32×1.08	35	たらい状	3		2,580	E1古, E2古, 新	剥片3	2期	
(78)SK242	12U-49	円形	1.99×1.60	31	たらい状	2	SK259	1,550	勝, E1, E3		不明	
(78)SK243	12U-54	円形	1.5×-	68	たらい状	2	SK249	6,100	阿II, E1古, E2, E3古	剥片3	不明	
(78)SK246	12V-31	楕円形	0.96×0.64	32	たらい状			550	E2, E3		不明	
(78)SK247	12U-23	円形	2.5×2.42	41	たらい状	2		950	阿III, 勝, E1~E2, 曹利		不明	
(78)SK248	12U-62	円形	1.82×1.49	56	たらい状	1	S1103	1,750	<b>E3中~新</b>	円板1	3b~3c期	
(78)SK249	12U-54	円形	2.25×2.10 (2.45)×(2.10)	76	袋状	4	SK243	12,067	E1古, E2	磨斧1, 石鏃1	2期	
(78)SK252	12U-72	円形	2.38×2.11	47	たらい状	3	S1103	2,390	阿IV, E1, E2, E3古	土鏃1	不明	
(78)SK254	12U-72	円形	2.08×1.92	51	たらい状	5	SK255	2,990	E2新~E2-3, E3古		3a期	
(78)SK255	12U-73	円形	2.73×2.46	23	たらい状	1	S1015, SK254	860	阿IV, E2, E3	石鏃1, 石鏃未1	不明	
(78)SK256	12U-82	円形	2.28×1.99	27	たらい状	7		2,620	阿IV, E1~E2-3		不明	
(78)SK257	12U-59	楕円形	0.67×-	76	たらい状	1	SK258	1,290	E1		不明	
(78)SK258	12U-59	円形	2.21×2.00	94	たらい状	3	SK257, SK259	8,110	勝, E1古, E1新, E2, E3	磨石3	不明	
(78)SK259	12U-59	円形	2.38×-	33	たらい状	2	SK242, SK258	240			不明	
(78)SK260	12U-63	円形	1.88×1.80	27	たらい状	2	S1015	700	勝		不明	
(78)SK261	12U-57	円形	1.87×-	36	たらい状	1	SK211, SK271	940	E1	剥片3	不明	
(78)SK264	12V-50	楕円形	0.90×0.82	30	皿状			450	阿II, E		不明	
(78)SK265	12U-80	円形	2.18×-	86	たらい状	3	SK268, SK275→	4,300	阿II, 阿III, 中峠, E2, E3	土鏃1, 円板1, 楔形1	不明	
(78)SK266	12U-70	円形	1.35×1.35	65	たらい状		SK275→	11,240	阿II, E1古, E3古, E3新	円板3, 石皿2, 剥片4	3c期	
(78)SK267	12U-81	円形	1.40×1.38	72	たらい状			2,550	阿IV, 勝, E2, E3		不明	
(78)SK268	12U-80	楕円形	1.27×-	51	たらい状		SK265	650	E1~E2		不明	
(78)SK269	12U-57	円形	1.32×1.10 (1.52)×(1.50)	94	袋状			3,250	阿II, E1古		1a期	
(78)SK271	12U-57	円形	1.46×1.24	45	たらい状		S1016	900	勝, E3古		不明	
(78)SK273	12U-50	楕円形	-	50	たらい状		SK235	1,080	E2古, E3古		不明	
(78)SK274	12U-69	不整形	1.00×0.68	29	皿状		S1105	0			不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK275	12U-70	楕円形	-	33	たらい状		→SK265, →SK266	810	阿II, E2-3~E3古		前1期	
(78)SK276	12U-58	円形	1.50×-	29	皿状	4	SK277	540	E		不明	
(78)SK277	12U-68	円形	2.15×1.85	40	たらい状	2	SK276	1,950	E1新, E2新	剥片3, 碎片1	不明	
(78)SK279	12U-69	円形	2.00×1.94	62	袋状		→S1105	4,150	阿IV, E1, E2, E3古, E3新, 曾利	磨石1	1a期	
(78)SK280	12U-68	円形	2.24×2.10	45	たらい状	5		850	E1, E3	石鏃未1	不明	
(78)SK281	12U-77	円形	1.16×1.07	22	たらい状			1,380	E2, E2-3		2c期	
(78)SK284	12U-79	円形	0.67×0.65	19	ピット状			2,704	E2-3, E3古		2c期	単独埋藏
(78)SK286	12U-87	円形	1.91×1.78 (2.02)×(1.63)	64	袋状			10,650	勝, E1古, E1新, E2古, E3古	土鏃2, 磨石2	不明	
(78)SK288	12U-86	円形	1.68×1.30	32	たらい状		SK289	1,730	E3, E4	円板2	不明	
(78)SK289	12U-96	円形	0.82×0.76	62	たらい状		SK288	1,100	E2, E3古		不明	
(78)SK290	12U-87	円形	1.74×1.45 (1.75)×(1.70)	76	袋状			7,720	E1新, E2古, E2新, E3, E4	円板1, 石鏃1, 磨斧1	不明	
(78)SK291A	12U-88	円形	2.66×-	72	たらい状	1	SK291B, SK304→	8,600	清水台, 勝, E1, E2, E3古, 曾利	土鏃2, 円板1, 楔形1, 磨石1	3a期	
(78)SK291B	12U-88	円形	1.50×(1.70)	-	たらい状		SK291A					
(78)SK292	12U-78	円形	1.84×1.67	44	たらい状	2		750	E1古, E3		不明	
(78)SK293	12U-78	円形	1.67×1.57 (1.70)×(1.60)	76	袋状	1	SK294	680	E		不明	
(78)SK294	12U-78	円形	2.20×-	53	たらい状	1	SK293, SK295	4,150	阿III, 勝, E1古, E3	土鏃1, 磨石2	不明	
(78)SK295	12U-68	円形	1.98×-	20	たらい状	1	SK294, SK296	1,540	E2, E3		不明	
(78)SK296A	12U-78	円形	1.38×-	49	たらい状		SK296B, SK295				不明	
(78)SK296B	12U-78	円形	1.46×-		たらい状		SK296A, SK295				不明	
(78)SK297	12V-60	円形	1.93×1.82	56	たらい状	2		4,650	E2-3, E3古, 曾利		2c~3a期	
(78)SK298	12V-70	円形	1.46×1.36 (1.56)×(1.49)	56	袋状	1		2,443	E1~E2, 曾利		不明	
(78)SK299	12U-79	円形	2.64×2.50	39	たらい状	5	SK305, SK306	8,050	E2, E3古	磨石2, 磨斧1	3a期	
(78)SK300	12U-89	円形	1.80×1.68	37	たらい状	2	SK312, SK320	1,380	E1, E3古, E3中~E3新	石鏃未1, 石核1	不明	
(78)SK302	12U-88	不整形	1.58×1.11 1.88×1.60	71	袋状			4,620	勝, E1, E3古, E3新, 堀1	石鏃3, 蔽石1	不明	
(78)SK303	12U-98	円形	1.96×1.62 1.74×(1.68)	98	袋状			5,110	阿II, 阿III, 勝, E1古, E3古	石鏃1, 磨斧1	不明	
(78)SK304	12U-87	不整形	1.75×0.96 (1.75)×(2.06)	86	袋状		→SK291A	6,105	阿I a, 阿I b, 阿IV, 勝, E3	石皿1, 石鏃1	1a期	
(78)SK305	12V-70	円形	2.53×-	46	たらい状	1	SK299, SK306, SK307, SK308, SK309, SK310	450	E1~E2		不明	
(78)SK306	12V-70	円形	0.86×0.75	66	たらい状		SK299, SK305, SK307	30			不明	
(78)SK307	12V-70	円形	0.80×-	48	たらい状		SK305, SK306, SK308	0			不明	
(78)SK308	12V-70	円形	0.92×-	64	たらい状		SK305, SK307, SK309	20			不明	
(78)SK309	12V-70	円形	0.73×-	54	たらい状		SK305, SK308, SK310	210	E, 堀1		不明	
(78)SK310	12V-70	円形	1.88×1.80	64	たらい状	1	SK305, SK309, SK311	4,610	阿III, E1新, E2古		不明	
(78)SK311	12V-80	円形	1.05×-	40	たらい状		SK310	450	E3古, 堀1		不明	
(78)SK312	12V-80	円形	(1.25)×-	22	たらい状	1	SK300	250	E3古, E3-4	磨斧1	不明	
(78)SK313	12U-99	不整形	1.42×-	26	たらい状	1	SK314, SK315, SK316	1,760	E1~E2, 堀1		6期	
(78)SK314	12V-80	円形	2.05×-	34	たらい状	2	SK315, SK320, SK347	15,340	阿IV, E3, E3新, 堀1, 加B	剥片3	6期	
(78)SK315	12U-99	不整形	1.65×-	46	たらい状		SK313, SK314, SK317	420	E1, E3, 堀1		不明	
(78)SK316	12U-89	円形	0.98×0.90	50	たらい状		SK313	1,500	E3古, E4	石鏃2, 石鏃未2	不明	
(78)SK317	12U-99	円形	1.14×1.05 (1.45)×(1.41)	92	袋状		SK315	1,720	E1, E3古, E3新		3a期	
(78)SK319	12V-80	円形	2.79×-	51	たらい状	6	SK222, SK329, SK330, SK334, SK347, SK346	16,696	阿III, 阿IV, 勝, E1古, E3古, 堀1	円板1, 石皿1, 剥片7	不明	
(78)SK320	12V-80	円形	1.75×-	29	たらい状	1	SK300, SK314	10,350	E2新, E3新, E4, 堀1, 堀2	土鏃1, 磨石1	不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK321	12V-80	円形	1.56×-	39	たらい状	1	SK346	6,180	E3古, E4, 堀1	ヒヤイ大珠, 石鏃3, 石鏃未2	3a期	
(78)SK322	12V-80	円形	-	46	たらい状		SK319, SK323, SK324, SK325	4,960	E1, E2, E3, E4		不明	
(78)SK323	12V-81	円形	1.00×-	44	たらい状	1	SK322, SK325, SK326	0			不明	
(78)SK324	12V-80	円形	0.98×0.88	76	たらい状		SK322, SK325	0			不明	
(78)SK325	12V-81	円形	0.80×-	86	たらい状		SK322, SK323, SK324, SK326	0			不明	
(78)SK326	12V-81	円形	1.92×1.84	63	たらい状	2	SK323, SK325, SK327, SK328	350	E1		不明	
(78)SK327	12V-71	円形	1.05×0.96	86	たらい状		SK326	0			不明	
(78)SK328	12V-81	円形	2.16×-	44	たらい状	3	SK326, SK348	2,300	E2-3~E3古		不明	
(78)SK329	12V-81	円形	1.20×-	78	たらい状	1	SK319, SK323	570	E2-3~E3古, E4	打斧1	不明	
(78)SK330	12V-81	円形	1.60×-	72	たらい状	4	SK319, SK329, SK331	0			不明	
(78)SK331	12V-91	円形	1.38×-	52	たらい状	1	SK330, SK332	0			不明	
(78)SK332	12V-91	円形	1.55×-	56	たらい状	2	SK331, SK333	2,230	E3古, 曹利, 称	浮子1	不明	
(78)SK333	12V-91	円形	2.04×-	40	たらい状	7	SK332, SK335	1,240	E2~E3, E3, 曹利, 堀1		不明	
(78)SK334	12V-90	円形	3.25×-	28	たらい状	37	SX013, SX014, SK059, SK319, SK335, SK347	29,475	E3古, E4, 称, 堀1	石皿2, 石鏃1	6期	
(78)SK335	12V-91	円形	-	34	たらい状	1	SX013, SX014, SK333, SK334, SK336	12,710	E3古, E3-4, E4, 称, 堀1	粘土埴1, 浮子1, 石皿1, 石鏃未2	6期	
(78)SK336	13V-00	円形	3.32×-	29	たらい状	19	SK335, SK337, SK338	10,820	E3古, E4, 堀1	石鏃2, 石皿1	6期	
(78)SK337	13V-01	円形	-	32	たらい状	2	SK336, SK338, SK339, SK340	7,260	E1, E3新, 堀1, 堀2		不明	
(78)SK338	13V-00	楕円形	1.72×0.99	70	たらい状		SK002, SK336, SK337, SK339→	25,365	E1~E2, E3, 称, 堀1	土偶1, 円板1, 浮子1, 石鏃2, 打斧1	6期	
(78)SK339	13V-11	円形	-	41	たらい状		SK002, SK337, →SK338, SK340, SK369	31,850	E2, E3, E3新, 称, 堀1	石皿1, 磨斧1	3c期	
(78)SK340	13V-01	円形	3.26×3.07	105	袋状	1	SK337, →SK339, SK453, SK455	16,566	勝, E1古, E2~E3	円板1, 磨斧2	1a期	
(78)SK341	13V-01	円形	2.72×2.44	54	たらい状	4	SK342, SK343	8,030	阿II, E1古, E3古, E3中	磨石1	不明	
(78)SK342	12V-91	円形	0.94×-	26	たらい状		SK341, SK343	0			不明	
(78)SK343	12V-92	円形	-	49	たらい状	1	SK341, SK342, SK344, SK349, SK509	8,320	E1古, E2, E3古, E3新	磨石1	不明	
(78)SK344	12V-92	円形	1.93×-	47	たらい状	3	SK343, SK509	4,220	E2, E3古	石鏃1	不明	
(78)SK345	12V-83	円形	0.66×0.54	78	たらい状		SK319, SK321, SK347	0			不明	
(78)SK346	12V-80	円形	-	34	たらい状		SK314, SK319, SK346	0			不明	
(78)SK347	12V-80	円形	1.96×-	39	たらい状		SK328	0			不明	
(78)SK348	12V-82	円形	1.30×-	36	たらい状	1	SK343, SK350, SK473	0			不明	
(78)SK349	12V-92	円形	-	41	たらい状		SK349, SK351, SK352	1,000	E2~E3古		不明	
(78)SK350	12V-92	円形	1.94×1.78	86	たらい状	2	SK350, SK353	4,480	勝, E1古, E1新		不明	
(78)SK351	12V-92	円形	1.50×-	54	たらい状	1	SK352, SK354	5,580	勝, E2, E2-3, E3古, E3-4	円板1	不明	
(78)SK352	12V-82	円形	2.40×-	66	たらい状	2	SK352, SK354	0			不明	
(78)SK353	12V-82	円形	1.38×1.34	101	たらい状	2	SK353, SK356, SK371	0			不明	
(78)SK354	12V-82	円形	-	41	たらい状	1	SK353, SK356, SK371	0			不明	
(78)SK355	12V-83	円形	2.30×-	63	たらい状		SK356, SK406	9,550	E1古, E2, E3新, E3-4, E4	土鏃1, 円板1, 磨石2, 石皿1	不明	
(78)SK356	12V-83	円形	1.70×1.64	47	たらい状	1	SK354, SK355, SK371	150	阿III, E3新~E3-4		不明	
(78)SK357	13U-24	楕円形	2.44×(1.88)	20	たらい状	7	SK358	920	E3古, 堀1		不明	
(78)SK358	13U-23	円形	1.25×1.14	54	たらい状		SK357	1,600	E3古~E3中	土鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK359	13U-13	円形	-	24	たらい状	2	SK360	550	勝, E1, E3古, 堀1		不明	
(78)SK360	13U-14	円形	2.04×-	32	たらい状	1	SK359	2,080		円板1, 石鏃1	不明	
(78)SK361	13U-53	円形	1.09×0.94	31	たらい状			820			不明	
(78)SK362	12V-53	円形	1.16×1.09	78	たらい状	1	SK204, SK205, SK213	3,300	E3古, E3中	土鏃1, 剥片2, 砵片3	3b期	
(78)SK363	13U-83	円形	1.88×1.80	22	たらい状		SK365, SK366	0			不明	
(78)SK364	13U-83	円形	1.09×-	28	たらい状		SK365	210	E3古, 加B		不明	
(78)SK365	13U-83	円形	0.74×-	41	たらい状	1	SK363, SK364	0			不明	
(78)SK366	13U-73	円形	1.64×1.56	36	たらい状			3,750	E1古, E3古, E3中, 曹利, E4, 加B	円板1, 磨石1	不明	



遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK367	13V-10	円形	-	67	たらい状		SK018, SK368, SK678	0			不明	
(78)SK368	13V-10	円形	0.86×0.72	111	たらい状		SK017, SK367	440			不明	
(78)SK369	13V-11	円形	0.92×0.80	111	たらい状		SK002, SK339	240	阿II, E3古		不明	
(78)SK370	12V-75	楕円形	2.85×-	23	たらい状	2	SK191	0			不明	
(78)SK371	12V-72	円形	1.76×-	15	たらい状	3	SK354, SK356, SK372	0			不明	
(78)SK372	12V-72	円形	-	44	たらい状	2	SK371, SK373, SK376	0			不明	
(78)SK373	12V-72	円形	-	41	たらい状	3	SK372, SK374, SK375, SK376	0			不明	
(78)SK374	12V-72	楕円形	1.44×1.07	18	たらい状		SK373	0			不明	
(78)SK375	12V-82	円形	1.72×1.54	59	たらい状	2	SK373	1,690	E1, E3古	円板1, 磨弁1, 打斧1	不明	
(78)SK376	12V-72	円形	1.42×-	33	たらい状	1	SK372, SK373, SK377	1,880	E2, E3, E4	円板1, 石鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK377	12V-73	円形	2.08×1.82	62	たらい状		SK376, SK406	290	勝, E1		不明	
(78)SK378	12V-51	円形	0.76×-	43	たらい状		SK209	440	E1, E3, 堀1		不明	
(78)SK379	12V-51	円形	1.04×-	56	たらい状		SK208, SK210	0			不明	
(78)SK380	13U-15	円形	0.99×1.03	30	たらい状			620	E2, E3	磨石1	不明	
(78)SK381	12U-94	円形	1.00×0.93	20	たらい状	1		200			不明	
(78)SK382	13U-24	円形	1.45×1.28	31	たらい状	1		200	E1~E2		不明	
(78)SK383	13U-41	円形	2.50×2.33	50	たらい状	2	→SX075	7,056	E1, E2古	石鏃1	不明	2 a期
(78)SK384	13W-03	円形	3.17×3.00	66	たらい状	3	SX027	22,810	勝, E1古, E2古, E3古, E3中	円板1, 磨石2, 楔形1	不明	
(78)SK385	13U-83	円形	2.32×-	43	たらい状	3	SK386, SK387	4,240	阿II, E1新, E2, E3古~E3中, 堀1	円板1, 磨石1, 石鏃1	不明	
(78)SK386	13U-83	楕円形	2.10×-	78	たらい状	3	SK385	120	E1古, E3古		不明	
(78)SK387	13U-82	円形	0.88×0.87	70	たらい状		SK385	230	E1~E2		不明	
(78)SK388	13U-44	円形	0.84×0.75	59	たらい状			170	E1~2, E3新		不明	
(78)SK389	12V-75	円形	1.24×1.19	26	たらい状			250	勝		不明	
(78)SK390	13U-03	円形	1.60×1.53	26	たらい状	2	SK391	1,720	E1古, E3		不明	
(78)SK391	13U-03	円形	0.80×0.78	126	ピット状		SK390	680	E1古, E2	土鏃1	不明	
(78)SK392	13U-45	円形	2.72×2.52	49	たらい状	4		800	E1, E3, 加B		不明	
(78)SK393	13U-35	円形	3.14×2.98	52	たらい状			2,000	E1古, E2, E3中~E3中	石鏃1	不明	
(78)SK394	13U-21	円形	2.60×2.42 2.42×2.32	97	袋状	4	SK401	11,790	阿II, E1, E2, E3, 堀1	土鏃1, 磨弁2, 磨石2	不明	
(78)SK395	13U-33	円形	1.87×-	48	たらい状			1,540	E3, E3-4, E4		不明	
(78)SK396	13U-16	円形	2.13×1.95 (2.58)×(2.54)	84	袋状			17,115	阿II, 阿III, 阿IV, 勝, E1古, E3古~E3中		不明	1 a期
(78)SK397	12V-54	円形	(1.86)×1.80	40	たらい状	3		2,450	E2, E3古, E3中~E3新	円板1	不明	
(78)SK398	12V-54	円形	2.48×-	30	たらい状	1	SK478, SK518	1,950	E2, E2-3, E3古		不明	
(78)SK399	13U-43	円形	2.62×2.33	71	たらい状			240	E		不明	
(78)SK400	13U-73	円形	2.00×1.69	30	たらい状	5		410	E3新, 堀1	円板1	不明	
(78)SK401	13U-11	円形	-	56	たらい状		SK394	240	E2, E3新		不明	
(78)SK402	13U-42	円形	2.00×1.76	45	たらい状	1		1,780	E1古, E1~E2, E3		不明	
(78)SK403	12U-96	不整形	1.47×-	29	たらい状	3	SK404	1,730	E2, E3, E3新	石鏃未1	不明	3 c期
(78)SK404	12U-96	円形	2.01×1.98	73	たらい状		SX004, SK403, SK425, SK426	2,430	阿II, 阿III, E1, E4	磨弁1	不明	
(78)SK405	13U-06	円形	1.76×1.64 (1.86)×(1.67)	81	袋状			880	E1, E3	磨石1	不明	
(78)SK406	12V-73	円形	1.71×-	37	たらい状	2	SK355, SK377	2,516	E2, E2-3		不明	2 c期
(78)SK407	14T-57	円形	2.10×2.07	43	たらい状	2		2,720	E1, E2		不明	
(78)SK408	14T-57	円形	1.26×1.24	47	たらい状			1,100	E1, E3		不明	
(78)SK409	14T-56	円形	2.20×2.07	56	たらい状	2		12,120	E1, E2-3		不明	2 c期
(78)SK410	14T-66	円形	2.20×2.20	82	たらい状	3		12,870	E1新, E2, E2-3	原石1	不明	2 c期
(78)SK411	14T-46	円形	2.26×2.25	60	たらい状	3		4,850	E2新~E2-3	土鏃1	不明	2 b~2 c期
(78)SK412	14T-44	円形	1.95×1.85	59	たらい状			100			不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK413	14T-55	円形	2.02×1.92	46	袋状	2		3,220	E1, E2新-E2-3		2b~2c期	
(78)SK414	14T-85	円形	2.71×2.35 (3.00)×(2.58)	107	袋状	1		10,750	勝, E1古, E2		2期	
(78)SK416	12V-47	円形	2.20×1.56	28	たらい状	1		1,050	E2~E3		不明	
(78)SK418	13U-73	円形	2.40×2.25	31	たらい状	3	SK419	3,600	E1古, E3古	脛石1	不明	
(78)SK419	13U-74	円形	0.92×0.89	22	たらい状		SK418	170			不明	
(78)SK420	14T-49	円形	1.66×1.58	38	たらい状	1		490	E1新		不明	
(78)SK421	12V-66	楕円形	1.75×1.41	52	たらい状	2		100	E2~E3		不明	
(78)SK422	12V-67	円形	2.42×2.38	60	たらい状			7,940	阿III, E1, E3古	石鏝1	3a期	
(78)SK423	14T-38	円形	1.92×1.87	63	たらい状	4	→SK032	4,700	曹利古2	石皿1	2a期	
(78)SK424	13U-20	円形	2.18×2.03	57	たらい状	2		8,360	勝, E1	土鏝1, 石鏝1, 石皿1	1期	
(78)SK425	12U-96	円形	1.21×-	51	たらい状		SK404	490	E3, E3新	打斧1	不明	
(78)SK426	12U-96	円形	1.20×-	38	たらい状		SK404	90	E1~E2		不明	
(78)SK427	14U-11	円形	1.95×-	50	たらい状		SK428	2,670	E1, E2古	打斧1	不明	
(78)SK428	14U-11	円形	1.16×-	46	たらい状		SK427, SK429	1,180	E2古, E2~E2-3	円板1	不明	
(78)SK429	14U-11	円形	2.16×-	19	たらい状	3	SK427	60			不明	
(78)SK430	14U-21	円形	2.23×2.00	31	たらい状	11		2,900	E2, E3古~中		3a~3b期	
(78)SK431	14T-36	円形	1.68×1.56	33	たらい状			850	E1~E2		不明	
(78)SK432	14T-59	円形	2.10×2.08	75	たらい状			4,100	E1, E3新		3c期	
(78)SK433	12V-72	円形	1.25×1.40	55	たらい状			410		土鏝1	不明	
(78)SK434	14U-20	円形	2.02×1.97	28	たらい状	2		1,690	E1~E2, E3	円板1	不明	
(78)SK435	12V-66	楕円形	1.57×1.12	44	たらい状		SK436	1,620	E3古		3期	
(78)SK436	12V-66	円形	1.50×1.34	38	たらい状	1	SK435	2,060	勝, E2, E3古	磨斧1	3a期	
(78)SK437	14T-75	円形	2.11×1.76 1.80×1.62	70	たらい状	1		17,890	阿III, E1, E2-3	土鏝1, 石鏝2	2c期	
(78)SK438	14T-08	円形	2.13×2.04	58	たらい状	1		1,720	勝, E3, 堀1	円板1, 磨斧1	不明	
(78)SK439	14T-08	円形	1.90×1.80 (1.12)×(1.08)	96	袋状			3,400	E1古		1a期	
(78)SK440	14T-07	円形	2.14×-	36	たらい状	6	SK441	1,220	E2		2期	
(78)SK441	13T-97	円形	2.01×1.82	64	たらい状		SK440, SK442	14,220	E2古	磨石1	2a期	
(78)SK442	13T-98	円形	2.31×1.91	43	たらい状	1		3,600	阿II, E1古, E2新, 堀1	石皿1, 石鏝未1	不明	
(78)SK443	12V-47	円形	1.71×1.56	26	たらい状	1		780	E1, E3		不明	
(78)SK444	12V-63	円形	1.70×1.60 1.62×1.60	42	袋状			590	E3古, E3中		不明	
(78)SK445	12V-51	円形	1.54×1.40	55	たらい状			3,850	勝, E1古, E2~E2-3		2期	
(78)SK446	12V-64	円形	2.70×2.18	59	たらい状	1	SK479	3,650	阿IV, E1~2, E2, E3, 堀1	土鏝1, 打斧1, 石鏝1	1~2期	
(78)SK447	12V-63	円形	1.53×-	27	たらい状	1	SK510→	1,300	E1, E3古		3a期	
(78)SK448	12V-71	円形	1.31×1.22	49	たらい状	1		300		石鏝2, 石鏝未1	不明	
(78)SK449	12V-50	円形	1.92×1.58	90	袋状			4,720	阿IV, E3中		1a期	
(78)SK450	12V-61	円形	2.06×-	62	たらい状		SK480, SK501	1,700	阿III, 勝, E	楕形1, 脛石1	不明	
(78)SK451	12V-62	円形	1.68×1.64	48	たらい状	1	SK012	4,150	E1古, E2古, E3古, 加B	磨石4, 剥片5	不明	
(78)SK452	13V-02	円形	-	44	たらい状		SK340, SK454, SK455	3,120	E1古, E2古, E3, 曹利		不明	
(78)SK453	13V-02	円形	2.02×-	45	たらい状		SK453, SK516	4,550	E1古	石鏝未1	1a期	
(78)SK454	13V-02	円形	-	25	たらい状		SK340, SK453, SK456, SK517	2,780	阿III, E3, E4		不明	
(78)SK455	13V-02	円形	2.35×-	44	たらい状	2	SK455, SK485, SK486, SK517	3,862	E1, E3古, 称	石皿2	不明	
(78)SK456	13V-12	円形	0.90×-	49	たらい状			1,000	E1, E3-4~E4		4期	
(78)SK457	12V-63	楕円形	2.20×1.80	49	たらい状			330			不明	
(78)SK458	12V-46	円形	2.44×2.14	58	たらい状	4		4,180	E1, E2, E3古	円板1	不明	
(78)SK459	14T-28	円形	2.07×1.90	59	たらい状	1		3,630	E1古, E2, E3		不明	
(78)SK460	14T-17	円形	2.07×1.90	59	たらい状	1					不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK461	14T-17	円形	2.32×2.30	68	たらい状	1		1,390	E1, E2, E3	土鏝1	不明	
(78)SK462	14T-26	円形	2.50×2.25 (1.84)×(1.72)	97	袋状	1		2,890	勝, E1古, E3	石鏝1, 打斧1	不明	
(78)SK463	14T-16	円形	2.10×0.92	50	たらい状	1		650	E1～E2		不明	
(78)SK464	14U-26	円形	1.12×0.81	68	ピット状			140	E1～E2		不明	
(78)SK465	14U-16	円形	0.90×0.90	116	たらい状			900	E3古		不明	
(78)SK466	14U-15	円形	1.12×1.05	138	たらい状			1,550	E1古, E3古	ニチャツ土器1	1 a期	
(78)SK467	12V-84	円形	1.84×1.60	21	たらい状	2		700	E1, E3古		不明	
(78)SK468	12V-83	円形	1.90×-	49	たらい状	1	SK508, SK534B	1,770	E1～E2, E3古, E4	磨斧1	不明	
(78)SK469	14U-20	円形	1.28×1.24	58	たらい状			1,500	<b>E3新</b>		3 c期	
(78)SK470	13U-09	円形	-	44	たらい状	1	SK472, SK511	3,680	阿IV, E1古, E3, E3新		不明	
(78)SK471	13U-19	楕円形	0.87×0.67	50	たらい状		SK472, SK511	260	阿IV, E3古		不明	
(78)SK472	13U-19	円形	1.32×-	73	たらい状		SK470, SK471, SK511, SK556, SK557	1,080	E1～E2, E3古, E3新～E3-4		不明	
(78)SK473	12V-92	円形	1.59×-	33	たらい状	2	SK349, SK474, SK475, SK488	2,790	E2, E3古		不明	
(78)SK474	12V-93	円形	1.70×-	31	たらい状		SK473, SK488	2,500	E1古, E3古, 堀1		不明	
(78)SK475	12V-82	円形	1.45×-	32	たらい状	2	SK473, SK476	110	E1～E2		不明	
(78)SK476	12V-83	円形	1.83×1.76	18	たらい状	2	SK475, SK492	620	E1古, E2, E3		不明	
(78)SK477	12V-74	円形	1.30×-	64	たらい状		SK497, SK498, SK525	0			不明	
(78)SK478	12V-64	円形	1.29×-	32	たらい状		SK398, SK510	780	E1～E2, E3	円板2	不明	
(78)SK479	12V-64	円形	2.84×-	32	たらい状	3	SK446	7,930	E3古～E3中, E4, 堀1	剥片3	不明	
(78)SK480	12V-62	円形	-	61	たらい状	1	SK450, SK481, SK501	2,760	<b>E2-3～E3古</b>		2 c～3 a期	
(78)SK481	12V-61	円形	2.30×-	62	たらい状	1	SK480	910	E1古, E2, E3古, E3中		不明	
(78)SK482	12V-41	円形	2.06×1.80	52	たらい状	2	→SK008	6,820	E1, E3古, 曹利	ニチャツ土器1, 軽石2	不明	
(78)SK483	12V-71	円形	2.16×1.83	55	たらい状	3		5,240	勝, E2, E3古, E3中, E4, 称	浮子1	不明	
(78)SK484	14T-48	円形	1.83×1.70 1.82×1.80	67	袋状	2	SK503	2,580	<b>E2新～E2-3</b>		2 b～2 c期	
(78)SK485	13V-12	円形	1.00×0.92	97	たらい状		SK456, SK487	740			不明	
(78)SK486	13V-12	円形	-	36	たらい状		SK456, SK487	0			不明	
(78)SK487	13V-12	円形	1.80×-	31	たらい状		SK485, SK486, SK517	520	E1古		不明	
(78)SK488	12V-93	円形	1.02×0.91	30	たらい状	1	SK473, SK474	1,370	E3古, E3-4		不明	
(78)SK489	13W-01	円形	1.22×1.04	40	たらい状	2		400	E2, E3古		不明	
(78)SK490	13V-19	不整形	1.97×1.88	50	たらい状		→SK023, SK660B	3,689	E1古, E1～2, E3, E3新	土鏝2, 磨斧1, 石鏝1	不明	
(78)SK492	12V-83	円形	0.68×0.66	74	たらい状		SK476, SK534A	150	E3		不明	
(78)SK493	12V-85	円形	2.04×1.90	30	たらい状	2		1,750	<b>E3古</b>		3 a期	
(78)SK494	13V-04	円形	2.94×2.60	50	たらい状		SK495, SK496, →SK514, SK533, SK693	6,540	E2-3, E3古, E3新, E4	石鏝1, 石鏝未1	2 c期	
(78)SK495	13V-04	円形	0.92×0.76	67	たらい状		SK494, SK533	370	E1古, E2		不明	
(78)SK496	13V-04	円形	0.76×0.74	41	たらい状		SK494	440	阿IV, E1, E3古, E4, 堀1		不明	
(78)SK497	12V-74	円形	2.71×2.41	105	たらい状		SK477, SK542, SK525	15,270	阿III, E1古, E3古, E3新	土鏝1, 打斧1	3 c期	
(78)SK498	12V-74	円形	1.74×1.58	60	たらい状	3	SK477, SK535, SK541	180	E1, E2	磨斧1	不明	
(78)SK499	14T-29	円形	1.64×1.56	48	たらい状	1		1,430	勝, E3古, 曹利		1 a期	
(78)SK500	14T-58	円形	1.86×1.70	48	たらい状	3		3,910	勝, E1, E2		2期	
(78)SK501	12V-61	円形	1.06×-	64	たらい状		SK450, SK480	340	E4		不明	
(78)SK502	14T-48	円形	1.66×-	37	たらい状		SK504	100	E1		不明	
(78)SK503	14T-48	円形	1.50×1.48	48	たらい状		SK484, SK504	1,150	E1		不明	
(78)SK504	14T-48	円形	1.58×-	19	たらい状	1	SK502, SK503	1,120	E1～E2		不明	
(78)SK505	13W-00	円形	2.14×-	54	たらい状	3	SK506, SK598	4,390	E1, E2, E3		不明	
(78)SK506	13W-00	円形	2.29×2.14	44	たらい状	1	SK505	1,700	E1古, E3		不明	
(78)SK507	12V-84	円形	(2.10)×2.05	64	袋状	3	SK512	4,470	E1古, E2古	浮子1, 石鏝1	2 a期	
(78)SK508	12V-83	円形	1.64×-	51	たらい状		SK468, SK534B, SK534C	3,800	勝, E1古, 称, 堀1	剥片3	不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK509	12V-92	不整形	1.77×-	26	たらい状	1	SK343, SK344	1,040	E1, E3古		不明	
(78)SK510	12V-64	円形	1.81×-	58	袋状	3	→SK447, SK478	17,140	E1古, E2古, E3古	打斧1, 磨斧1	1 a期	
(78)SK511	13U-19	円形	(2.35)×2.21	66	たらい状		SK470, SK471, SK472	180	勝		不明	
(78)SK512	12V-85	円形	1.02×-	55	たらい状		SK507, SK540	310	E		不明	
(78)SK513	13T-95	円形	2.45×2.05	65	たらい状	1	SI035A, SI035B	5,310	E2~E3, E3古, E3中, 善利	土鏝1	不明	
(78)SK514	13V-03	円形	2.10×-	41	たらい状	2	SK494→, SK515, SK532, SK533	4,220	E3古2	石鏝2, 剥片3	3 a期	
(78)SK515	12V-93	円形	2.25×-	39	たらい状	3	SK514, SK532	800	E1, E2, E3, E4	磨斧1	不明	
(78)SK516	13V-03	円形	1.37×-	41	たらい状	1	SK454, SK574	1,080	E1~E2, E4, 加B	打斧1	不明	
(78)SK517	13V-12	円形	-	28	たらい状		SK455, SK456, SK487, SK568	1,050	勝, E3, E4		不明	
(78)SK518	12V-54	円形	1.59×1.36	39	たらい状		SK398	4,180	E1~E2	剥片3	不明	
(78)SK519	14U-11	円形	2.40×-	38	たらい状	1	SK520	1,250	E1古, E2古, E3中		不明	
(78)SK520	14U-02	円形	2.45×-	33	たらい状		SK519, SK521, SK528	0			不明	
(78)SK521	14U-02	円形	1.02×-	26	たらい状	1	SK520	330	E3, E4		不明	
(78)SK522	14U-02	円形	2.09×-	22	たらい状	6	SK5035→, SK523, SK550	0			不明	
(78)SK523	13U-92	円形	2.48×-	25	たらい状	4	SK522, SK550	1,320	E3古, E3新?, 堀1		不明	
(78)SK525	12V-74	円形	1.55×-	58	たらい状		SK477, SK497	8,650	E1, E2, E3新		不明	粘土出土
(78)SK526	12V-95	円形	1.52×1.44	84	たらい状		SK514, SK515, SK533	2,180	勝, E1, E2, E3, E4	剥片3	不明	
(78)SK527	14U-12	円形	1.77×-	54	たらい状	3	SK528	1,370	勝, E2, E3古, E3中~E3新	磨石1	不明	
(78)SK528	14U-12	円形	1.91×-	40	たらい状	1	SK520, SK527, SK529	1,850	E2, E3		2期	
(78)SK529	14U-02	円形	1.92×-	29	たらい状	5	SK528, SK530	780	E1, E3		不明	
(78)SK530	14U-03	円形	1.95×1.57	45	たらい状	3	SK529	4,590	E1~E2, 善利, E3-4, E4	磨斧1	不明	
(78)SK531	12V-93	円形	2.22×2.04	37	たらい状	2	SK534, SK553	1,840	勝, E2~E3古		不明	
(78)SK532	13V-03	円形	1.36×1.20	40	たらい状		SK514, SK515, SK533	2,620	勝, E3古		不明	
(78)SK533	13V-04	円形	-	27	たらい状		SK494, SK495, SK514, SK532	1,070	E1, E2, E3古		不明	
(78)SK534A	12V-83	円形	-	52	たらい状		SK467, SK531, SK534B, SK534C, SK553	5,660	阿II, 阿III, 阿IV, 勝, E1古, E3	石皿1	不明	
(78)SK534B	12V-83	円形	-	-	たらい状		SK468, SK534A, SK534C					
(78)SK534C	12V-83	円形	-	-	たらい状		SK508, SK534A, SK534B					
(78)SK535	12V-75	円形	1.60×-	38	たらい状		SK498, SK541	4,620	阿II, E1新, E3古, E3新	円板1, 打斧1, 石鏝1	不明	
(78)SK536	14U-41	円形	2.53×-	33	たらい状	1	SK537	6,230	阿IV, E1, E2, E3, 称, 堀1	円板1	不明	
(78)SK537	14U-41	円形	1.36×-	58	たらい状	1	SK536, SK548	1,070	E2, E3, E3-4~E4		不明	
(78)SK538	14U-31	円形	1.20×1.10	42	たらい状		SK539, SK564	1,020	E3古, E3中	磨斧1	不明	
(78)SK539	14U-31	円形	1.69×-	55	たらい状		SK538	2,000	E2, E3古, E3中, 堀1		不明	
(78)SK540	12V-94	円形	-	19	たらい状	1	SK512, SK559	390	阿II, E1, E3		不明	
(78)SK541	12V-75	円形	1.49×-	20	たらい状		SK535	50			不明	
(78)SK542	12V-74	円形	1.50×1.43	42	たらい状		SK497	540	E3新		不明	
(78)SK543	13V-08	円形	0.75×0.53	28	たらい状		SK2005	6,180	E3中, 堀1	石鏝1	3 b期	
(78)SK544	13V-08	円形	0.84×0.80	101	たらい状		SK2005	900	E1古, E3		不明	
(78)SK545	14U-02	円形	0.64×0.49	46	ピット状		SK529	140	E		不明	
(78)SK546	13W-31	円形	2.05×2.05	21	たらい状	2	SK592	1,250	E1, E3		不明	
(78)SK547	13W-11	円形	-	75	たらい状		SK555→	11,630	E3中, E3新	円板1, 打斧1, 石鏝未1	3 c期	
(78)SK548	14U-40	円形	1.37×-	56	たらい状	1	SK537	770	E2~E2-3	円板2, 剥片4	不明	
(78)SK549	14U-40	楕円形	2.51×2.24	45	たらい状			12,520	E1, E2, E3新, 堀1		不明	
(78)SK550	14U-02	円形	1.09×0.97	29	たらい状		SK522, SK523	0			不明	
(78)SK551	13W-40	円形	3.40×1.72	75	たらい状	5	SK552, SK560	19,640	E1, E3古, E3中~E3新	土鏝2, 浮子1, 石鏝1, 磨石2	不明	
(78)SK552	13W-41	円形	1.54×1.29	71	たらい状	1	SK551	2,340	E1~E2, E3古		不明	
(78)SK553	12V-94	楕円形	2.46×2.10	56	たらい状	1	SK531, SK534A, SK559	9,980	阿III, 勝, E1古, E2古	土鏝1, 楔形1	不明	
(78)SK554	14U-32	円形	1.56×-	42	たらい状	2	→SI107, →SK037, SK538	1,870	E3古	打斧1	3 a期	
(78)SK555	13W-11	円形	2.18×2.06	91	たらい状		→SK547, SK566	10,550	E3中, E4	土鏝1, 円板3, 石鏝4	3 b期	

遺構No.	位置	平面形	規模(m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK556	13U-18	円形	2.30×2.20	63	たらい状	3	SK472, SK557, SK674	2,750	E1~E2, E3		不明	
(78)SK557	13U-08	円形	-	43	たらい状	2	SK472, SK556, SK578, SK629	4,850	E1, E2, E3古, 曾利, E3新	打斧1, 石皿1	不明	
(78)SK558A	13U-93	円形	1.82×-	30	たらい状	4	SK558B				不明	
(78)SK558B	13U-93	円形	1.91×-	-	たらい状		SK558A	800	E1古, E1~E2		不明	
(78)SK559	12V-94	円形	2.55×-	33	たらい状	1	SK540, SK553	1,850	勝, E1	土鉢1	不明	
(78)SK560	13W-40	円形	2.64×2.50	52	たらい状	2	SK551, SK583	9,750	阿IV, E1古, E2	土鉢2, 磨石1	2期	
(78)SK561	13W-30	円形	2.30×2.20	64	たらい状		SK583, SK592, SK609	4,500	E3古~E3中	石鉢1	不明	
(78)SK562	14U-41	円形	1.56×1.45	79	たらい状	1	S1107, SK658	1,800	E1, E2, E3, 曾利		不明	
(78)SK563	14U-42	円形	-	34	たらい状	1	SK605, SK2009	13,880	阿IV, E1古, E2, E3新		不明	
(78)SK566	13W-01	円形	1.84×-	36	たらい状		SK555	1,100	E2新~E3古		不明	
(78)SK567	13V-13	円形	1.35×-	30	たらい状		SK568	730	勝, 称	打斧1	不明	
(78)SK568	13V-13	円形	1.99×1.83	30	たらい状	2	SK517, SK567, SK766	250	E2, E4		不明	
(78)SK569	13V-06	円形	(2.96)×2.80	51	たらい状	1		7,480	阿IV, E1古		1 a期	
(78)SK570	13W-42	円形	-	76	たらい状		S1038	500		磨石1	不明	
(78)SK571	14U-12	円形	2.31×2.00	56	たらい状	1	SK572, SK573	6,400	勝, E1古, E3古	円板1, 磨斧1	不明	
(78)SK572	14U-22	円形	1.05×0.91	93	たらい状		SK571, SK573	600	E1~E2, 曾利	土鉢1	不明	
(78)SK573	14U-21	円形	1.70×-	17	たらい状	1	SK571, SK572	1,000	E1, E3, E4		不明	
(78)SK574	13V-03	円形	1.36×-	21	たらい状	1	SK516	180	E3古		不明	
(78)SK575	14U-21	円形	1.12×0.75	54	たらい状			800	E1, E3		3期	
(78)SK576	14U-22	円形	2.32×1.94	30	たらい状			2,720	勝, E3新		3 c期	
(78)SK577	12V-94	楕円形	1.42×1.01	80	たらい状			1,280	E1, E4		不明	
(78)SK578	13U-08	円形	-	30	たらい状		SK557, SK629	650	E2, E3古, E3新		不明	
(78)SK579	13W-10	円形	1.74×-	34	たらい状	2	SK580, SK599	260	E2-3~3古		不明	
(78)SK580	13W-00	円形	0.90×0.70	66	たらい状		SK579	300	E3古, E3新		不明	
(78)SK581	14T-69	円形	2.63×2.33	65	たらい状	1		4,900	E2古	石鉢1, 磨石1	2 a期	
(78)SK583	13W-40	円形	-	48	たらい状	1	SK560, SK561	3,500	E1古, E3古, E3新	円板2, 石鉢2, 楔形1	不明	
(78)SK584	14U-60	円形	3.02×2.46	68	たらい状	2		6,200	E2古, E3-4~E4		2 a期	
(78)SK586	14T-59	円形	2.15×1.92 (1.59)×(1.50)	81	袋状			11,050	E1古, E3	土鉢1, 磨斧1	1 a期	
(78)SK587	14T-78	円形	2.22×2.22	53	たらい状			2,580	阿III, E1, E2		不明	
(78)SK588	15T-04	円形	1.97×1.84	38	たらい状	1		500	E3古		不明	
(78)SK589	13V-18	円形	2.35×-	52	たらい状		SK590, SK606, SK649	7,700	E1古, E3	石鉢1, 磨斧1	不明	
(78)SK590	13V-19	円形	0.98×-	40	たらい状		SK589, SK649	290	E3古		不明	
(78)SK591	13U-08	円形	2.10×-	37	たらい状	5	SK601	1,900	E1~E2, E3古, 曾利	ニチユ土器1, 石皿1	不明	
(78)SK592	13W-31	円形	2.85×1.95	31	たらい状	2	SK546, SK561, SK609, SK615	2,400	E3中, E3新, 堀1		不明	
(78)SK593	14T-89	円形	2.28×1.92	73	たらい状	1	SK604A	3,300	E1~2古		不明	
(78)SK594	14V-45	円形	1.86×1.65	85	袋状		SK806	9,000	勝, E1古, E3	剥片4	1 a期	
(78)SK595	14V-43	円形	1.25×1.15	67	たらい状		SK687B, SK715, SK733	1,600	阿IV, 勝, E1古		不明	
(78)SK596	14V-33	円形	2.77×2.53	32	たらい状	1	SK733, SK741	0			不明	
(78)SK597	12V-95	円形	2.99×2.47	73	たらい状		→SK073, SK614	10,300	阿IV, 勝	石鉢1, 石鉢未1, 石鉢1	1 a期	
(78)SK598	13W-00	円形	1.21×-	52	たらい状	1	SK505	3,000	E1	磨斧2, 石皿1	1期	
(78)SK599	13V-19	円形	-	25	たらい状	2	SK579, SK613	4,650	E2, E3	石鉢1, 剥片5	不明	
(78)SK600	12V-97	円形	1.48×1.13 1.33×1.06	65	袋状			260	E2新	石鉢1	不明	
(78)SK601	13U-09	円形	1.78×-	34	たらい状	2	SK591	2,180	E1, E2, E3		不明	
(78)SK602	14T-88	円形	(2.01)×1.92	47	たらい状	2		5,600	勝, E2新, E2-3, E3古		不明	
(78)SK603	14U-80	円形	1.98×1.96	41	たらい状	2		800	E2~E2-3	磨石1, 石皿1	不明	
(78)SK604A	14T-89	円形	2.10×-	37	たらい状	2	SK593, SK604B				不明	
(78)SK604B	14T-99	円形	1.72×-	38	たらい状	2	SK604A, SK611	1,170	E3古		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK605	14U-42	円形	2.24×2.20 (1.71)×(1.61)	80	たらい状	1	→SI107, SK652, SK2009	900 E1古, E2		不明	
(78)SK606	13V-08	円形	2.48×-	33	たらい状	2	SK589, SK2005	7, 720 勝, E1古, E1新, E3古2	石鏝末1	3 a期	
(78)SK607	13V-29	円形	2.04×-	40	たらい状	1	SK660A, SK660B	阿IV, E3-4	石鏝1, 磨石1	4 a期	
(78)SK608	13V-28	円形	1.76×1.74	83	たらい状		SK630, SK648	3, 300 E3古, E3新		不明	
(78)SK609	13W-30	円形	2.04×1.50 (1.70)×(1.65)	70	袋状		SK561, SK592	6, 750 E1, E2	土鏝1, 円板1, 原石1	不明	
(78)SK610	13V-17	円形	3.30×3.17	52	たらい状	9	SK636	8, 970 勝, E2, E2-3, 曾利	石鏝1, 磨石1	2 c期	
(78)SK611	14T-98	円形	2.20×2.16	53	たらい状	4	SK604B, SK1215A	6, 670 E2~E3古	剥片3, 砂片1	不明	
(78)SK612	14T-99	円形	2.20×2.01	50	たらい状	2		3, 460 E2新~E3古	石鏝1	不明	
(78)SK613	13V-09	円形	2.74×(2.10)	46	たらい状	2	SK599	760		不明	
(78)SK614	12V-96	円形	1.70×-	33	たらい状	1	SK597	1, 640 E1~E2		不明	
(78)SK615	13W-31	円形	1.14×0.95	61	-		SK592	810 E3中		不明	
(78)SK616	13W-32	円形	0.9×0.85	88	たらい状		SI036	210		不明	
(78)SK617	13V-05	円形	2.28×2.21 (2.38)×(2.45)	56	袋状	2	SK618	2, 150 E1, E3古		1 期	
(78)SK618	13V-06	円形	-	26	たらい状		SK617, SK619, SK670	550 E1~E2, E3		不明	
(78)SK619	13V-16	円形	1.38×-	50	たらい状		SK618, SK670, SK671	6, 121 E1古, E3, E4, 称		5 期	
(78)SK620	13U-09	円形	1.95×-	36	たらい状	4	SK621	3, 930 E1, E2, E3	石鏝1	不明	
(78)SK621	13U-09	円形	1.12×-	54	たらい状	2	SK620	980 E1, E2, E3	円板1	不明	
(78)SK622	14U-70	円形	(2.47)×2.13	73	たらい状	2		3, 200 E1新	原石1	1 b期	
(78)SK623	14U-70	円形	1.84×1.62	45	たらい状			2, 269 E2, E3		不明	
(78)SK624	14V-44	円形	2.58×2.13	67	たらい状			400 E2, E3		不明	
(78)SK625	14T-89	円形	1.46×-	43	たらい状		SK626	0		不明	
(78)SK626	14T-89	円形	1.82×1.78 (1.44)×(1.32)	58	袋状	1	SK625	3, 350 E2-3, E3古	円板1	不明	
(78)SK627	13V-49	円形	1.34×-	25	たらい状	2	SK643	440 E3古		不明	
(78)SK628	13V-39	円形	1.72×1.52	31	たらい状	1	SK664	700 E3	磨石1	不明	
(78)SK629	13U-18	円形	-	43	たらい状	3	SK557, SK578, SK674	6, 360 勝, E1, E1新		1 b期	
(78)SK630	13V-28	円形	1.70×1.58	48	たらい状		SK608, SK648	4, 050 E1, E3古	石鏝1, 打斧1	3 a期	
(78)SK631	14U-51	円形	1.98×1.79	53	たらい状	2	SK656	1, 950 E1古, E3古, 曾利	石鏝1	不明	
(78)SK632	13V-15	円形	2.20×2.04	37	たらい状	1	SK633, SK672	3, 830 E1古, E3古	石鏝1, 石皿1	不明	
(78)SK633	13V-14	円形	3.00×2.64	37	たらい状	2	SK632, SK672	28, 360 勝, E1古, E2-3, E3古, E3中	土鏝1, 剥片6	不明	
(78)SK634	13V-25	円形	2.52×-	39	たらい状	2	SK744	5, 480 E1, 堀1	打斧1, 石核1	6 期	
(78)SK635	13V-27	円形	2.51×-	42	たらい状	2	SK680, SK685, SK731	3, 100 E2, E3, E3新	打斧2, 磨石1	不明	
(78)SK636	13V-17	円形	2.09×-	32	たらい状		SK610, SK664B	650 勝, E1~E2		不明	
(78)SK637	14U-61	円形	(2.45)×2.10	56	たらい状	3	SK662	6, 320 E2, E3古, E3新, E4	円板1, 石鏝末3, 楔形1	不明	
(78)SK638	13V-04	円形	2.16×1.83	23	たらい状	2		3, 220 勝, E3, 堀1	粘土塊1, 剥片3, 砂片2	不明	
(78)SK639	14U-42	円形	2.56×2.37	77	たらい状	7		20, 820 E2, E3新	剥片3, 石核1	3 c期	
(78)SK640	14V-93	円形	2.10×1.98	30	たらい状		SI109	600 SI1109		不明	
(78)SK641	14V-93	円形	1.20×1.10	75	たらい状		SI109	870 E4	楔形1, 磨石1	不明	
(78)SK643	13V-49	円形	2.10×-	40	たらい状	2	SK627, SK665, SK2006	1, 540 E1, E3		不明	
(78)SK644	13W-30	円形	2.34×-	28	たらい状	2	→SX030, SK628, SK659	860 E1古		不明	
(78)SK645	14U-50	円形	2.00×-	32	たらい状	1	SK646, SK647	4, 600 E2, E3古, E3新, E4		不明	
(78)SK646	14U-51	円形	1.73×-	24	たらい状		SK645	570 E1, E4		不明	
(78)SK647	14U-51	円形	-	48	たらい状	2	SK645, SK654, SK655	1, 600 E2, E3, E3-4	打斧1	不明	
(78)SK648	13V-18	円形	1.85×-	29	たらい状	2	SK608, SK630	850 E2, E3		不明	
(78)SK649	13V-18	円形	-	49	たらい状	1	SK589, SK590, SK663	900 阿IV, E3	剥片3	不明	
(78)SK650	15T-08	円形	1.66×(1.41)	31	たらい状		SX047→, SK651	1, 750 E2, E3古	土鏝1	不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK651	15T-02	円形	1.70×1.49	39	たらい状	1	SK650	4,450	阿IV, E1, E2, E3, E3新	椀形1, 石鏃未1	不明	
(78)SK652	14U-32	円形	0.90×0.70	81	たらい状		SK605	950	E3古	椀形1	不明	
(78)SK653	15T-17	円形	2.16×1.84	68	たらい状	1		6,740	E1, E2古, E3古	原石2	不明	
(78)SK654	14U-50	円形	(1.30)×-	48	たらい状		SK647, SK655	5,500	E1, E2, E3, E4, 堀1, 堀2		不明	
(78)SK655	14U-50	円形	1.67×-	40	たらい状	1	SK647, SK654	1,450	E3古, E3新		不明	
(78)SK656	14U-51	円形	1.40×-	36	たらい状	2	SK631	4,550	E2-3~E3古		2c~3a期	
(78)SK657	14U-41	円形	2.00×-	59	たらい状	1	SK658	2,780	E3, E3新	石皿1, 打斧1, 磨石1	不明	
(78)SK658	14U-41	円形	-	26	たらい状		SK562, SK657	0			不明	
(78)SK659	13V-39	円形	2.45×1.72	48	たらい状		SK644	6,100	阿IV, 勝, E1古		1a期	
(78)SK660A	13V-19	円形	(1.79)×1.40	46	たらい状		SK607, SK660B	3,260	阿IV, E1, E3	磨石1	不明	
(78)SK660B	13V-19	円形	1.12×(1.12)	-	たらい状		SK490, SK607, SK660A				不明	
(78)SK661	13V-29	円形	2.28×2.10 (1.44)×(1.37)	86	袋状	8		2,130	勝, E2新, E3	粘土塊1	不明	
(78)SK662	14U-61	円形	1.55×-	66	たらい状		SK637	1,080	E1, E2, E3		不明	
(78)SK663	13V-18	楕円形	2.70×1.92	40	たらい状	1	SK649	1,850	E1古, E2	磨斧1, 剥片7	不明	
(78)SK664A	13V-07	円形	2.52×-	70	たらい状	1	SK664B	14,650	勝, 阿IV, E1~E2, E3古, E4, 称	石鏃未2, 磨石1	3a期	
(78)SK664B	13V-07	円形	1.90×-	-	たらい状	1	SK636, SK664A				不明	
(78)SK665	13V-49	円形	2.44×-	54	たらい状	3	SK643, SK673, SK2006	3,740	E1古, E3, 堀1	円板1, 敲石1	不明	
(78)SK666	12U-99	円形	1.58×-	37	たらい状	1	SK620, SK621	270	E1, E2, E3		不明	
(78)SK667	14U-72	円形	1.30×1.20	48	たらい状			170		円板2, 石鏃1	不明	
(78)SK668	14U-43	円形	2.10×-	49	たらい状	4	SK683	1,350	E1古, E3	剥片4	不明	
(78)SK669	13V-21	円形	2.56×2.26	40	たらい状	5	SK704	4,900	E2-3~E3古, 菅利, 堀1	磨石1, 石棒1	不明	
(78)SK670	13V-15	円形	2.60×2.43	26	たらい状	4	SK618, SK619	1,980	E1, E2, E3		不明	
(78)SK671	13V-16	円形	1.02×0.86	107	たらい状		SK619	1,380	E2-3, E3		不明	
(78)SK672	13V-15	円形	2.23×-	20	たらい状		SK632, SK633	830	阿IV, E2	土鏃1, 軽石1, 石鏃未1	不明	
(78)SK673	13V-48	円形	1.24×1.14	34	たらい状	1	SK665, SK2006	310	E3, E4	石鏃未1, 剥片3	不明	
(78)SK674	13U-18	円形	2.60×-	42	たらい状	3	SK556, SK629, SK675, SK719	2,910	阿IV, E1, E3, 称, 堀1		不明	
(78)SK675	13U-28	円形	1.84×(1.83)	52	たらい状		SK674, SK676, SK690	6,730	E1古, E3古~E3中	磨石1	不明	
(78)SK676	13U-29	円形	1.46×1.45	42	たらい状	2	SK675, SK690	4,830	中峠, E2, E3古~E3中	円板1, 磨石1, 磨斧1	不明	
(78)SK677	13U-29	円形	2.51×2.40 2.40×2.22	54	たらい状	1		2,980	E1, E3, 堀1		1期	
(78)SK678	13V-10	円形	0.98×0.94	123	たらい状		SK367, SK713→	2,450	E4, 堀1		6期	
(78)SK679	13V-36	円形	2.25×1.83	74	たらい状	1	SK680, SK684, SK707, SK728A	19,620	E1古, E2, E3, E4	打斧1, 磨斧1, 石鏃1, 磨石1	1a期	
(78)SK680	13V-37	円形	2.15×-	63	たらい状	1	SK635, SK679, SK728A	4,400	阿II, 阿IV, E1古, E2, E3, 堀1, 堀2	剥片5	不明	
(78)SK681	13V-17	円形	1.46×-	66	たらい状		SK692, SK693	2,950	E1古, E3中, E4, 称		不明	
(78)SK682	13V-23	円形	1.12×1.10	56	たらい状			1,100	E3-4, E4, 堀1	円板1	不明	
(78)SK683	14U-43	円形	1.83×-	45	たらい状	1	SK668	1,520	E1, E2, E3	磨斧1	不明	
(78)SK684	13V-36	円形	2.32×-	49	たらい状		SK679, SK728B, SK1558	11,900	阿I a, E1~E2, E3, E4, 堀2, 加B	石鏃1, ヌツブ形石器1	6期	
(78)SK685	13V-27	円形	1.65×-	39	たらい状	1	SK635	2,150	E1, E2, E3	土鏃1, 石鏃1	不明	
(78)SK686	12U-99	円形	2.21×- (1.94)×-	77	袋状	1	→SK688	2,950	勝		1a期	
(78)SK687A	14V-53	円形	2.24×-	30	たらい状		SK595, SK687B			石鏃1	不明	
(78)SK687B	14V-53	円形	2.05×-	46	たらい状	2	SK595, SK687A, SK715	1,050	勝, E1古		不明	
(78)SK688	12U-99	不整形	1.80×-	42	たらい状		SK686→, SK691, SK696	12,940	E2~E2-3, E3古, E4, 堀1	石鏃1, 石鏃未2	6期	
(78)SK689	13V-38	円形	(2.32)×(1.98)	42	たらい状	4		9,440	阿II, 阿III, E1古, E2, E3, E4, 堀1	石鏃1, 磨斧1	不明	
(78)SK690	13U-28	円形	-	29	たらい状	1	SK675, SK676, SK710B	650	E1, E3		不明	
(78)SK691	12U-99	円形	1.02×0.78	104	たらい状		SK688, SK696	2,470	E2, E3, 堀1	ニチヤノ土器1	6期	
(78)SK692	13V-14	円形	1.62×-	64	たらい状		SK681, SK693, SK694	170E			不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	出土土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK693	13V-14	円形	2.63×-	34	たらい状	6	SK494, SK681, SK692, SK694	2,700勝, E1, E2, 堀1	阿II, E1古, E3古, E3新, 堀1	耳栓1, 磨石1	不明	
(78)SK694	13V-14	円形	1.22×-	54	たらい状	1	SK692, SK693	120E1		石鏝1	6期	
(78)SK695	13V-31	円形	2.84×2.27	37	たらい状	3		4,900勝, E2, 称, 堀1			不明	
(78)SK696	12U-99	円形	0.82×0.81	64	たらい状		SK691	710E1~E2			不明	
(78)SK697	13V-21	円形	2.84×(2.69) 2.42×2.46	65	袋状	1		5,410阿II, E1古, E3古, E3新, 堀1		円板1	不明	
(78)SK698	13W-61	円形	1.20×1.15	51	たらい状	1	SK700, SK717	3,410E3中, E3新, E3-4		円板2	不明	
(78)SK699	13W-60	円形	2.39×2.00	48	たらい状	2	SK717	6,550E2新, 曾利, E3新		磨石2, 磨谷1	不明	
(78)SK700	13W-51	円形	1.60×-	47	たらい状	5	SK698	2,470E2, E2-3~E3古, E3新			不明	
(78)SK701	13W-60	円形	2.94×2.59	88	たらい状	2	SK702	4,430E1, E3		土鏝1, 磨谷1, 石核1	1期	
(78)SK702	13W-50	円形	1.93×-	58	たらい状	1	SK701	1,500E3古, 堀1		打斧1, 原石1	不明	
(78)SK703	13W-59	円形	2.10×1.93	71	たらい状	1		13,900E1古, E2, E3古, 曾利			3b期	
(78)SK704	13V-21	円形	-	36	たらい状	1	SK669, SK705, SK706	500E2~E2-3			不明	
(78)SK705	13V-22	円形	-	30	たらい状		SK704, SK706	4,680阿IV, E3, 堀1			不明	
(78)SK706	13V-22	円形	2.82×2.44	70	たらい状	3	SK704, SK705	11,970E1古, E3-4, 堀1		打斧1, 石皿1	6期	
(78)SK707	13V-36	円形	2.00×-	38	たらい状		SK679	3,400E1, E3古, E3-4, 称, 堀1		磨石1	不明	
(78)SK708	15V-06	円形	1.08×1.08	65	たらい状		SK709B	1,000E3古			不明	
(78)SK709A	15V-05	楕円形	2.66×2.00	35	たらい状	5	SK709B	11,540勝, E3古, E3新, E4, 堀1		土鏝1, 石鏝1, 石鏝末2, 台石1	6期	
(78)SK709B	15V-05	円形	(3.03)×(2.85)	-	皿状		SK708, SK709A				不明	
(78)SK710A	13U-28	円形	2.04×-	42	たらい状		SK710B	6,460勝, E3古~E3中, E3新		磨石1	不明	
(78)SK710B	13U-28	円形	1.91×1.85	60	たらい状	1	SK690, SK710A	16,410阿III, 阿IV, 勝, 中峠, E1, E3古2, 曾利			3c期	
(78)SK711	13U-59	円形	2.81×2.57	55	たらい状	3		3,550E1, E2, E3中~E3新		磨谷1, 原石1	3a期	
(78)SK712	13U-67	円形	2.31×2.02	61	たらい状	1		3,350E2古, E3, 称, 堀1, 堀2		磨谷1, 石皿1	不明	
(78)SK713	13V-10	円形	1.97×1.40	53	たらい状		→SK678	4,500E1, E2, E3古, E3新~E3-4, 堀1, 加B		土鏝1, 敲石1	2a期	
(78)SK714	13U-55	円形	2.70×2.21	36	たらい状			0		磨谷1	不明	
(78)SK715	14V-44	円形	1.46×-	37	たらい状	1	SK595, SK687B	9,900堀1			不明	
(78)SK716	13U-47	円形	0.92×1.18	51	たらい状		SK732→				6期	
(78)SK717	13W-51	円形	2.10×-	40	たらい状	3	SK698, SK699	780E3古, 曾利		石鏝1	3a期	
(78)SK718	13U-56	楕円形	2.85×1.98	35	たらい状	4		3,400E1, E3古		円板1, 石鏝1, 磨石1	不明	
(78)SK719	13U-17	円形	2.23×2.16	47	たらい状	4	SK674	3,170E2-3, E3古			不明	
(78)SK720	14V-93	不整形	2.58×2.42	51	たらい状	1	S1109	3,810E2~E2-3			不明	
(78)SK721	14V-94	円形	1.76×-	42	たらい状		S1109, SK722	2,620E1, E3古, E4			不明	
(78)SK722	14V-94	円形	2.60×-	44	たらい状	2	SK721, SK786, SK787	5,450E1古, E2, E3, 称, 堀1		磨谷2, 石鏝1	不明	
(78)SK723	13U-66	円形	2.46×-	58	たらい状	1	SK750	5,700阿IV, E1古		土鏝1, 砥石2, 磨谷3	1a期	
(78)SK724	14V-34	円形	1.75×-	31	たらい状	4		1,380E1古, E3古		楔形1	不明	
(78)SK726	14V-34	楕円形	2.00×1.94	23	たらい状	1		500勝, E3		円板1	不明	
(78)SK727	15V-15	円形	1.55×1.41	49	たらい状	1		550阿III, E3古			不明	
(78)SK728A	13V-37	円形	(2.00)×-	71	たらい状	1	SK679, SK680, SK728B, SK731	100			不明	
(78)SK728B	13V-37	円形	1.10×-	-	たらい状	1	SK684, SK728A				不明	
(78)SK729	13U-17	円形	1.30×1.25	36	たらい状			2,480E2, 堀1			不明	
(78)SK730	13U-29	円形	1.79×1.62	48	たらい状	1		2,750E1古, E3古		磨石1	不明	
(78)SK731	13U-37	円形	3.01×-	52	たらい状	3	SK635, SK728A, SK767, SK1558	5,900阿IV, E3古, E3新		磨石2	不明	
(78)SK732	13U-57	楕円形	2.92×-	44	たらい状	3	→SK716	2,130E2, E3, E3-4, 称			不明	
(78)SK733	14V-43	円形	1.99×-	30	たらい状	2	SK595, SK596	50			不明	
(78)SK735	13V-79	円形	2.26×-	41	たらい状	3		2,020E1~E2, E3古2, 曾利			不明	
(78)SK736	13V-79	円形	2.10×1.93	54	たらい状		SK757, SK772	550阿I, E1古, E3古			不明	
(78)SK737	13V-69	円形	1.82×(1.70)	42	たらい状	2	SK772	900E1古, E3			不明	
(78)SK738	13V-46	円形	(2.80)×(2.23)	48	たらい状	2	SK1554	11,250E1古, E3古, E4, 称, 堀1			不明	



遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK739	13V-35	円形	2.02×(1.71)	81	たらい状	1		5,890	E2-3, 堀1	土鍬2	不明	
(78)SK740	13V-47	円形	1.05×1.00	103	たらい状			3,100	E1古, E2, E3, 堀1		不明	
(78)SK741	14V-33	円形	1.33×-	30	たらい状		SK596	0			不明	
(78)SK742	13U-55	円形	3.01×2.75	58	たらい状	2		3,800	阿IV, E1古		1 a期	
(78)SK743	13V-67	円形	3.90×3.27	51	たらい状	4		10,250	阿IV, 勝, E1古, E3古, E3中, E4, 堀1	円板5, 石鏃2, 打斧1, 磨斧1	4期	
(78)SK744	13V-25	円形	1.38×-	69	たらい状		SK634	3,450	E3古, 称, 堀1		不明	
(78)SK745	13V-67	円形	(1.50)×(1.44)	43	たらい状			5,510	E1, E3古, E3新	土鍬1	3 a期	
(78)SK746	13U-29	円形	(2.27)×2.33	45	たらい状	3	SK747	2,520	E2新, E3中		3 b期	
(78)SK747	13U-39	円形	2.28×2.14	40	たらい状	1	SK746, SK748	2,860	阿III, 勝, E1古, E3		不明	
(78)SK748	13U-38	円形	2.27×-	38	たらい状	4	SK747, SK773	6,650	E1古, E2~E3古, E3中, 堀1	原石1	不明	
(78)SK749	13U-48	円形	2.60×2.50	103	たらい状	2	SK765, SK800	10,610	E1古, E2古, E3古, 堀1	磨斧1, 敲石1	不明	
(78)SK750	13U-66	円形	1.35×1.30	52	たらい状		SK723	1,300	阿IV, E3	石核1	不明	
(78)SK751	14V-35	円形	1.97×-	37	たらい状		SK594, SK848	450			不明	
(78)SK752	14V-08	円形	(1.04)×-	39	たらい状		SK768B, SK808	130			不明	
(78)SK753	13V-32	円形	1.40×1.22	68	たらい状			800	E3, E3-4		不明	
(78)SK754	13U-08	円形	1.34×1.20	54	たらい状			2,200	勝, E3古, E3中, 曾利	石鏃未1	不明	
(78)SK755	13U-08	円形	1.12×-	36	たらい状		SK755	1,250	E3古		不明	
(78)SK756	13V-79	円形	1.38×-	45	たらい状		SK754	510	E3		不明	
(78)SK757	13V-79	円形	1.70×-	46	たらい状		SK736, SK756	930			不明	
(78)SK758	13V-68	円形	2.72×2.55	70	袋状		SK759, SK771	16,370	阿III, 阿IV, 勝, E3新, E4	土鍬2, 円板1, 打斧1, 磨斧1	1 a期	
(78)SK759	13V-68	円形	1.45×-	79	袋状		SK758	6,870	阿IV, 勝, E3新, E4	石鏃1	1 a期	
(78)SK760	15V-32	円形	1.78×1.08	61	たらい状	1		3,220	E3古, E3中	石鏃1, 磨斧2	3 a~3 b期	
(78)SK761	15V-32	円形	2.01×1.63	40	たらい状	3	SK762	1,230	E1, E2, E2-3, E3古	磨石1	不明	
(78)SK762	15V-32	楕円形	1.28×1.05	55	たらい状	3	SK761, SK763	1,495	阿IV, E2, E3, E4		不明	
(78)SK763	15V-31	楕円形	1.95×-	44	たらい状		SK762, SK764	140	E3		不明	
(78)SK764	15V-31	楕円形	1.20×-	34	たらい状		SK763, SK1526	165	E3		不明	
(78)SK765	13U-48	円形	1.88×-	75	たらい状	1	SK749, SK800	6,450	阿III, 勝, E1新, E2		不明	
(78)SK766	13V-13	円形	1.19×-	30	たらい状		SK568	0			不明	
(78)SK767	13V-38	円形	2.25×-	35	たらい状	2	SK731	7,440	E3新, 堀1	土鍬1, 石鏃1, 石鏃未1	3 c期	
(78)SK768A	14V-08	円形	-	60	たらい状	1	SK768B, SK769	2,320	E2-3~E3古	石鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK768B	14V-08	円形	-	-	たらい状	1	SK752, SK768A	480	E2~E2-3		不明	
(78)SK769	13V-99	円形	1.53×-	44	たらい状	2	SK768A	1,000	E2~E3	剥片1	不明	
(78)SK771	13V-68	円形	1.12×-	46	たらい状		SK758	300	阿IV, E1		不明	
(78)SK772	13V-69	円形	1.67×-	46	たらい状		SK736, SK737	740	E2~E2-3		不明	
(78)SK773	13U-28	円形	2.38×-	34	たらい状	3	SK748	8,100	E1, E2, E3中~E3新	磨石1	不明	
(78)SK774	13V-38	円形	2.20×1.86	51	たらい状	4	SK775	4,210	E1, E2古2		不明	
(78)SK775	13V-39	円形	2.42×1.72	44	たらい状	3	SK774				3 a期	
(78)SK776A	12U-98	円形	1.72×-	-	たらい状		SK776B	3,680	阿 I b, 阿 II, E3, E4	磨石1	不明	
(78)SK776B	12U-98	円形	1.92×1.98 (1.64)×(1.74)	82	袋状		SK776A				不明	
(78)SK777	13V-99	円形	2.38×2.00	32	たらい状	4	SK778	2,450	E2		2期	
(78)SK778	13V-89	円形	3.05×-	82	袋状	3	SK777, SK814B	3,340	E1古, E3	石鏃未1, 磨斧1	1 a期	
(78)SK779	14U-59	円形	1.93×1.70	33	たらい状	1		900	阿 II, E1古, 堀1		不明	
(78)SK780	14V-50	円形	2.41×2.00	30	たらい状	2		1,980	E1古, E2, E3, 称	土鍬1, 円板1, 石鏃未1, 磨石	不明	
(78)SK782	14V-95	円形	1.27×0.98	100	たらい状			2,710	E1, E3, 堀1		不明	
(78)SK783	14V-85	円形	1.83×1.77	38	たらい状	3	SK784	1,100	E1, E3, E3新~E3-4		不明	
(78)SK784	14V-85	円形	1.56×1.54	24	たらい状	2	SK783	4,740	E2, E3古, 堀1	浮子1	不明	
(78)SK785	14V-95	円形	1.82×1.63	43	たらい状	1	SK787	1,070	E1, E3, 堀1		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK786	15V-04	円形	1.79×1.70	49	たらい状		S1109, SK722	2,100	E1, E3古	磨石1	不明	
(78)SK787	14V-95	円形	2.07×-	35	たらい状	1	SK722, SK785	160			不明	
(78)SK788	15V-11	円形	0.83×0.66	36	たらい状			1,680	E3古2		不明	
(78)SK789	15V-11	円形	1.18×1.02	56	たらい状			1,810	E1古, E3新	円板1	不明	
(78)SK790	13V-98	円形	2.39×2.28	66	たらい状	1	SK827	3,700	勝, 阿IV, E1古, E3古	浮子1, 石鏃2, 石鏃未5	不明	
(78)SK791	13V-98	楕円形	1.85×1.23	27	たらい状	2	SK842	1,310	E1古, E1新, E3古, 称		不明	
(78)SK792	14V-08	円形	2.11×-	50	たらい状	2	SK818, SK845	2,110	E1古, E3古, 堀1	打斧1, 剥片3	不明	
(78)SK793	15V-00	円形	2.35×-	33	たらい状	1	SK794, SK1237	7,880	勝, E2~E3, E3-4, E4, 加B	磨石1, 石鏃未1	不明	
(78)SK794	15V-01	円形	1.82×-	36	たらい状	2	SK793, SK1236	550	E3古		不明	
(78)SK795	15V-10	円形	1.52×1.50	62	たらい状	1		360	E1古, E3古		不明	
(78)SK796	13U-86	円形	(2.61)×2.32	49	たらい状	4	SK798	2,810	E1古, E3中~E3新		1 a期	
(78)SK797	13U-86	円形	1.05×-	42	たらい状		SK798	300	E3古~E3中	石核4	不明	
(78)SK798	13U-86	円形	0.99×0.89	34	たらい状		SK796, SK797, SK799	950	E1, E3		不明	
(78)SK799	13U-86	円形	1.39×-	40	たらい状		SK798	660	E3		不明	
(78)SK800	13U-48	円形	1.82×(1.84)	106	たらい状	1	SK749, SK765	3,550	E1, E2, E3中~E3新, 称		不明	
(78)SK801	13U-97	円形	2.61×2.54	24	たらい状			900	勝, E1~E2, 称, 堀1		不明	
(78)SK802	14V-37	円形	2.07×-	28	たらい状		SK1020	780	勝, 堀1	石鏃未1, 磨斧1	不明	
(78)SK803	13V-47	円形	2.75×2.60	94	袋状			34,900	阿IV, 勝, E1古, E3, 称, 堀1	土鏃1, 円板2, 浮子1, 石鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK804	15V-43	円形	1.50×-	40	たらい状	1	S1111→	3,600	E2, E3古		3 a期	
(78)SK805	15V-40	円形	2.00×1.74	57	たらい状			2,530	E2-3, E3古, E3新		不明	
(78)SK806	14V-45	円形	1.67×-	28	たらい状	2	SK594, SK824	4,240	E3古, E3新		不明	
(78)SK807	14V-18	円形	-	32	たらい状	1	SK866	950	E1古, E3古~E3中, E3新		不明	
(78)SK808	14V-08	円形	2.51×2.44	45	たらい状	4	SK752, SK809, SK825	4,750	E2, 堀1	磨石1	不明	
(78)SK809	14V-18	円形	1.60×-	39	たらい状	2	SX042, SK808	3,050	E3, E4, 称, 堀1		不明	
(78)SK810	14V-17	円形	3.00×2.82	59	たらい状	8	SK866	12,280	阿IV, 阿IV, E1新, E2, E3古, 普利, E3新, 称, 堀1	土鏃1, 打斧1, 石鏃未1	不明	
(78)SK811	15V-35	円形	1.45×1.32	43	たらい状	1	S1110	10			不明	
(78)SK812	14V-17	円形	2.20×-	28	たらい状	3	SK813, SK880	660	勝, E3		不明	
(78)SK813	14V-07	円形	1.00×-	20	たらい状	3	SK812, SK861	800	E3, 堀1	石鏃1	不明	
(78)SK814A	13V-89	円形	1.22×-	77	たらい状	1	SK814B	3,530	E1, E3	打斧2	不明	
(78)SK814B	13V-89	楕円形	(1.72)×1.22	-	たらい状		SK778, SK814A				不明	
(78)SK815	13V-45	円形	2.26×2.07	65	たらい状	1	SK846→, SK855A→	7,050	E3古~E3中, E4, 堀1		6期	
(78)SK816	15V-44	円形	1.52×-	66	たらい状	1	S1111→, SK817	9,400	E1, E2, E2-3		2 c期	
(78)SK817	15V-54	円形	1.92×-	73	たらい状	2	→SX064, SK816	2,180	E1~E2, E2-3	浮子1	2 c期	
(78)SK818	14V-08	円形	1.11×1.03	37	たらい状		SK792, SK843	820	E1~E2, E3古		不明	
(78)SK819	15V-01	円形	1.71×1.58	39	たらい状	2	SK821	490			不明	
(78)SK820	15V-00	円形	0.84×0.83	42	たらい状			60			不明	
(78)SK821	15V-01	円形	2.44×-	43	たらい状		SK819, SK828	2,410	E1~E2, E2-3, E3-4		不明	
(78)SK822A	15V-10	円形	2.10×-	46	たらい状	2	SK822B				不明	
(78)SK822B	15V-10	円形	1.55×-	-	たらい状	1	S1042, SK822A	2,300	E1古, E3新	浮子1, 砥石1	不明	
(78)SK823	14V-55	円形	1.20×0.98	50	たらい状		SK914, SK1057	270	E3古	楔形1	不明	
(78)SK824	14V-45	円形	1.40×1.08	48	たらい状	2	SK806, SK855, SK914	0			不明	
(78)SK825	14V-08	円形	1.77×-	46	たらい状	1	SK808	500	E2, E3新~E3-4		不明	
(78)SK826	13V-87	円形	2.20×-	67	たらい状	2	SK864, SK871, SK2007	4,000	E1古, E3, 称		不明	
(78)SK827	13V-98	円形	1.80×1.54	44	たらい状	2	SK790, SK843, SK862	2,510	勝, E3古	磨斧3, 蔽石1	不明	
(78)SK828	15V-11	円形	1.20×1.03	75	たらい状		SK821	110	E3古		不明	
(78)SK829	13U-07	楕円形	2.65×2.22	59	たらい状	1		1,400	勝, E1, E2, E3		不明	
(78)SK830A	13V-88	円形	2.46×-	49	たらい状	3	SK830B	2,780	E1, E2, E3, 称		不明	
(78)SK830B	13V-88	円形	1.52×-	-	たらい状		SK830A				不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK831	14U-08	円形	2.51×2.14 (1.92)×(1.51)	48	袋状			2,100	阿IV, E1古		1 a期	
(78)SK832	14V-07	円形	0.80×0.74	85	たらい状			1,130	E3中～E3新, 堀1		不明	
(78)SK833	13V-97	円形	2.13×-	52	たらい状	5	SK834, SK856, SK865, SK953	3,300	勝 E1新, E3, 堀1		不明	
(78)SK834	13V-97	円形	2.08×-	38	たらい状	2	→SK025, SK833, SK865	1,490	<b>E3古</b>		3 a期	
(78)SK835	14V-97	円形	2.39×-	50	たらい状			10,920	勝, E1古, E2	磨斧1, 剥片3	1 a期	
(78)SK836	14V-86	円形	2.15×2.15 (1.40)×(1.50)	98	袋状			4,080	勝, E1古, E3, 堀1		不明	
(78)SK837	14V-96	円形	1.90×-	46	たらい状	1	SK838	3,300	E2-3, E3古	石核1, 剥片3	2 c期	
(78)SK838	14V-98	円形	1.14×(1.01)	52	たらい状		SK837	1,310	阿 I b, 勝, E3古		不明	
(78)SK839	14V-26	円形	1.91×1.80	58	たらい状	5	→SK043, SK859, SK893	5,970	E2-3, 普利, 称	ニチヤ土器1	2 c期	
(78)SK840	14V-37	楕円形	-	38	たらい状	3		3,300	E3古～E3中, 堀1	石鏃未1, 磨斧1	不明	
(78)SK841	13V-38	円形	1.50×1.45	52	たらい状	1		1,260	E1古, E3中		3 b期	
(78)SK842	13V-98	円形	0.73×0.67	63	たらい状		SK791, SK843	1,300	E3古2	剥片3	不明	
(78)SK843	13V-98	円形	-	24	たらい状	1	SK818, SK827, SK842, SK845	550	E2, E3	磨斧1	不明	
(78)SK845	14V-07	円形	2.52×2.25	46	たらい状		SK792, SK843, SK862	3,300	勝, E1古, E3古, E3新, 堀1	磨石1	不明	
(78)SK846	13V-45	円形	1.18×0.90	127	たらい状		→SK815	2,350	E2, E3古	磨石2, 剥片5	不明	
(78)SK847	15V-11	円形	2.35×-	44	たらい状	2	SK885, SK886, SK887, SK1126	2,200	E2, E3, E3中～E3新, 堀2	磨斧1, 石鏃未1	不明	
(78)SK848	14V-46	円形	2.32×2.16	26	たらい状	5	SK751, SK1055	1,880	E1古, E2古, E3古	剥片3	不明	
(78)SK849	14V-36	円形	2.39×2.27	53	たらい状	2	SK850	3,400	E1古, E2古, E3	磨斧2, 原石1	不明	
(78)SK850	14V-35	円形	1.75×-	37	たらい状		SK849, SK1009	3,700	E1古, E3古	剥片4	不明	
(78)SK851	13V-88	楕円形	2.80×1.50	45	たらい状	1	SK878	3,100	E1, E3古, E3-4	石鏃1, 磨斧1	不明	
(78)SK852	13V-76	円形	1.98×1.92	63	たらい状			2,090	E3, 堀1		6期	
(78)SK853A	13V-45	円形	3.80×-	56	たらい状		→SK815, SK853B			磨斧1	不明	
(78)SK853B	13V-45	円形	3.50×-	-	たらい状	3	SK853A	8,680	阿III, E1古, E2, E3, 堀1		不明	
(78)SK854	14V-55	円形	(1.31)×-	56	たらい状	1	SK855, SK1124	500	E3古		不明	
(78)SK855	14V-54	円形	(2.35)×2.30	53	たらい状	4	SK824, SK854, SK914, SK1124	7,390	E1古, E3古, E3中	石鏃1	1 a期	
(78)SK856	13V-96	円形	2.40×2.12	70	たらい状	2	SK833, SK871, SK2007	8,510	E1古, E2～E3古	石鏃1, 剥片7	不明	
(78)SK857	15V-25	円形	2.06×-	14	たらい状	3		270	E2～E3		不明	
(78)SK858	15V-02	円形	2.25×-	46	たらい状	2	SK886, SK887, SK974, SK1423	2,775	E1, E2, E3古, E3中	磨斧1	不明	
(78)SK859	14V-27	円形	2.15×-	40	たらい状		SK839, SK870	1,930	勝, E2, E3, 堀1		不明	
(78)SK860	14V-16	円形	2.11×1.95	54	たらい状	3	SK896	5,170	<b>E3新</b>		不明	
(78)SK861	14V-07	円形	2.90×2.85	67	袋状	1	SK813, SK880, SK895, SK899, SK904	8,090	阿III, E1古, E2-3	石鏃未1, 打斧1	2 c期	
(78)SK862	13V-97	円形	1.63×-	42	たらい状	4	SK827, SK845	2,300	E1古, E2古, 堀1	浮子1, 楔形1, 石鏃1	1 a期	
(78)SK863	13V-86	円形	1.79×1.08	125	たらい状		SK872, SK926	14,950	E3, 称, 堀1	円板2, 磨石1, 鞍形1	6期	
(78)SK864	13V-87	円形	2.46×2.35 (1.70)×	62	袋状	1	SK826	3,250	E3, E4, 称	磨石1	不明	
(78)SK865	13V-97	円形	-	20	たらい状	2	SK833, SK834, SK862	180	E3, E4		不明	
(78)SK866	14V-18	円形	1.25×-	20	たらい状	1	SK807, SK810	2,130	E1古, 称		1 a期	
(78)SK867	14U-18	円形	2.88×2.60 (1.96)×(1.90)	69	袋状			13,430	阿III, 阿IV, E1古		1 a期	
(78)SK868	14V-20	円形	3.09×2.90 (2.22)×(2.24)	77	袋状			2,100	阿III, 勝, E1古		1 a期	
(78)SK869	14U-24	円形	2.14×1.99	48	袋状			8,450	勝, E1古	磨石1	1 a期	
(78)SK870	14V-26	円形	2.00×1.73	30	たらい状	1	SK859	3,130	E1, E2		不明	
(78)SK871	13V-86	円形	-	49	たらい状	2	SK826, SK856, SK2007	1,450	E1, E2, E3古		不明	
(78)SK872	13V-86	円形	2.38×-	66	たらい状	2	SK863, SK926	9,320	E1, E2, E3古, E3新, 称, 堀1	楔形1, 剥片3	6期	
(78)SK873	14U-24	円形	1.34×1.04	50	たらい状	1	SK874	700	E1, E3中～E3新, 堀1		不明	
(78)SK874	14U-15	円形	0.84×0.78	57	たらい状		SK873	1,600	E3古		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK875	14V-30	円形	2.28×2.05	59	たらい状	1		2,620	E1, E2, E3, 称	打斧1	不明	
(78)SK876	14U-49	円形	2.26×2.24	59	たらい状	1	SK881	5,480	阿IV, 勝, E3, 称	耳栓1, 磨石1, 磨斧1	1 a期	
(78)SK877	14U-14	円形	2.47×2.30	36	たらい状	2	SK888	2,900	E1～E2, E3		不明	
(78)SK878	13V-88	円形	1.70×1.54	32	たらい状		SK851	2,270	E3古, E4, 称		不明	
(78)SK879	14V-75	円形	1.90×-	41	たらい状		SK879, SK901, SK902	1,610	阿IV, E1, E2, E3		不明	
(78)SK880	14V-17	円形	-	26	たらい状		SK812, SK861	920	E3古, E3新		不明	
(78)SK881	14U-59	円形	2.70×-	52	たらい状	1	SK876	8,210	勝, 阿IV, E1古, E3	石鏃未3, 脛石1	1 a期	
(78)SK882	15V-46	円形	0.84×0.82	65	たらい状			420	E3		不明	
(78)SK883	15V-45	円形	1.99×-	60	たらい状	1	SK917	2,780	勝, E1, E2, E3		不明	
(78)SK884	14U-29	円形	2.25×2.10 (2.64)×(2.50)	46	袋状			5,100	阿III, 阿IV, E1古	台石1	1 a期	
(78)SK885	15V-12	円形	1.32×1.13	68	たらい状		SK847, SK1423	200			不明	
(78)SK886	15V-12	円形	0.79×0.72	21	たらい状		SK858, →SK887	1,270	E3古	石椀2	3 a期	
(78)SK887	15V-11	円形	1.70×1.59	81	たらい状		SK847, SK858, SK886→	4,150	E1, E2, E3古, E3新, E4	円板1	3 c期	
(78)SK888	14U-14	円形	0.73×0.68	77	たらい状		SK877	440	E1, E3		不明	
(78)SK889	13V-96	円形	2.12×-	48	たらい状		SK953, SK956, SK968	3,350	E1古, E3, 称	磨石1, 打斧1	不明	
(78)SK890	14U-39	円形	1.97×1.70	50	たらい状		SK942→	3,360	E3新, E4, 称	円板1, 脛石1	不明	
(78)SK891A	14V-76	円形	1.25×1.12	65	たらい状		SK891B, SK900	2,400	E3古, 称	円板1, 礫器1, 磨石1	不明	
(78)SK891B	14V-76	円形	1.12×-	52	たらい状		SK891A, SK900				不明	
(78)SK892	14V-26	円形	2.26×-	38	たらい状	2	SK893, SK931A, SK931B	8,250	E1, E2古, E3	磨石1	不明	
(78)SK893	14V-26	円形	1.98×-	32	たらい状	1	SK839, SK892, SK894	260	E2		不明	
(78)SK894	14V-16	円形	1.92×-	16	たらい状	2	SK893	2,800	E1, E2, E3, 堀1	磨斧2	不明	
(78)SK895	14V-06	円形	1.57×1.49	58	たらい状	2	SK861, SK898	1,200	阿IV, E1, E3		不明	
(78)SK896	14V-16	円形	-	32	たらい状		SK860, SK896, SK897	610	勝, E2	磨斧1	不明	
(78)SK897	14V-16	円形	-	33	たらい状		SK896, SK898	100			不明	
(78)SK898	14V-06	円形	(2.70)×-	46	たらい状	2	SK895, SK896, SK897, SK905, SK906	4,180	E1古, E3古, 曹利, E3中～E3新, 称	土鏃1	不明	
(78)SK899	14V-06	円形	2.05×-	51	たらい状	2	SK861, SK904, SK953, SK956	3,880	阿I b, E1, E3, 堀1	磨斧2	不明	
(78)SK900	14V-76	円形	-	38	たらい状	1	SK891A, SK891B, SK903	3,360	E1, E2, E3古, 曹利, E4, 堀1, 堀2	磨石1, 石核1	不明	
(78)SK901	14V-75	円形	1.25×-	53	たらい状	2	SK879, SK903	1,300	勝, E1～2, E3古, E3中, 曹利, E4, 堀1, 堀2	磨斧1	不明	
(78)SK902	14V-76	円形	0.92×0.77	62	たらい状		SK879, SK903	330	E3, 曹利	土鏃1, 石核1	不明	
(78)SK903	14V-76	円形	1.28×-	24	たらい状		SK900, SK901, SK902	0			不明	
(78)SK904	14V-06	円形	-	57	たらい状	1	SK861, SK899, SK906	400	E3		不明	
(78)SK905	14V-06	円形	0.78×-	73	たらい状		SK898, SK906	1,230	E3, 堀1		不明	
(78)SK906	14V-06	円形	1.91×-	49	たらい状	4	SK904	400	E2～E3, 称		不明	
(78)SK907	14V-46	円形	1.12×1.07	44	たらい状		SK908→	1,600	E3古, E3中～新	石鏃未1	不明	
(78)SK908	14V-46	円形	0.66×0.62	47	たらい状		→SK907	800	勝, E2新		不明	
(78)SK909	14U-35	円形	1.00×1.08	44	たらい状			4,050	E3, E4, 称, 堀1	土製蓋1, 円板1, 剥片3	2 b期	
(78)SK910	15V-46	円形	1.58×-	22	たらい状		SK911, →SK917	3,700	E2-3		不明	
(78)SK911	15V-46	円形	0.72×0.65	66	たらい状		SK910	280	E2-3, E4		不明	
(78)SK912	15V-43	円形	2.34×2.05	54	たらい状	3		7,070	E2, E3古	石鏃3, 剥片3	3 a期	
(78)SK913	14V-10	円形	2.67×2.49	36	たらい状	3		1,900	阿III, IV, 勝, E1古, E4		1 a期	
(78)SK914	14V-55	円形	(2.50)×-	23	たらい状	1	SK823, SK824, SK855	3,400	E2, E3古	砥石1, 打斧1, 石鏃1	不明	
(78)SK915	14U-46	楕円形	(1.06)×(0.73)	61	たらい状			5,760	E1, 称, 堀1	剥片3	6期	
(78)SK917	15V-46	円形	1.71×-	47	たらい状		SK883, SK910→	1,080	E3		不明	
(78)SK918	14U-38	円形	2.86×2.71	66	たらい状		SK923	7,380	阿IV, E1古, E3, 称	ニチア土器2, 土鏃1, 磨斧1, 剥片4	1 a期	
(78)SK919	14V-47	円形	-	32	たらい状	1	SK920	3,980	E3古, E3新, 堀1	円板1, 打斧1, 石鏃未1	不明	
(78)SK920	14V-47	円形	-	40	たらい状	2	SK919	350	E3古		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK921	14U-68	円形	2.00×-	31	たらい状	1	→SK969, SK1141	5,980	阿IV, E1古, E3古, 曾利		I a期	
(78)SK922	14U-77	円形	1.95×1.94	36	たらい状	4		3,500	E1古, E3古, 称, 堀1	打斧1	不明	
(78)SK923	14U-33	円形	2.80×-	36	たらい状	3	SK918, SK930	5,630	阿IV, 曾利, E3, 堀1		不明	
(78)SK924	13V-85	円形	3.04×2.95	88	たらい状	2	SK925, SK926	5,300	勝, E1古, E2, E3		不明	
(78)SK925	13V-96	円形	-	58	たらい状		SK924	9,000	E1, E2, E3, 曾利, E3新, 称, 堀1		不明	
(78)SK926	13V-86	円形	2.65×2.34	54	たらい状	1	SK863, SK872, SK924	5,410	勝, E1古, E1新, E4, 称, 堀1	石皿1	不明	
(78)SK927	14U-54	円形	1.5×1.5	72	たらい状			5,210	E2, E3, 称, 堀1	円板1, 石皿1, 磨石1	不明	
(78)SK928	14U-33	円形	2.80×2.46 (2.14)×(1.75)	94	袋状	1	SK936	5,350	阿IV, E1古, E1, E2, E3古~E3中	楔形1, 原石1	不明	
(78)SK929A	14U-	円形	2.47×(2.15)	56	たらい状	3	SK929B				不明	
(78)SK929B	14U-	円形	1.74×(1.66)	36	たらい状		SK929A, SK957	2,500	E2, E3古	打斧2, 石皿1	不明	
(78)SK930	14U-38	円形	(2.40)×-	42	たらい状	1	SK923	5,020	E1古, E3, 曾利, 称, 堀1	磨斧2	不明	
(78)SK931A	14V-25	円形	1.14×-	32	たらい状		SK892, SK931B, SK932	910	E2~E3古		不明	
(78)SK931B	14V-25	円形	-	-	たらい状	1	SK892, SK931A, SK932				不明	
(78)SK932	14V-25	円形	2.51×2.37	58	たらい状	3	SK931A, SK931B, SK932	7,680	阿 I, E1古, E3	石鏝1, 剥片6	不明	
(78)SK933	14V-05	円形	(1.22)×-	52	たらい状		SK994, SK995	8,980	E3, E4, 称, 堀1	土製蓋1, 打斧1, 砥石1, 剥片6	6期	
(78)SK934	14V-05	楕円形	1.16×-	42	たらい状	1	SK995	2,300	E2, E3古, 堀1		不明	
(78)SK935	14V-66	円形	2.23×1.78 (2.34)×(2.32)	108	袋状	2		8,110	勝, E1古, E3古~E3中	土鏝1, 円板1, 石核1	不明	
(78)SK936	14U-34	円形	1.28×-	70	たらい状		SK928	300	E3	円板1	不明	
(78)SK937	14U-68	円形	1.99×1.91	36	たらい状	6	SK938	5,100	E3, 称, 堀1	磨石1	不明	
(78)SK938	14U-67	円形	2.23×-	17	たらい状	5	SK937, SK977	500	E1古, E3古		不明	
(78)SK939	14U-66	円形	1.99×-	32	たらい状	1	SK959, SK989	4,200	E2, E3		不明	
(78)SK940	14U-74	円形	2.06×-	37	たらい状	1	SK1093B	6,900	E2, E3古		不明	
(78)SK941	14U-84	円形	2.63×-	77	たらい状	4	SK1093A, SK1093B, SK1094, SK1140	9,070	E1, E2, E3, 堀1	土鏝1, 石鏝未1, 磨斧1	不明	
(78)SK942	14U-39	円形	1.92×1.90 (2.80)×(2.75)	94	袋状		→SK990	16,010	勝, 阿IV, E1古, 称, 堀1	椀形1	1 a期	
(78)SK943	14U-64	円形	1.60×(1.34)	40	たらい状			420	E2		不明	
(78)SK944	14U-54	円形	2.44×2.42	37	たらい状	2		3,650	E1, E2, E3	打斧1, 磨石1	不明	
(78)SK945	14V-56	円形	1.97×1.82	43	たらい状	2	SK1021	1,550	E2~E2-3		2b~2c期	
(78)SK946	14U-37	円形	2.61×2.26	47	たらい状	1		23,970	勝, E1古, E3, 称	石鏝未2, 石核1	1 a期	
(78)SK947	14U-35	円形	2.70×2.16	43	たらい状			2,100	E1, 堀1		不明	
(78)SK948	14U-45	円形	1.18×1.02	57	たらい状			2,240	E1, E3, 称	土鏝1	不明	
(78)SK949	14U-55	円形	2.23×2.11	52	たらい状	2		2,650	E2, E3	磨石1, 原石1	不明	
(78)SK950	14U-72	円形	2.33×-	42	たらい状		SK955, SK973	6,210	E1古, E2, E2-3, E3古, 曾利, 堀1		不明	
(78)SK951	14U-62	円形	-	76	たらい状		SK955	4,150	E2新~E3古, E3中~E3新	円板1, 砥石2, 剥片5	不明	
(78)SK952	14U-43	円形	2.62×2.14	63	たらい状	2		7,150	E1, E2, E3, 加B	磨斧1, 磨石1	不明	
(78)SK953	13V-96	円形	-	38	たらい状	1	SK833, SK889, SK899, SK956	2,150	E2, E3古		不明	
(78)SK954	14U-55	円形	1.61×-	16	たらい状	1		1,600	E1古, E3古, E4	円板1, 石鏝1	不明	
(78)SK955	14U-62	円形	1.38×-	34	たらい状		SK950, SK951, SK973	1,080	E3, E3新	石核1	不明	
(78)SK956	13V-96	円形	1.58×1.54	56	たらい状	1	SK889, SK899, SK953	1,980	E1古, E2, E3新	土鏝1	不明	
(78)SK957	14U-53	円形	2.10×-	50	たらい状	1	SK929	1,900	E3, 堀1	土鏝2, 局部磨斧1, 磨斧1, 打斧1	不明	
(78)SK958	14U-64	円形	1.15×1.10	100	たらい状			1,650	E3, 曾利		不明	
(78)SK959	14U-66	円形	-	26	たらい状		SK939, SK989	1,620	E1, E2, E3		不明	
(78)SK960	14U-83	円形	2.22×2.17	28	たらい状	2		5,200	E2, E3中, E3新	円板1, 砥石1	3b期	
(78)SK961	14V-56	円形	2.13×-	42	たらい状		SK962, SK1036, SK1037	3,650	E2, E3古~E3中, 曾利	円板1, 石皿1, 磨石1	不明	
(78)SK962	14V-56	円形	1.50×-	36	たらい状	2	SK961	12,950	E1, E2-3, 曾利, E3中~E3新, 称	円板1, 剥片6	不明	
(78)SK963	14V-75	円形	1.59×1.50	36	たらい状	2	SK879, SK971	400	E3, 堀1		不明	
(78)SK964	14U-95	円形	1.68×-	31	たらい状		SK965	600	E1古		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模(m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK965	14U-95	円形	1.86×-	34	たらい状	1	SK964, SK966, SK996	3,200	E1古, E2, E3中	土錘1	不明	
(78)SK966	14U-95	円形	0.98×0.98	45	たらい状		SK965	20	E		不明	
(78)SK967	14U-72	円形	2.02×-	33	たらい状	2	SK2010	1,920	勝, E3, 堀1	土錘2, 敲石1	不明	
(78)SK968	13V-96	円形	0.97×-	30	たらい状		SK889	1,850	E3古, 曾利, 称	円板1	不明	
(78)SK969	14U-58	円形	1.28×1.18	55	たらい状	1	SK921→	1,550	堀1		6期	
(78)SK971	14V-85	円形	1.90×-	30	たらい状	3	SK963, SK972	1,595	E1, E3	円板1, 磨斧1, 原石1	不明	
(78)SK972	14V-85	円形	2.22×(1.95)	38	たらい状	1	→SX046, SK971	4,800	E1～E2		不明	
(78)SK973	14U-62	円形	2.40×-	37	たらい状	2	SK950, SK955	1,340	E3古, E3中～E3新, E4	円板1	不明	
(78)SK974	15V-02	円形	1.90×-	40	たらい状	2	SK858, SK975	3,450	E2, E3古, 曾利, E3新	磨石1	3c期	
(78)SK975	15V-01	円形	3.27×-	37	たらい状	3	SK974, SK992	3,050	E3古, E3中, E4	楔形1	不明	
(78)SK976	14U-26	円形	0.85×-	40	たらい状		SK990	1,190	E3, E3新, 堀1		不明	
(78)SK977	14U-67	円形	0.83×0.81	102	たらい状		SK938	570			不明	
(78)SK978	15V-07	円形	1.85×1.83	46	たらい状	2		560	E2, E3, 曾利		不明	
(78)SK979	15V-06	円形	1.55×-	47	たらい状	1	SK980	4,050	E3古, E3中～E3新, 堀1	石皿1, 石核1	不明	
(78)SK980	14V-96	円形	2.10×-	48	たらい状	1	SK979	6,330	E2～E2-3, E3古, 堀1, 加B	石鏃未1, 磨斧1	不明	
(78)SK981	15V-07	円形	1.87×1.80	45	たらい状	1		2,280	E1, E2, E3		不明	
(78)SK982	14V-15	円形	1.72×1.70	84	たらい状		SK932	2,390	阿IV, 勝, E1		不明	
(78)SK983	14V-15	円形	(2.50)×(2.22) 2.15×1.94	69	袋状	2	SK993	5,100	E1, E3	磨石2, 石核1	不明	
(78)SK984	14U-67	円形	2.62×-	42	たらい状	4	SK985	4,860	勝, E2, E3古	円板2, 石鏃未1	不明	
(78)SK985	14U-67	円形	2.18×2.03	50	たらい状	3	SK984, SK1010	2,450	勝, E2, E3		不明	
(78)SK986	14U-55	円形	1.16×0.97	78	たらい状			2,680	E3新～E3-4, E4, 称	石皿1	4期	
(78)SK987	14U-45	円形	1.84×1.76 (1.20)×(1.20)	57	袋状	2	SK1122	1,650	E2, E3, E4	剥片18	不明	
(78)SK988A	14U-81	円形	2.20×2.10	78	たらい状		SK988B	18,180	勝, E3古, E3中, 曾利, E4, 称, 堀1	土錘1, 石鏃3, 打斧2	不明	
(78)SK988B	14U-81	円形	2.35×-	-	たらい状		SK988A				不明	
(78)SK989	14U-66	楕円形	2.62×2.06	38	たらい状	2	SK939, SK959	3,180	E2, E3古	打斧1	不明	
(78)SK990	14U-36	円形	(2.67)×(2.47)	44	たらい状	5	SK976	12,090	E1, E2, E3古, 堀1	石鏃1, 楔形1, 磨石2	不明	
(78)SK991	14V-55	円形	2.27×2.08	50	たらい状	4	SK1021	5,220	E1, E3, 曾利, 称	円板1, 斬石12, 剥片4	不明	
(78)SK992	14V-92	円形	2.31×2.30	46	たらい状	3	SK975, SK1130, SK1492	8,100	E2, E3中, E3新, 称	石鏃1, 石鏃未1	不明	
(78)SK993	14V-15	円形	1.73×-	46	たらい状	1	SK983, SK994	2,650	E1, E2, 堀1		不明	
(78)SK994	14V-05	円形	2.88×2.40	63	たらい状	7	SK905, SK933, SK993, SK1041	7,730	E1, E2, E3古, E3新, 堀1	土錘1, 円板1, 石鏃1, 磨石1	6期	
(78)SK995	14V-05	円形	1.95×-	46	たらい状		SK933, SK934	0			不明	
(78)SK996	14U-85	円形	-	37	たらい状	4	SK965, SK1140	5,080	阿IV, E1, E2, E2-3～E3古	土錘1, 打斧1	不明	
(78)SK997	14U-93	円形	1.81×1.65	41	たらい状	3		2,130	E2, E3古		不明	
(78)SK998	14U-93	円形	1.85×-	34	たらい状	4	SK1173, SK1275→	2,500	E3古	磨石1, 石核1	3a期	
(78)SK999	14U-94	円形	0.89×-	58	たらい状		SK1022	0			不明	
(78)SK1000	14V-91	円形	2.11×1.80	52	たらい状	2	SK1001, SK1066	3,250	E1, E2, E3古, E3中～E3新, E4		不明	
(78)SK1001	14V-91	円形	0.90×-	114	たらい状		SK1000	450	E1～E2, E4, 称		不明	
(78)SK1002	14U-66	円形	1.28×-	98	たらい状		SK1008	2,400	E4, 称	土錘2, 円板1, 磨石1	5期	
(78)SK1003A	14U-69	円形	2.06×-	53	たらい状	1	SK1003B, SK1004, SK1141	37,890	称, 堀1	石鏃未1, 砥石1, 二次剥片1	6期	
(78)SK1003B	14U-69	楕円形	2.55×-	50	たらい状		SK1003A, SK1141				不明	
(78)SK1004	14U-68	円形	1.40×1.30	68	たらい状	1	SK1003A, SK1061	4,720	E3古, 称, 堀1	円板1, 石核2, 原石3, 石皿1	不明	
(78)SK1005	14U-68	円形	1.42×1.31	34	たらい状	3	SK1061	1,630	E1～E2, E3新～E3-4		不明	
(78)SK1006	14U-96	円形	1.60×1.59	56	たらい状	1		1,660	E1古, E3, 称	土錘1	5期	
(78)SK1007	14U-98	円形	2.48×2.16	62	たらい状	2	SK1063, SK1095	3,960	E1, E2, E3古, 堀1	磨斧1	不明	
(78)SK1008	14U-66	円形	0.63×-	82	皿状		SK1002	140	勝		不明	
(78)SK1009	14V-35	円形	2.85×2.85	58	たらい状	2	SK850	3,110	阿II, E1新, E3	楔形1	不明	
(78)SK1010	14U-67	円形	2.14×-	29	たらい状	1	SX038→, SK985	1,780	E3中, E3新, 堀1	円板1, 石鏃未1	不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1011	14U-75	円形	0.85×0.84	75	たらい状		SK1019	410	E1, E2		不明	
(78)SK1012	14U-57	円形	1.48×1.47	56	たらい状			1,990	E2, 堀1		不明	
(78)SK1013	14U-44	円形	3.06×2.31	52	たらい状			10,650	E2, E3古, 曾利, E4, 堀1	打斧2, 石鏃未1	不明	
(78)SK1014	14U-73	円形	2.53×-	30	たらい状	4	SK1074, SK1105, SK1155	4,800	E1古, E3古, 曾利, E3中	打斧1, 磨斧1	不明	
(78)SK1015	14U-92	円形	2.30×-	34	たらい状	1	SK1026	1,020	E1, E2, E3古		不明	
(78)SK1016	14U-01	円形	1.10×1.05	56	たらい状			1,990	E2, E3古, 曾利	砥石1, 剥片3	不明	
(78)SK1017	14U-73	円形	2.04×-	30	たらい状	2	SK1018, SK2010	890	E1, E3古	打斧1, 磨斧1	不明	
(78)SK1018	14U-74	円形	1.78×1.70	41	たらい状	2	SK1017, SK1093A	1,140	E2, E3古		不明	
(78)SK1019A	14U-75	円形	2.41×2.36	30	たらい状	2	SK1011, SK1019B, SK1040	9,310	E1古, E2, E3古, E3中, E3新	剥片7	不明	
(78)SK1019B	14U-75	楕円形	1.86×1.29	-	たらい状	3	SK1019A				不明	
(78)SK1020	14V-37	円形	1.90×1.85	41	たらい状	2	SK802	20			不明	
(78)SK1021	14U-66	円形	1.47×-	48	たらい状		SK945, SK991	10			不明	
(78)SK1022	14U-94	円形	0.93×0.87	68	たらい状		SK999, SK1023	520	E2-3~E3古		不明	
(78)SK1023	14U-94	円形	1.25×-	62	たらい状	1	SK1022, SK1024	4,160	E1, E3古, E4, 称	石皿1	不明	
(78)SK1024	14U-95	円形	2.31×2.00	48	たらい状	1	SK1023	2,500	中峠, E1, E2, E3	石鏃未5	不明	
(78)SK1025	15U-02	円形	2.43×2.42	53	たらい状	3	SK1072	3,210	E1新, E2, E3, 曾利	蔽石1	不明	
(78)SK1026	14U-93	円形	1.92×-	36	たらい状	3	SK1015	970	E1, E2, E3古		不明	
(78)SK1027	15U-12	円形	2.33×2.19	71	たらい状			890	E1~2		不明	
(78)SK1028	15U-03	円形	2.12×2.08	33	たらい状	1	SK1072	960	E1, E2, E3, 曾利		不明	
(78)SK1029	15U-13	円形	1.73×1.38	28	たらい状	1		520	E1, 称		不明	
(78)SK1030	14V-56	円形	1.75×1.72	24	たらい状		→SK076	180	E2-3	石鏃1	不明	
(78)SK1031	14V-83	円形	2.13×-	51	たらい状	1	SX044→, SK1109→, SK1111	25,750	勝, E3, E4, 称, 堀1	土製蓋1, 円板2, 打斧2, 磨斧2	5期	
(78)SK1033	14V-74	円形	2.75×-	40	たらい状	1	SK1083	9,070	E1, E3古, 曾利, 称	石鏃2, 石鏃未4	3a期	
(78)SK1034	14V-84	円形	2.23×-	57	たらい状	2	SK1044	11,360	E1, E2, E3古, 堀1, 加甲	磨斧1, 石鏃未1	3a期	
(78)SK1035	14V-75	円形	2.32×2.10	39	たらい状	3		4,630	E3, 称, 堀1		不明	
(78)SK1036	14V-56	円形	1.57×1.56	78	たらい状	1	SK961, SK1037	1,800	E3古	石鏃未1, 楔形1	不明	
(78)SK1037	14V-46	円形	1.40×-	34	たらい状		SK961, SK1036	0			不明	
(78)SK1038	14U-71	円形	2.13×1.62	15	たらい状	2	SK1054	1,260	E1~E2, E3	土偶? 1	不明	
(78)SK1039	14U-91	楕円形	2.55×1.85	56	たらい状			7,600	E2, E3古, E3新, E4	石椀1, 剥片3	不明	
(78)SK1040	14U-75	円形	0.87×0.87	50	たらい状		SK1019A	1,680	E3古, 堀1		6期	
(78)SK1041	14V-15	円形	-	38	たらい状	1	SK994, SK1042, SK1043	4,430	E2, E3古, 堀1		不明	
(78)SK1042	14V-04	円形	-	38	たらい状		SK1041, SK1043	360	堀1		不明	
(78)SK1043	14V-15	円形	2.12×-	56	たらい状	3	SK1041, SK1042	3,480	E1, E2, E3, 曾利, E3中		不明	
(78)SK1044	14V-84	円形	2.14×-	52	たらい状		SK1034	1,400	E1, E3古, E3中~E3新		不明	
(78)SK1045	14U-97	円形	(2.58)×1.58	58	たらい状		SK1046→, SK1068	9,720	E1古, E3古, E3中~E3新	二次剥片1, 剥片5	3a期	
(78)SK1046	14U-97	円形	1.10×(0.95)	32	たらい状		→SK1045, →SK1068	1,700	阿IV, E3		1a期	
(78)SK1047	14U-88	円形	1.95×1.97	35	たらい状	5		3,320	E3古		不明	
(78)SK1048	15U-04	円形	1.60×1.59	41	たらい状	2		1,700	阿IV, E2-3, E3, 曾利	楔形1	不明	
(78)SK1049	15U-03	円形	2.19×2.09	32	たらい状	3		660	E2, E3古	磨石1	不明	
(78)SK1050	15U-03	円形	2.64×2.31	36	たらい状	3		2,900	E2, E3古, E3新~E3-4, E4	円板1, 楔形1	不明	
(78)SK1051	15U-05	円形	1.96×1.85	26	たらい状	1	SK1064	580	E3古, E3新~E3-4		不明	
(78)SK1052	14V-36	円形	1.95×(1.92)	42	たらい状		SK1053, SK1055	2,350	E2, E3古, E3新~E3-4, 称, 堀1	土鏃1, 剥片3	不明	
(78)SK1053	14V-36	円形	1.73×-	42	たらい状	2	SK1052	1,450	E1, E2, E3, 堀1		不明	
(78)SK1054	14U-71	円形	0.85×0.79	79	たらい状		SK1038	100			不明	
(78)SK1055	14V-36	円形	0.75×-	85	ピット状		SK848, SK1052	3,960	E3古		3a期	
(78)SK1056	14V-55	円形	1.65×-	44	たらい状			570	E3	剥片3	不明	
(78)SK1057	14V-55	円形	2.10×1.91	41	たらい状	3	SK823	14,160	E3古, 曾利, E3新	石鏃5, 磨石1	不明	
(78)SK1060	14V-11	円形	1.37×1.30	59	たらい状			1,150	E4, 称	土鏃1	5期	

遺構No.	位置	平面形	規模(m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1061	14U-68	円形	2.19×1.77	27	たらい状	1	SK1004, SK1005	670	E1, E2, 称		不明	
(78)SK1062	14U-77	円形	2.61×-	40	たらい状	2	SK1103→	13, 778	E1, E3古, E3中, 曹利	円板1, 楔形1	3b期	
(78)SK1063	14U-98	円形	2.38×1.85	33	たらい状	1	SK1007	2, 520	E1, E2, E3古	磨斧1	不明	
(78)SK1064	15U-05	円形	1.63×1.43	46	たらい状	1	SK1051	200			不明	
(78)SK1065	14V-42	円形	2.43×2.31	58	たらい状	6		5, 190	阿IV, E2, E3, 堀1		不明	
(78)SK1066	14V-91	円形	1.90×-	58	たらい状	2	SK1000, SK1096	11, 250	勝, E2, E3, E4, 称, 堀1, 堀2	土錘1, 石核2, 磨斧1	不明	
(78)SK1067	14V-65	円形	1.73×-	28	たらい状	1	SK1098	600	E3中~E3新	剥片3	不明	
(78)SK1068	14U-97	円形	2.17×-	31	たらい状	1	SK1045, SK1046→, SK1177	10, 850	E2, E3古	石鏃未1	3a期	
(78)SK1069	14U-96	円形	2.31×2.00	42	たらい状	2	SK1070	8, 210	E1, E2, E3, E4, 堀1, 加B	円板1, 磨斧1, 楔形1	不明	
(78)SK1070	14U-96	円形	1.32×1.32	57	たらい状	1	SK1069	650	E2, E3		不明	
(78)SK1071	15U-04	円形	2.00×1.96	44	たらい状	2	SK1069	6, 070	中峠, E2, E3古, 曹利	打斧1, 磨石1	不明	
(78)SK1072	15U-02	円形	2.20×-	15	たらい状	4	SK1025, SK1028	1, 550	E1, E2, E3古		不明	
(78)SK1073	14V-02	円形	1.38×1.23	48	たらい状	1		1, 250	称, 堀1		5期	
(78)SK1074	14U-74	円形	-	18	たらい状	1	SK1014	100			不明	
(78)SK1075	14U-89	円形	2.74×2.15	52	たらい状	1	SK1114, →SK1115	4, 400	E2-3, 堀1	土錘1, 浮子2, 打斧2, 石鏃3, 石鏃1	2c期	
(78)SK1076	14U-79	楕円形	2.45×1.83	48	たらい状	4		14, 730	E3古, 曹利, 称, 堀1	磨斧1, 石棒1	3a期	
(78)SK1077	13V-73	円形	0.92×0.90	81	たらい状			1, 750	E3-4, E4, 称		5期	
(78)SK1079	15U-16	円形	1.48×-	44	たらい状	2	SX052, SK1246	1, 100	E1, E2, E3, 曹利		不明	
(78)SK1080	14V-32	円形	0.95×-	29	たらい状		SK1081	2, 600	E1古, E3, E4, 称	打斧1	不明	
(78)SK1081	14V-32	円形	0.97×0.78	107	たらい状		SK1080	100	E2		不明	
(78)SK1082	14V-31	円形	1.43×1.48	59	たらい状			2, 100	E1, E3, E4, 称	石鏃1, 軽石1	不明	
(78)SK1083	14V-64	円形	1.08×-	46	たらい状		SK1033	600	E3古, 称	磨石1, 石鏃未1	不明	
(78)SK1084	15U-15	円形	2.15×-	34	たらい状		→SI059, SK1135	5, 840	勝, E1, E3古		3a期	
(78)SK1085	15U-16	円形	1.74×1.70	32	たらい状	3	SK1119	1, 150	E1, E3		不明	
(78)SK1086	15U-06	円形	2.17×1.82	74	たらい状	2	SK1119	7, 340	勝, E1, E2, E2-3	土錘1, 石核1	2c期	
(78)SK1087	15U-06	円形	2.07×1.80	26	たらい状	2		2, 830	E1, E3古	土錘1, 磨石1	3a期	
(78)SK1088	14U-82	円形	1.05×1.02	47	たらい状	1		1, 100	E3中, E4	敲石1	不明	
(78)SK1089	14V-31	円形	2.22×2.06	62	袋状			830	E3, 称	磨石1	不明	
(78)SK1090	15V-15	円形	1.76×1.65	28	たらい状			370	勝, E		不明	
(78)SK1091	15V-24	円形	1.75×1.56	28	たらい状			980	阿IV, E3, 加B		不明	
(78)SK1092	14V-82	円形	0.80×0.74	68	たらい状		SK1148, SK1188	950	E1~E2, E3		不明	
(78)SK1093A	14U-84	円形	-	54	たらい状	1	SK941, SK1018, SK1093B, SK1094	2, 400	E2古, E3中~E3新	磨石1	不明	
(78)SK1093B	14U-84	円形	-	-	たらい状		SK940, SK941, SK1093A					
(78)SK1094	14U-84	円形	-	40	たらい状		SK941, SK1093A, SK1120, SK1140	3, 300	E3古, 曹利	石鏃未1	不明	
(78)SK1095	14U-98	円形	1.75×(1.45)	41	たらい状	3	SK1007, SK1142	1, 360	E1, E2, E3		不明	
(78)SK1096	14V-92	楕円形	1.30×0.72	108	たらい状		SK1066, SK1106, SK1121	160		石鏃1, 石鏃未2	不明	
(78)SK1097	14V-54	円形	2.68×-	44	たらい状	1	SK1107, SK1124	3, 680	E2, E3中, 堀1		不明	
(78)SK1098	14V-65	円形	0.87×-	28	たらい状		SK1067	550	<b>E3中</b>		3b期	
(78)SK1099	14V-73	円形	1.13×1.11	49	たらい状		SK1174	1, 800	E1古, E3, 曹利	石鏃1	不明	
(78)SK1100	15V-25	円形	1.48×1.46	29	たらい状	3		350	E3		不明	
(78)SK1101	15V-24	円形	1.35×-	44	たらい状		SK1102	1, 240	勝, E3古, E3中~E3新	土錘1	不明	
(78)SK1102	15V-24	円形	1.19×1.06	62	たらい状		SK1101	360	E3		不明	
(78)SK1103	14U-77	円形	2.10×-	44	たらい状	3	→SI108, →SK1062	5, 710	勝, E2, E3古, 称, 堀1	土錘1, 円板1, 石鏃1, 敲石1, 剥片3	3a期	
(78)SK1104	15V-14	円形	1.99×1.86	78	たらい状		SK1132	1, 840	E2, E3中	円板1, 石鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK1105	14U-73	円形	1.92×-	28	たらい状	2	SK1014, SK1017	3, 720	阿III, E1, E3古		不明	
(78)SK1106	14V-92	円形	1.88×-	50	たらい状	1	SK1096, SK1121, SK1148	3, 320	E		不明	
(78)SK1107	14V-54	円形	2.26×-	52	たらい状	2	SK687A, SK1097	24, 670	中峠, E1古, E3, 称	石鏃1, 石鏃未1, 石皿1	1a期	



遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1108	14V-64	円形	1.20×0.90	45	たらい状	1		960	E2, E3古, 曹利	石鏝1	不明	
(78)SK1109	14V-83	円形	2.21×-	39	たらい状	2	→SK1031, SK1111	3, 150	E3古, E3新	磨石1, 原石1	不明	
(78)SK1110	14V-63	円形	2.34×-	56	たらい状	4	SK1168, SK1174, SK1184	6, 350	阿IV, E2, E3古, E3新	打斧1, 磨石1, 石鏝1	不明	
(78)SK1111	14V-83	円形	-	53	たらい状	1	SK1109, SK1031	1, 190	E3, 堀1		不明	
(78)SK1112	13V-81	円形	1.00×0.89	39	たらい状			2, 320		磨石1	不明	
(78)SK1113	13V-80	円形	0.85×0.90	56	たらい状			20	称, 堀1		不明	
(78)SK1114	14U-89	円形	-	44	たらい状		SK1075, →SK1115	1, 590	勝, E2, E3		不明	
(78)SK1115	14U-89	円形	1.82×-	48	たらい状		SK1075→, SK1114→	1, 600	堀1		6期	
(78)SK1116	15U-37	円形	1.90×1.65	32	たらい状	1	SK1337	5, 690	E1, E2, E3	剥片5	不明	
(78)SK1117	15U-48	円形	2.12×1.92	56	たらい状			5, 140	E1→E2, E3古, 曹利, E4	円板1, 石鏝1, 剥片3	不明	
(78)SK1118	15U-27	円形	2.78×2.70	46	たらい状	4		1, 120	E3古	磨斧1	不明	
(78)SK1119	15U-17	円形	2.38×-	18	たらい状	4	SK1085, SK1086	16, 440	E2-3, E3	磨斧2	2c期	
(78)SK1120	14U-84	円形	(1.42)×(1.11)	38	たらい状	1	SK1094, SK1165	630			不明	
(78)SK1121	14V-92	円形	2.05×-	38	たらい状	3	SK1096, SK1106, SK1130	1, 460	E3	土鏝1, 石核1, 砕片3	不明	
(78)SK1122	14U-45	円形	2.03×1.88	36	たらい状	3	SK987	1, 250	E1, E2, E3	石核1	不明	
(78)SK1123	15V-33	円形	1.45×1.28	38	たらい状			155			不明	
(78)SK1124	14V-54	円形	-	34	たらい状		SK854, SK855, SK1097	55			不明	
(78)SK1125	14V-43	円形	3.55×2.80	66	たらい状	3	SK1262	14, 350	E2, E2-3, E3古, E3中, E3-4, 加B	打斧1, 石鏝未5, 皿2, 原石2	不明	
(78)SK1126	15V-11	円形	2.07×-	42	たらい状	2	SK847, SK1145	3, 310	E3古, E4		不明	
(78)SK1127	15V-13	円形	1.49×1.28	50	たらい状		SK1128	1, 210	E3-4, E4	石核1	不明	
(78)SK1128	15V-14	円形	1.18×-	44	たらい状		SK1127	300		磨斧1	不明	
(78)SK1129	15V-16	円形	2.46×2.10	33	たらい状	2		2, 260	E3古1	石鏝未1	3a期	
(78)SK1130	14V-92	円形	2.06×-	40	たらい状	1	SK992, SK1121	3, 305	E1, E3新	石鏝2, 石鏝未1	不明	
(78)SK1132	15V-15	楕円形	1.10×-	51	たらい状		SK1104	1, 250	不明	磨石1	不明	
(78)SK1134	14V-91	不明	-	35	たらい状			960	E3, 称		不明	
(78)SK1135	15U-05	円形	-	36	たらい状	3	SK1084, SK1170	1, 160	E2新→E3古		不明	
(78)SK1136	15U-06	円形	2.97×1.91	44	たらい状	3	SK1224, SK1246	3, 650	E2, E3	石核1	不明	
(78)SK1137	15U-17	円形	1.95×-	36	たらい状	3	SK1179, SK1234	5, 605	E1, E2, E3古, 曹利	磨石1	不明	
(78)SK1138	15U-07	円形	1.80×-	54	たらい状		SK1234	2, 620	E1, E3古		3a期	
(78)SK1140	14U-85	円形	(2.90)×-	32	たらい状	1	SK941, SK996, SK1094	3, 700	E1, E3新	円板1, 石鏝2, 剥片4	不明	
(78)SK1141	14U-69	円形	-	25	たらい状		SK921, SK1003A, SK1003B, SK1159, SK1171	700	E1→E2, E, 堀1	土鏝1	不明	
(78)SK1142	14U-99	円形	(1.80)×-	18	たらい状	1	SK1095, SK1182	420	E1→E2, E3古		不明	
(78)SK1143	14V-64	円形	1.93×1.08	45	たらい状	2	SK1056	3, 600	E1, E2, E3, 曹利, 堀1	土鏝1, 打斧1, 石鏝1, 楔形2	不明	
(78)SK1144	15U-38	円形	1.10×-	60	たらい状		SK1196	1, 500	E3, E3新		不明	
(78)SK1145	15V-21	円形	1.12×1.10	74	たらい状	1	SK1126, SK1146	500	勝, E3, E3-4, E4, 称		不明	
(78)SK1146	15V-21	円形	2.08×-	49	たらい状	1	SK1145	700			不明	
(78)SK1147	14U-92	円形	1.36×1.34	78	たらい状		SK1203	4, 730	E1→E2, E3古, E3中		不明	
(78)SK1148	14V-82	円形	2.06×1.86	45	たらい状	1	SK1092, SK1106, SK1188	2, 050	勝, 阿IV, E3新, E4	石鏝1, 楔形1	不明	
(78)SK1149	15U-24	円形	2.69×2.07	41	たらい状	2	→S1059, SK1543	6, 740	E2-3, E4	円板1, 剥片3	2c期	
(78)SK1150	15U-14	円形	2.56×2.43	32	たらい状	4	S1059, SK1543	3, 000	勝, E3, 称		不明	
(78)SK1151	14V-64	円形	2.32×-	20	たらい状	3	SK1184	2, 150	E2, E3古	石鏝1, 磨石1, 敲石1	不明	
(78)SK1152	14V-73	円形	2.45×-	46	たらい状	1	SK1154, SK1168	3, 650	勝, E3古, E4	ニチフツ土器1, 石鏝1, 剥片4	不明	
(78)SK1153	14V-73	円形	2.20×1.70	38	たらい状	3	SK1154	2, 700	E1, E2, E3	石鏝1, 剥片3	不明	
(78)SK1154	14V-63	円形	1.16×1.06	25	たらい状		SK1152, SK1153	220	E1, E3		不明	
(78)SK1155	14U-73	円形	2.08×2.05	19	たらい状	1	SK1014	750			不明	
(78)SK1156	14U-86	円形	1.78×1.59	40	たらい状			900	E1→E2, E3		不明	
(78)SK1157	14V-60	円形	1.98×-	29	たらい状		SK1159	350	E1→E2, E3		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1158	14V-60	円形	-	25	たらい状		SK1159	260E1, E3			不明	
(78)SK1159	14U-69	円形	-	24	たらい状		SK1141, SK1157, SK1158, SK1171	1, 000E3古		台石1	不明	
(78)SK1160	14V-82	円形	3.19×2.98	68	たらい状	1	SK1187, SK1188, SK1218, SK1226	6, 700勝, E1古, E2新, E3古, E4, 称		石鏃未1	不明	
(78)SK1161	15V-52	円形	3.06×2.72	56	たらい状	3	SK1220	8, 545阿I b, 阿III, 阿IV, 勝, E2, E3古, E3中		打斧1, 剥片4	不明	
(78)SK1162	15V-42	円形	2.34×2.03	48	たらい状		→SX060, SK1180	6, 675E1, E2, E2-3, E3古		円板1, 打斧2, 磨石1	2c期	
(78)SK1163	15V-33	円形	2.25×2.38	79	たらい状	3	SK1544	4, 150E1, E2, E3古		ニチヤ土器1, 円板1, 原石3, 剥片4	不明	
(78)SK1164	14U-82	円形	2.50×-	22	たらい状	5		2, 410E2~E3古		円板1, 原石1, 剥片6	不明	
(78)SK1165	14U-94	円形	1.59×-	22	たらい状	1	SK1120	520E1~E2, E3			不明	
(78)SK1166	15V-30	円形	2.32×1.97	26	たらい状	1		1, 620E1~E2, E3		磨石1	不明	
(78)SK1167	15V-53	円形	2.26×2.25	72	たらい状	3	SK1220, SK1521	2, 080E2-3, E3		円板1, 石鏃未1, 剥片5	不明	
(78)SK1168	14V-73	円形	2.37×-	44	たらい状	2	SK1110, SK1152, SK1184	1, 410E3古, 曾利		円板2, 石鏃未2	3a期	
(78)SK1169	15U-06	円形	1.35×-	29	たらい状	1	SK1071, SK1170	800阿IV, 曾利			不明	
(78)SK1170	15U-05	円形	-	26	たらい状	2	SK1135, SK1169	740E1		石核1	不明	
(78)SK1171	14U-69	円形	2.08×2.02	52	たらい状	1	SK1141, SK1159	745E1古, E3古		原石1	不明	
(78)SK1172	15V-51	円形	1.49×1.13	24	たらい状	2		1, 120E1~E2, E2-3, E3古, E3新			不明	
(78)SK1173	14U-93	円形	1.83×-	37	たらい状	4	→SX041, SK998, →SK1361	6, 900E1, E2, E3古		石鏃1	3a期	
(78)SK1174	14V-63	円形	1.77×-	26	たらい状	2	SK1099, SK1110, SK1176	3, 325E3古			3a期	
(78)SK1175	14V-63	円形	1.51×1.13	120	たらい状		SK1176	3, 555勝, E2, E3古~E3中, E3新		石鏃1, 楔形1	不明	
(78)SK1176	14V-62	楕円形	2.17×-	33	たらい状	1	SK1175, SK1230B	6, 210阿IV, E2, E3古, E3中~E3新		土鏃1, 剥片6	不明	
(78)SK1177	14U-87	円形	1.76×-	28	たらい状	1	SK1068, SK1189, SK1197	945E1, E2, E3古		磨斧1	不明	
(78)SK1178	14V-90	円形	2.52×2.50	94	たらい状	3	SK1236, SK1237, SK1238, SK1257	10, 390E1古, E2, E3, E4, 称		磨石1	不明	
(78)SK1179	15U-17	円形	1.70×1.70	69	たらい状	3	SK1137	3, 300阿IV, E1~E2, E3古, 曾利		円板1, 敲石1	不明	
(78)SK1180	15V-41	円形	1.24×-	40	たらい状		SK1162	420E3			不明	
(78)SK1181	14U-99	円形	1.79×-	50	たらい状	2	SK1182	2, 040E1, E2-3~E3古, 称			不明	
(78)SK1182	14U-99	円形	2.09×-	44	たらい状		SK1142, SK1181, SK1183	150E1			不明	
(78)SK1183	14U-99	円形	2.28×-	54	たらい状	2	SK1182	550E3, E4		磨石1	不明	
(78)SK1184	14V-64	円形	2.70×2.62	52	たらい状	3	SK1110, SK1151, SK1168	1, 900E2, E3		剥片4	不明	
(78)SK1185	14U-86	円形	2.31×1.91	26	たらい状	2		1, 910E1, E2新~E2-3			2b~2c期	
(78)SK1186	15U-39	円形	2.03×2.00	58	たらい状	1	SK1196	5, 870阿IV, E1古, E2, E2-3		円板1	2c期	
(78)SK1187	14V-82	円形	0.99×0.97	118	たらい状		SK1160, SK1188	1, 100E2~E3			不明	
(78)SK1188	14V-82	円形	-	30	たらい状		SK1092, SK1148, SK1160, SK1187, SK1198	2, 150E1~E2, E3古, E3新, E4, 称			不明	
(78)SK1189	14U-87	円形	1.58×1.41	13	たらい状	1	SK1177, SK1197	15			不明	
(78)SK1190	15U-22	円形	-	22	たらい状		SK1191, SK1208, SK1239	455E2-3~E3古, 曾利			不明	
(78)SK1191	15U-22	円形	1.29×0.98	39	たらい状		SK1190	50			不明	
(78)SK1192	15T-29	円形	1.45×1.34	52	たらい状			1, 005E3古		台石1	不明	
(78)SK1193	14T-78	円形	1.61×1.47	24	たらい状	1		420阿III, E3古, 堀1			不明	
(78)SK1194	15U-75	円形	1.66×-	48	たらい状	2	SI060, SK1210, SK1441	5, 800E1, E2, E3			不明	
(78)SK1195	15U-56	円形	1.94×-	36	たらい状	1	SI060, SK1213	2, 110阿IV, E1~E2, E3古		台石1	不明	
(78)SK1196	15U-39	円形	1.70×-	36	たらい状	2	SK1144, SK1186	750E2, E3			不明	
(78)SK1197	14U-87	円形	1.70×-	34	たらい状	2	SK1177, SK1189, SK1217	1, 360E1, E3古, E3新, E4		磨石1	不明	
(78)SK1198	14V-82	円形	-	59	たらい状	2	SK1188	4, 310E1古, E2-3, E3中~E3新, E4, 称		石鏃未2, 剥片3	2c期	
(78)SK1199	14V-62	円形	1.30×-	43	たらい状			3, 690E1, E3, 称, 堀1		土鏃1	不明	
(78)SK1200	14T-77	円形	1.47×1.35	58	たらい状			560E1~E2			不明	
(78)SK1201	14T-88	円形	1.38×1.38	56	たらい状			1, 950E1, E2, E3			不明	
(78)SK1202	15U-51	円形	1.35×1.30	56	たらい状			260阿, E1~E2		打斧1	不明	
(78)SK1203	14U-92	円形	2.22×-	64	たらい状	2	SK1147	5, 230E3古~E3中, 曾利, 称, 堀1		打斧1	不明	
(78)SK1204	15U-62	円形	1.86×1.62	42	たらい状	2		1, 100E1古, E2, E3			不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78) SK1205	15U-51	円形	1.89×-	58	たらい状	2	SK1232, SK1252	4,080	E2-3, E3古, 曹利	円板1, 磨石1	不明	
(78) SK1206	14V-52	円形	-	57	たらい状	2	SK1225, SK1261, SK1262	13,110	勝, E1~E2, E2-3, E3新, 称	石核1, 原石1	2c期	
(78) SK1207	14V-53	円形	2.18×-	24	たらい状	3	SK1225	1,050	E1, E1~E2, E3新		不明	
(78) SK1208	15U-22	円形	1.96×1.89	44	たらい状	1	SK1190, SK1239, SK1297	560	E2, 曹利	土錘1	不明	
(78) SK1209	15T-09	円形	2.38×2.32	39	たらい状	2		2,810	E1古, E2, E3	敲石1, 石鏃1	不明	
(78) SK1210	15U-75	円形	1.47×-	38	たらい状	1	SI060, SK1194, SK1441	1,180	E1古, E2-3	剥片4	不明	
(78) SK1211	15V-53	円形	2.00×1.77	36	たらい状	2	SK1220	3,140	E1, E2-3	円板1, 浮子1, 石核1	不明	
(78) SK1212	15U-62	円形	2.25×2.17	58	たらい状		SK1453	1,460	E2, E2-3		不明	
(78) SK1213	15U-56	円形	1.72×1.58	60	たらい状	4	→SX057, SK1195	1,250	阿W, E2	磨斧1, 石鏃1	不明	
(78) SK1214	15U-56	円形	2.20×2.08	58	たらい状	3	SK1293	6,570	E1古, E2~E3, E4	石核1	不明	
(78) SK1215A	14T-99	円形	1.90×-	35	たらい状	1	SK611, SK1215B				不明	
(78) SK1215B	14T-99	円形	2.30×-		たらい状		SK1215A	1,600	中峠, E1~E2-3	磨斧1	不明	
(78) SK1216	15U-50	円形	2.56×2.46	56	たらい状	3	SX056→	2,980	勝, E2新, E3古	土錘1	2b期	
(78) SK1217	14U-86	円形	1.35×-	38	たらい状		SX040, SK1197	860	E2, E3, E4		不明	
(78) SK1218	14V-72	円形	0.88×-	20	たらい状	1	SK1160	260	E1~E2, E3新, 堀1		不明	
(78) SK1219	15U-28	円形	1.73×1.66	49	たらい状		SK1266	3,840	E2古, 称	磨斧2	2a期	
(78) SK1220	15V-53	円形	2.34×-	32	たらい状	2	SK1161, SK1167, SK1211	8,570	E2, E3中1		3b期	
(78) SK1222	15V-51	円形	2.15×2.02	48	たらい状	2	SK1223	750	E2~E3古		不明	
(78) SK1223	15V-51	円形	2.17×-	22	たらい状	4	SK1222	2,320	E2-3~E3古	石鏃未3, 楔形1	不明	
(78) SK1224	15U-15	円形	1.94×-	38	たらい状	2	SK1136	1,950	E1, E2~E3古	石鏃未1, 楔形1	不明	
(78) SK1225	14V-52	円形	2.20×-	34	たらい状	2	SK1206, SK1207, SK1260, SK1261	3,370	E1, E3古, 曹利	石鏃未1, 剥片8	不明	
(78) SK1226	14V-82	円形	2.44×-	32	たらい状	1	SK1160	10,302	E1古, E2新, E3古, E3中, 堀1	打斧1, 剥片3	不明	
(78) SK1227	15U-55	円形	2.57×2.01	52	たらい状	1	SK1247	2,760	E2, E2-3, E3古, E4	敲石1	不明	
(78) SK1228	15U-26	円形	1.68×-	28	たらい状		SK1229, SK1427	1,450	E1~E2		不明	
(78) SK1229	15U-26	円形	2.12×2.10	38	たらい状	2	SK1228, SK1427	900	E1古, E2, E3	石鏃未1	不明	
(78) SK1230	14V-72	円形	1.92×-	51	たらい状	3	SK1230B, SK1264	17,370	E1, E2, E3古, E3新, 堀1	石皿3, 石鏃1, 石鏃未2	不明	
(78) SK1230	14V-72	円形	1.93×-	-	たらい状	2	SK1176, SK1230A				不明	
(78) SK1231	15U-43	円形	2.22×2.09	62	たらい状	5	SK1251	9,630	E1古, E2-3, E3古, E3中, 曹利, E4	円板2, 打斧1, 磨斧1	不明	
(78) SK1232	15U-51	円形	0.85×0.60	127	たらい状		SK1205, SK1252	980	E1~E2, E2-3~E3古		不明	
(78) SK1233	15U-18	円形	2.28×1.88	46	たらい状	5	SK1277	2,880	阿W, E1~E2, E3古		不明	
(78) SK1234	15U-07	円形	1.50×-	32	たらい状	2	SK1137, SK1138	750	E1古, E3古		不明	
(78) SK1235	15U-17	円形	1.71×1.64	72	たらい状			2,100	E1~E2, E3, 曹利		不明	
(78) SK1236	14V-91	円形	2.30×1.83	80	たらい状	1	SK794, SK1178, SK1237	4,050	E1, E2-3, E3古, E4, 称	円板1	不明	
(78) SK1237	14V-90	円形	-	74	たらい状		SK793, SK1178, SK1236, SK1257	920	勝, E2, E3, E4		不明	
(78) SK1238	14V-90	円形	-	68	たらい状		SK1178, SK1237, SK1257	2,100	E1~2, E3古, 曹利, E3中~E3新, E4		不明	
(78) SK1239	15U-12	円形	1.65×-	20	たらい状	1	SK1190, SK1208	160			不明	
(78) SK1240	15U-16	円形	2.47×2.25	54	たらい状	1	SK1292	2,680	E2, E3新	石鏃2	不明	
(78) SK1241	15U-21	円形	1.76×1.58	36	たらい状	1		260	E3		不明	
(78) SK1242	15U-29	円形	2.19×1.91	42	たらい状	2		2,200	勝, E1, E2, E3, E4		不明	
(78) SK1243	15U-27	円形	2.20×2.12	56	たらい状	1	SK1336	5,780	E1古, E2-3~E3古	石鏃1	不明	
(78) SK1244	15U-16	円形	2.22×2.08	36	たらい状		SK1520	600	E2, E3		不明	
(78) SK1245	15U-16	円形	2.24×2.09	32	たらい状	1	SK1079, SK1136	2,320	E3古	原石1	3a期	
(78) SK1247	15U-55	円形	1.61×-	50	たらい状	2	SK1227, SK1302	1,530	E1~2		1~2期	
(78) SK1248	15U-54	円形	1.90×1.85	36	たらい状	2	SK1302	3,600	E2-3	磨石1	2c期	
(78) SK1249	15U-53	円形	2.10×1.90	42	たらい状	2		4,270	E2-3, E3古, E4		不明	
(78) SK1250	15U-52	円形	2.41×2.27	90	たらい状	3	SK1467, SK1468	8,040	E2-3, E3古, 曹利	土錘1	2c期	
(78) SK1251	15U-43	円形	-	34	たらい状		SK1231	0			不明	
(78) SK1252	15U-51	円形	1.97×-	49	たらい状	1	SK1205, SK1232	1,240	阿III, E1, E2, E3		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1253	15U-67	円形	2.01×-	40	たらい状		SKI254	1,280	E1古, E2		不明	
(78)SK1254	15U-66	円形	2.25×2.01	48	たらい状	2	SKI253	2,350	E2-3	土錘1	2c期	
(78)SK1255	15U-21	円形	1.79×1.64	34	たらい状	2	SKI376A	1,000	E2-3, 曾利		不明	
(78)SK1256	15U-00	円形	2.54×2.06	40	たらい状	1		2,120	E1, E2, E3	土錘1, 磨斧2, 石鏃1	不明	
(78)SK1257	14V-90	円形	-	38	たらい状		SKI178, SK1238, SK1284	1,610	E3古~E3中, E3新, E3-4, E4, 称	円板1, 磨斧1	不明	
(78)SK1258	15U-41	円形	1.88×1.78	41	たらい状	1		4,930	E2-3, E3		不明	
(78)SK1259	15U-10	円形	1.58×1.50	66	たらい状		SKI291	6,870	E2, E3古, 曾利, E3新, E4	土錘1, 円板1, 打斧2, 磨斧1	不明	
(78)SK1260	14V-52	円形	0.60×0.55	83	たらい状		SKI225	460	E2, E3古, 曾利		不明	
(78)SK1261	14V-52	円形	0.89×0.76	134	たらい状		SKI206, SK1225	860	阿IV, E2, E3古, E3中, 曾利		不明	
(78)SK1262	14V-42	円形	(2.55)×2.53	50	たらい状	2	SKI125, SK1206	1,750	E3, E4, 堀1	石鏃1, 剥片4	不明	
(78)SK1263	14V-41	円形	2.35×2.15	56	たらい状		SKI1311	4,600	E1, E2, E3, E4	石鏃未1, 原石1	不明	
(78)SK1264	14V-61	円形	-	27	たらい状	1	SKI230A, SK1265	1,300	E1古, E3古, E3中, 曾利		不明	
(78)SK1265	14V-61	円形	2.76×2.46	42	たらい状	4	SKI264	5,570	勝, E3古, E3新		3a期	
(78)SK1266	15U-28	円形	1.91×1.84	34	たらい状	1	SKI219	840	E1~E2, E3		不明	
(78)SK1267	15U-52	円形	1.69×1.67	66	たらい状	1	SKI268	2,320	勝, E1, E3		不明	
(78)SK1268	15U-52	円形	2.23×-	42	たらい状	1	SKI267	880		楔形1	不明	
(78)SK1269	15U-16	円形	2.26×-	34	たらい状	3	SKI281	250		磨石1	不明	
(78)SK1270	15U-26	円形	2.47×2.13	37	たらい状	2		1,180	E2, E3古		2期	
(78)SK1271	15U-36	円形	2.32×2.10	44	たらい状	2	→SK074	910	E1~E2		不明	
(78)SK1272	14V-72	円形	1.60×1.55	59	たらい状			1,640	E2, E3古, E3新		不明	
(78)SK1275	14U-94	円形	1.95×1.85	41	たらい状	4	→SK998	3,090	E1, E2-3, E3古		2c期	
(78)SK1276	14U-81	円形	1.70×1.32	27	たらい状	3		1,110	勝, E1, E2, E3		不明	
(78)SK1277	15U-18	円形	3.07×2.52	60	たらい状	4	SKI233	5,350	E1古, E2古, E3古	磨斧1	不明	
(78)SK1278	15U-36	円形	2.23×-	50	たらい状	1	SKI288, SK1300, SK1301	2,250	E2新	石核1	2b期	
(78)SK1279	15U-30	楕円形	2.37×-	38	たらい状	2	SKI294	3,150	E1新, E2	土錘2	不明	
(78)SK1280	15U-33	円形	1.98×1.86	52	袋状	1	SKI295	1,970	阿IV, E1古, E4		不明	
(78)SK1281	15U-16	円形	2.28×1.95	36	たらい状	1	SKI289	300	E2, E3		不明	
(78)SK1282	14V-90	円形	-	71	たらい状		SKI283, SK1284	2,060	阿IV, E1, E2, E3古		不明	
(78)SK1283	14V-80	円形	2.14×1.81	84	たらい状	3	SKI282, SK1284, SK1395	1,250	E1古, E3古, 曾利		不明	
(78)SK1284	14V-90	円形	1.94×-	38	たらい状	1	SKI257, SK1282, SK1283	1,400	阿IV, E3古	打斧1, 磨石1	不明	
(78)SK1285	15U-47	円形	2.40×2.15	66	たらい状		SKI366	5,070	E1, E2	打斧1	不明	
(78)SK1286	15V-81	円形	1.30×-	60	たらい状		S1046→, SK1305	1,600	E2-3, E3古	円板1, 石鏃2	不明	
(78)SK1288	15U-36	円形	1.42×1.40	65	たらい状	1	SKI278, SK1300	2,620	E1新, E2, E2-3		不明	
(78)SK1289	15U-39	円形	2.75×2.52	46	たらい状	2	SKI304	12,280	E1, E2新, E2-3, E3古	土錘1	不明	
(78)SK1290	15U-29	円形	2.30×2.16	67	たらい状	2	SKI304	10,320	E2-3, E3古, 曾利	円板1, 石鏃1	2c期	
(78)SK1291	15U-19	円形	1.80×-	36	たらい状	2	SKI259	530	E1~E2, E3		不明	
(78)SK1292	15U-40	円形	1.60×-	48	たらい状	1	SKI240	350	E2~E3		不明	
(78)SK1293	15U-56	円形	1.09×-	31	皿状		SKI214	0			不明	
(78)SK1294	15U-30	円形	1.32×-	58	たらい状		SKI279, SK1315	2,550	E1, E2, E3, E3新	土錘1	不明	
(78)SK1295	15U-33	円形	2.29×2.03	48	たらい状	1	SKI280, SK1303, SK1321	2,320	E3古, 曾利, E4		不明	
(78)SK1296	14V-41	円形	1.55×-	33	たらい状	1		930	E1		不明	
(78)SK1297	15U-12	円形	2.30×1.92	46	たらい状	1	SKI208	0			不明	
(78)SK1298	15U-12	円形	1.12×0.99	38	たらい状			0			不明	
(78)SK1299	15U-32	円形	2.22×1.86	42	たらい状	1	SKI327	2,730	E1, E4		不明	
(78)SK1300	15U-36	円形	2.34×-	52	たらい状	1	SKI278, SK1288	1,250	E		不明	
(78)SK1301	15U-35	円形	1.96×1.80	78	たらい状	2	SKI278	1,660	E1, E2-3	石鏃未1	不明	
(78)SK1302	15U-54	円形	1.79×-	46	たらい状	3	SKI247, SK1248	2,820	E1, E2, E3古	石鏃2, 剥片3	不明	
(78)SK1303	15U-33	円形	1.78×-	36	たらい状	2	SKI295, SK1321	1,160	E1~E2, E3古		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78) SK1304	15T-29	円形	1.82×1.75	52	たらい状	1	SK1289, SK1290	1,960	E2, 曾利		不明	
(78) SK1305	15V-81	円形	2.51×2.22	120	たらい状	2	S1046→, SK1286	13,503	E3古, 曾利, 加B	土偶1, 打斧1, 石鏃未1	3a期	
(78) SK1306	15V-92	円形	1.95×1.66	30	たらい状			480	E2-3~E3古		不明	
(78) SK1308	16V-20	円形	1.19×1.14	78	たらい状			1,725			不明	
(78) SK1309	16U-06	円形	1.89×1.72	21	たらい状	1	SK1322	430	E2		不明	
(78) SK1310	16U-06	円形	2.14×2.03	70	たらい状			1,210	E1~2	土鏃1	1~2期	
(78) SK1311	14V-41	円形	1.30×1.23	26	たらい状		SK1263	1,160	阿IV, E3, E4		不明	
(78) SK1312	14V-71	円形	2.65×2.50 (2.57)×(2.55)	84	袋状	2	→SK1326, →SK1339, SK1345	15,230	阿IV, 勝, E1古, E2, E3古~E3中, 称	円板1, 磨斧2	1a期	
(78) SK1313	16V-10	円形	1.20×1.13	52	たらい状			500	E2, E3古		不明	
(78) SK1314	16U-19	円形	1.76×1.75	86	たらい状			800	E1~E2, E4		不明	
(78) SK1315	15U-20	円形	1.70×-	54	たらい状	1	SK1294, SK1376B	130	E		不明	
(78) SK1316	15U-35	円形	2.40×2.15	60	たらい状	2	SK1426	1,130	E1~E2, E3古		不明	
(78) SK1317	15T-76	円形	1.78×1.77	30	たらい状	1		1,090	E1, E2新	磨斧1	2b期	
(78) SK1318	16T-22	円形	1.00×0.97	46	たらい状			40			不明	
(78) SK1319	16T-23	円形	1.23×1.21	51	たらい状			60			不明	
(78) SK1320	16T-16	円形	1.22×1.14	41	たらい状			890	E4中		4c期	
(78) SK1321	15U-33	円形	-	35	たらい状		SK1285, SK1303	0			不明	
(78) SK1322	16U-05	円形	1.25×1.20	46	たらい状		SK1309	440	E1~E2, E3中		不明	
(78) SK1323	16U-39	円形	1.82×1.81	75	たらい状	1		7,530	E2古		2a期	
(78) SK1324	15T-66	円形	1.80×1.50	52	たらい状			380	E1~E2, E3古	土鏃1	不明	
(78) SK1325	15T-33	円形	2.39×2.13	109	たらい状	2		8,100	E1古, E2	土鏃1, 磨斧1, 剥片3	不明	
(78) SK1326	14V-71	円形	0.92×0.90	84	たらい状		SK1312→	2,250	E2, E3古	浮子1	不明	
(78) SK1327	15U-32	円形	2.58×2.40	60	たらい状	3	SK1299	2,590	E2, E2-3~E3古, 曾利		不明	
(78) SK1328	15U-63	円形	2.54×2.34	38	たらい状	1	SK1329	1,920	E1, E2	磨斧1	不明	
(78) SK1329	15U-53	円形	1.66×1.53	62	たらい状		SK1328	1,390	E1, E3-4	円板1	不明	
(78) SK1330	15U-87	円形	2.06×1.91	24	たらい状	1	SK1369	1,050	E2		不明	
(78) SK1331	15U-58	円形	1.44×1.35	32	たらい状		SK1367	520	E2, E2-3, E3古		不明	
(78) SK1334	15V-70	円形	1.07×0.96	70	たらい状			300			不明	
(78) SK1335	15V-61	円形	0.80×0.79	48	たらい状		SK1380	300	E3, E4		不明	
(78) SK1336	15U-37	円形	1.95×-	61	たらい状	1	SK1243, SK1337	2,125	E1~E2	砥石1	不明	
(78) SK1337	15U-37	円形	-	30	たらい状		SK1116, SK1386	0			不明	
(78) SK1338	14V-71	楕円形	0.50×0.45	22	-			120	阿IV, E2		不明	
(78) SK1339	14V-70	円形	2.61×-	42	たらい状		SK1312→, SK1345, SK1346	160	E3古		不明	
(78) SK1340	16V-22	円形	1.38×1.37	134	たらい状			660	E2, E4		不明	
(78) SK1341	16V-12	円形	2.48×2.07	48	たらい状	1	SX070	390	阿I a, E1~E2		不明	
(78) SK1342	15V-81	円形	2.25×1.81	79	たらい状	2	SK1370	5,380	E1古, E2, E2-3, E3古, 加B	土鏃1, 円板1, 磨斧1, 磨石1	不明	
(78) SK1343	15T-78	円形	1.91×1.73	38	たらい状			600	E1~E2		不明	
(78) SK1344	15T-88	円形	1.73×1.60	40	たらい状			840	E1~E2, E3		不明	
(78) SK1345	14V-70	円形	-	35	たらい状		SK1312, SK1339, SK1346, SK1347	2,550	E1~E2, E3古, 称	土鏃1, 石核1, 剥片3	不明	
(78) SK1346	14V-70	円形	1.10×0.78	74	たらい状		SK1339, SK1345	1,700	E1, E2-3, E3古		不明	
(78) SK1347	14V-70	円形	1.69×1.59	44	たらい状		SK1345	960	E1, E3古, 称	磨斧1	不明	
(78) SK1348	15T-97	円形	1.87×-	28	たらい状		SK1349, SK1354	190	E1, E3		不明	
(78) SK1349	16T-07	円形	1.60×1.49	34	たらい状		SK1348	600	E1古, E4		不明	
(78) SK1350	16T-02	楕円形	2.00×0.97	118				0			不明	陥穴
(78) SK1351	17T-26	円形	(1.74)×(1.71) (2.19)×(2.14)	90	袋状		SK1392	1,200	勝, E1古		不明	
(78) SK1352	17T-16	円形	(2.48)×(2.45) 1.88×1.78	128	袋状			6,650	勝, E1古	原石1	1a期	

遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78) SK1353	17T-05	円形	1.59×1.53	58	たらい状	1		510 E1			不明	
(78) SK1354	16T-07	円形	1.07×0.84	34	たらい状		SK1348	10 E1 ~ E2			不明	
(78) SK1355	15T-66	円形	1.59×1.58	34	たらい状			2,550 E2		石皿1	不明	
(78) SK1356	16U-21	円形	1.56×1.50	34	たらい状			40 E			不明	
(78) SK1357	15U-44	円形	2.35×2.32	76	袋状	1	SK1358	4,710 阿IV, 勝 E1, E2, E3古		土鍬1, 磨石1	不明	
(78) SK1358	15U-44	円形	1.98×-	50	たらい状	2	SK1357, SK1473	7,860 勝, E1, E2, E3		石鍬末1	不明	
(78) SK1359	16U-12	円形	2.35×2.29	32	たらい状	2		1,100			不明	
(78) SK1360	15U-32	円形	2.12×-	40	たらい状	1	SK1377	2,400 E2-3, E3古		土鍬1, 磨石2	不明	
(78) SK1361	15U-03	円形	1.87×-	42	たらい状	3	SK1173→	5,750 阿IV, E2古, E3, 堀1		石鍬1	6期	
(78) SK1362	15U-56	円形	1.61×-	70	たらい状		SK1363, SK1365, SK1390	5,520 勝, E1古, E2新		磨石2	2b期	
(78) SK1363	15U-56	円形	2.06×-	63	たらい状	2	SK1362, SK1390	1,790 E1, E2古			不明	
(78) SK1364	15U-55	円形	1.65×-	56	たらい状	1	SK1365	2,950 E1 ~ E2, E3古, 曾利		楔形1	不明	
(78) SK1365	15U-55	円形	1.70×-	49	たらい状		SK1362, SK1364	2,160 E2古, E3			2a期	
(78) SK1366	15U-47	円形	2.03×2.00	86	たらい状	1	SK1285, SK1390	3,300 勝, E1古, E2		打斧1	不明	
(78) SK1367	15U-57	円形	2.00×-	46	たらい状	3	SK1408, SK1409→, SK1419	2,550 E2, E2 ~ E3古			不明	
(78) SK1368	14V-60	円形	1.16×-	44	たらい状			800 E1, 称		石鍬末1, 楔形1	不明	
(78) SK1369	15U-78	円形	2.16×2.04	36	たらい状	2	SK1330	2,340 E2-3, 曾利			不明	
(78) SK1370	15V-71	円形	2.11×1.95	47	たらい状	1	SK1342, SK1389	1,380 勝, E2, E3, E4			不明	
(78) SK1371	15T-75	円形	1.87×1.78	30	たらい状			480 E1 ~ E2		打斧1	不明	
(78) SK1372	15U-95	円形	1.62×1.38 (1.75)×(1.75)	74	袋状	1	SK1412	5,230 勝, E1古, E2古		円板1, 石鍬2, 磨石1	不明	
(78) SK1373	15U-54	円形	1.56×1.50	22	たらい状	1	SK1473	1,650 E2, E3			不明	
(78) SK1374	15V-61	円形	-	36	たらい状		SK1375, SK1380	1,730 E1, E2, E3古			不明	
(78) SK1375	15V-61	円形	2.04×-	27	たらい状	2	SK1374, SK1387	920 E2 ~ E2-3		磨石1	不明	
(78) SK1376A	15U-20	円形	2.33×-	36	たらい状	1	SK1241, SK1255, SK1376B	3,280 E1古, E1 ~ 2, E3古			不明	
(78) SK1376B	15U-20	円形	1.88×-	38	たらい状	4	SK1315, SK1376A				不明	
(78) SK1377	15U-31	円形	1.78×1.00	45	たらい状	1	SK1360, SK1480	865 E3古			不明	
(78) SK1378	16U-32	円形	1.95×1.87	50	たらい状			200 E1古			不明	
(78) SK1379	15U-83	円形	1.70×1.68	23	たらい状	1		1,920 E1, E2, E3			不明	
(78) SK1380	15V-61	円形	2.32×-	24	たらい状	1	SK1335, SK1374	260 E1 ~ E2		磨石1	不明	
(78) SK1381	15U-98	円形	1.95×1.75	51	たらい状	1	SK1418	1,530 E1, E3古		石鍬末1	不明	
(78) SK1386	15U-54	円形	2.22×2.05	62	たらい状	3		2,770 E1古, E2		石鍬1, 磨石1	不明	
(78) SK1387	15V-61	円形	1.00×0.98	105	たらい状		SK1375	160 E1 ~ E2			不明	
(78) SK1388	15V-70	円形	2.09×1.98	56	たらい状	2	SK1389	680 E1 ~ E2		磨石1	不明	
(78) SK1389	15V-71	円形	-	25	たらい状	3	SK1370, SK1388	1,600 E1, E2, E3新, E4			不明	P3より粘土
(78) SK1390	15U-46	円形	2.32×-	46	たらい状	2	SK1362, SK1363, SK1366	2,000 勝, E1 ~ E2			不明	
(78) SK1391	15U-45	円形	2.15×2.10	52	たらい状	2		940 E2, E3古		原石1	不明	
(78) SK1392	17T-27	円形	1.54×-	51	たらい状		SK1351	0			不明	
(78) SK1394	15U-58	円形	1.27×1.22	40	たらい状			740 E2, E3古			不明	
(78) SK1395	14V-80	円形	1.88×-	42	たらい状	1	SK1283, SK1396, SK1463	1,160 阿IV, E3古			不明	
(78) SK1396	14V-81	円形	2.18×1.71	61	たらい状		SK1395, SK1444, SK1450, SK1451, SK1463	6,710 E3古, E3新, 曾利, 称, 堀1		土鍬1, 打斧1, 石鍬2	不明	
(78) SK1398	16U-18	円形	1.74×1.61	65	たらい状		SK1413	4,310 阿IV, E2, E2-3, E3古 ~ E3中, 曾利		剥片3	不明	
(78) SK1399	16U-22	円形	1.61×1.56	50	たらい状			30			不明	
(78) SK1400	17T-16	円形	1.58×-	52	たらい状		SK1428	5,550 E1 ~ 2			1 ~ 2期	
(78) SK1401	16T-94	円形	2.22×1.95 (2.20)×2.08	78	袋状			720 E1古, E3-4		石鍬1	不明	
(78) SK1402	17T-04	円形	1.56×1.50	56	たらい状			2,160 E1, E2			不明	
(78) SK1404	15U-67	円形	2.00×1.98	23	たらい状	1		4,750 E2 ~ E3		磨石1	不明	

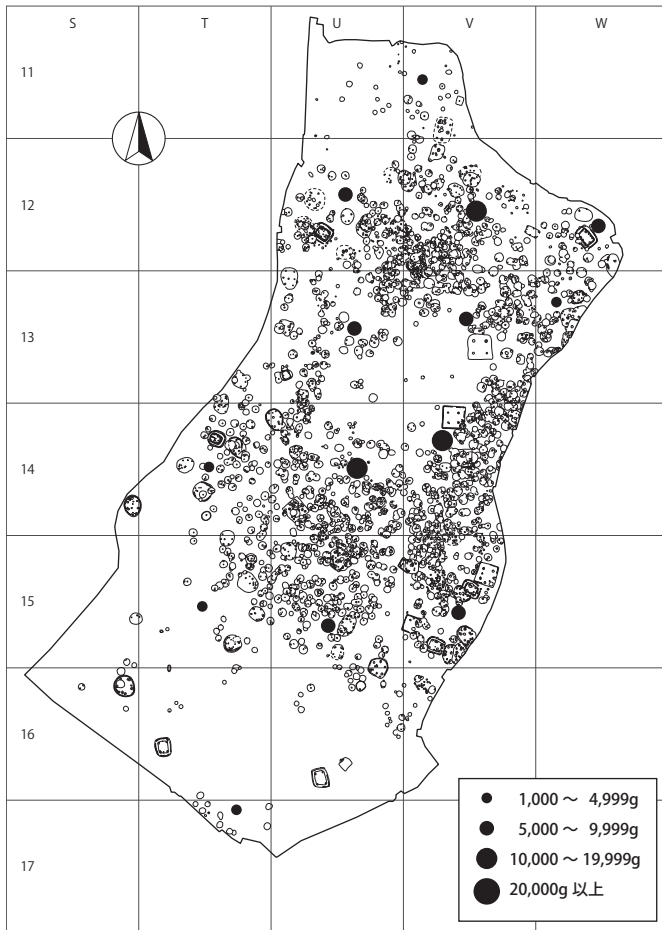
遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長さ×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1405	15U-65	円形	0.90×0.62	58	ピット状		S1060	200		石皿1	不明	
(78)SK1406	15U-34	円形	2.49×2.30	55	たらい状	2		2,150	E2~E3古		不明	
(78)SK1408	15U-47	円形	1.86×1.74	41	たらい状		SK1367, SK1419, SK1420 →SK1367	1,800	阿IV, E1, E2, E3, E4	石核1	不明	
(78)SK1409	15U-57	円形	2.40×2.27	62	たらい状	2		3,160	E1古	石鏃未1	1 a期	
(78)SK1410	17T-19	円形	2.20×1.95	85	たらい状			4,480	E1古, E1	打斧1, 磨石1	1 a期	
(78)SK1411	17T-09	円形	2.16×1.70	67	たらい状			150			不明	
(78)SK1412	15U-94	円形	1.30×-	45	たらい状		SK1372	200	E3古		不明	
(78)SK1413	16U-18	円形	2.62×-	30	たらい状		SK1398	300	E1~E2		不明	
(78)SK1414	15V-75	楕円形	1.55×0.95	26	たらい状	2	S1056	1,480	E1古, E2-3	土鏃1	不明	
(78)SK1417	17T-04	円形	1.96×1.75 (2.32)×(2.44)	94	袋状			12,688	勝, E1古	石鏃1, 磨石1	1 a期	
(78)SK1418	15U-88	円形	2.21×1.99	43	たらい状	5	SK1381	500	E1, E2		不明	
(78)SK1419	15U-47	円形	-	30	たらい状	1	SK1367, SK1408	150			不明	
(78)SK1420	15U-47	円形	1.81×-	26	たらい状	1	SK1408	450	E3新, E4		不明	
(78)SK1421	15U-13	円形	2.18×1.88	12	たらい状	3		1,280	E2, E3古		不明	
(78)SK1422	18T-13	円形	1.85×1.60 (1.98)×(2.04)	87	袋状			6,960	E1古, E2		不明	
(78)SK1423	15V-12	円形	1.60×-	30	たらい状	2	SK858	200	E2-3, E3		不明	
(78)SK1424	17T-94	円形	2.04×1.94	86	たらい状	2		3,180	E1, E2	蔵石1	不明	
(78)SK1425	18T-40	楕円形	2.04×1.16	185				250	E2		不明	陥穴
(78)SK1426	15U-35	円形	1.82×1.72	34	たらい状	1	SK1316, SK1427	1,250	E1古, E2		不明	
(78)SK1427	15U-36	円形	1.64×-	22	たらい状	3	SK1228, SK1229, SK1426	250	E1	鞍形1	不明	
(78)SK1428	17T-16	円形	0.90×-	38	たらい状		SK1400	0			不明	
(78)SK1429	15U-36	円形	2.49×2.20	58	たらい状	2	SK1433	760	E2, E3, E3中		不明	
(78)SK1430	15U-41	円形	2.14×1.98	64	たらい状	3	SK1448A, SK1448B, SK1466, SK1477	2,880	阿IV, E1~E2		不明	
(78)SK1431	15U-74	円形	2.28×2.08	68	たらい状	3	SK1440→	3,200	E2~E3古	土鏃1, 石核1, 磨斧1	不明	
(78)SK1432	15V-72	円形	1.84×1.68	30	たらい状			1,280	E2, 曹利	石皿1	3 a期	
(78)SK1433	15U-36	円形	1.96×-	54	たらい状	2	SK1429	420	E2		不明	
(78)SK1434	15U-42	円形	1.30×-	30	たらい状		SK1435	120			不明	
(78)SK1435	15U-42	円形	2.42×-	33	たらい状	2	SK1434, SK1436	1,560	E1古, E1~E2, E3古, E3中	石鏃1	不明	
(78)SK1436	15U-42	円形	1.00×0.81	41	たらい状		SK1435	0			不明	
(78)SK1437	15V-73	円形	2.26×2.24	22	たらい状	5		2,510	E2-3, E3		2 c期	
(78)SK1438	19S-33	円形	1.37×1.30	62	たらい状			650	E2, E3		不明	
(78)SK1439	19S-32	円形	1.17×1.00	36	たらい状			120	E1, E4		不明	
(78)SK1440	15U-74	円形	2.18×2.03	32	たらい状	1	→SK1431	1,160	E1古	石核1	1 a期	
(78)SK1441	15U-75	円形	2.47×-	14	たらい状	4	S1060, SK1194, SK1210	530	E		不明	
(78)SK1442	14V-81	円形	0.87×0.80	82	たらい状		SK1338	1,200	E3古, 称	石鏃1, 磨石1	不明	
(78)SK1443	14V-81	円形	1.47×-	36	たらい状		SK1444, SK1462	6,190	E2, E3中~E3新, 称, 堀1	磨石1	不明	
(78)SK1444	14V-81	円形	-	33	たらい状		SK1396, SK1450	300	E1古, 称	石鏃1	不明	
(78)SK1446	15V-70	円形	1.63×1.44	60	たらい状			800	E1~E2, E2~3		不明	
(78)SK1447	15T-69	円形	2.30×2.20	52	たらい状	2		5,970	E1古, E1新, E2-3, E3古	石鏃未1	不明	
(78)SK1448A	15U-41	円形	1.98×-	36	たらい状	5	SK1430, SK1448B, SK1449	1,480	E2, E3新		不明	
(78)SK1448B	15U-41	円形	-	23	たらい状	1	SK1430, SK1448A, SK1477				不明	
(78)SK1449	15U-31	円形	-	25	たらい状	3	SK1480, SK1448A	800	E1, E2古, E3古	300 堀1	不明	
(78)SK1450	14V-81	円形	0.73×0.70	196	たらい状		SK1396	300	堀1		不明	
(78)SK1451	14V-80	円形	0.91×0.85	226	たらい状		SK1396	80			不明	
(78)SK1452	19S-23	円形	2.20×2.13	58	たらい状	4		2,200	E3新		不明	4 d期
(78)SK1453	15U-72	円形	1.40×-	20	たらい状		SK1212	310	E1~E2, E4		不明	
(78)SK1454	15U-53	円形	1.90×1.79	35	たらい状	2	SK1465	810	E1, E2, E3		不明	

遺構No.	位置	平面形	規模(m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1455	16V-01	円形	2.10×2.07	20	たらい状	2	SK1471	150E			不明	
(78)SK1458	19S-15	円形	2.65×-	49	たらい状			0			不明	
(78)SK1461	19U-72	円形	1.52×1.36	32	たらい状	2		1,150E1, E2, E3古			不明	
(78)SK1462	14V-81	楕円形	1.50×1.35	42	たらい状		SK1442, SK1443	50E1~E2, E3			不明	
(78)SK1463	14V-80	円形	(2.25)×-	44	たらい状		SK1395, SK1464	1,400E1古, E1~E2, E4			不明	
(78)SK1464	14V-80	円形	1.60×1.56	38	たらい状		SK1463	1,380E1, E2-3~E3古, 称			不明	
(78)SK1465	15U-54	円形	(1.81)×1.78 1.78×(1.76)	45	袋状	3	SK1454	1,000E2, E3古, E3中	打斧2		不明	
(78)SK1466	15U-31	円形	1.80×-	44	たらい状		SK1430	310E3			不明	
(78)SK1467	15U-53	円形	1.50×1.50	58	たらい状		SK1250, SK1468	500E1~E2, E3古			不明	
(78)SK1468	15U-53	円形	1.70×-	24	たらい状	1	SK1250, SK1467	570E2, E3古			不明	
(78)SK1470	15T-49	円形	2.40×2.27	38	たらい状			650E2, E3古			不明	
(78)SK1471	16V-01	円形	1.00×-	38	たらい状	1	SK1455	0			不明	
(78)SK1472	15U-51	円形	1.18×1.10	39	たらい状			1,420E2			不明	
(78)SK1473	15U-44	円形	1.27×-	28	たらい状		SK1358, SK1373	0			不明	
(78)SK1474	15U-96	円形	2.06×1.78	32	たらい状		SK1475	3,055E1~2			1~2期	
(78)SK1475	15U-96	円形	1.40×-	24	たらい状	1	SK1474, SK1476	50E3古			不明	
(78)SK1476	16U-06	円形	1.98×1.80	20	たらい状		SK1475	50阿1			不明	
(78)SK1477	15U-41	円形	2.60×-	24	たらい状	1	SK1430, SK1448B	2,080E1, E2		垂飾1	不明	
(78)SK1478	15T-59	円形	2.10×1.80	32	たらい状	2		1,030E1~E2, E3古		土錘1	不明	
(78)SK1479	16U-05	円形	1.72×1.44	50	たらい状			310E3新		石鏃未1	不明	
(78)SK1480	15U-31	円形	1.61×-	26	たらい状	2	SK1377, SK1449	1,070E2新, E3古			不明	
(78)SK1481	15T-59	円形	1.40×1.36	30	たらい状			100E3古			不明	
(78)SK1482	15T-49	円形	1.65×-	54	たらい状	2	SK1483→	1,170E2, E3, 称			5期	
(78)SK1483	15T-49	円形	1.70×-	54	たらい状	2	→SK1482	1,350E1, E3, 称			1期	
(78)SK1484	16U-16	円形	3.12×3.00	112	袋状	1	SK1503	40			不明	
(78)SK1485	16U-16	円形	2.04×1.82	36	たらい状	1		3,010勝, E2新			2b期	
(78)SK1486	15U-10	円形	1.36×1.25	26	たらい状		SI058	450阿IV, E1~E2, E3古			不明	
(78)SK1487	15T-72	円形	1.08×0.96	48	たらい状			0			不明	
(78)SK1488	15V-13	円形	1.70×-	62	たらい状	2	SK1489, SK1512	2,820勝, E1古, E3中, E4			不明	
(78)SK1489	15V-12	円形	-	34	たらい状		SK1488	160E3古			不明	
(78)SK1490	15V-02	円形	-	31	たらい状	3	SK1491, SK1518	0			不明	
(78)SK1491	15V-02	円形	-	30	たらい状	1	SK1490, SK1518	3,400E1古, E3古, E3新		石皿1, 石鏃未1	不明	
(78)SK1492	15V-02	円形	2.32×1.80	78	たらい状	2	SK992	5,050E1~E2, E3古, E3中		土錘1	不明	
(78)SK1493	15T-48	円形	1.84×1.70	32	たらい状	1		400E1, E2			不明	
(78)SK1494	15T-27	円形	2.11×1.82	66	たらい状	1	SK1504	910阿IV, E1, E2, E3			不明	
(78)SK1495	15T-17	円形	1.95×-	18	たらい状	3	SX048	120E2			不明	
(78)SK1496	15T-28	円形	1.95×-	21	たらい状	6	SI040, SK1505	2,310E1, E2, E3		磨斧1	不明	
(78)SK1498	16U-49	円形	2.47×2.39	58	たらい状	4		0			不明	
(78)SK1500	16U-49	円形	0.91×0.88	50	たらい状			50E3古			不明	
(78)SK1501	16U-49	円形	1.67×-	32	たらい状			10			不明	
(78)SK1503	16U-06	円形	2.10×1.99	18	たらい状		SK1484	90E1古, E2			不明	
(78)SK1504	15T-26	円形	0.83×-	24	たらい状	1	SK1494	150E3古			不明	
(78)SK1505	15T-28	円形	1.73×1.32	51	たらい状	3	S1040→, SK1496	290E3古			不明	
(78)SK1506	15V-22	円形	0.85×-	37	たらい状			350E3古			不明	
(78)SK1507	15V-22	楕円形	0.92×0.62	21	皿状		SK1533	5,130阿IV, E1古, E2, E3古, 曾利		円板1, 剥片3	不明	
(78)SK1508	15V-22	円形	1.95×-	52	たらい状	1	SK1528	4,050E1~E2, E3古, E3新, 堀1		磨斧1	3c期	
(78)SK1510	15V-31	円形	1.08×1.06	34	たらい状			700E3古			不明	

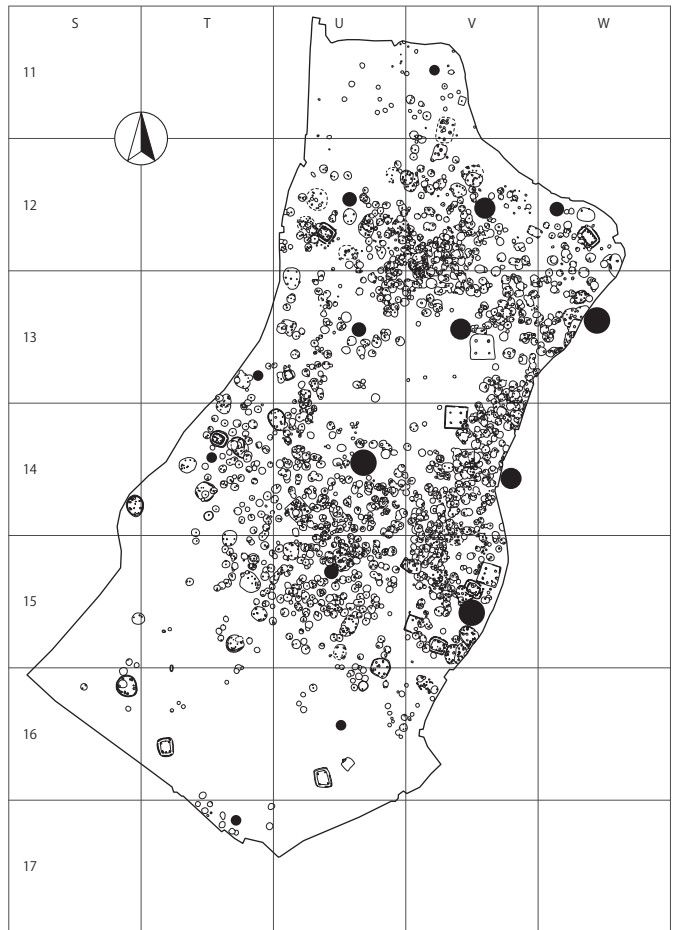


遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1511	15T-49	円形	1.79×1.69	33	たらい状	3		3,510	E2~E2-3	土錘1, 磨石1	不明	
(78)SK1512	15V-12	円形	2.00×-	63	たらい状	2	SK1488, SK1513A, SK1522	6,850	E1, E2, E2-3, E3古	土錘1, 円板1, 磨石1, 打斧2	不明	
(78)SK1513A	15V-12	円形	1.50×-	63	たらい状		SK1512, SK1513B, SK1528	2,400	E3新, E4, 称, 堀1	磨石1, 石鱗1	不明	
(78)SK1513B	15V-12	楕円形	0.76×-	-	たらい状		SK1513A, SK1528				不明	
(78)SK1514	15U-82	円形	2.70×2.58	58	たらい状	2		6,400	E1~E2, E2-3, E3古, E3中	磨石1	不明	
(78)SK1515	15U-72	円形	2.00×1.83	48	たらい状			420	E2~E3		不明	
(78)SK1516	15U-81	円形	2.77×2.68	67	たらい状	2		6,650	E2, E2-3		不明	
(78)SK1517	15U-71	円形	2.04×1.98	52	たらい状	4		2,950	E1, E2古	円板1	2 a期	
(78)SK1518	15V-02	円形	1.28×1.14	48	たらい状			3,640	阿II, E3古, 曾利		3 a期	
(78)SK1519	16U-38	円形	0.79×0.66	26	たらい状		SK1490, SK1491	10			不明	
(78)SK1520	15U-25	円形	2.45×2.20	29	たらい状		→SI059, SK1244	100	E2, E3古	原石1	3 a期	
(78)SK1521	15V-43	円形	2.12×-	38	たらい状	4	SK1167, SK1535, SK1536	2,460	E1, E2, E3古, E3中, 曾利	土錘1, 打斧1, 原石1	不明	
(78)SK1522	15V-13	円形	0.72×-	53	ピット状		SK1512	80	阿I, E2~3		不明	
(78)SK1523	15U-96	円形	1.85×1.79	36	たらい状	2		800	E1~E2		不明	
(78)SK1524	15V-31	円形	1.20×1.05	48	たらい状		SK1526, SK1532	900	E3古, E3新, E4		不明	
(78)SK1525	15V-21	円形	1.61×-	24	たらい状		SK1526, SK1527, SK1532	500	阿IV, E1, E3古	磨石1	不明	
(78)SK1526	15V-31	円形	-	37	たらい状	1	SK764, SK1524, SK1525, SK1527, SK1542	280	E3古		不明	
(78)SK1527	15V-21	円形	0.66×0.52	37	ピット状		SK1525, SK1526	10			不明	
(78)SK1528	15V-22	円形	1.55×1.27	136	たらい状		SK1508, SK1513A, SK1513B	8,580	E2-3, E3古, 曾利, E3新, E4, 称, 堀1	円板2, 石鱗1, 原石2	3 c期	
(78)SK1529	16U-38	円形	1.30×1.18	22	たらい状			10			不明	
(78)SK1530	16T-32	円形	1.03×1.00	16	たらい状	1		200	E2, E4		不明	
(78)SK1531	16U-48	円形	1.13×1.12	49	たらい状			0			不明	
(78)SK1532	15V-30	円形	1.90×-	20	たらい状	3	SI042, SK1524, SK1525	300	E1~E2		不明	
(78)SK1533	15V-22	円形	0.65×0.57	62	ピット状		SK1507	0			不明	
(78)SK1534	16U-59	円形	1.13×0.90	82	たらい状			200	E3		不明	
(78)SK1535	15V-43	円形	2.00×-	33	たらい状	3	SK1521, SK1536	1,050	阿IV, E1~E2, E3古	打斧1, 原石1	不明	
(78)SK1536	15V-43	円形	-	31	たらい状		SK1521, SK1535, SK1537, SK1538	2,680	E2~E2-3, E3古	石椀1	不明	
(78)SK1537	15V-42	円形	1.94×-	38	たらい状	6	SK1536, SK1538	1,430	E2, E3		不明	
(78)SK1538	15V-42	円形	0.74×0.72	55	たらい状		SK1536, SK1537	470	E3古		不明	
(78)SK1539	15U-94	円形	0.65×0.54	49	たらい状			450			不明	
(78)SK1540	16U-28	円形	1.72×1.66	44	たらい状			1,250	E3古		不明	
(78)SK1542	15V-31	円形	0.71×0.61	70	たらい状		SK1526	0			不明	
(78)SK1543	15U-14	楕円形	1.72×1.55	54	たらい状		SK1149, SK1150	520	E2, E3, E4		不明	
(78)SK1544	15V-33	円形	1.40×-	32	たらい状		SK1163	80	E3古		不明	
(78)SK1545	14V-26	円形	1.28×1.04	53	たらい状		SK1547	2,450	勝, E1, E3新, E4, 堀1	石皿1, 脛石1	不明	
(78)SK1546	16V-30	楕円形	1.53×1.21	40	たらい状	1		150	曾利		不明	
(78)SK1547	14V-36	円形	0.62×0.63	70	たらい状		SK1545	260	E1~E2, E3, 称, 堀1		不明	
(78)SK1548	16V-30	円形	1.23×1.12	52	たらい状			360			不明	
(78)SK1549	14V-24	円形	2.55×-	48	たらい状	2	SK1550	7,450	阿IV, E1, E2, E3古~E3中, 曾利, 称, 堀1	原石1	不明	
(78)SK1550	14V-24	円形	2.92×2.88 (2.98)×(2.98)	104	袋状	4	SK1549, SK1551, SK1552, SK1560	18,590	阿IV, 勝, E1古, E3古, 曾利	土錘1, 磨石2	1 a期	
(78)SK1551	14V-24	円形	2.00×-	34	たらい状	2	SK1550, SK1562	3,460	勝, E3古, 曾利	円板1	不明	
(78)SK1552	14V-24	円形	1.26×-	36	たらい状		SK1550	1,000	E3古~E3中, 曾利		不明	
(78)SK1553A	14V-14	円形	1.64×-	86	たらい状	1	SK1553B	2,850	E2-3, E3古, 曾利	楕形1	2 c期	
(78)SK1553B	14V-14	円形	1.20×0.72	54	皿状	1	SK1553A				不明	
(78)SK1554	13V-36	円形	1.98×-	38	たらい状	3	SK738	2,400	E2, E3, E4, 堀1, 2, 加B		不明	
(78)SK1555	13V-46	円形	1.20×1.06	59	たらい状			2,150	E3, E4, 堀1, 2	打斧1	不明	
(78)SK1556	13V-47	円形	1.74×1.74	46	たらい状			2,300	E2, E3古, E3-4, E4, 称	剥片5	不明	

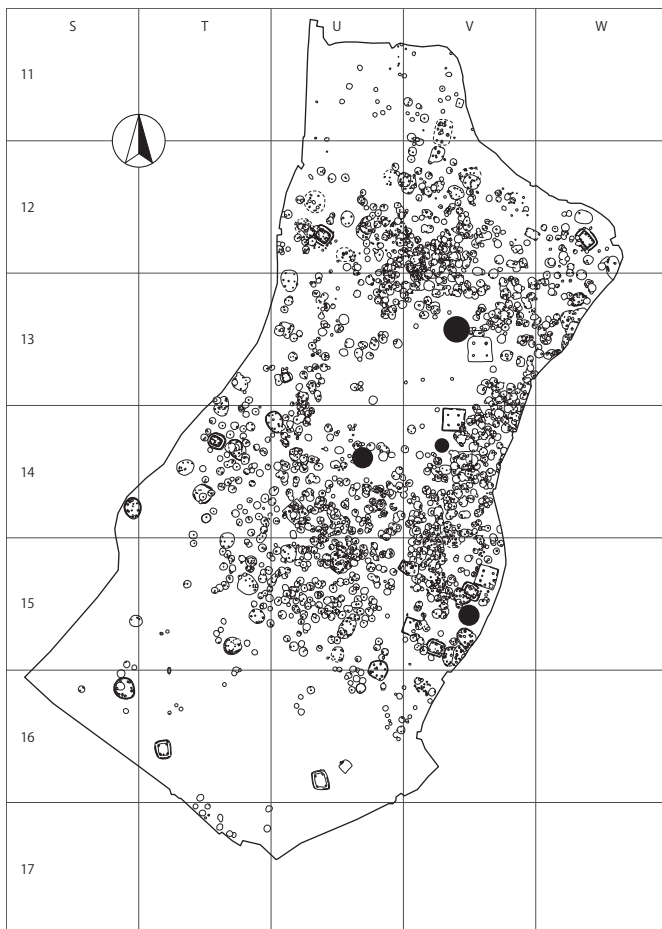
遺構No.	位置	平面形	規模 (m) 長径×短径	深さ (cm)	断面形	ピット 数	重複	土器出土量 (g)	出土土器の時期	その他の主な遺物	所属時期	備考
(78)SK1557	13V-47	円形	2.26×2.20	37	たらい状	1	SK1558	2,650	E1, E2, E3	石鏃未1, 敲石1	不明	
(78)SK1558	13V-37	円形	3.36×-	35	たらい状	3	SK684, SK731, SK1557	1,380	Ⅳ, E1~E2, E3新~E3-4	剥片3	不明	
(78)SK1560	14V-24	円形	0.76×0.64	126	たらい状		SK1550, SK1561	50		打斧1	不明	
(78)SK1561	14V-24	円形	0.54×-	98	たらい状		SK1560	50			不明	
(78)SK1562	14V-24	円形	0.80×-	28	たらい状		SK1551	20	堀1		不明	
(78)SK1563A	13V-27	円形	3.64×-	55	たらい状	1	SK1563B	2,760	E2-3, E3		2c期	
(78)SK1563B	13V-27	円形	3.68×-	-	たらい状	1	SK1563A					
(78)SK2000	12U-77	円形	2.37×1.92 2.07×(2.02)	52	袋状	1	S1014	0			不明	
(78)SK2001	12V-10	円形	2.70×2.48	50	たらい状	2	→SK006	1,360	<b>E2-3, E3中</b>	石鏃3, 石鏃未3, 磨石2	3b期	
(78)SK2004	12W-95	円形	-	-	たらい状		S1017, SK030, SK031				不明	
(78)SK2005	13V-08	円形	1.72×-	-	たらい状		SK543, SK544, SK606				不明	
(78)SK2006	13V-49	円形	-	-	-	1	SK643, SK665, SK673				不明	
(78)SK2007	13V-87	円形	-	-	-		SK826, SK856, SK871				不明	
(78)SK2008	13W-23	円形	0.56×0.52	40	たらい状		S1004				不明	
(78)SK2009	14U-42	円形	1.40×-	62	たらい状		SK605				不明	
(78)SK2010	14U-73	円形	2.19×-	48	たらい状	2	SK967, SK1017				不明	
(78)SK2011	15T-18	円形	2.00×1.82	40	たらい状	5	→S1040				不明	
(78)SK2012	15V-22	円形	0.84×0.72	-	たらい状						不明	
(78)SK2013	15U-15	円形	0.77×0.45	71	たらい状		→S1059	8,730	E2-3	磨石1	2c期	埋蔵



第61図1 グリッド別土器出土量 (加曽利E前半)



第61図2 グリッド別土器出土量 (加曽利E後半)



第61図3 グリッド別土器出土量 (後期)

第8表 グリッド別縄文土器出土量

グリッド	重量 (g)	加E前半	加E後半	後期
11U	4,440	-	-	-
11V	11,900	4,750	3,550	50
12T	130	-	15	-
12U	48,100	5,350	6,600	200
12V	130,725	13,140	13,800	990
12W	55,500	7,500	7,450	160
13T	9,200	650	1,250	125
13U	94,150	7,630	8,330	3,860
13V	228,110	6,100	18,600	20,620
13W	69,300	2,500	22,400	850
14T	23,880	3,820	1,650	310
14U	209,385	16,500	20,850	18,920
14V	179,060	19,530	19,925	7,580
15T	12,650	1,250	730	40
15U	50,000	6,250	7,400	350
15V	191,035	7,900	25,920	10,560
16T	4,670	260	420	-
16U	12,185	950	1,500	350
16V	1,030	-	-	-
16R?	850	210	100	-
16S	540	150	20	-
17T	42,715	4,100	4,200	300
17U	1,200	940	10	-
18T	6,900	1,100	70	30
19R	400	70	-	-
19S	765	-	-	-
20P	420	50	125	-
20Q	40	-	-	-
	1,389,280	110,700	164,915	65,295

## 第5節 土器 (第62～105図、図版58～124、附図1～8)

出土土器の総重量は約7tとなった。内訳は住居跡1,041kg、炉跡88kg、土坑4,503kg、遺構外1,389kgである。第1章第3節2の時期区分にしたがって、時期別に概要を記す。

### 前1期

集落が構成されない草創期後半から阿玉台Ⅱ式までを一括して前1期とした。

撚糸文土器は各所から散発的に出土した(図版124)。井草Ⅰ式が多く、同Ⅱ式以降量が少なくなる傾向が認められ、遺構も認められない。以降は田戸下層Ⅰ点のみで、中期中葉の阿玉台式までの間の土器、遺構ともまったく検出されていない。

阿玉台式前半はⅠa式・Ⅰb式ともごくわずかである。阿玉台Ⅱ式はこの時期唯一の住居跡であるSI100からややまとまって出土している(図版117)。SK275は、量は少ないが阿玉台Ⅱ式のみが出土しており、当該期としてよいと思われる。第72図52はSI100から出土した完形の鉢形土器である。

### Ⅰ期

阿玉台Ⅲ式、Ⅳ式から加曽利Ⅰ式までをⅠ期とした。Ⅰ期の出土土器の大半はⅠa期に属する。

#### Ⅰa期

多量かつ多種類の土器が出土している。阿玉台Ⅲ式はSK759-1(第90図50)の1点のみが完形土器である。Ⅱ式よりも量的に増加しているが、一括土器として他に提示できるのはSK279-2(図版75)程度である。

阿玉台Ⅳ式は隆起線区画に沈線を添え、山形板状の大型突起を持つ典型例としてSI022-5(第65図17)、SK107-3・4(第79図11・12)、SK731-1(第89図49)、SK884-1(第92図59)のほか、SI044-3(図版63)、SI110-(2)・(4)(図版119)、SK449-2(図版79)、SK659-2(図版85)、SK918-1(図版90)がある。これらと同様な大型突起を持つものの縄文のみを施すSK304-1(第80図18)、SK1046-1(第97図73)や撚糸文のみを施すSK569-1(第85図36)がある。SK758-1(第90図51)は平縁系の同種の土器で、口縁に大木式系統の蛇行貼付文が付く。SI022-6(第65図18)も平縁で直線的な区画文を持つ。SK597-1(第86図37)は口縁突起の形状や器形は勝坂式、口縁部の縄文がかかった隆帯区画は阿玉台式に近く、胴部文様は大木式系という多様な要素を持っていると考えられる。

勝坂式は大部分が末期に位置付けされるが、典型的ないしはこれに近似する土器としてはSI022-4(第65図16)、SK396-1(第81図23)、SK869-1(第92図58)、SK1550-1(第104図104)があげられよう。在地化したものとしてはSK107-2(第79図10)がある。SK594-1(第84図33)、SK942-1(第95図66)、SK1417-2(第102図97)は最末期と思われ、いわゆる中峠式や加曽利Ⅰ式古段階にきわめて近い。SK135-1(第80図16)は「中峠6次1住型深鉢に近似する勝坂式」であろう。

中峠0地点型深鉢としてはSK1107-4(第99図81)、SK1352-1(第101図92)、SK1417-1(第102図96)があげられるが、地域差によるものか、やや異なる。第99図81は口縁突起が勝坂式的で、下部区画隆帯は大木式系統のたが状隆帯となり、第102図96は口縁直下の交互刺突文が一部に施されるのみとなる。SK1107-5(第99図82)は口縁下の交互刺突による杵状文の下に背割れ隆線による蕨状文の先端が胴部に垂下している。SK031-1(第77図4)も器形は異なるが同様の垂下する背割れ隆帯が付く。SI022-7・8(第65図19・20)、SI030-2(第67図27)は中峠0地点型深鉢近似の土器である。どちらも口縁突起は在地勝坂

式的である。SI030-3（第67図28）は台耕地34号住型深鉢である。

加曽利E1式古段階のうち、口縁部文様帯に集合沈線を充填しない後代の加曽利E式の直系に当たる類型としてはSI002-2（第62図2）、SI014-1（第62図4）、SI022-11（第66図23）、SK023-1（第77図1）、SK096-1（第78図8）があげられよう。第62図2は口縁が大木8a式的である。第62図4は口縁直下に刻みが巡っている。第66図23は本類型の典型例で、第77図1は地文が撚糸文で西関東的であるが、口縁突起やクランク文は在地のものである。SI022-10（第66図22）、SI030-5（第67図30）、SK031-2（第78図5）はこれらとは異なり簡素な文様構成を取るが、1a期の他の種類の土器とともに出土している。

口縁部文様帯に集合沈線を充填する中峠6次1住型深鉢及び近縁の土器は多く出土していて、かつ様々な要素が絡んでいる。「中峠6次1住型深鉢」そのものに相当する例はSI022-9（第66図21）とSK1107-2（第98図79）と思われるが、第66図21は同型にはないとされているクランク文を施し、第98図79は横S字文に小波状貼付文が付く。「中峠6次1住型深鉢類似」にはSI002-1（第62図1）、SK855-1（第90図53）、SK835-1（第92図57）、SK1107-1（第98図78）、14U-1（第105図1）が相当しよう。第90図53は大型で特異な口縁突起を持ち、主文様はクランク文に近い。第92図57は主文様である蕨状文に刻みが付き、口縁部文様帯の地文に縄文を施す。また、口縁部文様帯の下半には胴部と同様の3条1単位の懸垂文が付く。第98図78は勝坂式的な大型の口縁突起が付く、胴部は4条1単位の大木式系の文様を施す。第105図1はクランク文に刻みが付き、胴部文様は3条1単位の懸垂文となる。「中峠6次1住型深鉢の影響を受けた加曽利E1式」としてはSI022-3（第64図15）、SK454-1（第83図27）、SK586-1（第85図34）、SK921-1（第94図64）があげられよう。第64図15はクランク文に刻みが付き、口縁部文様帯の地文に縄文を施す。第85図34は大型の口縁突起を持ち、主文様は大木式系のたが状隆帯を用いている。第94図64も同様の隆帯によるクランク文を施すが、口縁部文様帯の上下を隆帯で画していないため、加曽利E式らしく見えない。

大木8a式に近い土器にはSI111-2（第73図58）、SK049-1（第78図7）がある。どちらも口縁部にたが状隆帯による大振りな文様を施す。これらに似て、たが状隆帯を施すSI022-1・2（第64図13・14）は「高根木戸43号住型深鉢」であろう。13・14とも口縁突起は在地の勝坂式である。SI030-1（第67図26）は小型土器で、窓枠状の立体的な区画の内外に押引文を施す。他にSK881-1（第91図56）は多重連弧文土器、SK304-2（第81図19）は北関東系の甕型出器で、頸部と胴部中段に押引文を施す。SI030-6（第68図31）、SI030-11・13（同図36・38）、SI050-1（第71図48）、SI055-1（第71図49）、SK023-3（第77図3）、SK679-1（第88図44）、SK701-1（第88図45）は1a期の半粗製土器であろう。

### 1b期

量的には少ない。SI026-1（図版61）が典型例である。SI004-1（図版58）、SK629-1（第88図42）は背割れ隆帯のクランク文の起点に加曽利E2式古段階の特徴である小型の渦巻文が付くが、全体の文様構成はいまだ複雑化していないことから加曽利E1式新段階と見た。

## 2期

加曽利E2式古段階を2a期、新段階を2b期、2-3中間式を2c期とした。

### 2a期

住居跡の例としては、SI005がよくまとまっている。SI005-1（第62図3）は波状突起頂部につく渦巻文が大木8b式と共通する。図版103の破片も半数は当該期のものである。SI029-2（図版61）、SI030-7（第

68図32)は口縁部文様帯に2本隆線による横に流れる文様に渦巻文や剣先文が絡む当該期の特徴を持つが、西関東ほど頸部無文帯を持つものが必ずしも優勢ではない。土坑出土例では、SK093(図版121)、SK116-1(図版73)、SK134-3(図版73)、SK176-1(第80図17)、SK383-2(図版77)、SK441-1(第83図29)、SK507-1・2(図版80)、SK1219-1(第100図85)、SK1323-1(第102図95)があげられよう。中でも第80図17、第83図29、第102図95は在地製作とは思えない秀麗な作りで、東北南部の大木8b式にきわめて近い。

SK423-1(図版78)は曾利古2式である。伴出する土器がないため、加曾利E1式新段階併行かE2式古段階併行かわからないが、本遺跡唯一の古い曾利式である。千葉県では東京湾岸では見かけるが、古鬼怒湾側では出土量はごく少ない。

## 2b期

2c段階との見分けが難しいが、明らかに連弧文を伴っていない。住居跡の例では好例がない。SI019・SI054の破片資料(図版105・115)が該当すると思われる。土坑出土例も、大部分は断片的なものである。SK1119-1・2(図版95)、SK1226-1(第100図86)、SK1362-1(図版98)、SK1485-1(図版99)が大型破片である。遺構外では14V-1(第105図2)が該当しよう。これらは口縁部文様帯に明瞭な隆線で単位文化した渦巻文と杵状区画文を施すが、SK1119-2を除きみな口縁直下に隆線が一周し、かつ口縁との間に沈線が巡る。これは前代の波状突起頂部に付く小型渦巻を伴う沈線の名残であろう。SK1119-2はこれが見られないが、口縁部渦巻文様は不完全な古い様相を示す。

## 2c期

磨消手法のない、あるいは磨消手法の不十分な連弧文土器を伴う段階である。西関東では連弧文土器が主体となり、前代からの伝統的な加曾利E式の文様構成を持つ土器が一時的にほとんど見られなくなるが、東関東では加曾利E式系の土器が相変わらず主体となる。東関東の当該期の伝統的な加曾利E式はこれまで明確に提示されているものが少ないが、上記連弧文土器と共伴する事例を探せば自ずと明らかになるはずである。

まず、どうみても磨消手法を取っていない連弧文土器と共伴が明らかな、またはきわめて近い例を列挙する。SI016-1(第62図5)の連弧文土器は炉体土器で、明らかに連弧文間を磨消していない。SI016-2(第63図6)はそのすぐ脇の覆土下層から出土した加曾利E式で、口縁部文様帯は簡素な単位文様で、隆線による杵状区画と渦巻文が展開する。以下のものもそうだが、2b期の特徴であった口縁を巡る隆線と口縁直下の沈線はなくなり、単口縁となっている。胴部の懸垂文は磨消されていない。SK494-1の連弧文土器(第83図30)は口縁下の円形刺突列と口縁の間に縄文が残る。伴出した加曾利E式はSK494-2(図版80)で、胴部懸垂文が不完全な磨消となる大型破片である。炉体土器SI106-2(図版64)は3本沈線の連弧文で、沈線間の磨消は不十分である。同じ炉体土器であるSI106-1(第72図55)は加曾利E式で、単位文化した低平な隆線による口縁部文様帯と非磨消の胴部懸垂文を持つ。SX003は3個体の炉体土器からなる。連弧文土器SX003-1(図版65)は3本沈線の連弧文で、連弧文間の磨消は不十分である。共伴した加曾利E式土器は2個体あり、SX003-3(図版65)は明らかに非磨消の懸垂文、SX003-2(図版65)は口縁部文様帯が簡素な単位文で、隆線はのっぺりしており、胴部の懸垂文は磨消が不十分である。

これらに近い例を挙げるとSK029-2(図版69)、SK816-1(第91図54)、SK910-1(第93図60)、SK1086-2(図版94)、SK1149-1(図版95)、SK1162-1(第97図74)、SK1254-1(第101図91)、SK1275-1(第100図88)、SK1437-1(図版99)が該当しよう。SK1162の覆土中に構築されたSX060-1(図版68)は、胴部に磨消懸垂

文を施す加曾利E3式古段階で、SK1162-1・2（図版95）との層位による時期差が確認できる。

磨消手法を取っていない連弧文土器は他にSK861-1（図版90）、SK1198-1（第99図84）、SK1290-1（第100図89）がある。SK1076-1（第97図77）は当該期か3a期か判断が難しい。なお、当該期の口縁部文様帯を持たない類としてSK1162-2（第97図75）や、連弧文土器の口縁部交互刺突文を取り入れたSK406-1（第81図24）がある。SK560-1・2（図版82）は大木式系の土器であるが、8b式から8-9中間式であろう。

### 3期

加曾利E3式古段階を3a期、中段階を3b期、新段階を3c期とした。3a期は遺構、遺物とも最も量が多く、以降は急速に減少していく。

#### 3a期

加曾利E式直系の土器では、口縁部文様帯に低い隆線による渦巻文と杵状区画を持ち、胴部文様帯に幅の狭い磨消懸垂文を施す段階である。西関東では見られない明らかに磨消手法を持った連弧文土器及び曾利古式の系統を引く重弧文や斜行沈線文土器を伴う。SI021の炉体土器1~4（第63・64図9~12）、SI102の炉体土器1・2（第72図53・54）はこうした千葉県内3a期の状況を示す好例である。

この段階の土器が最も出土量が多く、ここでは1点ずつ提示しないが、SI038-1（第70図44）、SX031-1（第75図7）、SK633-1（第86図38）、SK711-1（第89図48）、SK1103-1（第97図76）は古1段階に属しよう。対して、SI021-2・4（第63図10・第64図12）、SX054-1（第76図15）は古2段階と思われる。SK103-1（第79図14）はこの時期の広口壺型の土器である。第63図10・第64図12の2例、第70図44、第86図38、第89図48、第97図76をはじめ、SI105-1（図版64）、SX012-1（第74図1）などは、数単位ある渦巻文のうちの一部ないし全部が円文となるかまたは完全に欠く例が多い。千葉県内あるいは本遺跡の特徴か留意しておく必要がある。

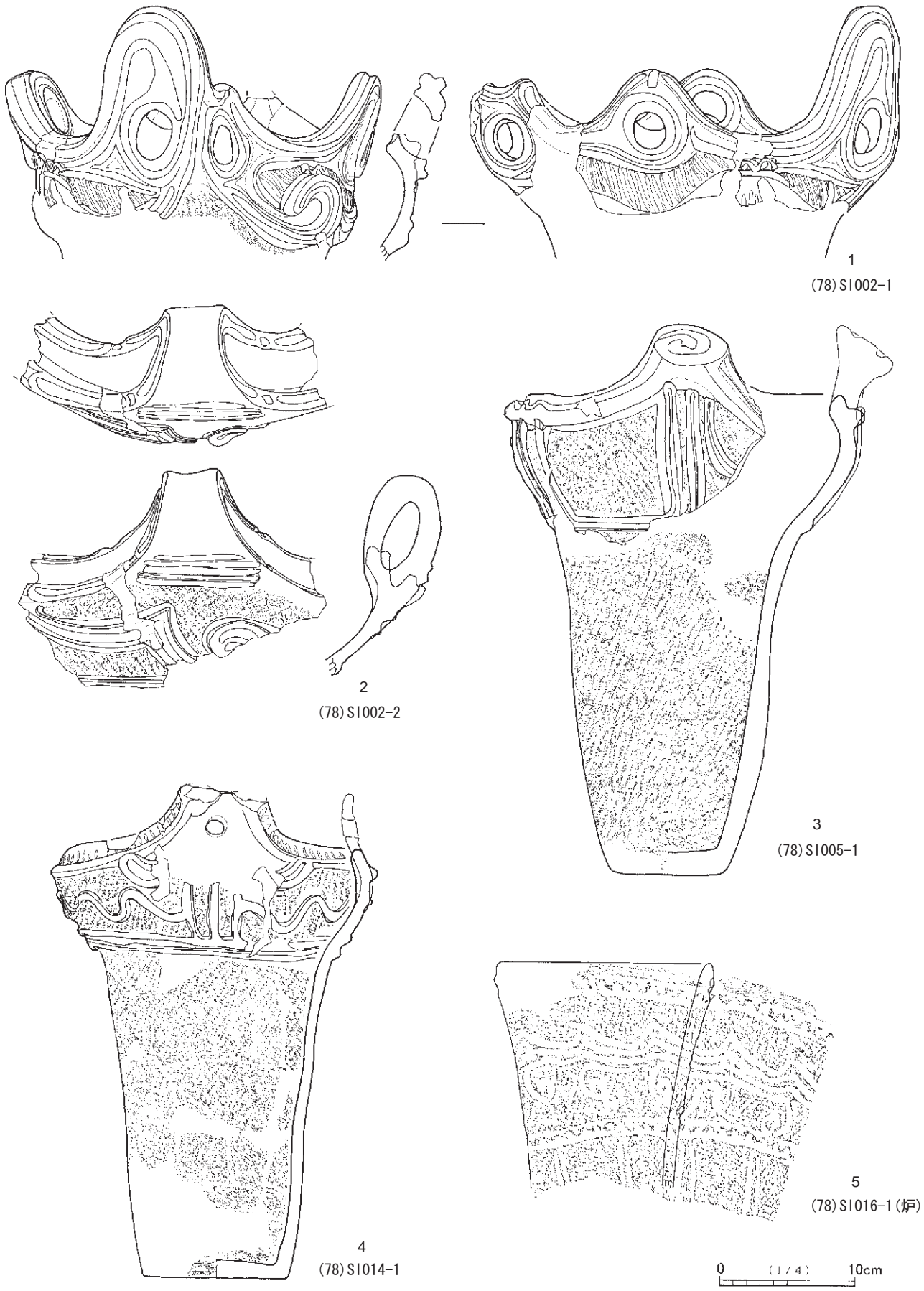
明らかに磨消手法を持った連弧文土器は、前掲以外にSX021-1（第74図4）、SX050-1（第75図11）、SK1034-1（図版93）、SK1055-1（第96図70）がある。なお、この時期の口縁部文様帯を欠く土器として、第96図70に伴って逆U字状ポジ文の土器同図71があり、SK1068ではY字状文を施す土器SK1068-1（図版94）がある。

曾利式系の土器はSI021-1（第63図9）が炉体土器として同図10・11と共伴していた。SK703-2（第89図47）はSK703-1（同図46）と同一土坑から出土しているが、時期は異なるであろう。他にSX049-1（第75図12）、SK207-1（図版74）、SK1432-1（図版98）がある。SK1231-1（図版96）は籠目文、SX053-1（第76図13）は曾利式由来の条線地文を持った西関東系の土器であろう。

#### 3b期

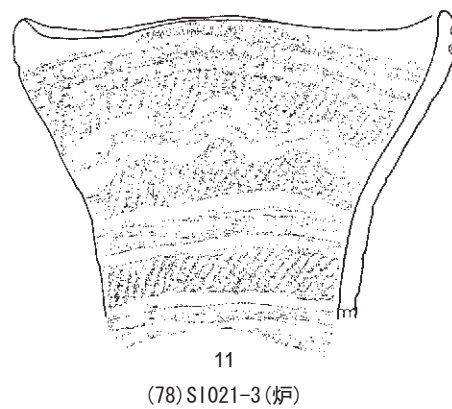
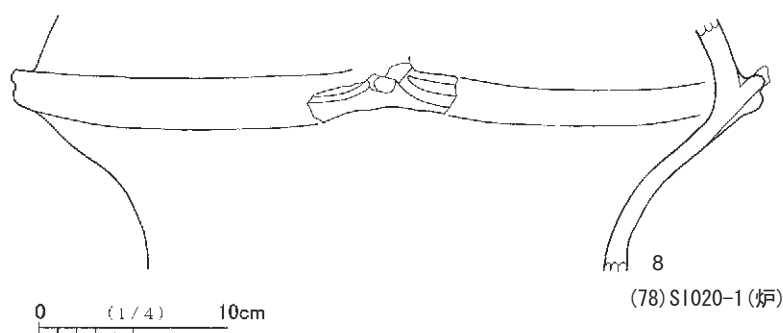
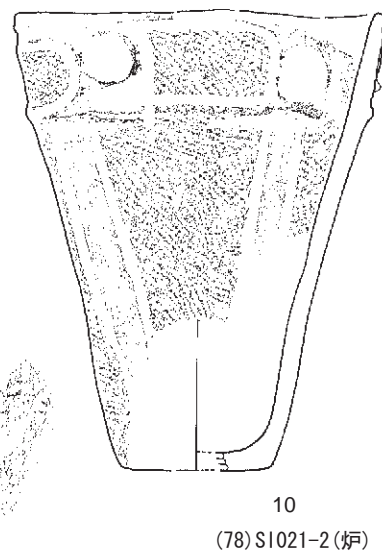
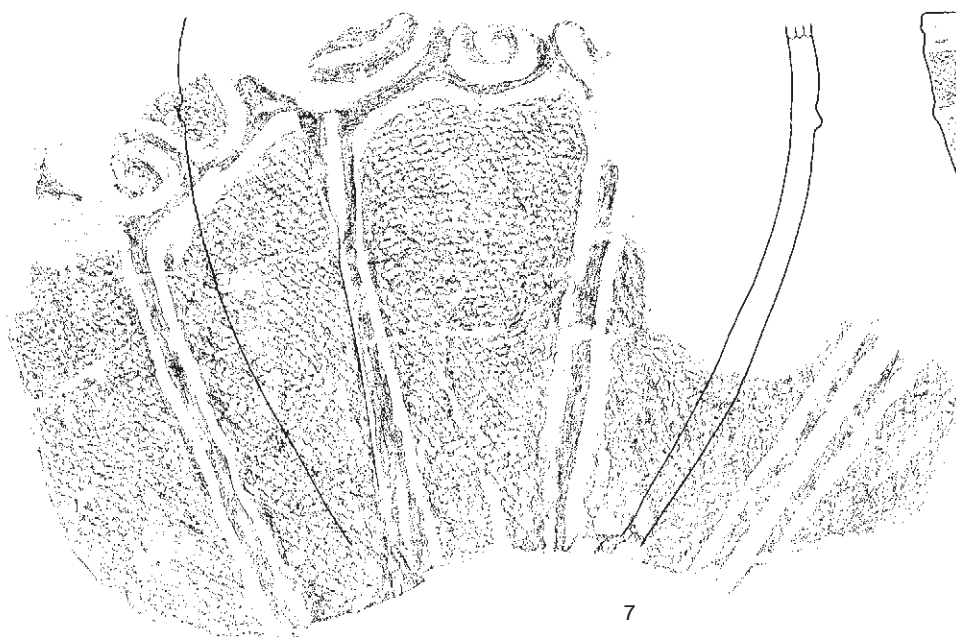
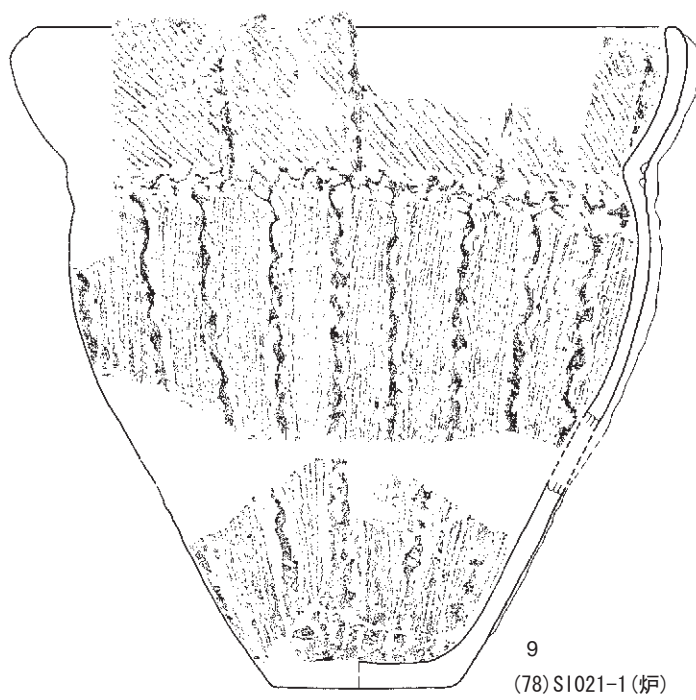
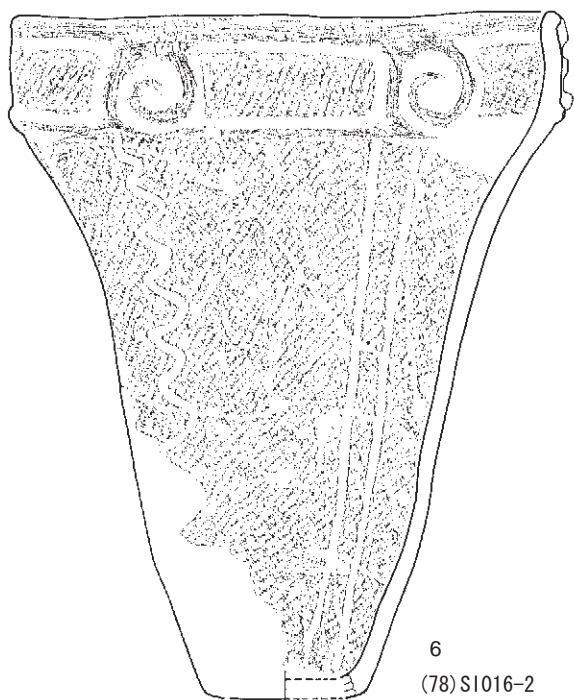
加曾利E式直系の土器では、口縁部の渦巻文の巻きがゆるくなり、胴部磨消懸垂文の磨消部の幅も広がる。連弧文、曾利式系の土器はほとんど姿を消し、替わって吉井城山類や口縁部文様帯を持たない沈線文系の土器が伴うが、西関東ほど多くないのは地域差と考えられる。

SI025-1（第66図24）、SX041-1（第75図9）、SX076-1（第76図16）、SK703-1（第89図46）、SK1220-1（第101図90）が加曾利E式直系の土器である。SI037-2（第70図43）は磨消懸垂文同士が連結し、H字状ネガ文となる。口縁部文様帯では渦巻文はなく、隆線による円文とノ字文に退化している。SI059-2（第71図51）は広口壺形の土器で、3a期としたSK1055-2（第96図71）と同じ刺突文列と逆U字ポジ文を施すが、



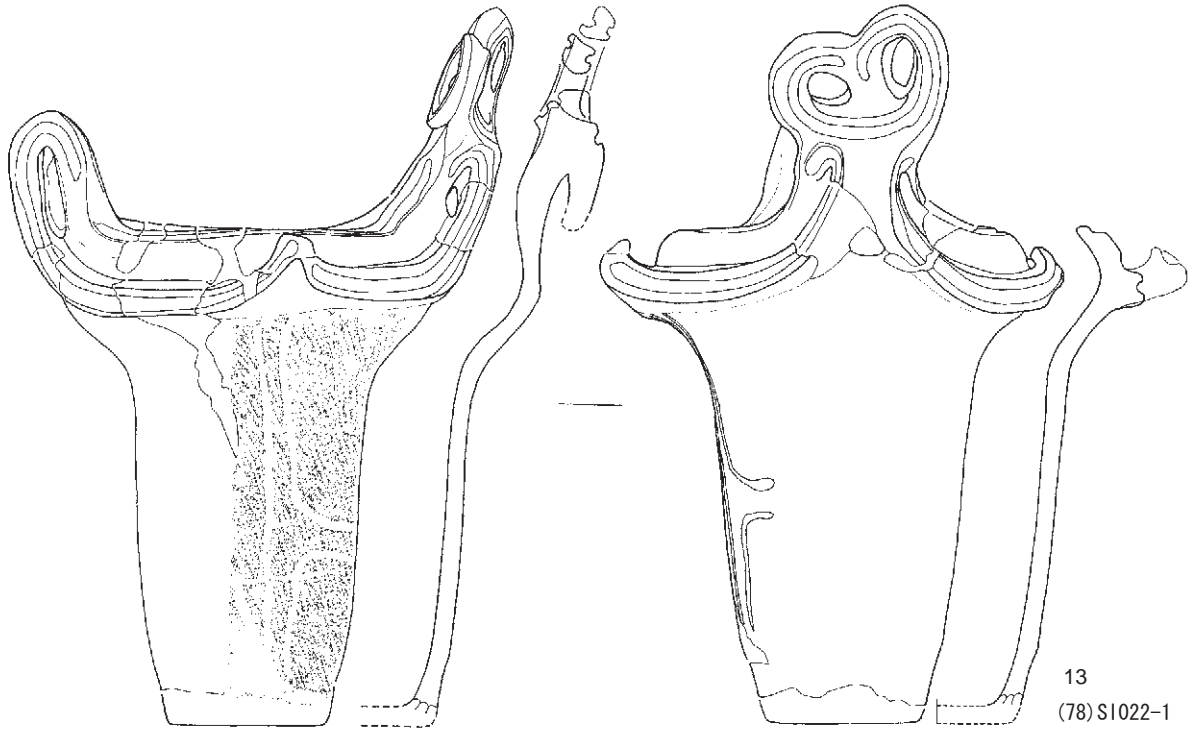
第62図 縄文時代住居跡出土土器 (1)





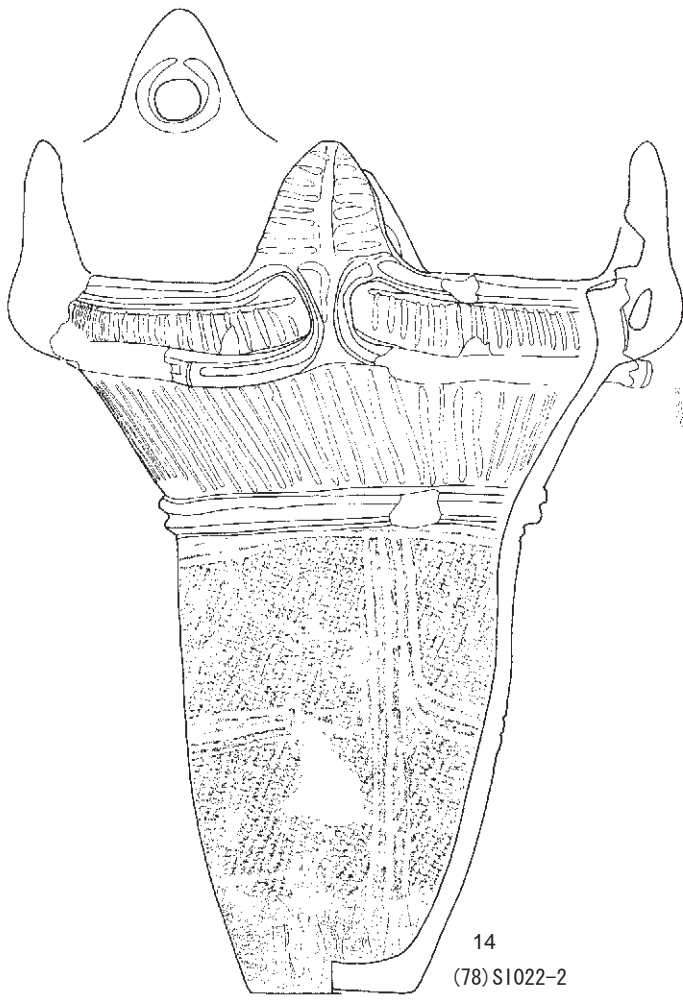
0 (1/4) 10cm

第63図 縄文時代住居跡出土土器 (2)

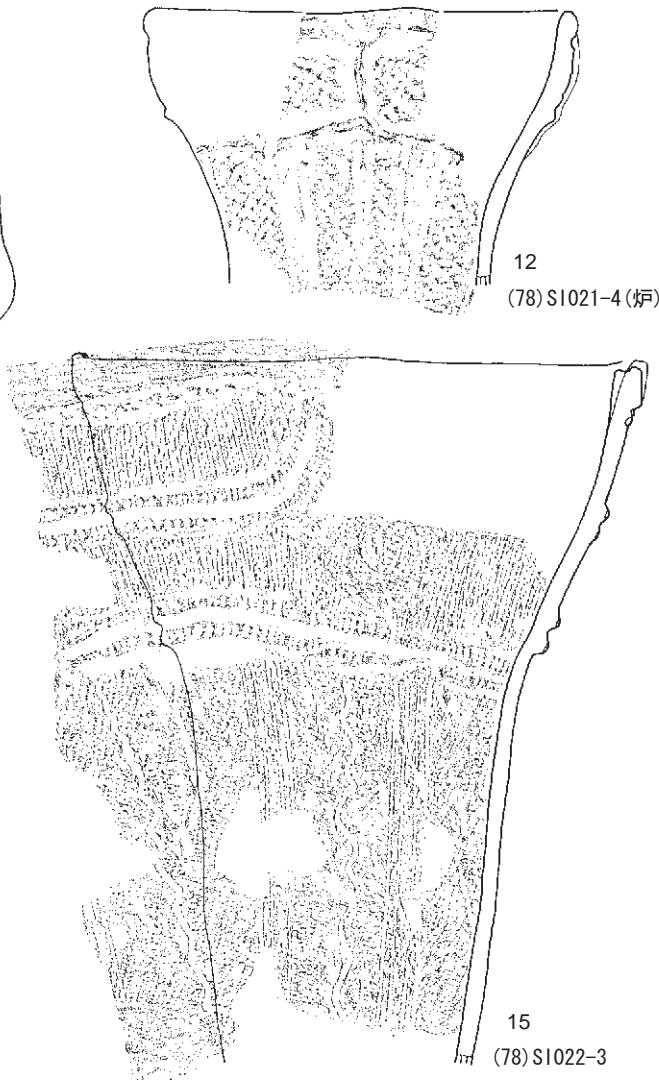


13  
(78) S1022-1

12  
(78) S1021-4 (炉)



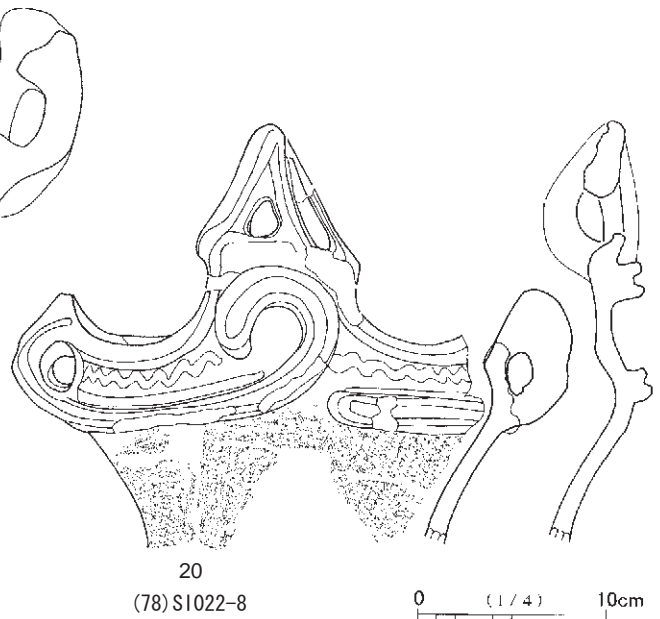
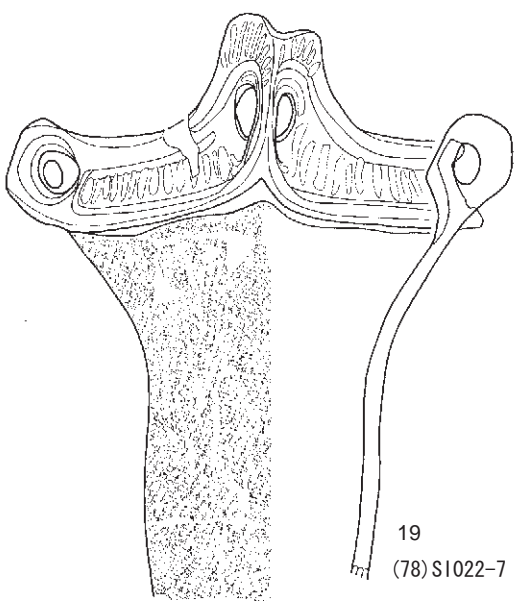
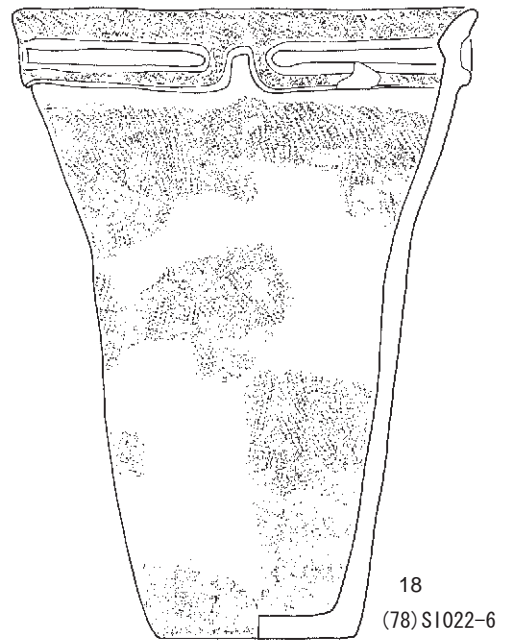
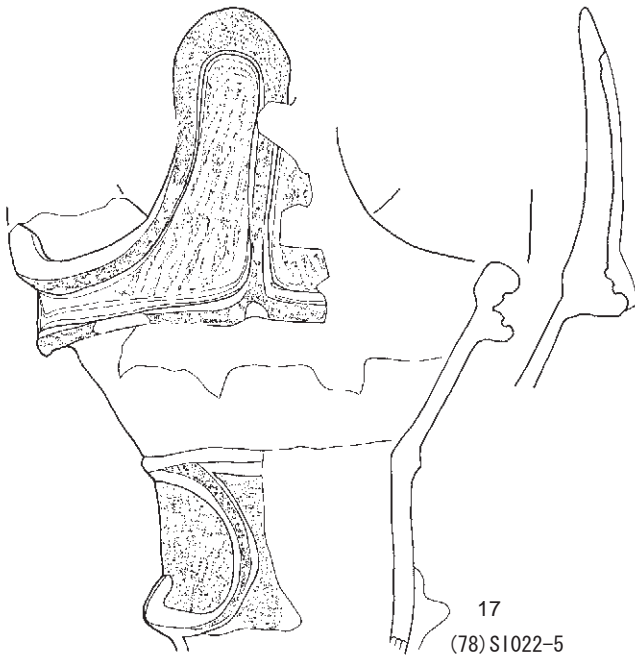
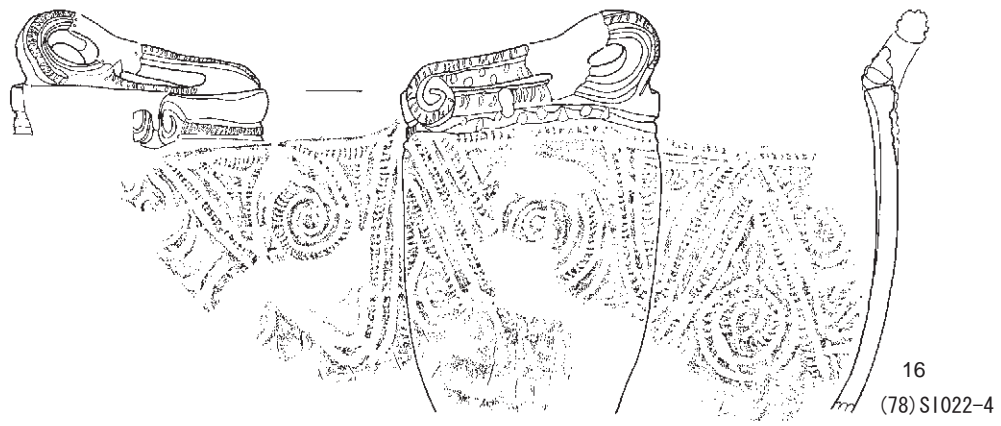
14  
(78) S1022-2



15  
(78) S1022-3

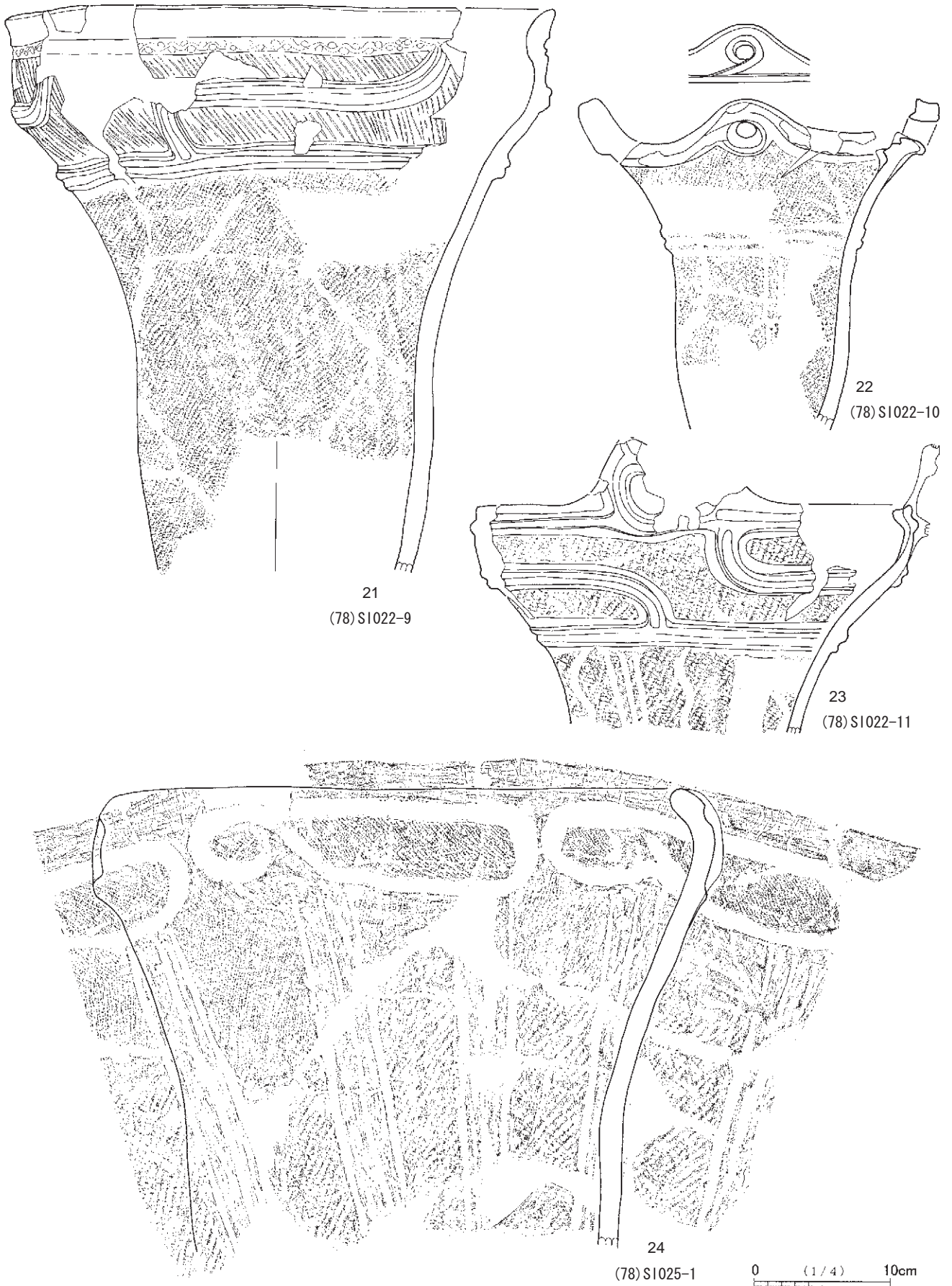
0 (1/4) 10cm

第64図 縄文時代住居跡出土土器 (3)

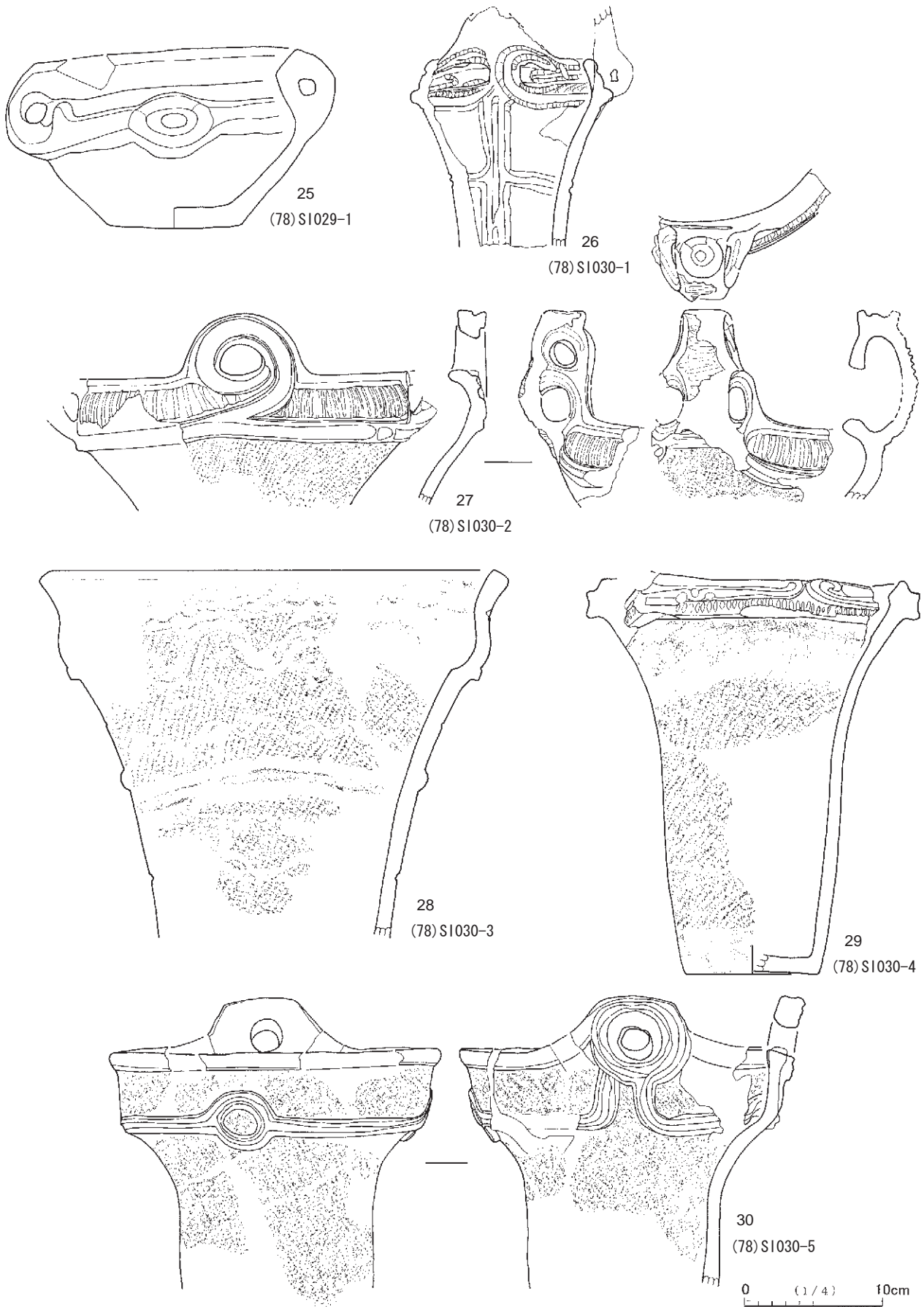


0 (1/4) 10cm

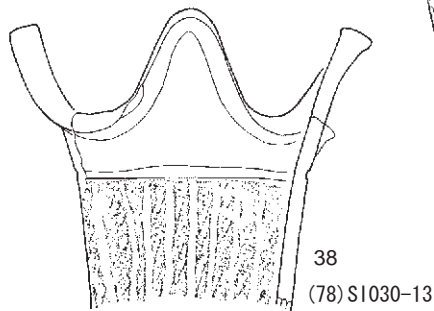
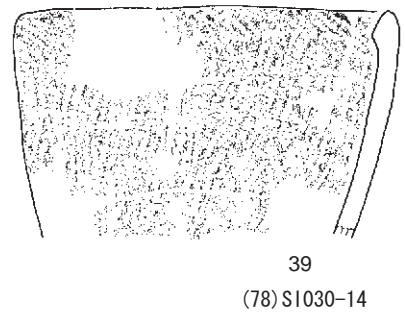
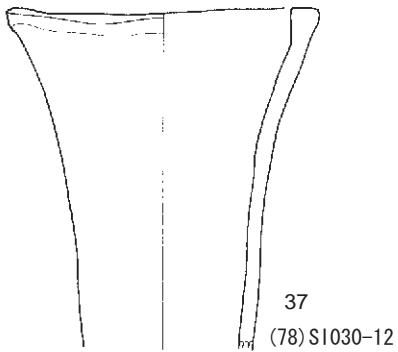
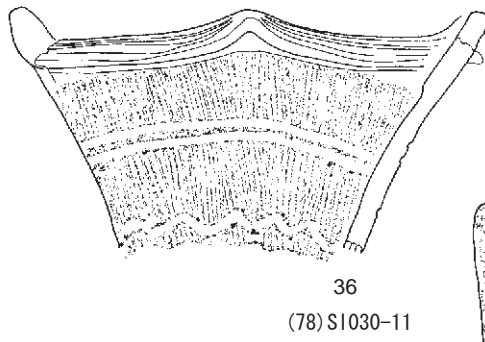
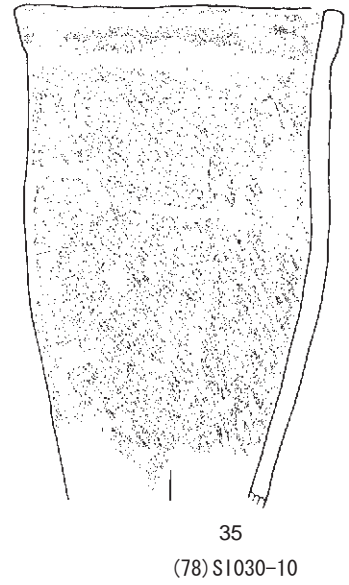
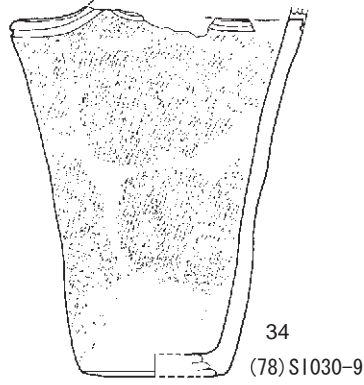
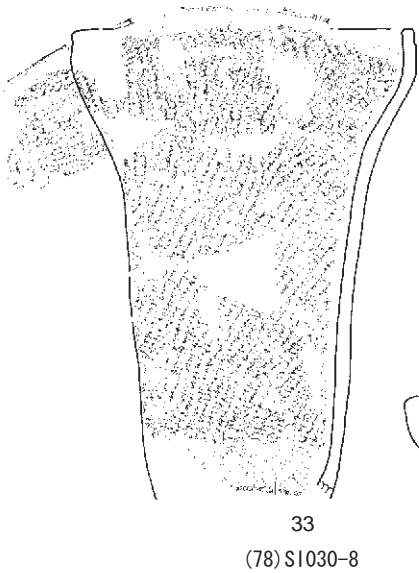
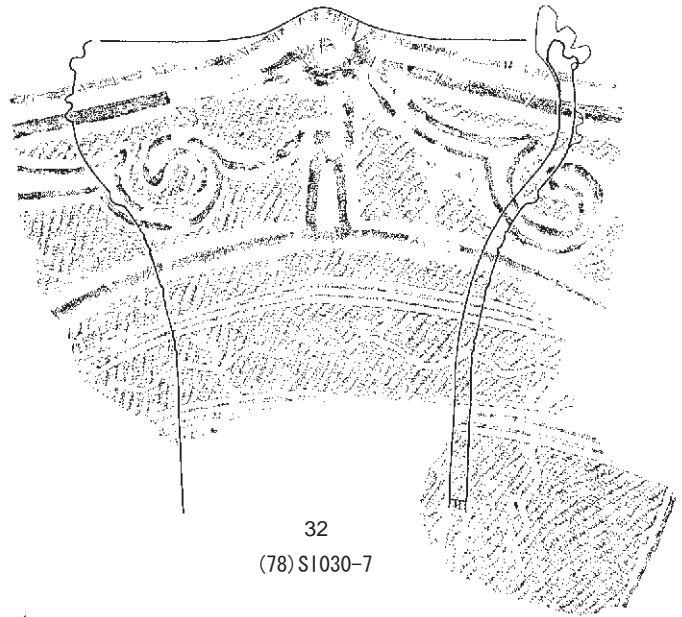
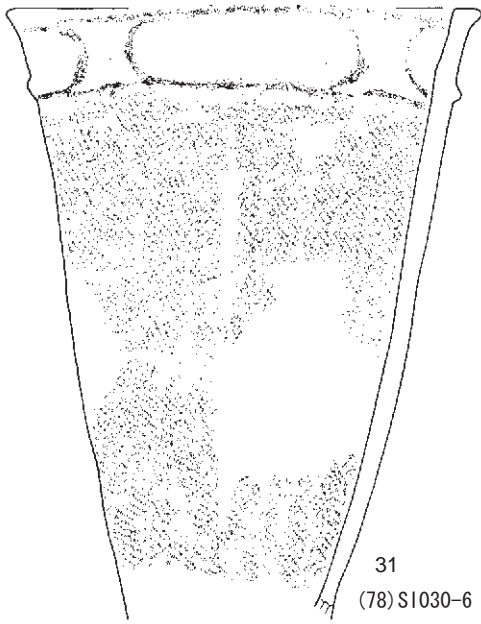
第65図 縄文時代住居跡出土土器（4）



第66図 縄文時代住居跡出土土器 (5)

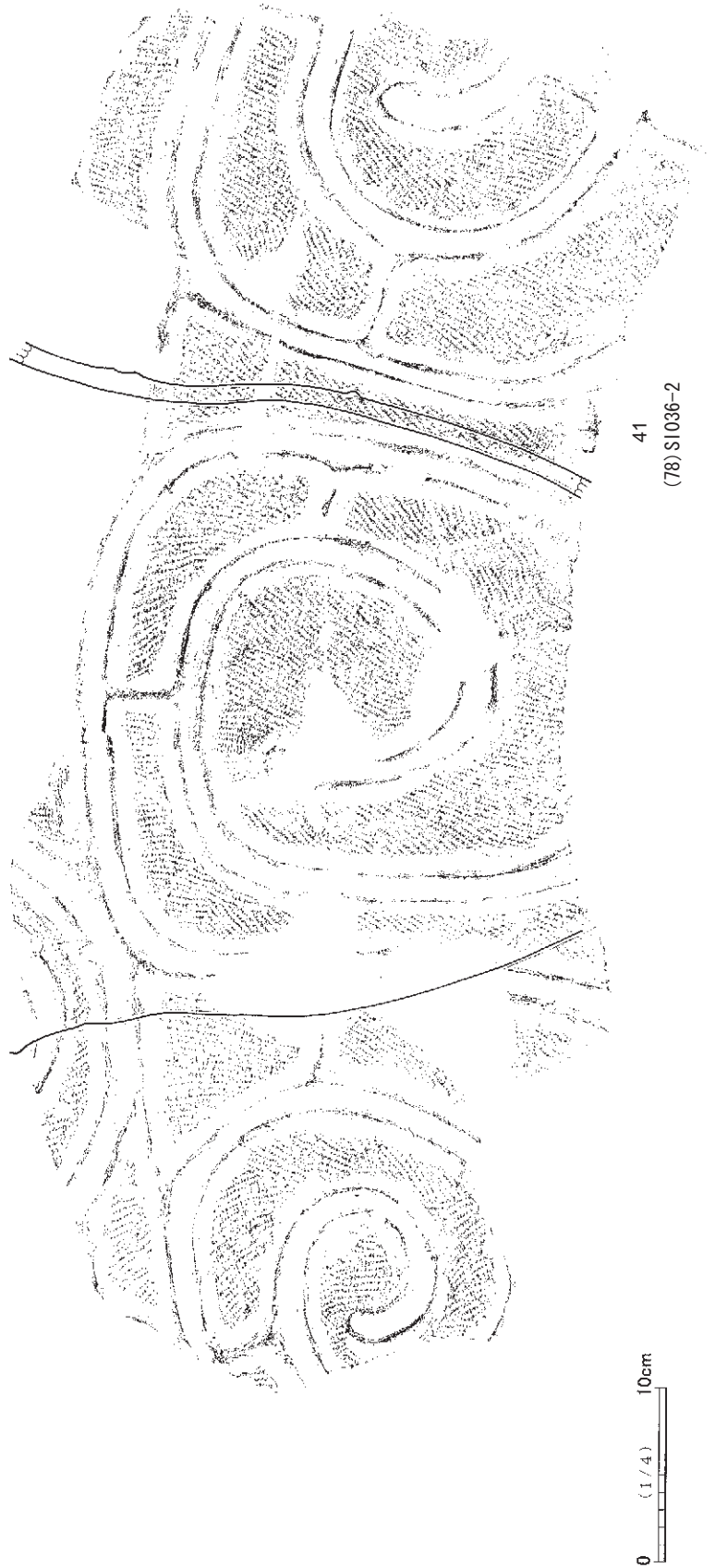
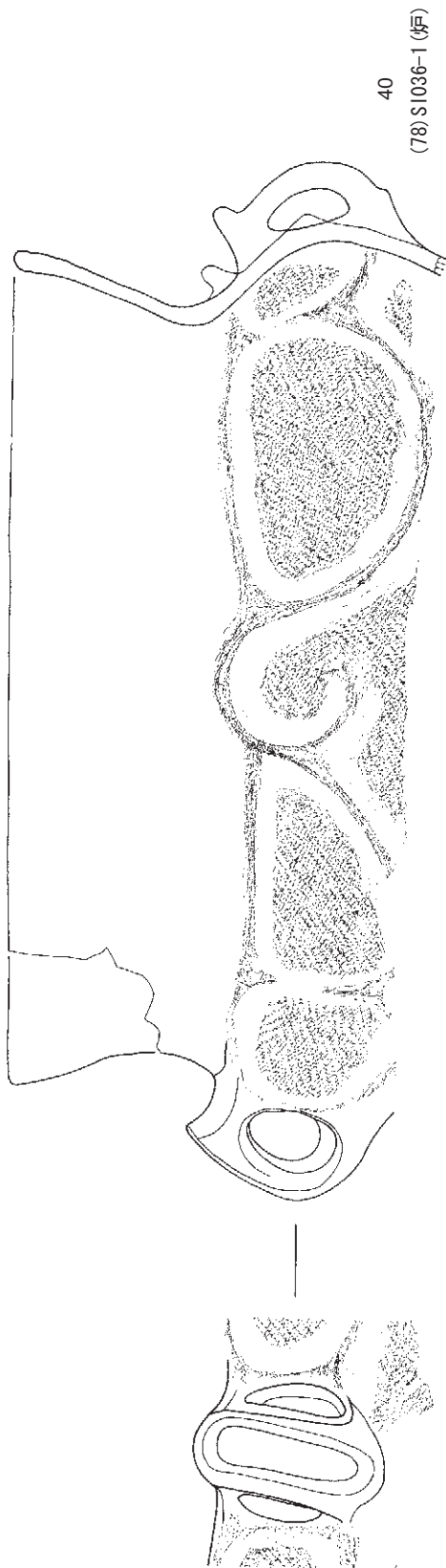


第67図 縄文時代住居跡出土土器 (6)

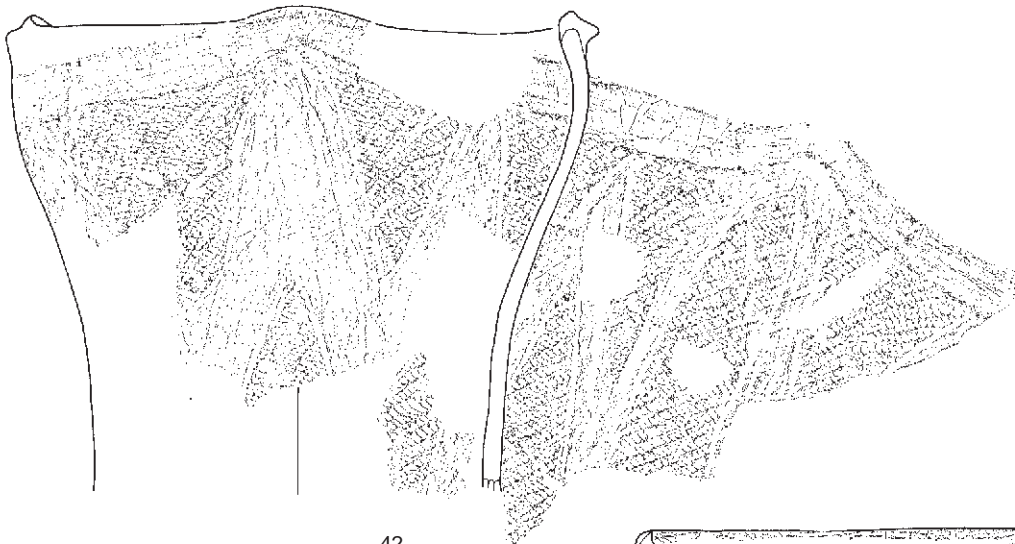


0 (1/4) 10cm

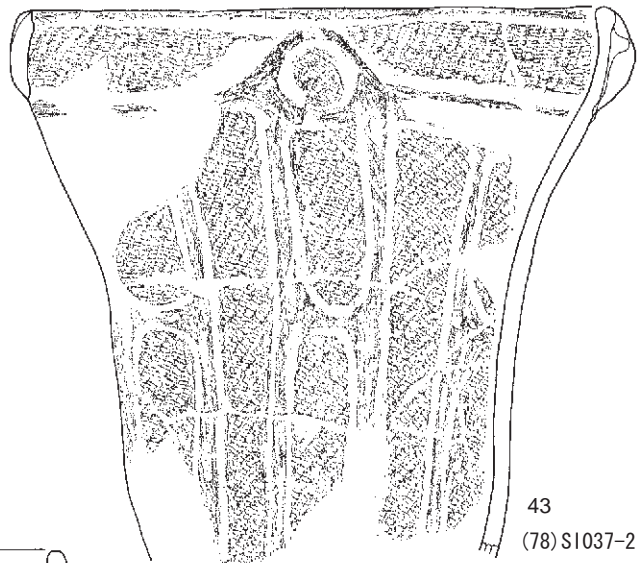
第68図 縄文時代住居跡出土土器 (7)



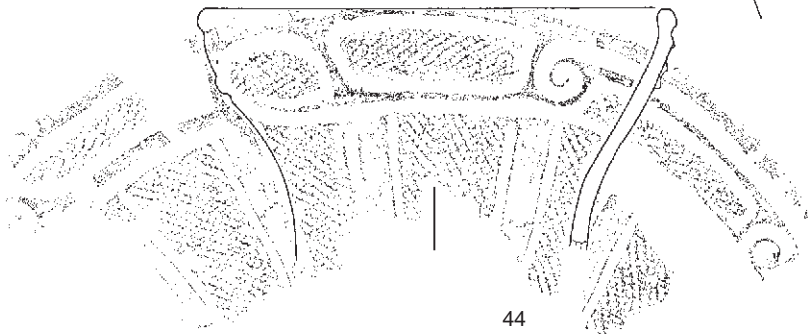
第69図 縄文時代住居跡出土土器 (8)



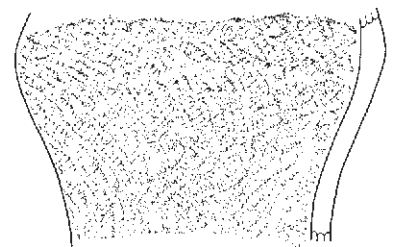
42  
(78)S1037-1



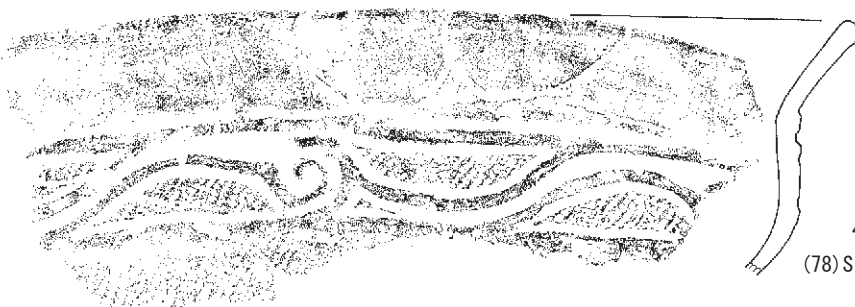
43  
(78)S1037-2



44  
(78)S1038-1



45  
(78)S1040-1 (炉)

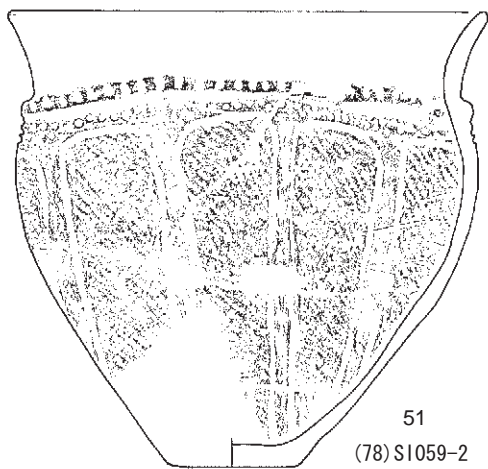
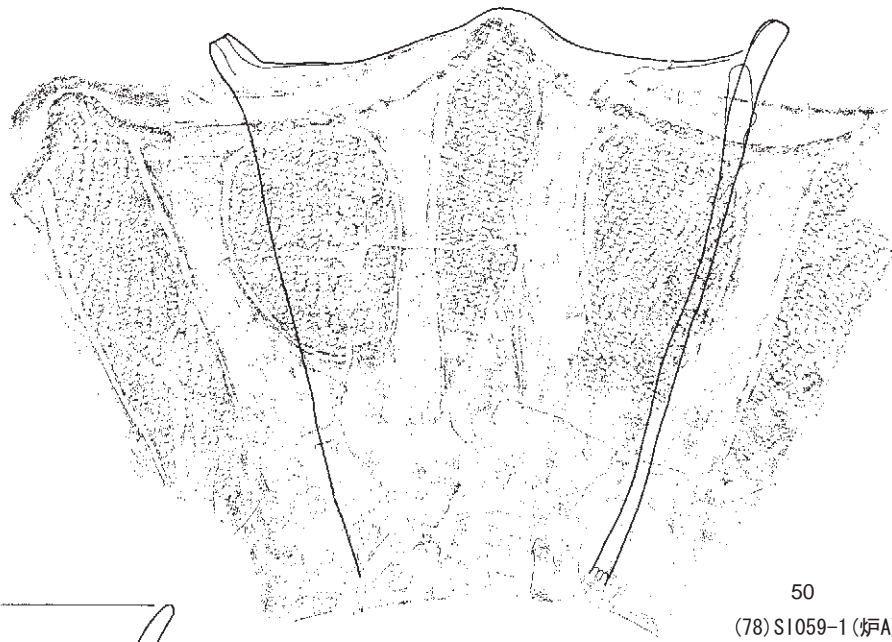
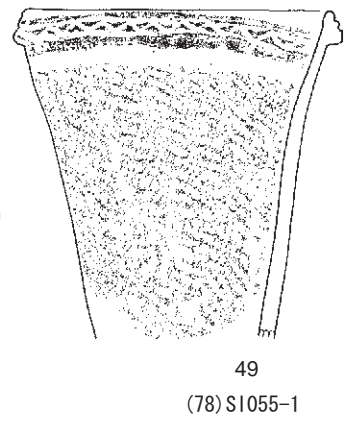
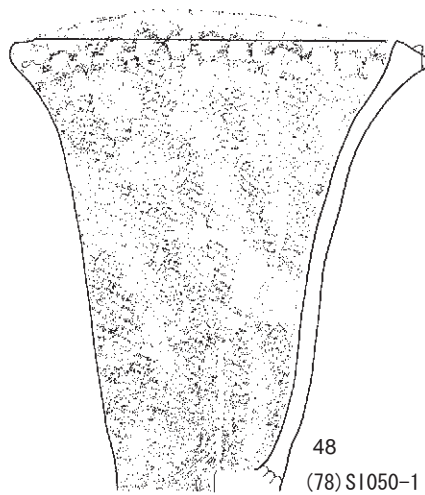
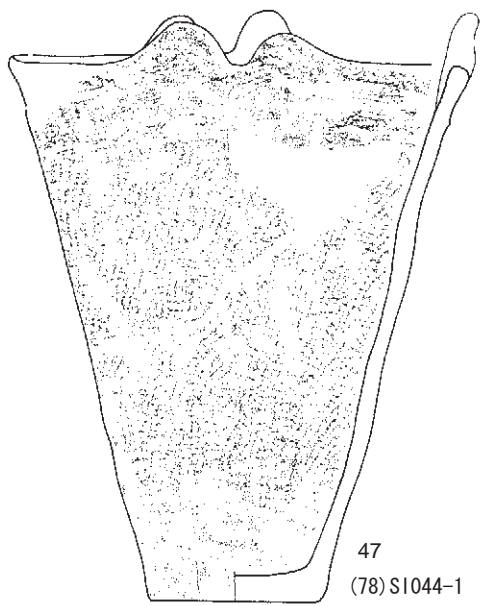


46  
(78)S1040-2

0 (1/4) 10cm

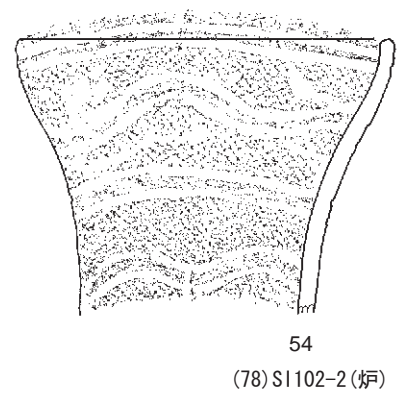
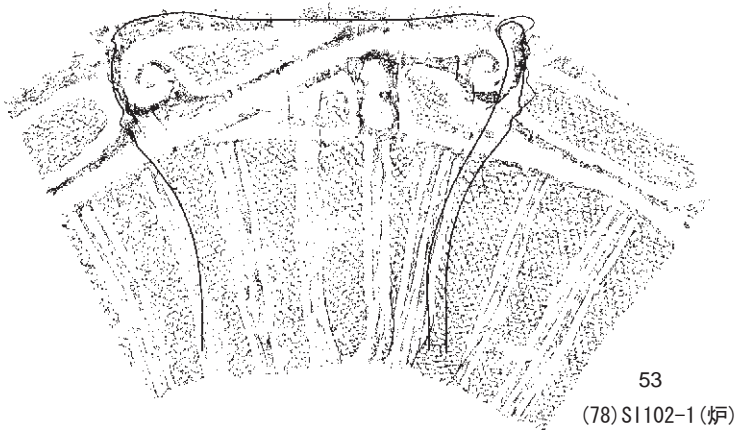
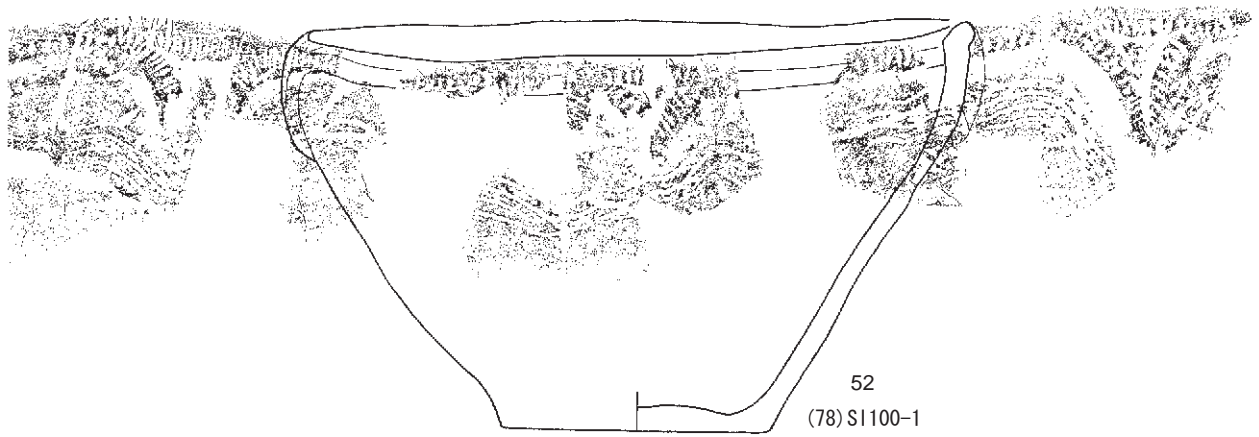
第70図 縄文時代住居跡出土土器 (9)





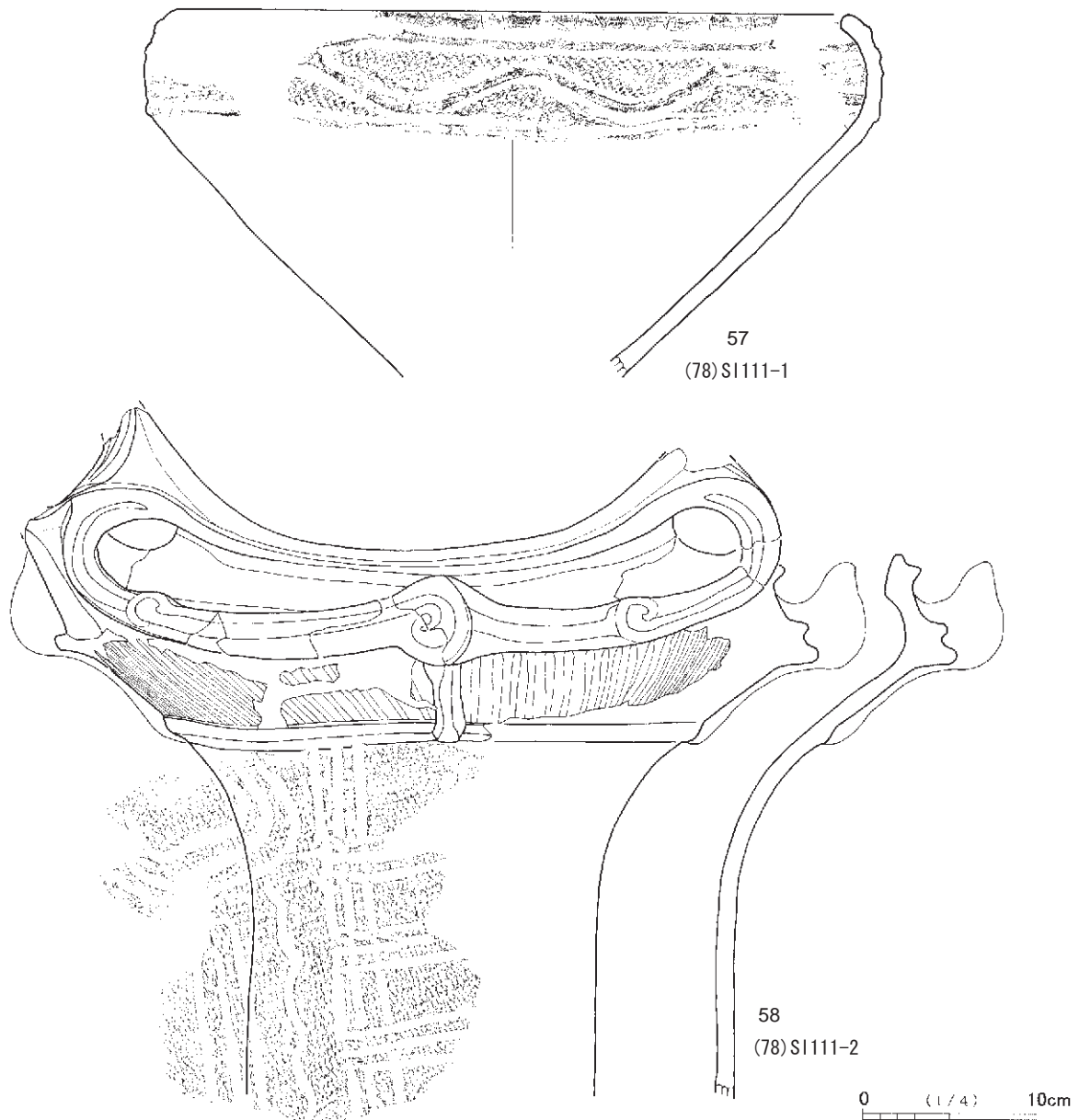
0 (1/4) 10cm

第71図 縄文時代住居跡出土土器 (10)



0 (1/4) 10cm

第72図 縄文時代住居跡出土土器 (11)

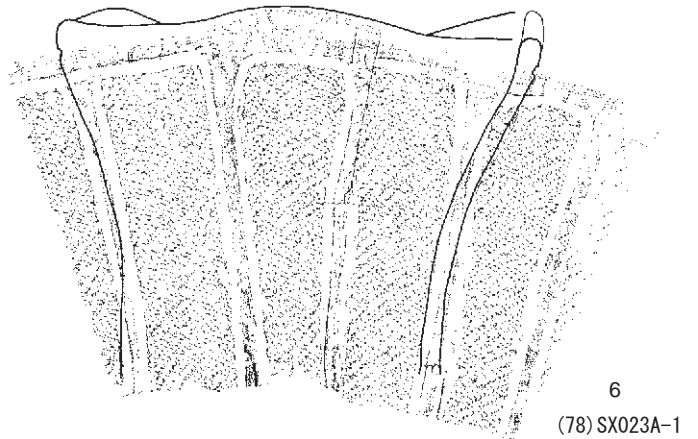
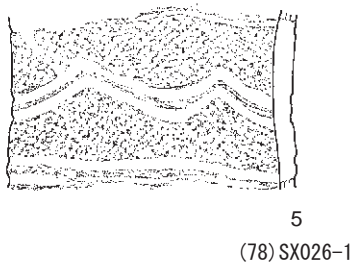
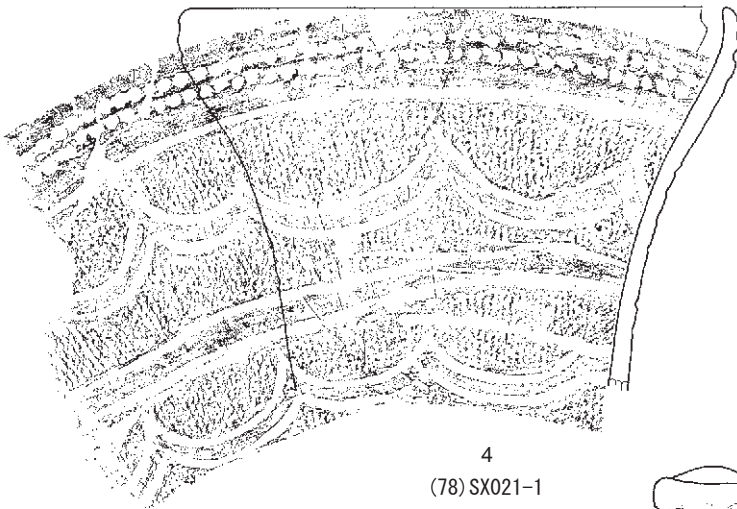
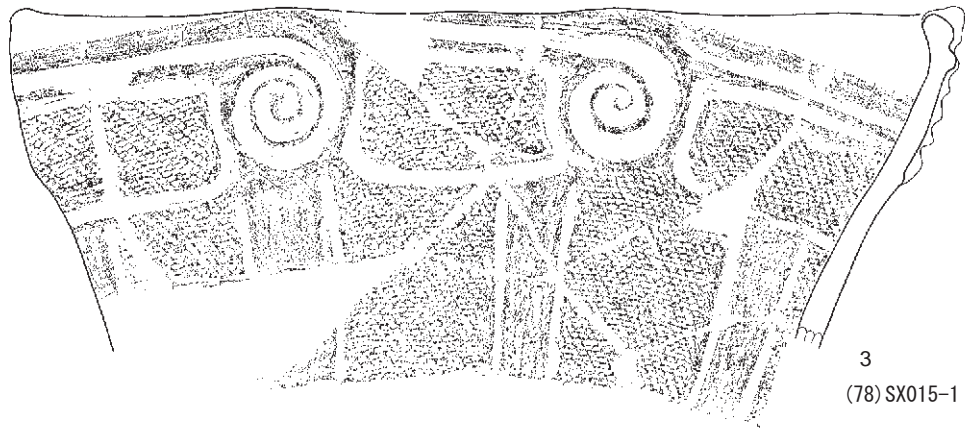
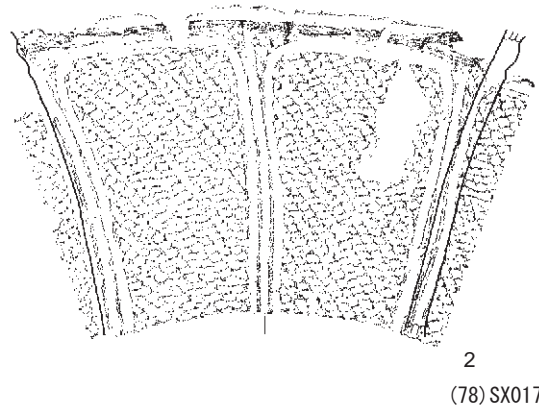
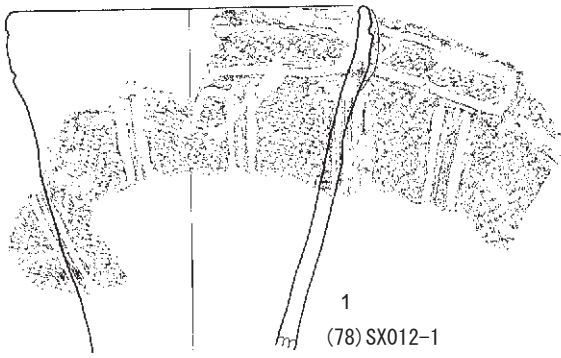


第73図 縄文時代住居跡出土土器 (12)

伴出する土器は3b期に相当するものが多い。SX023A-1 (第74図6) の逆U字ポジ文、SK633-2 (第86図39) の逆U字ないしはH字状ネガ文は一応この時期とした。

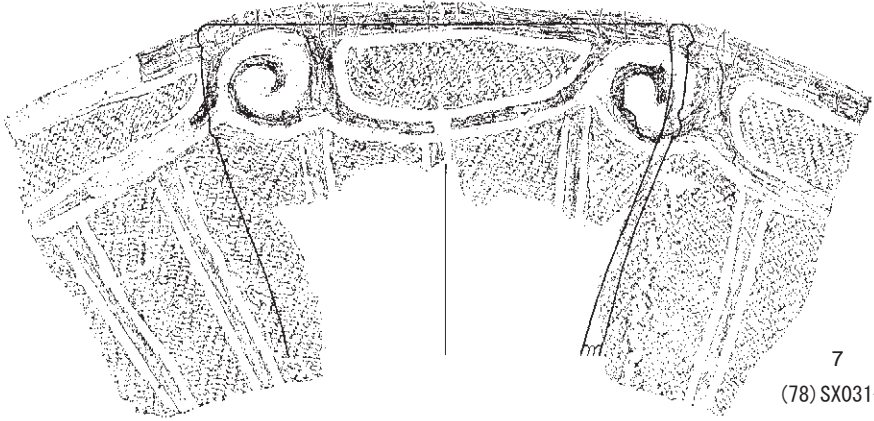
SI017-1 (第63図7)、SK960-1 (第94図65) は胴部に断面蒲鉾状の太い隆線による渦巻文を主体とした複雑な文様を持つ。これらの隆線文様は次代の梶山類とも呼ばれる大振りな隆線渦巻とは異なる古い様相を示し、この段階と考える。

SK449-1 (第83図28) は小型の瓢箪型土器である。吊り下げ用の横向き橋状突起が上下2段1対付く。胴部の狭い磨消懸垂文内には蕨手文を施す。SK1062からは同じ吊り下げ用の突起が上下2段1対付く土器1・2 (第96図68・69) が出土した。68は上半が直口、下半が球状の器形をなし、69は内弯する深鉢である。68の器体屈曲部に付く横向き1対の橋状突起の間にはつまみ状の盛り上がりがあるが、69では同じ中間部

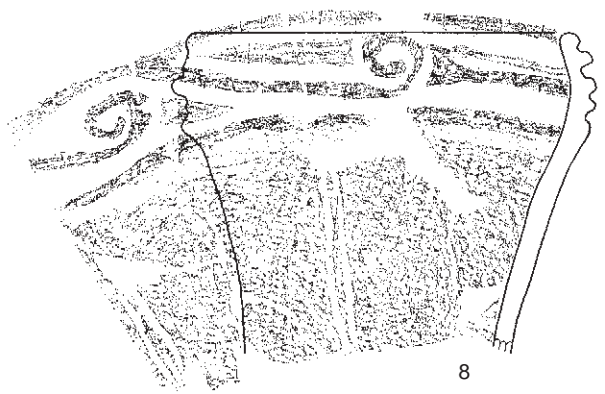


0 (1/4) 10cm

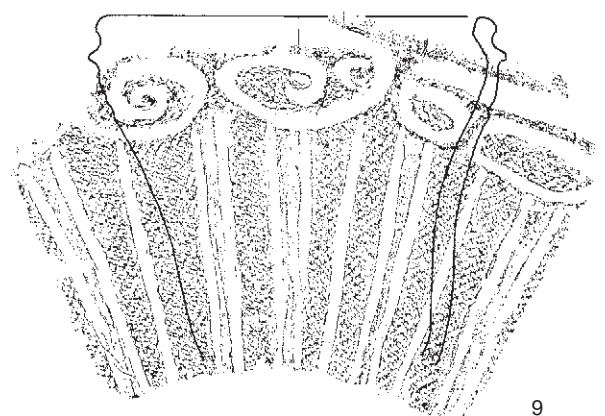
第74図 縄文時代炉跡出土土器 (1)



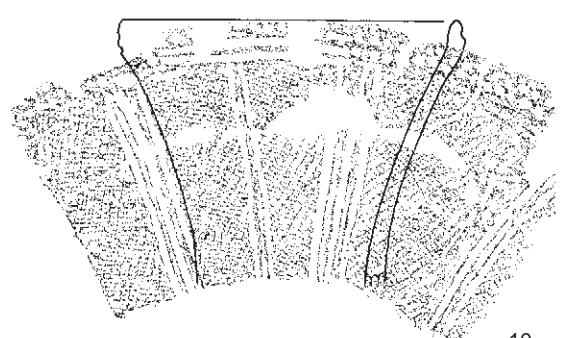
7  
(78) SX031-1



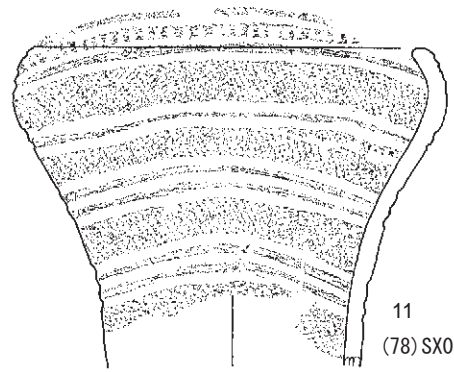
8  
(78) SX034-1



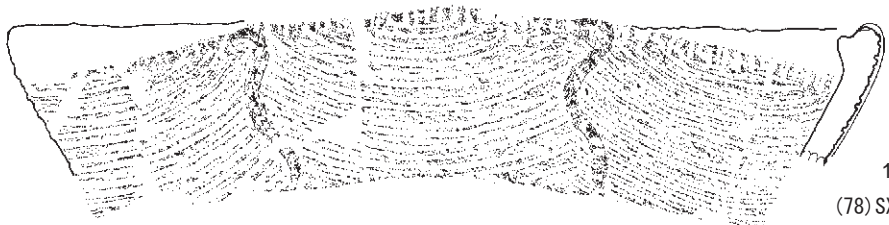
9  
(78) SX041-1



10  
(78) SX043-1



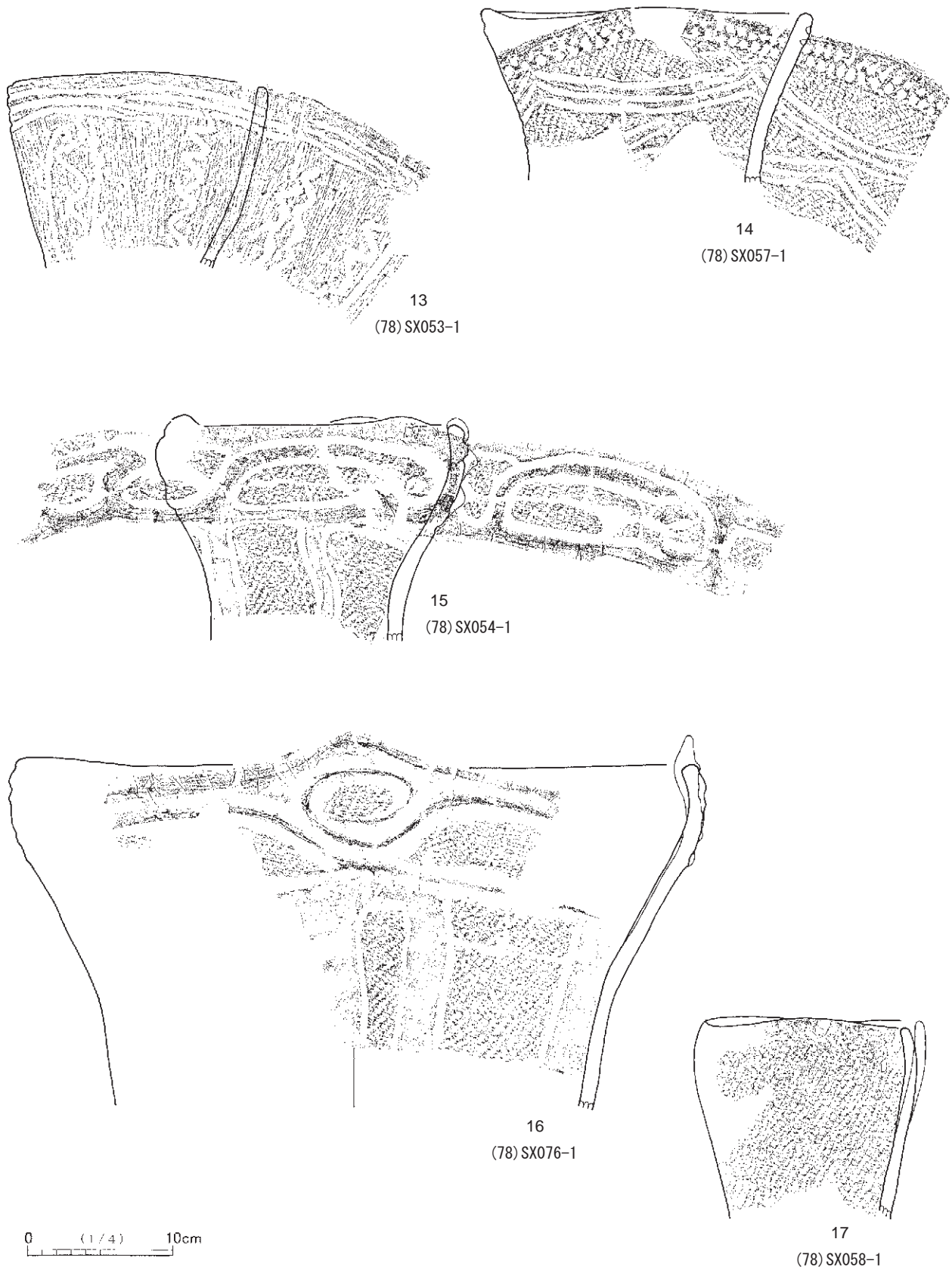
11  
(78) SX050-1



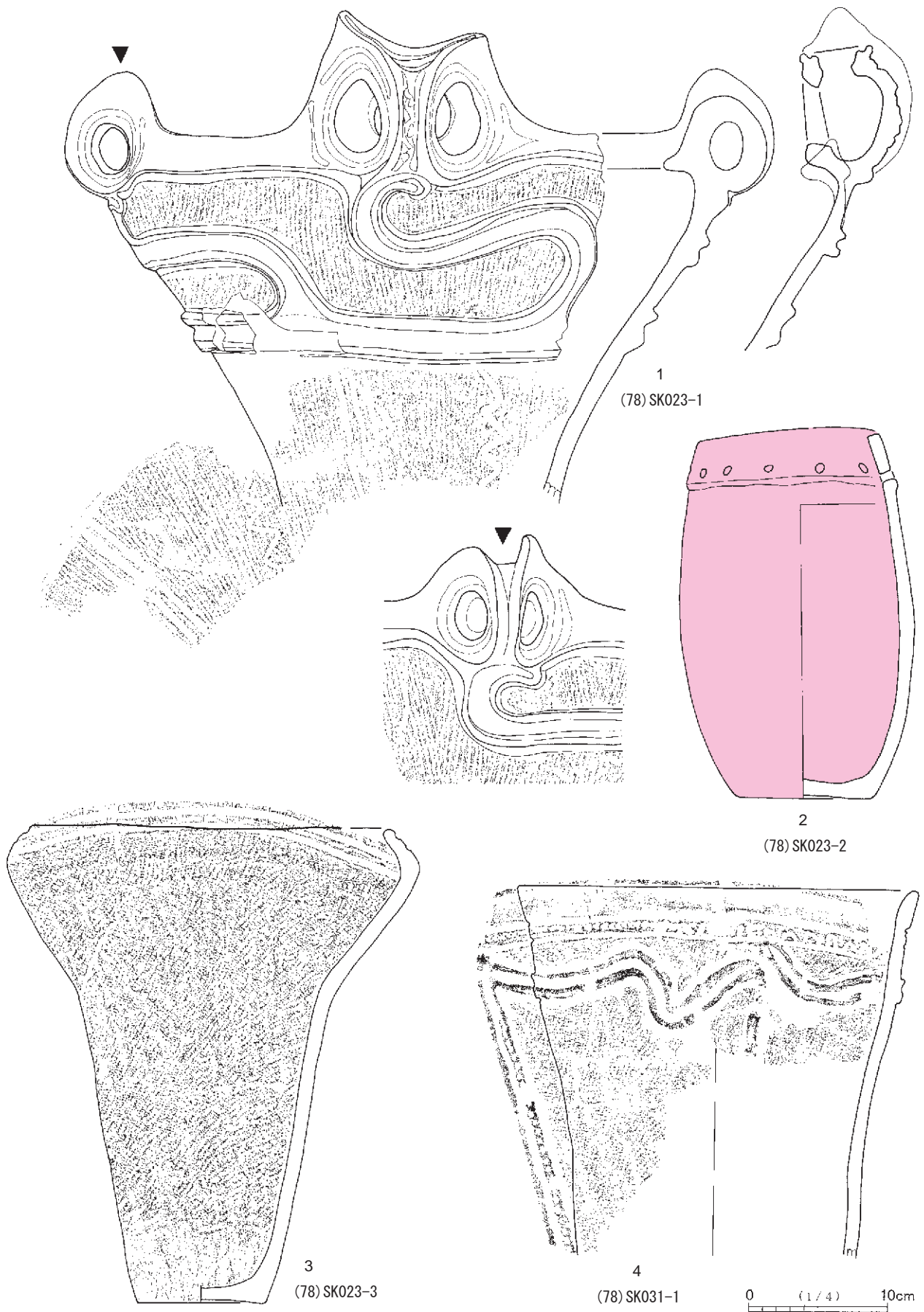
12  
(78) SX049-1

0 (1/4) 10cm

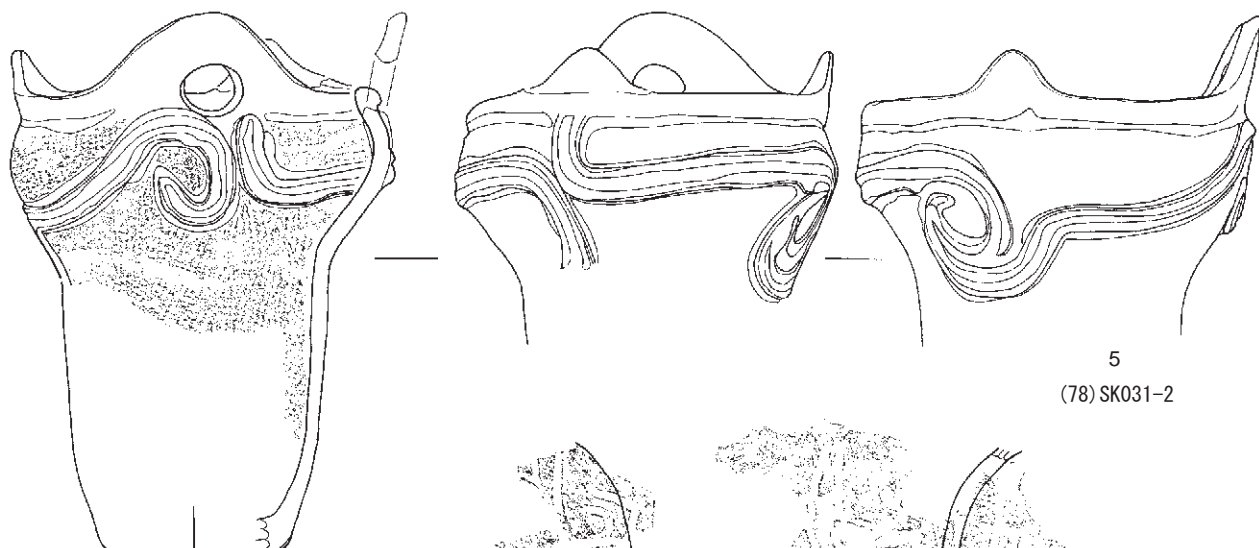
第75図 縄文時代炉跡出土土器 (2)



第76図 縄文時代炉跡出土土器 (3)



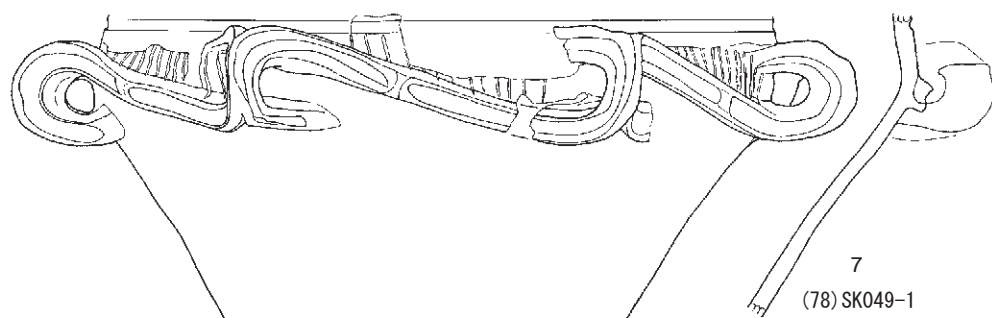
第77図 縄文時代土坑出土土器 (1)



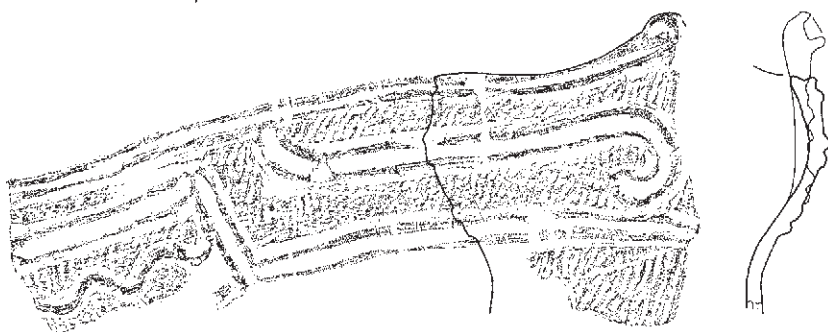
5  
(78) SK031-2



6  
(78) SK041-1



7  
(78) SK049-1



8  
(78) SK096-1

0 (1/4) 10cm

第78図 縄文時代土坑出土土器 (2)



のやや下方に瘤状の突起が認められる。磨消懸垂文は第83図28と同様狭く、69では上端が連結している。3a期の新しい段階（加曽利E3式古2段階）の可能性もあるが、ここでは3b期の古い段階（加曽利E3式中1段階）としておきたい。

### 3c期

加曽利E式直系では口縁部文様の渦巻文が消失してしまうものや、懸華状接続区劃文土器と呼ばれる円文と杵状文のみのも、太い沈線のみで口縁部文様を描出するものがある。SK339-1（第82図25）、SK1508-1（図版99）、SI025-（1）（図版107）が各々該当する。SK974-1（第95図67）は前代にも見られた逆U字ポジ文であるが、器形がキャリパー型をなす。SK1528-1（第104図103）は指頭による太い沈線で蕨手文と円文の組み合わせ文様が展開する。いわゆる吉井城山型の系統を継ぐもので、やはり器形は顕著なキャリパー型である。懸華状接続区劃文土器 SK1528-4（図版100）や口縁直下の無文帯を凹線で画する粗製土器 SK1528-3（図版99）が相伴している。

隆線による大振りな渦巻文が展開するいわゆる梶山類もこの時期である。SI036では2（第69図41）をはじめ多数の梶山類（図版111）とともに懸華状接続区劃文土器（図版110）が出土している。他に SK497-1（第84図31）、SK639-1（第87図41）が好例である。

SK091-1（図版71）・SK547-2（図版81）はいずれも口縁下の鏝部に孔が貫通し、鏝下に微隆起線による渦巻文を施す。鉢型の有孔鏝付土器であろう。後者は3b期から3c期の土器が伴っており、この時期前後に属すると思われる。

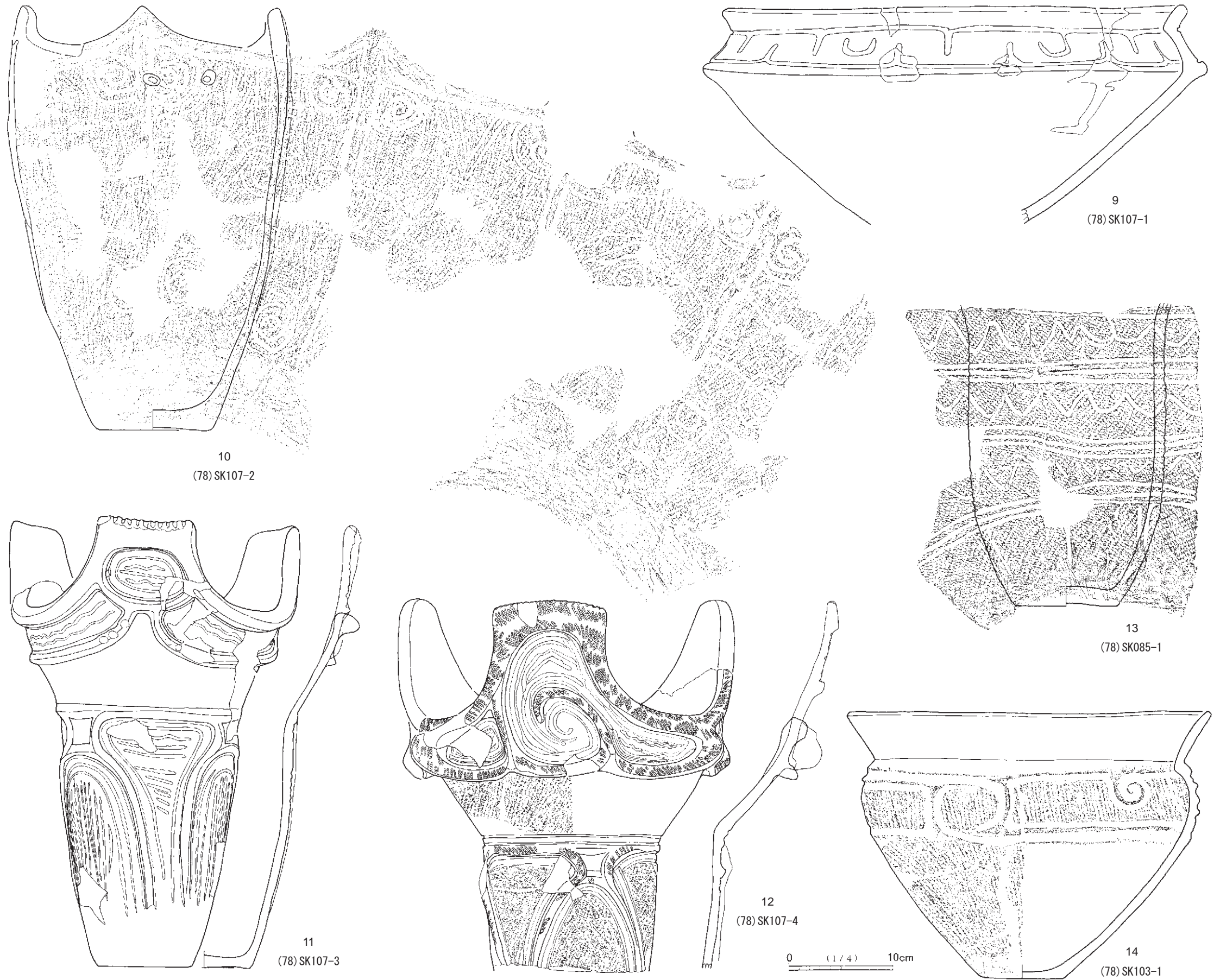
### 4期

時期区分では加曽利E3-4中間式の4a期、加曽利E4式古段階の4b期、同中段階の4c期、同新段階の4d期に区分したが、遺構、遺物ともわずかとなる。

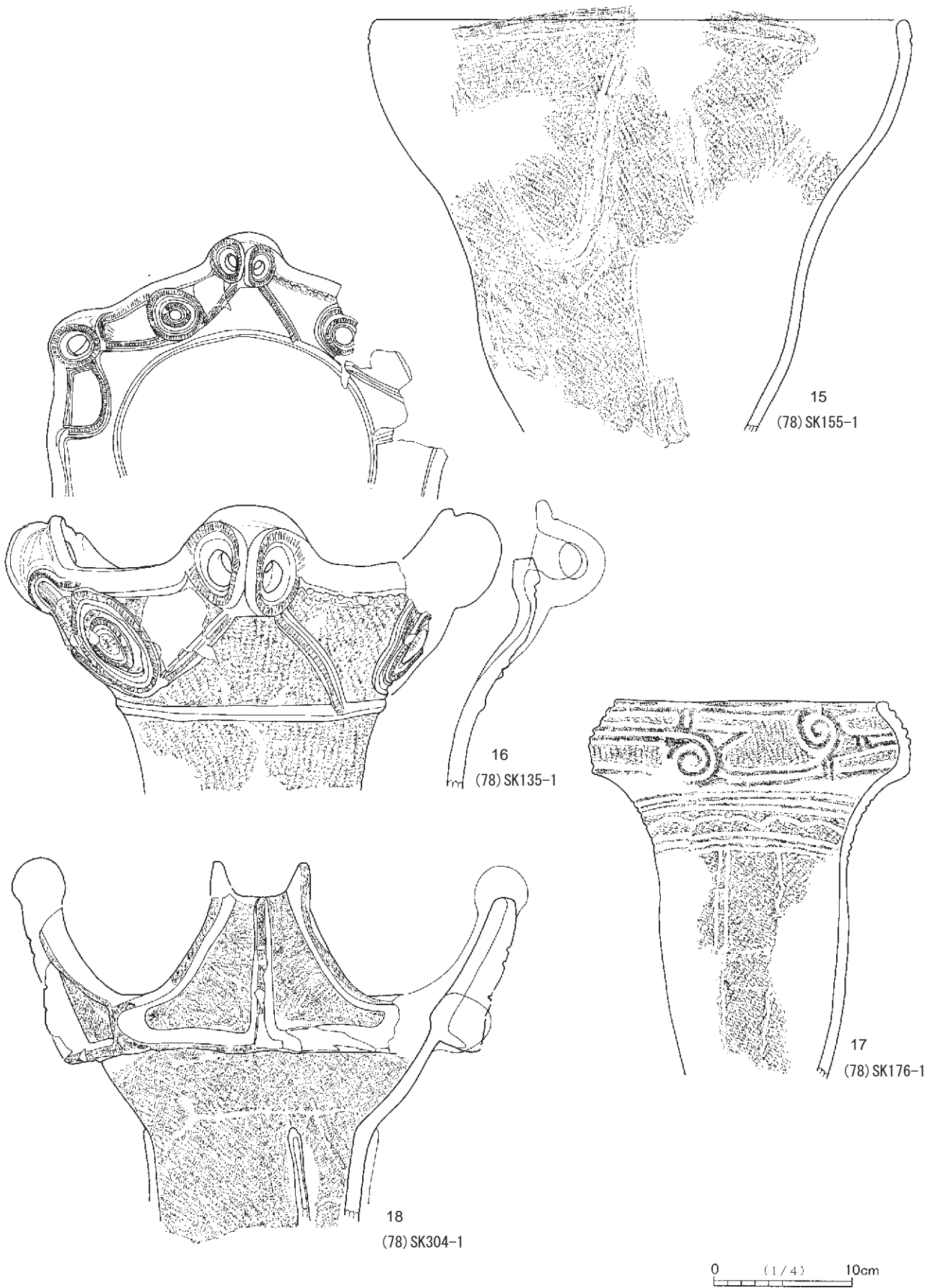
SI037-1（第70図42）は口縁下の無文帯を不完全な微隆起線で画する。文様は浅い沈線でV字ポジ文下に逆V字ポジ文を入れ子状に施すが、突起下でV字ポジ文が途切れている。SK155-1（第80図15）はこれとよく似ている。細めの沈線によるネガ波状文とその下にネガ逆U字状文を施す。4a期と判断される。SI059炉Aの炉体土器1（第71図50）は口縁直下に微隆起線が巡り、その下に沈線区画によるポジ逆U字状文と楕円文を施す。4b期と思われる。SK223-1（図版74）は口縁直下で微隆起線帯が下方から立ち上がって接近し、盛り上がって小突起を形成するが、微隆起帯の末端は弧状に収束して背中合わせになる、4c期の特徴を持つ。SK1452-1（第103図102）は口縁突起の一つに小輪が付く。4d期であろう。

SK106-2（図版122）は4期の西日本系の土器である。称名寺式のパネル状文がまだ完成していない。SK743-2（図版87）は太い沈線で胴部を二分し、上下に連続する逆U字状文を施す。西日本系土器とはおよそ文様構成が異なり在地で模倣した類と思われる。

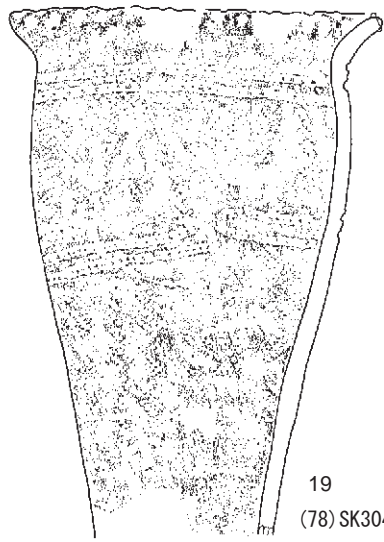
SK457-1（図版80）は瓢箪型土器であろう。微隆起帯内を赤彩しており、底部は高台付きとなる。横向き橋状突起は残っていない。



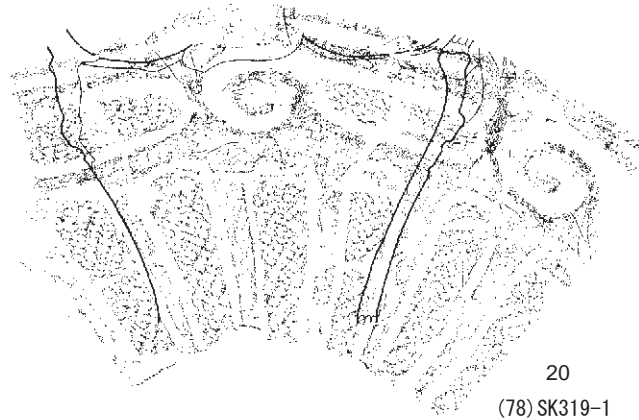
第79図 縄文時代土坑出土土器 (3)



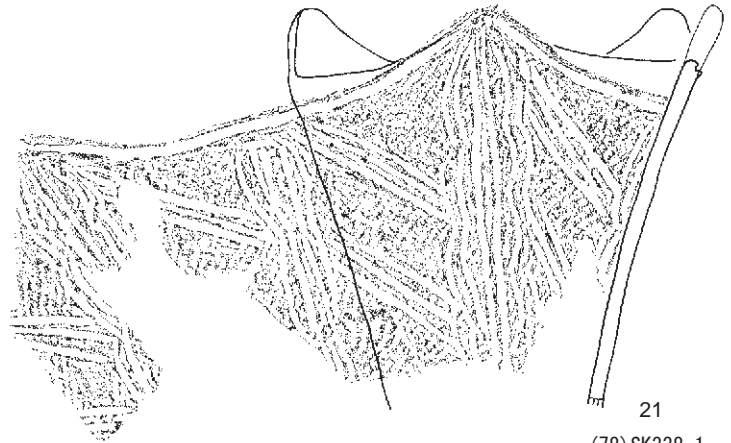
第80図 縄文時代土坑出土土器 (4)



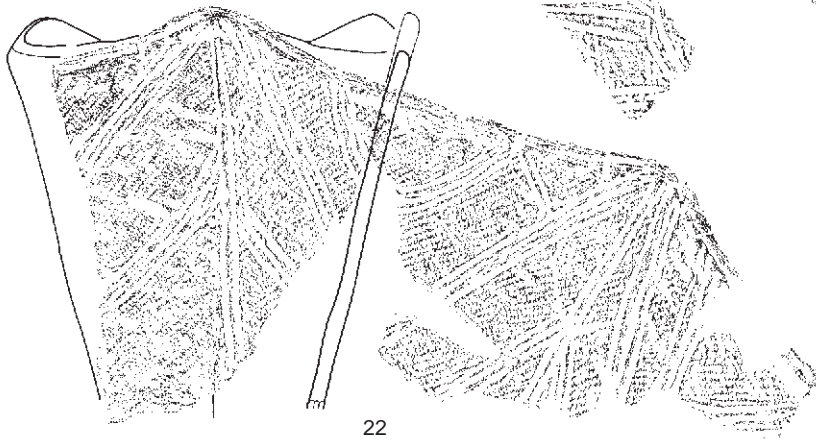
19  
(78) SK304-2



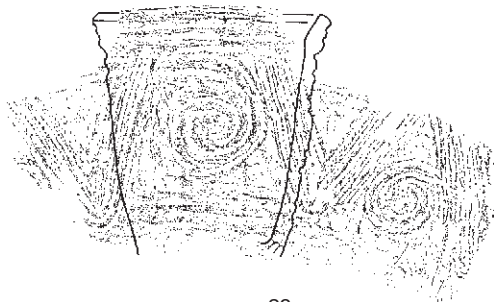
20  
(78) SK319-1



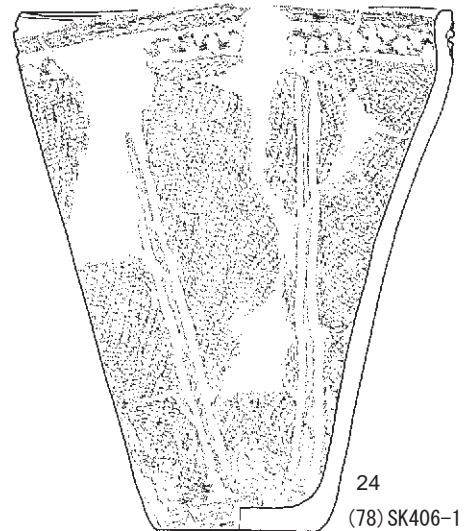
21  
(78) SK338-1



22  
(78) SK338-2



23  
(78) SK396-1



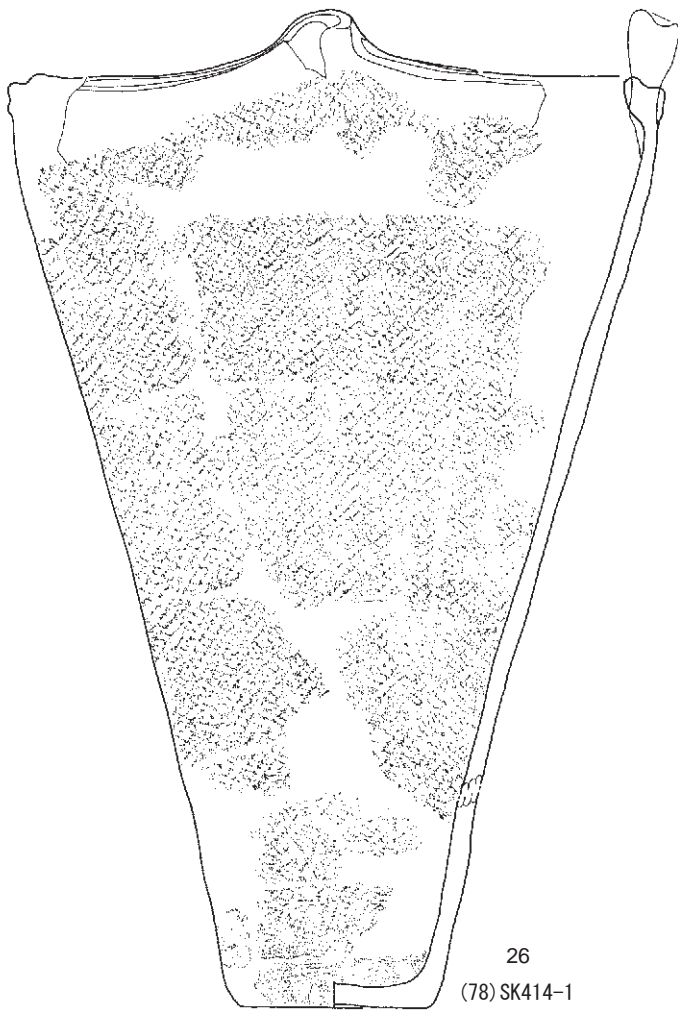
24  
(78) SK406-1

0 (1/4) 10cm

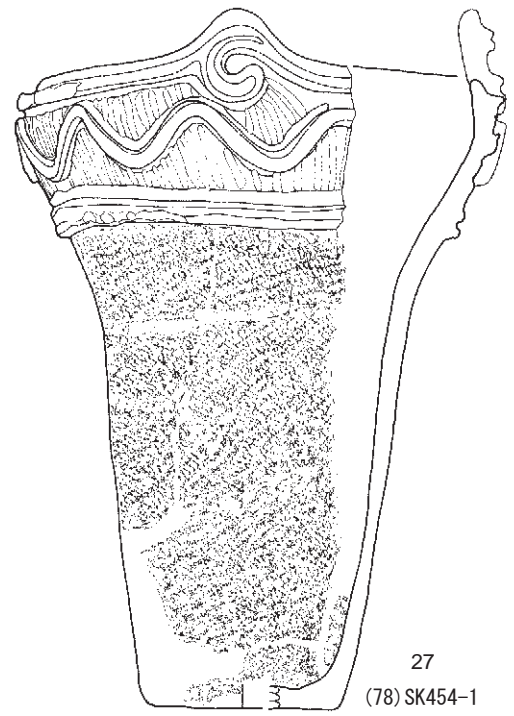
第81図 縄文時代土坑出土土器 (5)



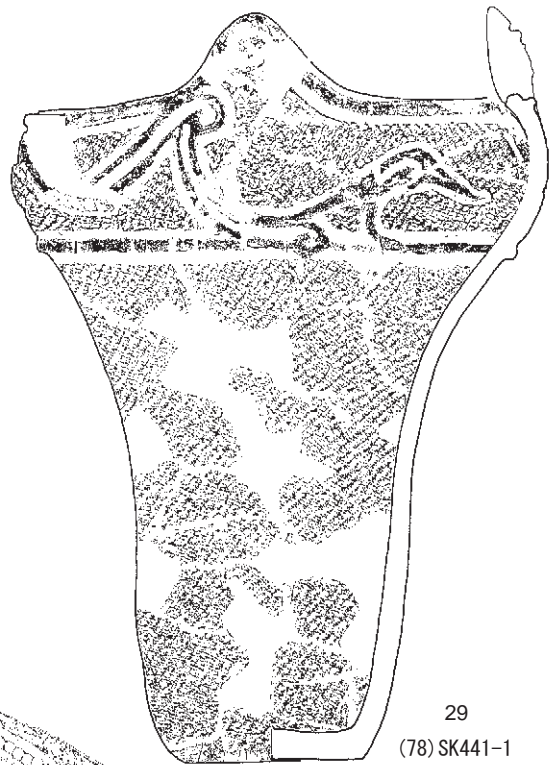
第82図 縄文時代土坑出土土器（6）



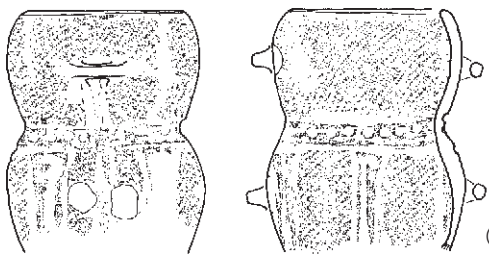
26  
(78) SK414-1



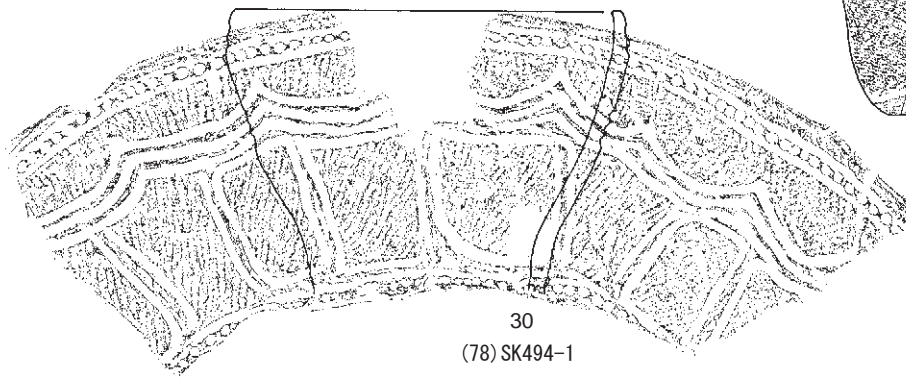
27  
(78) SK454-1



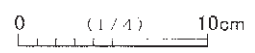
29  
(78) SK441-1



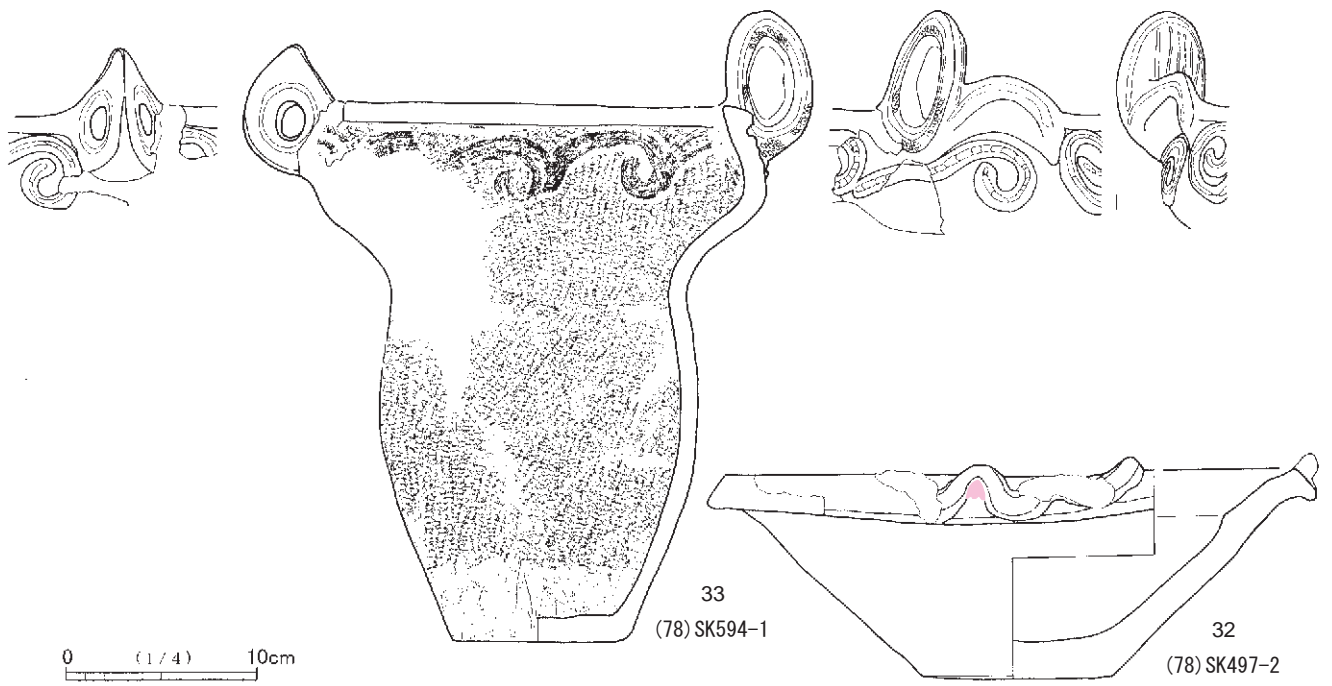
28  
(78) SK449-1



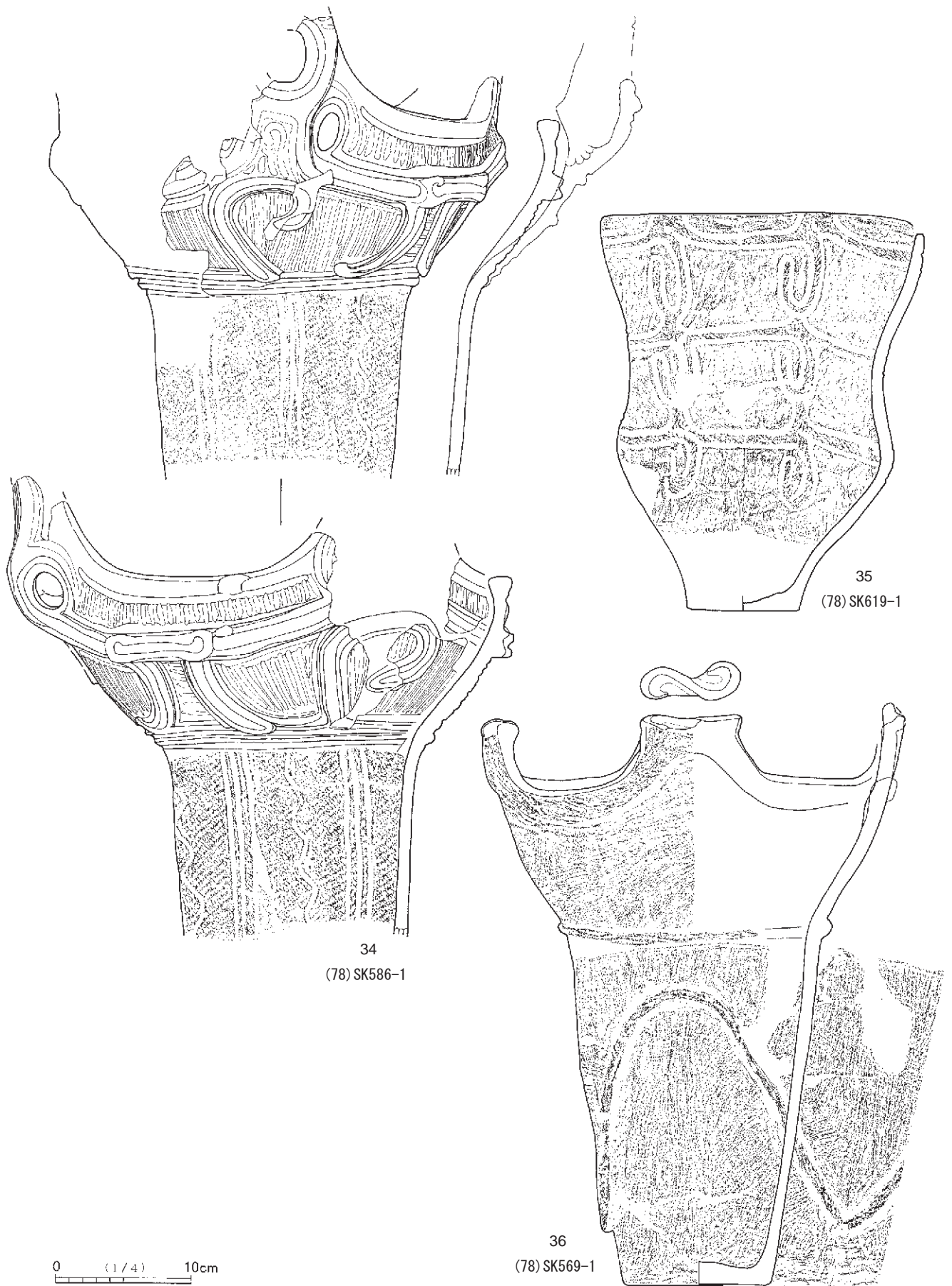
30  
(78) SK494-1



第83図 縄文時代土坑出土土器 (7)

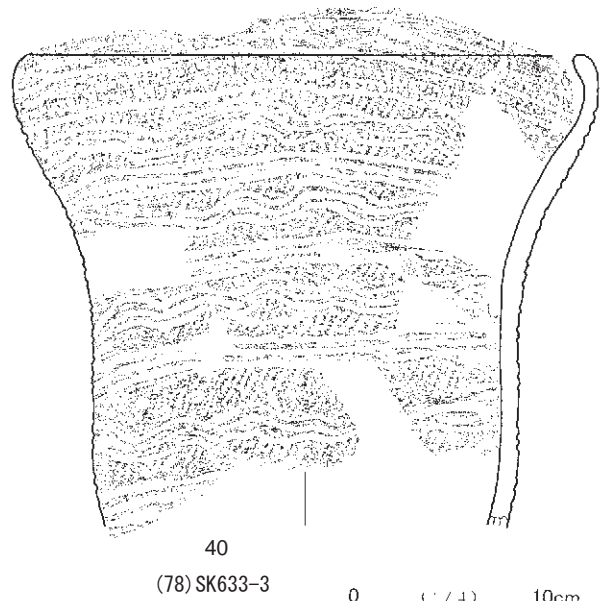
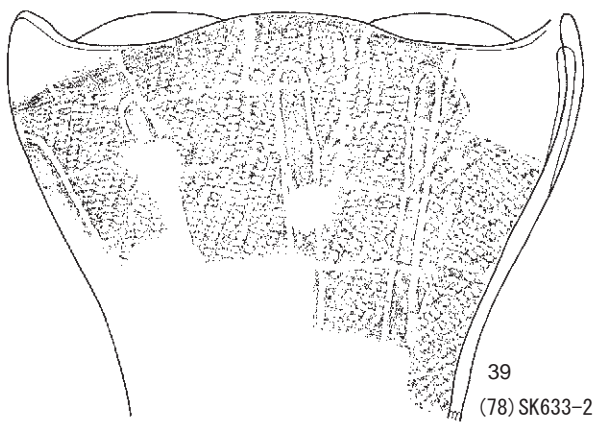
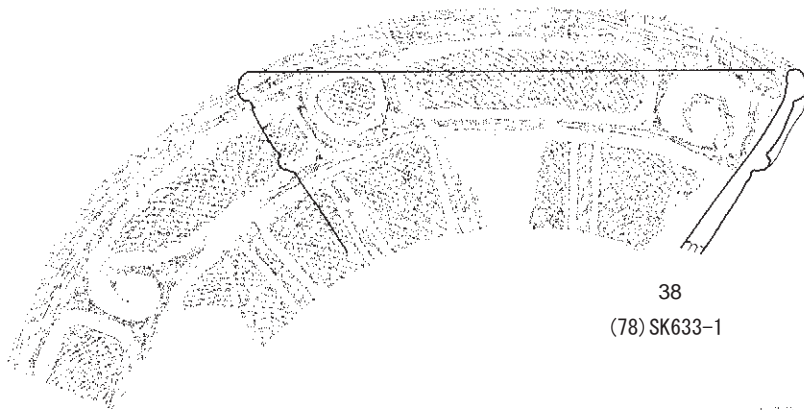
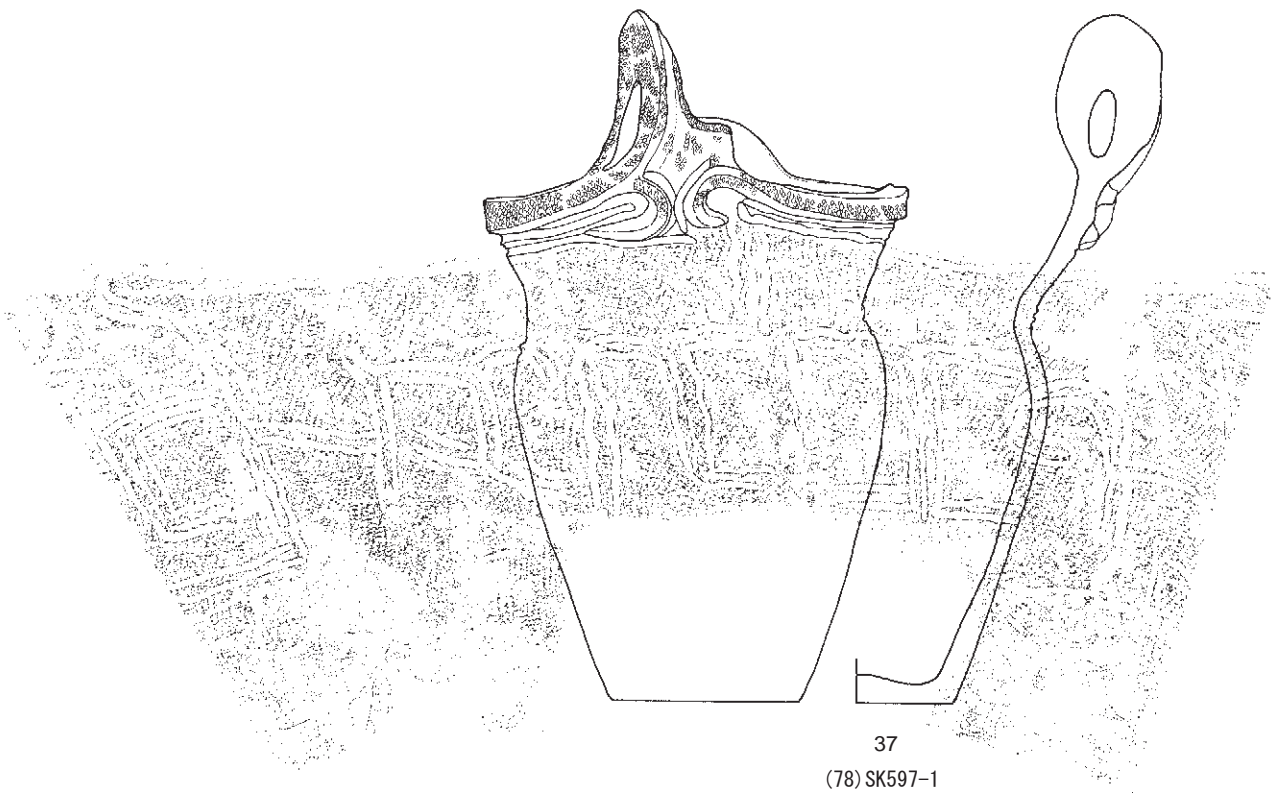


第84図 縄文時代土坑出土土器 (8)



第85図 縄文時代土坑出土土器 (9)

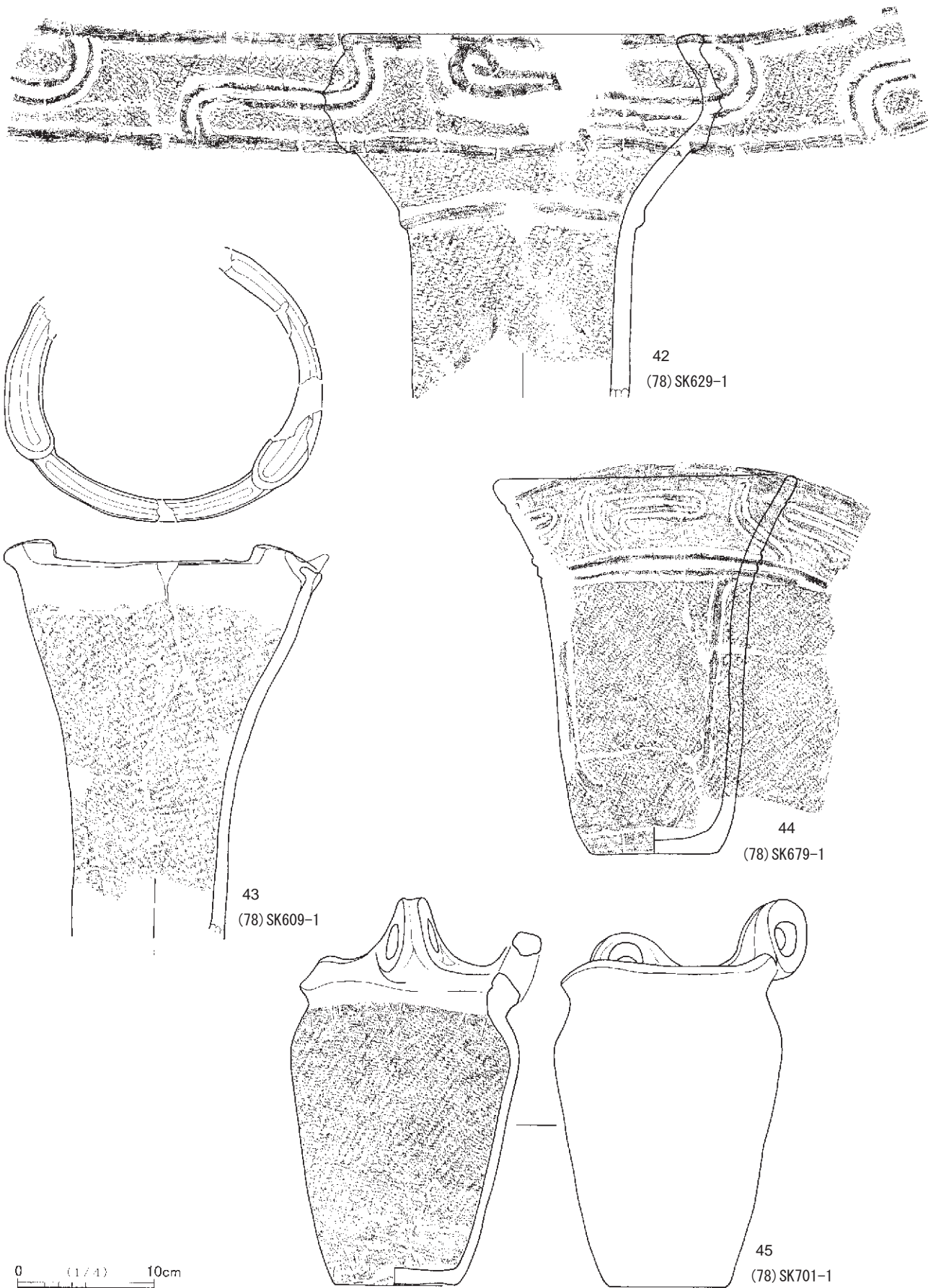




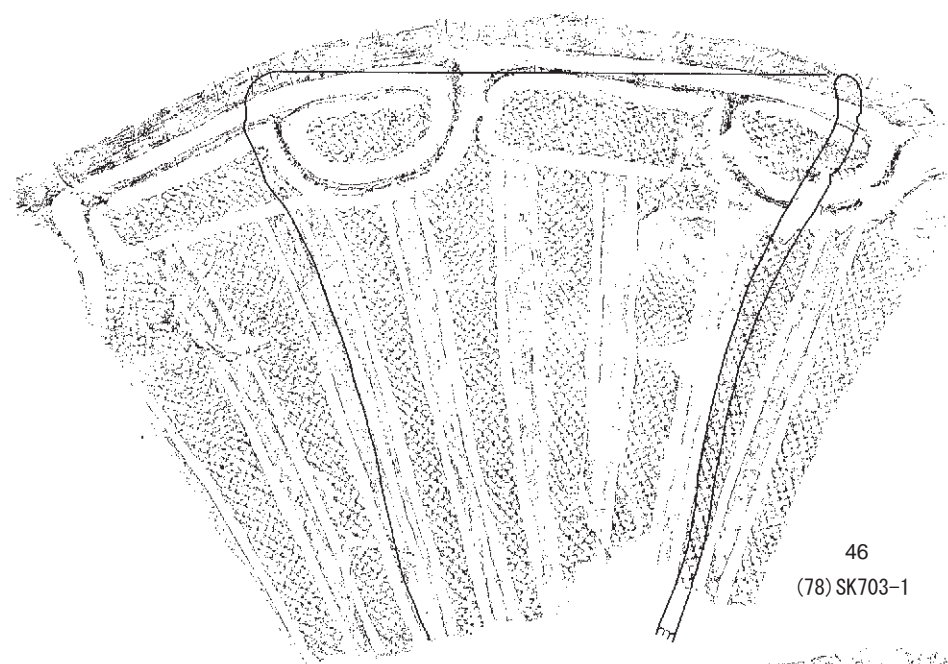
第86図 縄文時代土坑出土土器 (10)



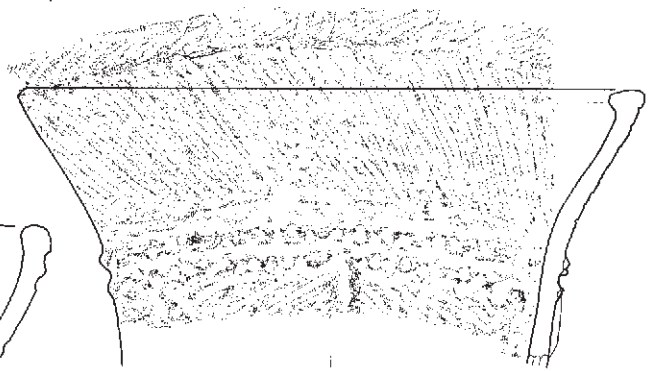
第87図 縄文時代土坑出土土器 (11)



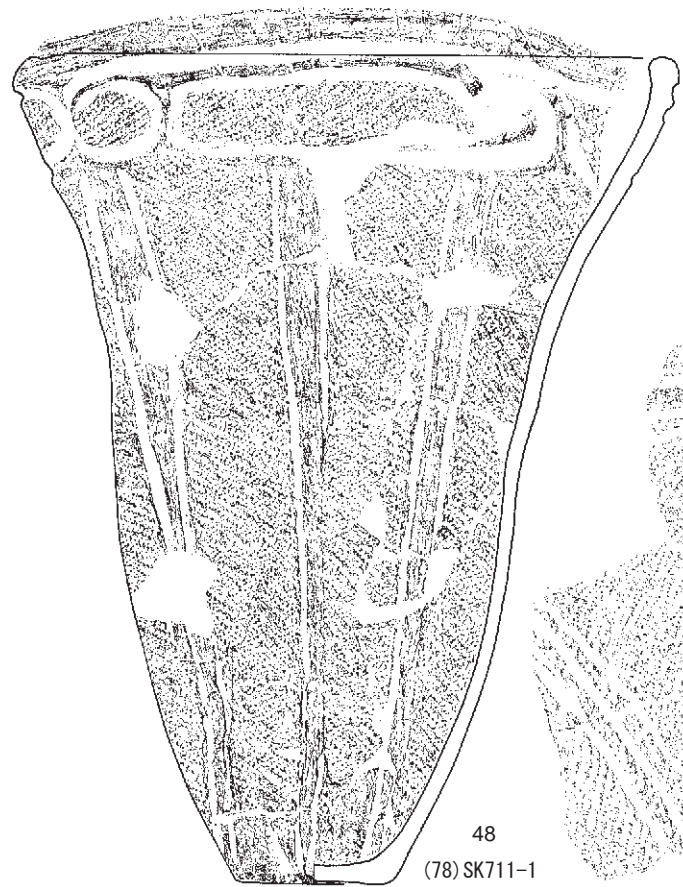
第88図 縄文時代土坑出土土器 (12)



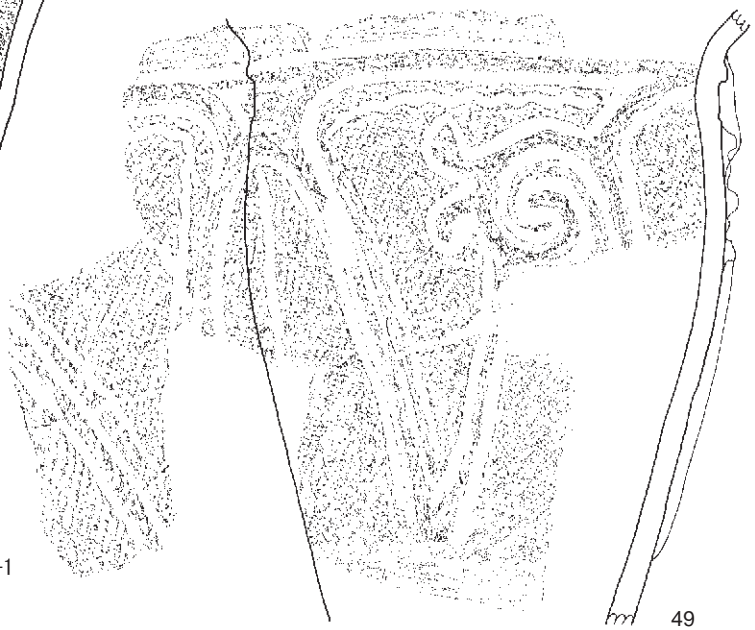
46  
(78) SK703-1



47  
(78) SK703-2



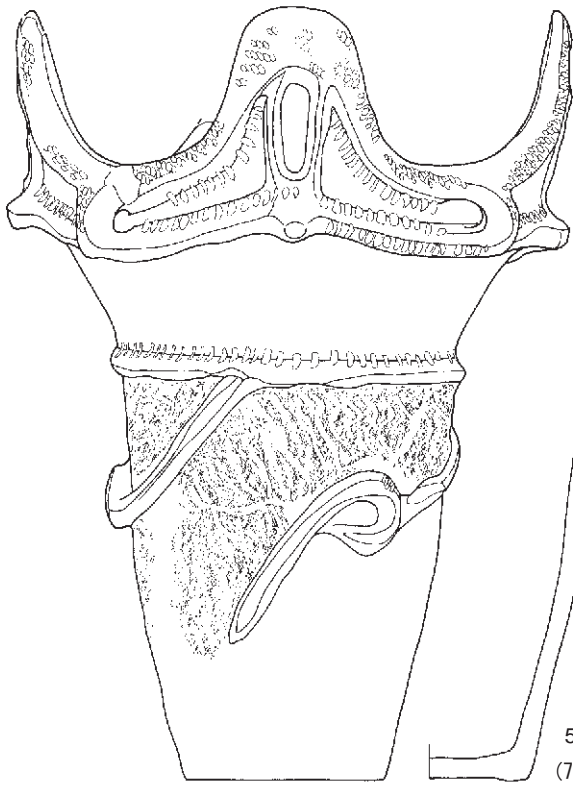
48  
(78) SK711-1



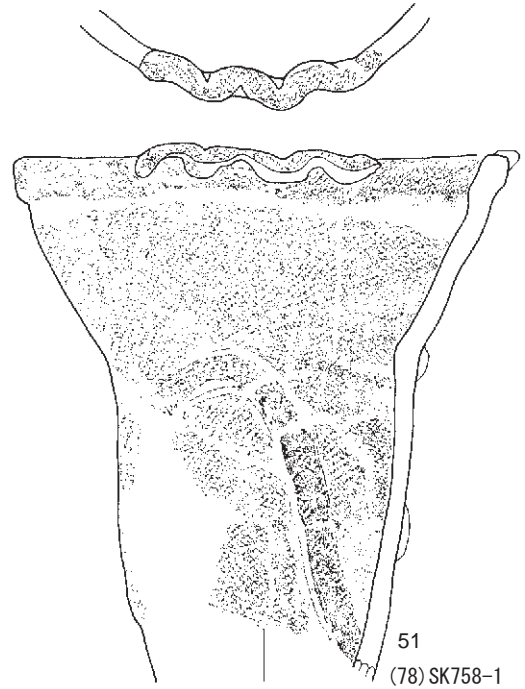
49  
(78) SK731-1

0 (1/4) 10cm

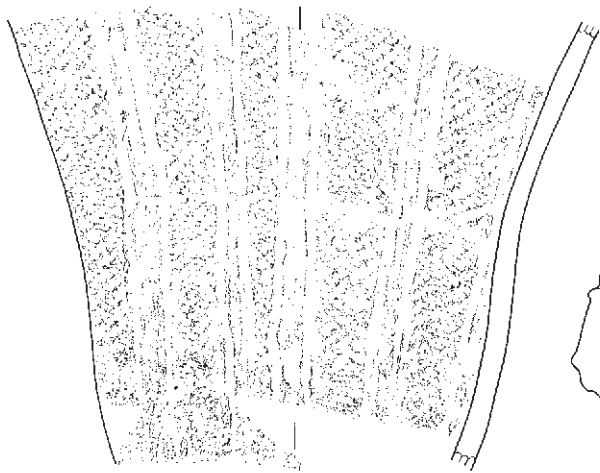
第89図 縄文時代土坑出土土器 (13)



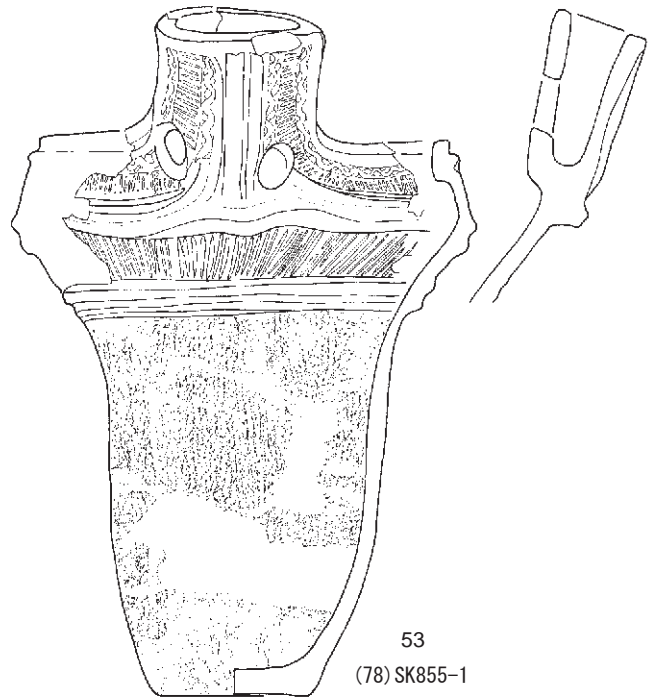
50  
(78) SK759-1



51  
(78) SK758-1



52  
(78) SK804-1



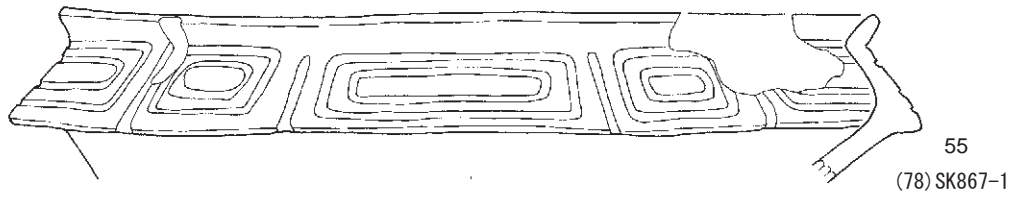
53  
(78) SK855-1

0 (1/4) 10cm

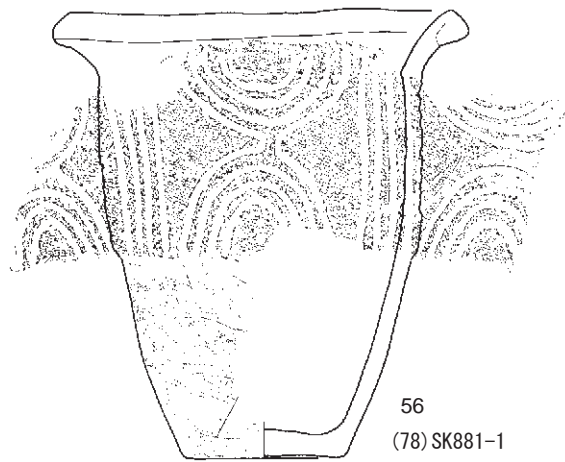
第90図 縄文時代土坑出土土器 (14)



54  
(78) SK816-1



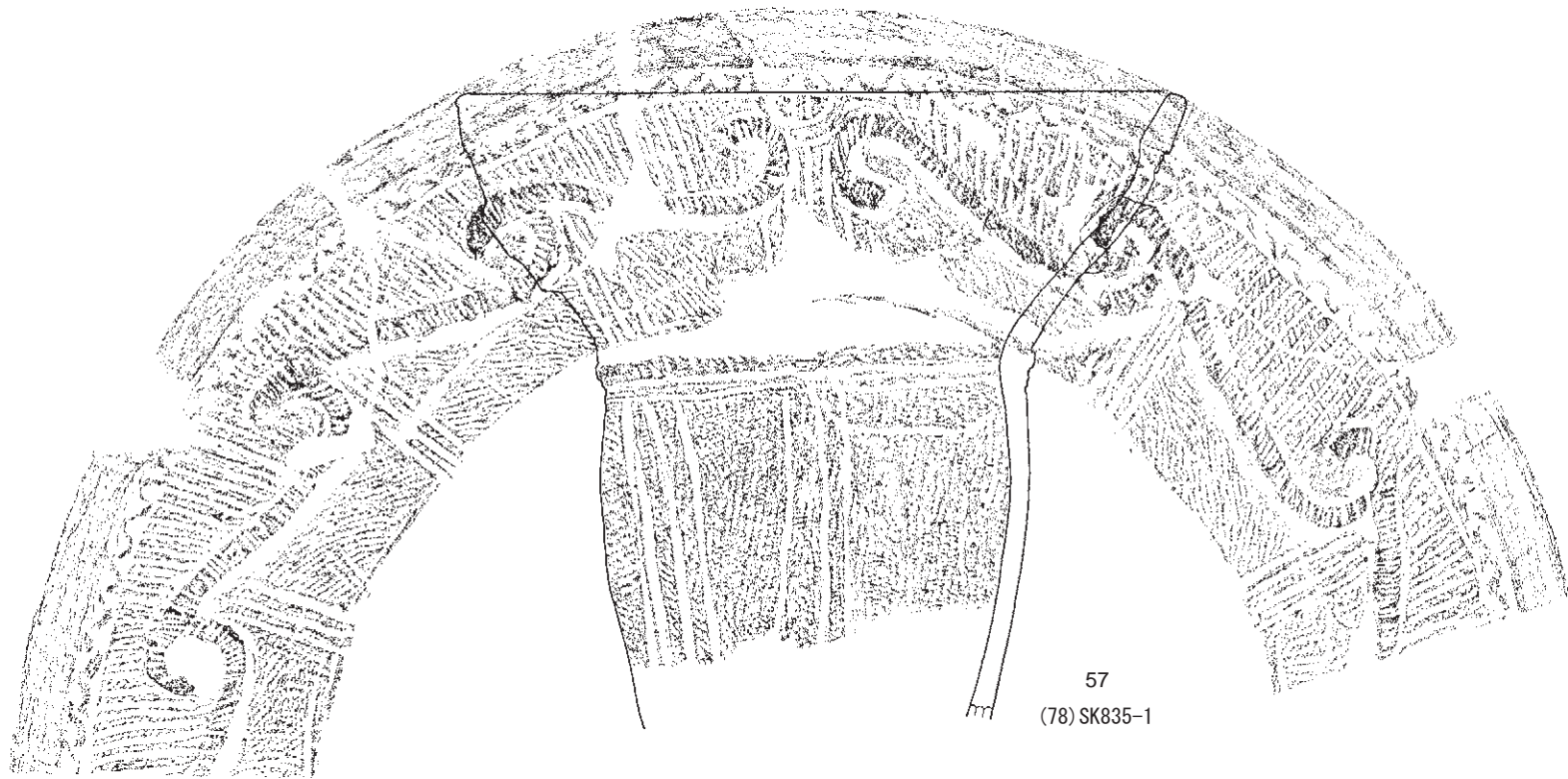
55  
(78) SK867-1



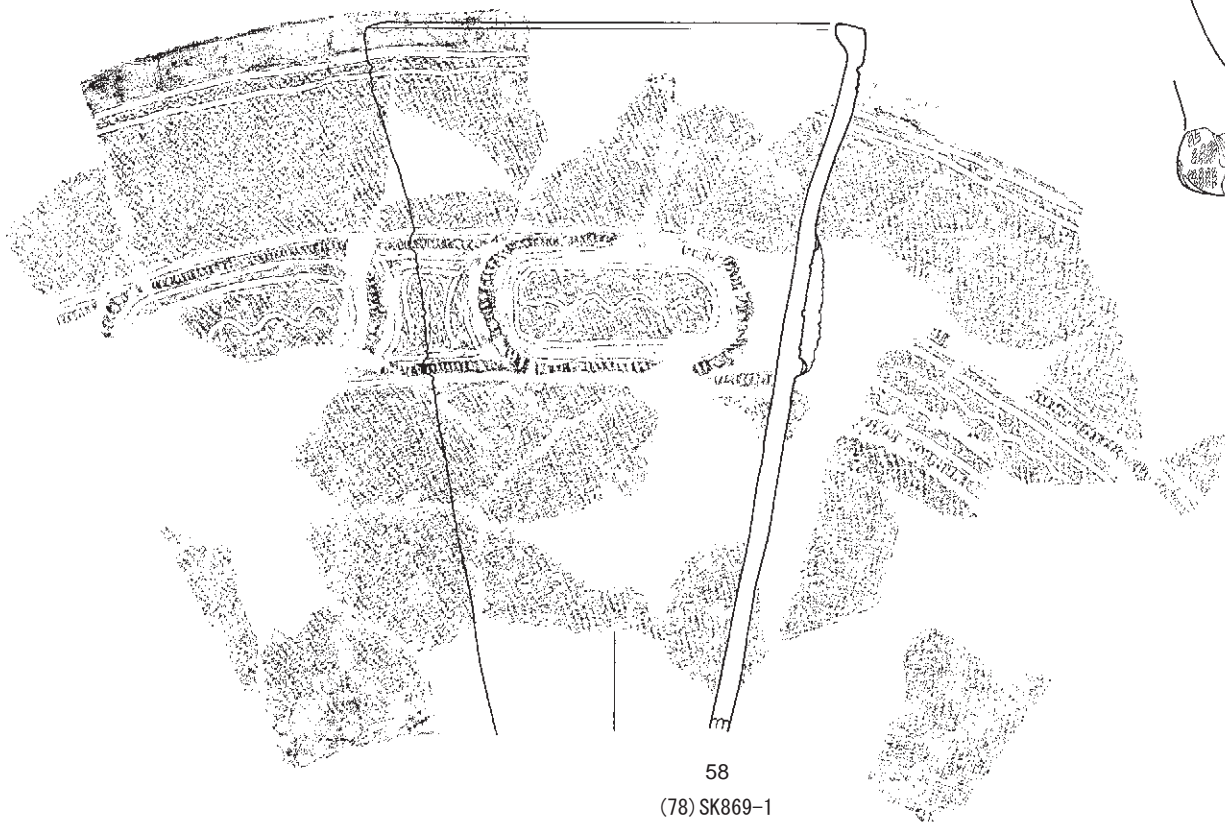
56  
(78) SK881-1

0 (1/4) 10cm

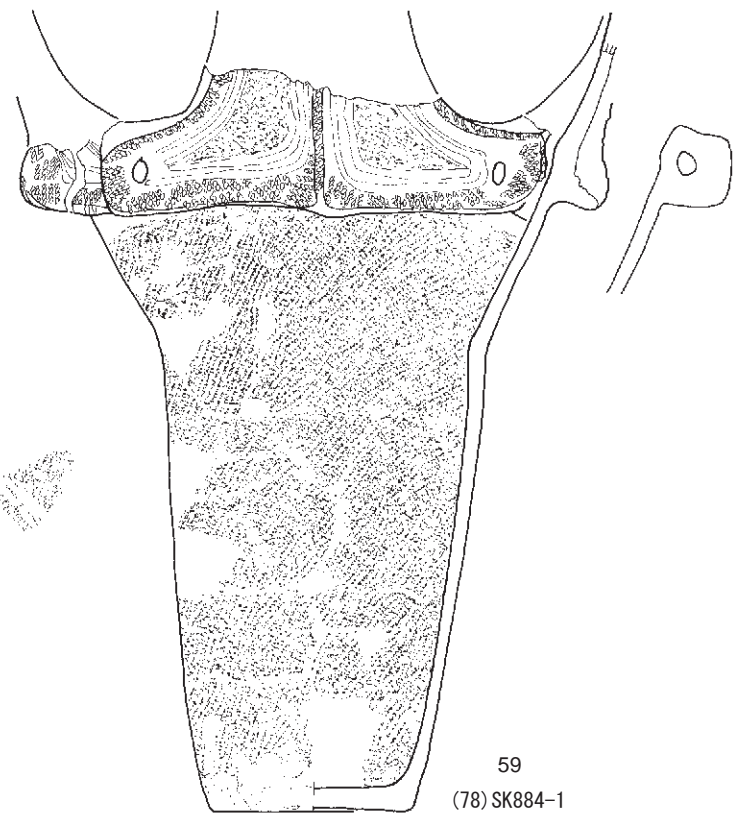
第91図 縄文時代土坑出土土器 (15)



57  
(78) SK835-1



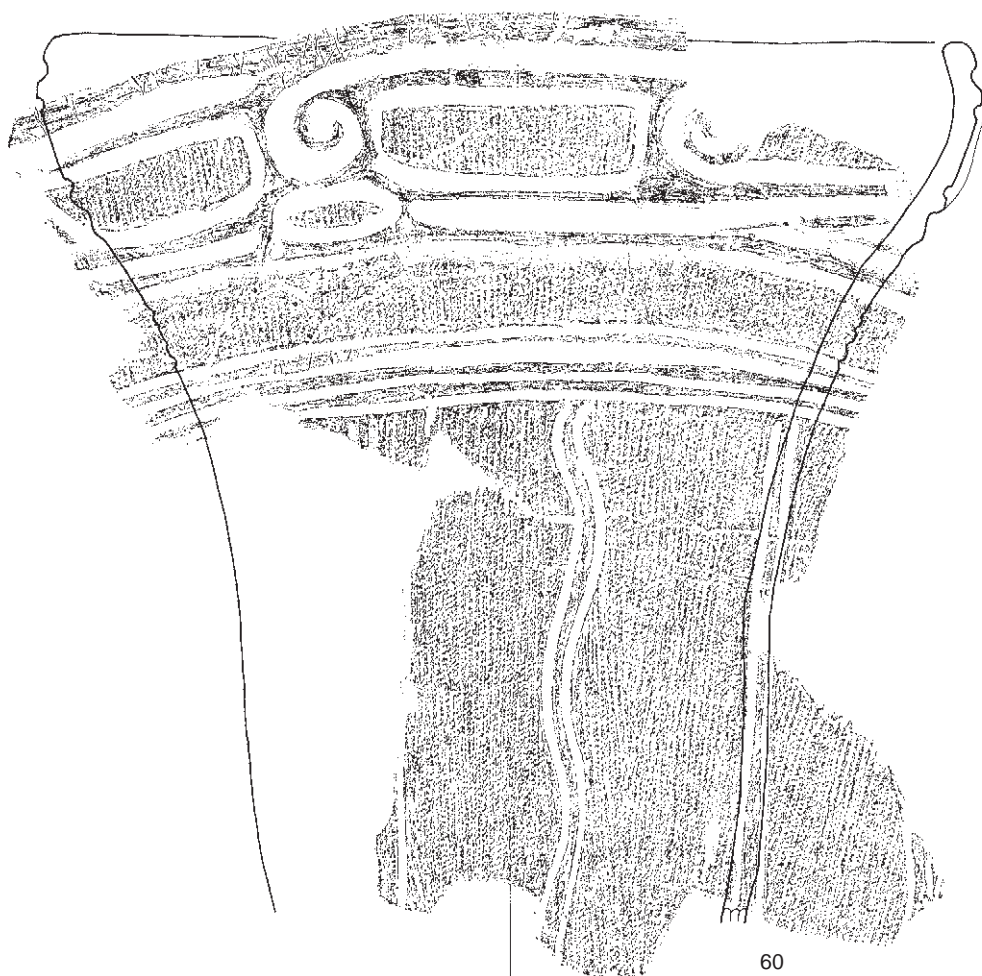
58  
(78) SK869-1



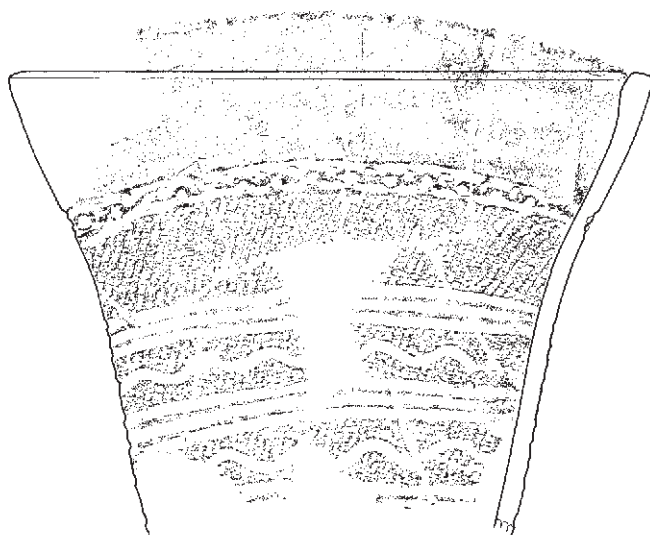
59  
(78) SK884-1

0 (1/4) 10cm

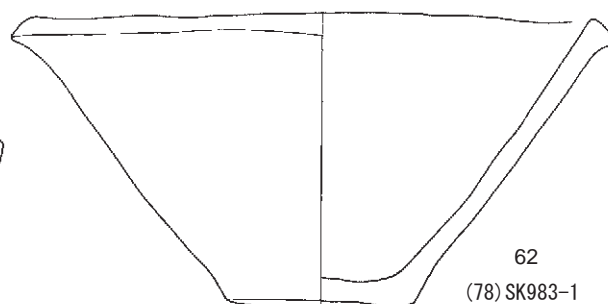
第92図 縄文時代土坑出土土器 (16)



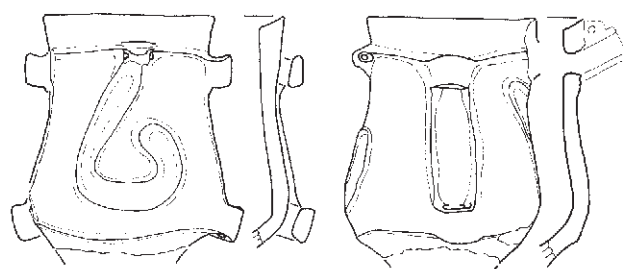
60  
(78) SK910-1



61  
(78) SK946-1



62  
(78) SK983-1

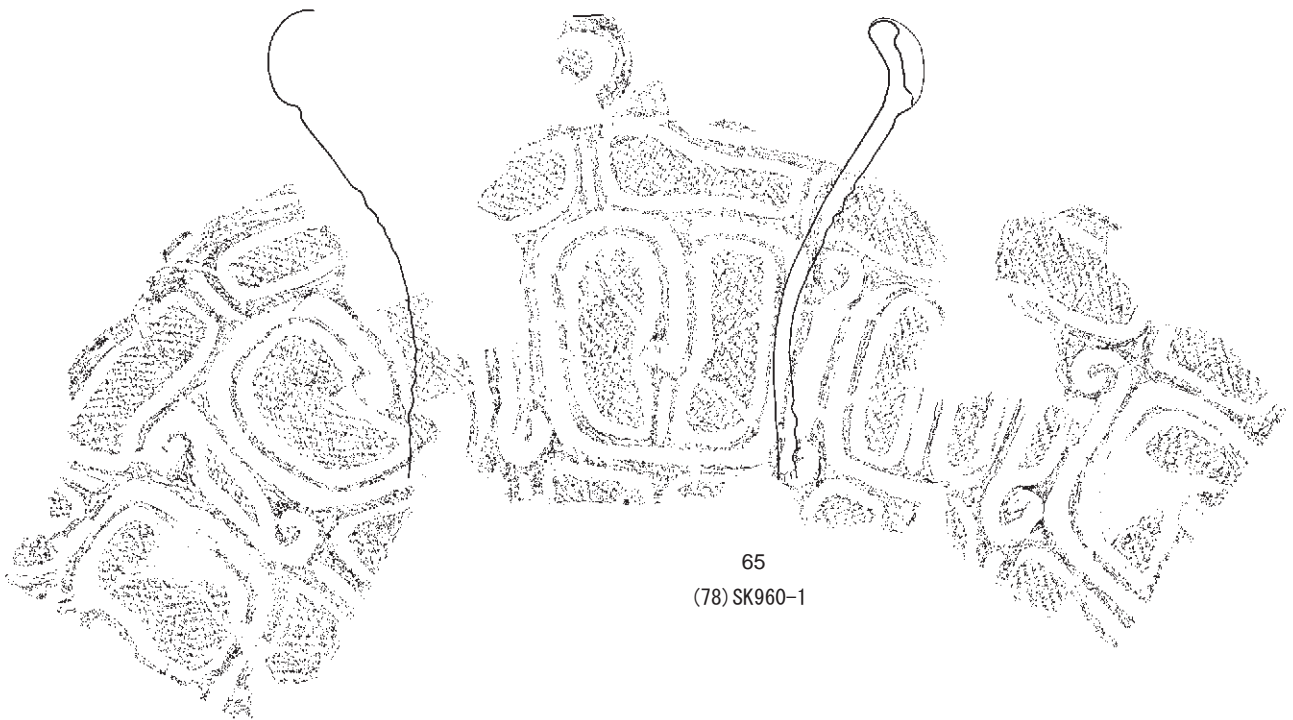
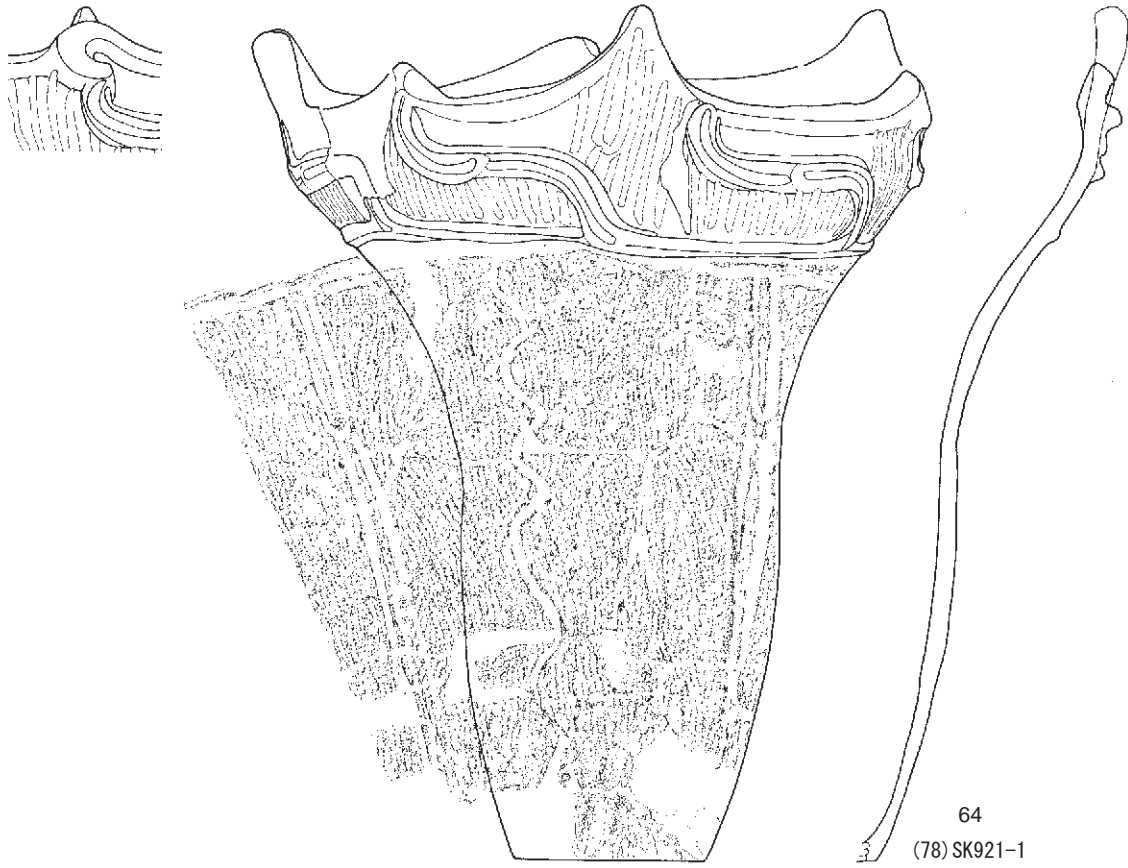


63  
(78) SK988-1

0 (1/4) 10cm

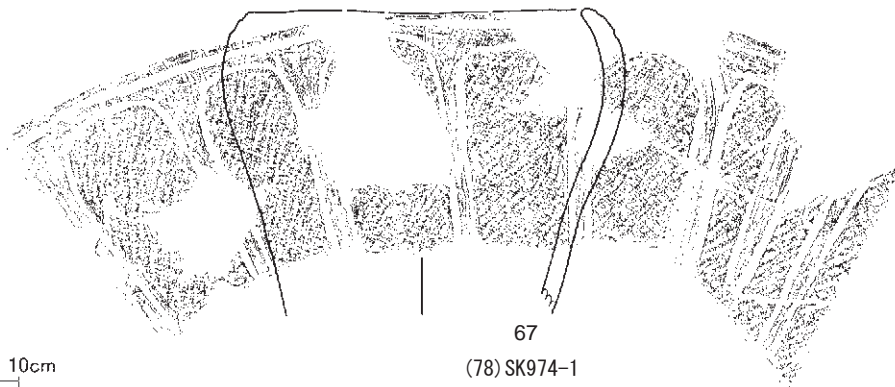
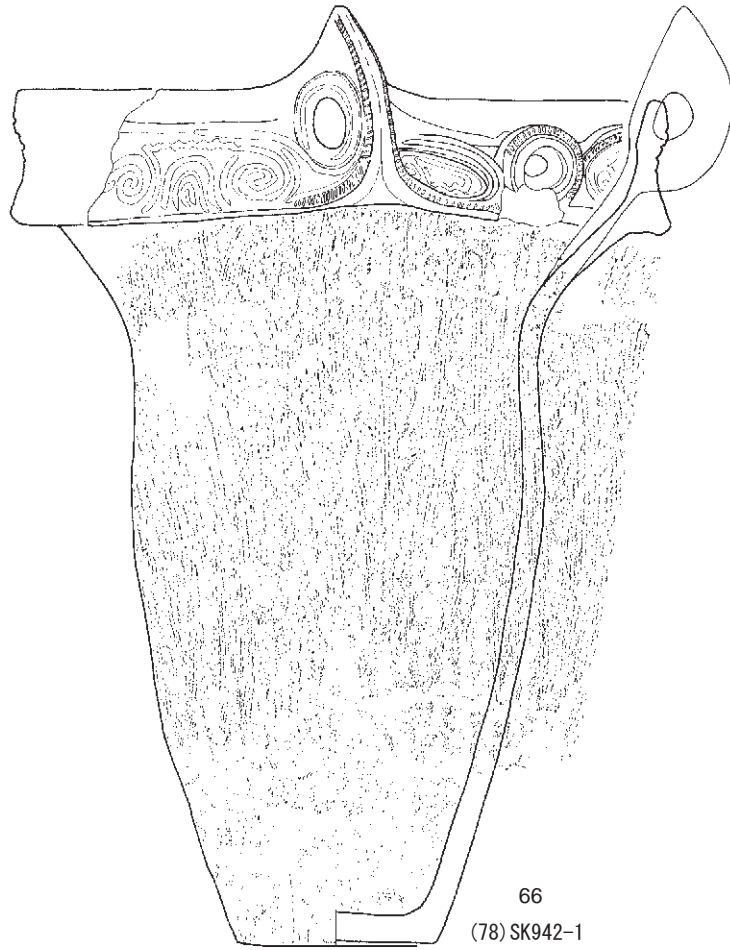
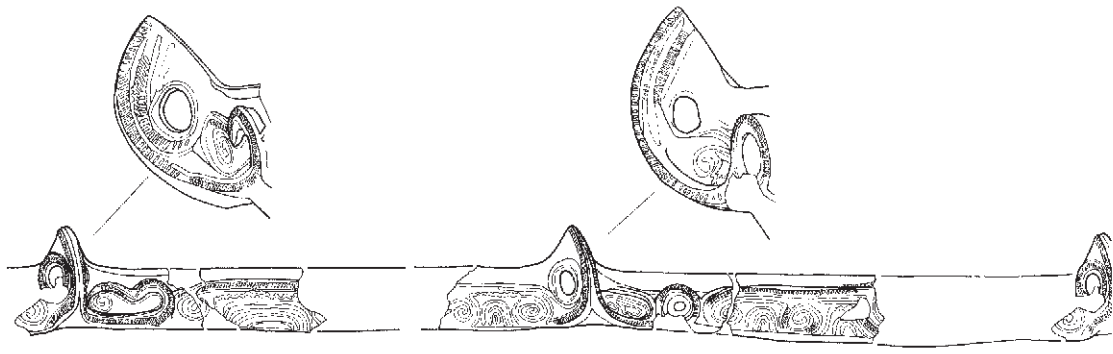
第93図 縄文時代土坑出土土器 (17)





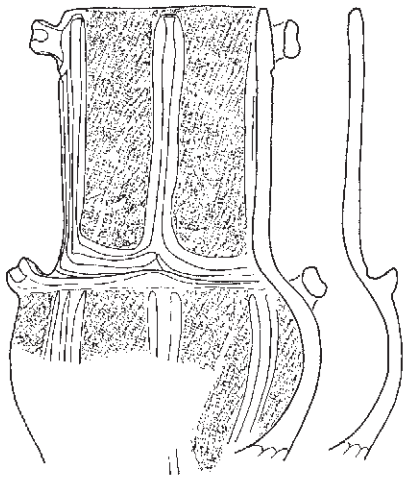
0 (1/4) 10cm

第94図 縄文時代土坑出土土器 (18)

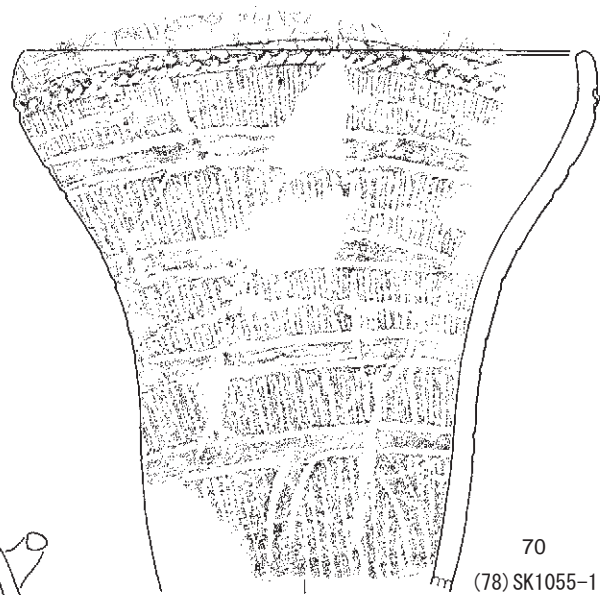


0 (1/4) 10cm

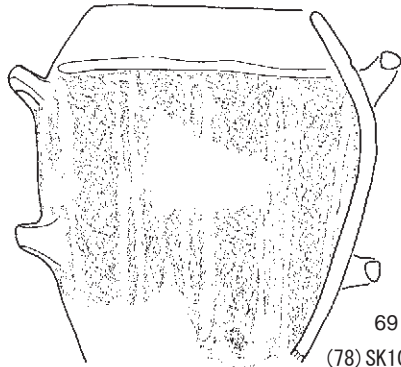
第95図 縄文時代土坑出土土器 (19)



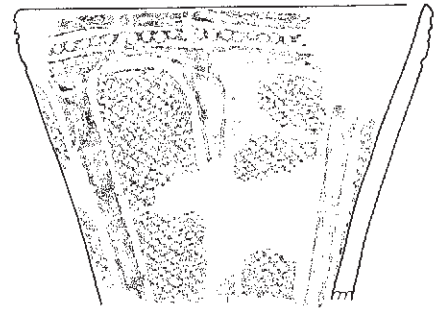
68  
(78) SK1062-1



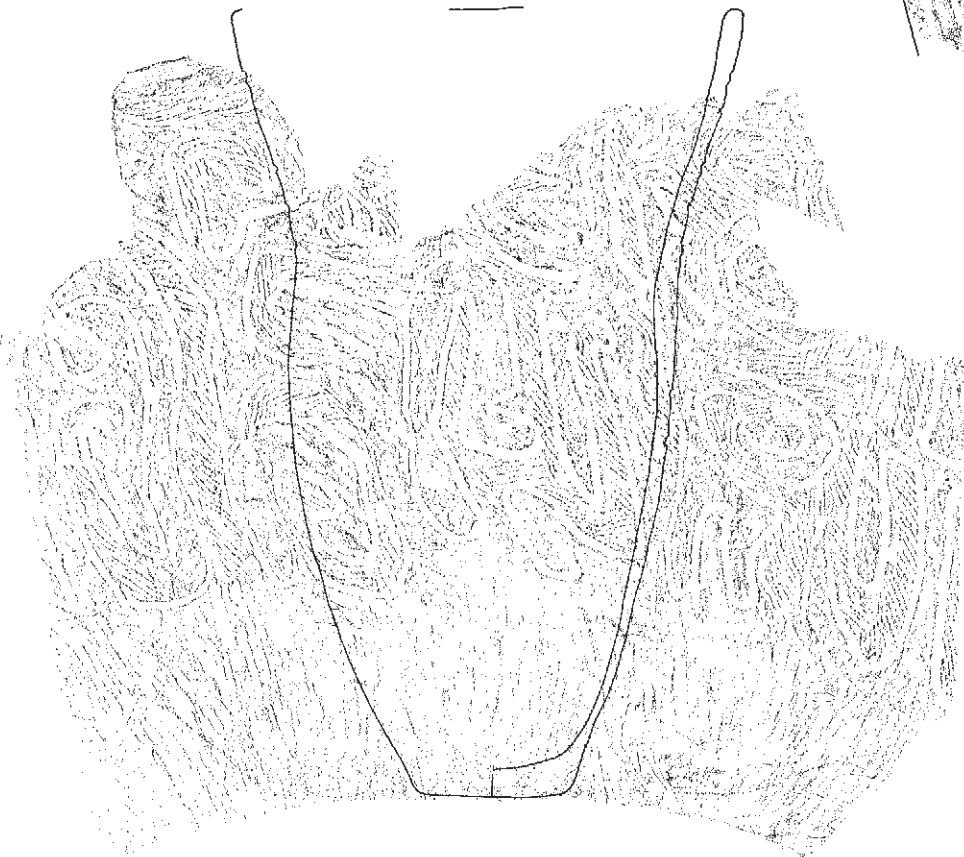
70  
(78) SK1055-1



69  
(78) SK1062-2



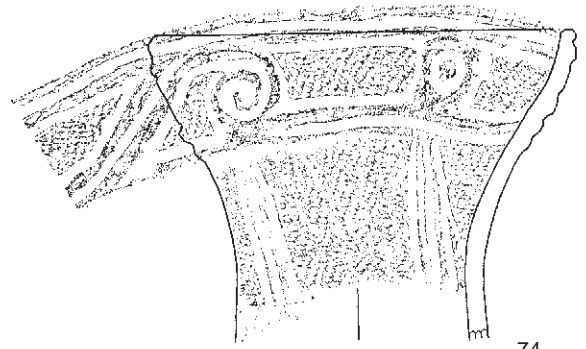
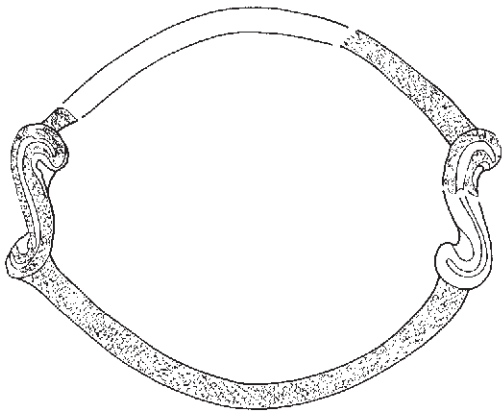
71  
(78) SK1055-2



72  
(78) SK1031-1

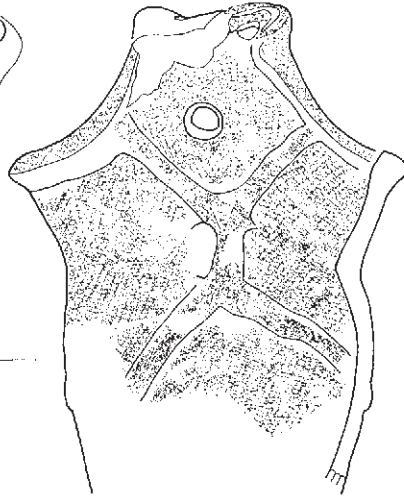
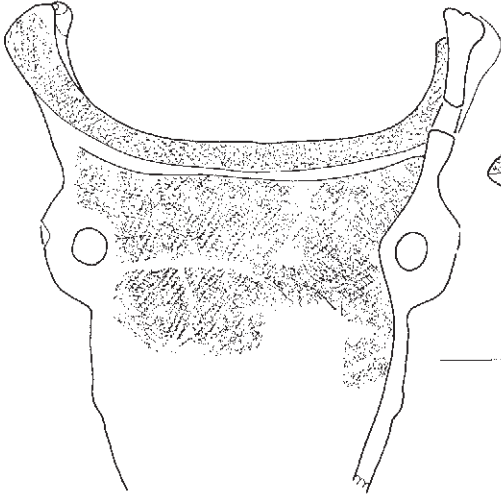
0 (1/4) 10cm

第96図 縄文時代土坑出土土器 (20)



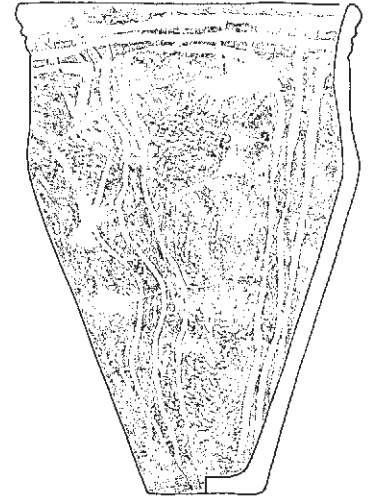
74

(78) SK1162-1



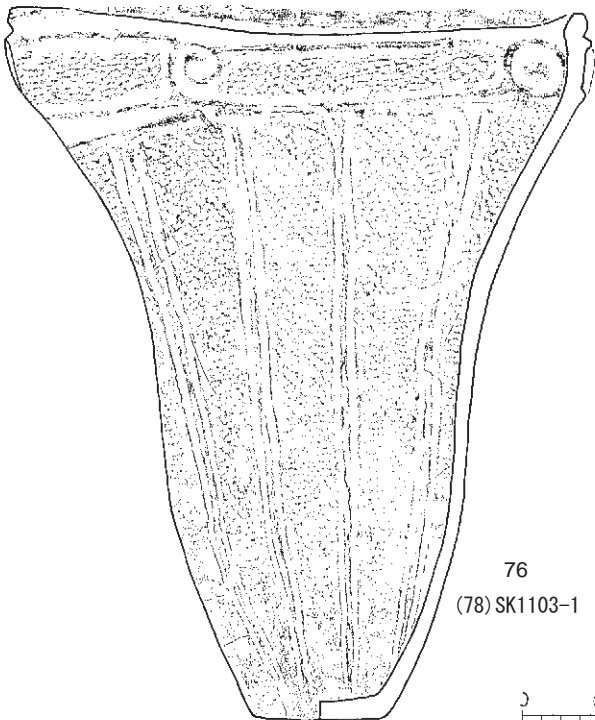
73

(78) SK1046-1



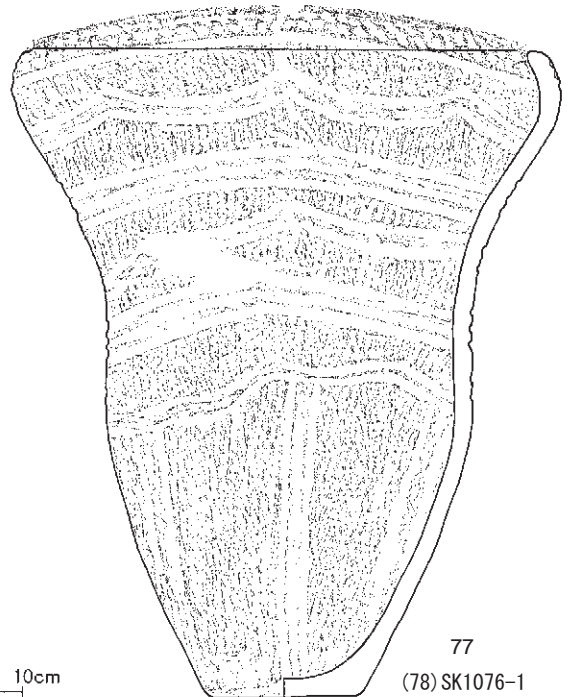
75

(78) SK1162-2



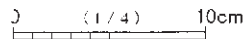
76

(78) SK1103-1

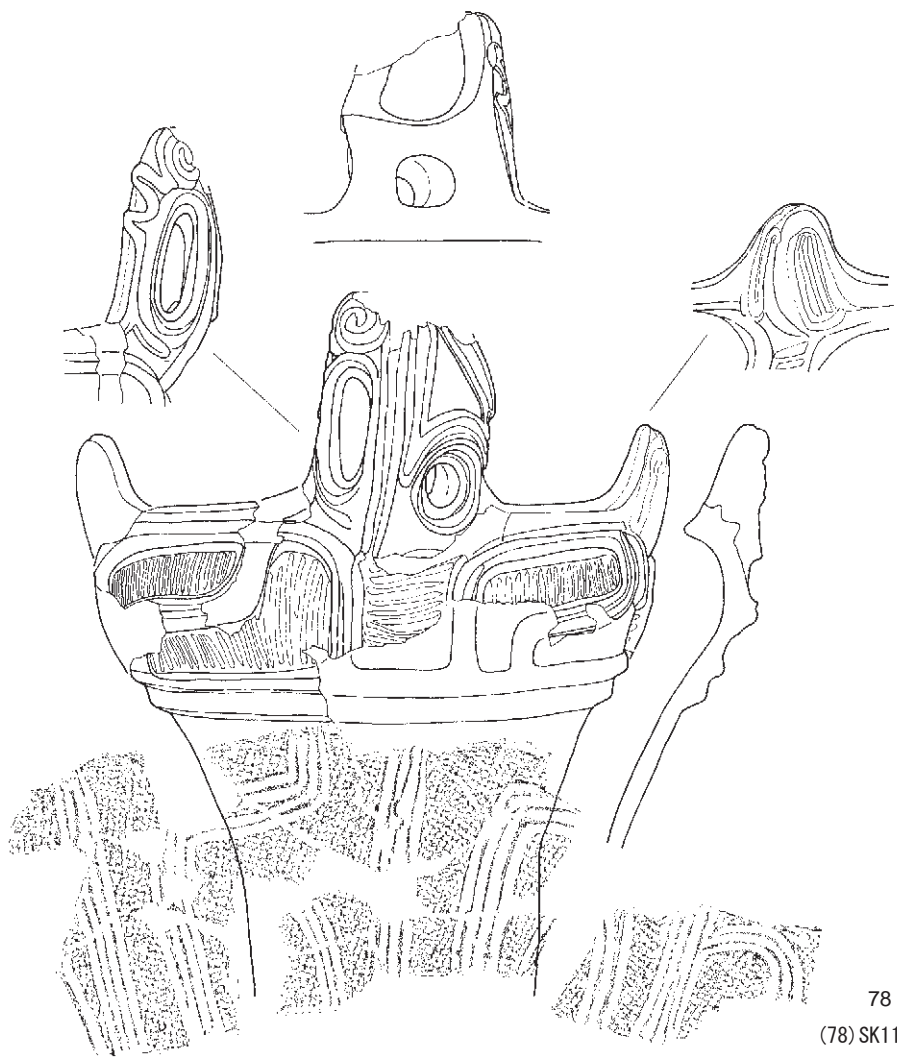


77

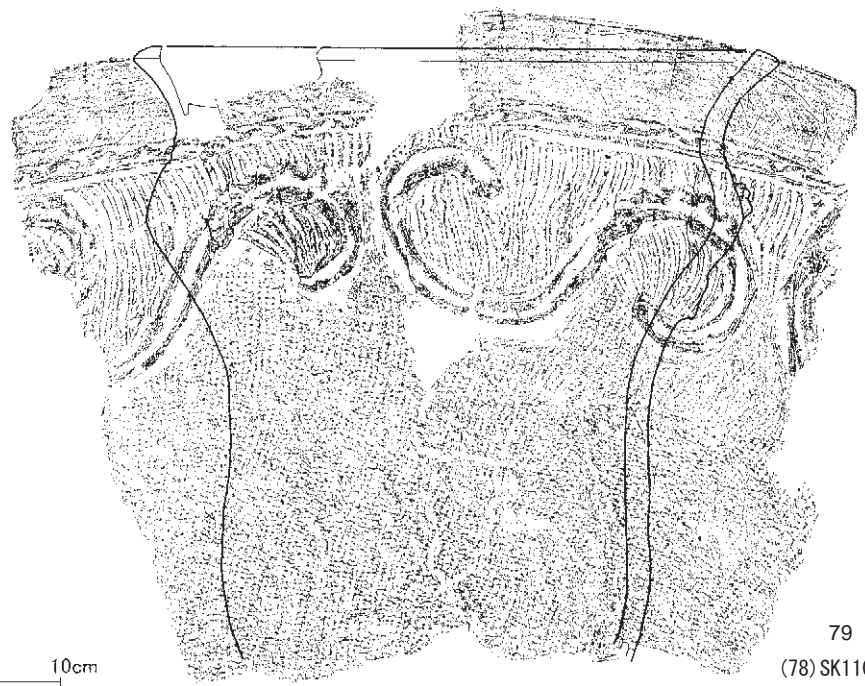
(78) SK1076-1



第97図 縄文時代土坑出土土器 (21)



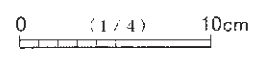
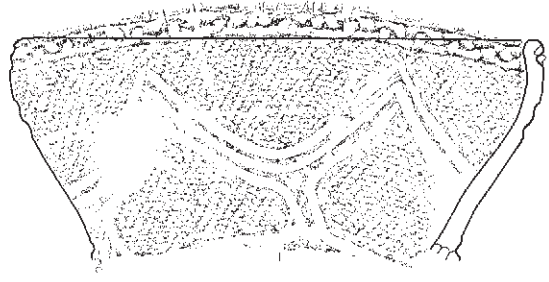
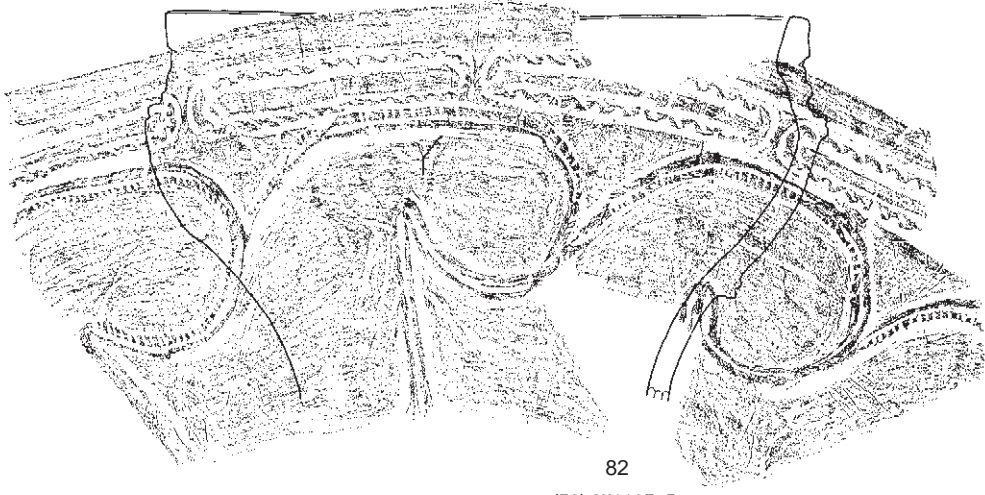
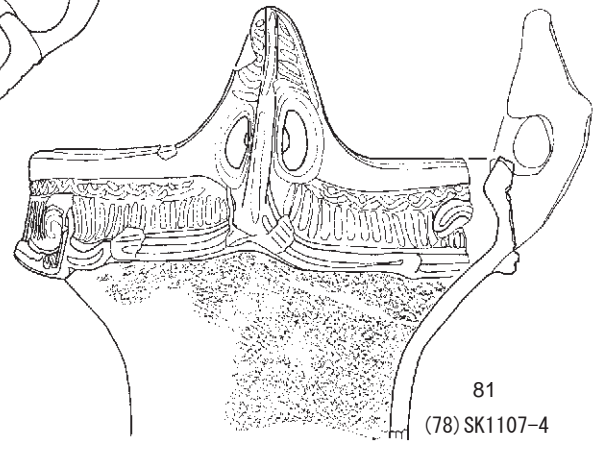
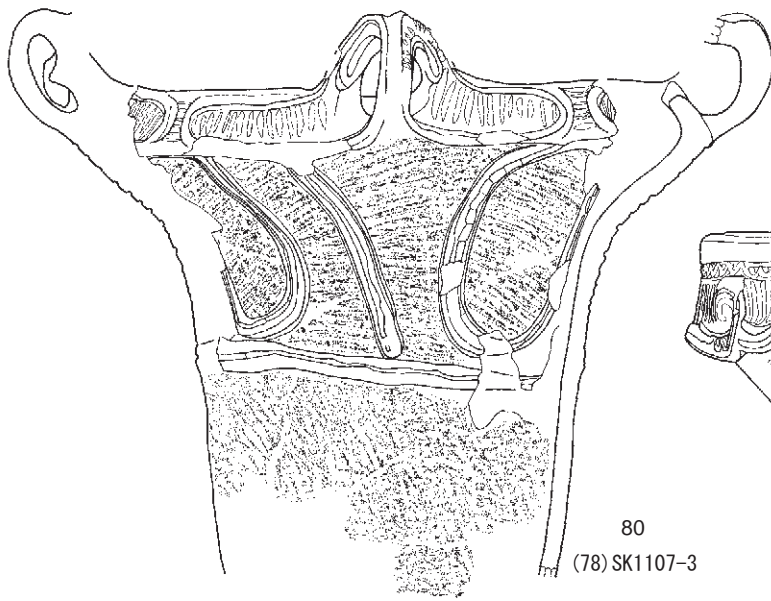
78  
(78)SK1107-1



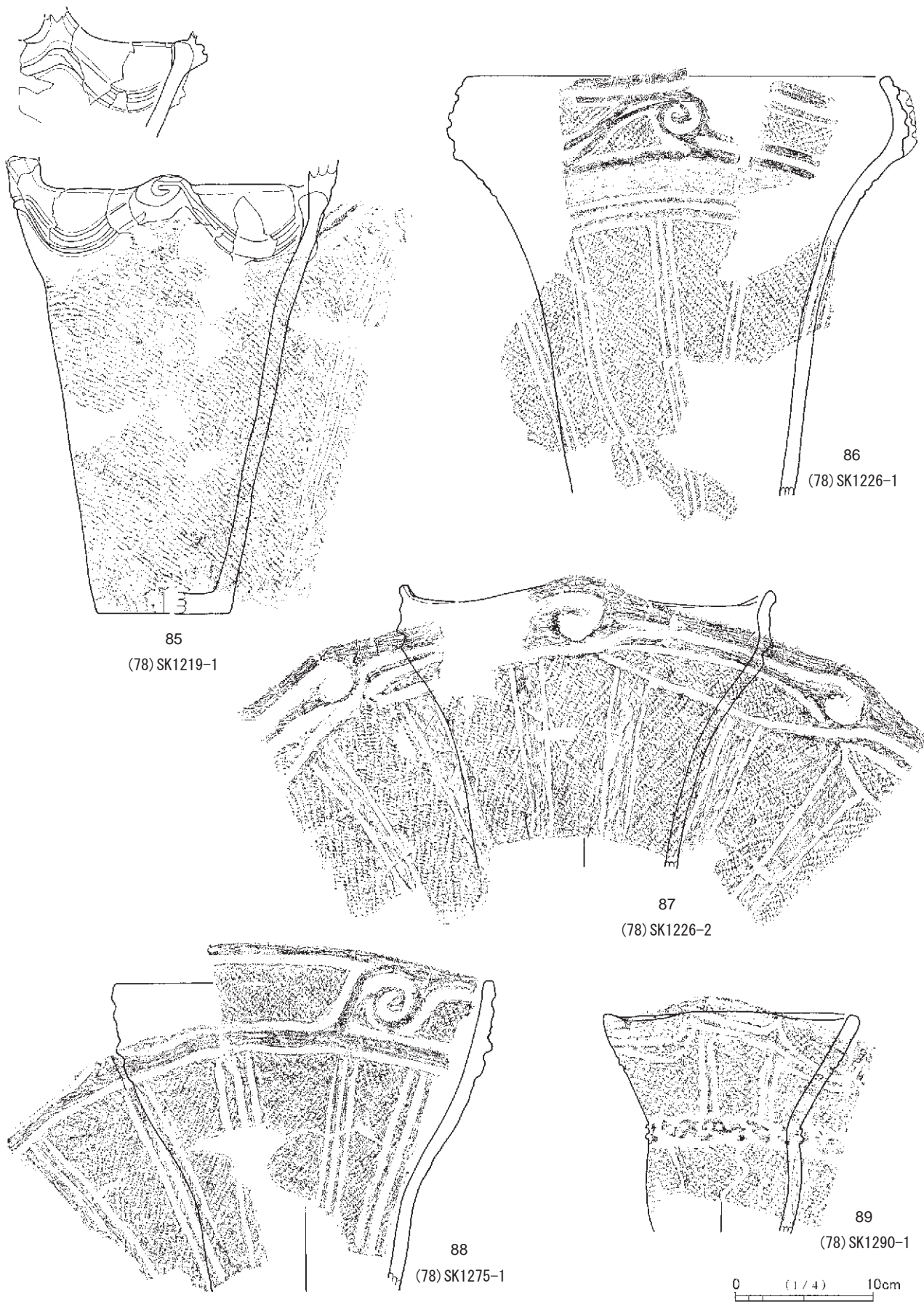
79  
(78)SK1107-2

0 (1/4) 10cm

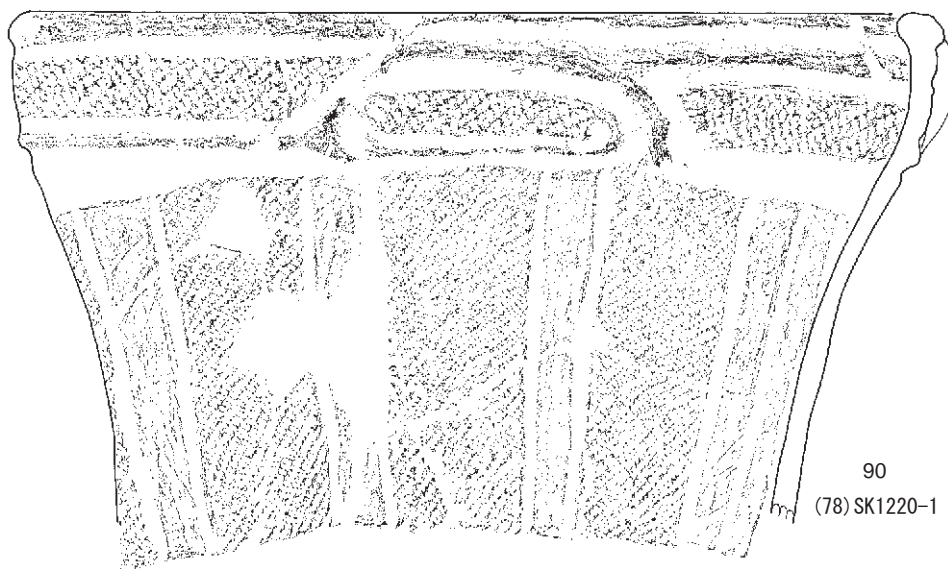
第98図 縄文時代土坑出土土器 (22)



第99図 縄文時代土坑出土土器 (23)



第100図 縄文時代土坑出土土器 (24)



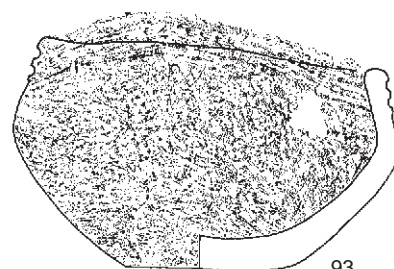
90  
(78)SK1220-1



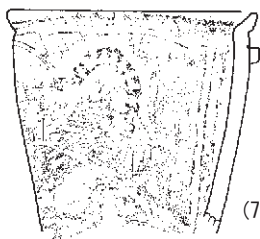
91  
(78)SK1254-1



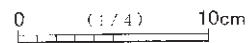
92  
(78)SK1352-1



93  
(78)SK1352-2



94  
(78)SK1352-3



第101図 縄文時代土坑出土土器 (25)



## 5期

称名寺式の時期である。柳澤編年では1～4式に細分され、各細別は古・新段階に小細別されているがここでは、出土量が少ないことから個別に細別を示しておく。

いずれも土坑から出土しており、ほとんどが単独出土である。SK619-1（第85図35）はJ字文を3段連ねた典型的な称名寺1（古）式であるが、3描線がない。1段目と3段目のJ字文の起点に円形刺突文が付く。SK988-2（図版92）は上下で向きの異なるJ字文を施す。1描線を欠くことから、称名寺1（新）式と考えたい。同じ土坑から出土したSK988-1（第93図63）は小型の注口土器である。横向き橋状突起を上下2か所1対取り付け、その間の口縁直下には小孔の開いた小突起と注口を取り付けている。注口は欠損しているが、注口の上部には対面の小孔付き小突起とほぼ同様の小孔があったと思われる。口縁端部は厚みがあり、内傾しかつ窪んでいて蓋受けの機能が想定される。注口下にはI字状の微隆起線文、対面の小突起下にはJ字状の微隆起線文を配する。I字状文の下端は下段の横向き橋状突起に繋がり、さらに上段の橋状突起から口縁下を巡る微隆起線文へと連絡している。J字状文下にも下段の橋状突起を結ぶ微隆起線が認められる。SK988-2と同時期であろう。

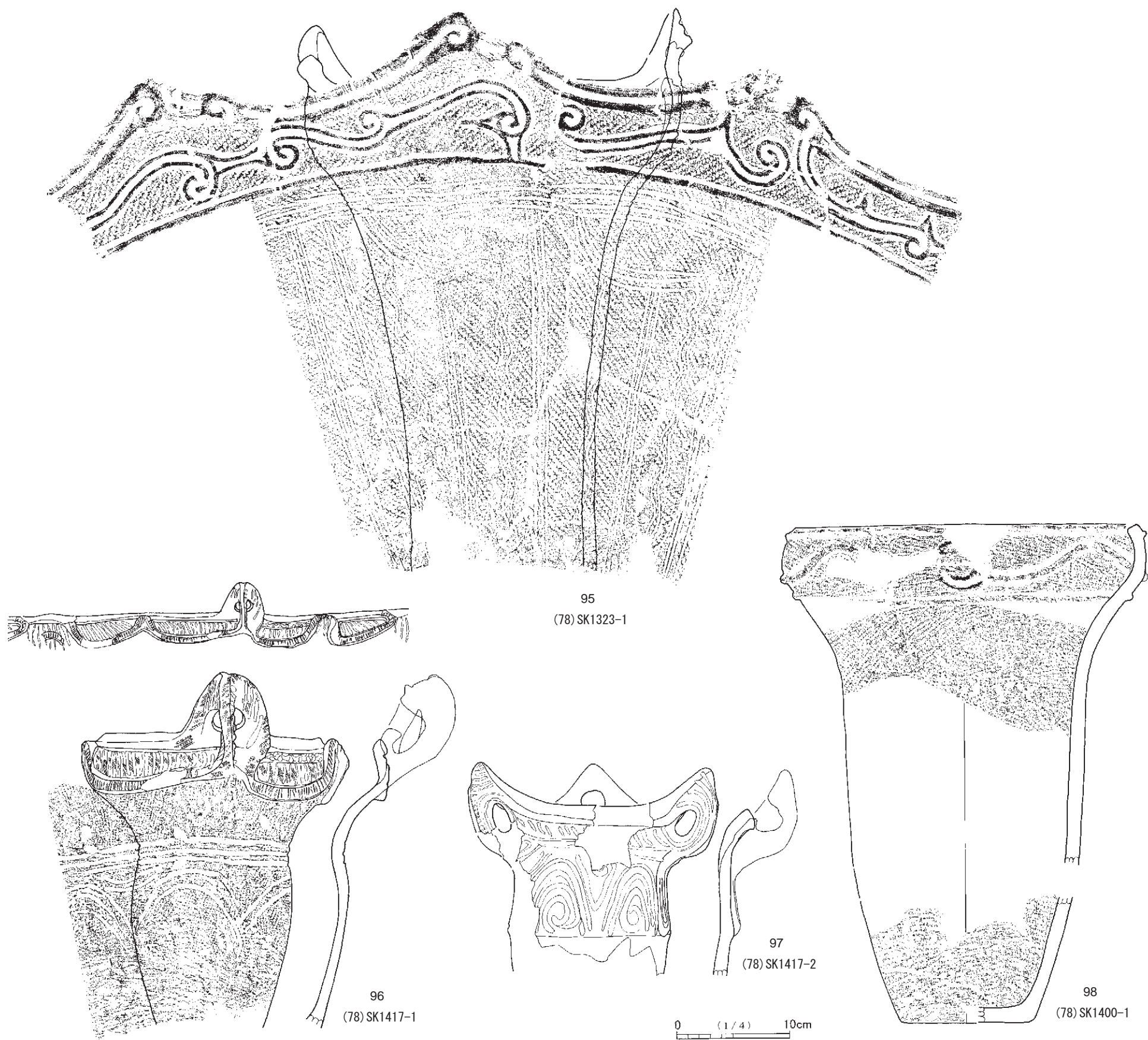
SK1073-1（図版94）はあまり見かけないが、向きの異なるネガポジ反転したJ字状文と思われる。下段に同様のJ字文が配されるらしいが、無文部の幅はかなり広くなるようである。1描線はない。称名寺1（新）式の在地の土器であろう。SK1482-1（第103図100）は縦連のJ字文をだるま形の区画充填文で囲み、空隙にはく字形に似た区画充填文を挿入する文様構造を持つ、称名寺1（新）式段階と思われる。J字文とだるま形区画文は連結してしまっていて、本場の武蔵野台地のものとやや異なりやはり在地の土器であろう。区画内に円点文が入り一見新しく見えるが、文様構成からこの時期と考える。SK1031-1（第96図72）は相当に文様がくずれている。器形から新しくは見えず、口縁端部も内側に肥厚しない。また、1描線がある。やはり称名寺1（新）式段階と思われる。称名寺式の文様構造を理解していない明らかに在地の土器といえよう。SK200-1（図版74）はS字状の口縁突起を持つもので、続加曾利E4式であろう。SK1006（図版122）は屈折した口縁にC字系貼付文を橋状突起としており、貼付文からはさらに続けて短い隆線が垂下する。その左右の屈折した口縁下から巡る隆線もまた垂下している。これらの隆線上及び口縁部には棒状工具による刺突列が付く。胴中段は強くくびれ、上半の分割柱状線と思しき隆線区画内にはための沈線による三角形の区画文様が入る。この特徴的な屈折した口縁は門前1式に近く、C字系貼付文とともに東北の影響を強く受けていると考えられる。やはり称名寺1（新）式段階と思われる。

SK839（図版122）はすべて同一個体である。波状突起頂部の小型円形貼付文から分割柱状線が垂下する。分割柱状線は称名寺式後半にはないとされているが、この分割柱状線には刻みがなく、鉤状文も素文であることから、ここでは称名寺3式としておきたい。SK962-1（図版92）はポジスペード文とネガ鉤J字文の組み合わせで、ポジ文内に列点を施す。これも称名寺3式であろう。

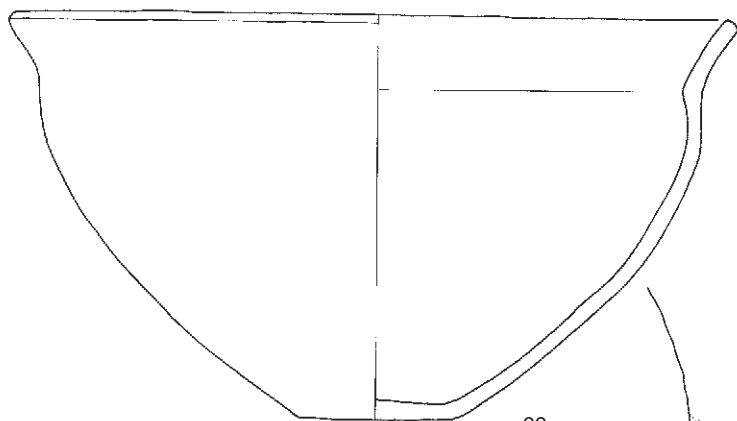
## 6期

堀之内1式の時期である。この時期の編年も諸説あるが、おおよそ蕨手文や蛇行沈線などの独立した単位文様からこれらを連結させたり、沈線を多条化したりして複雑化し、密接集合沈線による文様へと変化する点でほぼ一致している。

こうした流れから、当該期の土器を見ると、古式のものとしてはSK1003-1～6（図版92・93）がまとまっ



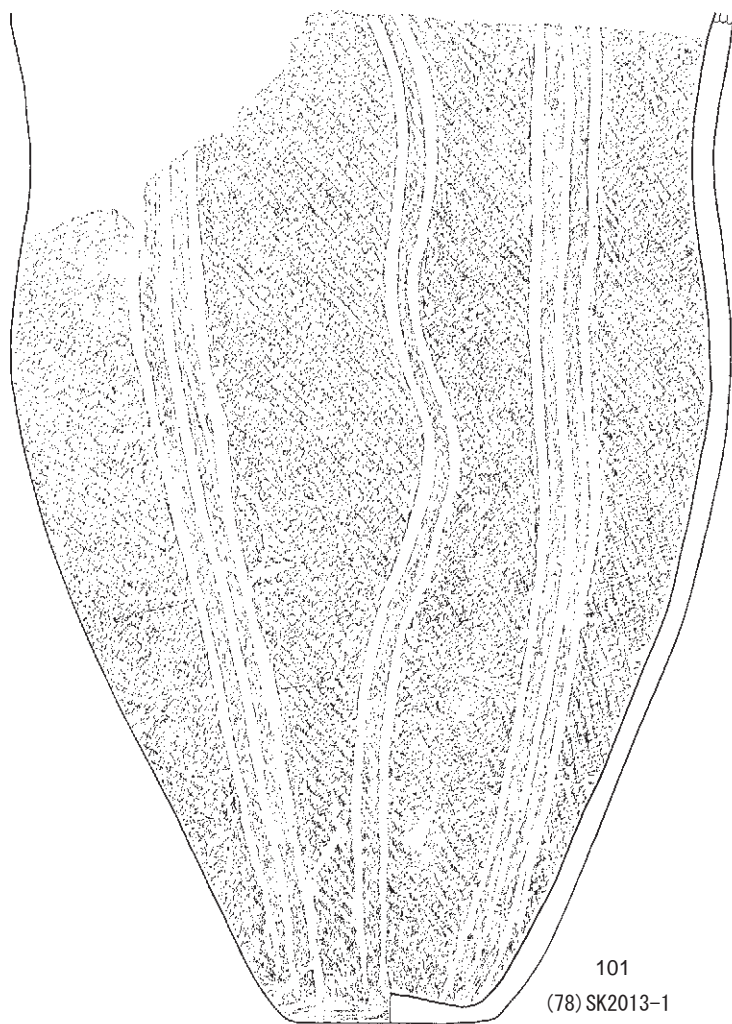
第102図 縄文時代土坑出土土器 (26)



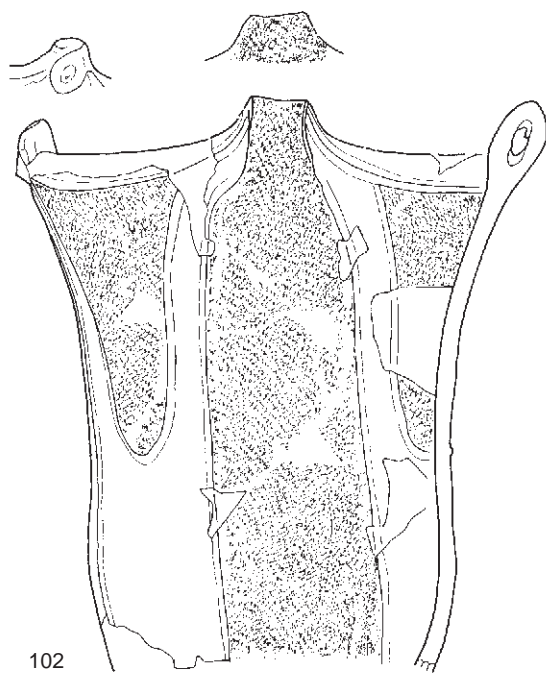
99  
(78)SK1404-1



100  
(78)SK1482-1



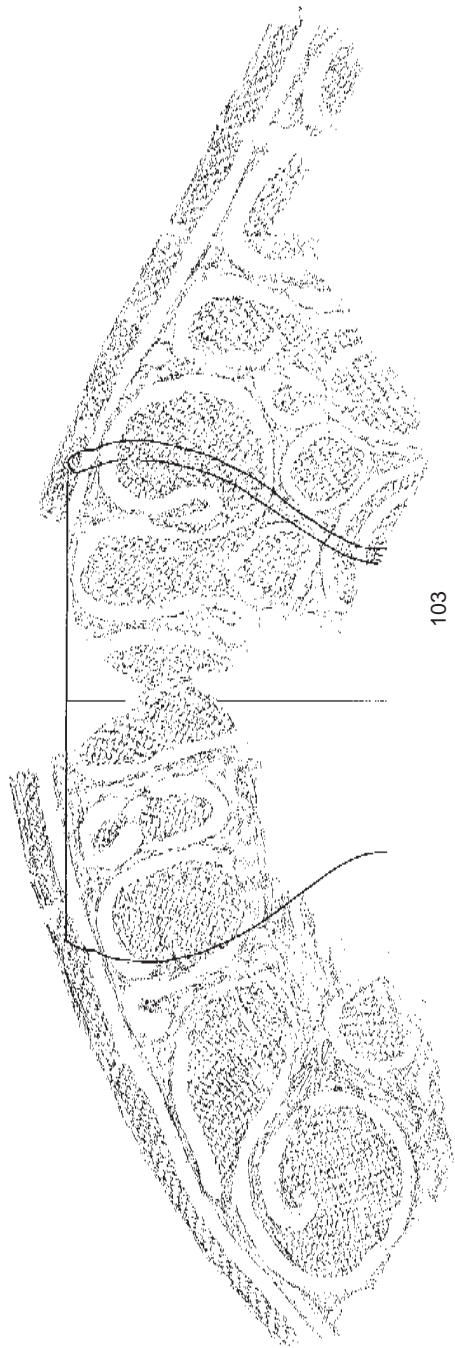
101  
(78)SK2013-1



102  
(78)SK1452-1

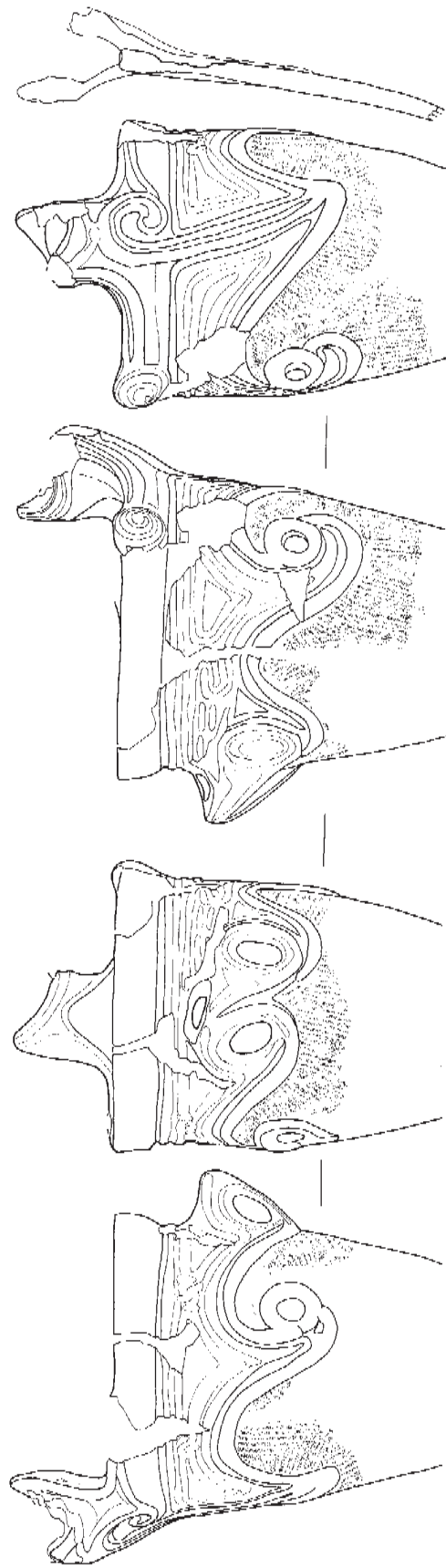
0 (1/4) 10cm

第103図 縄文時代土坑出土土器 (27)



103

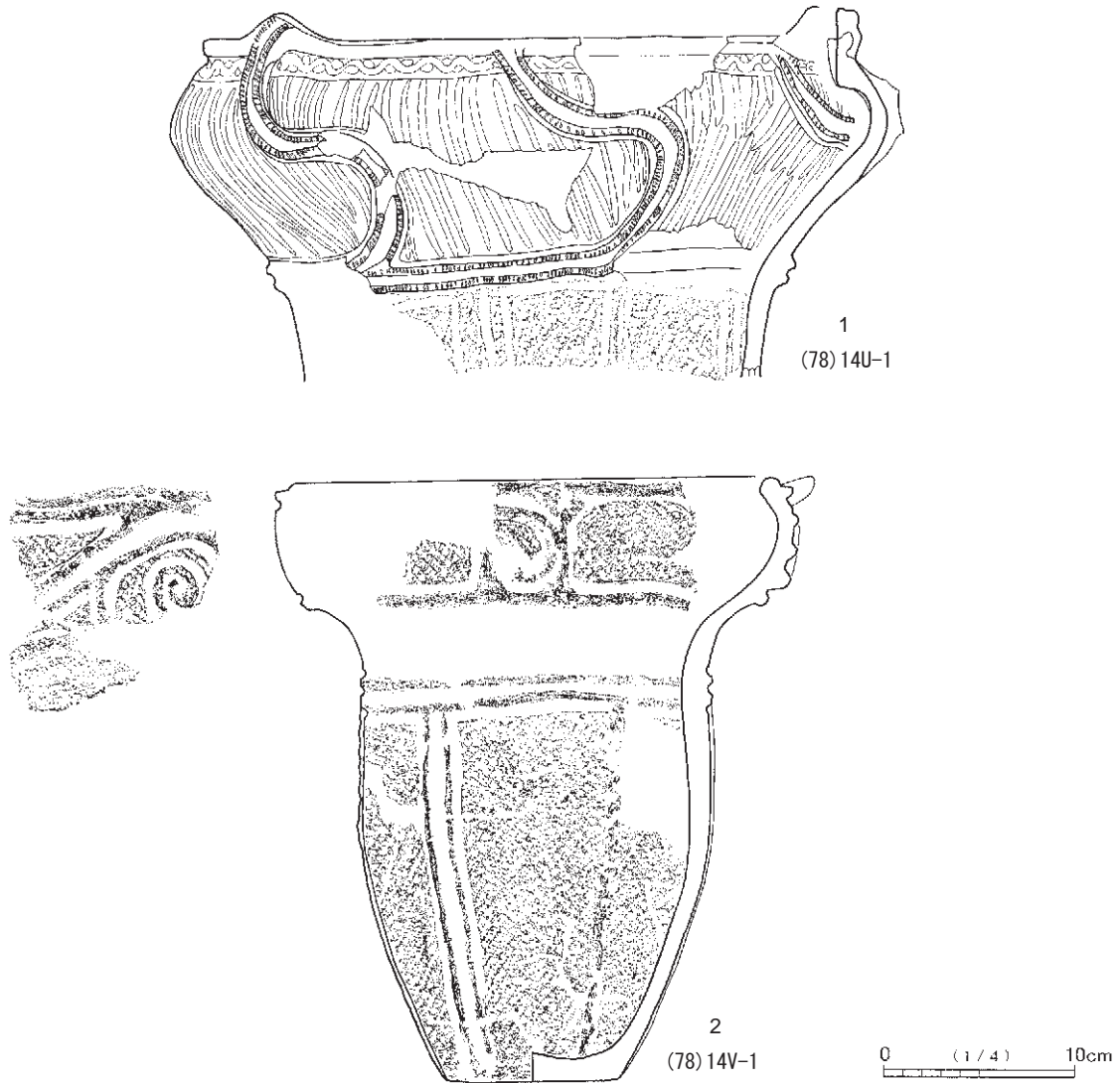
(78) SK1528-1



104

(78) SK1550-1

第104図 縄文時代土坑出土土器 (28)



第105図 遺構外出土縄文土器

ている。1に近い例には14U -1 (図版101) がある。SK815-1 (図版88) も古手であろう。次の、単位文が連結する段階ではSK338-1・2 (第81図21・22) の2個体があげられよう。SK334-1・2 (図版76)、SK336-1 (図版76)、SK994-1 (図版92)、14V -2 (図版100) もほぼこの段階であろう。SK716-1 (図版87) は沈線が細く多条化しており、より新しい段階であろう。しかし、終末段階の密接集合沈線のものは見られない。

なお、SK706-1・2 (図版86) は太い沈線による縦横の蛇行文様や矩形の区画文内に櫛歯条線文を施す特異な文様構成を持つ。おそらく古手であろうが、由来がよくわからない。

## 第6節 土製品

### 土偶 (第106図1～3、巻頭図版、図版124、第9表)

1は胴以下を欠損し、顔面の右側及び右側乳房から右腕にかけても斜めに削いだように欠損する。目及び口は浅く彫り込まれ、鼻梁から眉にかけて粘土を貼り付けて高くしている。鼻孔は小型の円形竹管を刺突して表現している。頭部は上面観が環状をなす。乳房は貼り付けによるもので、正中線が顎の直下から腹部にかけて浅い沈線で表されている。背面には中央に同様の沈線が垂下し、腰上部に至って刺突文を囲むように曲げられている。出土した土坑からは堀之内1式が多く出土しており、形態的にも後期前葉の所産と見てよいと考えられる。2は先端が丸みを帯びた板状の土製品で、片側が折損する。折損部はわずかに幅広になる。全面に細く鋭い沈線による文様を施す。出土した土坑は加曾利E3式古段階に比定されており、文様の特徵からも同時期の所産と思われる。3は薄い板状の土製品である。下端はやや湾曲し、側面は上方に向かって直線的に狭まっている。胎土、焼成ともに精良である。一応、ここに含めた。出土した土坑の時期は不明である。

### 耳栓 (第106図4～7、図版124、第10表)

4点出土した。4・5は有孔、6・7は無孔である。4は円筒状をなすが、全体に細かい凹凸があり、やや粗雑な作りである。二次的加熱を受け、表面が荒れている。出土した住居跡は加曾利E1式古段階に比定されている。5は糸巻き状の形態をなす。孔を除き、全面赤彩されている。胎土は比較的精良である。6はきわめて小型である。側面は中央が窪み、表裏面も軽く窪む。胎土、焼成とも不良である。5・6とも出土した土坑の時期は不明である。7は大型品で、表裏両面が深く窪む。表裏面の縁辺は薄くなっているため、細かい欠損が多数認められる。赤彩の痕跡が各所にあり、本来は全面に塗布されていたと考えられる。グリッド出土である。

### ミニチュア土器 (第108図、図版124、第11表)

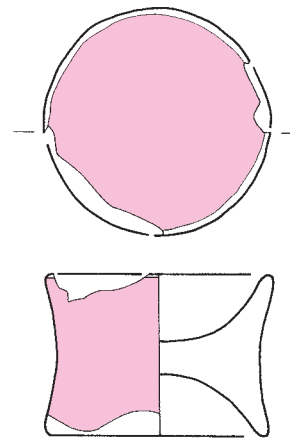
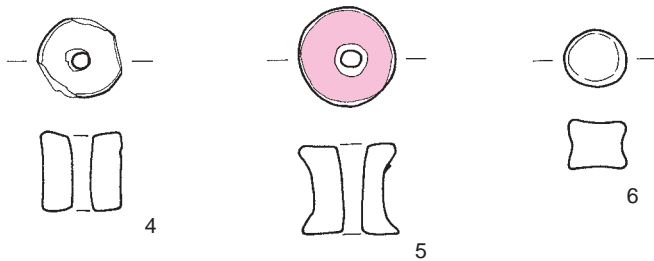
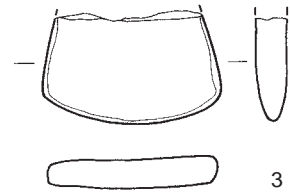
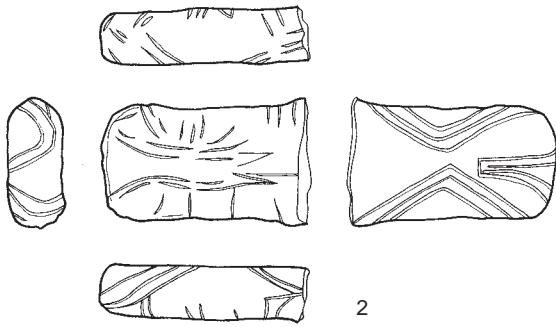
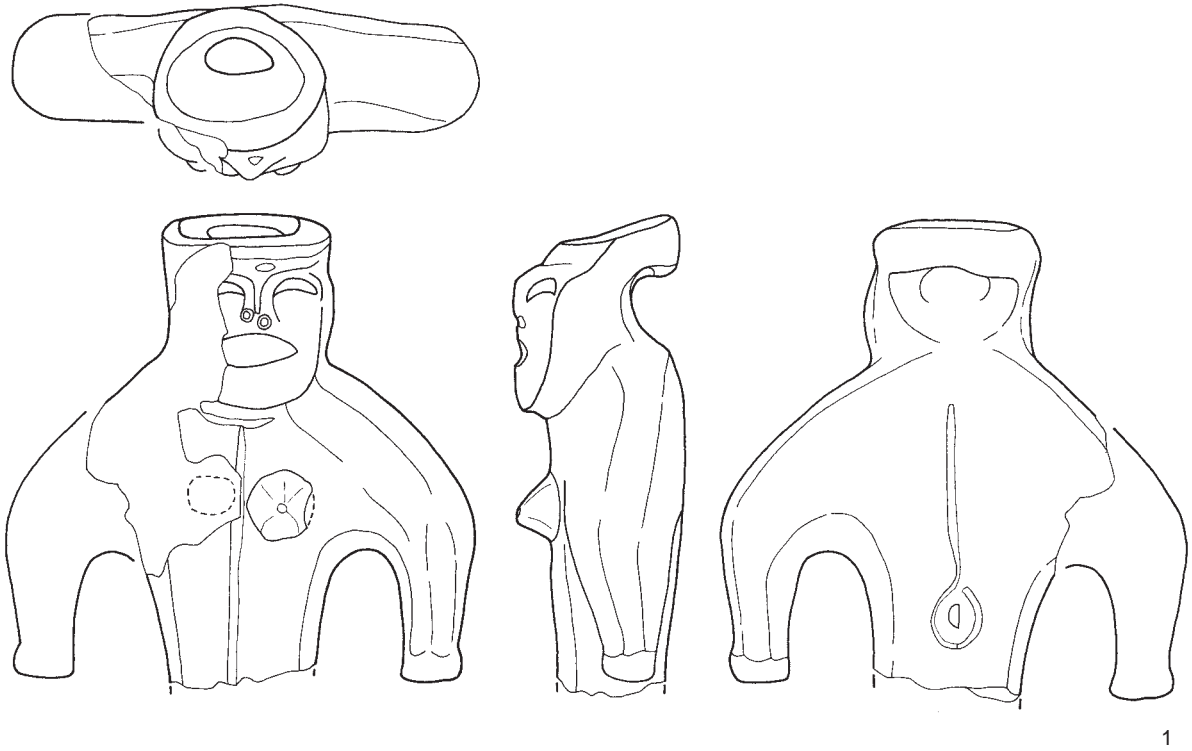
表に掲載した17点のほか、2点の破片がある。第108図1は口縁に山形突起が付き、その下に沈線が巡る。第107図2・3は手捏ねである。2は丸底だが、蓋かもしれない。同図4・5・7は内外面とも丁寧に成形されている。6は成形がやや粗い。口縁端部に沈線を施し、無文の体部には一部懸垂文が残る。なお、図示しなかったものの中に、底部内面に漆が厚く付着したものがある。

### 土製蓋 (第108図・図版124、第12表)

掲載した4点のほか、1点破片がある。第108図8は断面が弱い弧状をなし、橋状の鈕は2個で片側は欠損している。9は表面側が平坦で、裏面側が凸レンズ状となる断面を持つ。孔が2個で、中央の鈕を欠く。10は断面が弧状をなし、つまみ状の鈕を2個持つと思われる。片側は完全に欠失し、もう一方は一部を欠く。11は上面に微隆起帯で環状ないしは渦巻状の文様が付くと思われる。中期末から後期初頭の瓢箪型土器の蓋であろう。

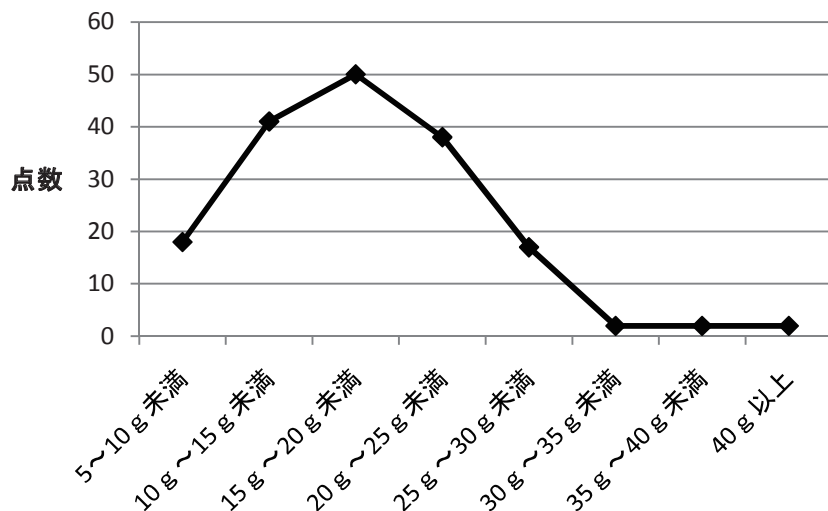
### 土器片錘 (図版125、第107図、附表3)

附表に掲載した175点のほかに17点の破片がある。時期的には阿玉台式のものは少なく、加曾利E式前



0 (2/3) 5cm

第106图 土偶·耳栓



第107図 土器片錘重量分布

半が主体となるが、加曾利E式後半のものもある。完形品は170点で、最軽量は5.01 g、最重量は143.98 g、平均重量は18.69 gである。土器片錘の重量傾向を第107図に示した。最も多いのは15 g～20 g 未満で、次いで10 g～15 g 未満、20 g～25 g 未満となる。なお、糸掛けのスリットの一方がほとんどないものが見立つこと、短軸に糸掛けを作出するものがあることを留意しておきたい。

#### 土器片円板 (図版126・127、附表4)

表に掲載した266点のほか、52点の破片がある。図版126-62は勝坂式土器の渦巻部分の破片を利用したもので、周縁には磨りが認められ、明らかに加曾利E3式後半期に製作されたものと考えられるものである。また、図版127-199の孔は回転穿孔によると思われる穿孔を行っている。

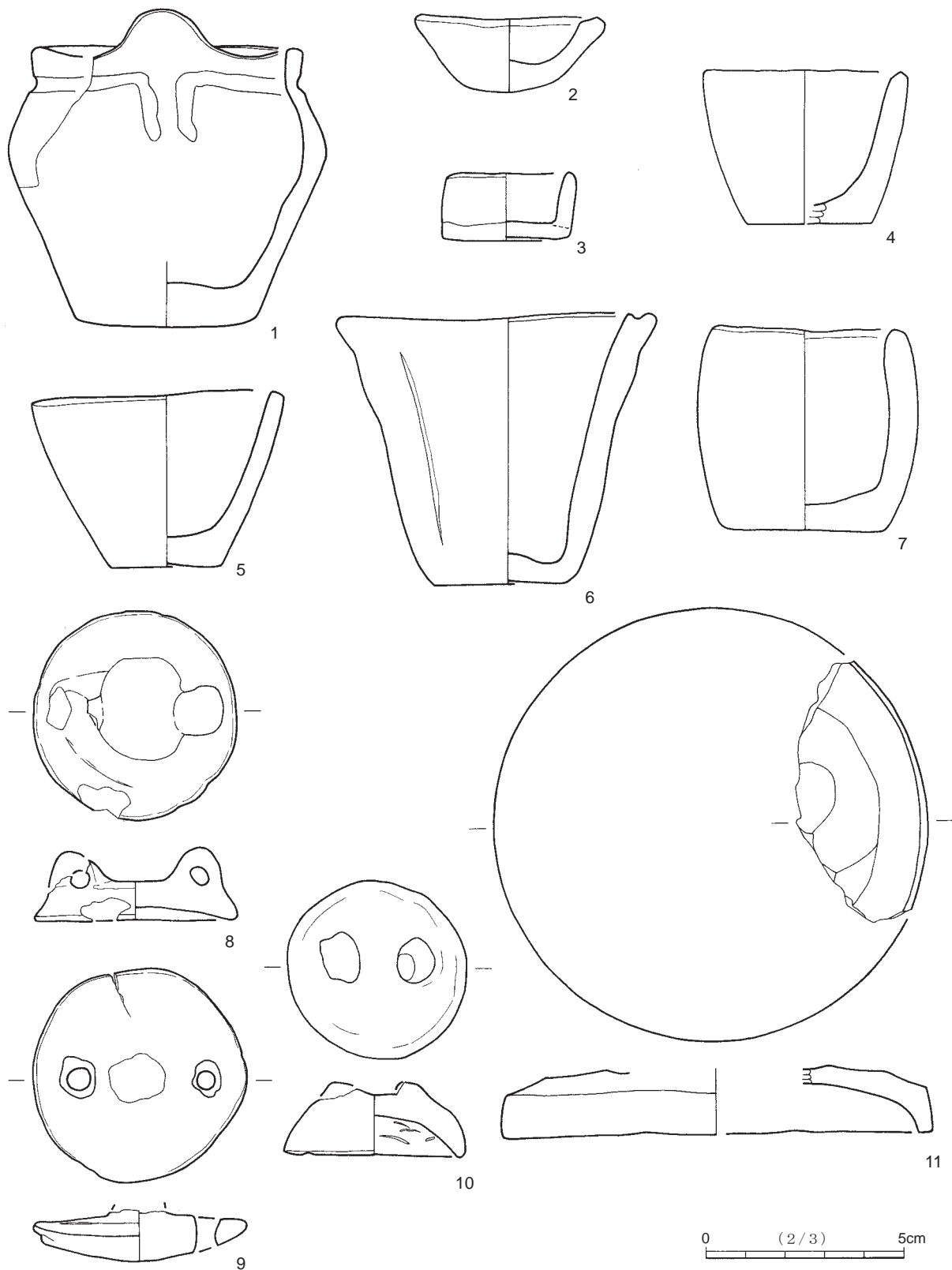
#### その他の土製品 (図版124、附表5)

図版124-18は孔を持つ円板状土製品である。周縁の調整及び孔は焼成前のもので、土器片円板ではない。19も18と同様の円板状土製品の半欠品と思われる。断面は表面側が凸レンズ状、裏面側が平坦である。孔は両側から穿孔され、孔の上部に瘤状の貼り付けが認められる。20は厚みのある基石状の土製品である。21は匙状の形態をなすが、柄に当たる部分はわずかに欠損するだけである。22～26は粘土塊である。23はおそらく土器の輪積み製作時に余ったため、ちぎりとれた粘土紐であろう。24は細紐状の粘土の集合で、土器成形や文様施文の際に生じた余りをまとめたものであろう。他は単純な塊状をなす。

#### 第7節 石製装身具 (第109図・巻頭図版、第13表)

1はヒスイの大珠である。板状で孔より上部は厚く、孔より下部はやや薄くなる。側面は垂直に整形している。孔は中軸よりややずれており、管錐により穿孔されている。表面の大部分は茶褐色に変色し、他の部分は白濁している。上端側面には節理に沿って細かな亀裂が入っている。以上のことから二次的加熱





第108図 ミニチュア土器・土製蓋

第9表 土偶一覧

[ ]は現存値、( )は推定値

挿図番号	図版番号	遺構番号	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	
第106図1	図版124-1	(78)SK338	[96.0]	[73.0]	33	[145.6]	堀之内1式期
第106図2	図版124-2	(78)SK1305	[42.0]	42	11	[17.3]	加曾利E3式古段階
第106図3	図版124-3	(78)SK1038	—	36	6	[6.6]	土偶?

第10表 耳栓一覧

[ ]は現存値、( )は推定値

挿図番号	図版番号	出土地点	直径(mm)	高さ(mm)	孔径(mm)	重量(g)	備考
第106図4	図版124-4	(78)SI030	17.0	16.0	3.5	4.8	有孔、加曾利E1式古段階
第106図5	図版124-5	(78)SK693	19.8	18.8	2.9	5.9	赤彩、有孔
第106図6	図版124-6	(78)SK876	11.7	9.2	—	1.5	
第106図7	図版124-7	14U-1T	45.5	32.2	—	43.5	赤彩

第11表 ミニチュア土器一覧

[ ]は現存値、( )は推定値

挿図番号	図版番号	出土地点	口径(mm)	高さ(mm)	底径(mm)	重量(g)	備考
		(78)SI030	(70)	54	33		
		(78)SI040		[27]	54		
第108図1	図版124-8	(78)SI050	(64)	81	46		
		(78)SK187		[14]	33		
		(78)SK466		[20]	49		漆付着
第108図2	図版124-9	(78)SK482	50	21	—		
		(78)SK591		[33]	48		
		(78)SK805		[40]	33		
第108図3		(78)SK839	32	17	34		
		(78)SK918		[21]	48		
第108図4	図版124-10	(78)SK918	(52)	39	33		
第108図5	図版124-11	(78)SK1152	62	47	30		
第108図6	図版124-12	(78)SK1163	(80)	69	40		
		(78)SK2001	(74)	[39]	—		
第108図7	図版124-13	13V	49	53	40		
		15U-8T		12	32		
		15V		34	38		

第12表 土製蓋一覧

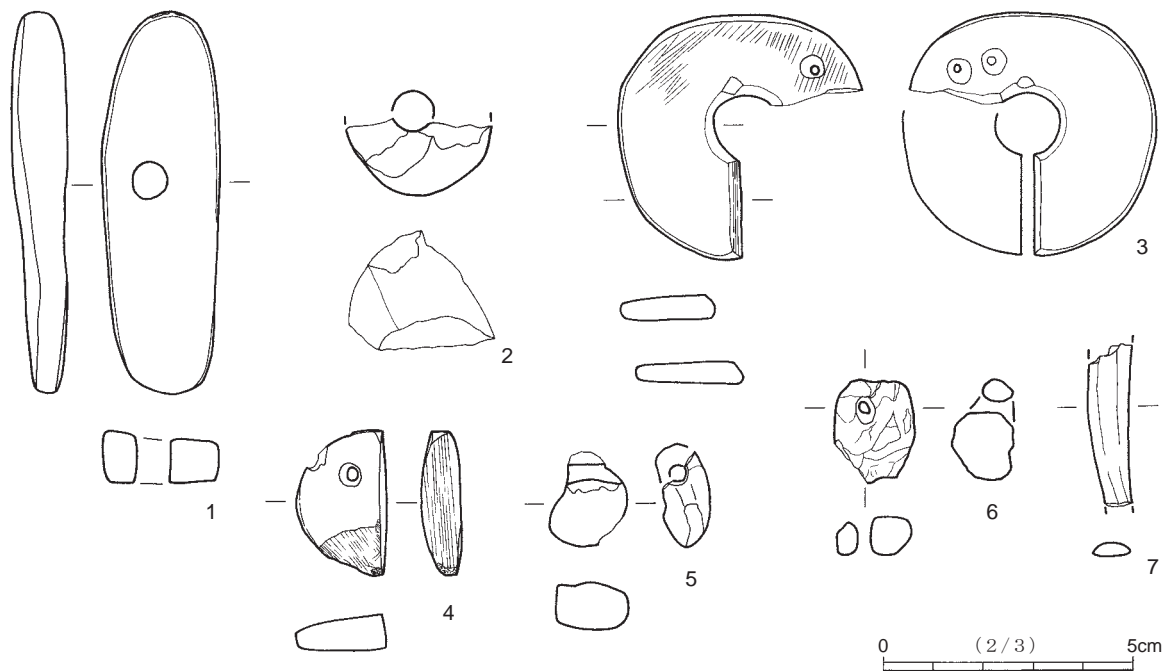
[ ]は現存値、( )は推定値

挿図番号	図版番号	出土地点	口径(mm)	高さ(mm)	底径(mm)	重量(g)	備考
第108図8	図版124-14	(78)SK909	53	17	—	[23.2]	鈕2
第108図9	図版124-15	(78)SK933	54	[13]	—	[24.0]	鈕欠損、孔2
第108図10	図版124-16	(78)SK1031	47	[19]	—	[20.2]	鈕2
第108図11	図版124-17	15V	(110)	16	—	[19.4]	

第13表 石製装身具等一覧

[ ]は現存値、( )は推定値

挿図番号	図版番号	名称	出土地点	石材	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
第109図1	図版127-1	大珠	SI054	ヒスイ	76.5	24.0	10.5	37.4	完形
第109図2	図版127-2	大珠	SK321	ヒスイ		(29.0)		[9.5]	残欠
第109図3	図版127-3	珠状耳飾	SK211	滑石	49.0	(51.0)	5.0	[15.7]	1/3欠損
第109図4	図版127-4	垂飾	SK1477	滑石	28.0	18.0	7.8	5.9	完形
第109図5	図版127-5	玉	SI002	コハク	[19.0]	[16.0]	[9.5]	[1.3]	孔部分欠損
第109図6	図版127-6	玉	SI055	コハク	[21.0]	[16.0]	[13.0]	[2.0]	一部欠損
第109図7	図版127-7	垂飾?	SK179	コハク	[32.5]	[8.5]	[3.0]	[0.6]	両端欠損
		原石	SK1202	コハク	[1.3]	[0.7]	[0.5]	[0.3]	塊状
		原石	SK988	コハク	[1.0]	[0.7]	[0.7]	[0.2]	2片に割れ
					[0.9]	[0.7]	[0.4]	[0.1]	



第109図 石製装身具

をかなり強く受けていると考えられる。出土した住居跡は加曽利E2式期に比定されている。2はヒスイの大珠の残欠である。本来は長軸方向に穿孔した鯉節型の大珠であったと思われるが、たたき割ったような印象を受ける。軽く二次的加熱を受けているように思われる。出土した土坑は加曽利E3式古段階に比定されている。

3は滑石製の玦状耳飾である。約1/3を欠損する。薄手で、表面上部に成形時の細かな擦痕が認められるが、他の部分は滑沢をなす。平面形はほぼ真円であるが、わずかに頭部が平坦になる。中央孔は中心よりやや上部に位置し、規則的な回転穿孔ではなく、工具を手持ちして孔を穿っているため真円にはならないが、丁寧にあけられている。切れ目は表裏両面からの擦り切りであるが、表面側からの方が深い。欠損部はごく軽く磨りが入る程度で、その上部には表裏両面からあけられた貫通した補修孔と裏面にあけられた未貫通の孔がある。中央孔の上端には表裏とも幅4mm弱の紐擦れ痕がある。出土した土坑は加曽利E2式に比定されており、紐擦れ痕から当該期の再利用品であることがわかる。4は半円形の垂飾である。滑石製であるが、石質は3ほど精良ではない。直線部の側面、表面下端及び裏面下半に成形時の細かな擦痕が残る。貫通孔は径4mm弱で、表裏両面からの穿孔である。紐擦れ痕は認められない。出土した土坑からは加曽利E1～2式の土器が出土している。

5・6はコハク玉である。どちらも原石そのものに孔のみをあけている。孔はともに両面穿孔で、径は4mm弱である。いずれも出土した住居跡は加曽利E1式古段階に比定されている。7はコハクの垂飾と思われる。両端を欠損する。一端は尖り気味で、他端はやや幅広である。断面形は裏面が平坦で、表面側がやや膨らみを持つ。石質は半透明で精良である。出土した土坑の時期は不明である。他に図示していないが、コハクの原石が2点出土している。いずれも小型の塊状のものである。

## 第8節 石器 (図版57・128～138、第14表、附表6)

(78) 区では、縄文時代の石器は合計5,731点出土した。そのうち利器は大別23種で、1,604点 (全体の約28%) を数える。

内訳は、石鏃 (未成品236点を含む) 522点、楔形石器106点、石錐23点、石匙1点、二次加工ある剥片77点、使用痕ある剥片5点、磨製石斧 (未成品1点を含む) 229点、局部磨製石斧5点、打製石斧149点、磨石類 (磨耗痕・敲打痕・凹み痕の複合形) 272点、敲石37点、砥石15点、石皿108点、台石8点、石錘1点、スタンプ形石器1点、礫器5点、側面調整礫1点、軽石石製品5点、不明石製品1点、石棒8点、二次加工ある礫5点、浮子23点となっている。

以上の石器の出土数量と内訳については、石材と器種の対応関係を第14表に示したので、適宜、参照されたい。

### 石鏃 (図版128・129-1～143)

大きさは長さ1.1cm～4.1cmであるが、2cm前後のものが多い。有茎・平基・円基各1点のほかは、すべて基部に抉りのある凹基無茎鏃となっている。主体をなす凹基無茎鏃は抉りの深淺、長幅関係及び尖頭部周辺の形状により、さらに細分が可能である。また、特異な形態として先端が錐のように細長い、いわゆる「先端突出形」がある。チャートと黒曜石を二大石材としている。

### 楔形石器 (図版129-144～146)

主として扁平なチャートの小円礫を素材として、両極打法により製作されている。石鏃の素材生産に関わる石器であるが、剥離の途上で生じた両極剥片・削片はもとより、当該資料も石鏃の素材に有効利用されている。

### 石匙 (図版129-147)

1例にとどまる。東南北部の硬質頁岩製であり、再加工品の可能性がある。ちなみに、石匙は前期に盛行し中期以降は貧弱となる。このことは(78)区の土地利用の状況(中期後半)とよく整合する。

### 石錐 (図版129-148～160)

長い錐部と幅広な撮み部をもつものが一般的である。石材の使用傾向は石鏃と同様である。

### 二次加工ある剥片・使用痕ある剥片

二次加工ある剥片とは加工が部分的であるため定形的な石器から除外されたもので、使用痕ある剥片は縁辺に連続的な刃こぼれが観察されるものをいう。この中には何らかの器種の未成品が含まれている可能性が高い。石材はチャートと黒曜石を主体とする。

### 磨製石斧・局部磨製石斧 (図版130-161～210)

一般に縄文時代の磨製石斧は、形態から定角式磨製石斧、乳棒状磨製石斧及びその他の石斧に区分される。定角式磨製石斧は二側縁及び頭部が研磨されたもので断面は隅丸長方形である。これに対して乳棒状

磨製石斧は、身が円筒状、頭部は細い棒状で断面が楕円形を呈する。刃部は分厚い両刃（蛤刃）である。

本遺跡では、定角式磨製石斧を主体とし、一部に礫石斧もみられる。乳棒状磨製石斧は皆無であった。

関東地方では、定角式石斧が中期終末、乳棒状磨製石斧は前期（黒浜期）から一般化するといわれているが、本遺跡でもこの趨勢によく合致する。基本的に製品として搬入されており、大半の資料に刃こぼれ、敲打痕、欠損などの損傷が認められ、徹底的に使い尽くされている。石材は緑色岩、砂岩、ホルンフェルス、粗粒玄武岩が多いが、中には糸魚川など日本海側からもたらされた透閃石岩も散見される。このほか関連資料として、局部磨製石斧が5点出土した。いずれも小型の扁平礫を素材としており、一端に研磨が施されている。いわゆる「礫石斧」といえよう。

### 打製石斧（図版131-211～240）

縄文時代の打製石斧の形態には、①短冊形（長方形）、②撥形（三味線の撥に似た形態のもの）、③分銅形（上下両端が張り出し、中央部両側縁に抉りがあるもの）の三つの形態があり、短冊形は中期を中心に前期後葉から中期末葉に、撥形は早期後葉から前期中葉に、分銅形は中期中葉から晩期にかけて盛行する。

本遺跡では、分銅形が大半占めることから、おおむね縄文時代中期中葉以降の一般的な特徴を備えているものといえる。石材は通例に違わずホルンフェルス（約41.6%）が多用されており、砂岩と安山岩がこれに次ぐ。なお、磨製石斧や磨石類からの転用例が若干みられる。

### 磨石類（図版132・133-244～282）

磨石とされるものの多くは磨耗痕の他に敲打痕あるいは凹石とも捉えられる縁辺の敲打痕や敲打による凹み痕が存在する。また、逆に敲打による凹み痕を目安にすると、本遺跡の凹石は全点磨耗痕を伴うため単一の器種と考えることはできない。したがって、ここでは磨石類に統合し、単に敲打痕のみ存在する器種を敲打石として記述した。磨耗痕のみの狭義の磨石は少なく、敲打痕・凹み痕あるはそのいずれかが共存する例が多い。石材は安山岩、砂岩、石英斑岩、及び流紋岩が多用されている。

### 敲打石（図版134-283～288）

磨耗痕や凹み痕がなく、礫の一端ないしは両端に敲打痕が残存するものである。定角式石斧の転用例がままみられる。石材は砂岩が主体である。

### 砥石（図版134-289）

置き砥石を主体として、手持ち砥石が若干みられる。石材は砂岩が基本である。

### 石皿（図版134～137-290～299）

いずれも原形をとどめておらず、全体の形状は明確ではないが、楕円形又は隅丸方形に近い形態が想定される。表裏に磨面があり、裏面が平坦なものと膨らんだものの二種がある。また、蜂の巣状の小孔が共存する例もみられる。石材は安山岩類（多孔質安山岩35点を含む）を主とする。

### 台石 (図版137-300~302)

遺構内から1点出土した。302は平坦な二面にそれぞれ研磨痕と敲打痕が見られる。後者は楔形石器の製作時の損傷の可能性がある。これら二種の使用痕から砥石と台石の併用が想定される。

### 石錘

扁平礫の両端を打ち欠いた、いわゆる礫石錘が1点出土した。石材は流紋岩である。礫石錘は、縄文時代を通じて存在するが、用途は漁網錘と編み物を編む際の二通りが考えられており定かではない。

### 礫器 (図版132-241・242)

いずれも円礫を素材としており、一端に粗雑で部分的な加工が施されている。石斧の未成品の可能性を秘めている。

### スタンプ形石器 (図版132-243)

縄文早期の捺糸文土器末期に伴出する石器である。比較的扁平な楕円形礫の下半を打ち欠き、平坦な底面を作出している。両側縁を抉るかのような特有の加工痕はない。石材は安山岩である。

### 側面調整礫

扁平な小円礫の二側縁に連続的な敲打痕がみられる。砂岩製の資料が1点出土した。敲打痕は敲石のように対象物に打撃を加えたのではなくあくまでも器面の整形を目的とした調整であり、また磨耗痕も研磨というよりも擦痕に近い。表面が赤く変色(赤化)するまで焼成されている。

### 軽石石製品

いずれも破片であり、全体の形状は定かではない。ただし有孔の資料については、浮子の可能性がある。

### 不明石製品

軟質砂岩製で、平面形が三叉状の打製石器である。敲打痕が部分的にみられるが、風化が著しく器種同定には至らなかった。

### 石棒 (図版138-303・304)

数量が少なく、多くは断片的であるが、完形に近い資料がSK1076から1例出土している。当該資料は被熱によって石理に沿って板状に剥落していたが、接合の結果、全形を彷彿とさせる資料に復元できた。長さは36.9cm、幅4.3cm、厚さ2.6cmを測り、比較的小型で細身である。土坑の時期は加曽利E3式古段階である。石材は流紋岩である。

### 二次加工ある礫

礫石器のうち、二次加工が部分的な資料を取りまとめた。

### 浮子（図版138-305～309）

紐掛け用の穴を有する資料であり、断面形は扁平な凸レンズ形又は円形で、平面形が楕円形や篋状を呈する資料である。用材の脆弱性により破損資料が多い。

### その他

#### 原石（図版57-310・311）

チャートや流紋岩の扁平な小円礫を主体として、角礫状の黒曜石や緑色岩等の円礫がこれに加わる。チャート等は剥片石器、黒曜石等は剥片石器や磨製石斧等の用材に供されたものと推定される。なお、信州系黒曜石については希少性が高く特筆される。

### 石核

剥離面の状況から横長剥片が生産された模様である。石材はチャートと黒曜石を主としており、数量は互いに拮抗している。

### 剥片類

素材剥片（剥片・削片・両極剥片）と二次加工の際に生じる碎片（調整剥片）が都合3,827点（全体の約66.8%）出土した。チャートと黒曜石が二大石材である。剥片の大きさや形状に統一性がなく、横長剥片が大半である。横長剥片の背面の剥離面は複数の方向から打撃された痕跡をとどめ、先端は主要剥離面に向かって湾曲している。

### 軽石（類）

浮標（浮子）の一部、あるいは、何らかの素材の可能性もあるが、断片的なため検討に堪えない。

第14表 縄文時代石器石材別組成表

器種/石材	石 織	石 織 未 成 品	楔 形 石 器	石 錐	石 匙	二 次 加 工 有 る 剥 片	使 用 痕 有 る 剥 片	磨 製 石 斧	磨 製 石 斧 未 成 品	局 部 磨 製 石 斧	打 製 石 斧	磨 石 類	敲 石	砥 石	石 皿	台 石	石 錘	ス タ ン プ 形 石 器	礫 器	側 面 調 整 礫	軽 石 石 製 品	不 明 石 製 品	石 棒	二 次 加 工 有 る 礫	浮 子	原 石	石 核	剥 片	砕 片	削 片	両 極 剥 片	軽 石 ( 類 )	計		
ガラス質黒色安山岩	17	7	17	2		8																				5	108	14					178		
チャート	86	119	35	11		28	4			1	2	1	1													76	45	449	955	5	6		1824		
斑瀾岩								4			1	2	1				13											87					108		
ホルンフェルス	9	3	8	1				30		1	62	11	2			1	1			1				1		2	3	109	6				251		
メノウ	1	3	1			2																				2	4	21	3				37		
安山岩		1	1					7			24	124	1	3	29	1		1					1					165	9				367		
花崗岩			1									4					12											60					77		
凝灰岩			1					4					1														1	4					11		
鉄石英																																		1	
珪質頁岩	1	4	2																										10	1				18	
軽石												3										5			23	2							74	108	
砂質片岩																								1										1	
白雲母緑泥石片岩			1								1																							6	
硬質頁岩		1			1																													5	
黒曜石	159	86	15	8		32	1																			7	49	826	563			1		1747	
砂岩	1		2			2		54		1	34	68	15	12	8	3				2	1		1	2				126					332		
蛋白石		1				3																												5	
水晶	1																																	1	
石英	1	1	8																							1	4	27	3			1		46	
石英斑岩			1							1	1	20	3		2	1			1															43	
デイサイト	1						3				2	6			1				1				1											20	
粗粒玄武岩							27				2	2	2																					49	
多孔質安山岩												4	1			35										1								74	
粘板岩			1					2			3																							13	
頁岩		1				1																												3	
黒色頁岩	1	3																																7	
黒雲母片岩								1			1	2			2																			31	
流紋岩	5	6	9	1		1	1				1	21	7			2	1						1	2		12	3	71	7				151		
流紋岩質凝灰岩			1								2																							5	
トロトロ石			1								1															1								15	
ノジュール												1																						1	
角閃石片岩																																		2	
角閃石岩								3																										3	
閃緑斑岩 (ヒン岩)														1																				1	
石英片岩																																			2
緑色片岩								1			1				1																				5
緑色岩			1					78	1	1	3	1														8			24	3				120	
緑色凝灰岩								5																										9	
緑泥片岩												3			4									4										32	
蛇紋岩								1																										1	
滑石																																		0	
透閃石岩								6																										7	
片状砂岩								1				3		1																				7	
石英閃緑岩												1																						1	
閃緑岩													1																					1	
アブライト (半花崗岩)													2																					2	
凝灰質泥岩														1																				1	
珪岩																																			1
珪質泥岩																																			1
合 計	283	236	106	23	1	77	5	228	1	5	149	272	37	15	108	8	1	1	5	1	5	1	8	5	23	112	114	2243	1570	5	9	74	5731		



## 第4章 古墳時代

(78) 区から検出された古墳時代の遺構は中・後期の竪穴住居跡6軒で、舌状台地の東側を中心に分布する。他の地区では古墳時代の遺構は検出されていない。古墳時代中・後期の竪穴住居跡9軒、円墳2基が検出された飯積上台遺跡<sup>1)</sup>の遺構の空白時期を補完するものであり、2遺跡間で居住域が遷移したと考えられる。

注1 (公財) 千葉県教育振興財団 2013 『酒々井町飯積上台遺跡1－酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書1－』

### 第1節 竪穴住居跡 (第110～118図、図版53～54・139～141、附表7)

(78) SI003 (第110・116・117図、図版53・139・140・141)

位置 14V-02・03・04・12・13・14

平面形 方形

規模 東西6.67m×南北6.76m、深さ38cm

主軸 N-97°-E

支柱穴 P1～P4 深さ66cm～70cm

カマド 東壁南寄り

周溝 西側、北・東・南側の一部

貯蔵穴 P5 南北1.02m×東西92cm、深さ65.2cm

遺物 土師器坏・鉢・甕・甔、土製支脚

時期 後期 (6世紀前葉)

(78) SI023 (第111・117図、図版53)

位置 13V-44・45・46・54・55・56・65・66

平面形 四隅の丸味が強い方形

規模 南北7.49m、東西7.17m、深さ54cm

主軸 N-0°

支柱穴 P1～P4 深さ40cm～63cm

炉 存在したと思われるが検出できなかった。

カマド なし

周溝 なし

遺物 土師器坏

時期 中期 (5世紀後葉)

(78) SI033 (第112・117図、図版53・140)

位置 14V-33・34・35・43・44・45

**平面形** 方形

**規模** 東西6.33m×南北5.60m、深さ22cm

**主軸** N-86°-E

**支柱穴** P1～P4 深さ66cm～81cm

**炉** 中央付近

**カマド** 東壁やや南寄り

**周溝** 南側の一部

**貯蔵穴** P5 南北98cm×東西83cm、深さ55cm

**その他の施設** P1から南壁中央にかけてL字形に区画溝が掘り込まれる。

**遺物** 土師器坏・甕

**時期** 後期（6世紀前葉）

(78) SI041 (第113・117・118図、図版53・140・141)

**位置** 15V-25・26・27・35・36・37

**平面形** 方形

**規模** 南北6.32m×東西6.41m、深さ61cm

**主軸** N-110°-E

**支柱穴** P1・P2・P3・P4 深さ68cm～79cm

**カマド** 東壁やや南寄り

**周溝** 南・西・北・東側の一部

**貯蔵穴** P7 東西1.11m×南北1.07m、深さ61cm

**入口ピット** P5 深さ38cm、P6 深さ70cm

**遺物** 土師器坏・甕・ミニチュア土器、土製紡錘車

**時期** 後期（6世紀前葉）

(78) SI045 (第114・118図、図版53・140・141)

**位置** 14U-71・72・81・82・91

**平面形** 方形

**規模** 南北6.00m、東西—、深さ18cm

**主軸** N-40°-W

**支柱穴** P1・P2・P3・P4 深さ33cm～64cm

**カマド** 北壁中央

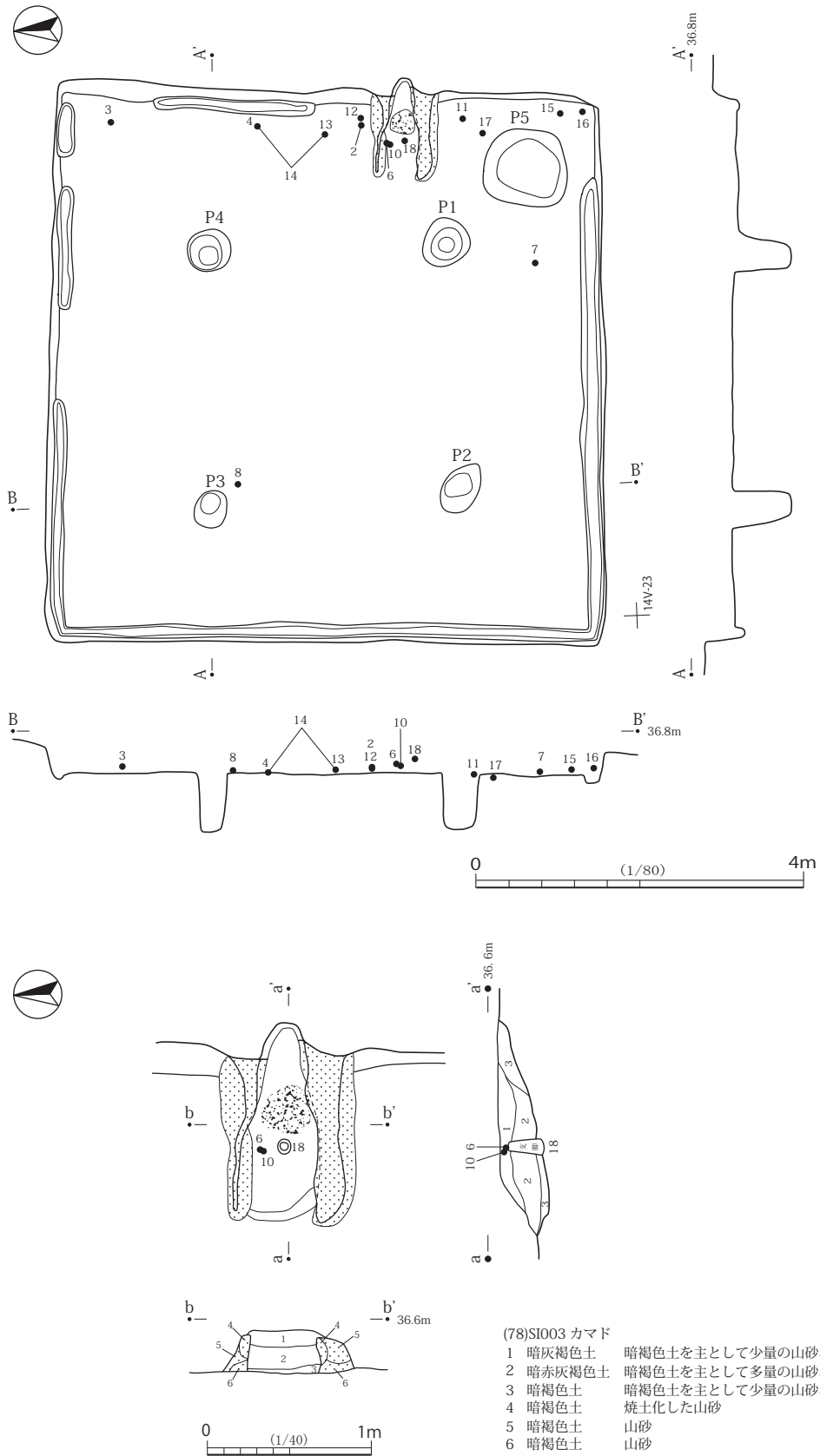
**周溝** なし

**貯蔵穴** P5 東西1.32m、南北1.14m、深さ52cm

**遺物** 土師器坏・高坏・甕（6世紀中葉）

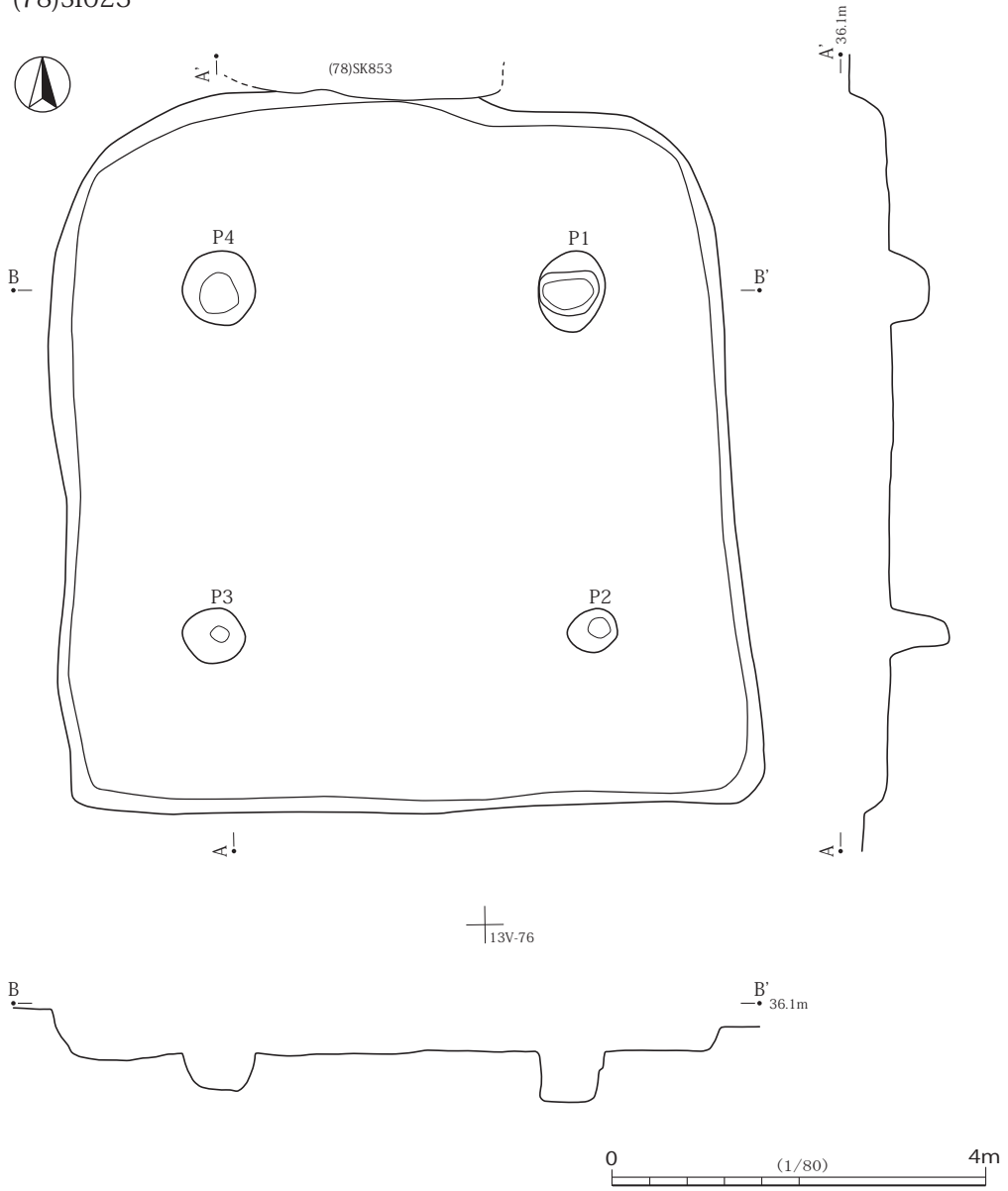
**備考** 多数の縄文時代の土坑・ピットと重複する。南壁の中央は張り出していたものと考えられる。

(78)SI003



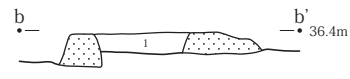
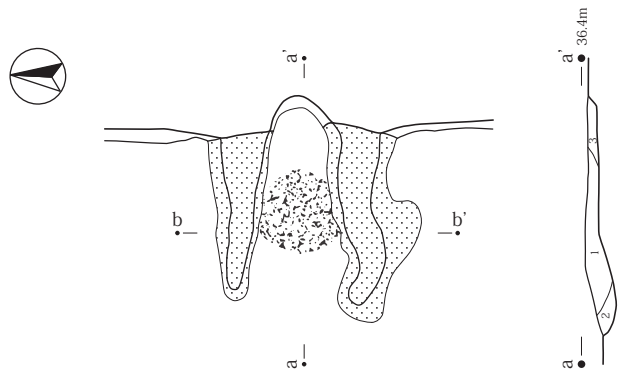
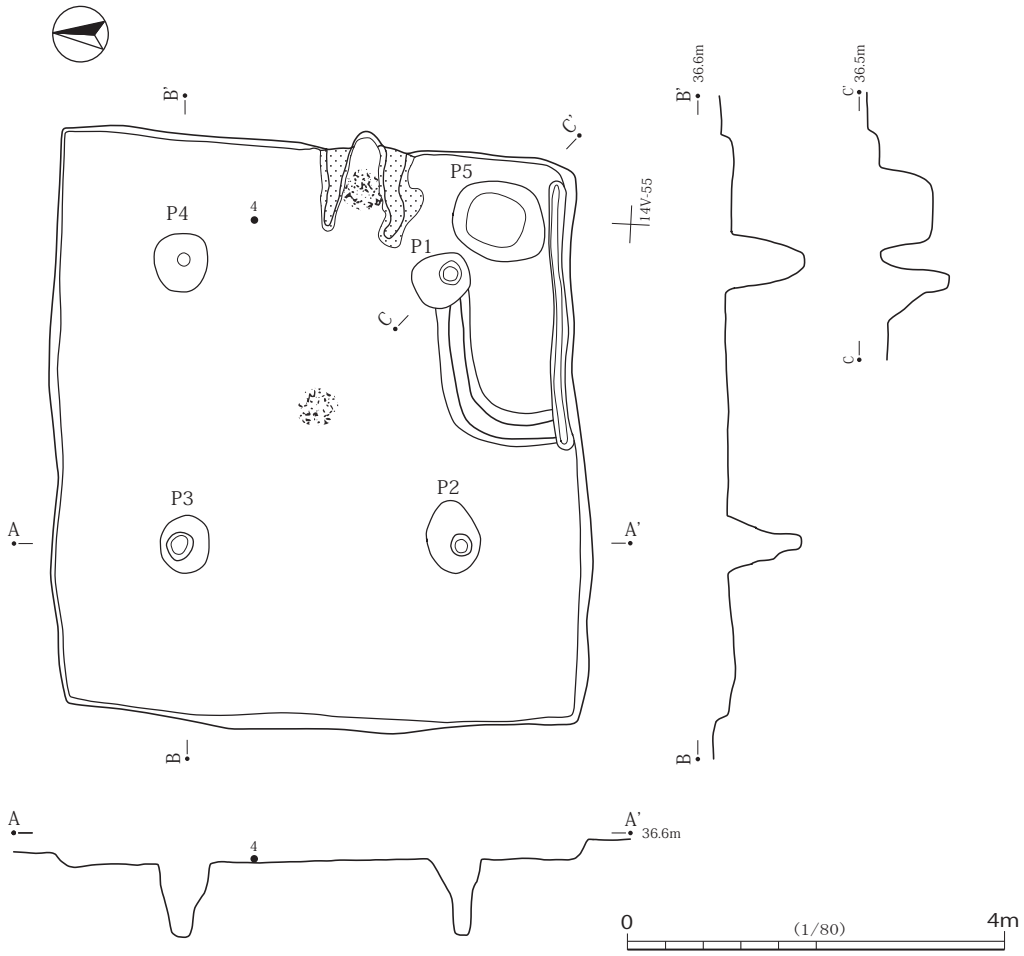
第110図 古墳時代住居跡 (1)

(78)SI023



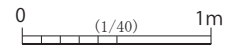
第111図 古墳時代住居跡 (2)

(78)SI033



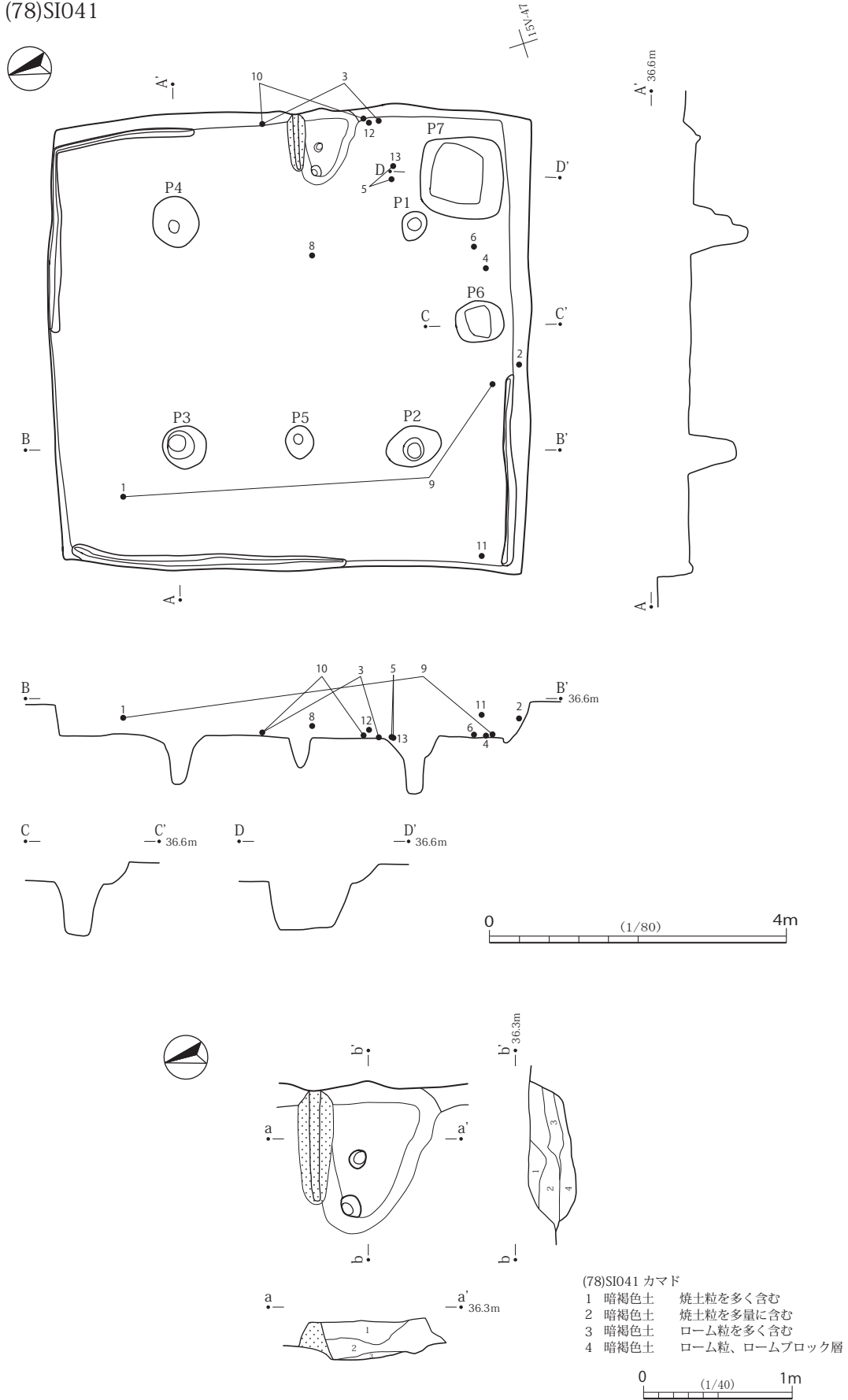
(78)SI033 カマド

- 1 暗赤褐色土    ローム粒多    焼土粒・ブロック多
- 2 暗灰褐色土    ローム粒多    焼土粒多
- 3 暗灰褐色土    ローム粒多    焼土粒少



第112図 古墳時代住居跡 (3)

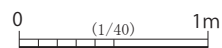
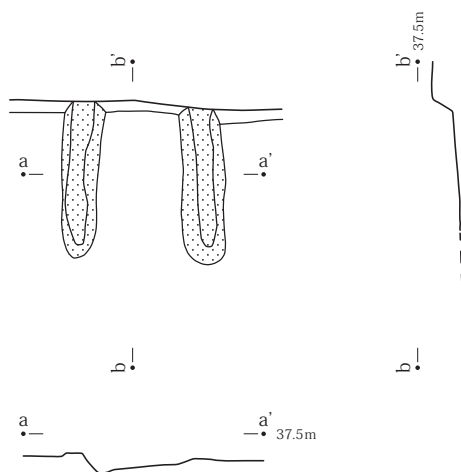
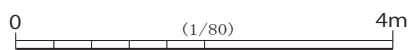
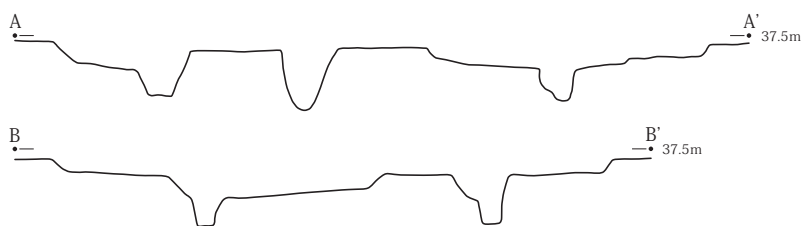
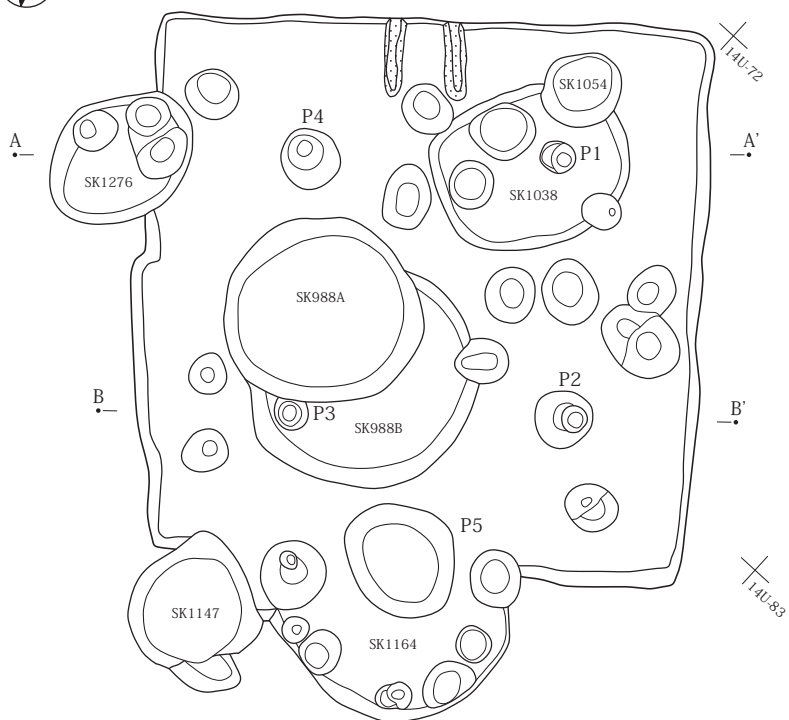
(78)SI041



- (78)SI041 カマド
- 1 暗褐色土 焼土粒を多く含む
  - 2 暗褐色土 焼土粒を多量に含む
  - 3 暗褐色土 ローム粒を多く含む
  - 4 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック層

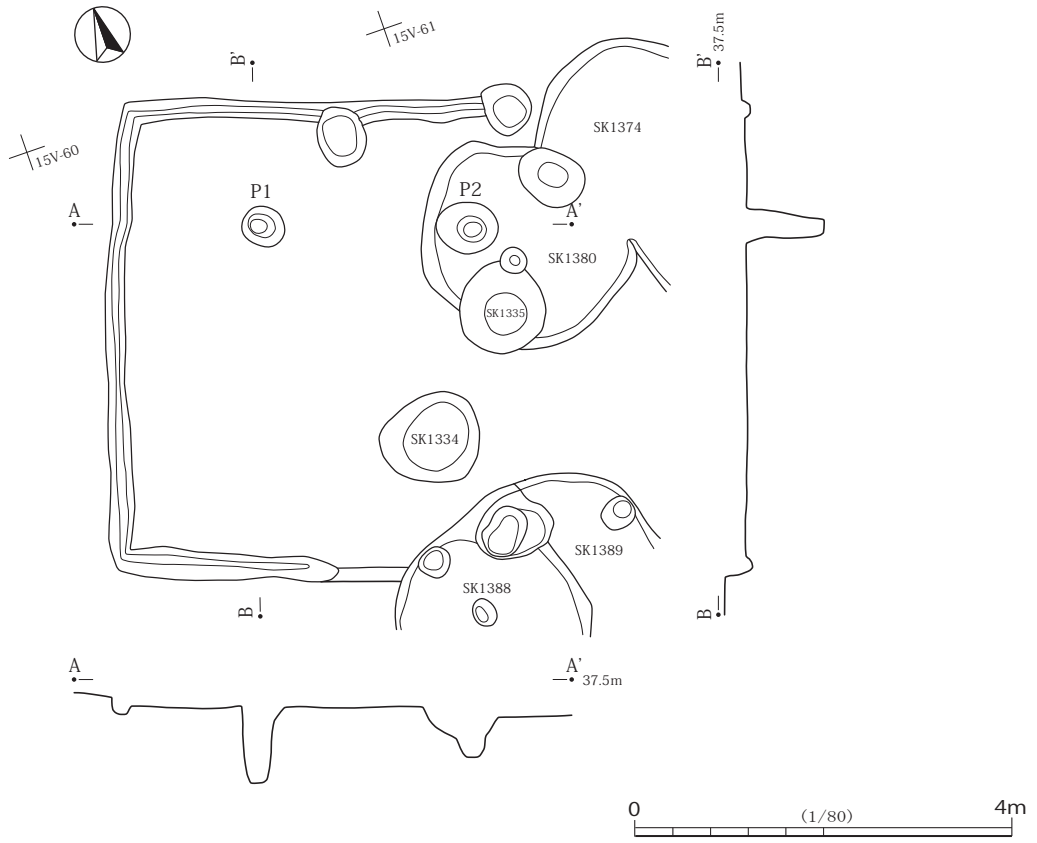
第113図 古墳時代住居跡 (4)

(78)SI045

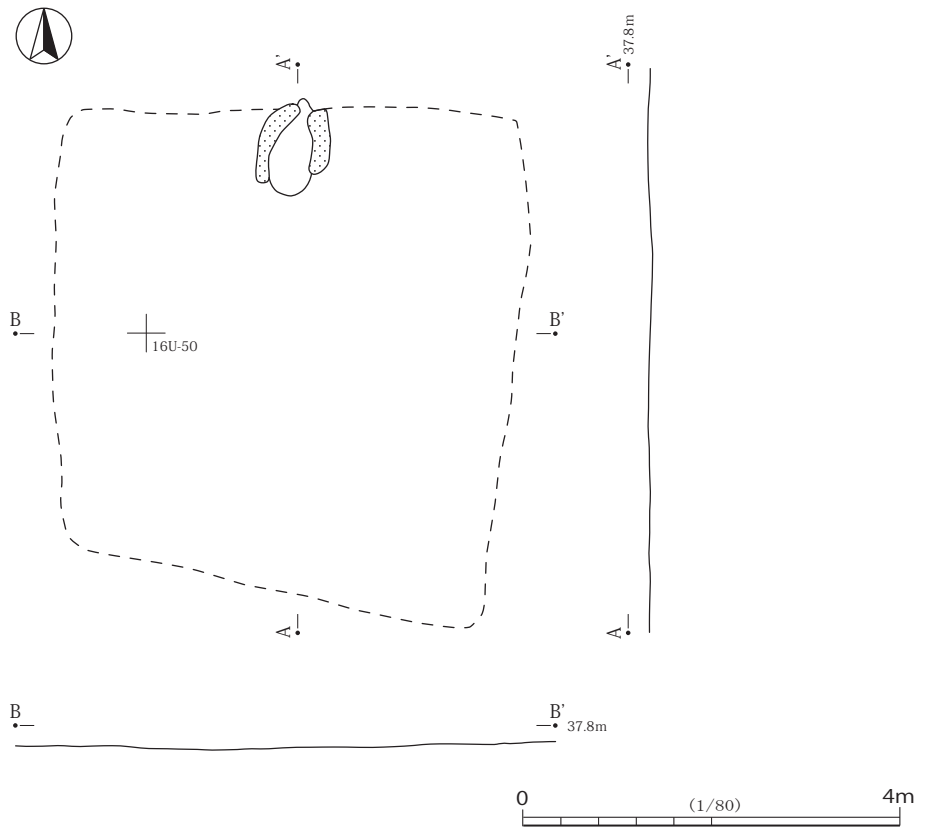


第114図 古墳時代住居跡 (5)

(78)SI049



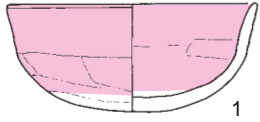
(78)SI052



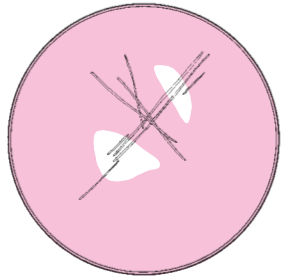
第115図 古墳時代住居跡 (6)



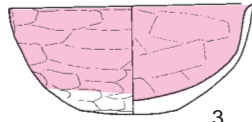
(78) S1003



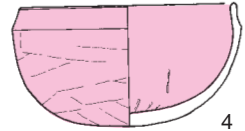
1



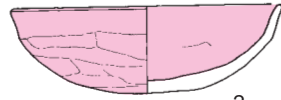
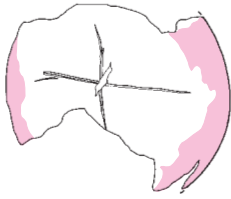
2



3



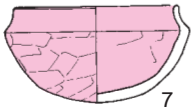
4



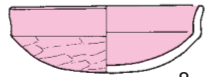
5



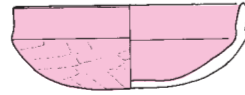
6



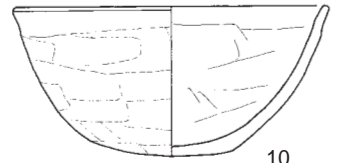
7



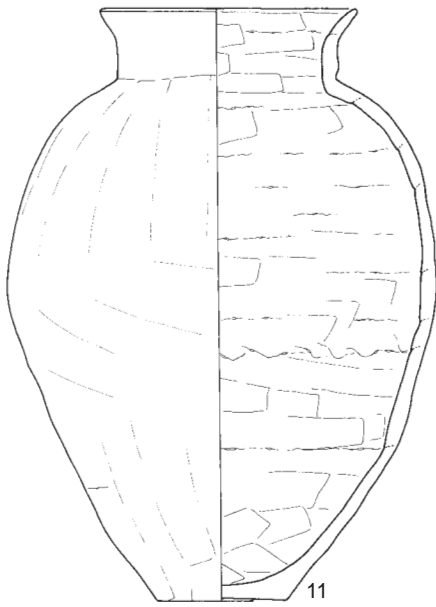
8



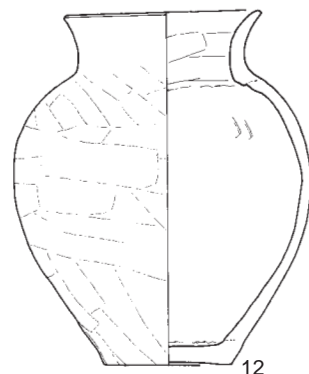
9



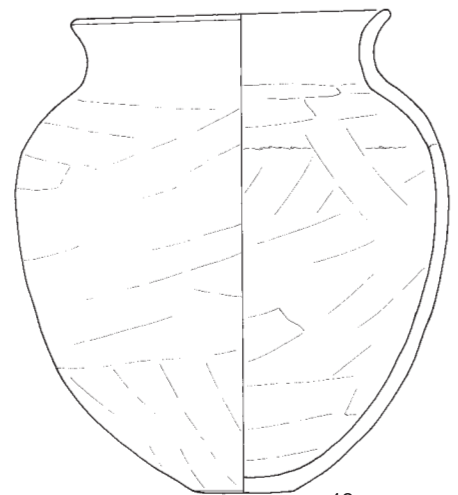
10



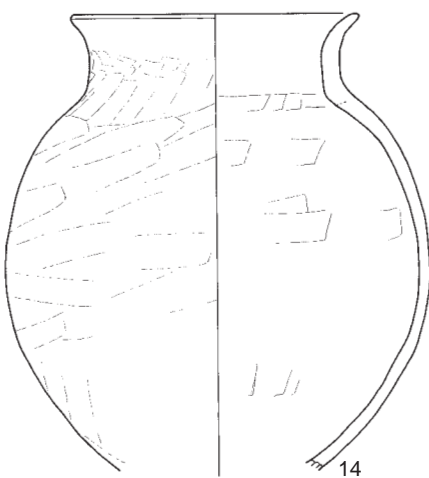
11



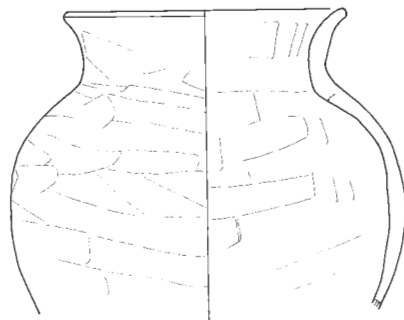
12



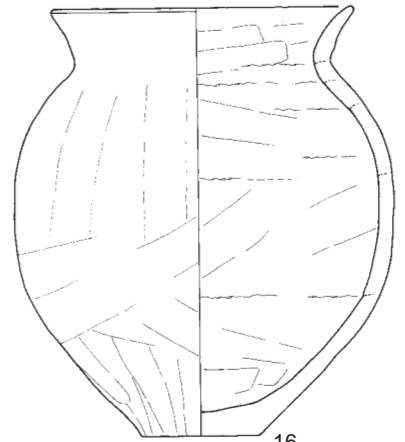
13



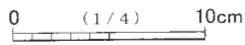
14



15

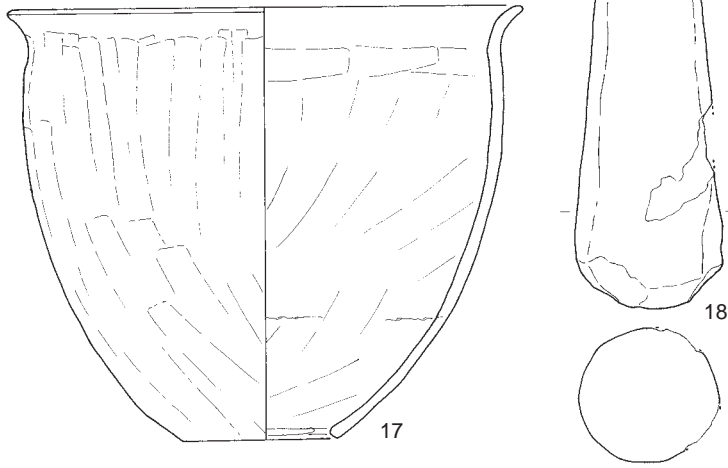


16

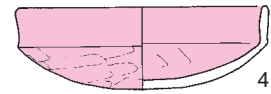
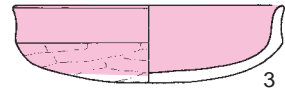
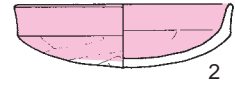
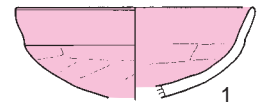


第116図 古墳時代住居跡出土土器 (1)

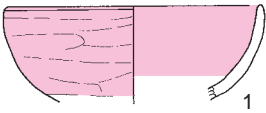
(78)SI003



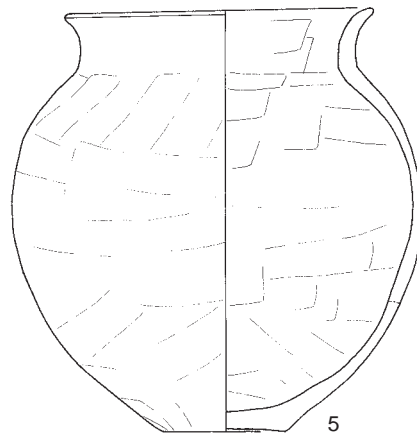
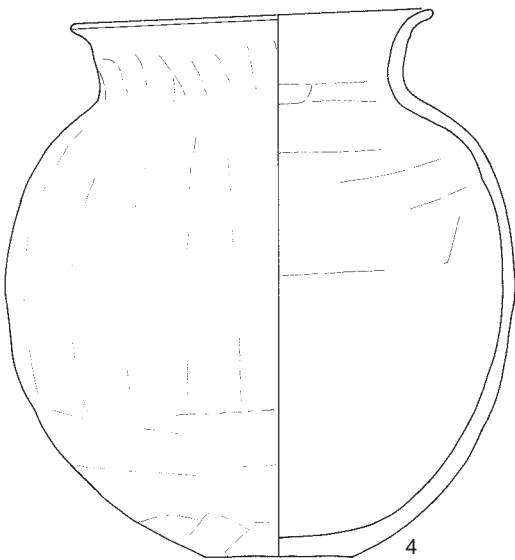
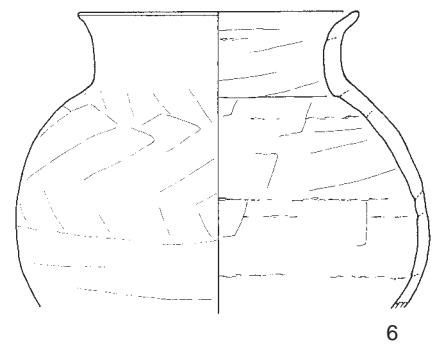
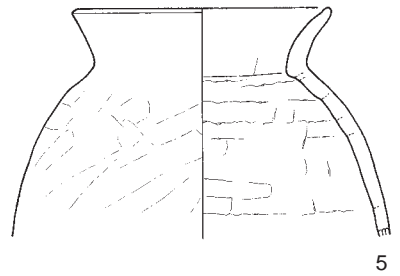
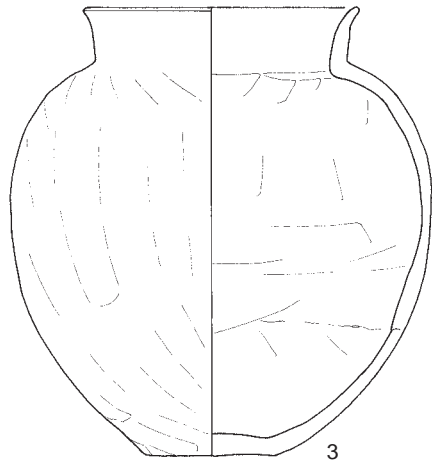
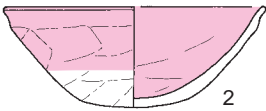
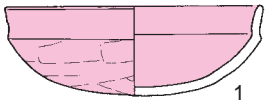
(78)SI033



(78)SI023



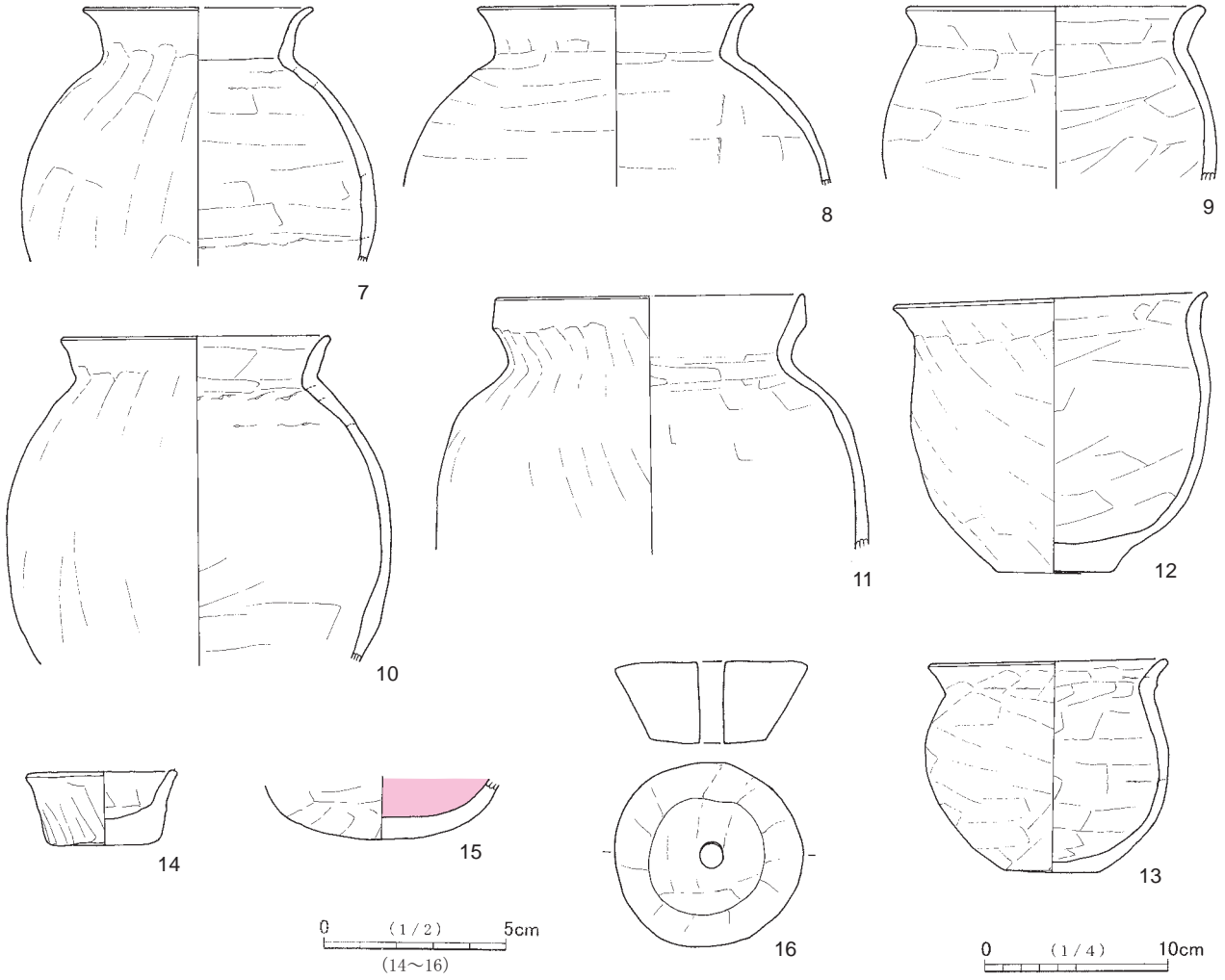
(78)SI041



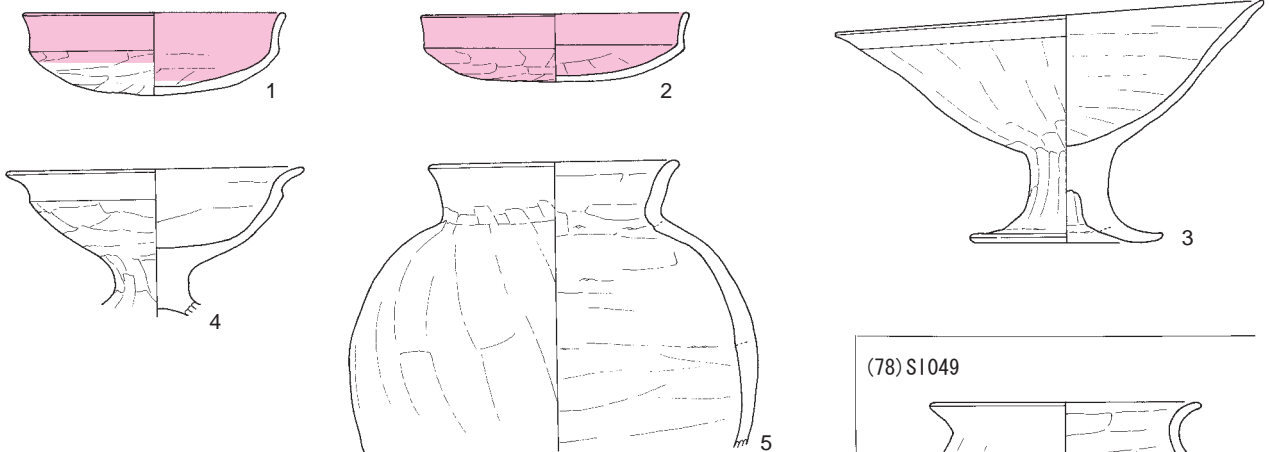
0 (1/4) 10cm

第117図 古墳時代住居跡出土土器 (2)

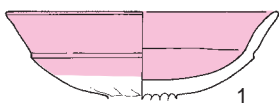
(78) S1041



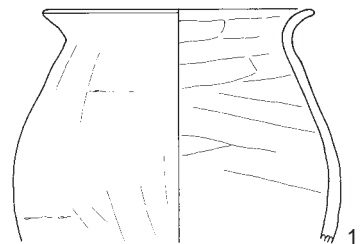
(78) S1045



(78) S1052



(78) S1049



第118図 古墳時代住居跡出土土器 (3)・土製品

(78) SI049 (第115・118図、図版53・141)

位置 14V-69、15U-69・79、15V-60・61・70・79

平面形 方形

規模 南北5.05m、東西―、深さ20cm

主軸 N-110°-E

支柱穴 P1・P2 深さ50～80cm

カマド 東側に位置していたものと思われる。

周溝 西壁・北壁、南壁の一部

貯蔵穴 なし

遺物 土師器甕 (6世紀前葉)

備考 縄文時代の土坑・ピットと重複する。東側は遺存状態が悪い。

(78) SI052 (第115・118図、図版54・141)

位置 15T-49・59、16U-40・50・60

平面形 方形

規模 南北 (5.13) m、東西 (4.90) m、深さ―

主軸 N-7°-E

支柱穴 不明

カマド 北壁中央

貯蔵穴 なし

遺物 土師器高坏 (6世紀中葉)

備考 全体的に攪乱されており、カマドの袖部及び焼土のみが検出された。破線で示した平面プランは推定である。

## 第5章 奈良・平安時代以降

奈良・平安時代以降の遺構は、掘立柱建物跡8棟、竪穴住居跡1軒、土坑1基、溝状遺構3条である。竪穴住居跡は北側の舌状台地において単独で検出され、その他の遺構は(10)区、(13)区の東側に隣接する細長い区域から検出された。この区域の東側は緑地保存範囲で、平坦部がさらに5mほど続いている。

掘立柱建物跡8棟のうち、6棟は(10)区において部分的に検出されていたもので、いずれも全容が明らかとなった。2棟は新規に検出されたもので、いずれも南東側の調査区外に及んでいる。掘立柱建物跡の周辺では、柱穴と思われるピットが合計8基検出されたが、現時点では建物跡として捉えることができず、近接する掘立柱建物跡の遺構図に図示するのみに留めた。溝状遺構はいずれも西側の調査区から断続するものであり、東側の調査区外に延びている。

### 第1節 掘立柱建物跡 (第119～123図、附表8、図版54・55・141)

(10)・(78) SB419 (第119・123図、図版54・141)

位置 19R-48・49・58・59・68・69、15V-60・61・70・79

平面形式 側柱南北棟

規模 桁行4間(6.90m)、梁行3間(4.50m)

主軸方位 N-3°-E

柱間 桁行1.60m～1.80m、梁行1.20m～1.60m

掘り方 径90cm～1.18m、深さ20～56cm

柱痕 北側柱列・西側柱列の一部にみられた。

遺物 土師器坏(墨書「三倉」・「□」)

備考 北側は(10)区で調査、南東隅柱穴は未検出。

(10)・(78) SB449 (第120図、図版55)

位置 190-89・99、19R-80・81・90・91

平面形式 側柱東西棟

規模 桁行5間(9.50m)、梁行3間(3.70m)

主軸方位 N-89°-E

柱間桁行 1.94m～2.18m、梁行 1.80m～2.00m

掘り方 径68cm～1.50m、深さ17.3cm～55.2cm

柱痕 北側及び南側柱列の一部にみられた。

遺物 土師器甕、羽口

備考 南東隅柱穴以外は(10)区で調査。(10) SB503との新旧関係は不明。

(10)・(78) SB503 (第120・123図、図版55)

位置 19Q-98・99、19R-90、20Q-08・09、20R-00

平面形式 側柱東西棟

規模 桁行5間(9.12m)、梁行(3.80m)

主軸方位 N-84°-E

柱間 桁行1.60m～2.30m、梁行1.40m～2.10m

掘り方 径84cm～182cm、深さ32cm～73.8cm

柱痕 北側柱列の一部にみられた。

遺物 土師器坏・甕、須恵器甕

備考 北西側は(10)区で調査。(10)SB449との新旧関係は不明。

(10)・(78) SB504 (第119図、図版55)

位置 19R-65・66・67・75・76・77・85・86・87

平面形式 側柱東西棟

規模 桁行4間(7.00m)、梁行3間(4.40m)

主軸方位 N-0°

柱間 桁行1.63m～3.50m、梁行1.34m～2.80m

掘り方 径64cm～1.06m、深さ10cm～64cm

柱痕 なし

土坑 (78)SB133 径64cm～72cm、深さ34cm

遺物 土師器甕

備考 北側は(10)区で調査、西側・南側柱列の一部は未検出。床面は傾斜し、北側に約10cm下がる。  
北東隅の土坑(78)SB133は厩舎・馬小屋に付設される尿溜めに類似する。

(10)・(78) SB508 (第121図、図版55)

位置 19Q-96・97、20Q-06・07・16・17

平面形式 側柱東西棟

規模 桁行3間(4.80m)、梁行2間(4.00m)

主軸方位 N-1°-W

柱間 桁行1.40m～1.94m、梁行1.80m～2.08m

掘り方 径54cm～1.14m、深さ24cm～56cm

柱痕 北側、西側柱列の一部にみられた。

遺物 土師器甕、須恵器甕

備考 (10)SB509と重複(新旧不明)。

(10)・(78) SB509 (第121・123図、図版55)

位置 19Q-96・97、20Q-06・07・16・17

**平面形式** 側柱東西棟

**規模** 桁行3間(4.80m)、梁行2間(3.90m)

**主軸方位** N-5°-E

**柱間** 桁行1.40m～1.72m、梁行1.80m～2.00m

**掘り方** 径50cm～84cm、深さ18cm～38cm

**柱痕** 北側柱列にみられた。

**遺物** 土師器坏、須恵器甕

**備考** (10) SB508と重複(新旧不明)。

(78) SB200 (第122・123図、図版54)

**位置** 19R-73・74・75・83・84・85

**平面形式** 側柱東西棟

**規模** 桁行4間(7.00m)、梁行3間

**主軸方位** N-5°-W

**柱間** 桁行1.60m～3.40m

**掘り方** 径70cm～90cm、深さ20cm～30cm

**柱痕** なし

**遺物** 須恵器甕

**備考** 梁行柱穴は未検出。

(78) SB201 (第122・123図、図版54)

**位置** 19R-68・69、19R-78・79・88

**平面形式** 側柱南北棟

**規模** 桁行3間(6.74m)、梁行2間(4.00m)

**主軸方位** N-7°-E

**柱間** 桁行6.76m、梁行4.00m

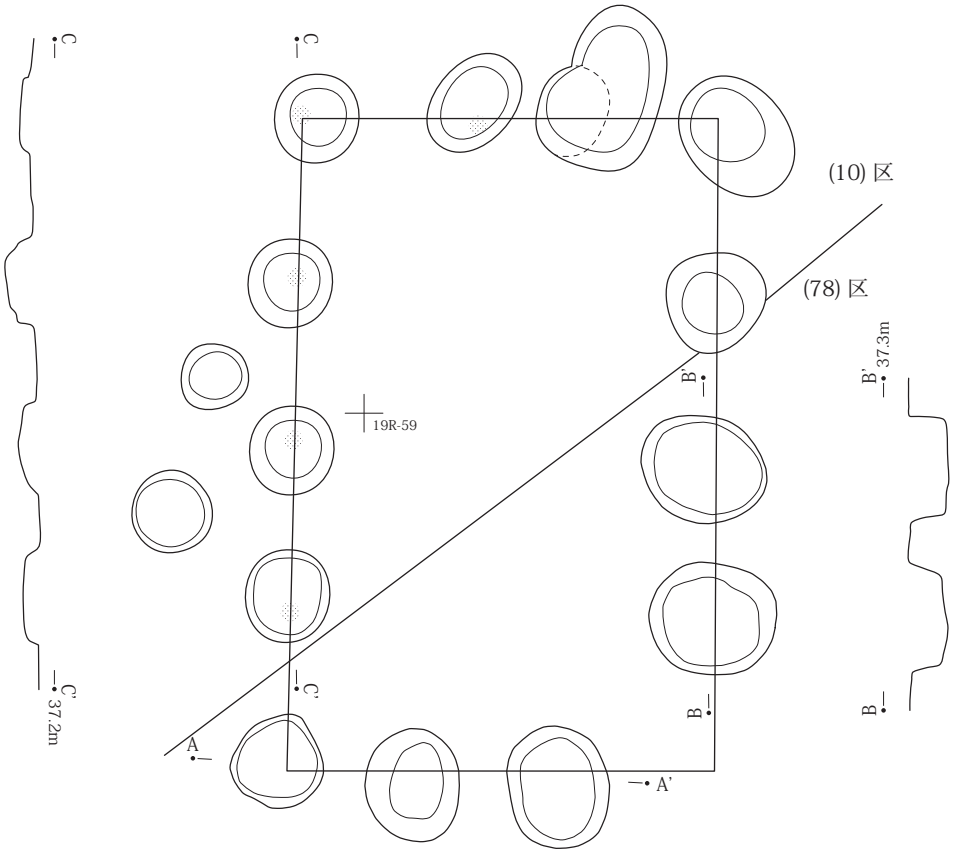
**掘り方** 径74cm～116cm、深さ38cm～54cm

**柱痕** 西側柱穴などにみられた。

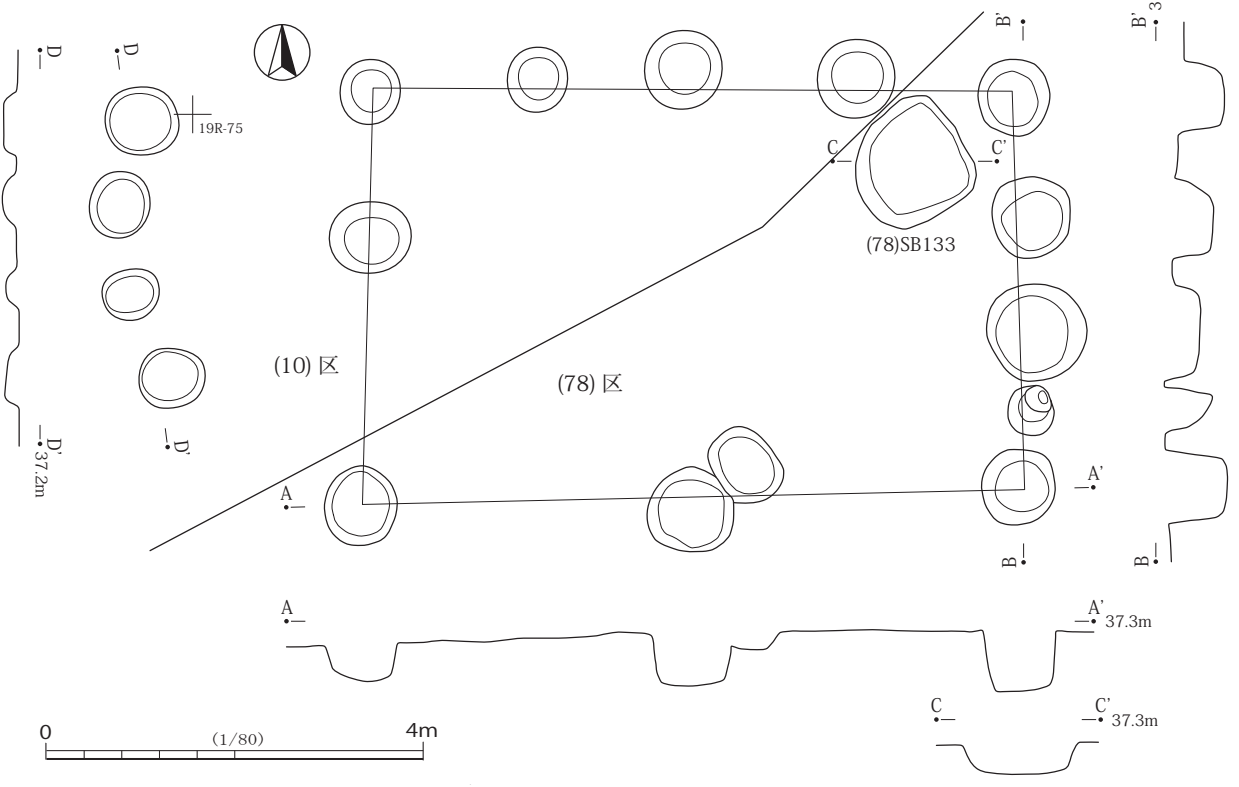
**遺物** 土師器坏・甕、須恵器甕

**備考** 南側は床束、または別の建物が重複する。

(10)・(78)SB419

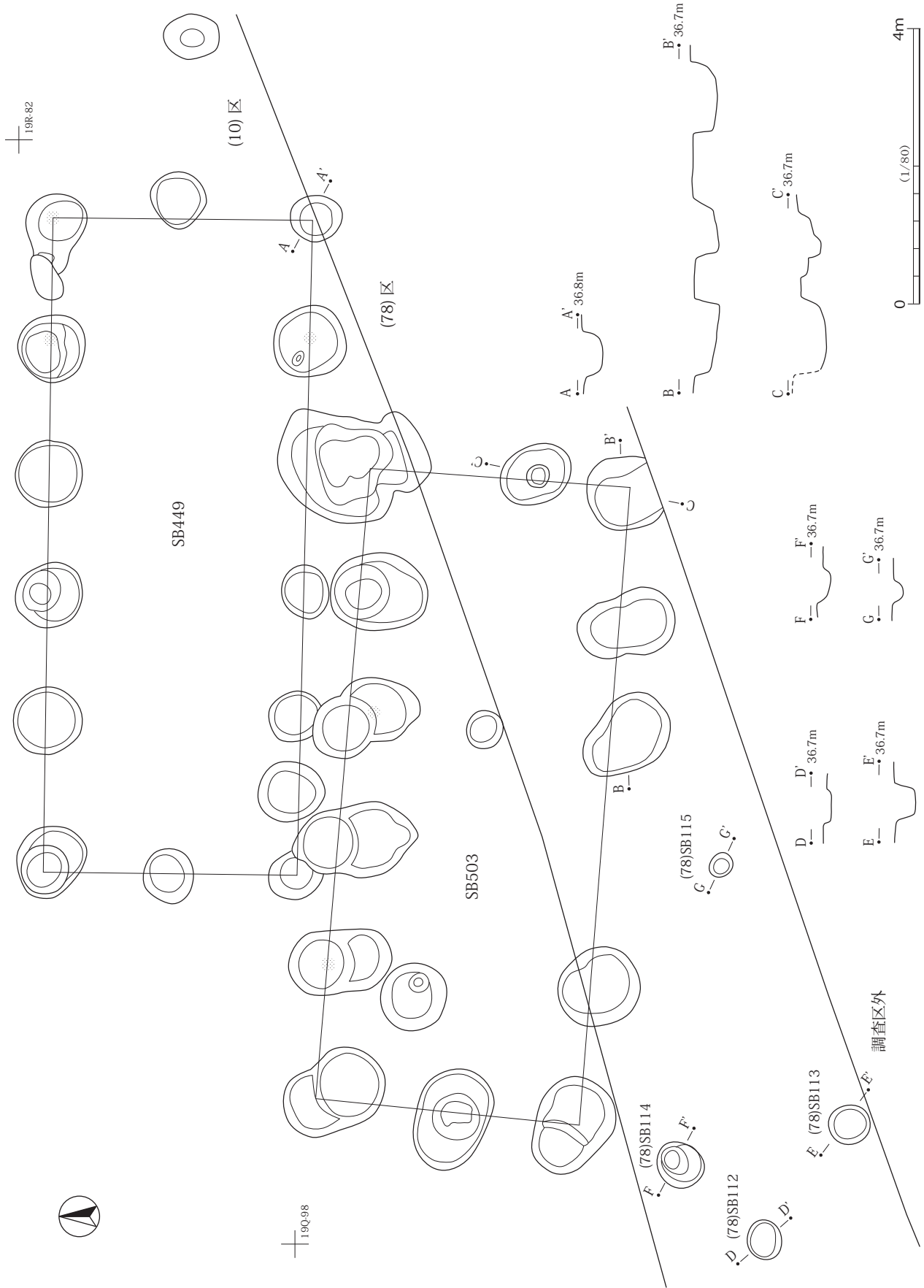


(10)・(78)SB504

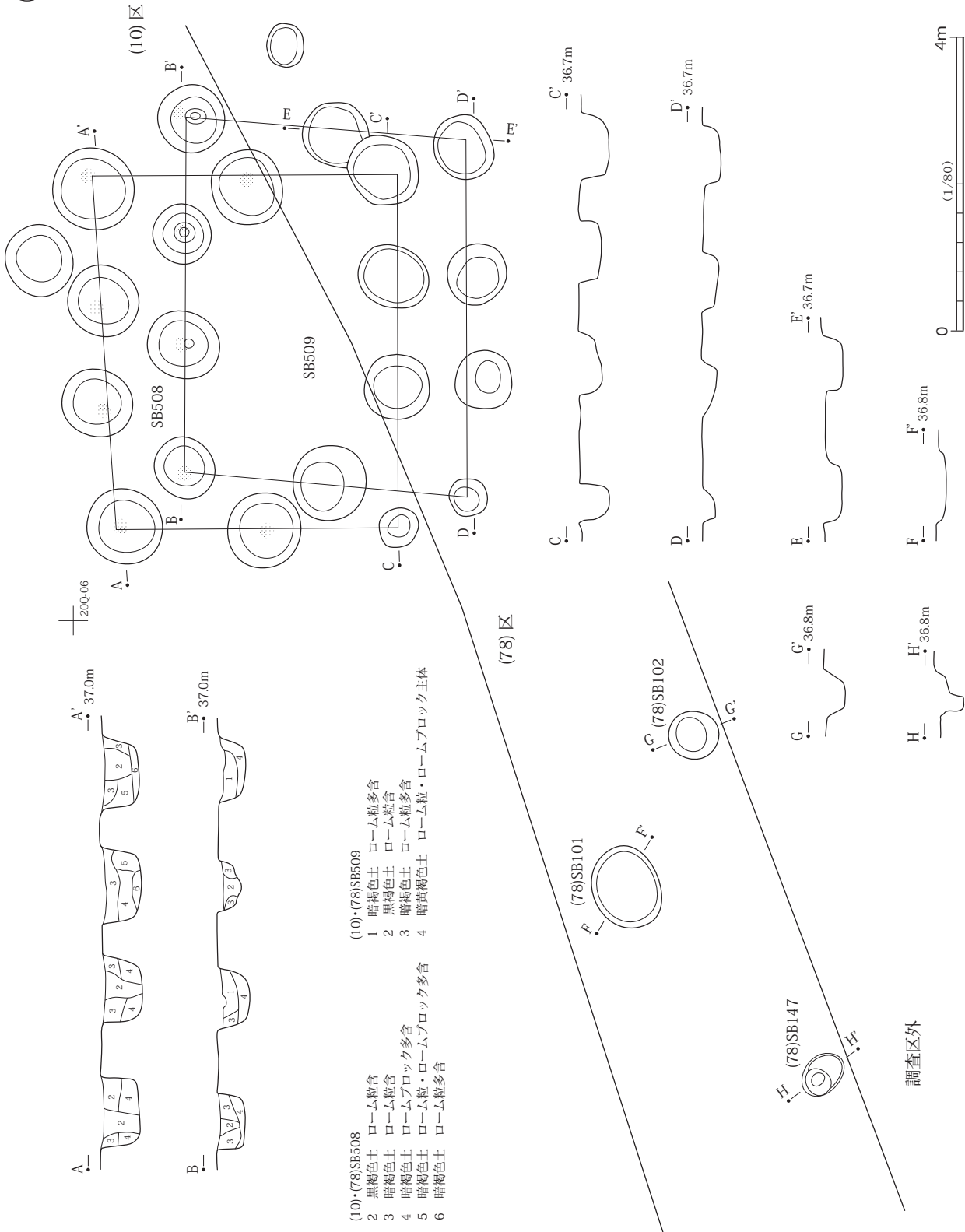


第119図 奈良・平安時代掘立柱建物跡 (1)



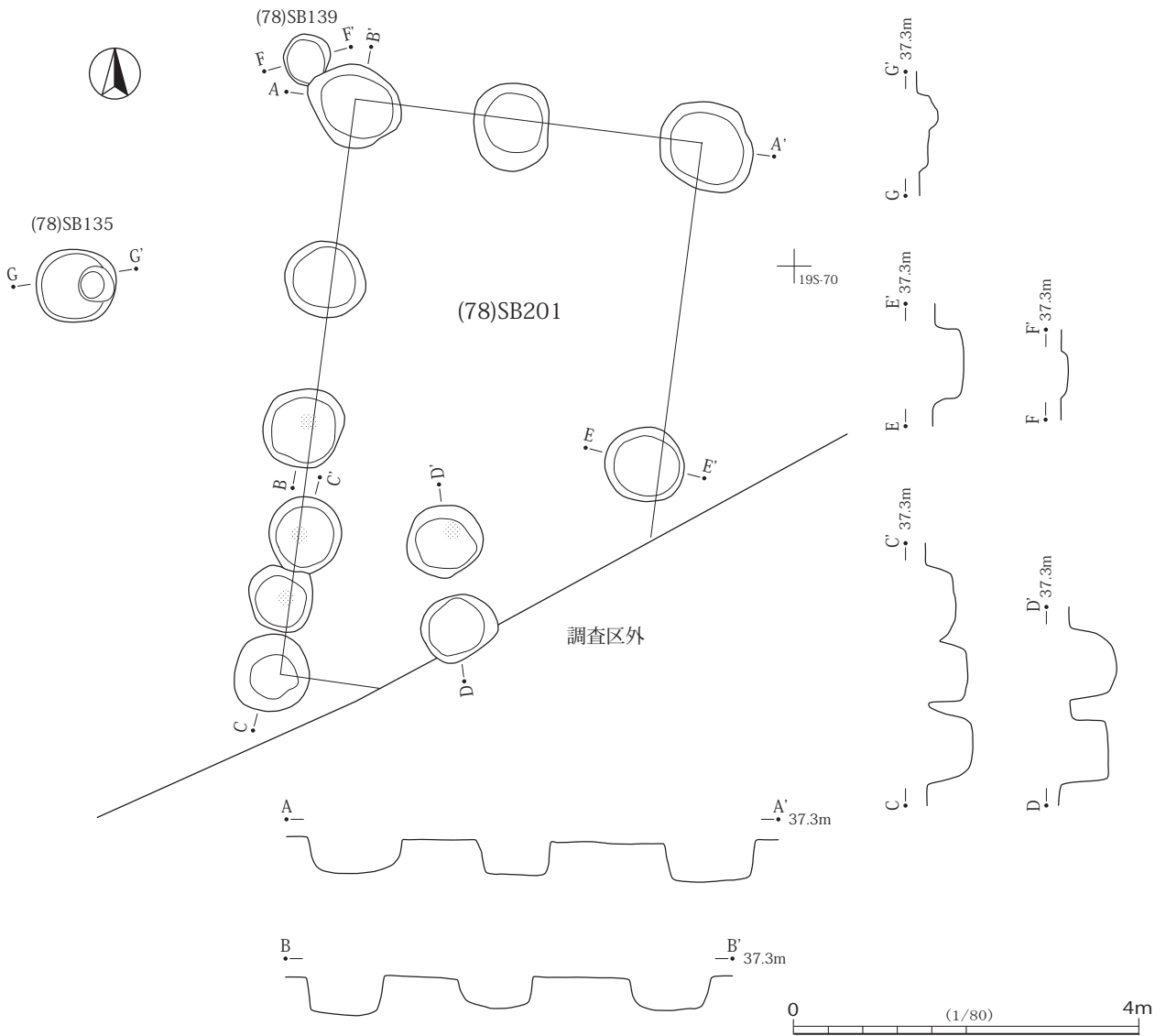
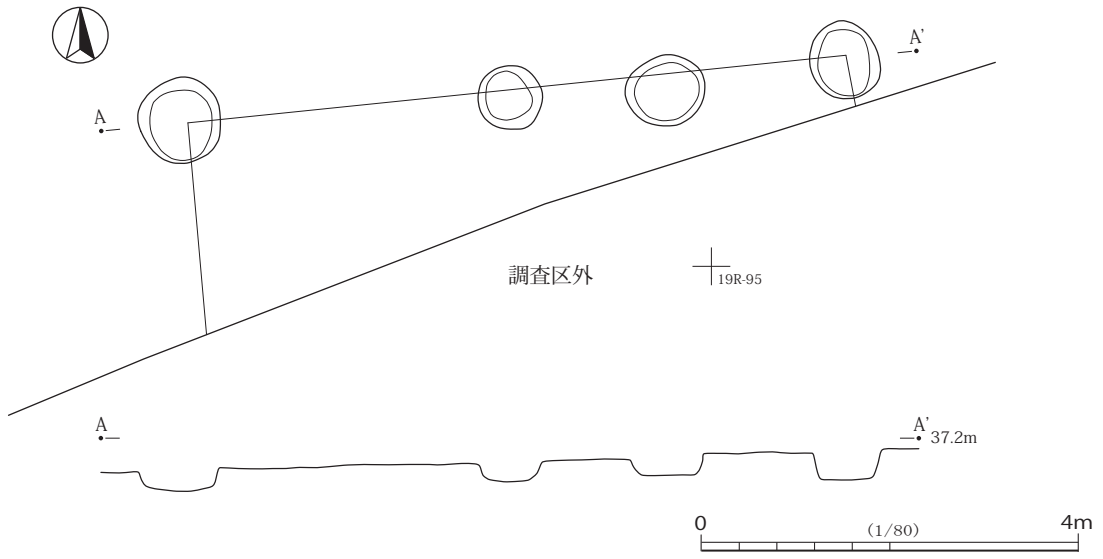


第120図 奈良・平安時代掘立柱建物跡 (2)



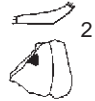
第121図 奈良・平安時代掘立柱建物跡 (3)

(78)SB200

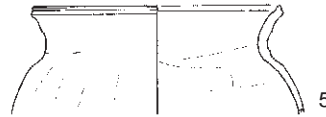
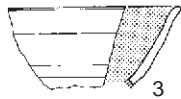
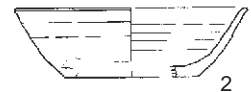


第122図 奈良・平安時代掘立柱建物跡 (4)

(10)・(78) SB419



(10)・(78) SB503



(10)・(78) SB509

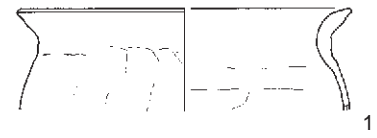


0 (1/4) 10cm

(78) SB200



(78) SB201



第123図 奈良・平安時代掘立柱建物跡出土土器

第2節 竪穴住居跡・土坑 (第124・125図、附表8、図版54・55・141)

(78) SI047 (第123図、図版54)

位置 16U-65・66・75・76

平面形 方形

規模 東西3.43m×南北3.36m、深さ34cm

主軸方位 N-45°-W

支柱穴 なし

カマド 北壁中央

周溝 なし

貯蔵穴 なし

遺物 なし

時期 不明

備考 規模が小さいこと、支柱穴をもたないことなどから奈良・平安時代と判断した。

(78) SK1469 (第124・125図、附表8、図版55・141)

位置 20P-55・56

平面形 楕円形?

規模 東西3.30m、

方位 N-88°-E

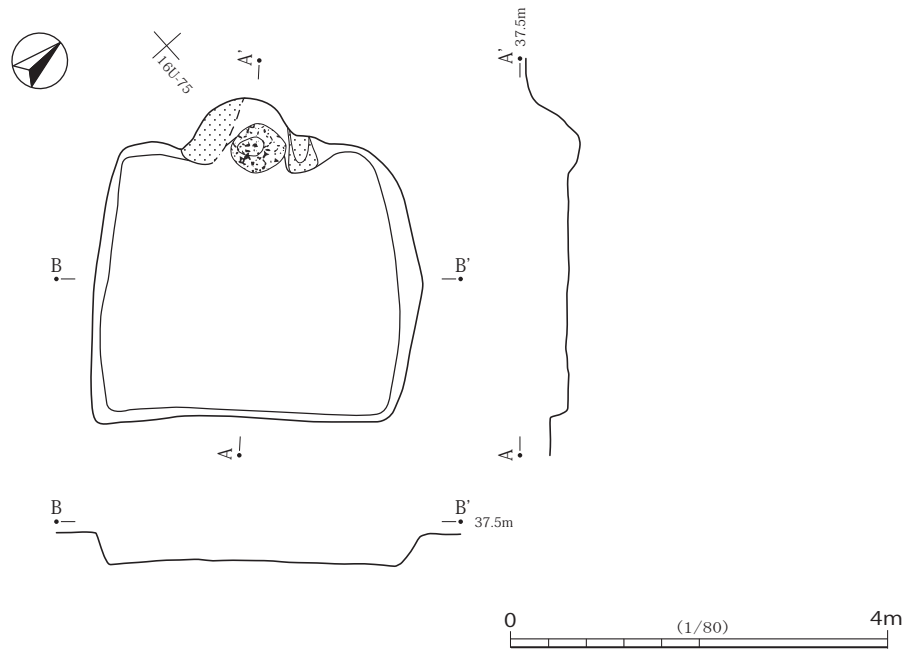
ピット 2か所 深さP1 41.2cm、P2 58.0cm

遺物 土師器杯(墨書「三倉」3点)・甕、須恵器甕

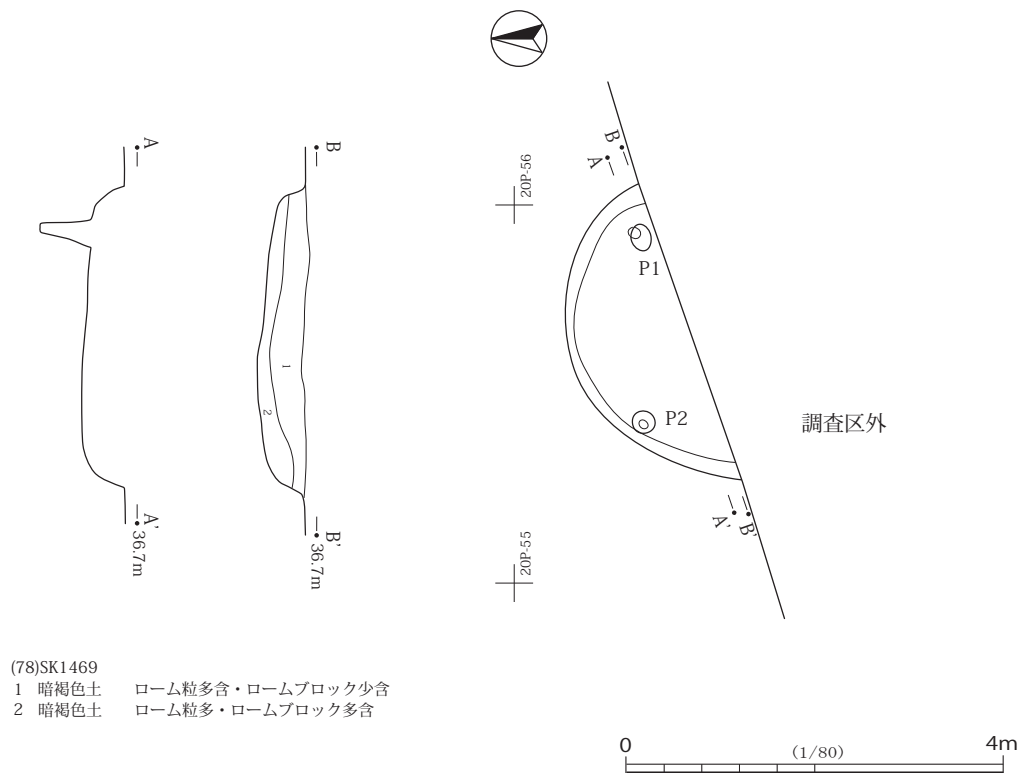
時期 3期(9世紀第2四半期)

備考 竪穴住居跡の可能性はある。

(78)SI047

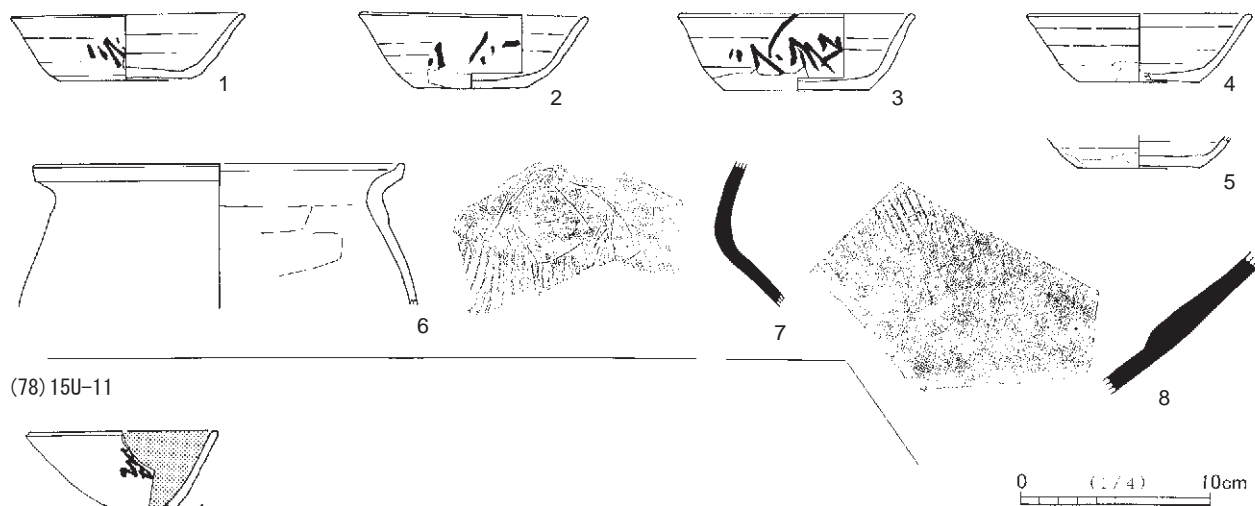


(78)SK1469



第124図 奈良・平安時代住居跡・土坑

(78) SK1469



(78) 15U-11



第125図 奈良・平安時代土坑・遺構外出土土器

### 第3節 溝状遺構 (第126図、図版55)

(10)・(78) SD512 (第126図、図版55)

位置 19S-04・14・15

規模 検出した長さ6.5m、幅71cm～1.00m

方位 N-81°-W

断面形 逆台形

遺物 なし

備考 奈良・平安時代の条里・方格区画溝の一部、約530m西方の(10) SD430に断続する。

(10)・(78) SD554 (第126図、図版55)

位置 18T-12・22・23

規模 検出した長さ5.00m、幅1.45m～1.70m、深さ50cm

方位 N-74°-W

断面形 逆台形

遺物 なし

備考 奈良・平安時代の条里・方格区画溝の一部、約450m西方の(63) SD001に断続する。

(13)・(78) SD672 (第126図、図版55)

位置 20P-45・46・47・48

規模 検出された長さ12.4m、幅1.85cm～1.95cm、深さ50cm

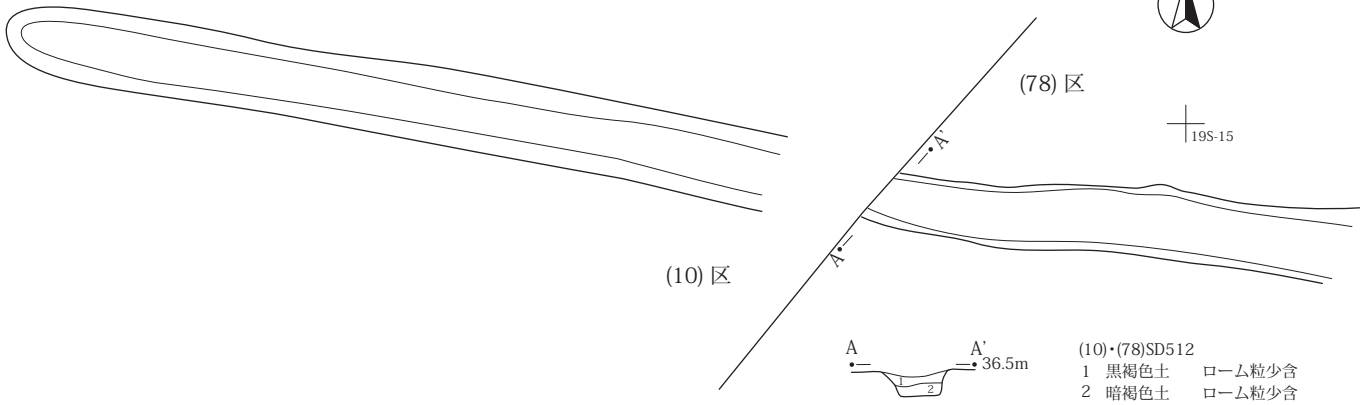
方位 N-90°-W

断面形 逆台形

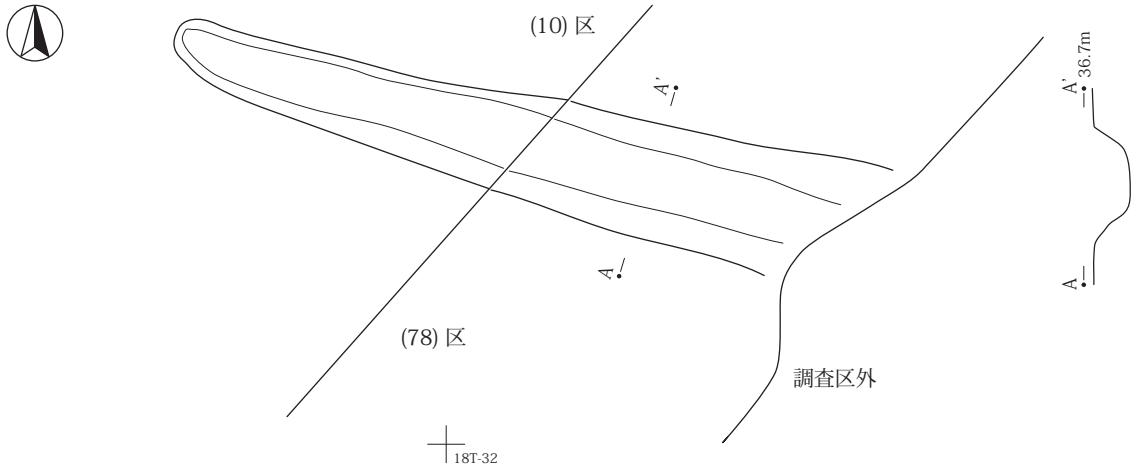
遺物 なし

備考 中・近世の道路状遺構の一部、約13m西方の(13) SD672に断続する。

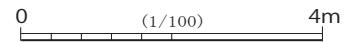
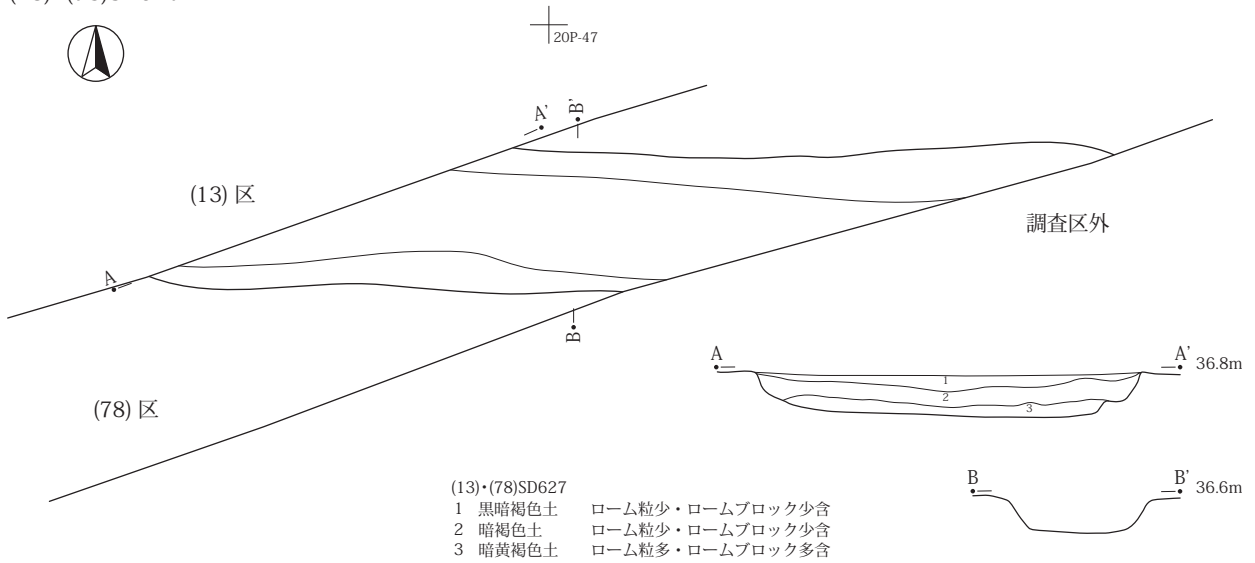
(10)・(78)SD512



(10)・(78)SD554



(13)・(78)SD627



第126図 溝状遺構

## 第6章 まとめ

### 第1節 旧石器時代 (第15表)

計80点の遺物が出土した。内訳はナイフ形石器6点、角錐状石器3点、槍先形尖頭器3点、搔器2点、楔形石器2点、二次加工ある剥片2点、石核3点、剥片33点、碎片15点のほか礫片が11点となっている。これらの石器群の帰属時期は、槍先形尖頭器は立川ロームIV層上部、そのほかは立川ロームIV層下部・V層段階に対比される可能性が高い

検出された遺物集中地点は1か所（第29ブロック）にとどまる。第29ブロックの基本的な性格は礫群である。礫群は立川ロームIV層下部・V層段階の遺跡に偏る傾向にあるが、本ブロックはそのことを良くあらわしている。

下総台地では径約5mの小規模なブロックが一般的であり、他地域に比べ遺物量も零細である。このことは石材消費地の特徴を良く表しており、第29ブロックはその典型例と言えよう。

第15表 旧石器時代石器組成表

器種・石材	ナイフ形石器	角錐状石器	槍先形尖頭器	搔器	楔形石器	二次加工ある剥片	石核	剥片	碎片	礫片	計
ガラス質黒色安山岩	5	1	2	1	1	2	3	23	1		39
黒曜石	1	1	1								3
メノウ				1					5		6
硬質頁岩		1						7	9		17
トロトロ石								2			2
流紋岩質凝灰岩					1			1			2
石英斑岩										11	11
合計	6	3	3	2	2	2	3	33	15	11	80

### 第2節 縄文時代

#### 1 土器

諸事情により出土土器についての細部の説明ができなかったが、完形土器、半完形土器は縄文のみまたは無文のものを除いてほとんど図化、掲載した。また、住居跡出土土器は細片を除いて写真図版に載せているし、土坑出土の主要な破片もやはり写真図版で示している。

これらのうち、1a期、いわゆる中峠式及び加曽利E1式古段階は好資料が得られた。県内当該期の土器研究は下総考古学研究会によって主導的になされている。数多くの類型を設定し、その分布や系統の細かい検討作業が行われているが、新資料が出るごとに各類型の中間的な土器や類型に当てはまらない土器が発見される、というのが率直な感想である。阿玉台IV式、勝坂式末期を含めた編年の確立を今後の課題としたい。

2c期、加曽利E2-3中間式と3a期、同E3式古1段階は識別が難しかった。個体ごとに見ると懸垂文の磨消が微妙で、懸垂文間の縄文が半分消えかかったものや、同時期と思われる一括出土の土器でも個体ごとに磨消されているものとされていないものが認められた。磨消手法の有無は加曽利E式前半と後半を分



ける重要な指標であるが、必ずしも一様に磨消手法が始まったのではないのが実態なのであろう。縄文人にとってはことさら磨消にこだわった訳ではなく、磨消手法は徐々に定着、一般化してゆくのであって、当初は同時期であっても磨消手法に個体差が生じるのであろう。こうした不分明な時期が加曽利E2-3中間式の時期なのではあるまいか。

3b期以降については、既報告分で良好な資料が出土しており、時期的な検討がなされているので、こちらを参照願いたい。

## 2 土製品

土偶は不確実なものを含めて、3点出土した。腰以下を欠損する土偶は後期堀之内1式期の所産と考えられ、好例である。腕部とした破片は安孫子氏によって連弧文土器に伴う背面人体文土偶と呼称された類と考えられるが、一般に当該例の腕部は簡略な例が多く、文様を施す例はないらしい<sup>1)</sup>。土偶の腕部とすれば、本体は相当大型であったと思われる。ミニチュア土器では漆が厚く付着した例が1点出土している。漆を溜めた容器であったと思われる。土器片錘は192点中170点が完形品であった。平均重量は18.7gで、最も多いのは15g～20g未満で、次いで10g～15g未満、20g～25g未満となる。既報告の本遺跡(1)～(77)区では10g～15g未満が最も多く、次いで15g～20g未満、20g～25g未満の順となり、やや分布傾向が異なるが、平均重量は18.6gでほとんどかわらない。古鬼怒湾岸の他の遺跡でも同様の傾向を示すことがすでに指摘されている<sup>2)</sup>。土器片円板については、前回(1)～(77)区の253点より多い266点が出土した。前回報告では時期的には加曽利E3式中2段階から同3-4式段階であることや周縁加工、穿孔状態などについて検討した<sup>2)</sup>。今回も大きな違いはないと思われるが、比較検討が可能なよう同様の観察を行った。

注1 安孫子昭二 1998「背面人体文土偶」『土偶研究の地平「土偶とその情報」研究論集(2)』勉誠社

2 (公財)千葉県教育振興財団 2016『酒々井町飯積上台遺跡2・飯積原山遺跡3・柳沢牧墨木戸境野馬土手-酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書4-』

## 3 石器と生産活動 (第14・16表)

### 石器組成

本地区では、縄文時代の石器は総計5,731点出土した。剥片類や石核が大半を占め、総数は計4,127点(原石112点、石核114点、剥片2,243点、碎片1,570点、削片5点、両極剥片9点、軽石類74点)に及ぶ。これに対して利器は大別23種、計1,604点(約28%)を数える。

以上の石器個々の諸特徴と石器組成は第14表と第16表にそれぞれ示したので、適宜、参照されたい。

利器のうち石鏃、石錐、及び楔形石器等については、遺跡内で製作された痕跡をとどめるが、他の石器群、特に礫石器は搬入品である。これは一般的な傾向であり、製作地は、おそらく採取地もしくは近傍の河原であろう。礫石器のうち磨製石斧は破損後、しばしば再加工され、他の器種に転用されている。

### 技術的特徴

剥片生産技術のうち両極打法は、主として小型で扁平なチャート礫を素材としている。この技術は石核が剥離の進行に伴い小型化した場合や、原材料が小型で、通常の方法では剥片の剥離が困難な場合によく用いられたようである。そして、剥離の途上で生じた両極剥片・削片と最終的に残された扁平な石核(楔形石器)の双方が石鏃等の剥片石器の素材として使われている。

第16表 石器の機能・用途別組成 (小林1983を改変)

使用目的等	生産用具			工 具	非実用的石器	
	狩猟具	植物採集・加工具	漁撈具		祭祀・儀礼	石棒
	直接生産用具	<b>石鏃</b>	打製石斧	浮標 (浮子)		
間接生産用具	剥片石器の一部	<b>石皿</b> <b>磨石類の一部</b> 敲石の一部 台石の一部	剥片石器の一部	剥片石器の一部	装身具	玦状耳飾り 硬玉製大珠 琥珀玉

※太字は比較的数量が多いもの。

このような小型扁平な在地産のチャート礫から素材剥片を生産する技術は、後期旧石器時代前半期（「遠山技法」）からみられ、良好な石材に乏しい下総の伝統的な技術といえる。

### 石器石材

遺跡内で製作された石器は石鏃をはじめとした剥片石器であり、未成品もみとめられる。これに対して礫石器は、いずれも搬入品であり、破損後はしばしば再加工され、他の器種に転用されている。特に磨製石斧や石皿については徹底的に使い尽くされており、石材消費地の特性がよくあらわれている。

石鏃等の剥片石器にはチャートと黒曜石、打製石斧にはホルンフェルス、磨製石斧には砂岩・粗粒玄武岩・緑色岩、磨石類・石皿には多孔質安山岩ないしは安山岩、石棒には緑泥片岩が多用されている。このことはそれぞれの機能に応じた石材の使い分けがあったことを如実に物語っている。

これらの石器石材の産地は緑色岩・粗粒玄武岩・黒色頁岩が埼玉・群馬方面、チャート、黒雲母片岩・斑糲岩・花崗岩・メノウ・トロトロ石・石英斑岩・流紋岩は栃木・茨城方面、黒曜石の一部は東京都神津島、チャートを主体とした小型扁平礫は近傍の礫層から採取されたものと推定される。産地は基本的に北関東方面を中心とした関東一円であるが、磨製石斧に使われている透閃石岩は糸魚川方面、硬質頁岩は東北地方、黒曜石の一部に信州系がみられる。

磨製石斧・打製石斧・石皿・石棒などの礫石器は、完成品として遺跡内に搬入されているが、おそらく、各地の専業集団により集中的に生産され、当地へ生活財として供給されたのであろう。

### 生産活動

本遺跡の石器組成は、第16表に示したとおり、主体は、狩猟具の石鏃と植物の伐採・加工具の磨製石斧・石皿・磨石類である。これに対して打製石斧は少量で、漁撈具は非常に貧弱である。このことから本遺跡における生業は狩猟・採集を中心としていたことが窺われる。

ちなみに関東・中部の縄文石器の様相を検討した小林康男によれば、縄文時代の中期には、その前半（五領ヶ台、勝坂期）に「植物採集、加工具主体の石器組成が確立」し、打製石斧の急増と石皿、磨石類中心の石器組成が現象化するのに対して、中期後半（加曾利E期）には、石皿、磨石類には顕著な増減は認め

られないが、房総など関東の一部で打製石斧の減少と石鏃の増加が認められるという<sup>1)</sup>。

以上の小林の見解に照らし合わせると、本遺跡の石器組成は房総における中期後半の典型例といえる。

注1 小林康男 1983「組成論」『縄文文化の研究7 道具と技術』雄山閣, pp. 16-27

#### 参考文献

(公財)千葉県教育振興財団 2014『柏北部東地区埋蔵文化財発掘調査報告書6 柏市富士見遺跡 縄文時代以降編1』

小倉和重 2009『宮内井戸作遺跡(旧石器時代編)(縄文時代本文・分析編)』財団法人 印旛都市文化財センター。

柴田徹 2004「石器に使われている石材について」『下水遺跡第1地点発掘調査報告書』松戸市遺跡調査会, pp. 267-276

柴田徹 2008「剥片石器に利用可能な石材の比重値について—関東地方を中心として—」『石器に学ぶ 第10号』石器に学ぶ会, pp. 149-162

鈴木次郎ほか 1977『尾崎遺跡 酒匂川総合開発計画に伴う調査』神奈川県教育委員会

鈴木道之助 1991『図録・石器入門事典〈縄文〉』柏書房株式会社。

大工原豊 2004「(6)生活用の石器」『千葉県の歴史 資料編 考古4(遺跡・遺構・遺物)』千葉県, pp. 398-411

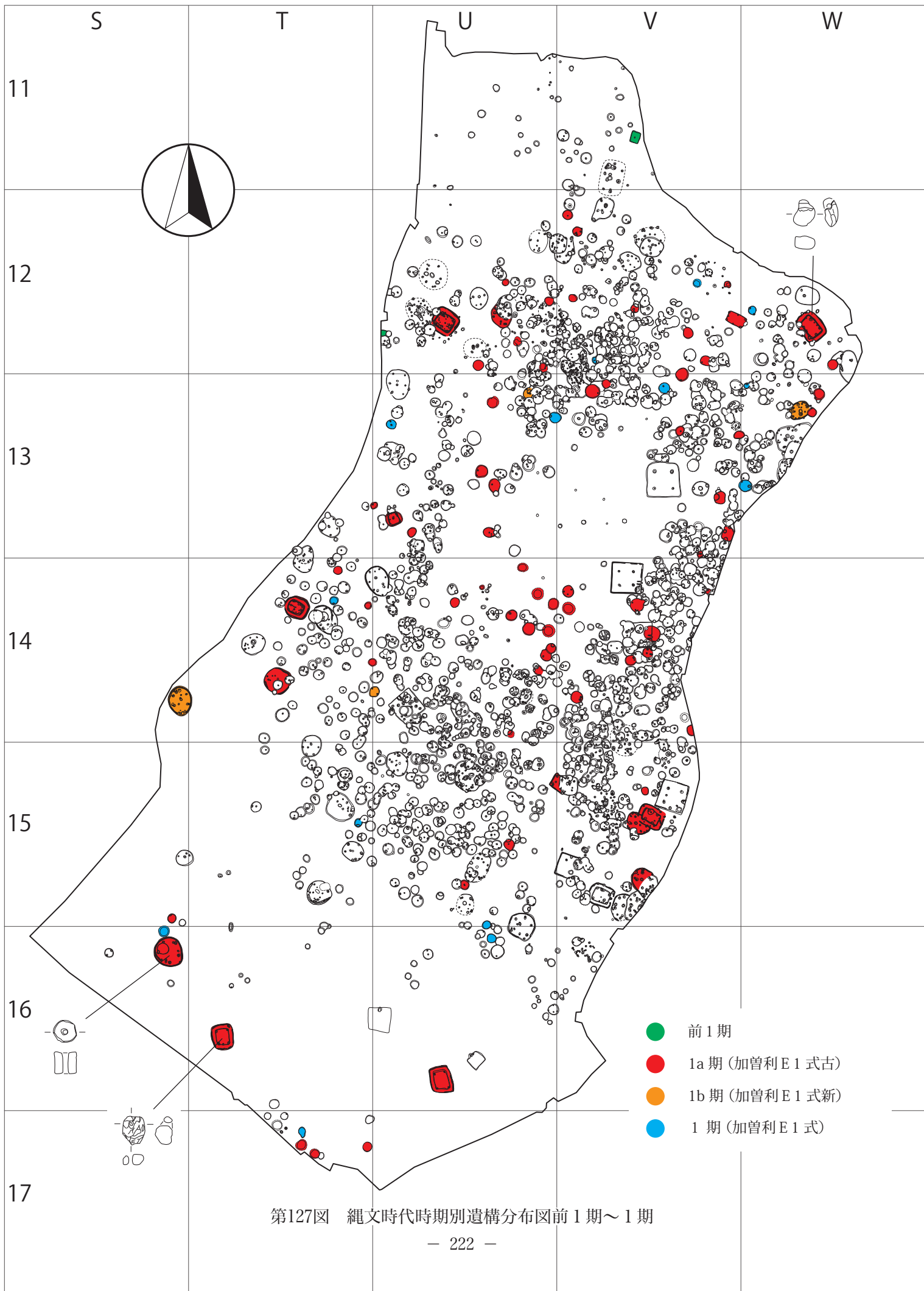
## 4 集落

飯積原山遺跡(78)区から検出された縄文時代遺構は、竪穴住居跡68軒、本来住居跡であって遺構の度重なる重複などによって炉だけが確認できたものが76基、土坑1500基以上であった。このうち、時期をある程度確定できたのは第17表に示すとおりである。これらの遺構群は環状をなして発見されたが、その構造や時間的変遷などを今少し検討しておきたい。

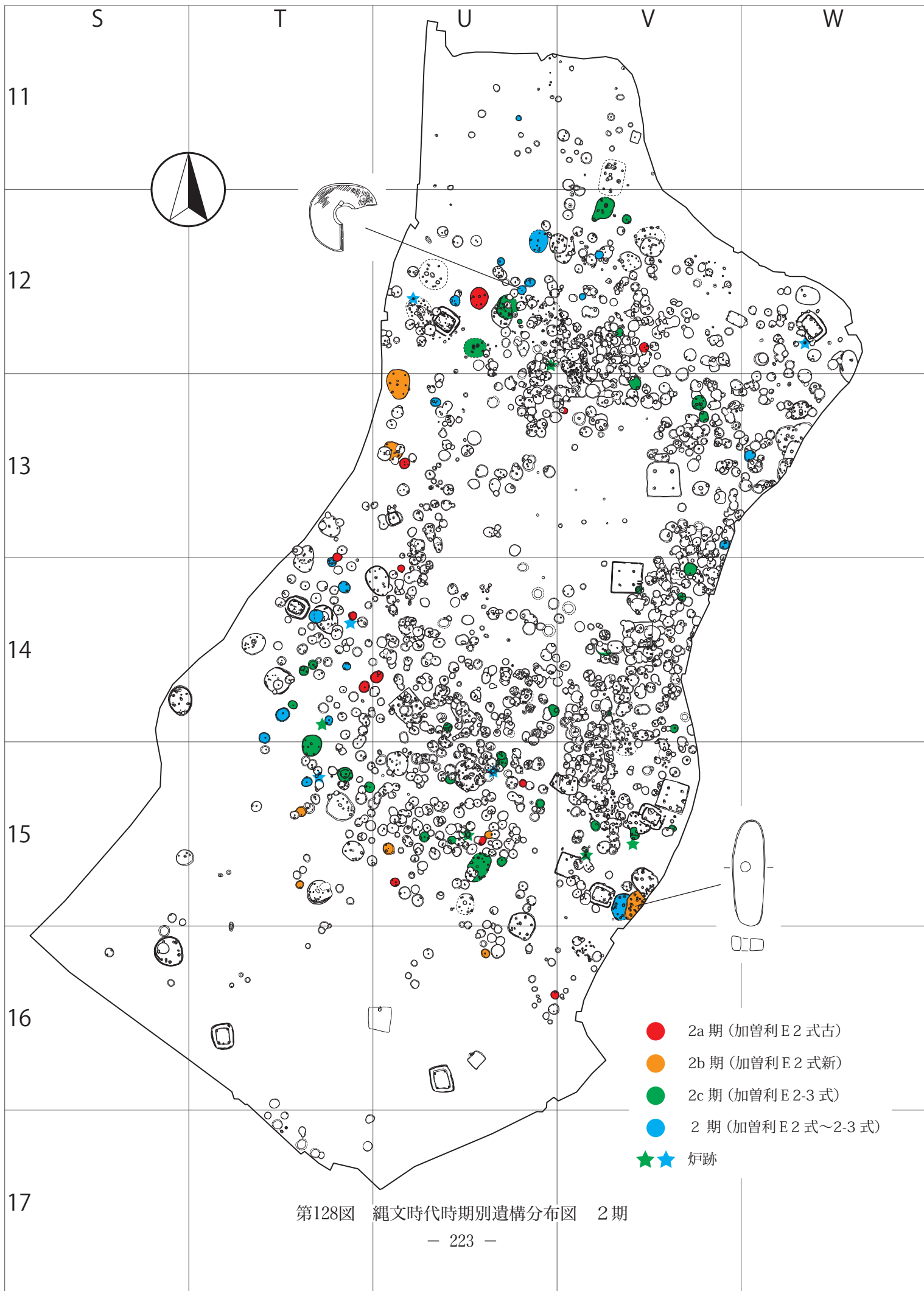
まず、環状集落の範囲であるが、第126～130図の時期別遺構分布を見ると、1期では16グリッド列の3軒の住居跡と15グリッド列以北の遺構集中との間には空隙があり、1期以降で16列グリッドに遺構が現れるのは4期の土坑2基のみとなっている。したがって、16グリッド列の3軒の住居跡は既報告の集落Iに、4期の土坑2基は集落IVにそれぞれ属するとみるのが妥当と考えられる。そうすると、環状集落の範囲はほぼ15グリッド列以北の遺構集中範囲となる。その規模は長軸方向で最大200m、短軸方向で最大110mを測る。

第17表 遺構の時期別集計

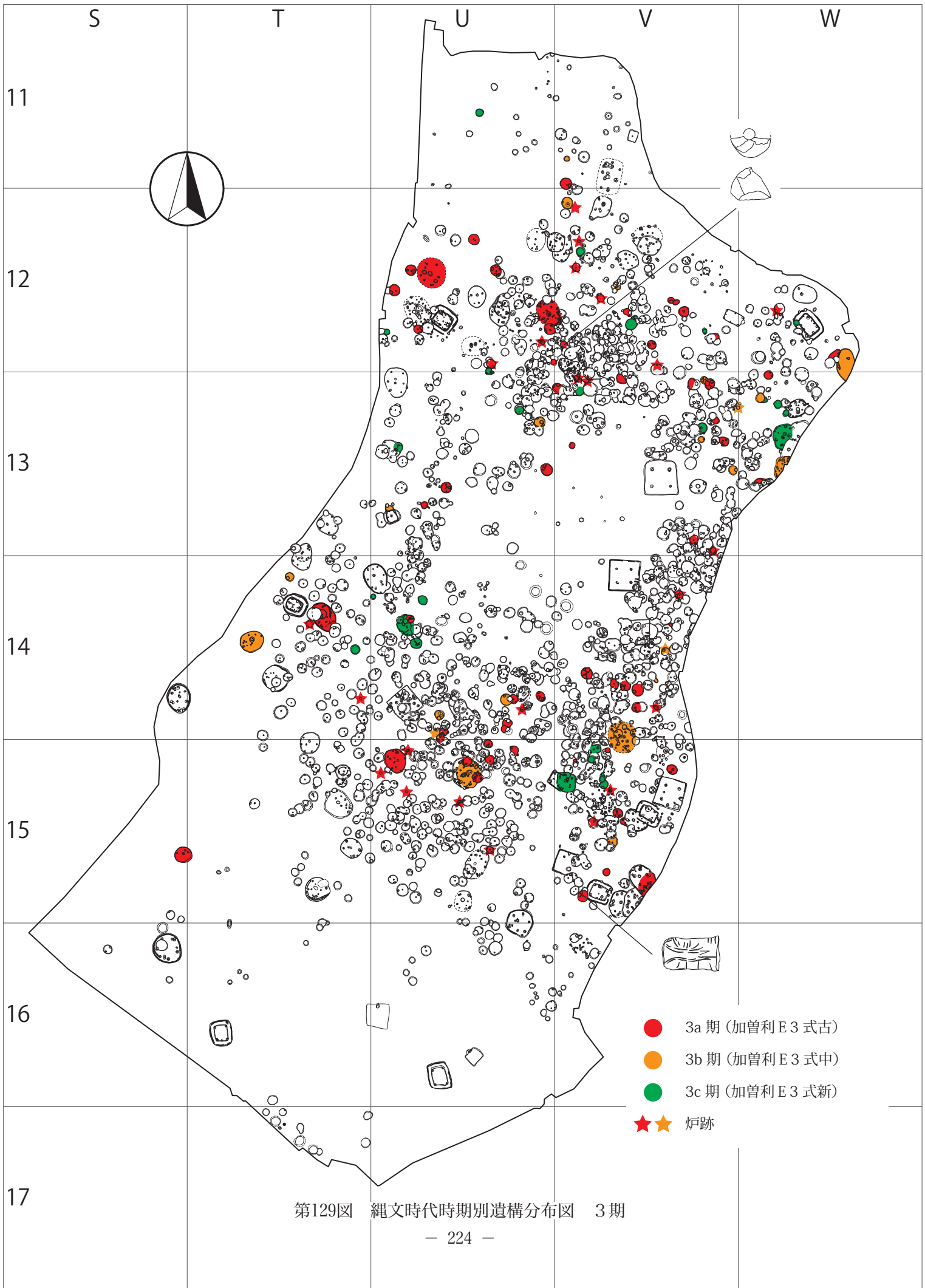
時期区分	土器型式	住居跡	炉跡	土坑
前1期		1		1
1a期	阿玉台Ⅲ式～加曾利E1式古	15		62
1b期	加曾利E1式新	2		2
1期				11
1b～2a期			1	
2a期	加曾利E2式古	2		12
2b期	加曾利E2式新	3		6
2b～2c期			1	6
2c期	加曾利E2-3式	6	5	31
2期		2	5	19
2c～3a期		1	3	3
3a期	加曾利E3式古	7	24	56
3a～3b期		1	3	3
3b期	加曾利E3式中	5	3	14
3b～3c期				2
3c期	加曾利E3式新	3		23
3期		1	2	1
3c～4a期				1
4a期	加曾利E3-4式			3
4b期	加曾利E4式古	1		1
4c期	加曾利E4式中		1	1
4d期	加曾利E4式新			1
4期				10
5期	称名寺式			9
6期	堀之内1式	1		30
計		51	48	308



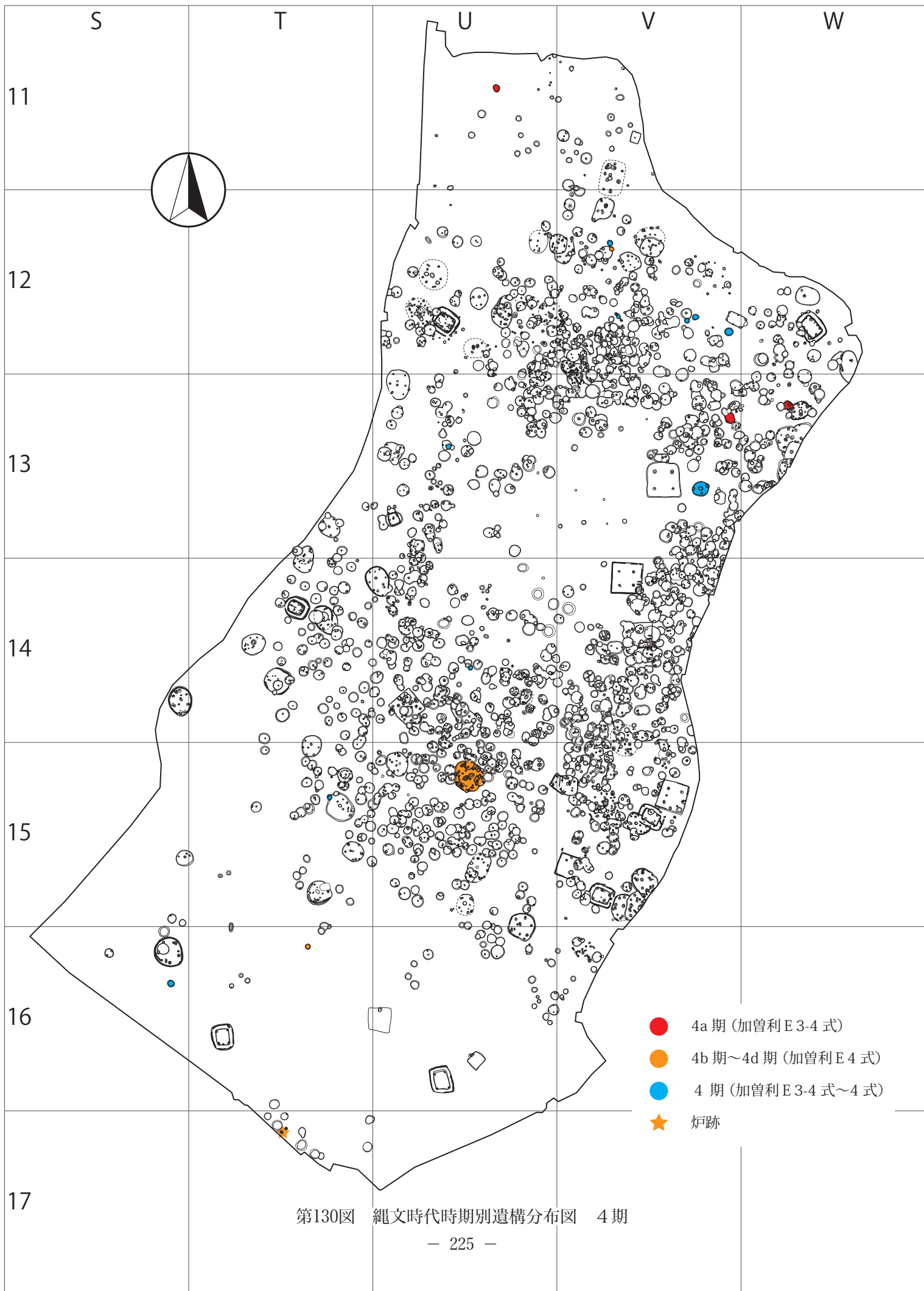
第127図 縄文時代時期別遺構分布図前1期～1期



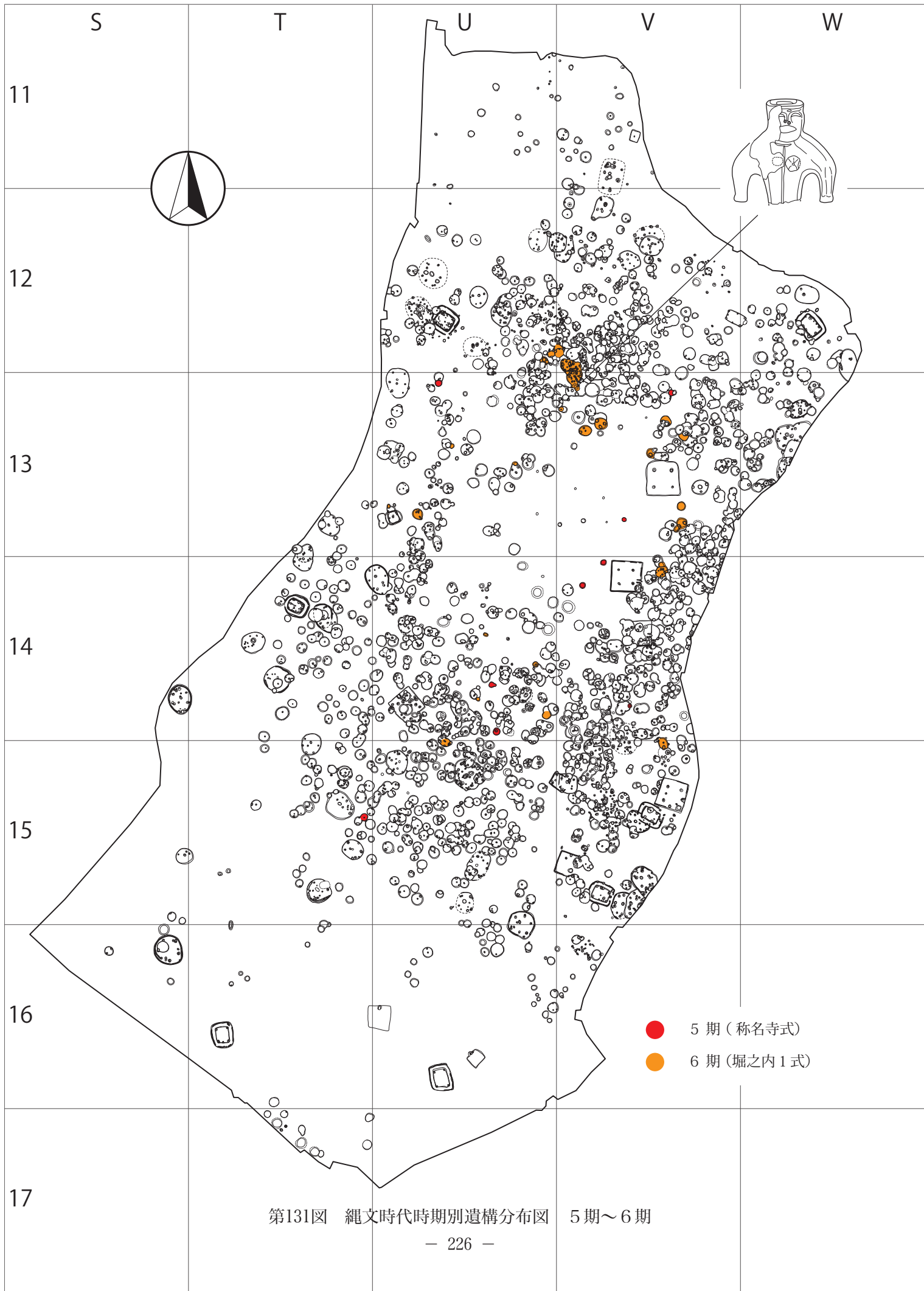
第128図 縄文時代時期別遺構分布図 2期



第129図 縄文時代時期別遺構分布図 3期



第130図 縄文時代時期別遺構分布図 4期



第131図 縄文時代時期別遺構分布図 5期～6期



しかし、東側の調査区域では土坑、住居跡とも区域外にまだ続いていることは明らかである。この区域は緑地帯として調査対象から外された区域で、谷への傾斜面までは14Vグリッドで10m程度ある。おそらく、この環状集落は住居跡が150軒～160軒、土坑1600基程度の規模であったと推定されよう。環状集落としては大きい規模といえよう。この環状集落を既報告の集落Ⅰ～Ⅴに続けて飯積原山遺跡の集落Ⅵと呼ぶことにする。

次に地形と環状集落の関係であるが、第5図で見ると遺構検出面の等高線と遺構分布を比較すると、環状集落の中心の遺構希薄部＝広場が、舌状台地の中央を分断する浅い谷部の中心に相当していることが分かる。また、1期の遺構分布を見ると、14W-00付近の浅い谷の開口部付近には1a期の土坑が存在しており、この浅い谷は環状集落の形成当初から存在していたことも分かる。すなわち、この浅い谷は環状集落の居住者が広場を維持するために人為的に窪ませたのではなく、もともとが自然の地形であったと考えられる。したがって、この環状集落は占地に当たってこうした自然の微地形を意識的に利用したと見ることができよう。

次に時期別の集落の変遷と構造変化に触れておきたい。1期では13V-63付近を中心とする直径40mほどの広場を取り囲むように遺構が分布するが、広場寄りには土坑のみが、周縁側すなわちより標高が高い位置には住居跡と土坑が分布している。時期の判明している1a期の遺構は住居跡15軒、土坑62基を数え、集落形成初期にすでに環状を呈している。1b期は住居跡1軒、土坑7基で明らかに遺構数が減少している。2期になると広場寄りが土坑のみ、周縁側が住居跡と土坑という構造に変化はないが、大きく異なるのは広場が拡大していることである。この時期の広場は14V-00付近と中心とし、長軸約70m、短軸約40mの広がりを持つと考えられる。遺構数は2a・2b期とも1b期と大きな変化はないが、2c期になって急に増加する。

3a期も前代と構造は変わらない。遺構数は2c期よりさらに増加し、ピークを迎える。3b期は本遺跡集落Ⅳ・Ⅴといった周辺に分散型集落が出現する時期である。しかし、本集落Ⅵは遺構数が減少しているが、環状形態の維持、集落の規模は変化がないように見える。3c期も3b期と比べ環状形態の維持、遺構数に変化がないようであるが、集落規模は狭くなっているように見える。4期、5期は遺構数がきわめて少なくなり、環状集落はもはや完全に崩壊している。6期になると住居跡1軒、土坑32基と遺構数が復活し、遺構分布も一見環状を呈するように見える。ただ、第61図3のグリッド別の後期土器出土量の分布を見ると、中期のそれとは明らかに異なっている。したがって、後期堀之内1式期の集落がたとえ環状であったとしても、中期の環状集落とはその内実は相当違っていたと想像されよう。

なお、広場には特別な施設は見つかっていない。広場内に散見される小型の土坑は後期に属するもので、中期環状集落とは関係がない。なお、第12図に見るとおり小規模な焼土が数か所認められるが、時期、性格とも不明であった。

最後に既報告の飯積原山遺跡のⅠ～Ⅴの集落及びさらにその周辺の遺跡との関係について記しておきたい(第132図)。飯積原山遺跡の集落Ⅵに匹敵する拠点集落は墨古沢遺跡である。全体の集落景観はわからないが、阿玉台Ⅰb式期から加曾利E3式新段階まで継続して居住が認められ、加曾利E4式段階がなく、堀之内1式期で復活し、その後も継続している。最も長期に営まれた集落である。

飯積原山遺跡集落Ⅰ～Ⅲ、墨木戸遺跡は加曾利E1式期を主体とする短期の集落で、飯積原山遺跡集落Ⅰを除き小規模な集落で、拠点集落の周辺に展開する衛星的な小集落と考えられる。しかし、飯積原山遺

遺跡名\時期	阿玉台 I～III	中峠・E1	E2	E2-3	E3古1	E3古2	E3中	E3新	E3-4	E4古	E4中	E4新	称名寺	堀之内1
墨古沢														
墨古沢南 I														
墨木戸														
墨新山														
飯積原山 I														
飯積原山 II														
飯積原山 III														
飯積原山 IV														
飯積原山 V														
飯積原山 VI														

第132図 飯積原山遺跡及び周辺集落の消長

跡集落 I は環状を呈さないものの、1 期に限れば範囲、遺構数とも集落 VI と遜色のない規模を持つ。ほぼ同規模の環状をなす集落と環状をなさない集落が隣接して生まれ、環状をなす集落はその後も継続して営まれるのに対して、環状をなさない集落が短命で終わるのは、いかなる理由によるのであろうか。今後の課題としたい。

2 期から 3a 期にかけては、飯積原山の集落 VI と墨古沢遺跡の拠点集落以外に集落はない。小型の集落さえまったくない。この時期は環状集落の最盛期でもあり、拠点集落に人口が集中するのかもしれない。3b 期になると分散型集落が出現する。本遺跡周辺は墨古沢南 I 遺跡、墨木戸遺跡、墨新山遺跡といった千葉県域でも特に当該期の分散型集落が数多く報告されているが、飯積原山集落 IV・V を含め、いずれもこの段階からほぼ一斉に出現しているのである<sup>1)</sup>。一方、墨古沢、飯積原山集落 VI の拠点集落では、規模はやや小さくなるものの継続して営まれている。こうした、拠点集落と分散型集落とはどのような関係にあったのか、これも大きな課題である。

4 期になると環状集落を含む拠点集落は完全に崩壊し、分散型集落の一つにすぎなくなる。さらにこの時期で廃絶する集落と継続する集落があり、廃絶する集落では廃絶期に差が見られる。墨古沢、墨木戸はほぼ 3c 期までで廃絶し、墨新山、飯積原山集落 IV は 4a 期までで終わっている。一方、墨古沢南 I、飯積原山集落 V は 5 期称名寺式期まで確実に居住が認められ、そこで廃絶している。また、飯積原山集落 VI は 3 期以降、4 期・5 期を通じてかろうじて継続している。こうした遺跡ごとの廃絶時期の違いも問題である。

6 期では墨古沢、飯積原山集落 VI が復活する。どちらもかつて拠点集落であった遺跡である。このような回帰行動は果たして偶然なのであろうか。興味深い点である。

以上、飯積原山遺跡の調査成果は、縄文時代中期の環状集落及び分散型集落の動態を示す好資料を提供しただけでなく、両者の関係をより細かなタイムスケールで検討することが可能な好材料を提供したといえよう。

注 1 墨木戸遺跡はやや早く加曾利 E3 式古 2 段階から始まっている。飯積原山集落 IV でもその兆候が認められる。周辺遺跡の報告文献は、既報告の『酒々井町飯積原山遺跡 2』を参照願いたい。

### 第3節 奈良・平安時代

奈良・平安時代の遺構は、8世紀第4四半期から9世紀第3四半期にかけての竪穴住居跡77軒、掘立柱建物跡46棟、土坑20基、溝状遺構15条が高崎川に近い台地北側に分布する。前回の報告のまとめで述べたように半町（6段）を基本とした条里区画に、庄所、村落寺院、在地首長・有力者層の居宅、竪穴住居跡群が計画的に配置された初期（古代）荘園に比定される集落である<sup>1)</sup>。

庄所と捉えた(10)区東側の第1建物群については、9世紀前葉から9世紀第3四半期の3時期の変遷が示されている<sup>2)</sup>。(78)区から検出された掘立柱建物跡8棟のうち、6棟は(10)区において一部調査されていたものであるが、新たに2棟加わったことに伴い、建物の時期区分、用途、内部構造などについて再検討を行った。時期の名称については、前回の報告で行った時期区分<sup>3)</sup>を踏襲し、1期を2期（9世紀第1四半期）、2期を3期（9世紀第2四半期）、3期を4期（9世紀第3四半期）にそれぞれ読み替え、以下記述する。

注1 (公財)千葉県教育振興財団 2015『酒々井町飯積上台遺跡2・飯積原山遺跡3・柳沢牧墨木戸境野馬土手―酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書4―』, pp. 238-248

2 (公財)千葉県教育振興財団 2014『酒々井町飯積原山遺跡1―酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書2―』, pp. 401-406

3 (公財)千葉県教育振興財団 2015、前掲書, pp. 232-238

#### 1 第1建物群について（第8・133図、第18表）

##### 概要

第1建物群は、台地の北東側縁辺に位置し、高崎川の谷津に接する。付近の標高は38.1m～38.3mで、調査区の東側に平坦面が約5m続いている。低地部の幅は20m～25m、標高は23.2m～24.7mである。台地部と低地部の間は約35°のゆるやかな斜面となっている。低地部の現況は荒地であるが、南西側の谷奥は湧水し、近世柳沢牧の水呑場と思われる小さな池が形成されていた。

遺構は、掘立柱建物跡29棟、竪穴住居跡3軒が東西80m、南北43mの長方形に概ね柱筋を揃えて配置される。庄所域はさらに広く、北側・西側の区画溝、東側・南側は平坦部までの約半町（東西109m×南北54m）である。

個々の建物について、最初に既報告からの補訂を述べておく。桁行4間×梁行3間（以下この順序で記述）の側柱建物と推定した(10)・(78)SB508、(10)・(78)SB509は、3間×2間の東西棟と判明した。(10)SB420は、掘り方の土層断面の検討により、西側の内部の柱は束柱ではなく、3間×2間の南北棟と4間×3間の東西棟が重複したものと判断した。前者を(10)SB420A、(10)SB420Bと呼称することとする。3間×2間の総柱建物とした(10)SB515は、西側柱列の掘り方が中間・東側柱列の掘り方より小規模で浅いことから西側は身舎と一体となった廂が付された建物の可能性が高く、高床式倉庫ではないと思われる。この建物の用途については後述する。(10)・(78)SB503は、建て替えが示唆されたが、重複しているとみられた柱穴の掘り方は、柱の抜き取り穴と判断し、単独の建物とした。

上記を踏まえた掘立柱建物跡の平面形態と規模を第18表に示した。2間×2間は2棟、3間×2間は11棟、3間×3間は3棟、4間×2間は3棟、4間×3間は9棟、5間×2間2棟である。(10)SB515が総

第18表 第1建物群の規模

遺構番号	構造	桁行数	梁行数	柱掘り方径 (m)	柱掘り方深さ (m)	面積 (㎡)	方位型	時期・備考
(10)SB413	側柱建物	2	2	0.80~1.20	24.3~43.2	13.2	C後	4期
(10)SB517	側柱建物	2	2	0.87~1.34	29.8~56.1	16.1	B	2期
(10)SB411	側柱建物	3	2	0.56~1.01	6.2~25.3	18.3	C後	4期
(10)SB418	側柱建物	3	2	0.95~1.40	21.7~44.4	18.1	C前	3期
(10)SB420A	側柱建物	3	2	0.70~1.30	8.6~40.0	19.3	C前	3期
(10)・(78)SB508	側柱建物	3	2	0.54~1.14	24.0~56.0	19.2	B	2期
(10)・(78)SB509	側柱建物	3	2	0.50~0.84	18.0~38.0	18.7	C前	3期
(10)SB518	側柱建物	3	2	0.76~1.12	9.0~36.7	21.9	C前	4期 穎屋?
(10)SB432	側柱建物	3	2	0.90~1.26	29.3~51.3	23.5	A	2期 穎屋?
(10)SB434	側柱建物	3	2	0.93~1.06	26.2~53.4	28.2	A	2期 穎屋?
(10)SB437	側柱建物	3	2	0.95~1.30	35.6~48.5	26.2	C後	4期 穎屋?
(10)SB513	側柱建物	3	2	0.84~1.13	31.6~59.3	28.7	B	2期 脇屋
(78)SB201	側柱建物	3	2	0.74~1.16	38.0~43.0	23.6	A	2期 穎屋?、 南側2棟以上 重複?
(10)SB420B	側柱建物	3	3	0.70~1.30	8.6~55.7	27.1	C後	4期
(10)SB436	側柱建物	3	3	0.86~1.30	24.8~40.4	29.3	C前	3期 穎屋?
(10)SB515	総柱建物	3	3	0.56~1.17	17.0~56.6	31.1	C前	4期 厩舎、西 側柱列は廂、 西側に柵付設
(10)・(78)SB504	側柱建物	4	3	0.64~1.06	10.0~64.0	30.8	C前	3期 厩舎?、 土坑(尿溜 め)、柵付設
(78)SB200	側柱建物	4	3	0.70~0.90	20.0~30.0	(31.0)	B	2期 穎屋?
(10)・(78)SB419	側柱建物	4	3	0.90~1.18	20.0~56.0	31.1	C後	4期 穎屋?
(10)SB421	側柱建物	4	3	0.82~0.98	19.8~40.4	32.7	C後	3期 穎屋?
(10)SB422	側柱建物	4	3	0.86~1.22	20.3~48.5	30.9	C前	4期 穎屋?
(10)SB440	側柱建物	4	3	0.72~1.52	22.8~69.8	31.9	C前	3期
(10)SB441	床束建物	4	3	0.98~1.45	33.8~51.6	36.3	C後	4期 主屋
(10)SB445	側柱建物	4	3	1.00~1.75	32.4~62.5	34.2	C後	4期 脇屋
(10)SB446	側柱建物	4	3	0.87~1.40	23.5~54.6	34.1	C前	3期 脇屋
(10)・(78)SB449	側柱建物	5	2	0.68~1.50	17.3~55.2	35.2	C前	2期 脇屋
(10)・(78)SB503	側柱建物	5	2	0.84~1.82	32.0~73.8	34.7	A	3期 脇屋
(10)SB514	側柱建物	4	2	0.75~1.47	20.5~44.5	43.2	B	3期 主屋
(10)SB516	側柱建物	4	2	0.85~1.32	34.5~45.5	39.6	B	2期 主屋
(10)SI358	竪穴住居					45.2	A	2期 竈屋
(10)SI412	竪穴住居					43.6	C前	3期 竈屋
(10)SI448	竪穴住居					21.1	C後	4期 竈屋

柱建物、(10) SB441が4間×3間の床束建物である他は側柱建物である。

掘立柱建物跡の面積は、2間×2間は20㎡未満の2棟である。3間×2間は30㎡未満で、20㎡未満5棟、20㎡以上は6棟である。3間×3間は30㎡前後が3棟、4間×2間は40㎡前後が2棟である。4間×3間はいずれも30㎡以上で、33㎡未満6棟、34㎡以上が3棟である。5間×2間は35㎡前後の2棟である。形態と規模の相関関係は比較的明瞭である。

最も規模が大きい建物は4間×2間の2棟であり、次いで4間×3間の床束建物の(10) SB441である。5間×2間の建物はそれに次ぐ。柱間数が必ずしも規模の大・小に連関していないことが注意される。同様な傾向は佐倉市高岡大山遺跡などでもみられる<sup>1)</sup>。

棟数が多い形態・規模の建物は、3間×2間の平均18.7㎡の5棟、同平均25.4㎡の6棟、4間×3間の平均31.4㎡の6棟である。

竪穴住居跡は3軒検出されており、前回の報告で竈屋的な機能をもつものと考えた。2～4期に1軒ずつ配置される。いずれも集落内における各期の最大規模の竪穴住居跡である。

### 掘立柱建物跡・竪穴住居跡の時期区分について (第133図)

第1建物群の各遺構の帰属時期は、同方向の建物を同時期とみる既報告の時期区分<sup>2)</sup>に従ったが、新たな知見が加わったことなどにより一部変更を加えた。以下概要を記す。

第1建物群の掘立柱建物跡・竪穴住居跡の棟筋のうち、東に振れるものをA型、西に振れるものをB型、正方位のものをC型とした。

A型は、北東端に位置する竪穴住居跡(10) SI358とおおむね同方向の掘立柱建物である。(10) SB432、(10) SB434、(10)・(78) SB503、(78) SB201の4棟が該当する。(10) SI358は2期に比定される。北側及び西側の区画溝もA型と同方向であり、2期以前に掘削されたものとみられる。

B型は、西側を中心として、(10)・(78) SB508、(10) SB513、(10) SB514、(10) SB516、(10) SB517、(78) SB200の6棟が該当する。帰属時期の手がかりは少ないが、(10) SB516から2期以前の所産と考えられる底部に「三」と墨書された非ロクロ土師器片が出土しており、A型と同じ2期に属するものとした。重複する(10) SB514は新しいものと捉え、3期に降るものとした。

C型は、重複が著しいため、前後の2時期に区分した。掘立柱建物跡については、建物の向き、調査時の新旧関係の所見から区分した。竪穴住居跡(10) SI412は3期、(10) SI448は4期に比定されることから、2期(A型・B型)と同様に掘立柱建物群に竪穴住居跡1軒が併設され、C型前期は3期、C型後期は4期とした。C型前期は(10) SB421、(10) SB418、(10) SB420A、(10) SB436、(10) SB446、(10)・(78) SB449、(10)・(78) SB504、(10)・(78) SB509、(10) SB514、C型後期は(10) SB411、(10) SB413、(10)・(78) SB419、(10) SB420B、(10) SB421、(10) SB437、(10) SB441、(10) SB445、(10) SB515である。

既報告からの帰属時期の変更点は、(10) SB420は前述したとおり2棟重複しており、(10) SB420AをC型後期から前期、(10) SB420BをC型後期に、(10) SB421をC型後期から前期、(10) SB422をC型前期から後期に、(10)・(78) SB449は北辺が(10) SI412、(10)・(78) SB504の南辺と同一線上であることからC型後期から前期に区分したことである。

各時期の遺構数は、2期(9世紀第1四半期)は掘立柱建物跡7棟、竪穴住居跡1軒、3期は掘立柱建物跡9棟、竪穴住居跡1軒、4期は掘立柱建物跡10棟、竪穴住居跡1軒で、時期が降るに従って増加し、掘立柱建物跡数は集落全体の竪穴住居跡数の傾向と同一歩調であると言える。

### 掘立柱建物跡の用途について（第133図）

庄所は、荘園経営の中核施設であり、開発の促進と維持管理、生産物の収取・京進などを主な機能とする<sup>3)</sup>。そこには政務を担当する中核的な建物である主屋、付属する脇屋・副屋などと、収獲物を貯蔵・管理する穀倉・穎屋、各種農具・生活用具等の雑物を保存する納屋などの施設によって構成される。ここでは、構造・規模・位置関係などから各掘立柱建物跡の用途を推定してみたい。

2・3期の最大規模の掘立柱建物跡は、西側の同一の場所に位置する。2期は(10)SB516、3期は(10)SB514で、いずれも4間×2間であるが、東側は建物が存在せず、前庭が形成されており、東側を正面とする主屋とみられる。同様に4期も中央付近の4間×3間で唯一の床東建物(10)SB441が最大規模で、格式の高い構造であることから主屋と判断される。正面は空地が広くとられた南側である。

5間×2間の長舎建物は、2期の(10)・(78)SB503、3期の(10)・(78)SB449は南側の同じ場所に、主屋の南東側にL字状に位置する。桁行5間以上の側柱建物が検出されている遺跡は、印旛沼周辺では本遺跡の他に7遺跡あり、印旛沼南岸域に集中する傾向がみられるが、大集落でもすべてに存在するものではない<sup>4)</sup>。主屋建物に次いで規模が大きく、長舎であることから格式の高い建物と言える。郡庁における脇殿に相当する建物と考えられ、脇屋と称することとする。(10)・(78)SB503からは、「三倉」墨書土器を含む遺物が比較的多く出土し、前庭に接する中央付近に位置することから、祭儀や饗宴の場であった可能性がある。

3期の4間×3間の側柱建物(10)・(78)SB504(第119図)は、北東隅の土坑が位置し、馬小屋・厩舎遺構に付設される尿溜めに類似する。床面は北に向かって下っており、尿溜めに尿を導き、横になった馬が起きやすくするための傾斜とみられる<sup>5)</sup>。南西側・南側柱列の柱間は2間分あり、馬の出入り口が想定される。西側の竪穴住居跡(10)SI412との間にあるピット列は、遮蔽のための塀ではなく、馬を繋ぐための柵と見做される。

4期の総柱建物(10)SB515は、高床式倉庫ではなく、西側に身舎と一体となった廂が付された建物と考えた。内部は柱によって仕切られ、東西2間×南北1間(奥行約2.6m、幅約2m)の個室を3か所もつ。西側の外周を巡るピット列を含めると、時期は降るが、14世紀から15世紀前半頃の栃木県東田遺跡12掘立などの厩舎遺構及び付設される馬繋ぎ柵に類似している<sup>6)</sup>。(10)・(78)SB504のような土坑・溝状の尿溜めは検出されていない。平城宮馬寮において検出された厩舎には尿溜めは検出されておらず、糞尿は長期間留め置かれず短期間のうちに搬出されたと考えられている。馬寮官衙域の厩舎は「優れた馬を見せる」ことにも重要な役割があり、常に馬ともども清潔にしておく必要があったためという<sup>7)</sup>。同様に考えると、(10)SB515は集落に近い建物群の西端に位置し、馬繋ぎ柵も西側の集落側にあることから、「格式の高い厩舎に飼養される馬を見せる」ことを意識して建てられたものと考えられる。

稲をはじめとする生産物を収納した建物は、総柱式の高床式倉庫が存在しないことから、側柱式建物であったと考えざるを得ない。土間ないし低床の側柱建物倉庫は「屋」と呼ばれ、正倉院文書の正税帳では「屋」に収納された穀物のほとんどは、穂首で刈り取って稲穂が付いた状態の穎稲である。平安前期までの稲の調整の工程は、脱穀の技術的制約・労力の大きさから、乾燥した未脱穀の稲を竪臼に入れ杵で搗いて脱穀し、直ちに精白する方法がとられた。集落においては特別な脱穀作業は不要であり、収獲稲は穂首を束ねた穎のまま貯蔵されたとみられる。穎は種粍として公出挙に充てられ、運用される目的もあった。穀化すると早稲・晩稲の弁別が困難になることから穎で蓄積されたのである。

穎稲は高床式倉庫である「倉」にも納められることがあったが、専ら「倉」に納められた穀は律令国家

の備蓄政策から要請された形状であり、集落社会では無縁のものであったとされる<sup>8)</sup>。

また、前回のまとめで述べたように、本遺跡において竪穴住居跡などから出土する収穫具は、鎌が少なく穂摘具が主体であることから、稲は穂首刈りによって収穫し、乾燥後に結束され、側柱建物の穎屋に収納されたものと判断される。

第1建物群中のどの側柱建物が「穎屋」に該当するのかは炭化米などの収納物が検出されていないため、判断が難しい。まず荘園図に描かれた平面形態は、「屋」は矩形、「倉」は正方形に区別して描かれていることから<sup>9)</sup>、側柱建物でも桁行・梁行が同柱間数で、正方形に近いものは除外することとする。また倉庫建物は、荘園遺跡・郡衙の調査事例を見ると、同一形態・規模の建物が棟筋を揃えて配列されることが多いことから、先に抽出した棟数が多い3間×2間の平均18.6㎡の3棟、同じく平均25.6㎡の5棟、東西方向に長い3間×3間の(10) SB436、4間×3間の平均31.5㎡の5棟が候補と考えられる。

史料に記された穎屋と比較すると、天平9年(737)の「和泉監正税帳」などに記された穎を収納したことが判明する屋のうち、5間×3間は83.5㎡、5間×2間の3棟は61.2㎡~70.6㎡、4間×2間は30.9㎡、3間×2間は27.5㎡である。また、天平勝宝7~9年(755~757)・天平宝字元年(757)の「東大寺領越前国桑原庄券」には、穎屋とみられる内土間の建物は、4間×2間の48.2㎡、3間×2間の23.4㎡の2棟が記載されている<sup>10)</sup>。これらの記載と上記の候補を比較すると、20㎡以下の建物はなく、3間×2間の5棟が形態・規模が最も合致し、規模のみを見れば3間×3間の(10) SB436、4間×3間の5棟も近いと言える。

## 掘立柱建物跡・竪穴住居跡の配置の変遷について(第133図)

### 2期

4間×2間の主屋(10) SB516と、その南側に3間×2間の主屋付属の脇屋が南北方向に並び、北東側に2間×2間、南東側に3間×2間の左右対称を意識した正方形に近い形態の建物が、前庭を囲むようにコ字状に配置される。南側には、続いて5間×2間の脇屋(10)・(78) SB503、4間×2間の(78) SB200、主屋と離れた北側には、3間×2間のほぼ同規模の東西棟の(10) SB432・(10) SB434が棟筋を揃えて配置される。形態・規模・位置からみて稲を貯蔵した穎屋の可能性が高い。東側には竈屋である竪穴住居跡(10) SI358、3間×2間の南北棟(78) SB201が配置される。北東側は建物が存在しないが、全体としては東西67m、南北42mのロ字状の建物配置をなす。

主屋と付属する建物群の配置は、郡庁の構造に似ており、西側の奥まった位置に存在することから、(78)庄所の正面入り口は前庭を挟んだ東側と考えられる。さらに東の方向に進むと谷となるが、谷津を流れる小河川を下れば約1.2km高崎川に合流する。

生産物の輸送は庄所の重要な機能の一つであり、東大寺領横江東庄に比定される金沢市上荒谷遺跡など北陸地方の初期荘園では、庄所が港湾施設と一体となるような構造もみられる<sup>11)</sup>。第1建物群の立地、建物群の正面の位置から考えて東側の谷を流れる高崎川の支流は、物資輸送のための水上交通に利用されていたと想定される。

### 3期

最大規模の4間×2間の(10) SB514が主屋である。正面は東側で、2期の主屋と南側の付属棟とまたぐような位置に桁行方向が西側に振れて建てられる。その他の遺構は全て正方位である。前庭を取り囲むようにロ字状に配置される。南東側の3間×2間の小型の建物(10)・(78) SB509は、2期と同じ場所に

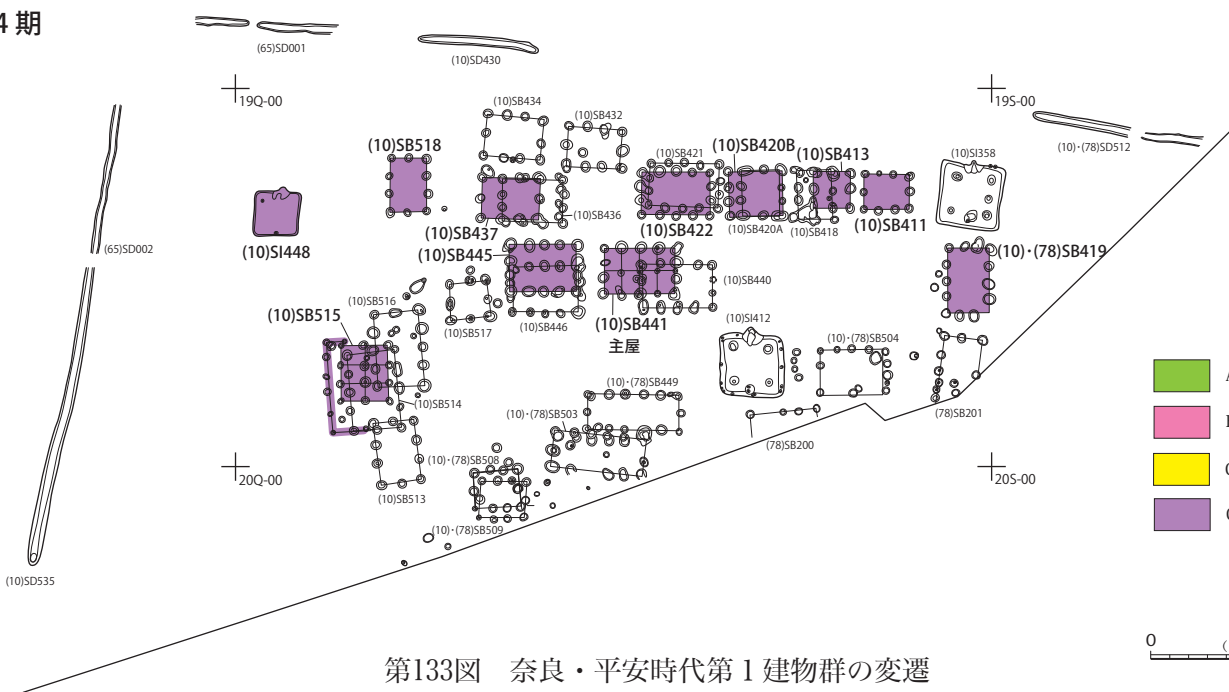
2期



3期



4期



第133図 奈良・平安時代第1建物群の変遷



建て替えられる。2期にあった前庭を挟んだ北側の対する2間×2間の建物は存在しない。北東側には5間×2間の脇屋(10)・(78)SB449が位置する。

北側の建物は、2列に配列される南側の前方の列は4間×3間の東西棟(10)SB446、(10)SB440が並列する。後方の列には3間×3間の(10)SB436、間をおいて4間×3間の(10)SB421、3間×2間の南北棟(10)SB420A、(10)SB418が連なる。前方の2棟は前庭を囲んで位置することから、主屋に付属する脇屋で、物資の運搬の便などを考慮すると後方の建物群などに頽屋が配置されていたとみられる。

東側には、前庭に接して竈屋(10)SI412、馬小屋・厩舎とみられる4間×3間の(10)・(78)SB504と馬繋ぎ柵が配置される。

全体としては、東西58m、南北38mのロ字状の建物配置で、2期に比べて範囲が狭く密集している。

#### 4期

ほぼすべての遺構が正方位に配列される。主屋は4間×3間の床束建物(10)SB440で、これまでの西側から中央付近に移動する。正面は谷に正対する南側である。主屋の西側は、棟筋を揃えた4間×3間の脇屋(10)SB445が位置し、後方には東から竈屋(10)SI448、3間×2間の南北棟(10)SB518、その東側からは3期の建物と同じ場所に建て替えられており、3間×2間の(10)SB437、間を置いて4間×3間の(10)SB422、3間×3間の(10)SB420B、2間×2間の(10)SB418、3間×2間の(10)SB411が北側の軒を揃えて並び、庄所外の北側と区別することを意図したように見受けられる。特定はできないが、この中のいずれかが頽屋に該当すると思われる。

南西側には、2・3期までなかった身舎と一体となった西廂をもつ3間×3間の厩舎(10)SB514及び馬繋ぎ柵、主屋の28m東側には、4間×3間の南北棟(10)・(78)SB419が位置する。

2・3期にあった5間×2間の長舎建物は存在せず、竈屋(10)SI448は2・3期より小規模であることは、饗宴などへの参加者の減少と関わる可能性がある。

全体の配置は、2・3期までと大きく異なり、東西78m、南北30mの南面した横長のコ字状に分布する。前庭の南側は台地の縁まで遺構が存在せず、主屋正面は開放的で、より谷側を意識した配置であると言える。

注1 (財)印旛郡市文化財センター 1993『高岡遺跡群』

2 (公財)千葉県教育振興財団 2014『酒々井町飯積原山遺跡1－酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書2－』, pp. 401-406

3 藤井一二 1986『初期荘園史の研究』塙書房, pp. 358-359

4 (公財)印旛郡市文化財センター 2014『尾上木見津遺跡(第2・3地点) 駒詰遺跡(第2～7・9地点)』, pp. 412-416

5 篠崎譲治 2010『馬小屋の考古学』高志書院

6 篠崎、前掲書, pp. 161-165

7 篠崎、前掲書, pp. 119

8 松村恵司 1983「古代稲倉をめぐる諸問題」『奈良国立文化財研究所創立30周年記念論文集 文化財論叢』同朋社, pp. 566-568

9 松村、前掲論文, p. 557

10 松村、前掲論文, pp. 560-561

11 井上尚明 2014「多彩な地方官衙と庄家・居宅」『古代官衙』ニューサイエンス社, pp. 322-324

## 2 その他の遺構について

堅穴住居跡は舌状台地部において(78)SI047(第124図)が検出された。遺物が出土しなかったため時期は不明であるが、南西側に分布する2・3期の堅穴住居跡(10)SI396、(10)SI456などと同グループを形成するものと思われる。

(78)SK1469(第124図)は、第1建物群の南西側、台地縁辺から検出されたもので、部分的な調査で、検出部分からは楕円形の土坑が想定されるが、ピットを有すること、ほかに類似の遺構が検出されていないことから堅穴住居跡の可能性はある。体部外面に「三倉」の墨書が施される環などが出土した。3期に属する。

そのほかは、第1建物群の北側に東西方向に走る2条の区画溝(10)・(78)SD512、(10)・(78)SD554の東側の連続部分が検出された(第126図)。いずれも調査区外の東側に続いている。

## 3 おわりに

飯積原山遺跡は平成12年度に整然と並ぶ掘立柱建物跡群が調査されて以来、官衙的な機能を有する集落と考えられてきた。その後15年を経て全体の調査・整理作業が完了し、遺構・遺物の検討を行った結果、集落全体が初期荘園の性格を有することが明確となった。

今回の報告では、荘園の経営拠点である庄所(第1建物群)の構造と変遷について再検討した。郡衙的な建物配置・構成が採られていることを改めて認識することができたが、それは初期荘園が律令制、とくに郡司層を中心とした地方行政組織に依存して経営されていたことを表象するものである。

ここで改めて集落全体の様相を整理し、周辺遺跡との関係について考えてみたい。

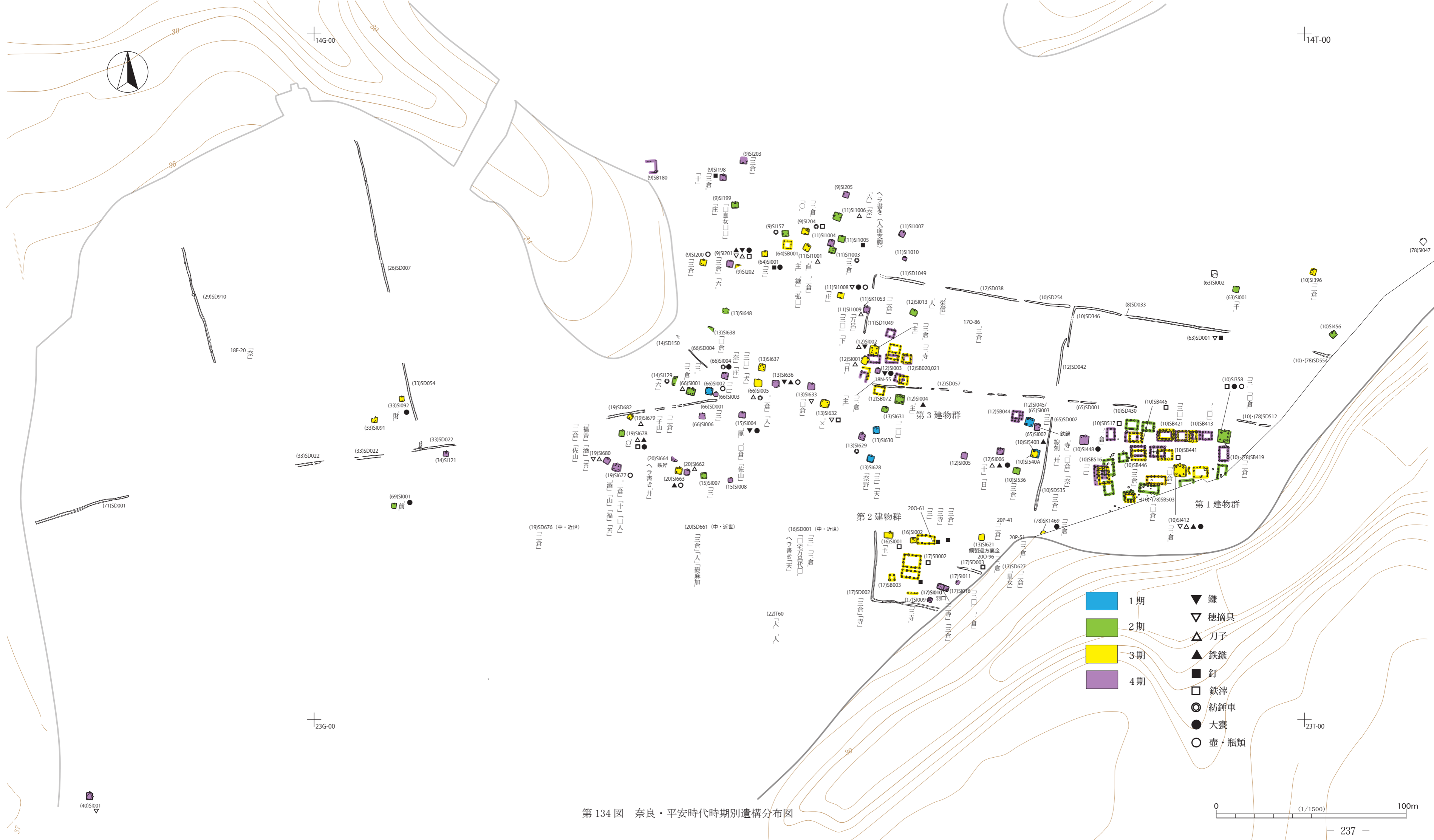
### 集落の概要について(第134図)

8世紀第4四半期(1期)に高崎川に近い台地北側に、条里地割に基づき半町の区画を基本とした園宅地が開拓・整備され、それに関わったとみられる堅穴住居跡5軒からなる小規模な集落が形成される。以後、堅穴住居跡は1～3軒で1グループをなし、1区画に1～2グループが分布する。堅穴住居跡は区画の縁辺付近に位置することが多く、耕地主体の土地利用が想定される。

9世紀第1四半期(2期)以降、荘園を示す「庄」の墨書土器が出土し、遺構も荘園遺跡の様相を帯びる。北東から入る谷津に近い区画内に主屋を中心に、左右に脇屋などの付属棟、額屋、厩舎などの7～10棟の掘立柱建物跡と竈屋とみられる堅穴住居跡1軒を口、コ字状に配し、前庭部が構成される郡庁跡の建物配置に似た庄所が創設され、9世紀第3四半期まで同じ場所で建て替えが繰り返される。区画の内外から庄所・庄家を示す「三宅」と同意と考えられる「三倉」の墨書土器が出土する。掘立柱建物跡は9世紀第2四半期(3期)までは東側を正面、9世紀第3四半期(4期)は南側に建物が配置される。いずれも谷側に面しており、主に高崎川支流を利用した水運により収穫物の輸送を行ったとみられる。

庄所の創設を契機に、庄所と墾田が営まれたと思われる高崎川本流の低地に続く谷津の東側を中心に荘園村落が形成される。9世紀第1～第3四半期は、堅穴住居跡が18～30軒に増加し、広場を取り囲むように分布する。開墾や耕作のための農民が移動・入植してきたことによるものと思われる。

東端には掘立柱建物跡・堅穴住居跡からなる第3建物群が営まれる。主政・主帳を示す「主」「直」の墨書土器の出土から、下位の郡司層とみられる在地首長・有力者の居宅で、開墾した田畠を周辺の堅穴住居に住む農民を統制しながら、直接耕営していたものと推測される。9世紀第2四半期には、堅穴住居跡の



第134図 奈良・平安時代時期別遺構分布図

分布明確な馬蹄形を形成し、労働力の結果と集団の紐帯の強さを表す。居宅は掘立柱建物跡が主体となる。

南側の区画（第2建物群）からは、「三寺」「寺」の墨書土器が出土し、村落寺院、鍛冶工房などが営まれる。9世紀第3四半期になると堅穴住居跡は増加し、最盛期を迎えたように見えるが、集落の中心部は馬蹄形の分布が崩れ分散し、庄所・荘園村落ともこの時期で断絶する。

遺物は、銅製の帯金具が1点出土しているほかは、威信財と呼べるようなものは少なく、下位の郡司層が直接管理・経営に当たっていたことを物語る。(13) S1006から出土した人面の刻書が施された土製支脚は希少である。

土器類は、猿投窯産の長頸壺、大甕が出土するほかは、在地産、茨城県南部産が主体である。墨書・線刻が施された土器は約260点出土した。そのうち「三」「三倉」「三寺」は約100点を占める。

鉄製品は、刀子・鉄鎌・釘が集落全域から出土する。9世紀第2・3四半期には、鎌・穂摘具が馬蹄形に分布する堅穴住居跡群を中心に出土し、稲作を担った集団と判断される。鎌は居宅及びその周辺の堅穴住居跡に集中していることから、在地首長・有力者及びその一族に保有が限定されていたものと捉えられる。穂摘具も6軒～10軒あたり1点と出土が限られており、共同で農作業を行う集団の統率者が保有していたと推測される。いずれも9世紀第3四半期に出土数が増加し、経営単位及び集団が分割された状況が窺える。馬蹄形の分布が崩れるのは、労働力の分割による村落全体の紐帯の弱まりも一因と思われる。

飯積原山遺跡は、上記のように初期荘園の全体像とその変遷をたどることができる希少な遺跡である。中でも従来不明瞭であった耕作を担った農民の集落が、在地首長、有力者の居宅を中心に庄所に近接して営まれ、荘園に付属することが明確な事例が見つかったことは特筆すべき成果と考えられる。今後さらに詳細な分析が行われ、初期荘園の実態解明に寄与することを期待したい。

#### 周辺遺跡との関係について（第4図）

近隣の同時期の遺跡は、南側の南部川北岸に墨木戸遺跡（32）、墨新山遺跡（33）、高崎川を挟んだ北岸に尾上木見津・駒詰遺跡（11）などが所在する。とくに尾上木見津・駒詰遺跡は、飯積原山遺跡にやや先行して営まれ、終末は同時期である。廂をもつ5間×3間ほか18棟からなる掘立柱建物跡群、堅穴住居跡38軒、台地の南端付近に位置する古墳の墳丘を利用した祭祀跡、奈良三彩の陶枕、同二彩椀、多数の緑釉陶器、「奈野」「奈」をはじめとする約330点の墨書・刻書土器、帯金具、鋤先、鎌、神功開寶など、通常の集落遺跡ではみられないような特殊な遺構・遺物が多く検出されており、飯積原山遺跡とは際立った差が認められる。報告者は、仏教儀礼や神祇祭祀を行える立場にあった地域の最有力者の集落と考えている<sup>1)</sup>。

注目されるのは祭祀跡と高級陶器である。祭祀跡は、古墳の周溝内から複数の焼土跡が検出され、大量の土師器の坏などの土器、鎌、鋤先、銅製の帯金具、鉄滓、砥石などが出土した。8世紀末から9世紀中葉の所産で、集落の存続期間に繰り返し祭祀が執行されたとみられる。墨書土器は「奈野」のほかに、この祭祀跡からのみ「奈野 神奉」と2か所記された坏が出土した。神酒をはじめとする神饌が供えられ、火を焚く神事が執り行われたと推測される。京都地方において、神社をはじめ宮中・民家で往時は盛んに行われていた新嘗祭が起源とされる「御火焼」「御火焚」を想起させる<sup>2)</sup>。類例は少ないが、千葉県内では市原市稲荷台遺跡において、同様な墳丘を利用した火焚きを伴う祭祀跡が検出されている。祭祀の性格についてはいくつかの見解が出されているが、国衛・王臣家を主体に行われたものと考えられている<sup>3)</sup>。

陶器類は、二彩椀は三彩の小壺や托などの小型品に比べて出土例が少なく、椀は平城京城の大寺院、地

方の古代寺院から仏具としての出土が主体で、ほぼ完形に復元された出土品は初例である。ほかに完品は正倉院御物にしか認められない<sup>4)</sup>。三彩の陶枕の出土は、千葉県内で2例目である。緑釉陶器は9世紀前半代の京都産が23点出土しているが、こちらも東国では例の少ない出土量である。いずれも都城において直接入手されたと思われる。

火焚きを伴う祭祀、高級陶器の所有はいずれも、地方の有力者、豪族が独自になしえたものではなく、貴族層の存在を示唆するものと思われる。同時期の王臣家領荘園として著名な上総国藻原荘・田代荘の所有主藤原春継のように、国司任期終了後も京へ戻らず地方に留住し、荘園経営に当たった貴族が少なからずいる<sup>5)</sup>。尾上木見津・駒詰遺跡は、そのような土着化した貴族の居宅であったと想像するのである。

「奈野」「奈」の墨書土器は、飯積原山遺跡において2期（9世紀第1四半期）を除いた各期から少数ながら出土する。ほかでは、尾上木見津・駒詰遺跡に近接する新橋高松遺跡<sup>6)</sup>（10）、寺沢遺跡<sup>7)</sup>（9）、約3.5km北西側の高崎川北岸の台地上に位置する本佐倉上宿遺跡<sup>8)</sup>（20）から出土している。「奈」「奈野」は高崎川一帯における繋がりのある集団を表象する文字と捉えられる。先に想像したことが正しければ、近接した位置関係、遺構・出土遺物の格差などからみて、飯積原山遺跡の初期荘園の開拓を主導し、所有したのは尾上木見津・駒詰遺跡に居住する貴族と考えるのが自然であろう。因みに、飯積原山遺跡の奈良・平安時代の集落が検出された周辺の小字名は「宮田台」、東側の低地は「宮田」である。いずれも王臣家を想起させるような地名であり、興味深い。

本佐倉外宿遺跡は、飯積原山遺跡と存続期間が同時期に形成された堅穴住居跡が主体の集落であるが、同一台地上の100m東側に位置する北押出し遺跡<sup>9)</sup>（21）は、台地の縁辺に5間×3間、4間×3間、3間×3間、3間×2間などの掘立柱建物跡が19棟以上、大型の堅穴住居跡とともに柱筋を揃えて東西約70m、南北約42mに口字状に配置されており、飯積原山遺跡において庄所と捉えた第1建物群に類似している。本佐倉上宿遺跡は部分的な調査であるが、短期間に営まれたことや堅穴住居跡の配置状況などから「計画村落」と考えられており、飯積原山遺跡における荘園村落部分に対応するとみられる。

以上から、本佐倉上宿遺跡・北押出し遺跡を含む一帯は初期荘園である可能性が高く、「奈」「奈野」墨書土器の出土は、尾上木見津・駒詰遺跡に居住する貴族が所有する荘園を示すという解釈が成り立つであろう。

注1 （公財）印旛郡市文化財センター 2014『尾上木見津遺跡（第2・3地点） 駒詰遺跡（第2～7・9地点）』

2 平凡社編 1937『神道大辞典』, p. 284

3 市原市文化財センター 2003『市原市稲荷台遺跡』

西野雅人 2010「市原市稲荷台遺跡の円丘祭祀（1）－北斗降臨地から宗教施設へ－」『房総の考古学』史館同人

4 阿部寿彦 2010「尾上木見津遺跡（第2地点）・駒詰遺跡（第2地点）－「奈野」って何なの？－」『第14回遺跡発表会発表要旨』（財）印旛郡市文化財センター

5 荘園史研究会 2013『荘園史研究ハンドブック』東京堂出版, pp. 17-18

6 （財）印旛郡市文化財センター 1997『新橋高松遺跡』

7 日本文化財研究所 1977『寺沢遺跡』

8 （財）印旛郡市文化財センター 1996『本佐倉外宿遺跡』

9 酒々井町北押出し遺跡調査会 1978『北押出し遺跡』

# 写真図版



調査地周辺の航空写真（平成25年10月撮影 南西方向から）



(78) 区遠景 (調査前) (14U-00 付近から北東方向)



(78) 区遠景 (14T-37 付近から北方向)





(78) 遺構調査状況  
12V-92 付近 (東から)



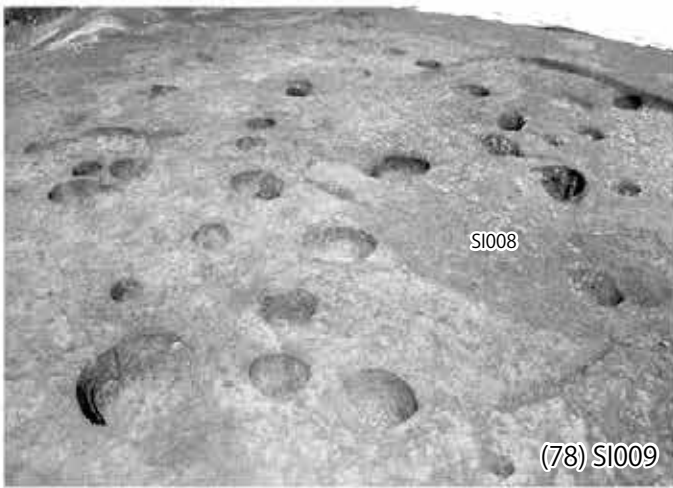
(78) 遺構調査状況  
13V-00 付近 (南から)

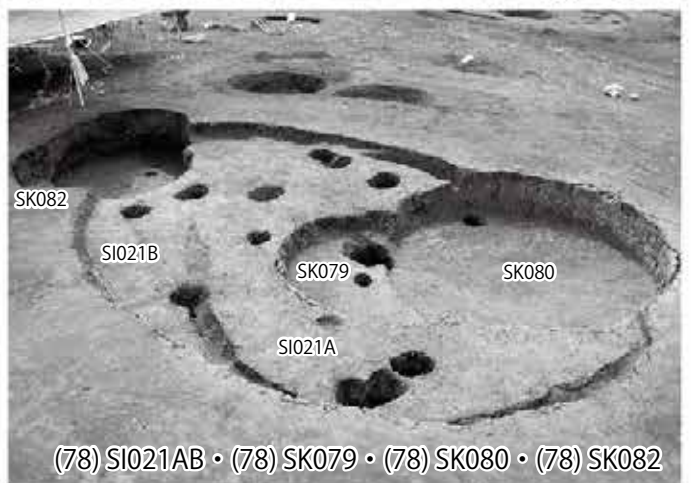


(78) 遺構調査状況  
14U-11・12 付近 (南から)



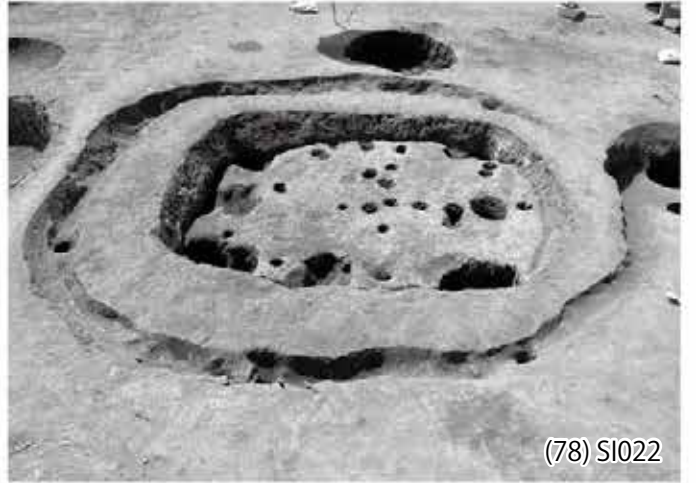
下層第 29 ブロック、縄文時代住居跡 (1)







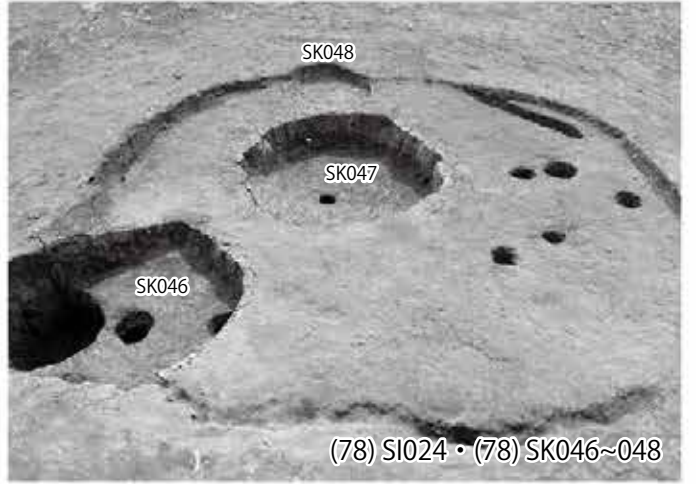
(78) SI021 土器片囲・埋糞炉



(78) SI022



(78) SI022 遺物出土状況



(78) SI024・(78) SK046~048



(78) SI025



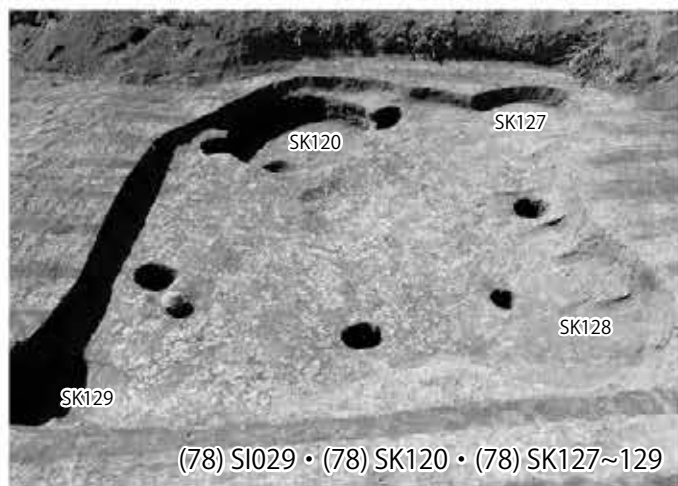
(78) SI026



(78) SI027



(78) SI028



(78) SI029・(78) SK120・(78) SK127~129



(78) SI029 遺物出土状況



(78) SI030・(78) SK147



(78) SI030 遺物出土状況



(78) SI031・(78) SK136~138



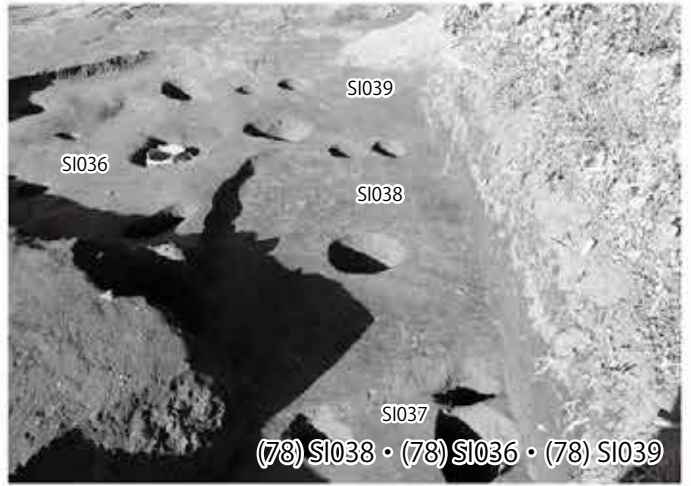
(78) SI032・(78) SK045・(78) SK061・(78) SK075



(78) SI034



(78) SI035AB・(78) SK513









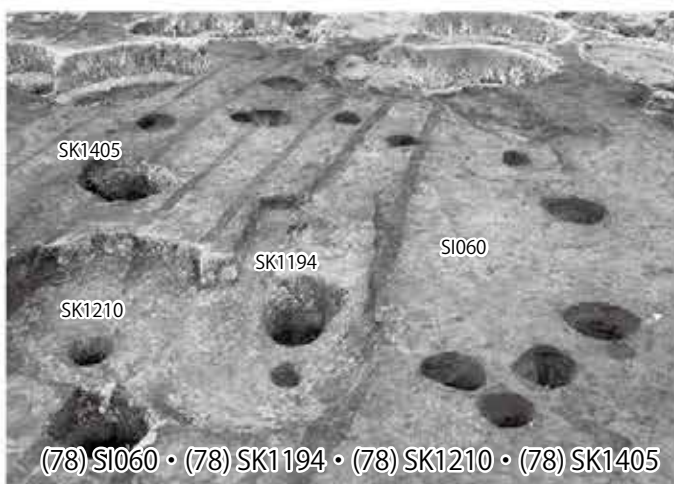
(78) SI059・(78) SK1084・(78) SK1520



(78) SI059A埋葬炉



(78) SI059B埋葬炉



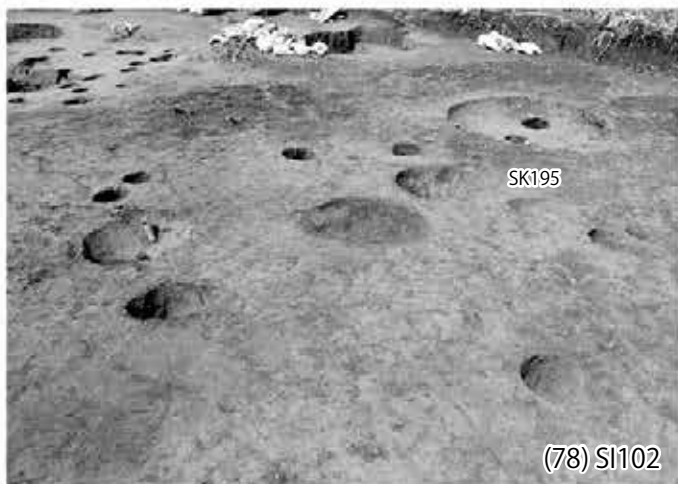
(78) SI060・(78) SK1194・(78) SK1210・(78) SK1405



(78) SI061



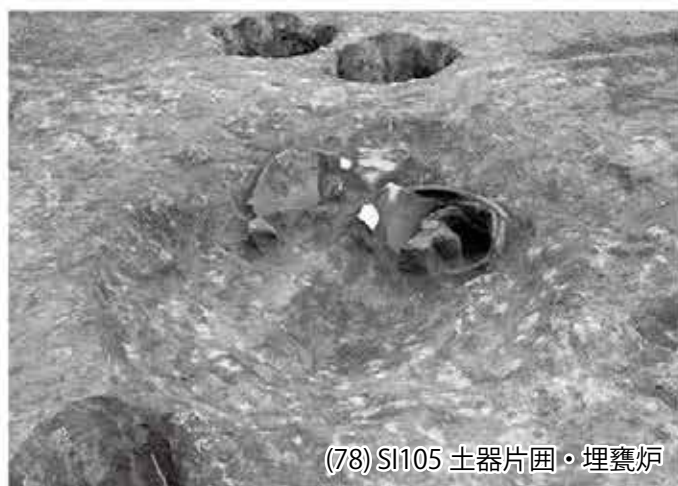
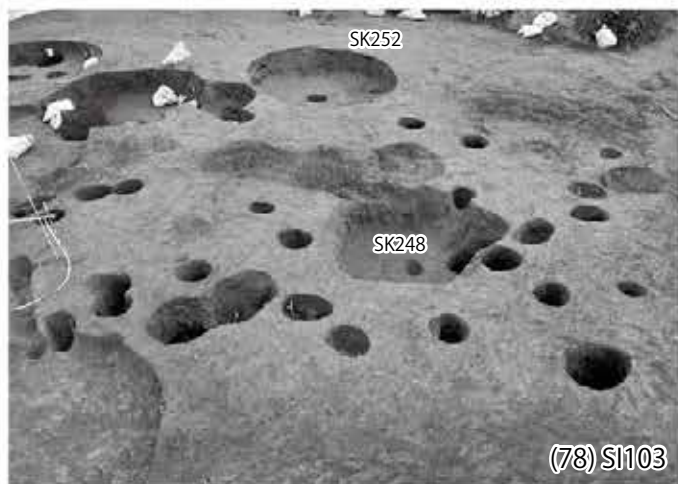
(78) SI100



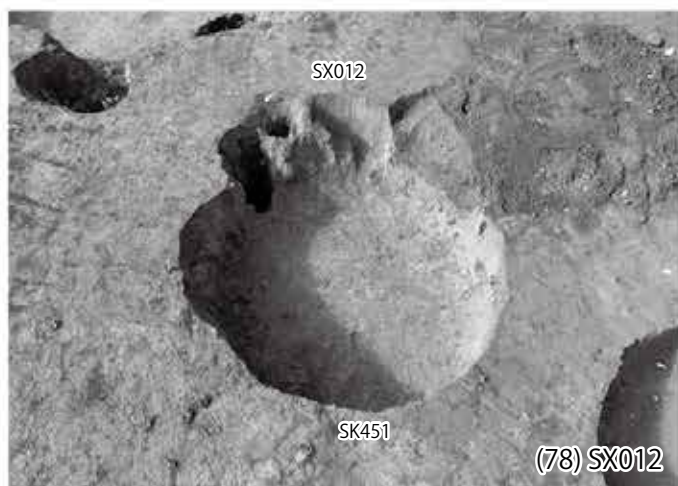
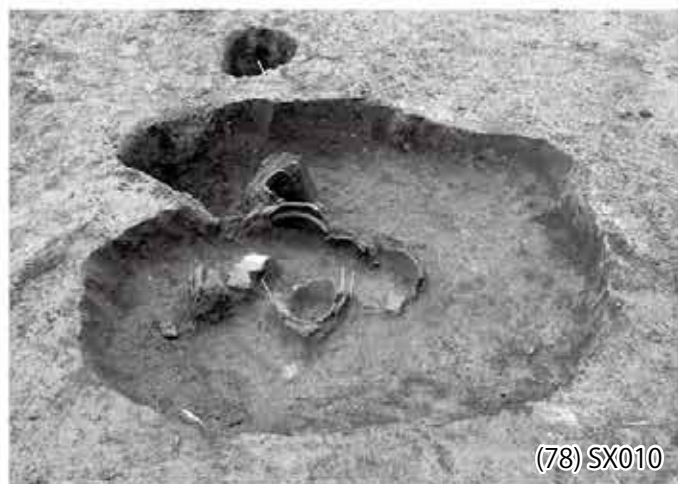
(78) SI102

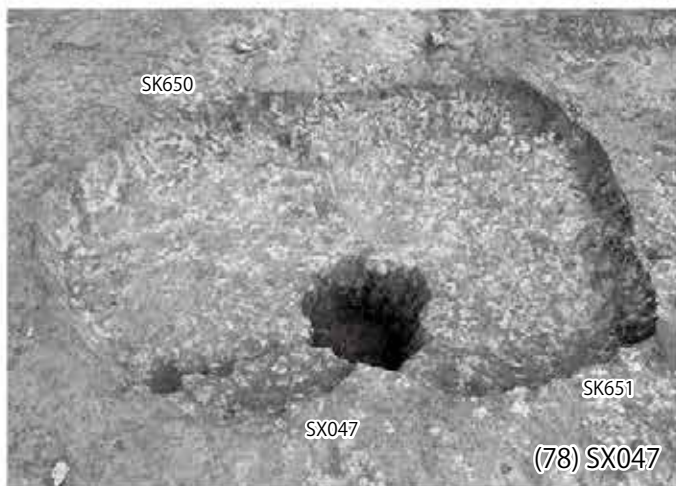
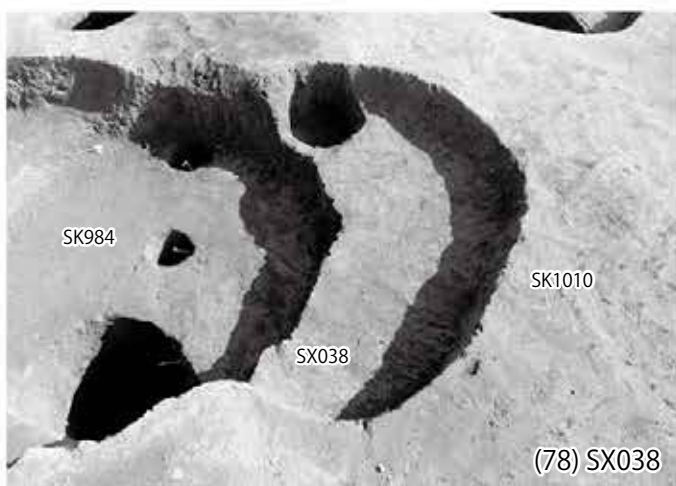


(78) SI102 2連埋葬炉







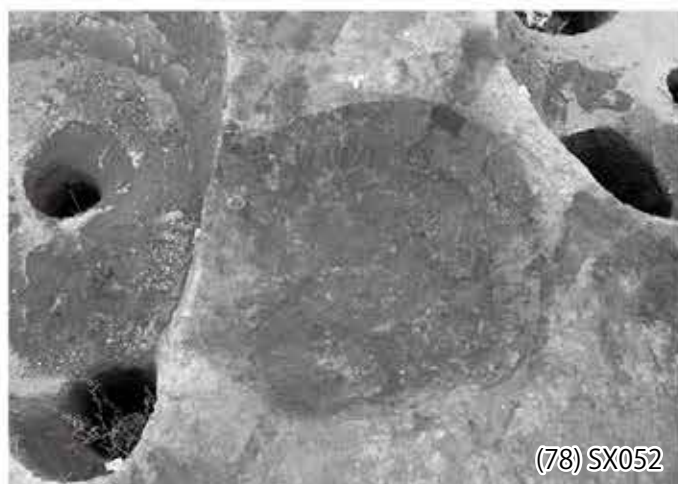




(78) SX050



(78) SX051



(78) SX052



(78) SX053



(78) SX054



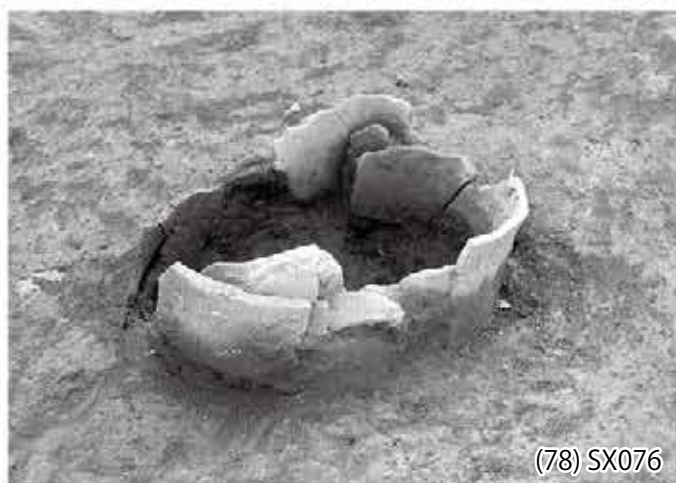
(78) SX055



(78) SX058



(78) SX060



縄文時代炉跡 (5)



(78) SK008



(78) SK009



(78) SK010



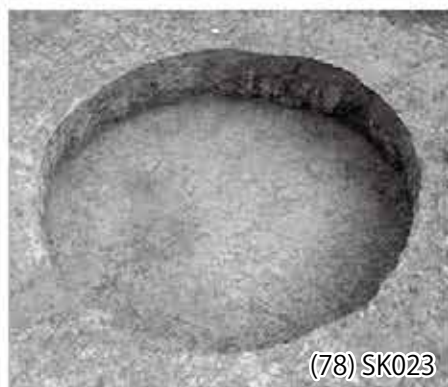
(78) SK012



(78) SK013



(78) SK014



(78) SK023



(78) SK023 遺物出土状況



(78) SK026



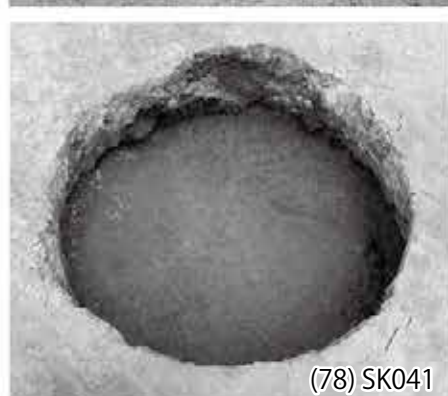
(78) SK029



(78) SK031



(78) SK036



(78) SK041



(78) SK041 遺物出土状況

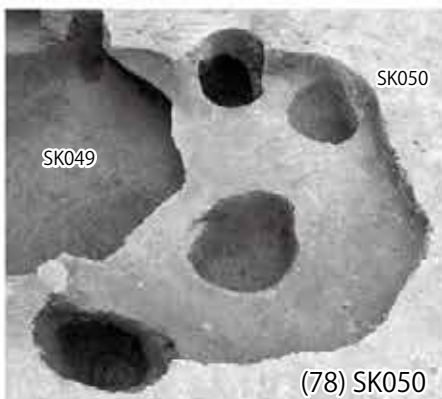


(78) SK044





(78) SK049



SK049

SK050

(78) SK050



SK052

SK053

(78) SK052・(78) SK053



SI004

SK054

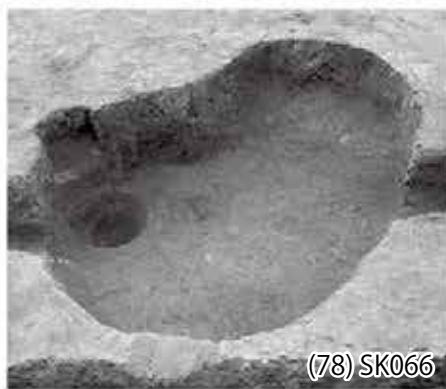
(78) SK054



(78) SK060



(78) SK064



(78) SK066



(78) SK073



(78) SK069



(78) SK074



(78) SK081



(78) SK076



SK082A

SK082B

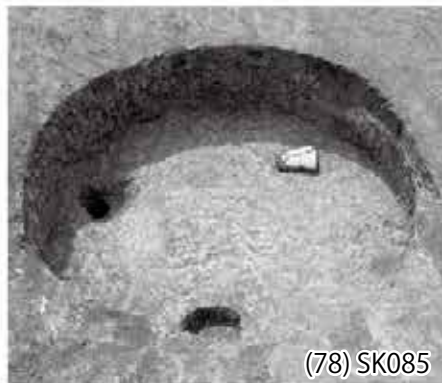
(78) SK082AB



SK083

SK084

(78) SK083・(78) SK084



(78) SK085



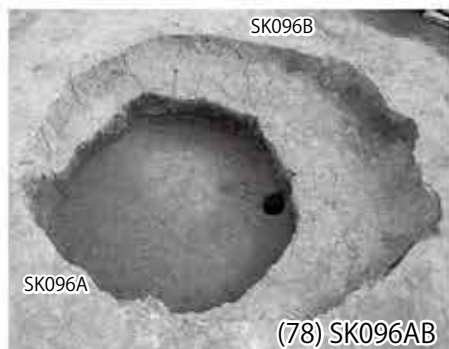
(78) SK085 遺物出土状況



(78) SK088



(78) SK092



SK096B

SK096A

(78) SK096AB



(78) SK097 ~ 099



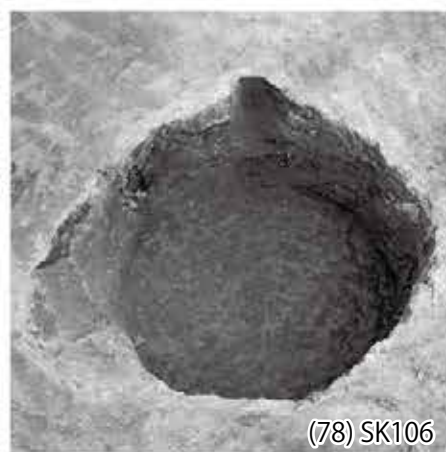
(78) SK102 ほか



(78) SK103



(78) SK105



(78) SK106



SK107

(78) SK107



(78) SK113 ほか



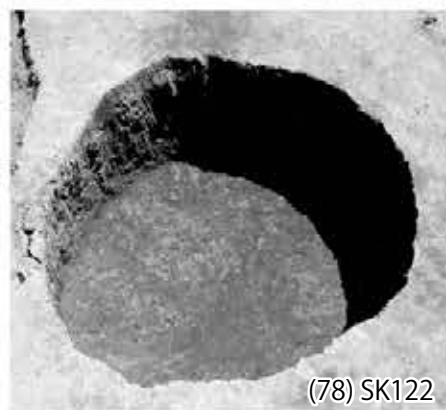
(78) SK116 ほか



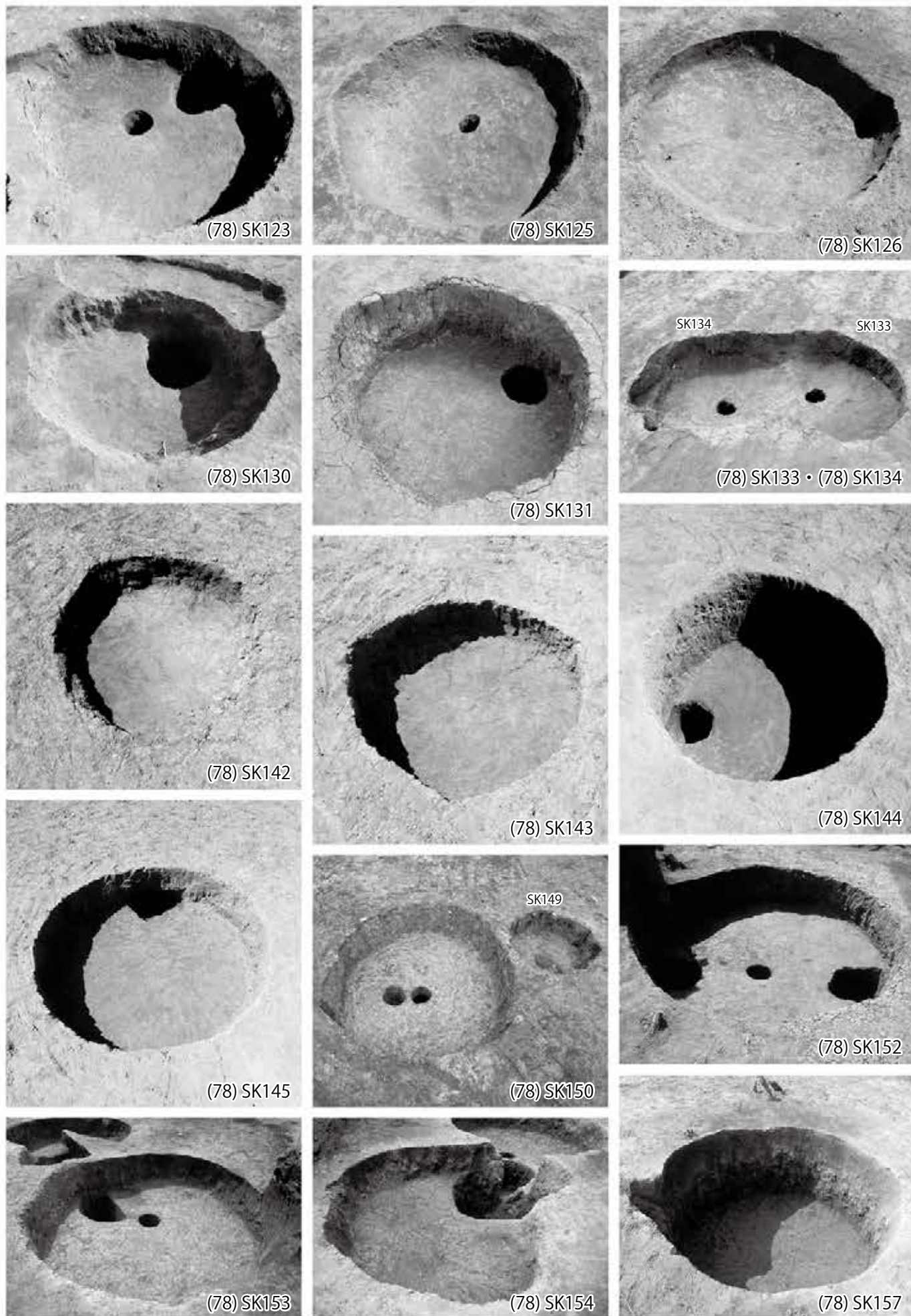
(78) SK117



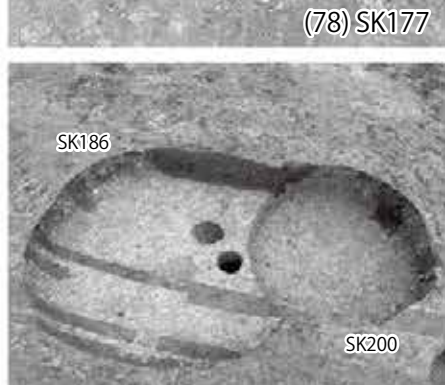
(78) SK121

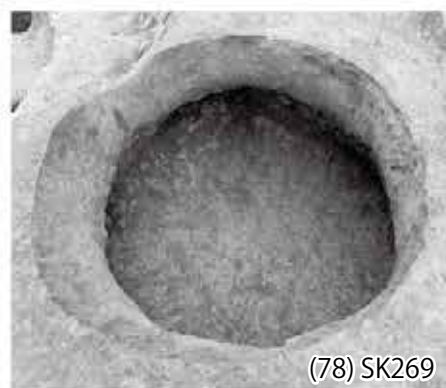


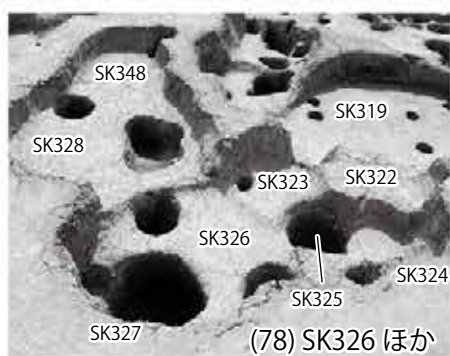
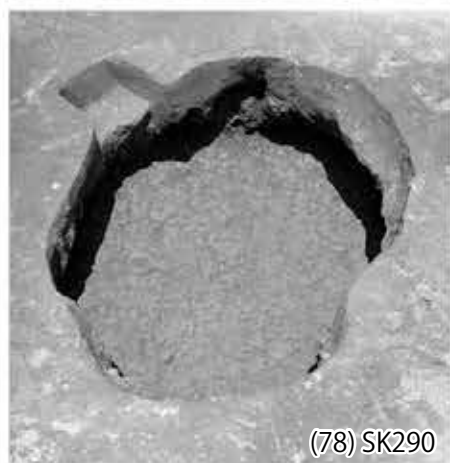
(78) SK122

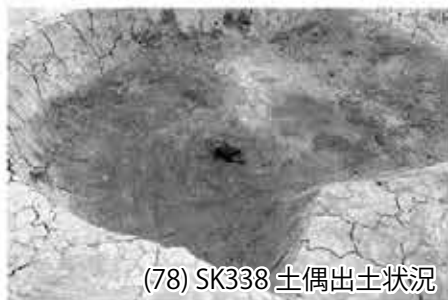


縄文時代土坑等 (4)









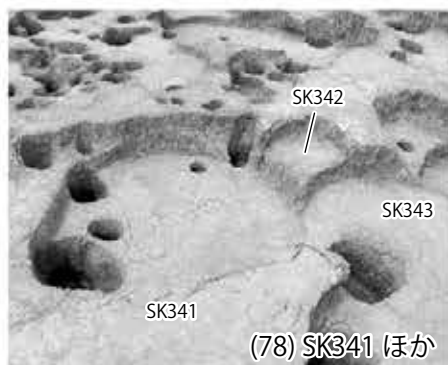
(78) SK338 土偶出土状況



(78) SK340



(78) SK340 遺物出土状況



(78) SK341 ほか



(78) SK356 ほか



(78) SK366 ほか



(78) SK383



(78) SK377 ほか



(78) SK386 ほか



(78) SK389



(78) SK392



(78) SK393



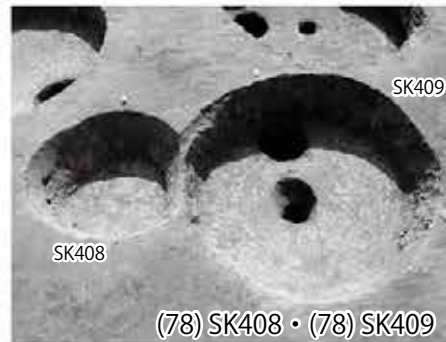
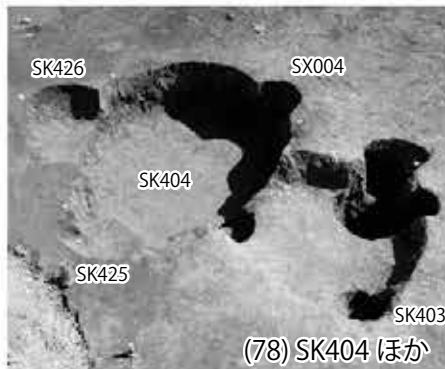
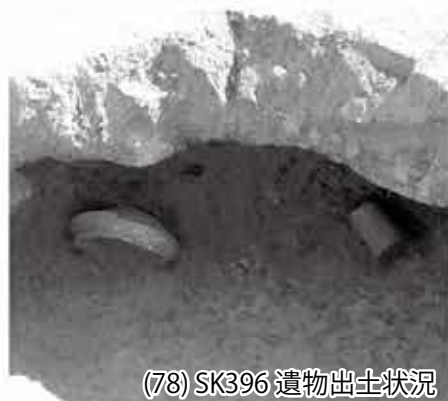
(78) SK394



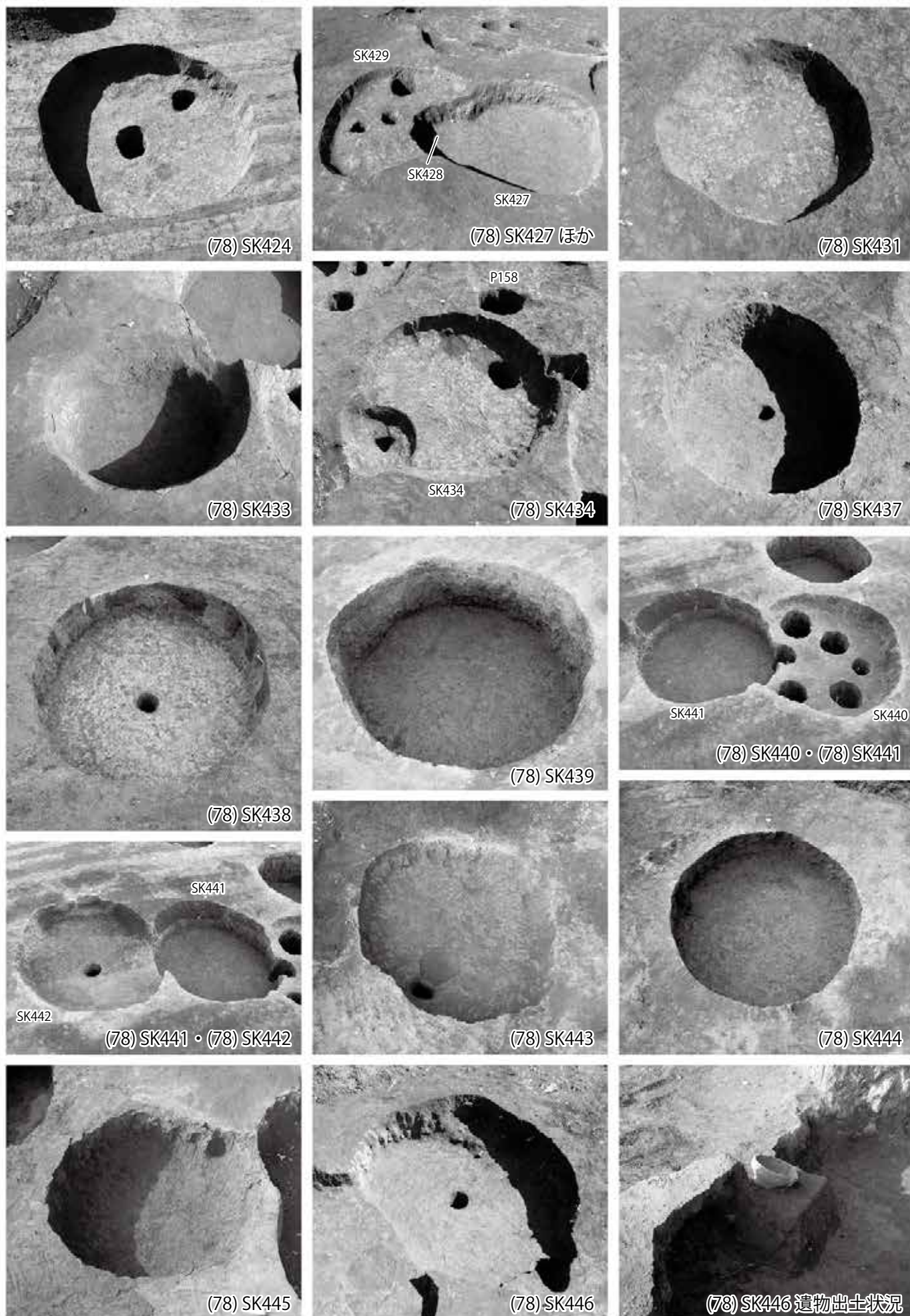
(78) SK395

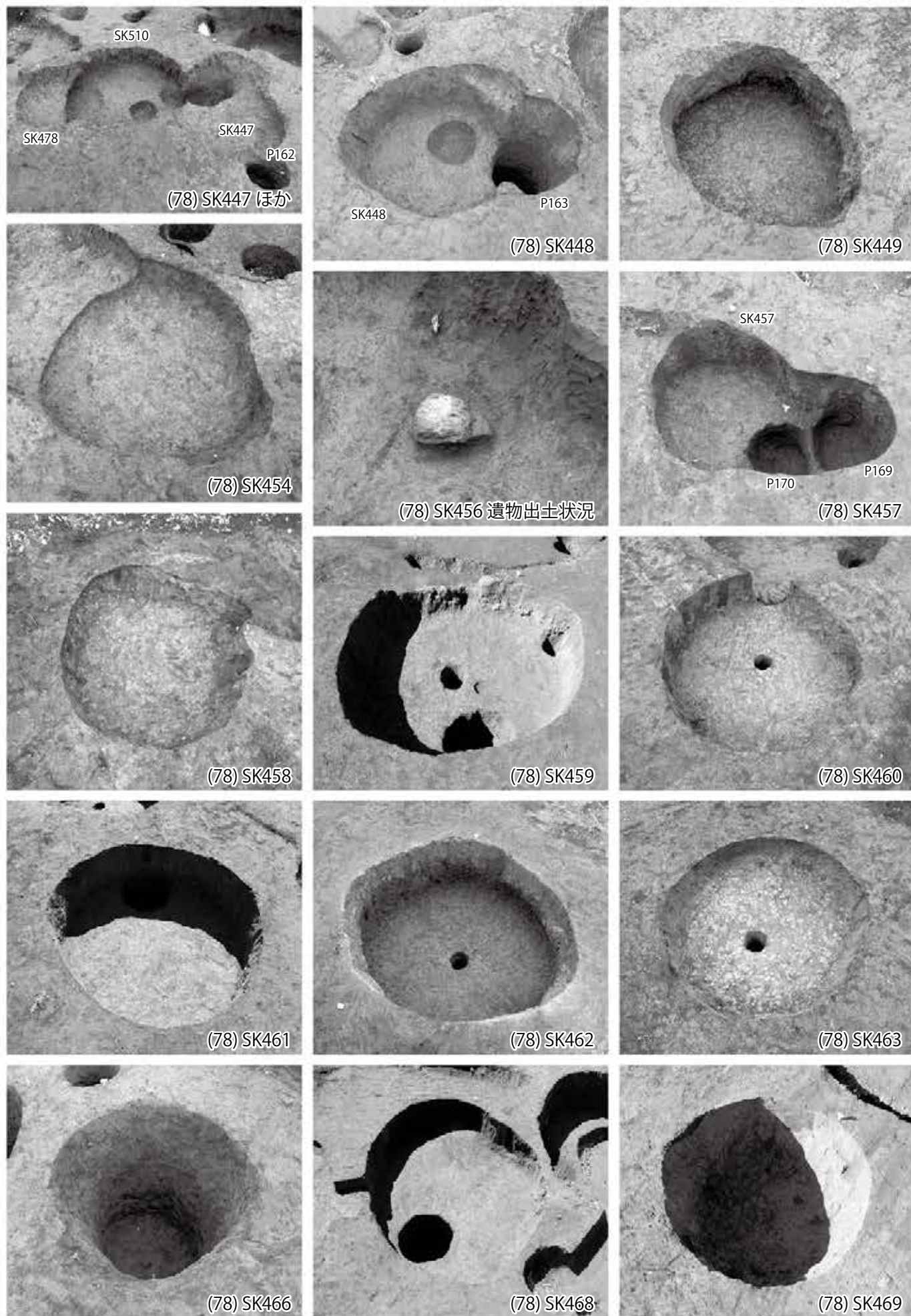


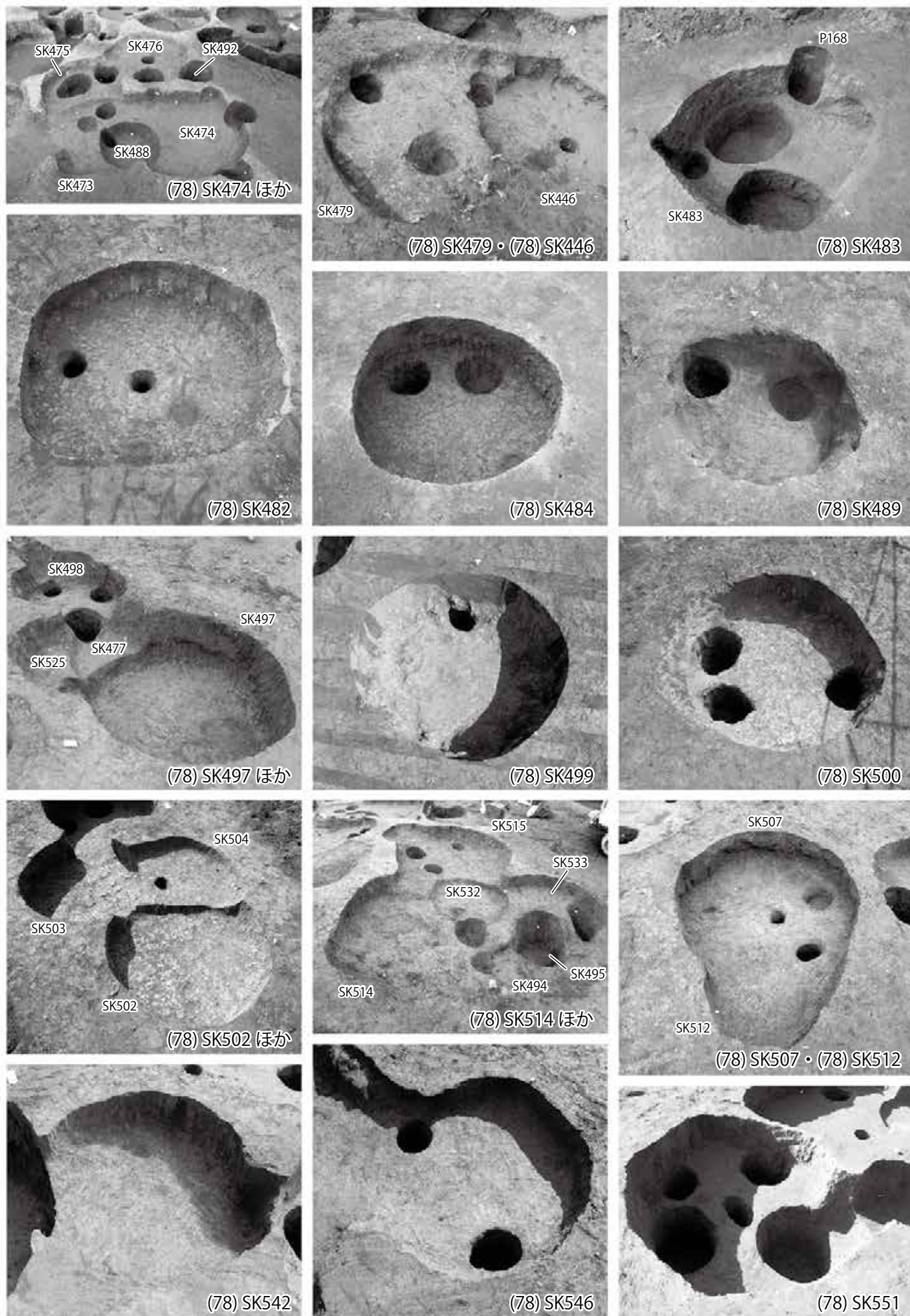
(78) SK396



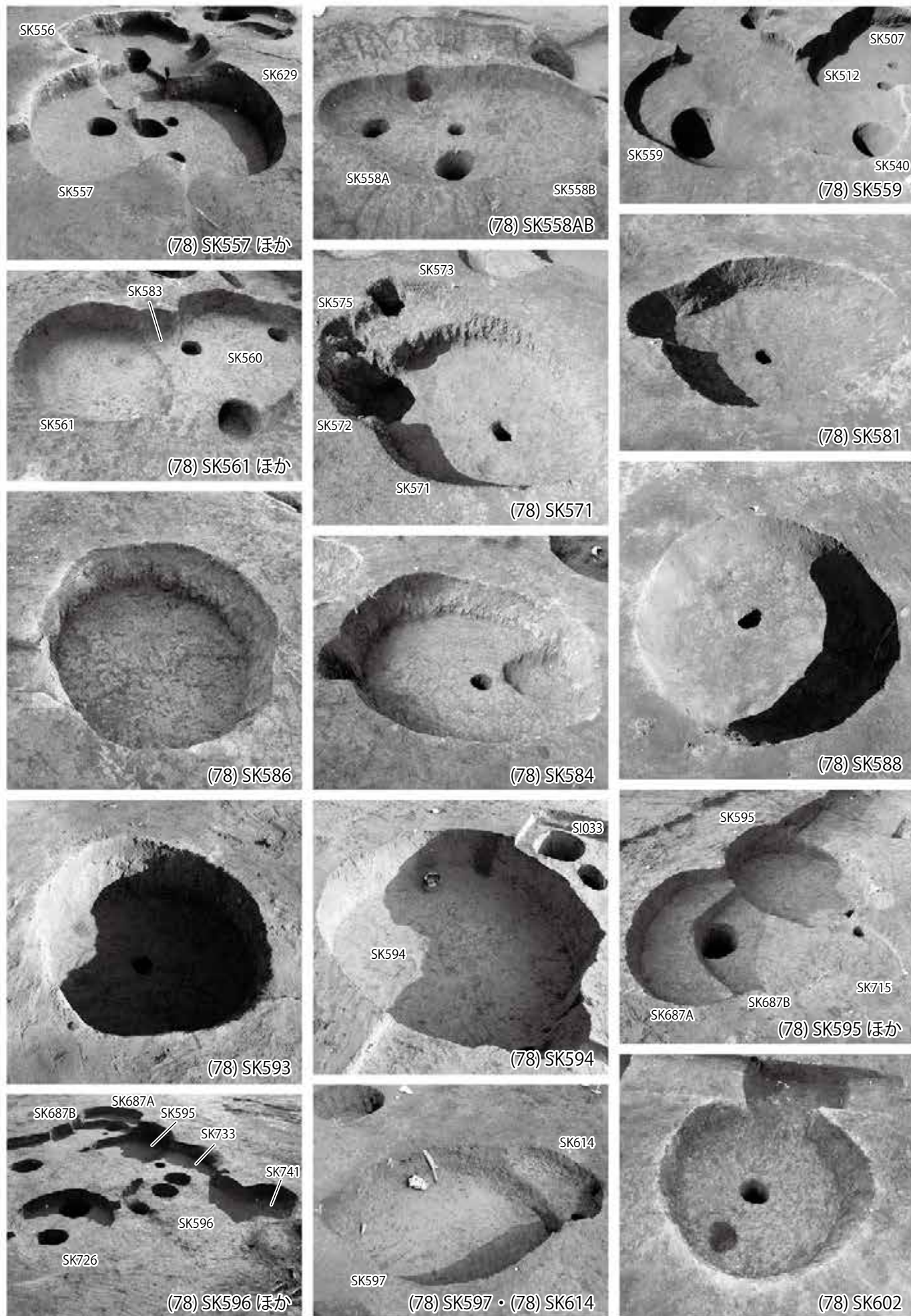


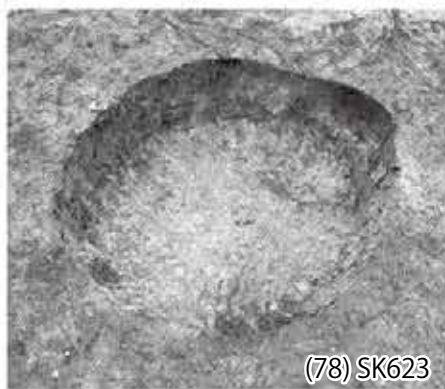
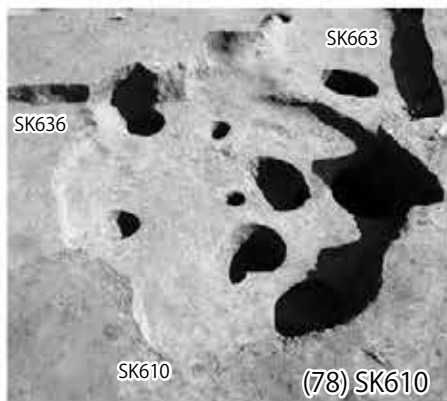
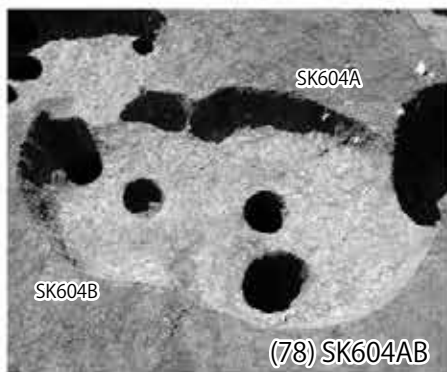


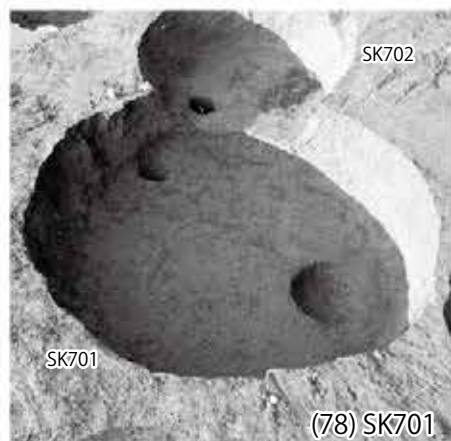


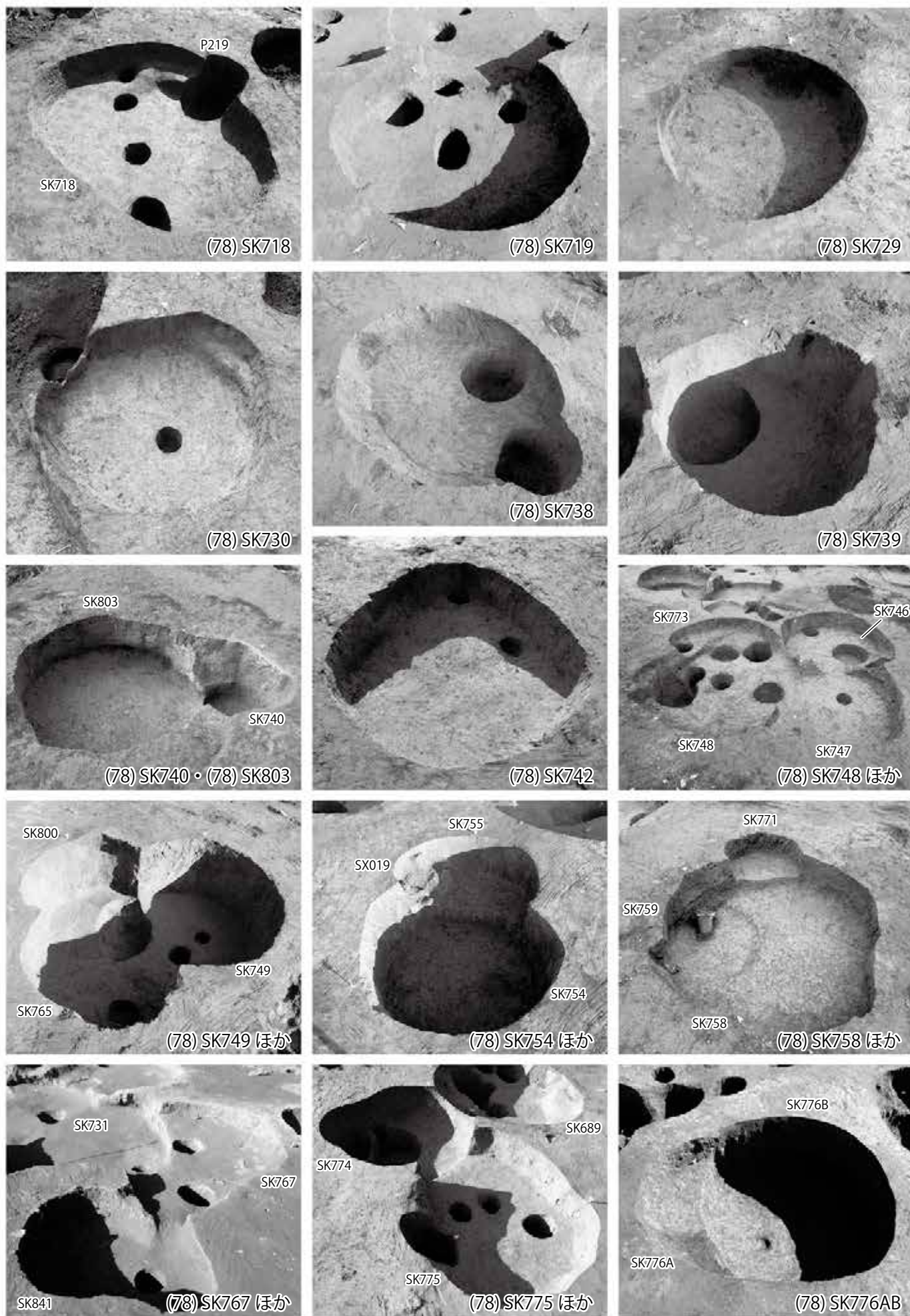


縄文時代土坑等 (12)

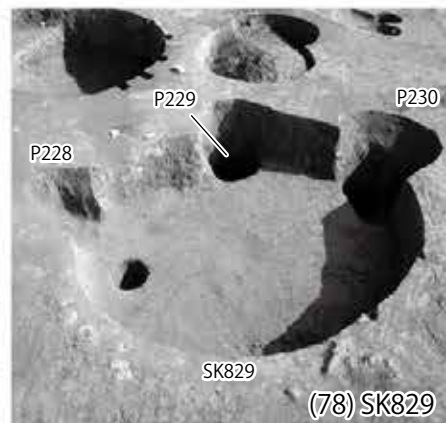
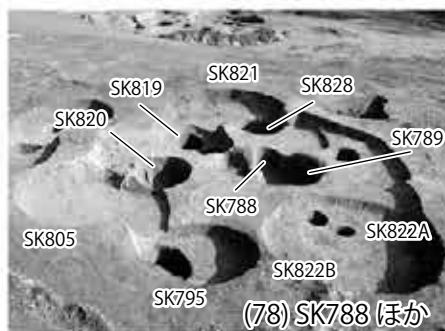




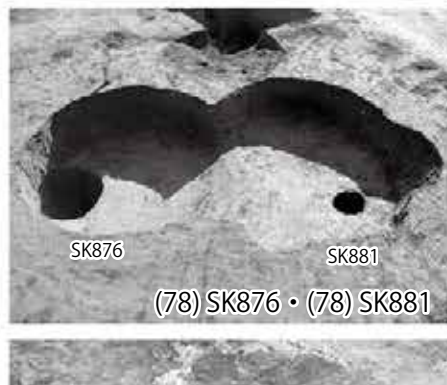




縄文時代土坑等 (16)





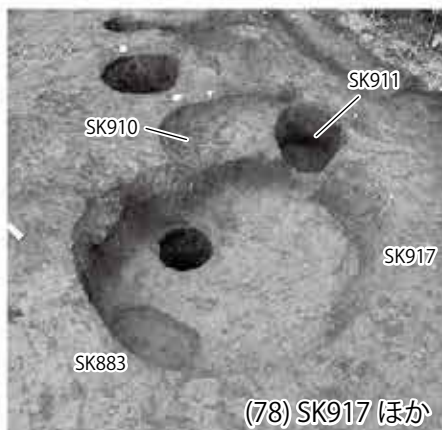




(78) SK912



(78) SK913



(78) SK917 ほか



(78) SK918



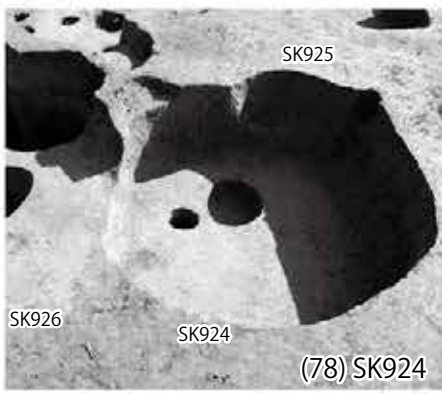
(78) SK921・(78) SK969



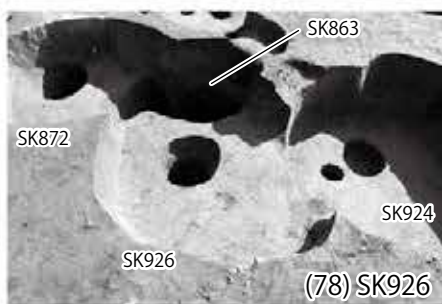
(78) SK921 遺物出土状況



(78) SK922



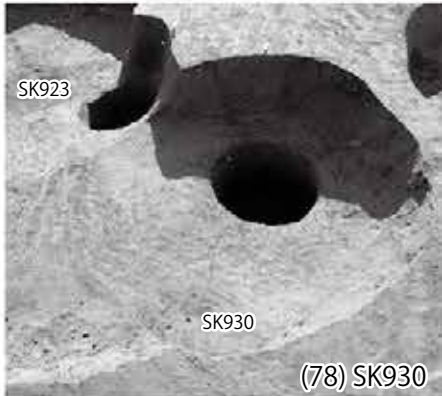
(78) SK924



(78) SK926



(78) SK928



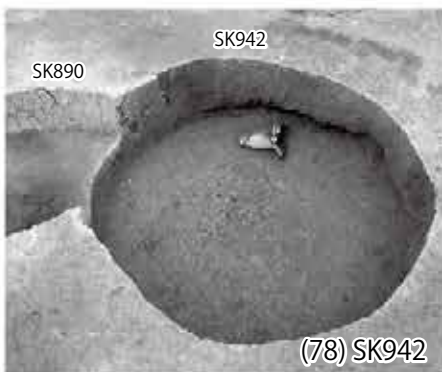
(78) SK930



(78) SK934 ほか



(78) SK937 ほか



(78) SK942



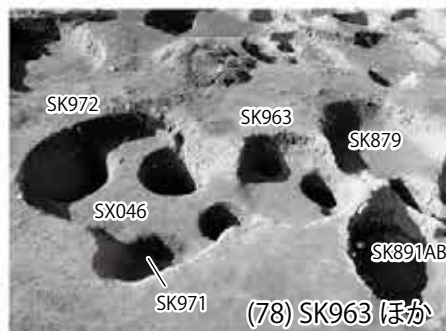
(78) SK942 遺物出土状況



(78) SK947



(78) SK952



(78) SK963 ほか



(78) SK967・(78) SK2010



(78) SK980 ほか



(78) SK984・(78) SK985



(78) SK989



(78) SK988AB



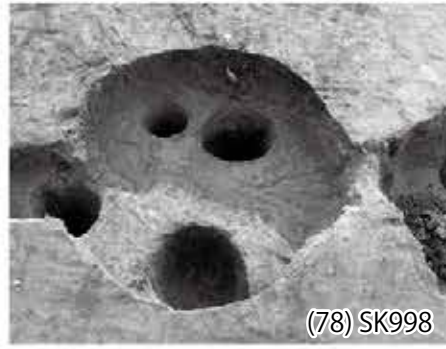
(78) SK988 遺物出土状況



(78) SK990



(78) SK997



(78) SK998



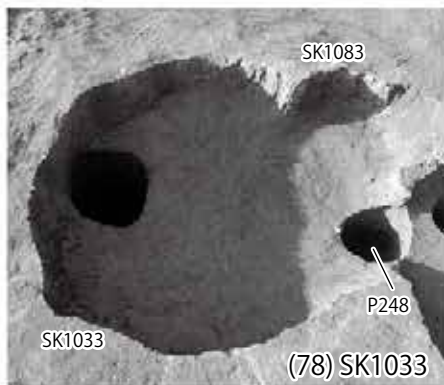
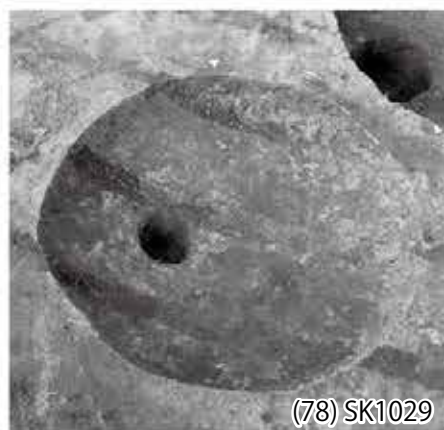
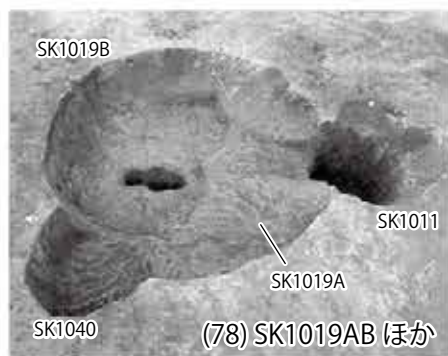
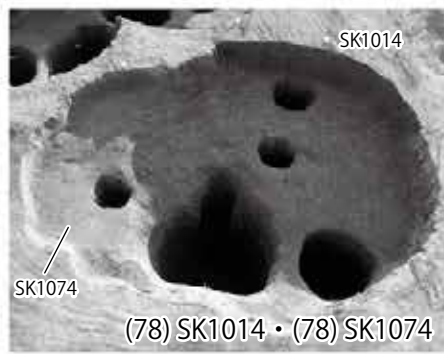
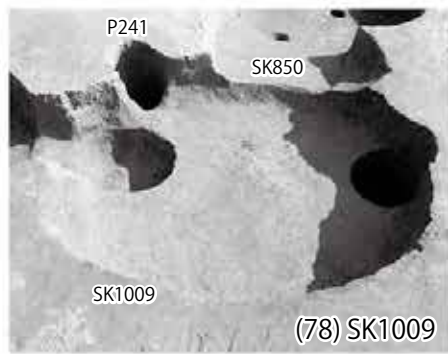
(78) SK1003AB ほか

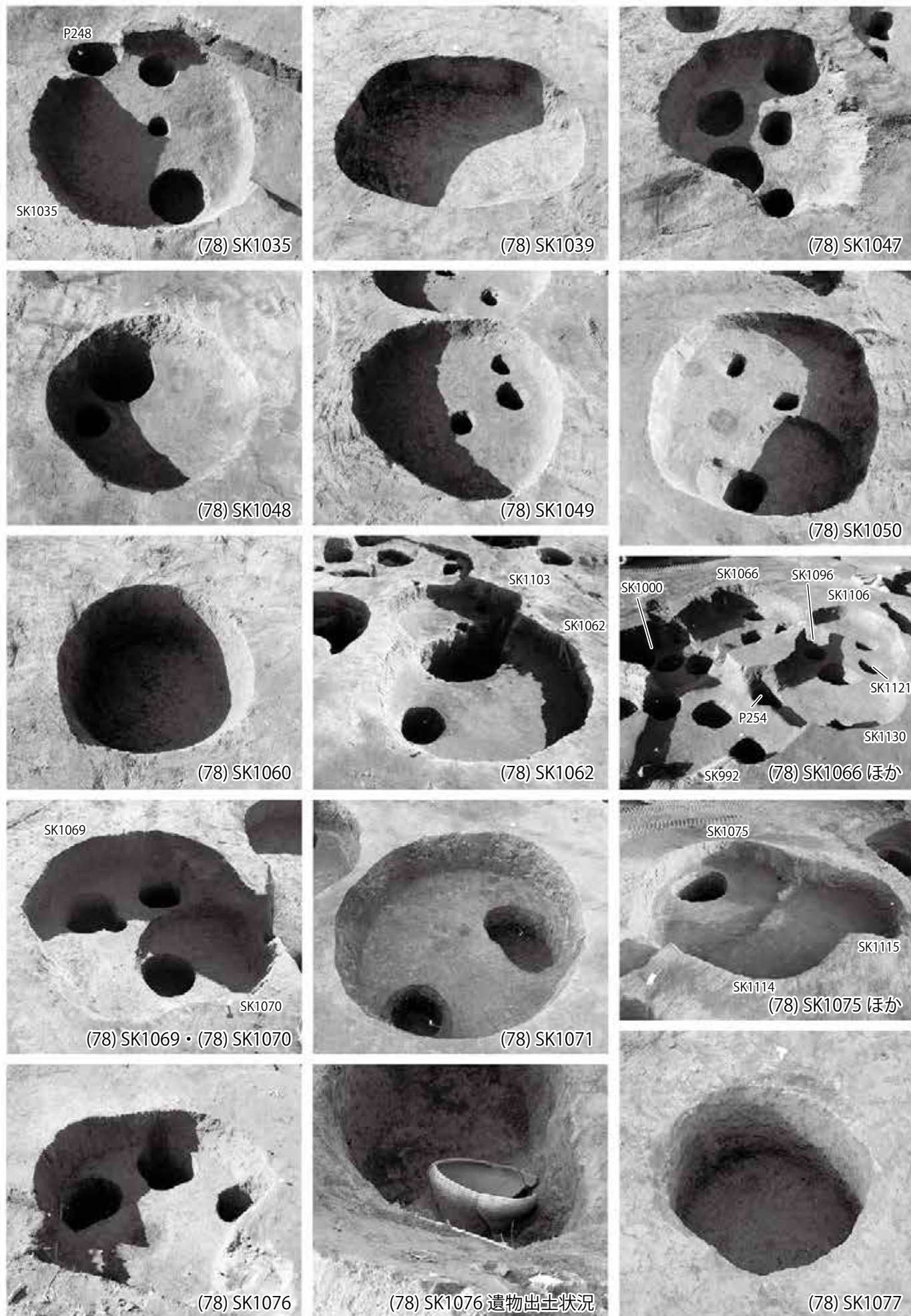


(78) SK1003 遺物出土状況

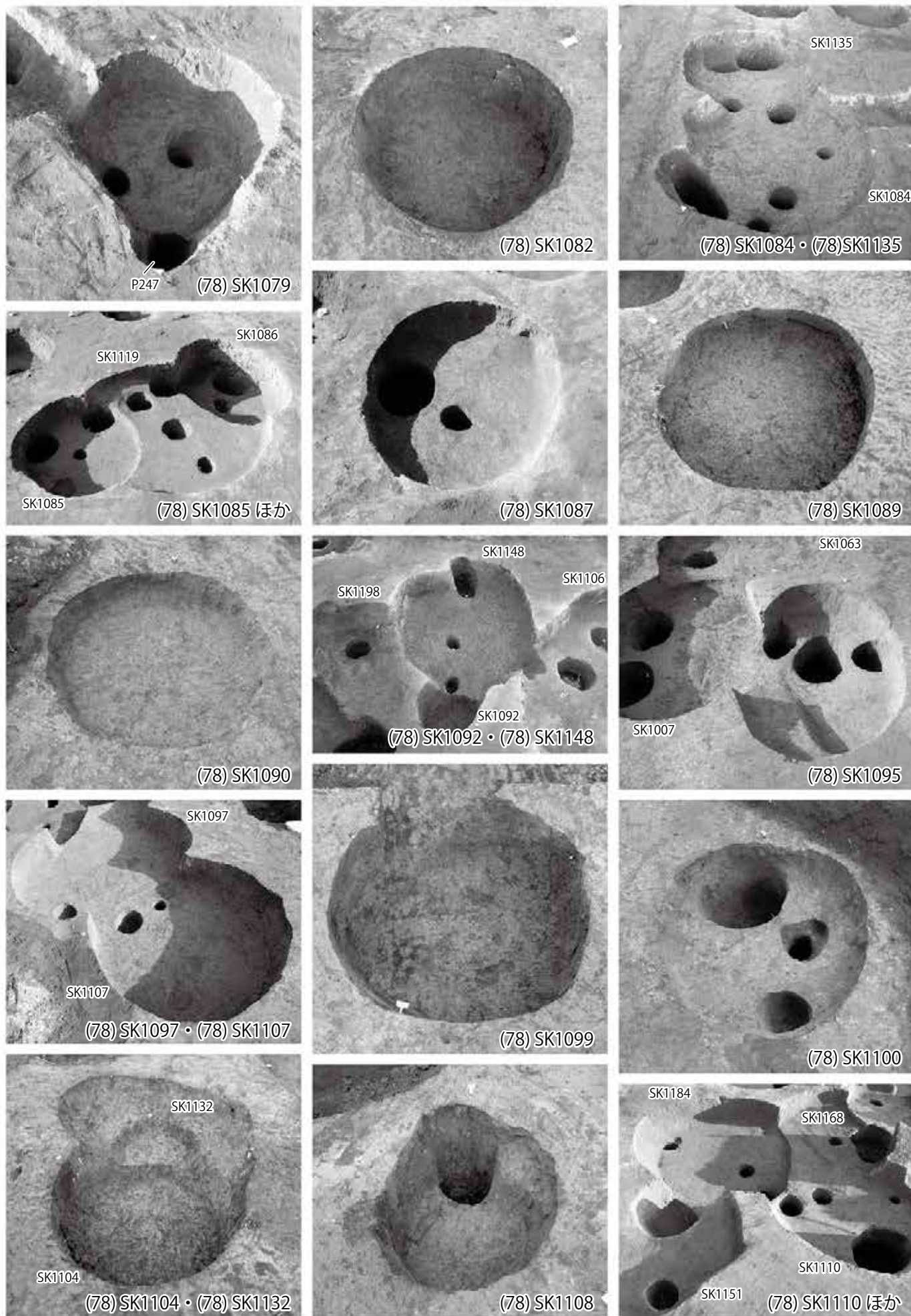


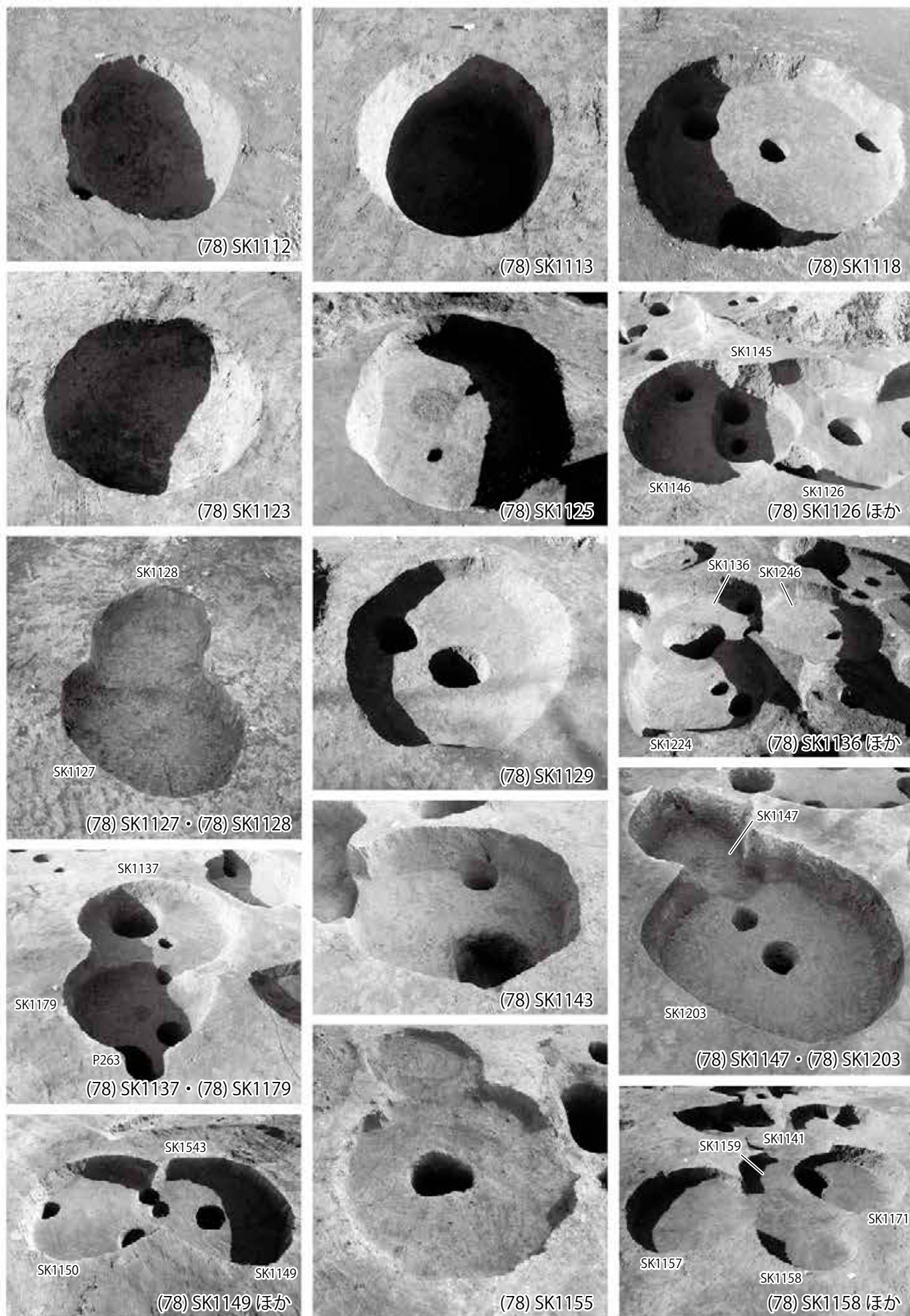
(78) SK1007



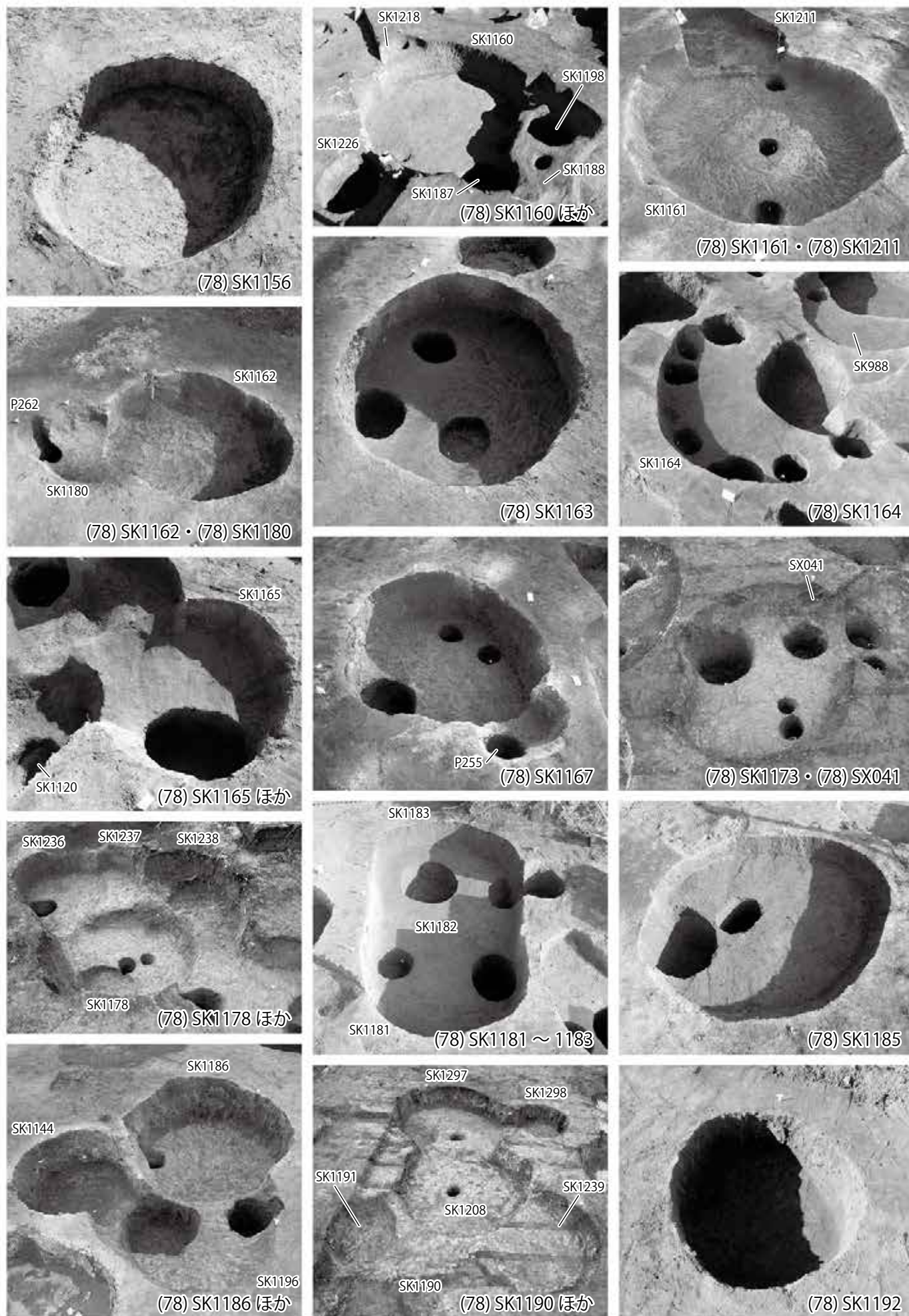


縄文時代土坑等 (22)





縄文時代土坑等 (24)



縄文時代土坑等 (25)





(78) SK1193



(78) SK1199



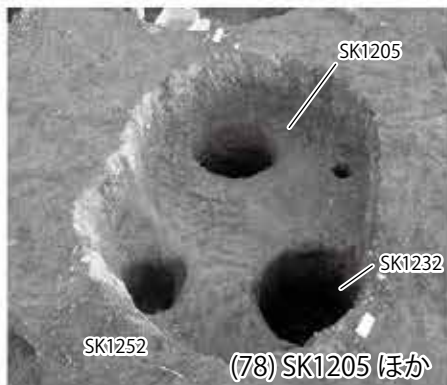
(78) SK1200



(78) SK1202



(78) SK1204



(78) SK1205 ほか



(78) SK1209



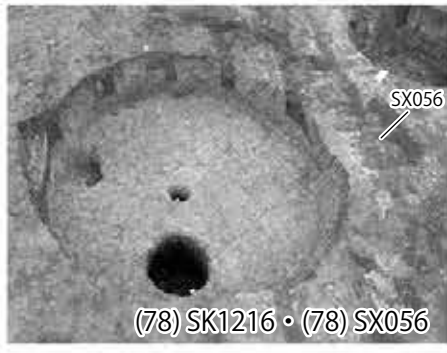
(78) SK1212



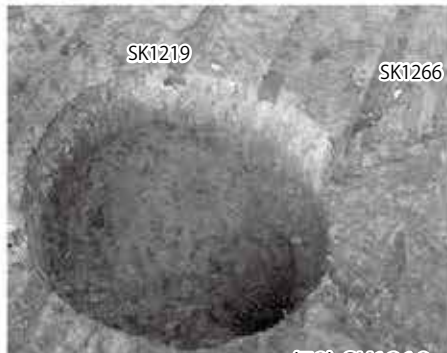
(78) SK1214・(78) SK1293



(78) SK1215AB



(78) SK1216・(78) SX056



(78) SK1219



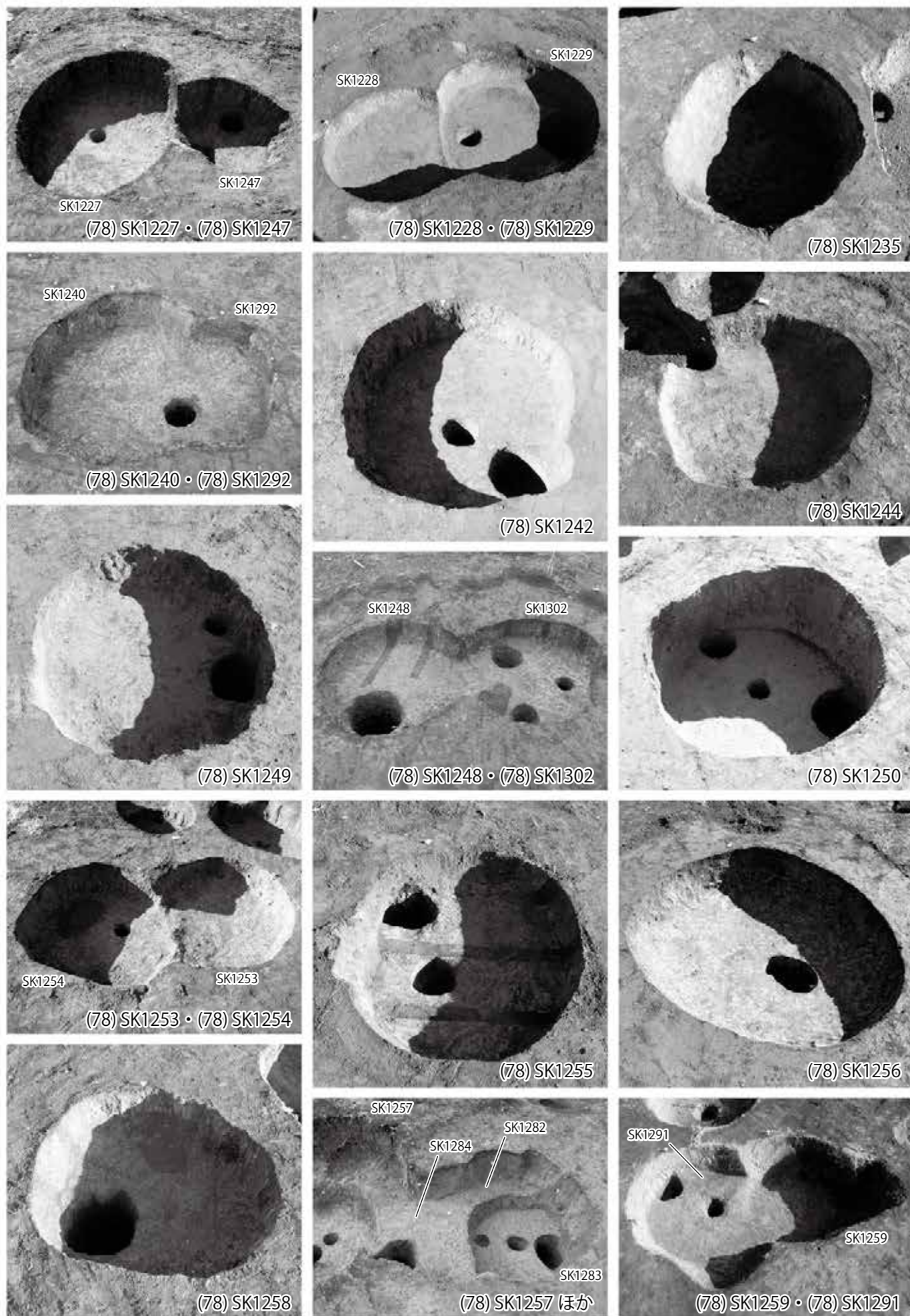
(78) SK1220 遺物出土状況



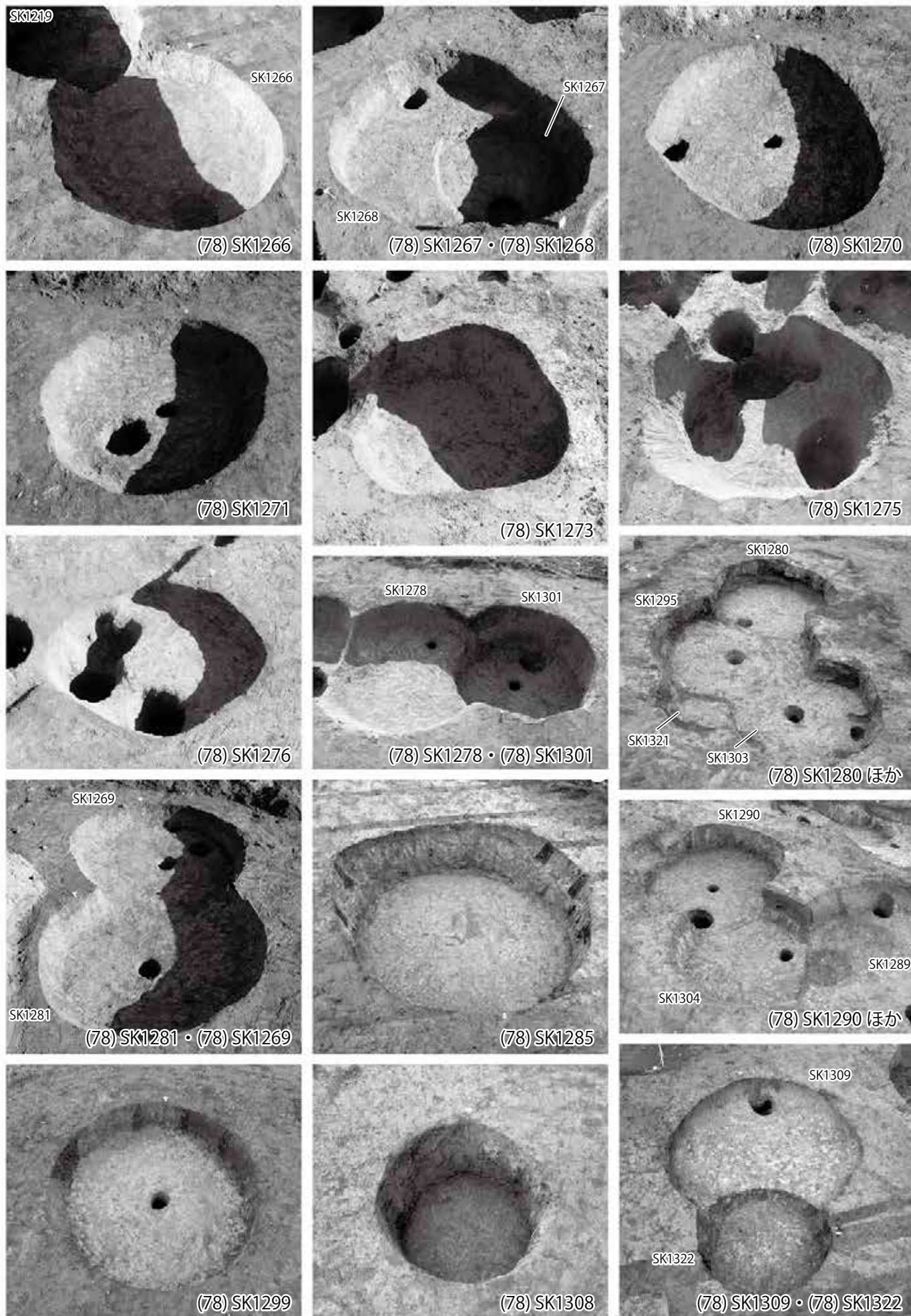
(78) SK1222・(78) SK1223



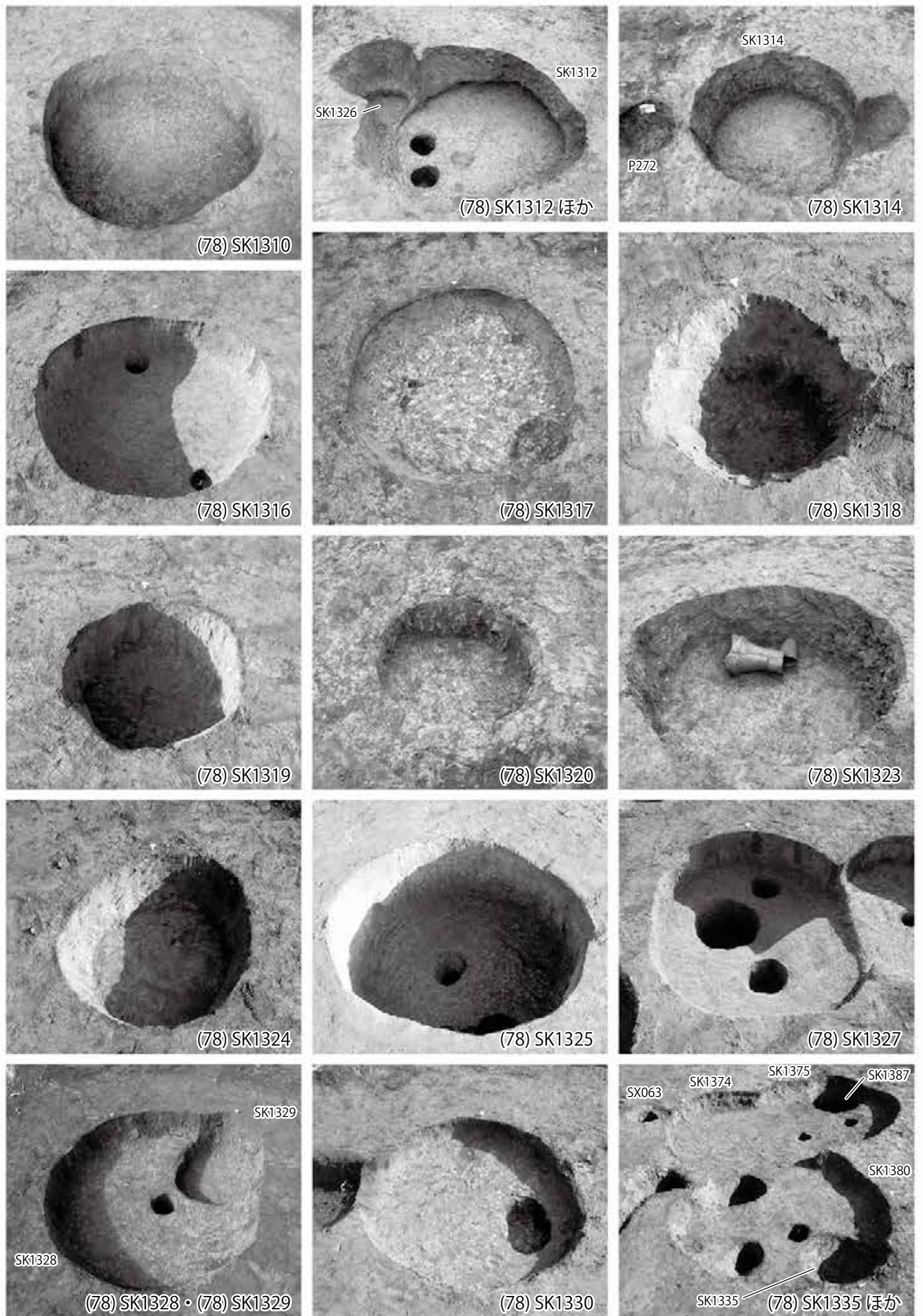
(78) SK1226・(78) SK1160



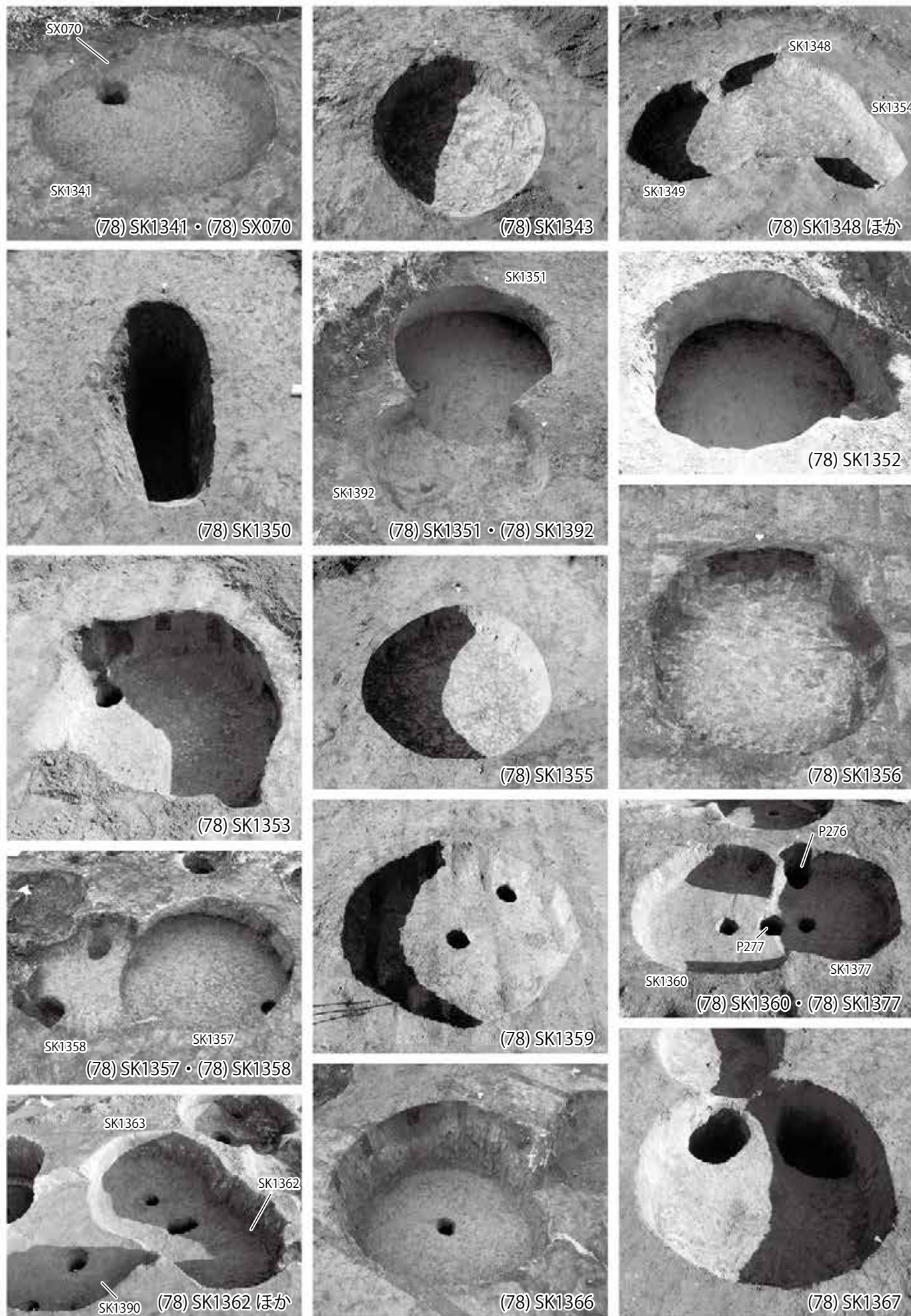
縄文時代土坑等 (27)



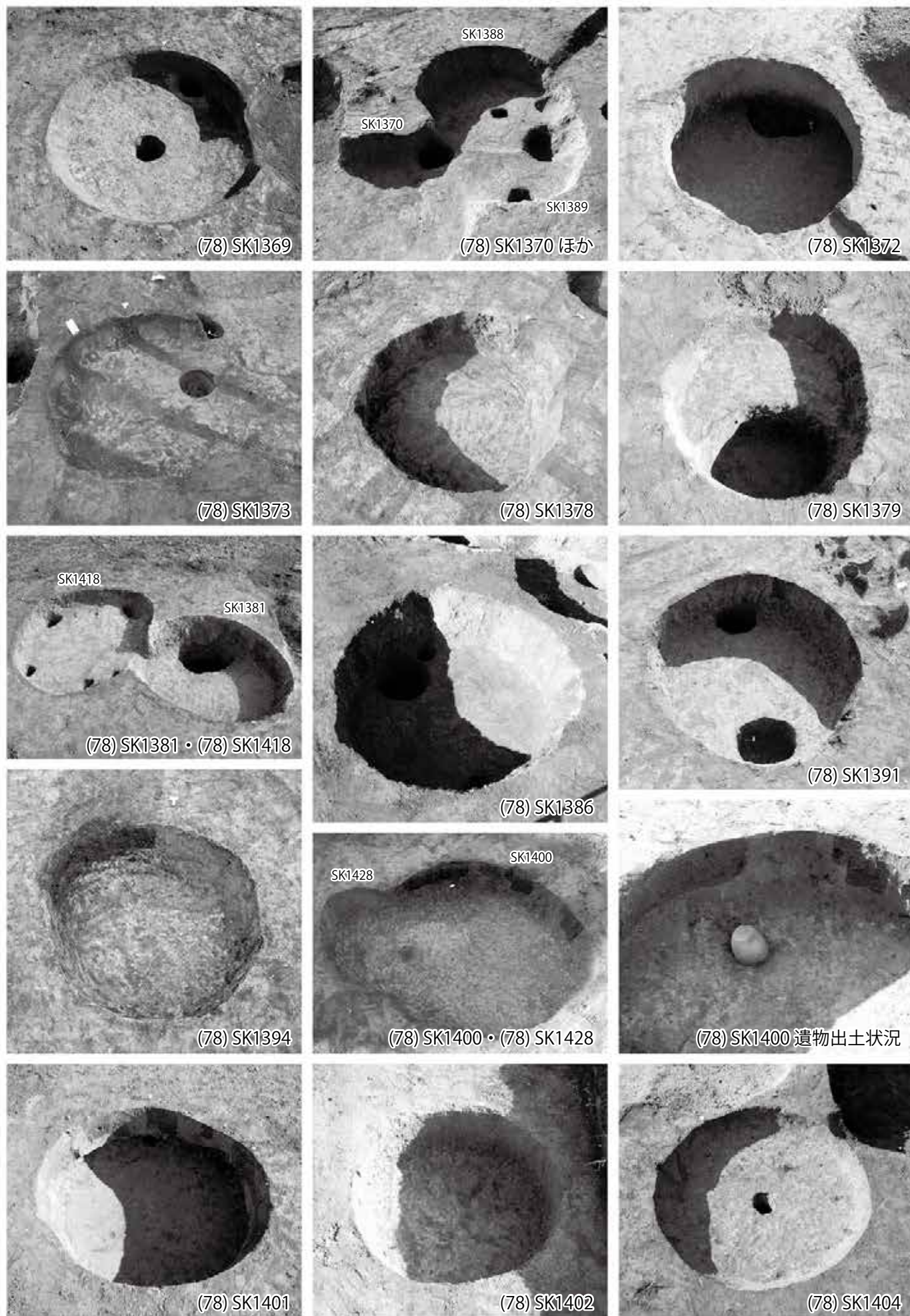
縄文時代土坑等 (28)



縄文時代土坑等 (29)



縄文時代土坑等 (30)





(78) SK1406



(78) SK1409 ほか



(78) SK1410



(78) SK1411



(78) SK1412



(78) SK1417



(78) SK1417 遺物出土状況



(78) SK1421



(78) SK1422



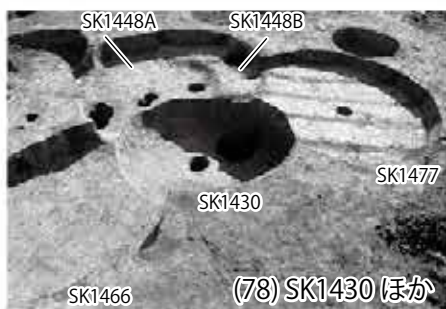
(78) SK1425



(78) SK1426



(78) SK1429・(78) SK1433



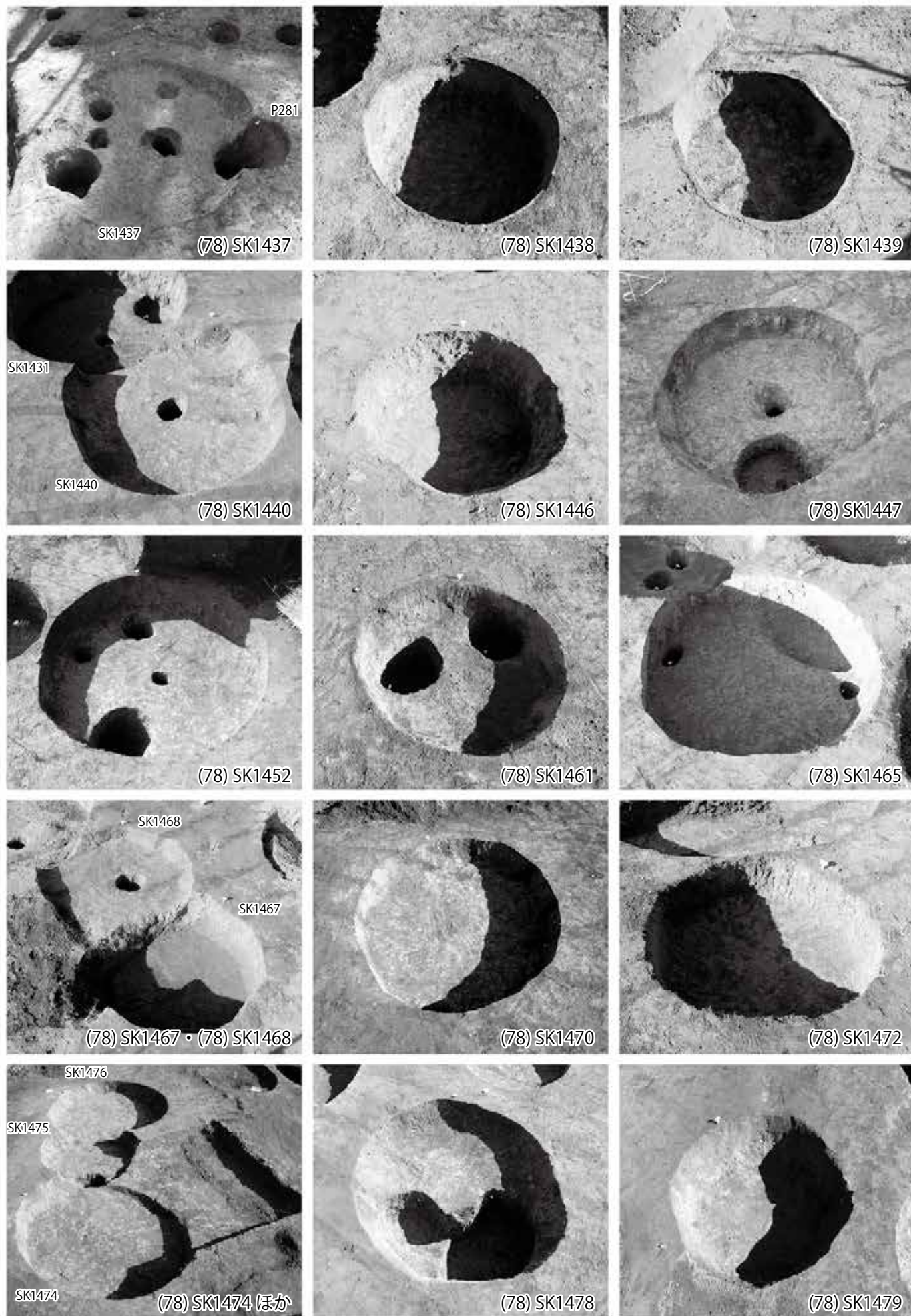
(78) SK1430 ほか



(78) SK1431



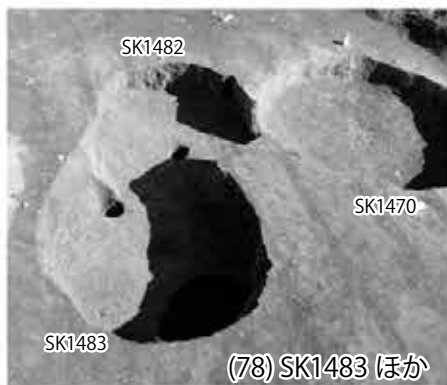
(78) SK1435 ほか







(78) SK1481



SK1482 SK1470 SK1483 (78) SK1483 ほか



SK1503 SK1484 (78) SK1484



(78) SK1485



(78) SK1494



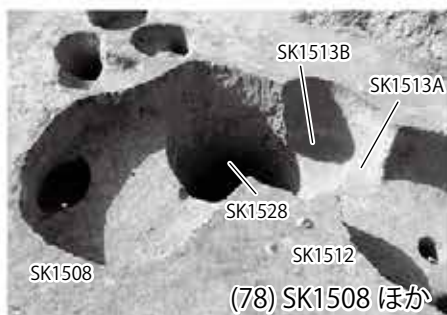
SX048 SK1495 (78) SK1495・(78) SX048



(78) SK1498



P292 P294 P293 SK2012 SK1507 SK1506 SK1533 (78) SK1506 ほか



SK1513B SK1513A SK1528 SK1512 SK1508 (78) SK1508 ほか



P297 SK1510 (78) SK1510



(78) SK1511



SK1513B SK1513A SK1488 SK1512 SK1522 SK1528 (78) SK1512 ほか



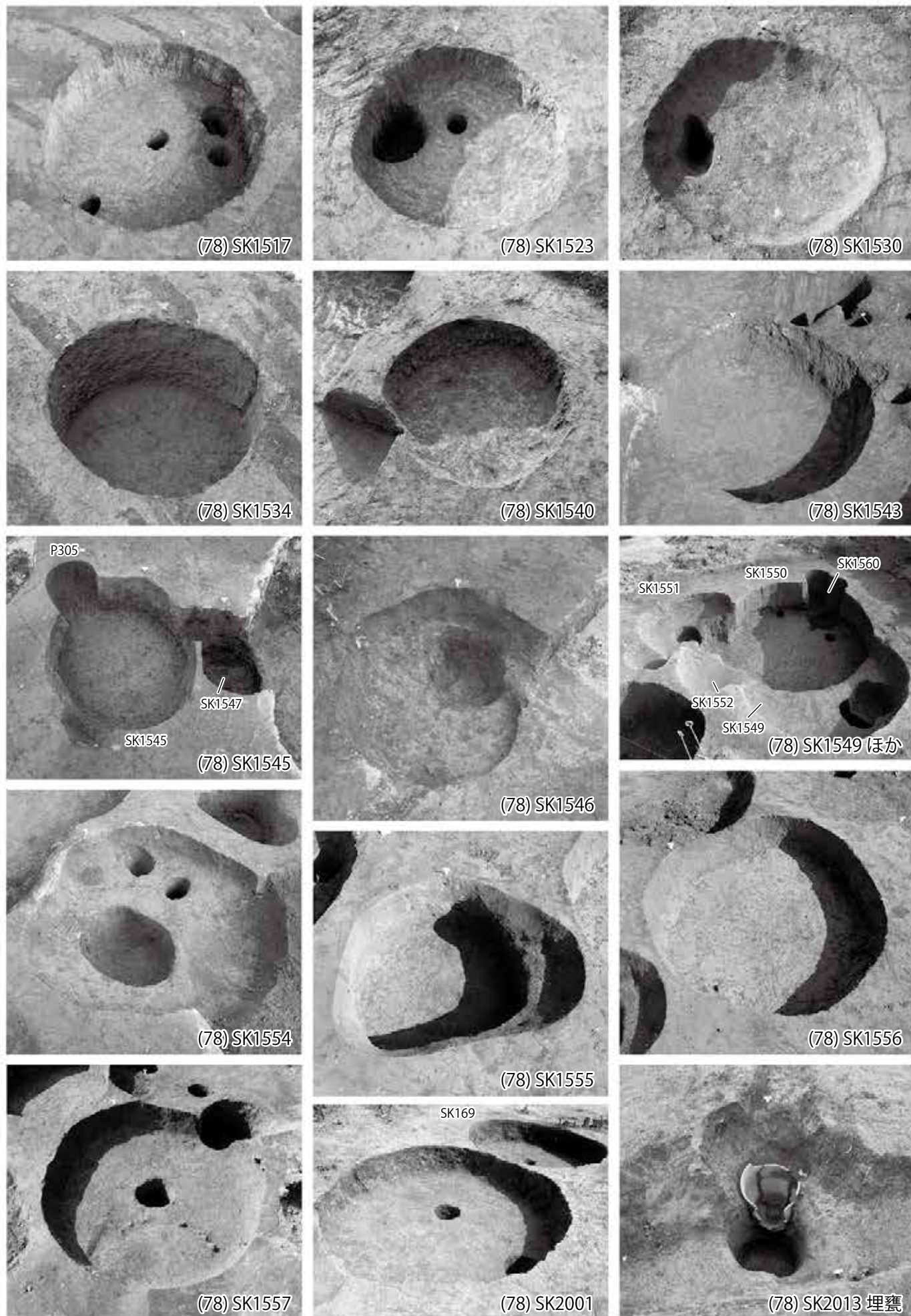
(78) SK1514



(78) SK1515

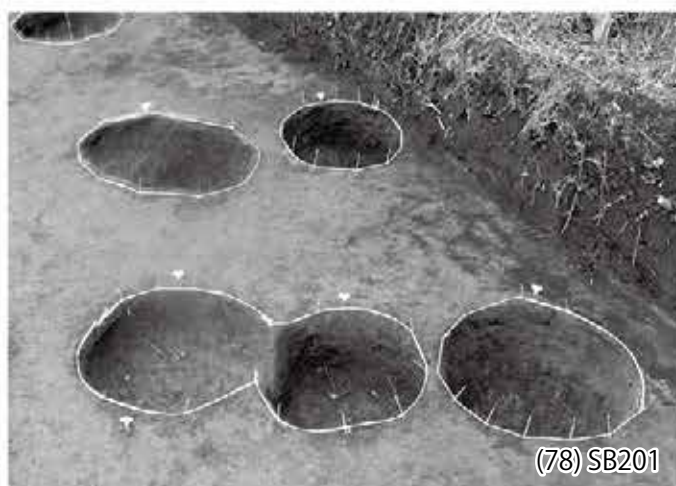
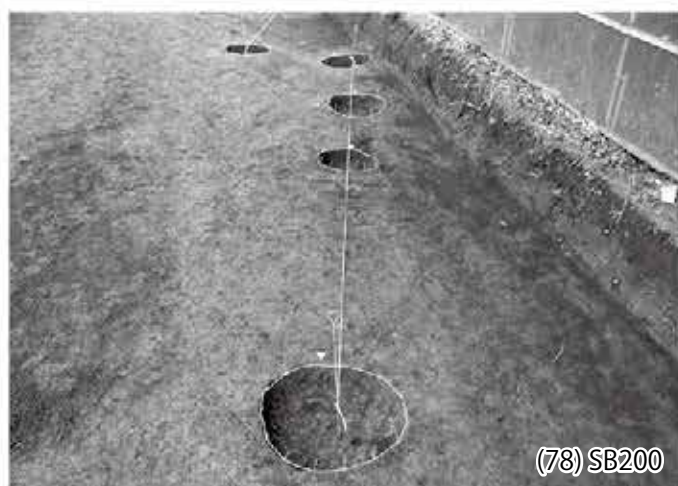


(78) SK1516





古墳時代住居跡 (1)

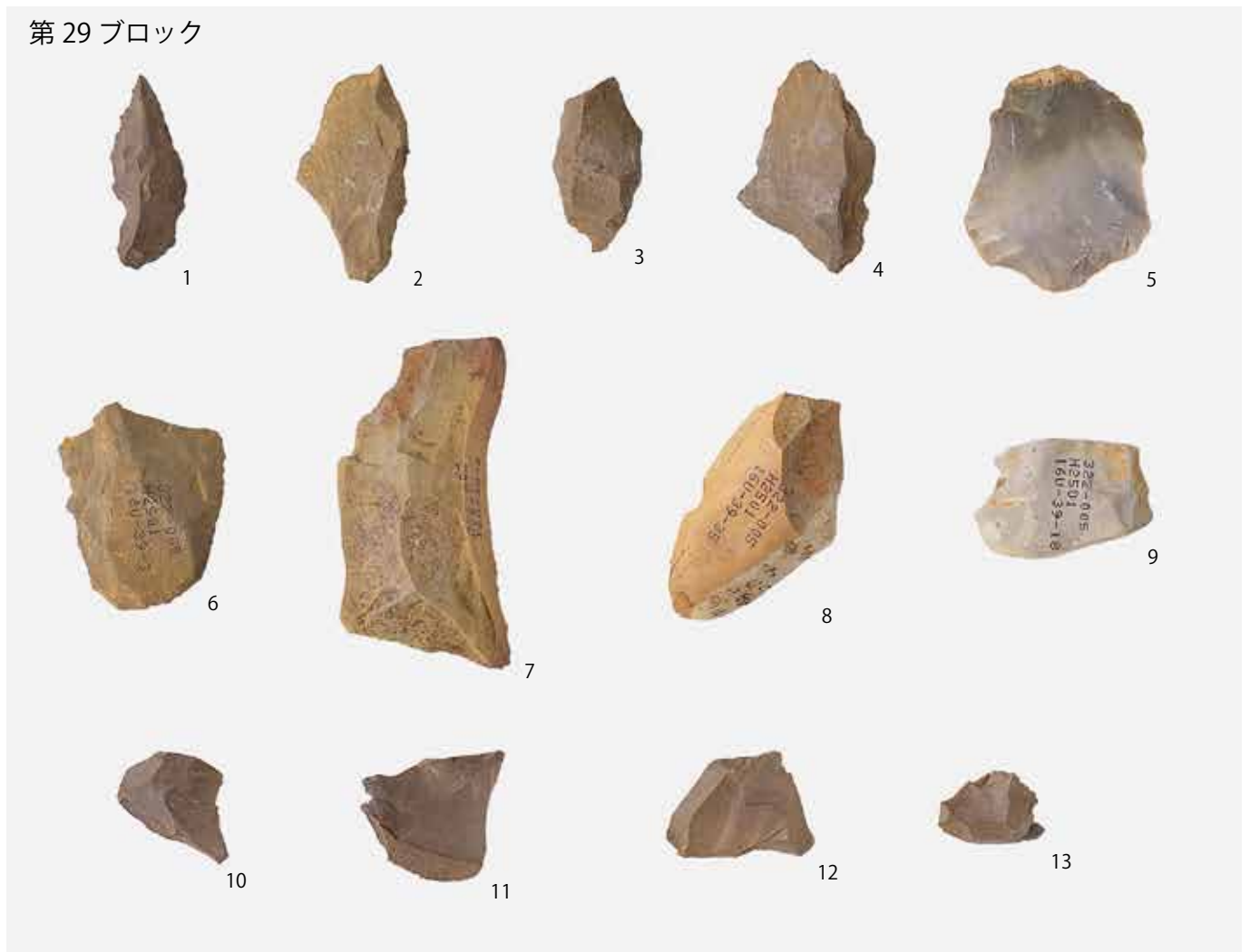


古墳時代住居跡（2）、奈良・平安時代住居跡・掘立柱建物跡（1）



奈良・平安時代掘立柱建物跡（2）・土坑、溝状遺構

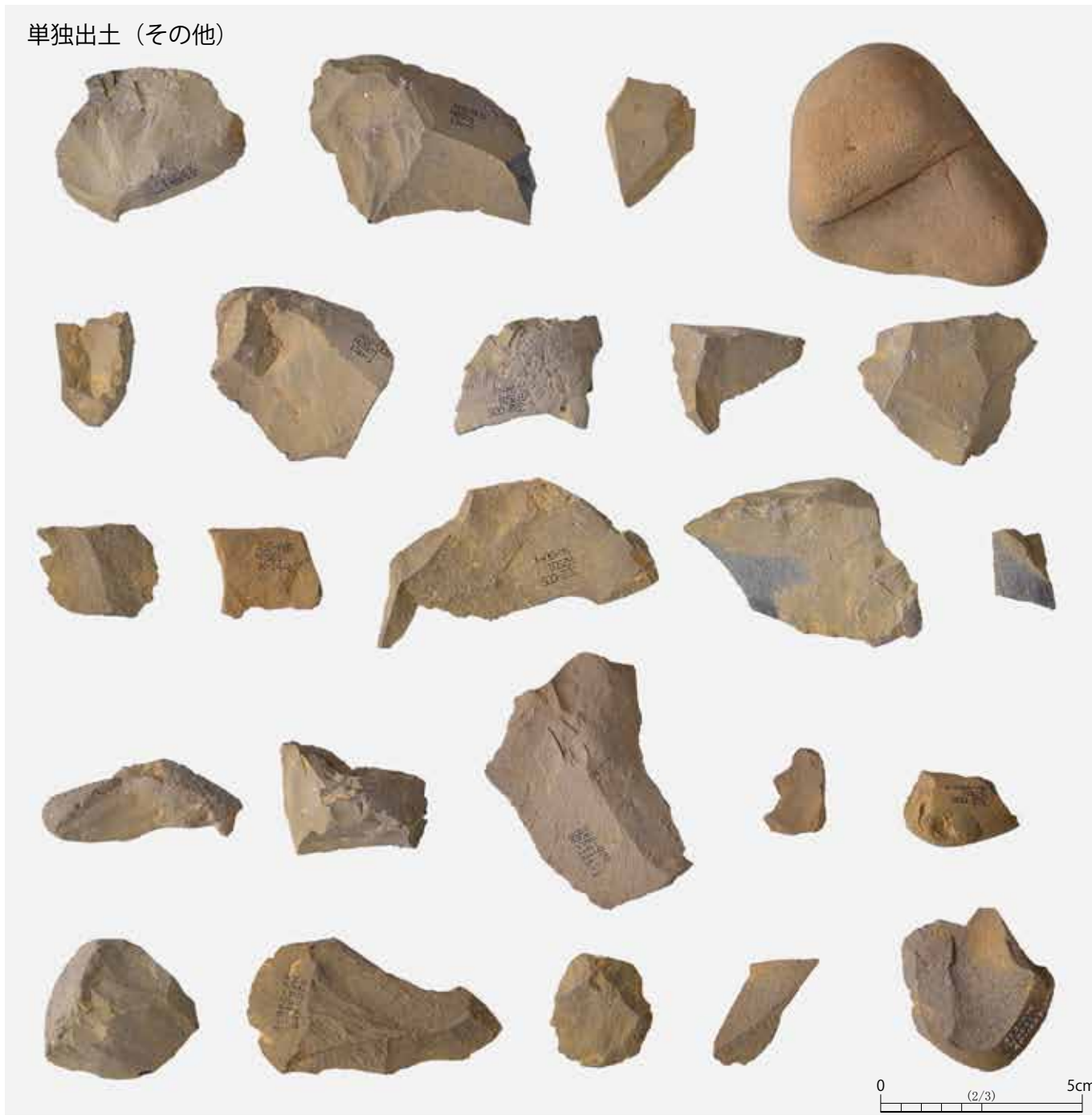
第29ブロック



単独出土



単独出土（その他）



旧石器時代石器(2)

(78)SK1125

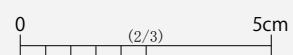


310

(78)SK1528



311



縄文時代石器(1)



縄文時代住居跡出土土器(1)





(78)SI017-1



(78)SI021-1



(78)SI017-2



(78)SI021-2



(78)SI022-1



(78)SI019-1



(78)SI020-1



(78)SI021-3



(78)SI022-2



(78)SI020-2



(78)SI021-4



(78)SI022-13

縄文時代住居跡出土土器(2)



(78)SI022-3



(78)SI022-6



(78)SI022-9



(78)SI022-4



(78)SI022-7



(78)SI022-10



(78)SI022-11



(78)SI022-5



(78)SI022-8



(78)SI022-14



(78)SI022-12



(78)SI025-1



(78)SI030-3



(78)SI030-7



(78)SI026-1



(78)SI030-8



(78)SI029-1



(78)SI030-5



(78)SI029-2



(78)SI030-9



(78)SI030-1



(78)SI030-6



(78)SI030-11

縄文時代住居跡出土土器(4)



縄文時代住居跡出土土器(5)



(78)SI040-1



(78)SI044-3



(78)SI055-1



(78)SI040-2



(78)SI059-1



(78)SI040-3



(78)SI050-1



(78)SI059-2



(78)SI044-1



(78)SI050-2



(78)SI059-3



(78)SI044-2



(78)SI055-2



(78)SI059-4

縄文時代住居跡出土土器(6)



縄文時代住居跡出土土器(7)



(78)SI111-1



(78)SX003-2



(78)SX009-1



(78)SI111-2



(78)SX003-3



(78)SX010-1



(78)SI111-2



(78)SX004-1



(78)SX010-2



(78)SX002-1



(78)SX007-1



(78)SX011-1



(78)SX003-1



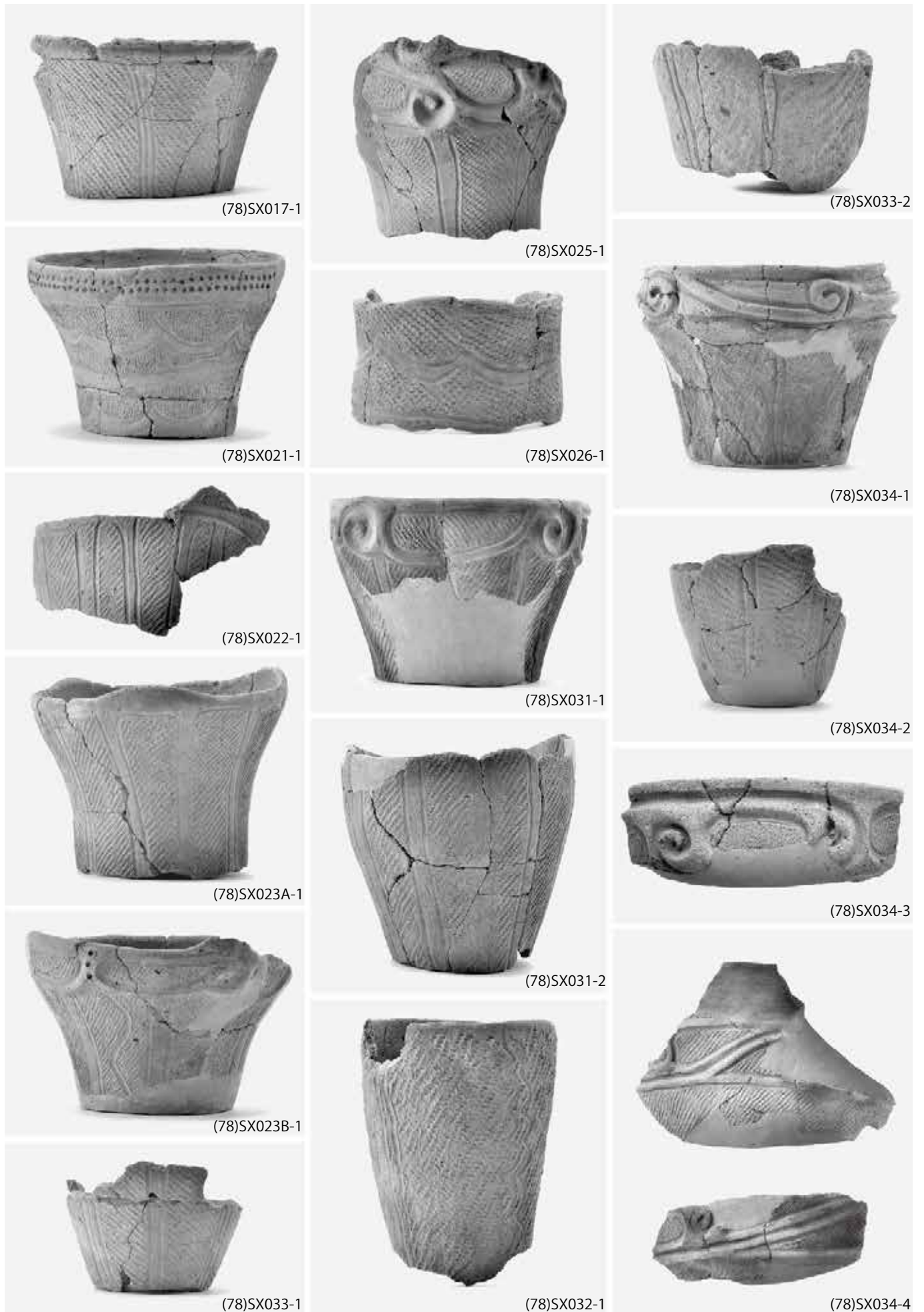
(78)SX008-1



(78)SX012-1



(78)SX015-1



縄文時代炉跡出土土器(2)





(78)SX037-1



(78)SX046-4



(78)SX051-2



(78)SX041-1



(78)SX048-1



(78)SX051-3



(78)SX043-1



(78)SX049-1



(78)SX053-1



(78)SX046-1



(78)SX050-1



(78)SX054-1



(78)SX046-2



(78)SX050-2



(78)SX046-3

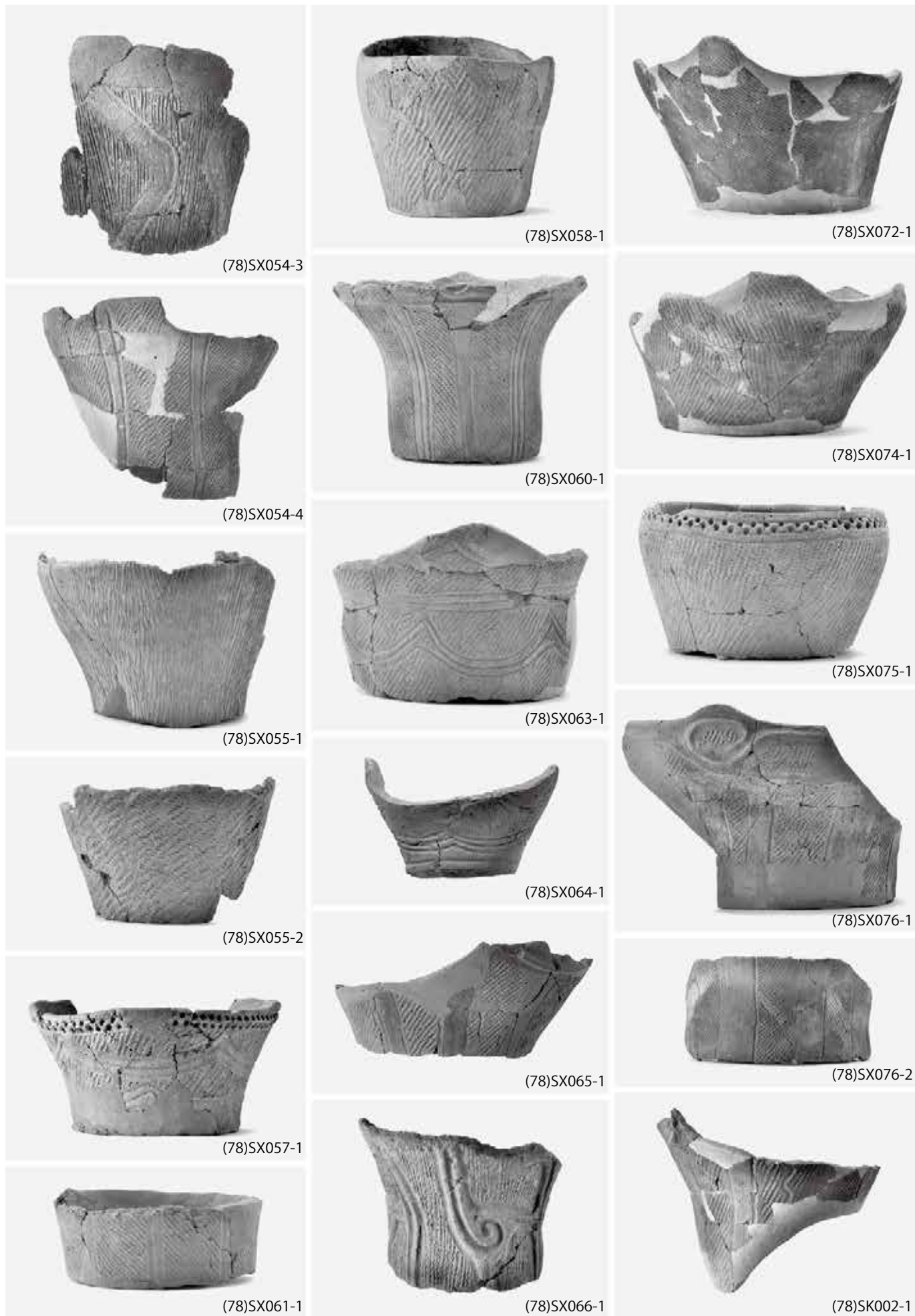


(78)SX051-1



(78)SX054-2

縄文時代炉跡出土土器(3)



縄文時代炉跡出土土器(4)・土坑等出土土器(1)



(78)SK002-2



(78)SK023-2



(78)SK029-1



(78)SK004-1



(78)SK023-3



(78)SK023-1



(78)SK029-2



(78)SK023-1



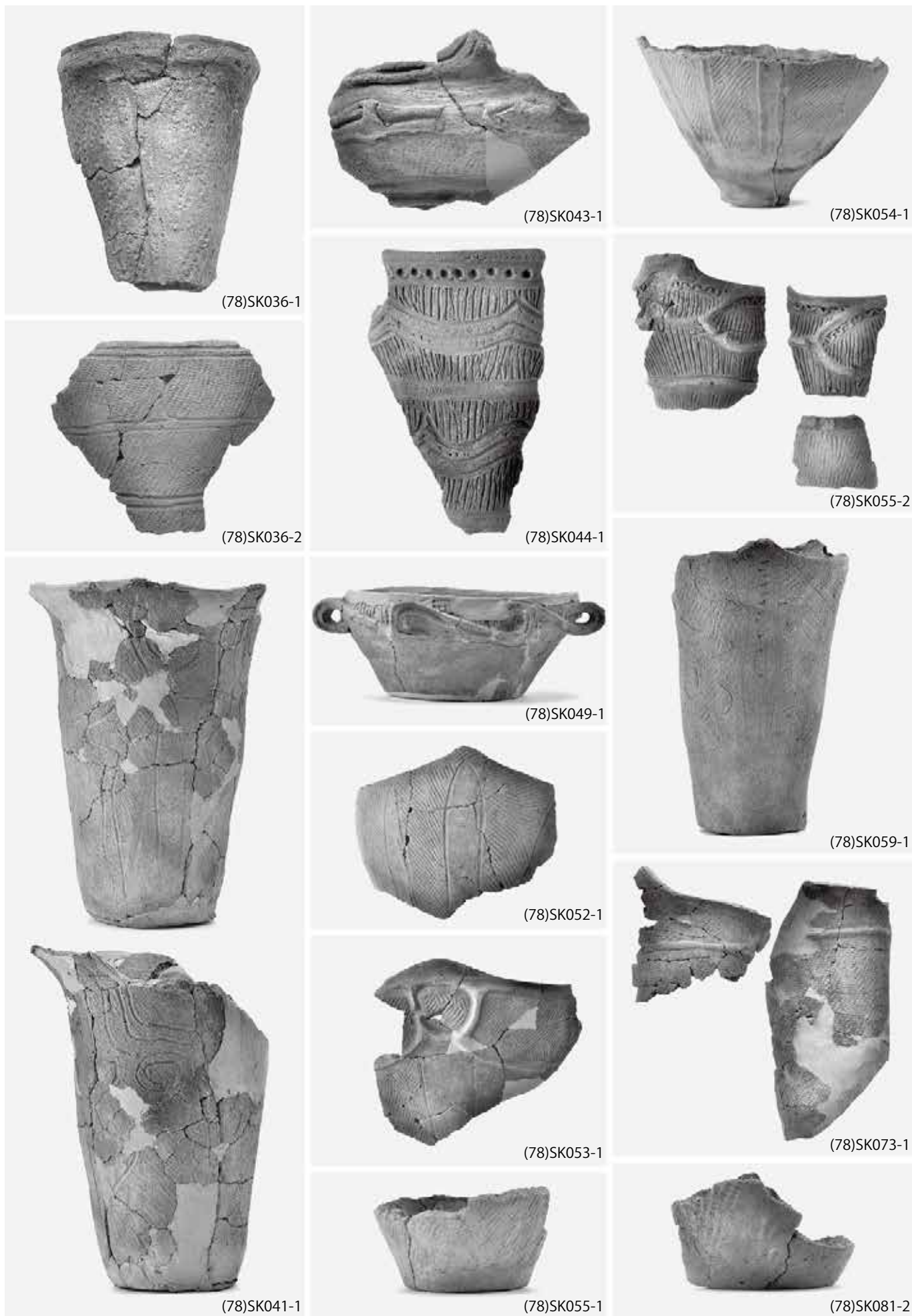
(78)SK023-4



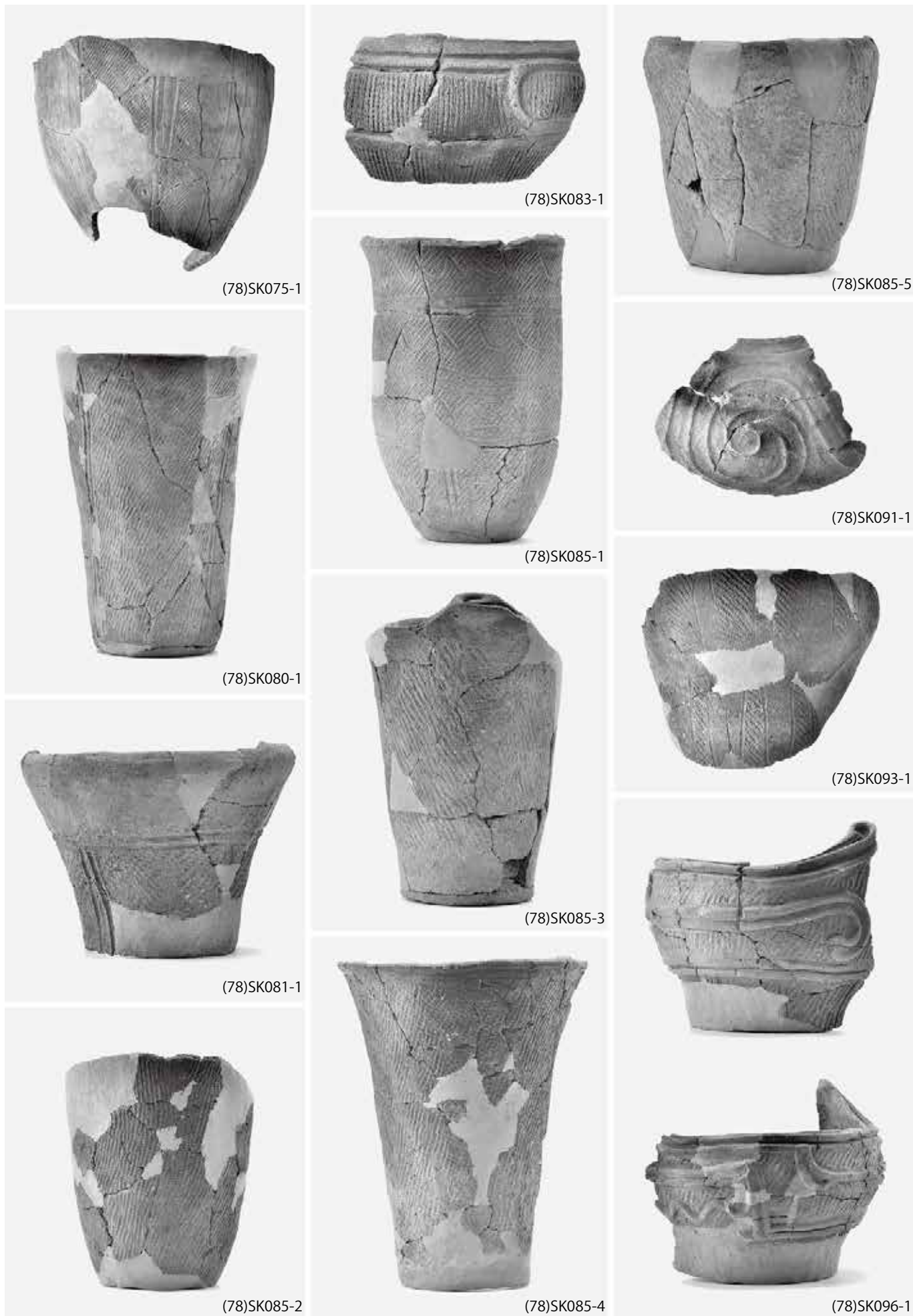
(78)SK031-1



(78)SK031-2



縄文時代土坑等出土土器(3)



縄文時代土坑等出土土器(4)



(78)SK099-1



(78)SK107-2



(78)SK107-4



(78)SK103-1



(78)SK107-6



(78)SK107-7



(78)SK106-1



(78)SK107-3



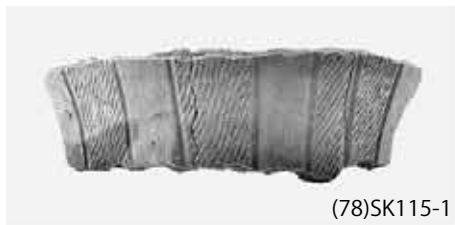
(78)SK107-1



(78)SK107-5



(78)SK112-1



(78)SK115-1



(78)SK134-2



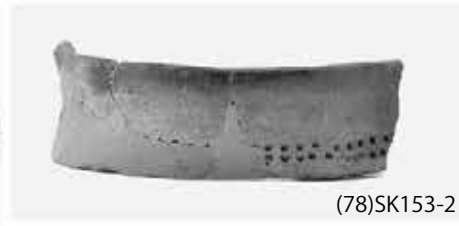
(78)SK153-1



(78)SK116-1



(78)SK135-1



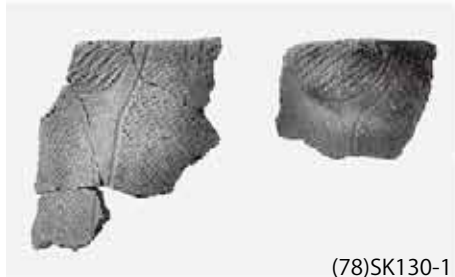
(78)SK153-2



(78)SK117-1



(78)SK155-1



(78)SK130-1



(78)SK145-1



(78)SK157-1



(78)SK134-1



(78)SK146-1



(78)SK175-1



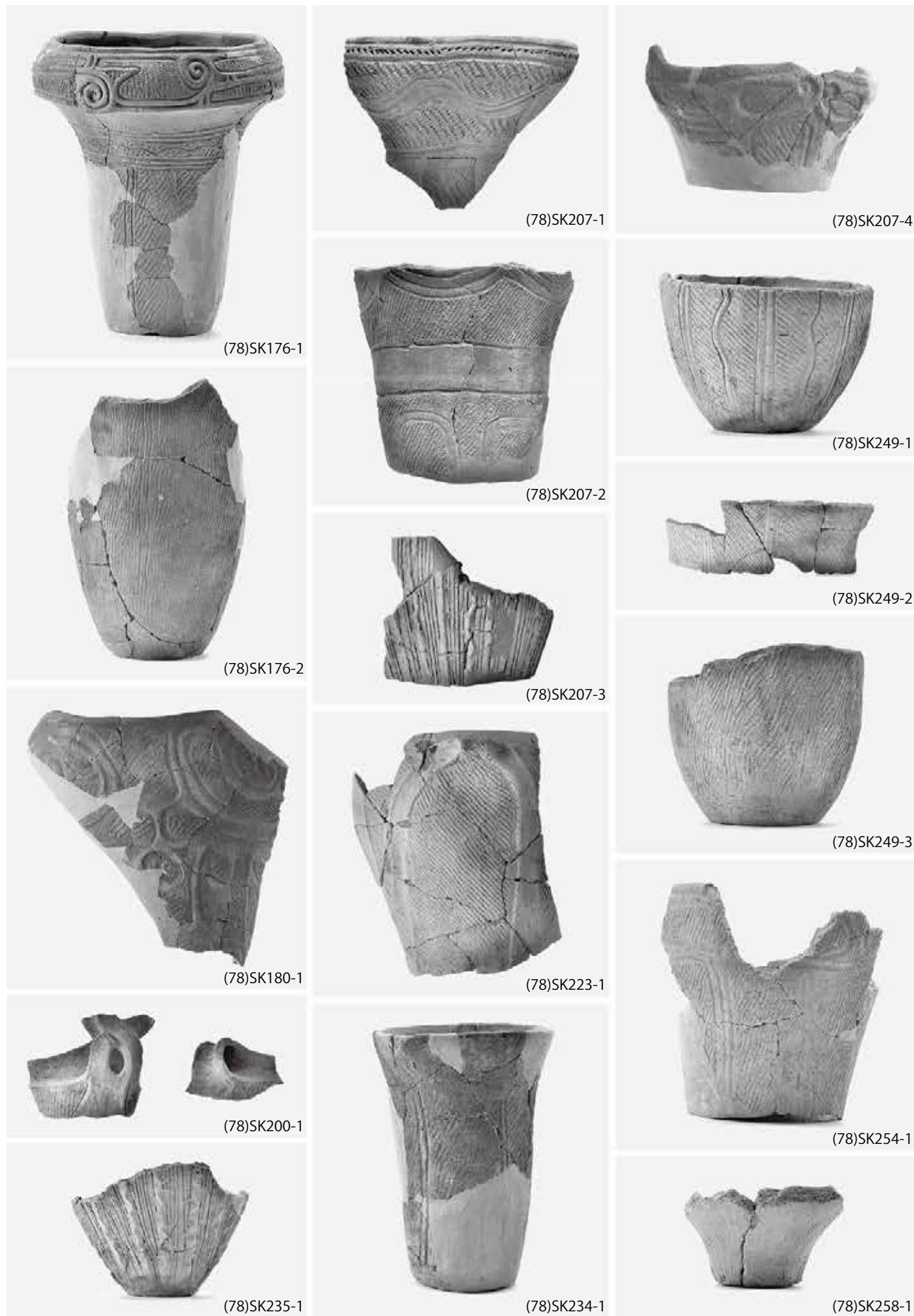
(78)SK134-3



(78)SK146-2



(78)SK182-1



縄文時代土坑等出土土器(7)





(78)SK258-2



(78)SK284-1



(78)SK290-1



(78)SK258-3



(78)SK286-1



(78)SK298-1



(78)SK258-4



(78)SK286-2



(78)SK304-1



(78)SK269-1



(78)SK279-1



(78)SK286-3



(78)SK304-2



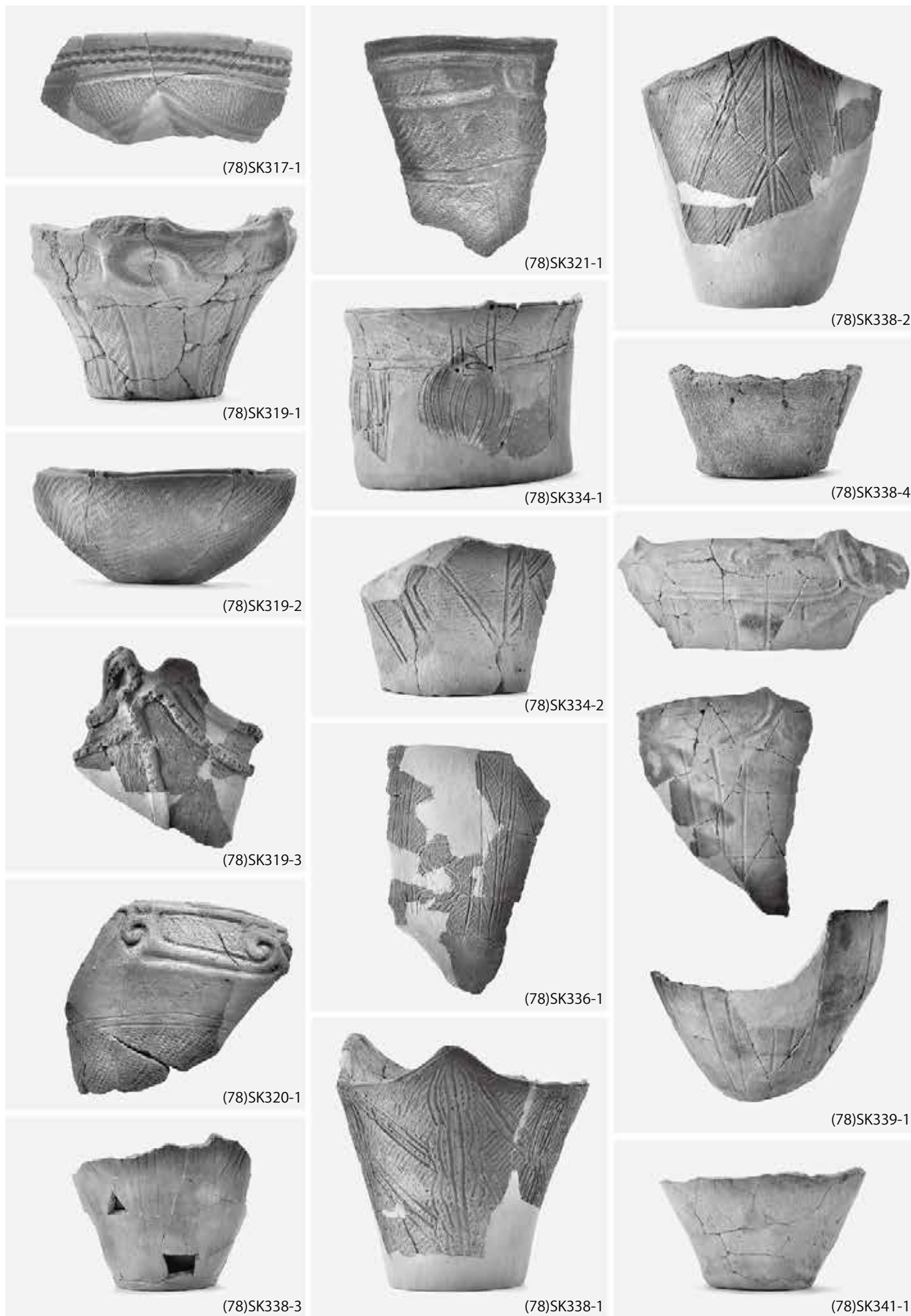
(78)SK279-2



(78)SK281-1



(78)SK293-1



縄文時代土坑等出土土器(9)



(78)SK340-1



(78)SK351-1



(78)SK384-1



(78)SK340-2



(78)SK351-2



(78)SK384-3



(78)SK340-3



(78)SK383-1



(78)SK383-2



(78)SK376-1



(78)SK384-2



(78)SK396-1



(78)SK389-1



(78)SK396-7



(78)SK396-8



(78)SK396-2



(78)SK406-1



(78)SK414-1



(78)SK396-3



(78)SK410-1



(78)SK422-1



(78)SK396-4



(78)SK396-5



(78)SK410-2



(78)SK423-1



(78)SK396-6



(78)SK432-1



(78)SK437-1



(78)SK439-1



(78)SK439-2



(78)SK441-1



(78)SK441-2



(78)SK441-3



(78)SK441-4



(78)SK441-5



(78)SK441-6



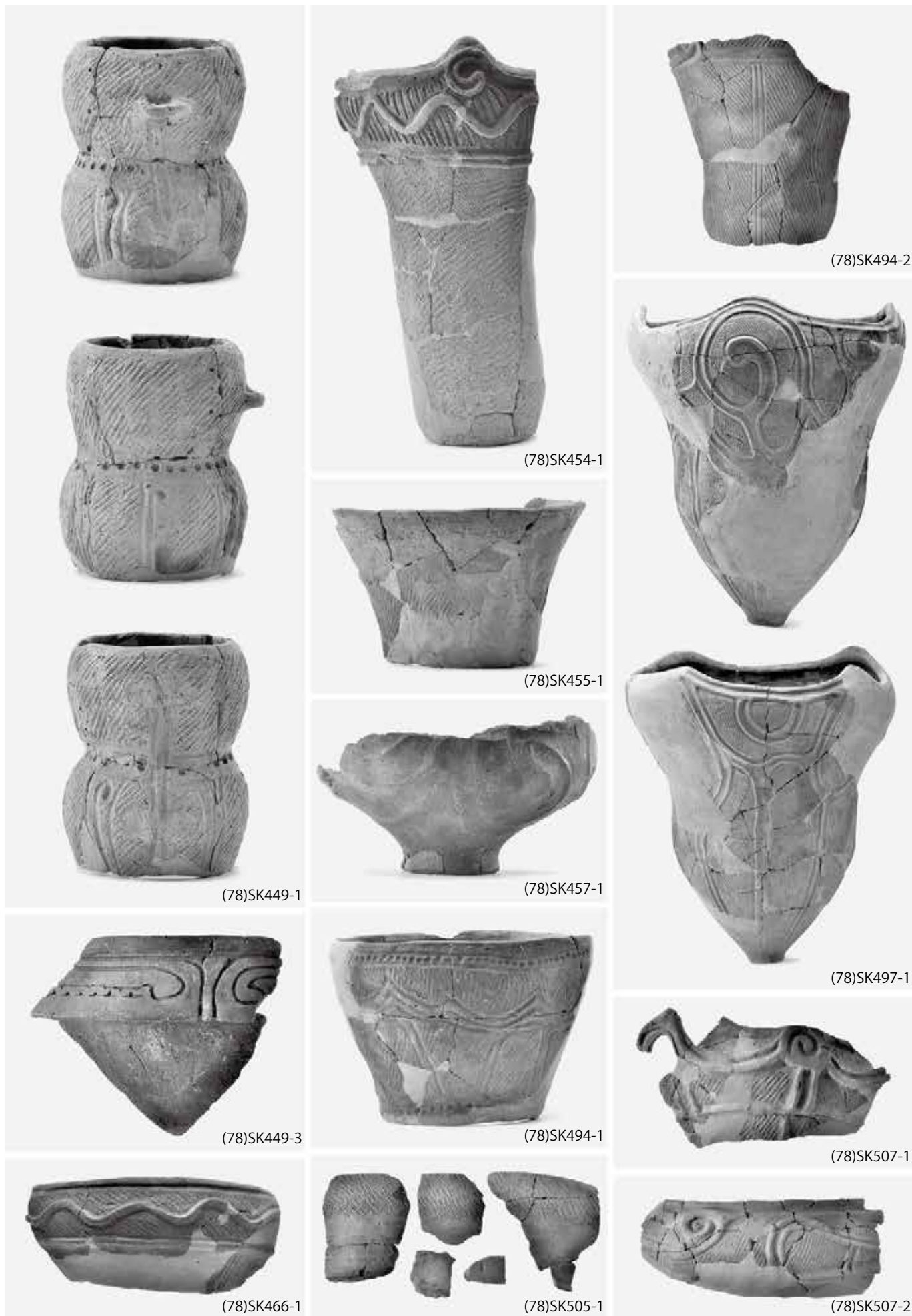
(78)SK445-1



(78)SK446-1



(78)SK449-2



縄文時代土坑等出土土器(13)



(78)SK510-1



(78)SK514-1



(78)SK543-1



(78)SK510-2



(78)SK518-1



(78)SK543-2



(78)SK510-3



(78)SK518-2



(78)SK543-3



(78)SK510-4



(78)SK551-1



(78)SK543-4



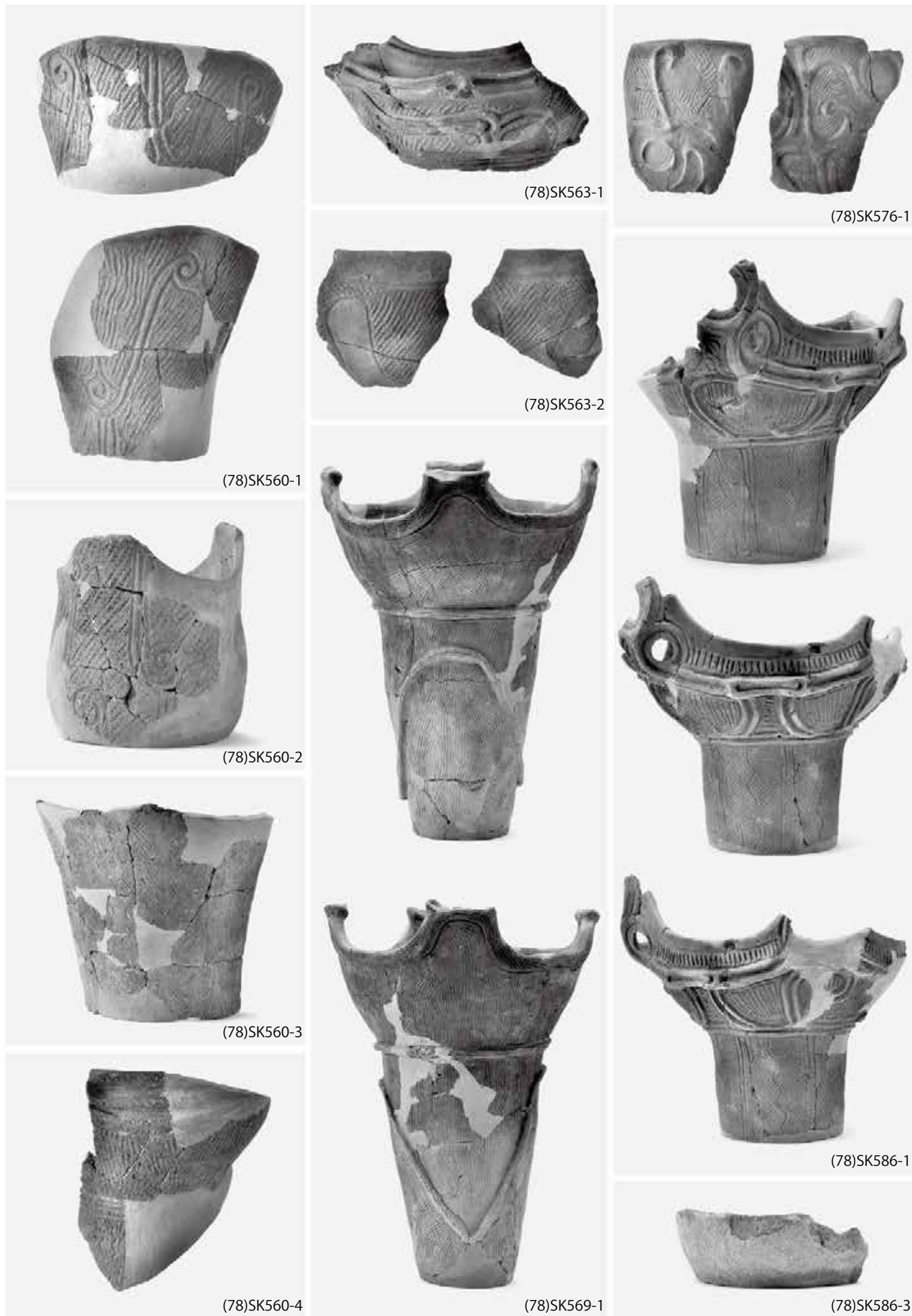
(78)SK555-1



(78)SK547-1



(78)SK547-2



縄文時代土坑等出土土器(15)





縄文時代土坑等出土土器(16)



縄文時代土坑等出土土器(17)



(78)SK645-1



(78)SK675-2



(78)SK681-1



(78)SK659-2



(78)SK677-1



(78)SK684-1



(78)SK659-3



(78)SK679-1



(78)SK688-1



(78)SK664-1



(78)SK679-2



(78)SK688-2



(78)SK675-1



(78)SK679-3



(78)SK691-1



縄文時代土坑等出土土器(19)



(78)SK716-1



(78)SK743-1



(78)SK758-4



(78)SK743-2



(78)SK758-5



(78)SK731-1



(78)SK746-1



(78)SK759-1



(78)SK731-2



(78)SK758-1



(78)SK759-2



(78)SK742-1



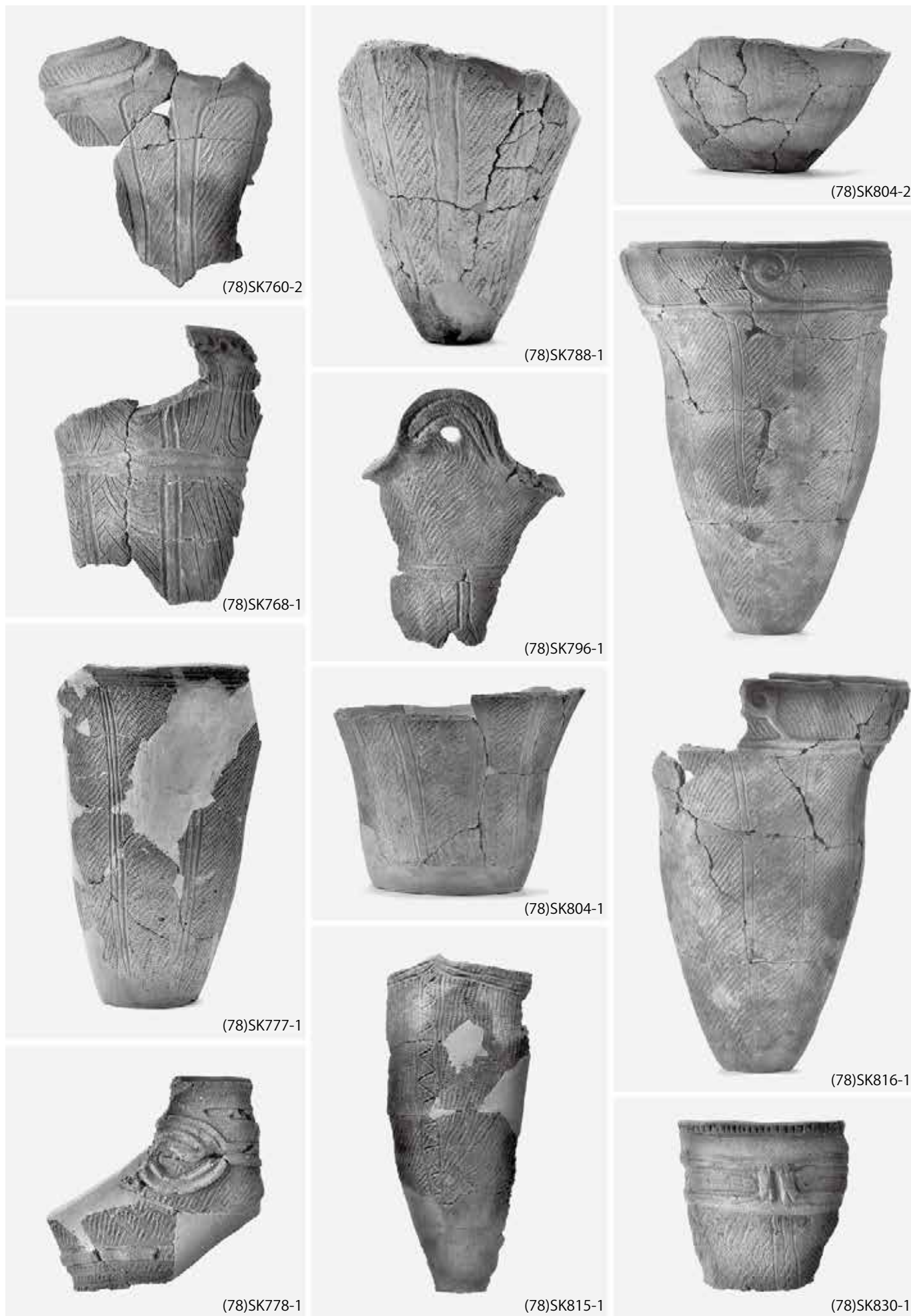
(78)SK758-3



(78)SK758-2



(78)SK760-1



縄文時代土坑等出土土器 (21)



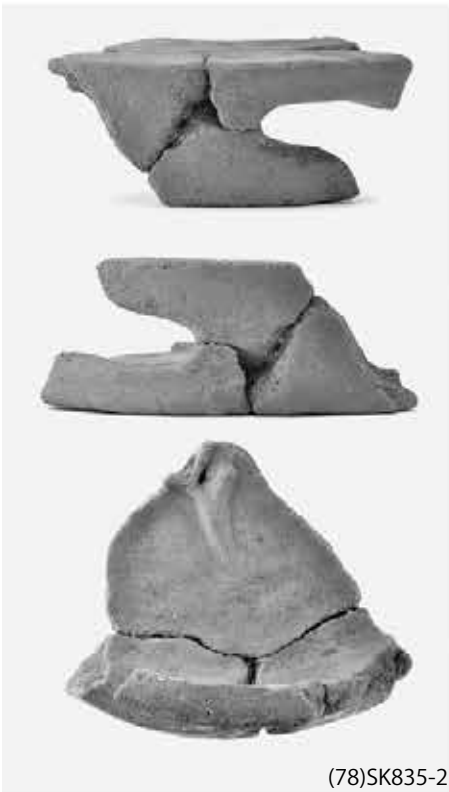
(78)SK835-1



(78)SK837-1



(78)SK855-1



(78)SK835-2



(78)SK837-2



(78)SK842-1



(78)SK835-3



(78)SK855-2



(78)SK835-4



(78)SK860-2



(78)SK860-1



(78)SK861-1



(78)SK867-1



(78)SK867-2



(78)SK881-1



(78)SK862-1



(78)SK869-1



(78)SK881-2



(78)SK863-1



(78)SK876-1



(78)SK884-1



(78)SK866-1



(78)SK918-1





(78)SK910-1



(78)SK927-1



(78)SK946-1



(78)SK921-1



(78)SK927-2



(78)SK946-2



(78)SK942-1



(78)SK946-3



(78)SK946-4



(78)SK919-1

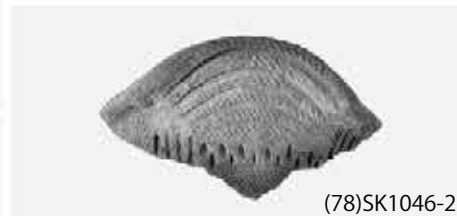


(78)SK946-5



(78)SK946-6





縄文時代土坑等出土土器(26)





(78)SK1107-2



(78)SK1107-7



(78)SK1129-1



(78)SK1107-3



(78)SK1107-8



(78)SK1149-1



(78)SK1107-4



(78)SK1119-1



(78)SK1162-1



(78)SK1107-6



(78)SK1119-2



(78)SK1162-2



(78)SK1173-1



(78)SK1176-1



(78)SK1185-1



(78)SK1186-1



(78)SK1198-1



(78)SK1206-1



(78)SK1219-1



(78)SK1220-1



(78)SK1206-2



(78)SK1231-1



(78)SK1226-1



(78)SK1226-2



(78)SK1226-3



(78)SK1226-4



(78)SK1244-1



(78)SK1247-1



(78)SK1250-1



(78)SK1290-1



(78)SK1248-1



(78)SK1250-3



(78)SK1289-1



(78)SK1249-1



(78)SK1254-1



(78)SK1310-1



(78)SK1249-2



(78)SK1265-1



(78)SK1312-1



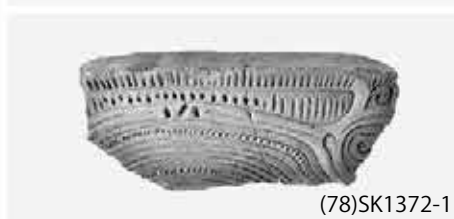
(78)SK1250-2



(78)SK1275-1



(78)SK1312-2



(78)SK1372-1



(78)SK1323-1



(78)SK1323-2



(78)SK1404-1



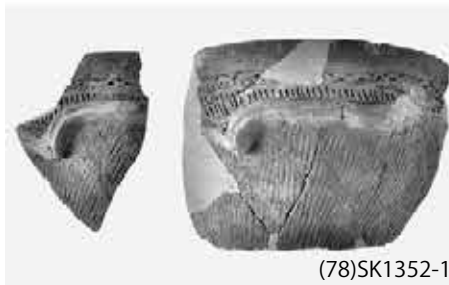
(78)SK1352-3



(78)SK1362-1



(78)SK1417-1



(78)SK1352-1



(78)SK1400-1



(78)SK1417-2



(78)SK1352-2



(78)SK1400-2



(78)SK1432-1





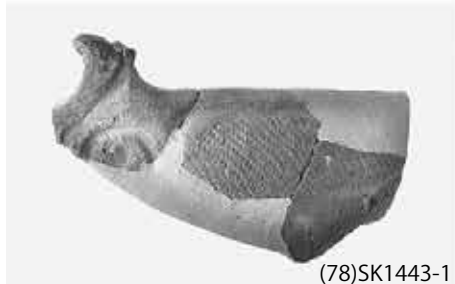
(78)SK1437-1



(78)SK1474-1



(78)SK1511-1



(78)SK1443-1



(78)SK1482-1



(78)SK1517-1



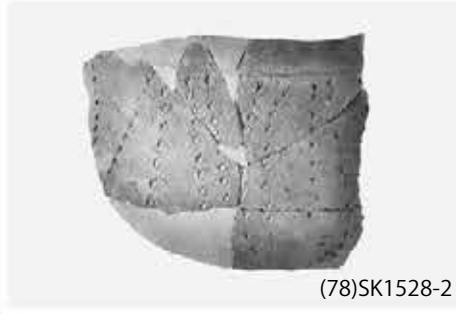
(78)SK1452-1



(78)SK1528-1



(78)SK1507-1



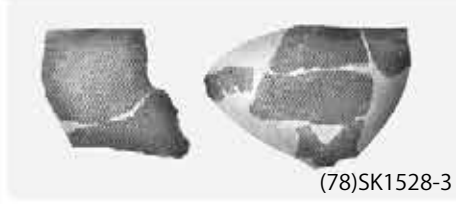
(78)SK1528-2



(78)SK1452-1



(78)SK1508-1



(78)SK1528-3



(78)SK1485-1



(78)SK1512-1



(78)SK1528-5



(78)SK1528-4



(78)SK1537-1



(78)SK1550-2



(78)SK1563-1



(78)SK2013-1



(78)SK1550-1



(78)SK1550-3



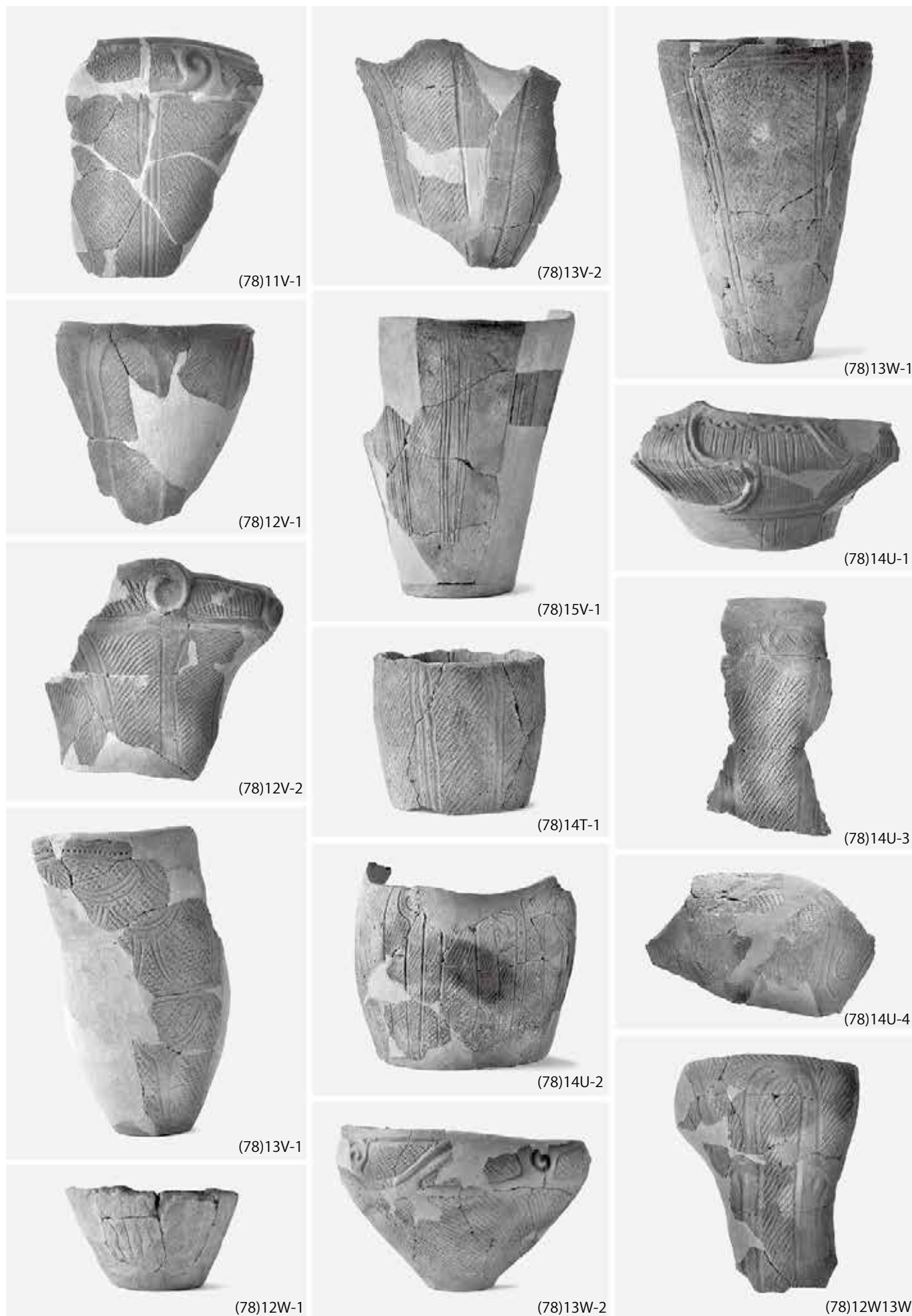
(78)14V-1



(78)14V-2



(78)14V-3



縄文時代遺構外出土土器(2)

(78)SI001-(1)



(78)SI002-(2)



(78)SI002-(1)



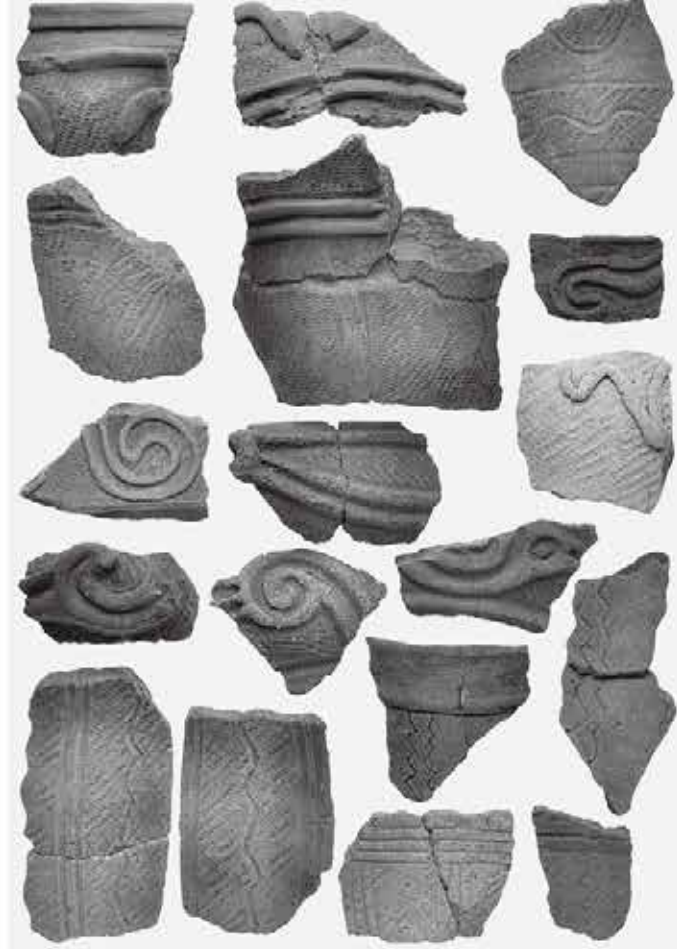
(78)SI007-(1)



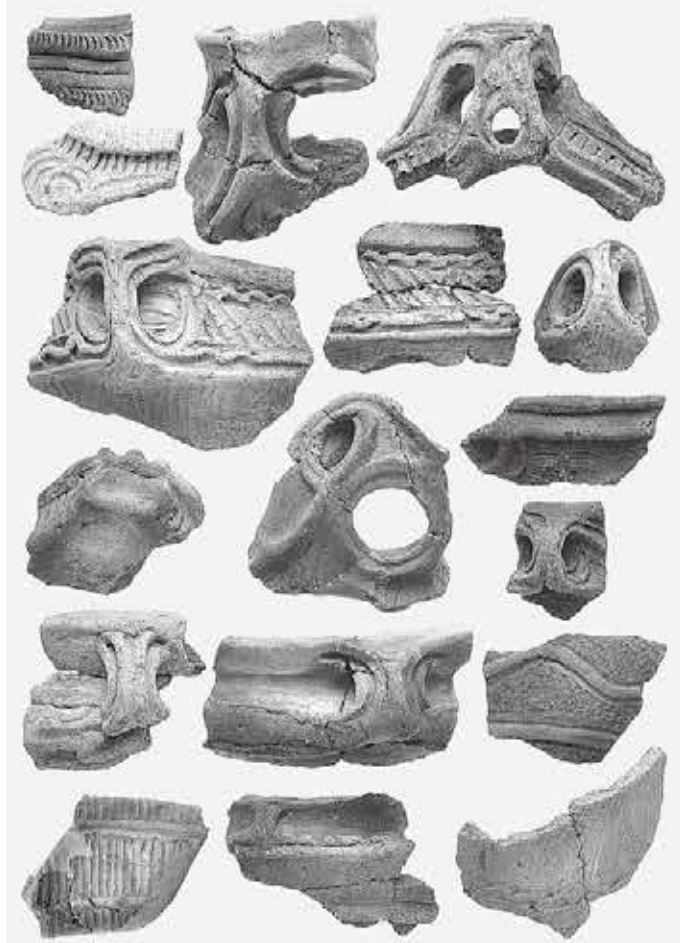
(78)SI002-(3)



(78)SI002-(4)



(78)SI005-(1)



(78)SI005-(2)



(78)SI008-(1)



(78)SI008-(2)



(78)SI009-(1)



(78)SI010-(1)



(78)SI011-(1)



(78)SI012-(1)



(78)SI014-(1)



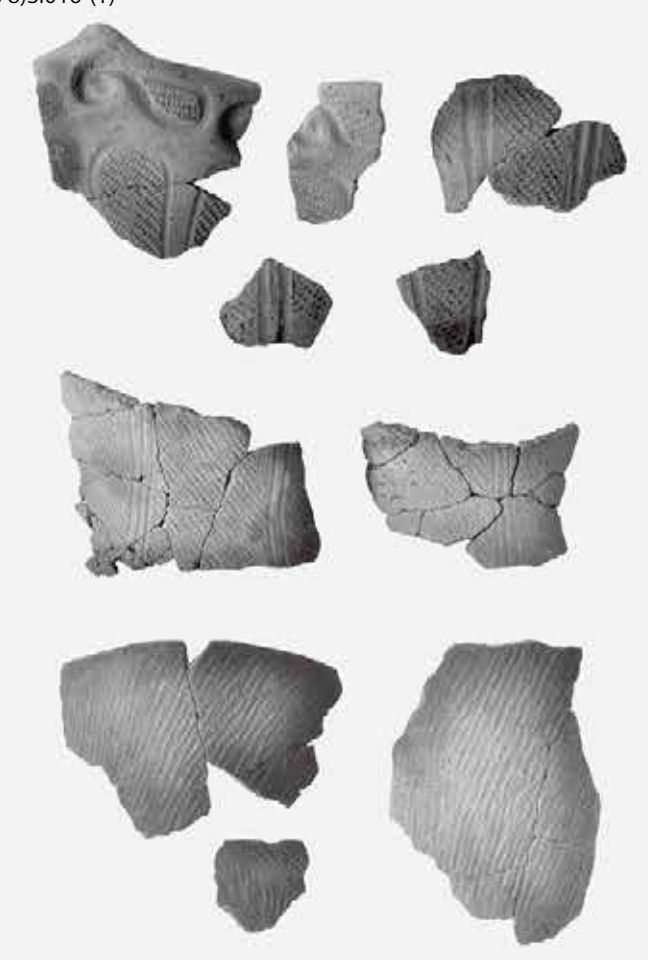
(78)SI013-(1)



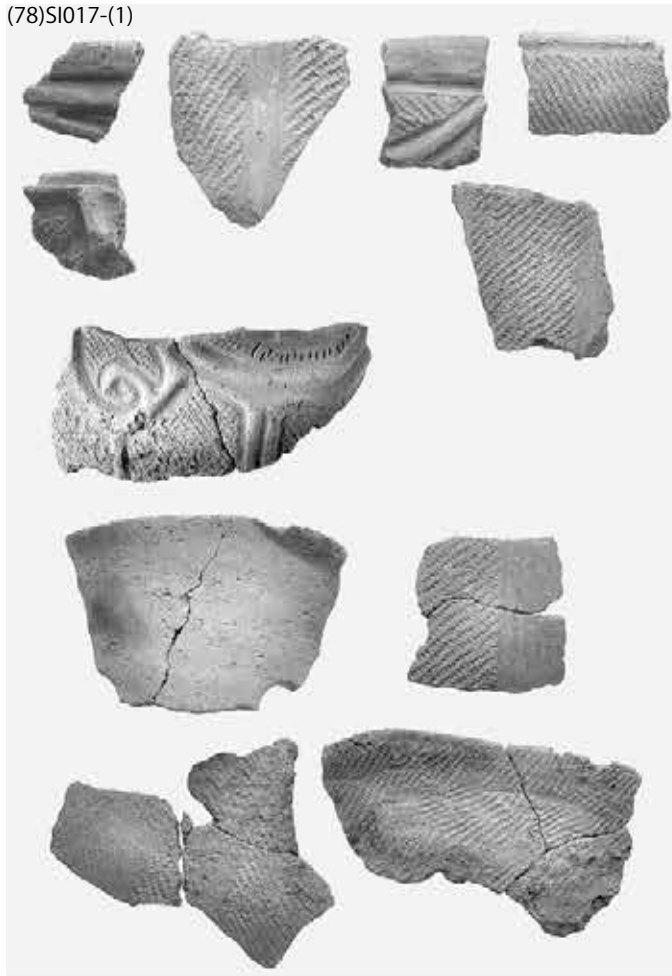
(78)SI015-(1)



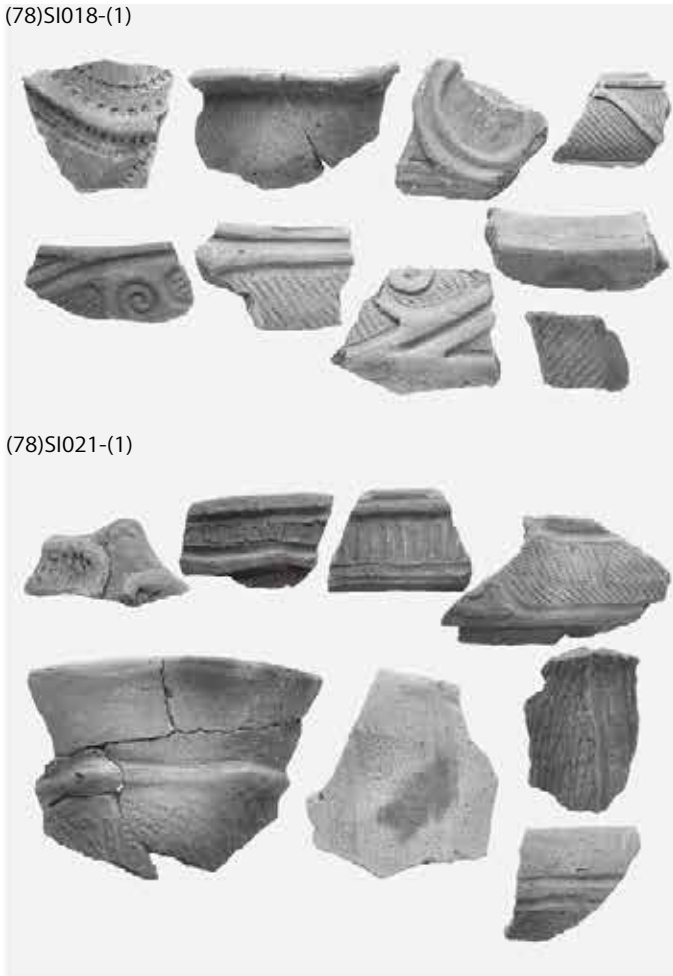
(78)SI016-(1)



(78)SI017-(1)



(78)SI018-(1)



(78)SI021-(1)



(78)SI019-(1)



(78)SI020-(1)



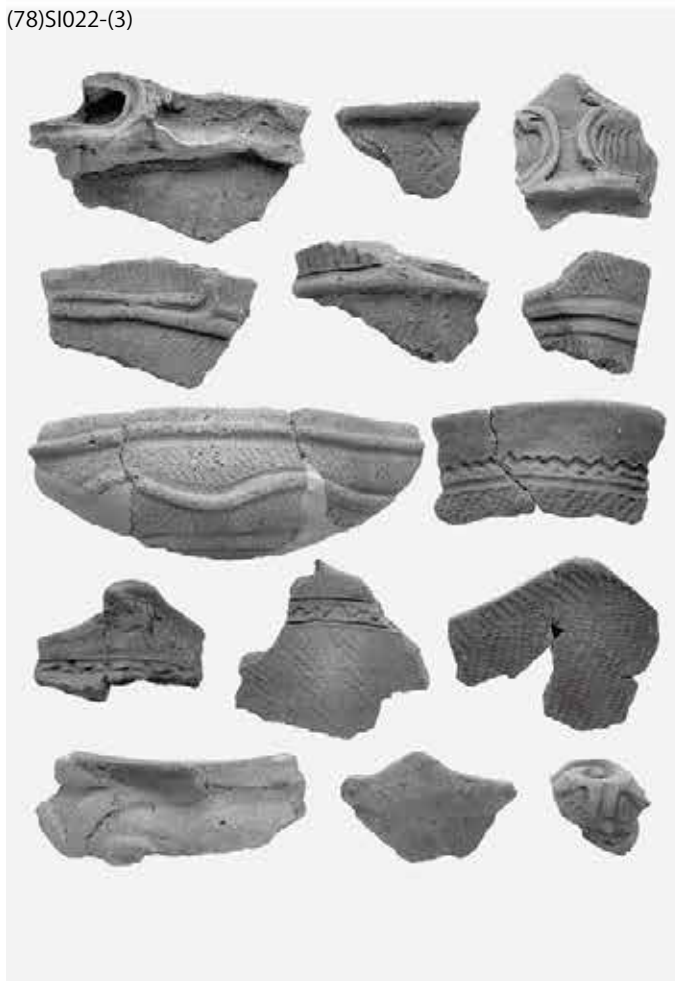
(78)SI022-(1)



(78)SI022-(2)



(78)SI022-(3)

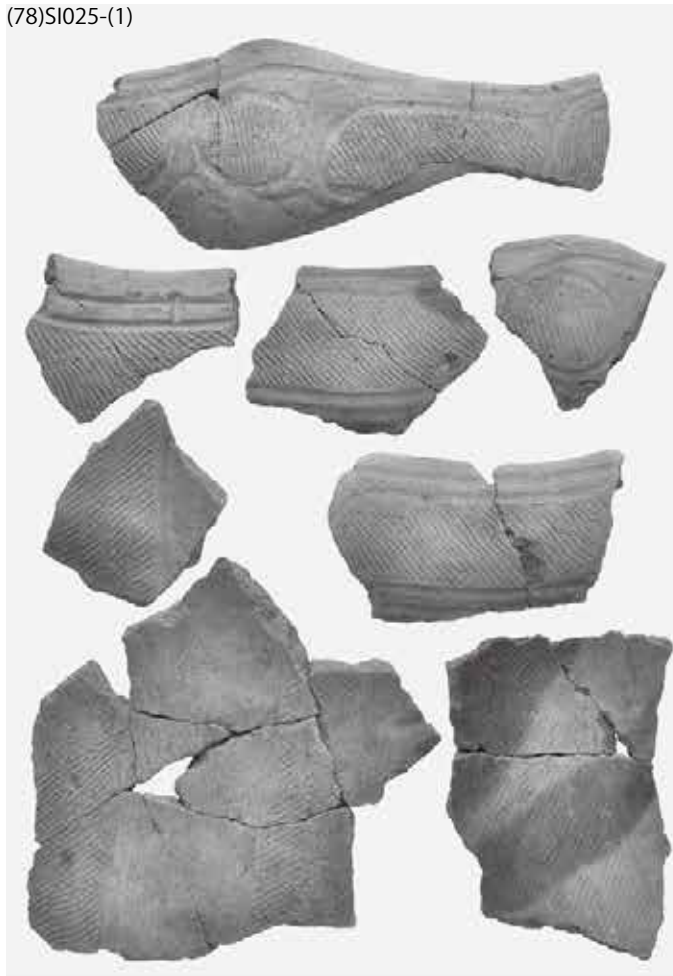


(78)SI024-(1)





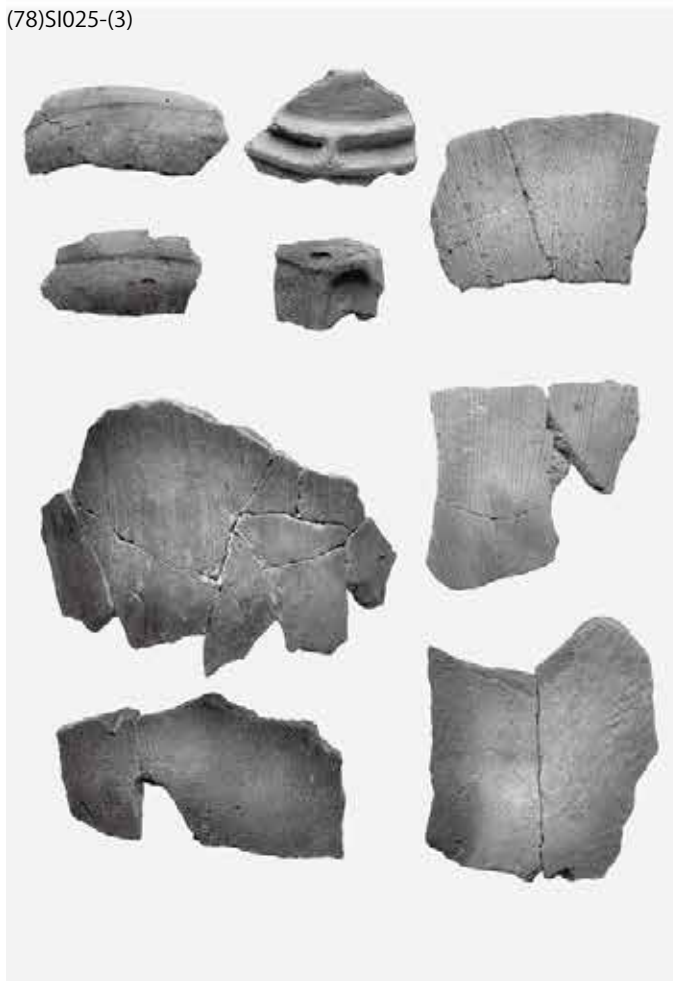
(78)SI025-(1)



(78)SI025-(2)



(78)SI025-(3)



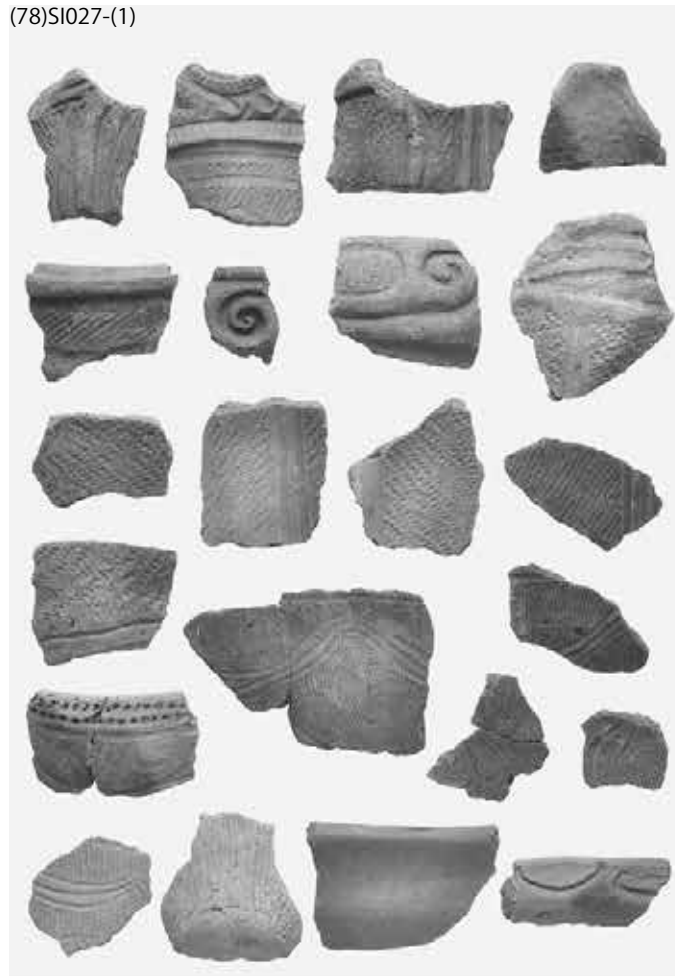
(78)SI026-(1)



(78)SI028-(1)



(78)SI027-(1)



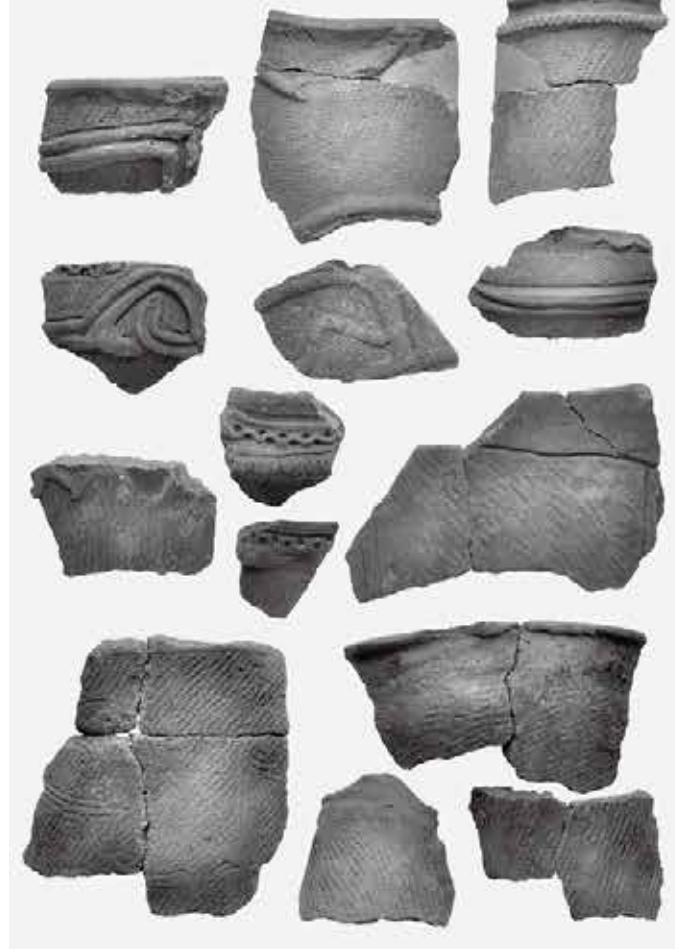
(78)SI029-(1)



(78)SI030-(1)



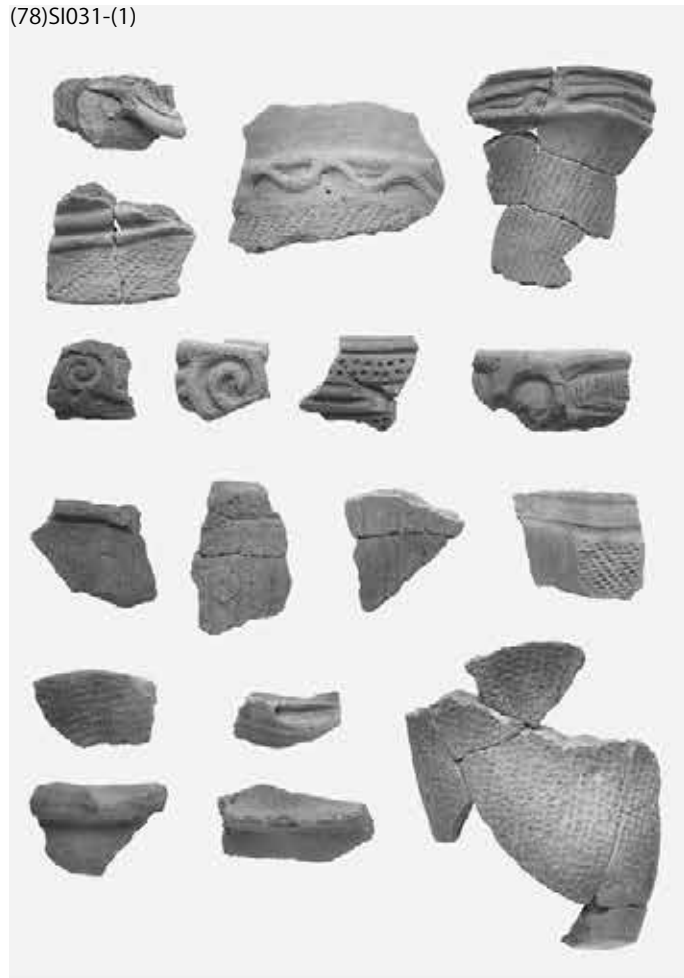
(78)SI030-(2)



(78)SI030-(3)



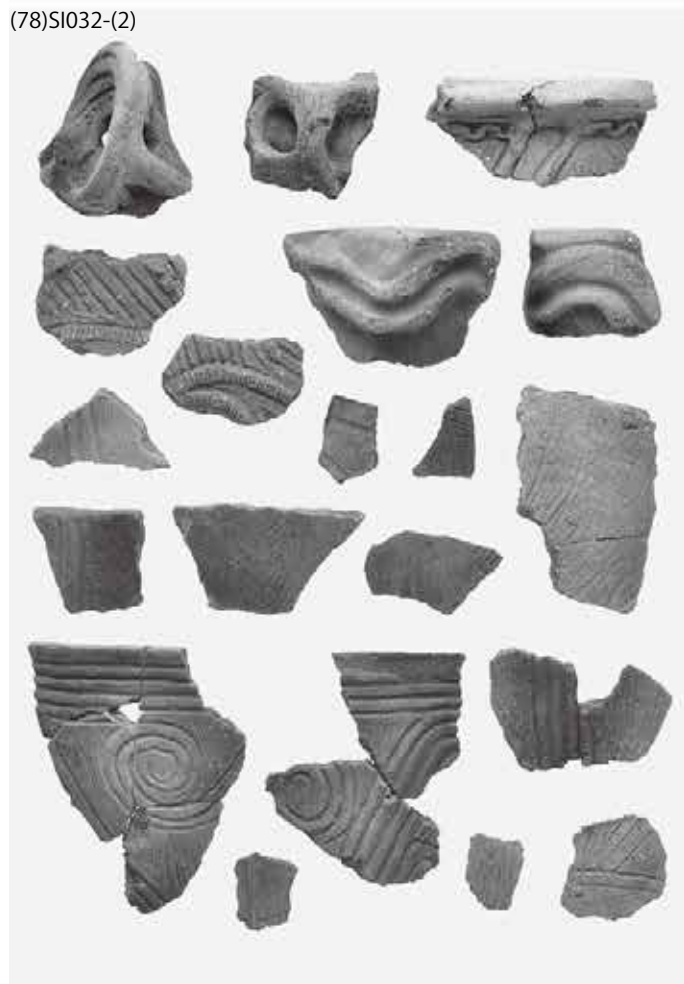
(78)SI031-(1)



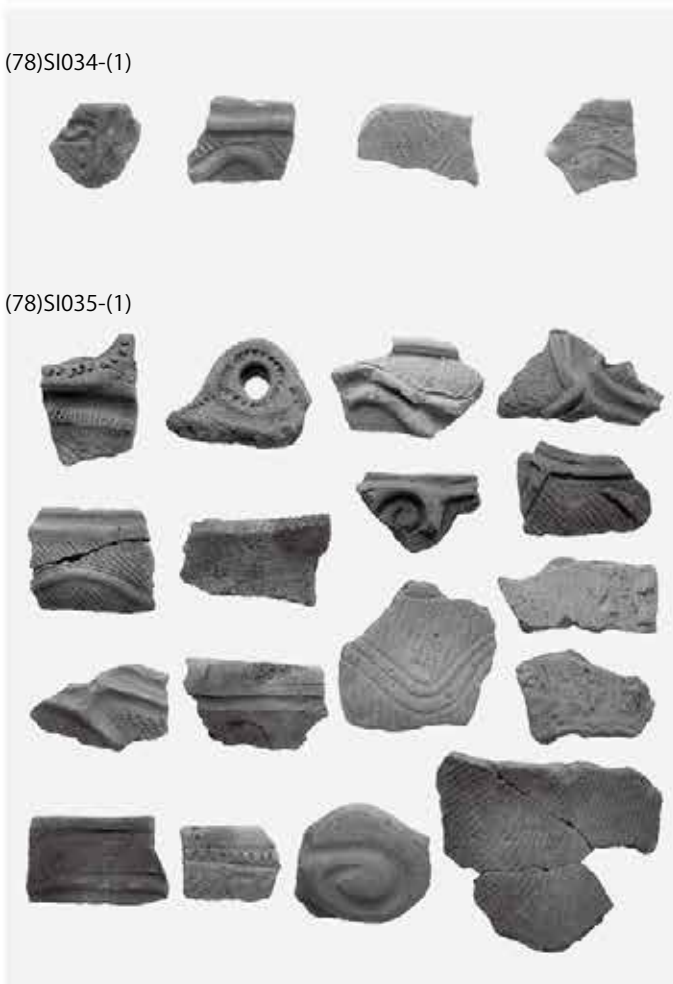
(78)SI032-(1)



(78)SI032-(2)



(78)SI034-(1)

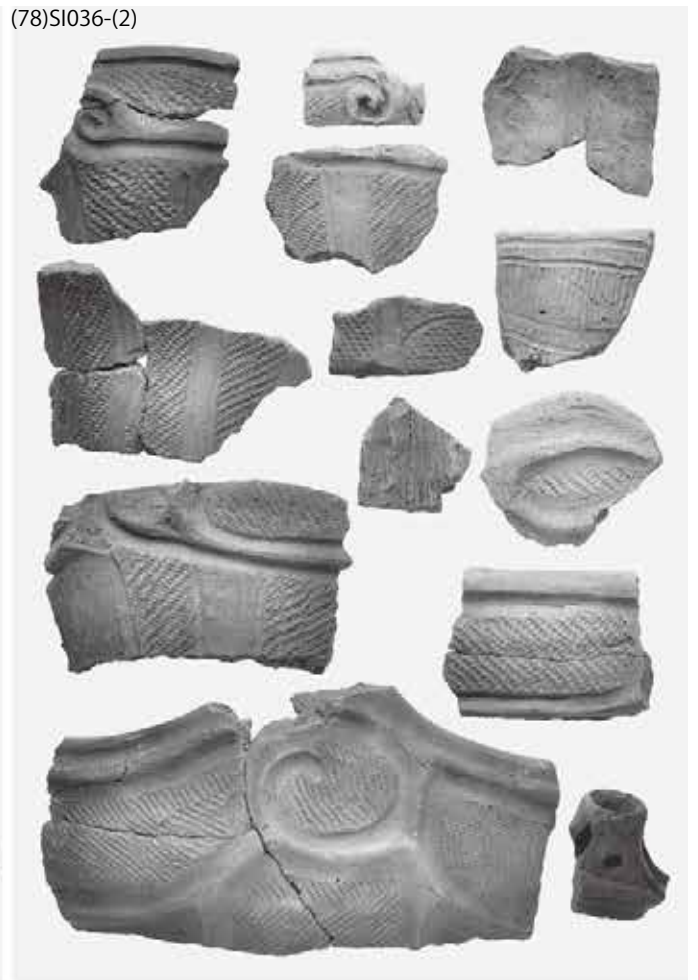


(78)SI035-(1)

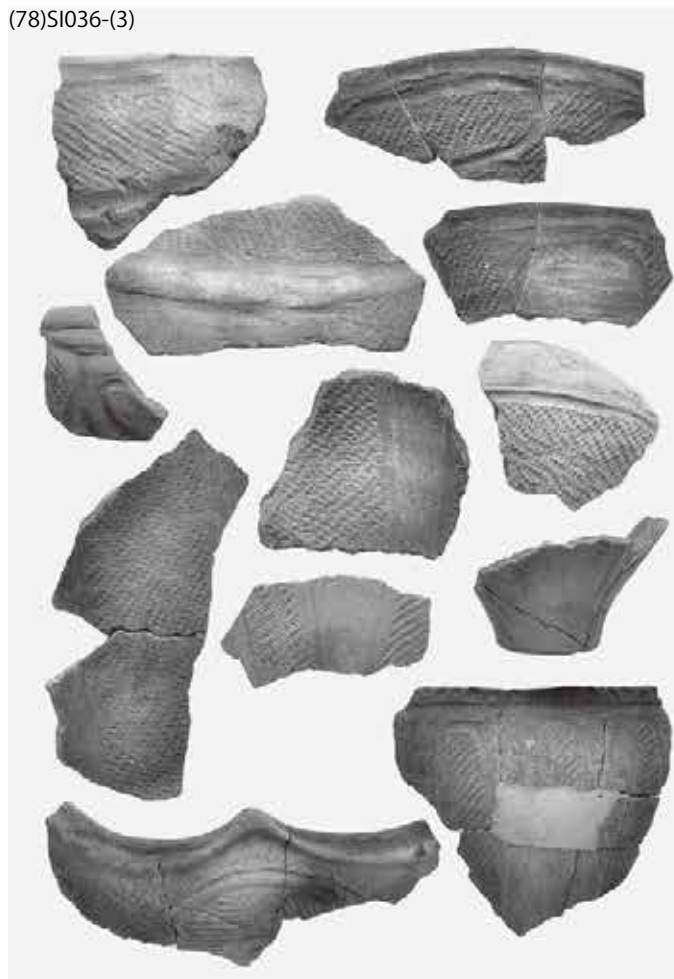
(78)SI036-(1)



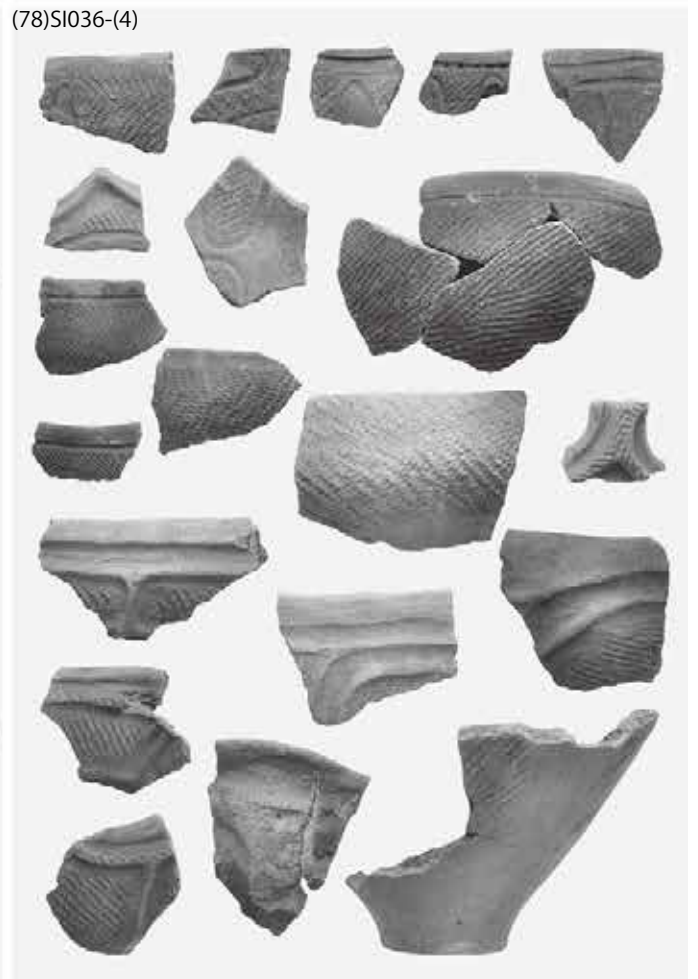
(78)SI036-(2)



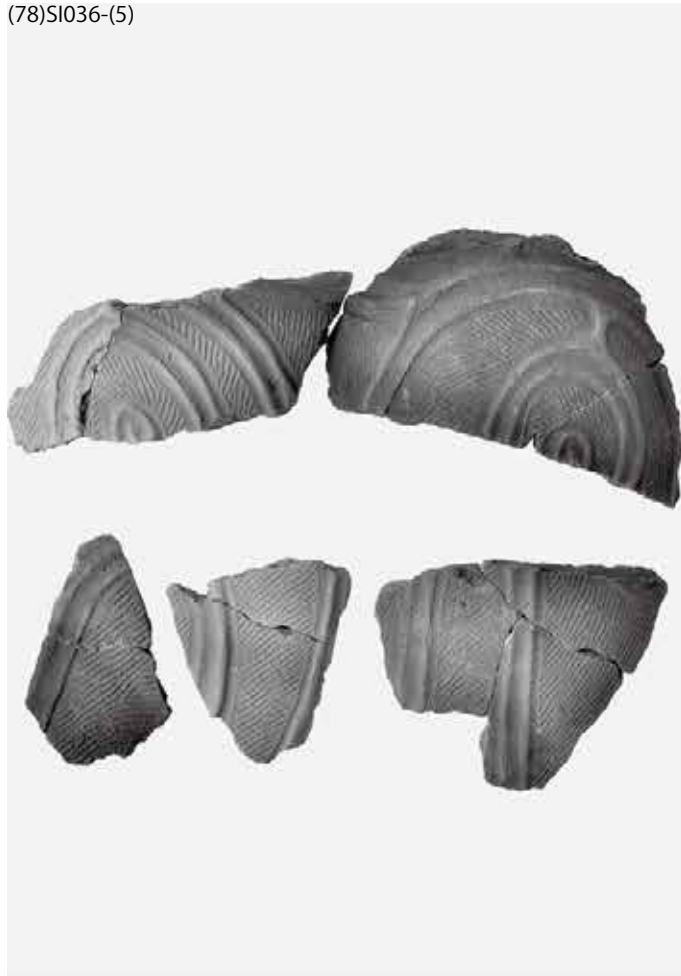
(78)SI036-(3)



(78)SI036-(4)



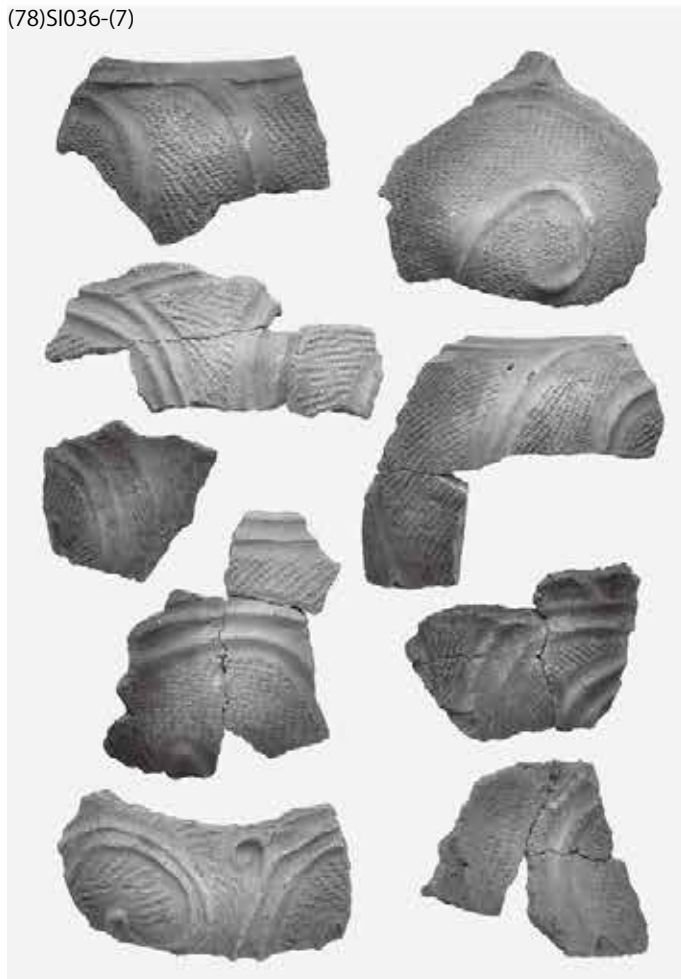
(78)SI036-(5)



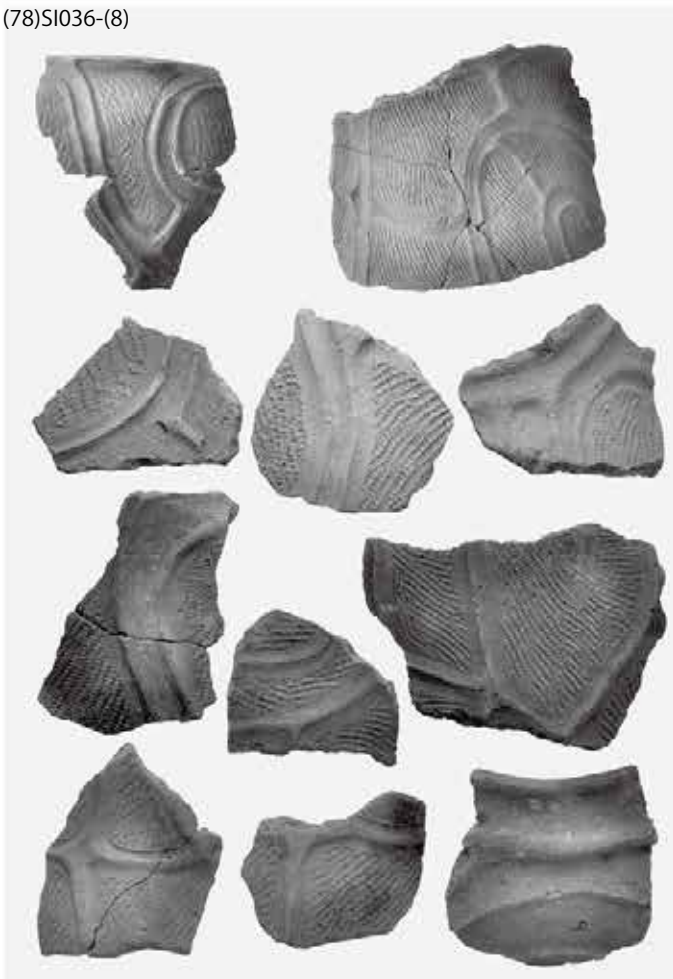
(78)SI036-(6)



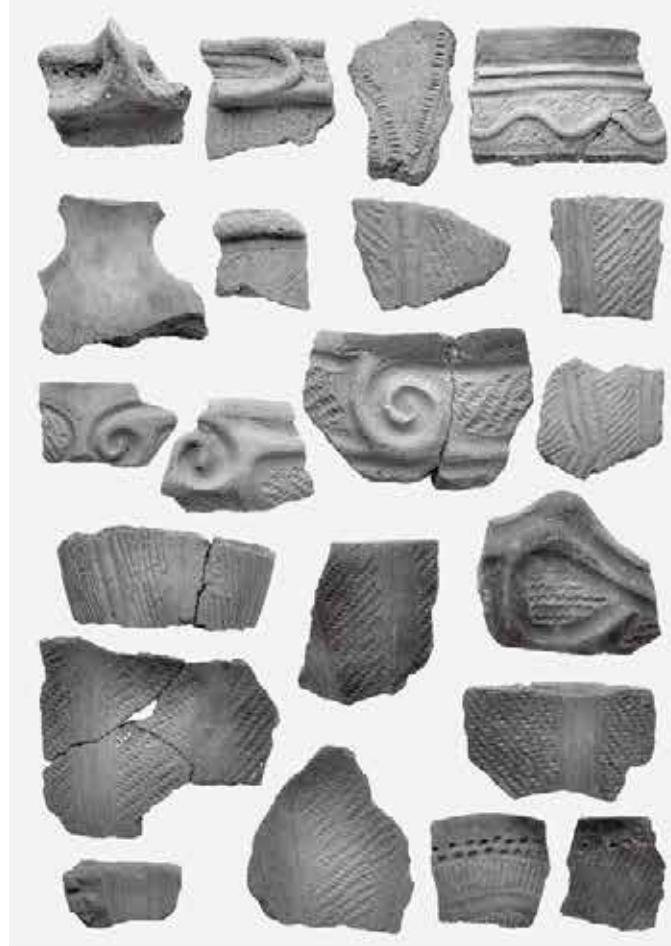
(78)SI036-(7)



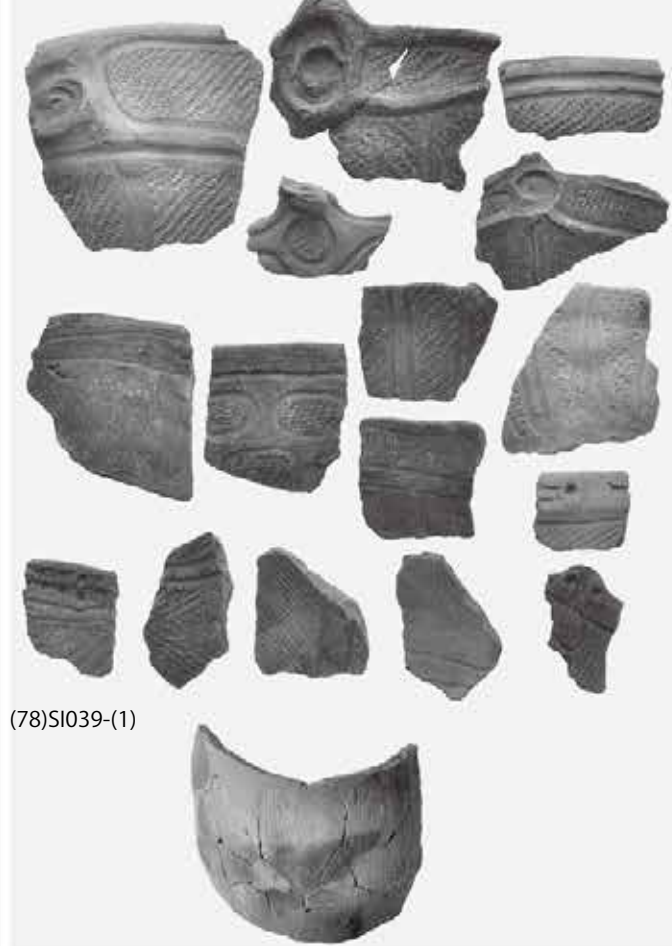
(78)SI036-(8)



(78)SI037-(1)



(78)SI038-(1)



(78)SI039-(1)



(78)SI040-(1)



(78)SI040-(2)



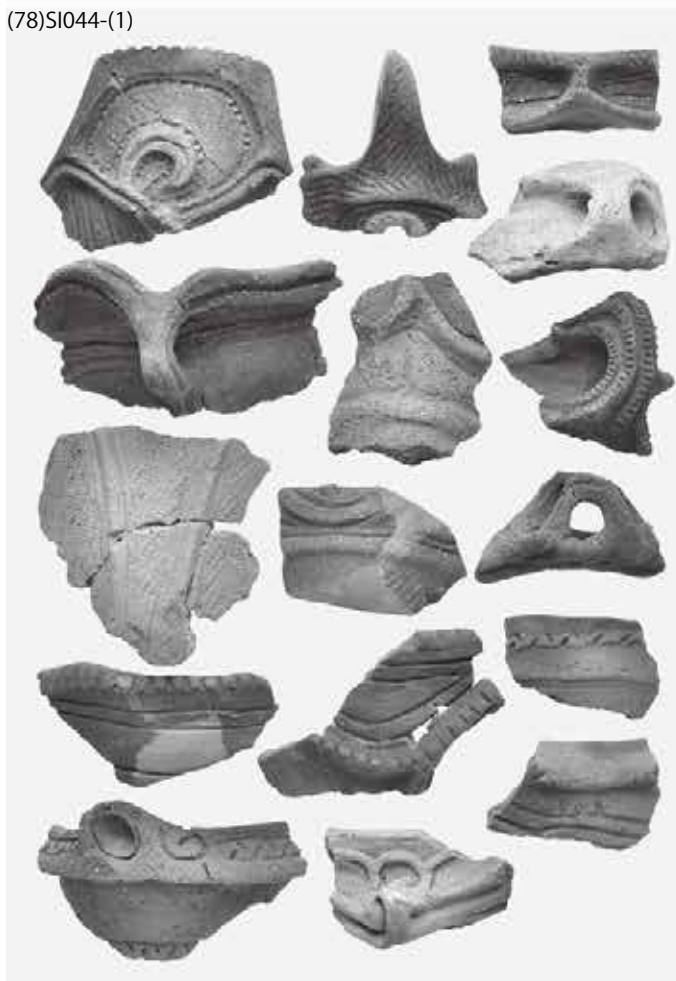
(78)SI042-(1)



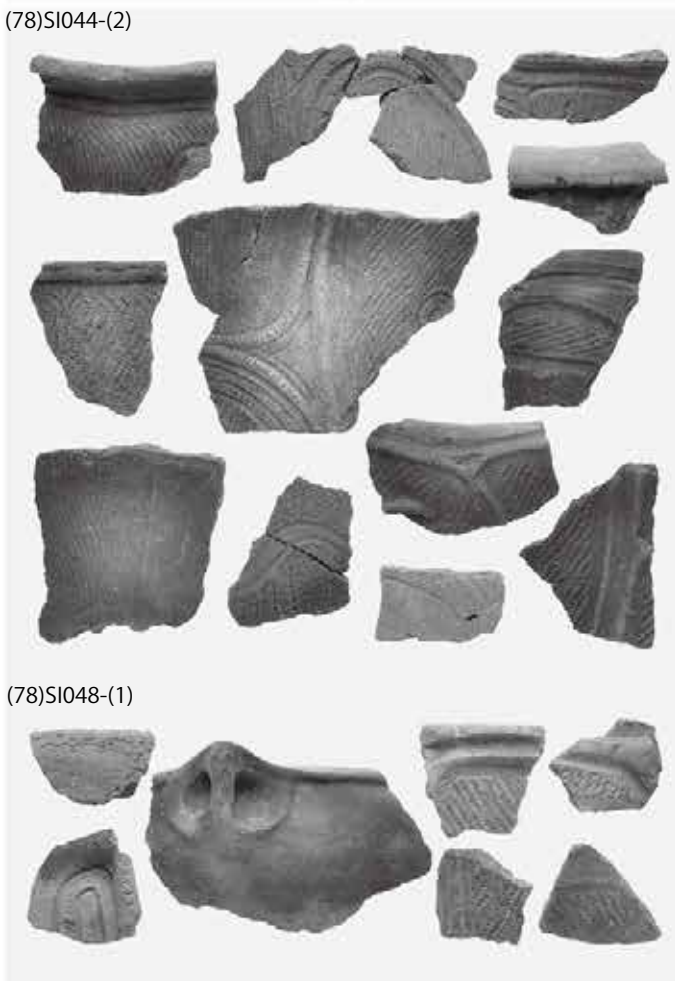
(78)SI042-(2)



(78)SI044-(1)



(78)SI044-(2)



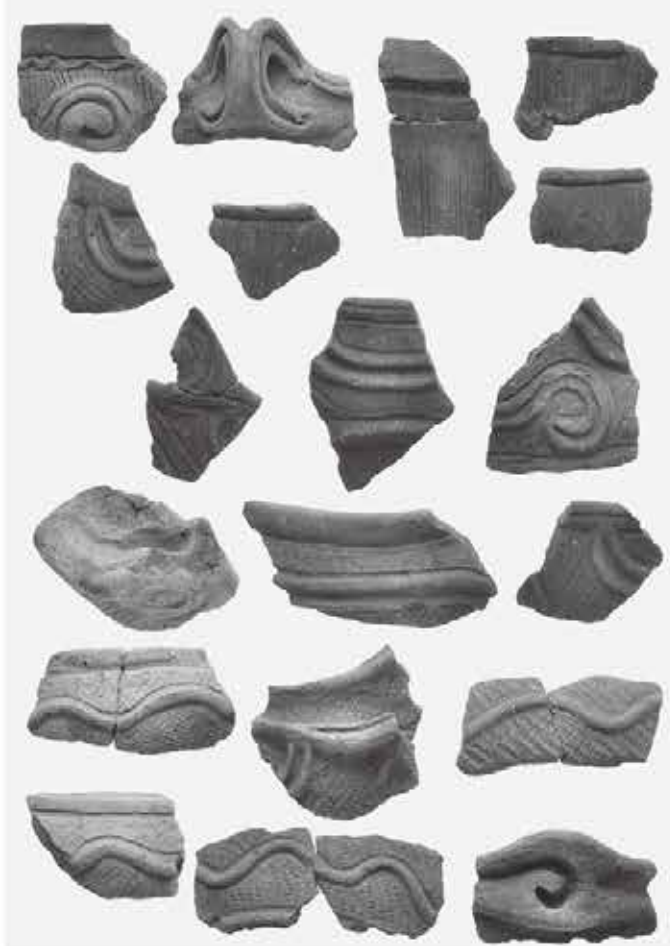
(78)SI048-(1)



(78)SI046-(1)



(78)SI050-(2)



(78)SI050-(1)



(78)SI050-(3)



(78)SI050-(4)



(78)SI051-(1)





(78)SI051-(2)



(78)SI053-(1)



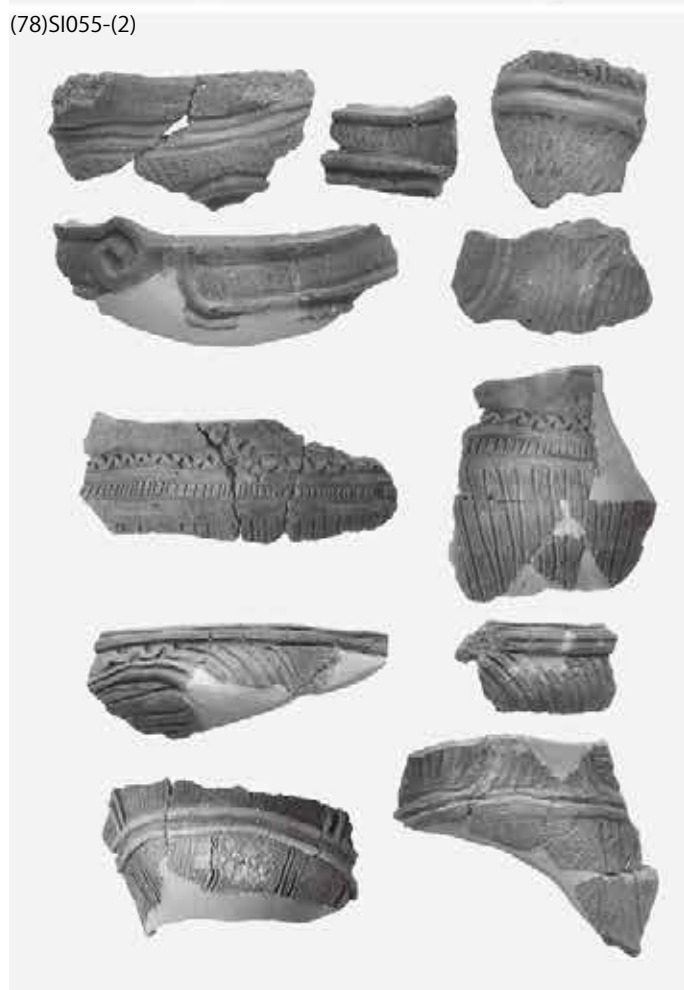
(78)SI054-(1)



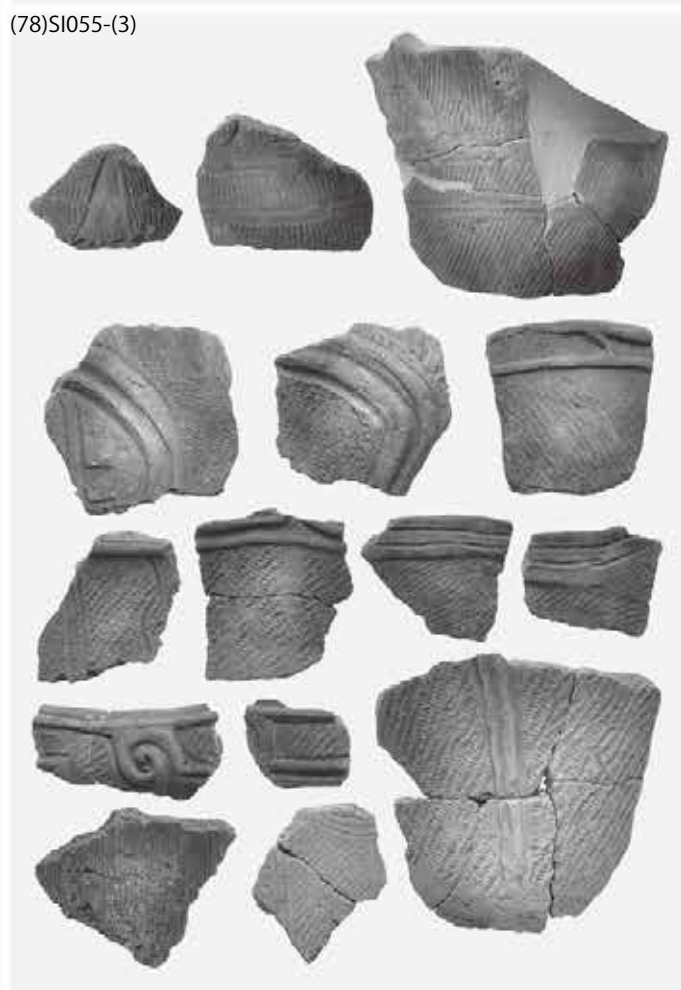
(78)SI055-(1)



(78)SI055-(2)



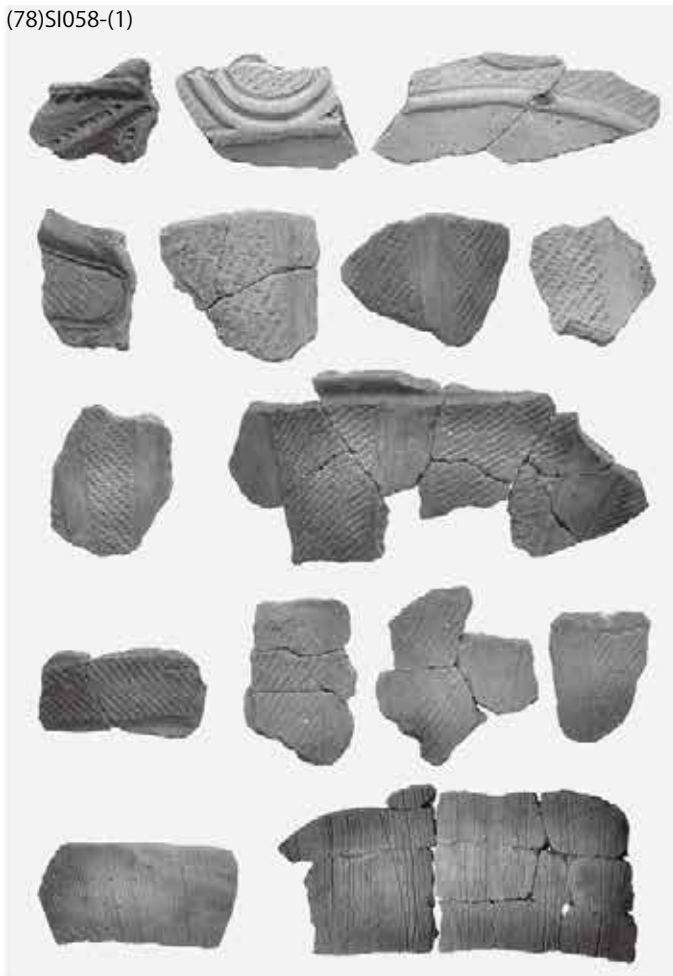
(78)SI055-(3)



(78)SI055-(4)



(78)SI058-(1)



(78)SI056-(1)



(78)SI057-(1)



(78)SI059-(1)



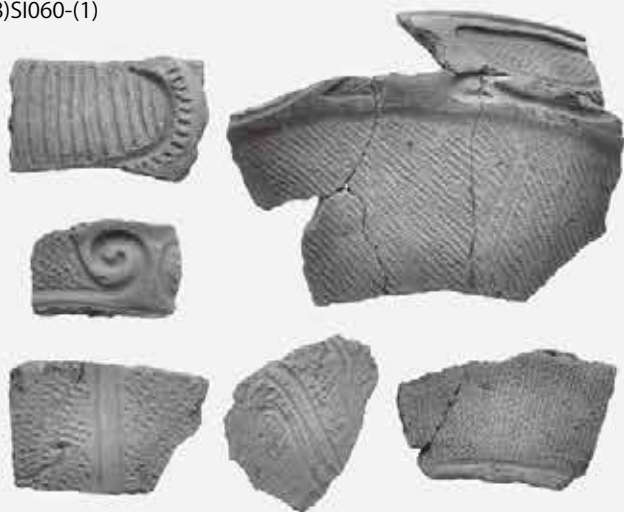
(78)SI059-(2)



(78)SI059-(3)



(78)SI060-(1)



(78)SI061-(1)



(78)SI100-(2)



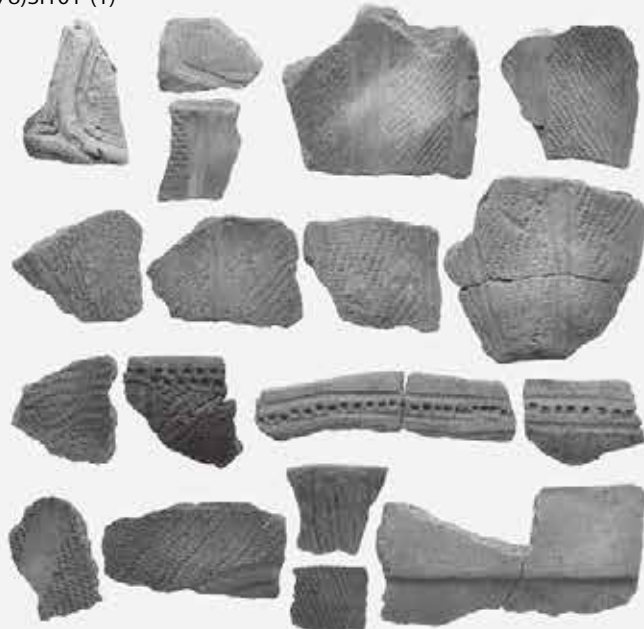
(78)SI102-(1)



(78)SI100-(1)



(78)SI101-(1)



(78)SI103-(1)



(78)SI103-(2)



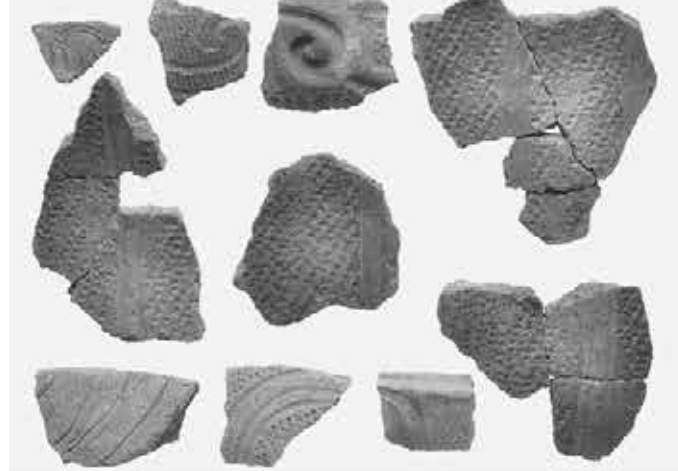
(78)SI104-(1)



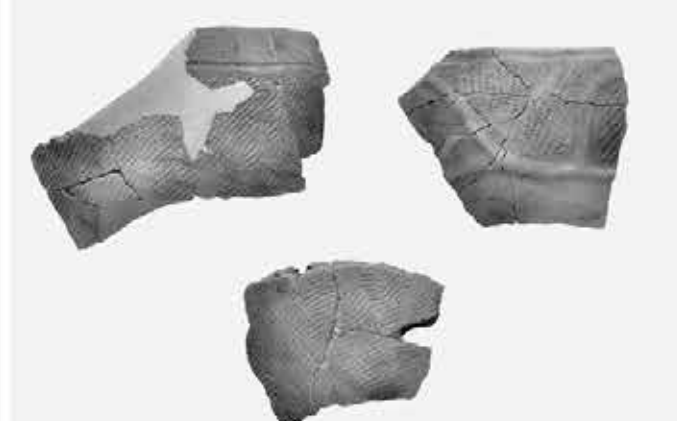
(78)SI105-(1)



(78)SI106-(1)



(78)SI107-(1)



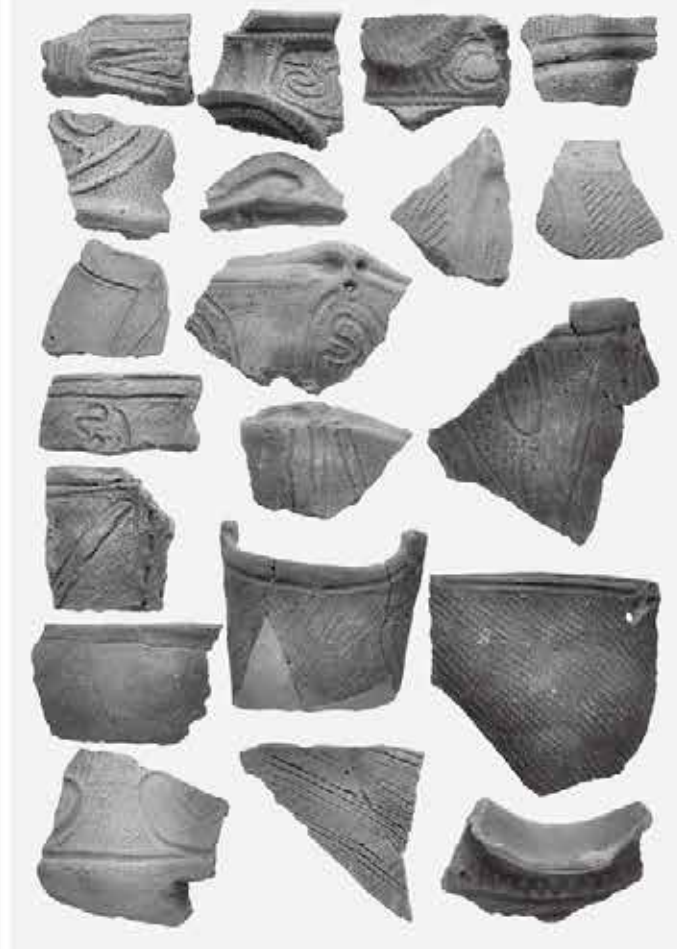
(78)SI109-(1)



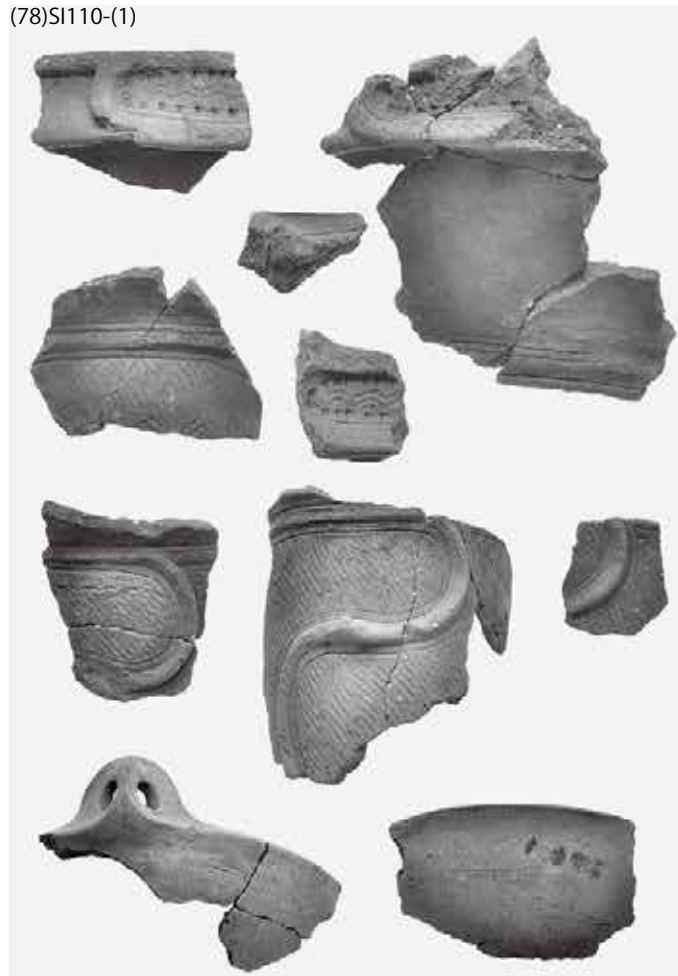
(78)SI107-(2)



(78)SI108-(1)



(78)SI110-(1)



(78)SI110-(2)



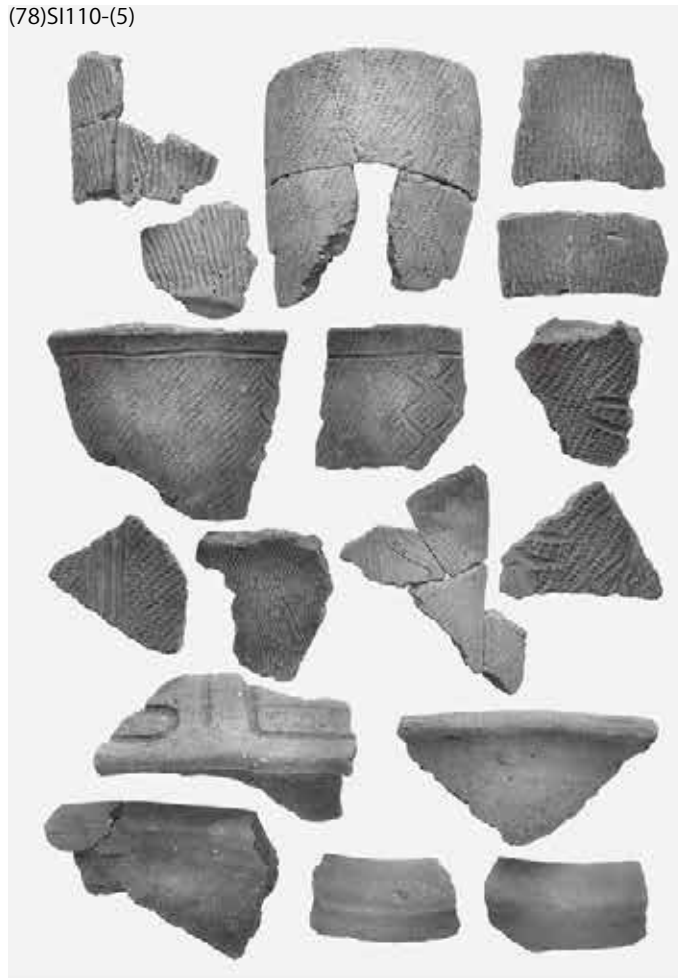
(78)SI110-(3)



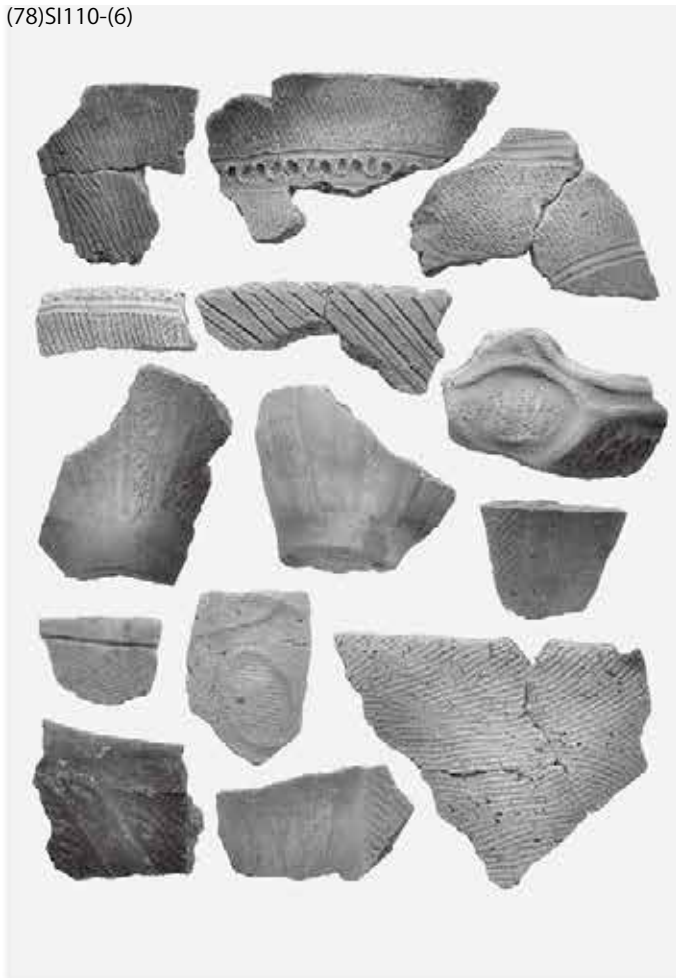
(78)SI110-(4)



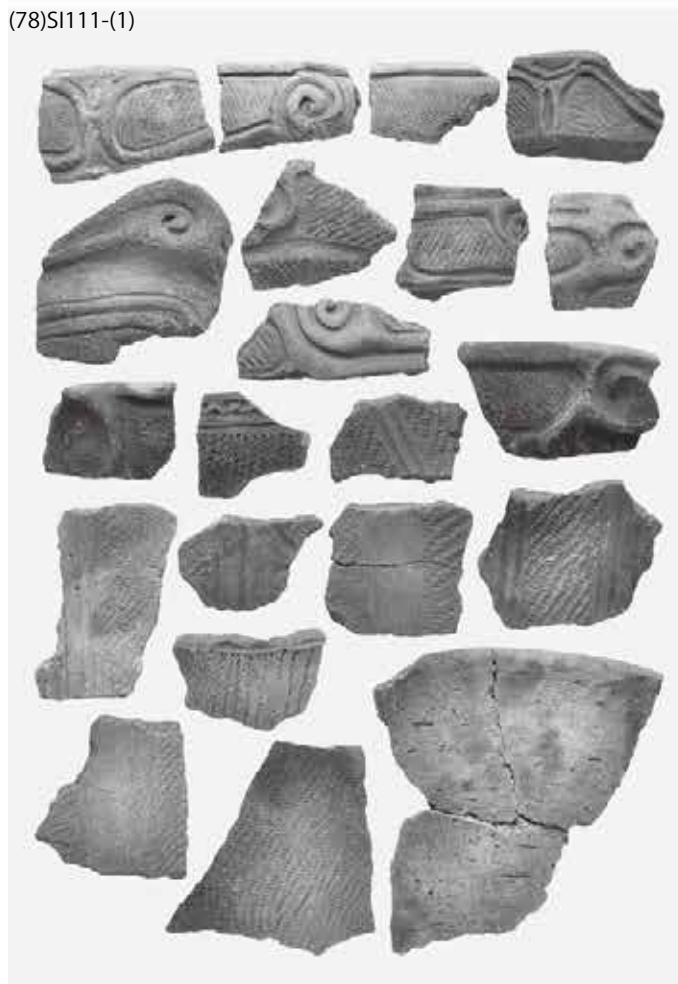
(78)SI110-(5)



(78)SI110-(6)



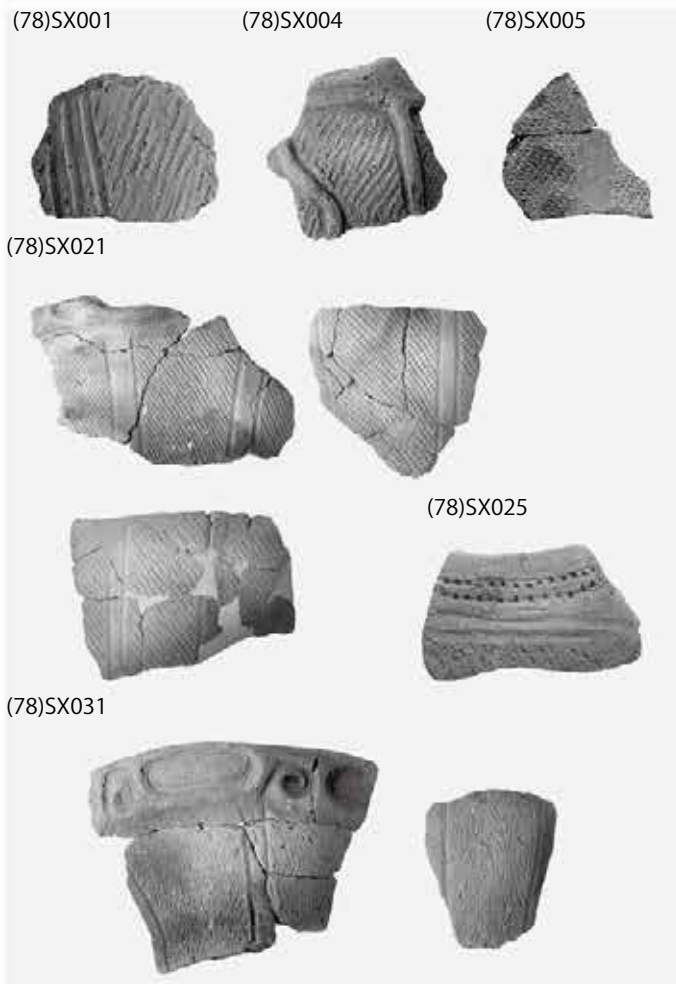
(78)SI111-(1)



(78)SX001

(78)SX004

(78)SX005



(78)SX021

(78)SX025

(78)SX031

(78)SX050



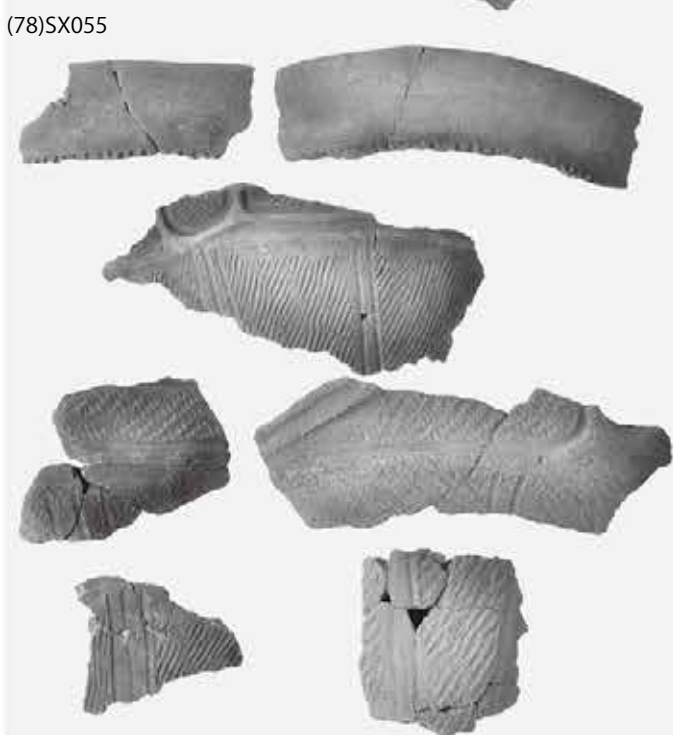
(78)SX053



(78)SX051



(78)SX055



(78)SX071



(78)SK030



(78)SK081



(78)SX076



(78)SK093



(78)SK106



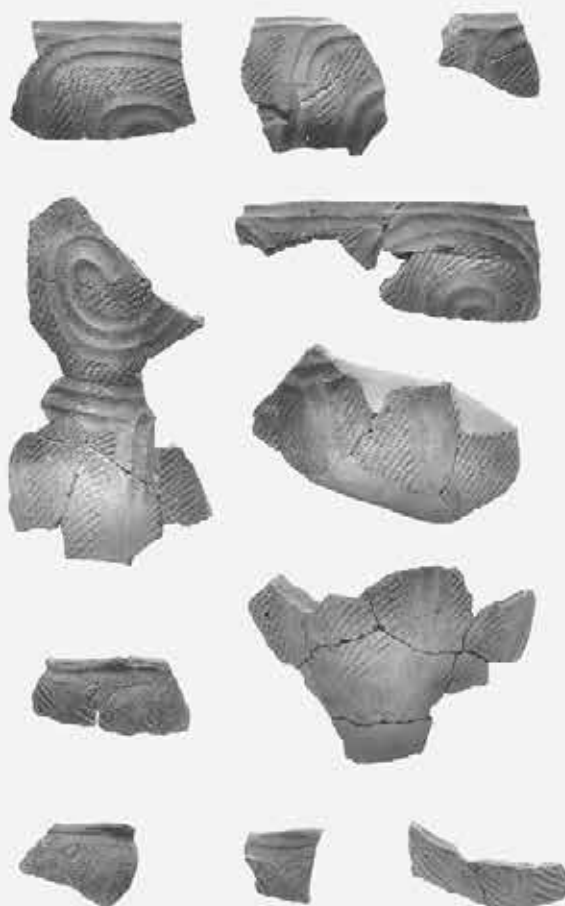
(78)SK281



(78)SK499



(78)SK767



(78)SK839



(78)SK1006



(78)SK867



(78)SK1045

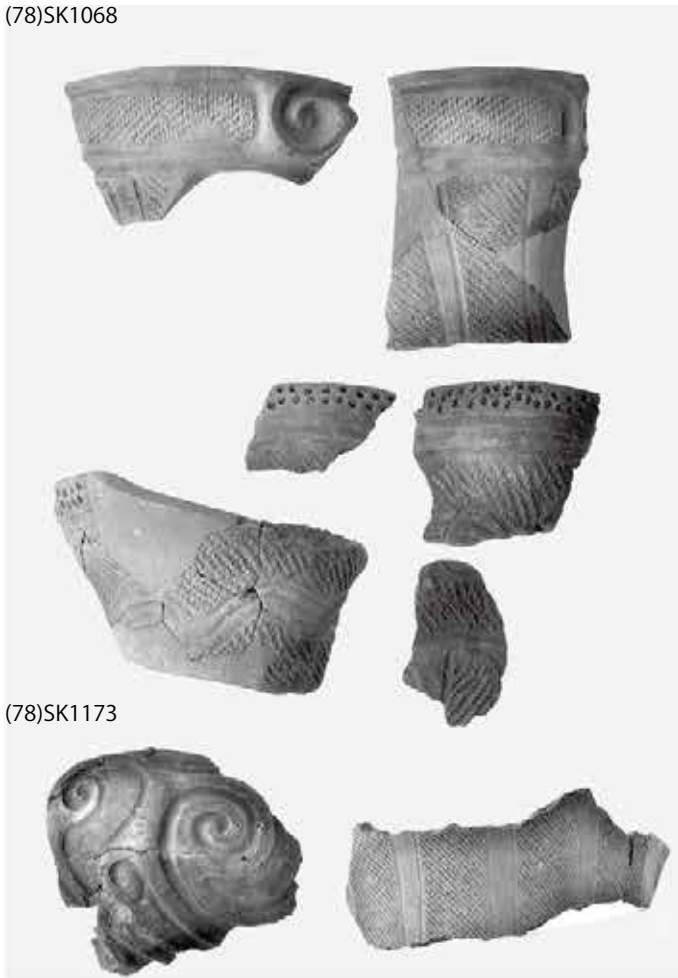




(78)SK1062



(78)SK1068



(78)SK1173



(78)SK1119



(78)SK1410



(78)SK1417



(78)SK1312



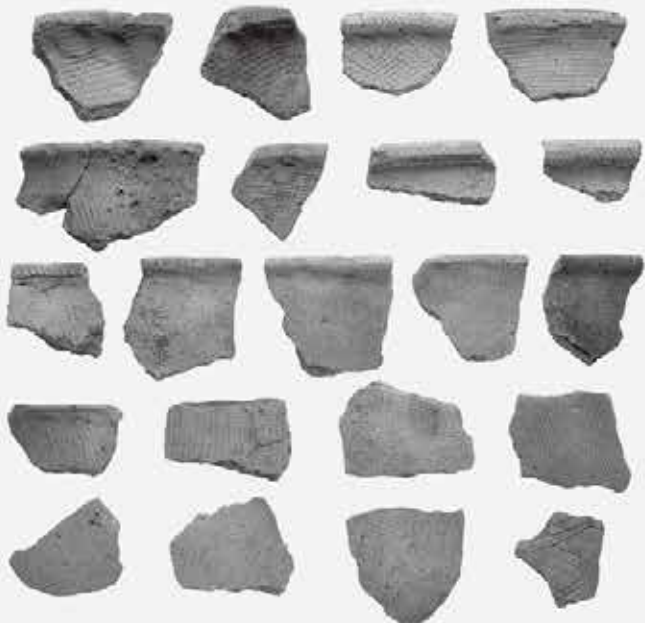
(78)SK1517



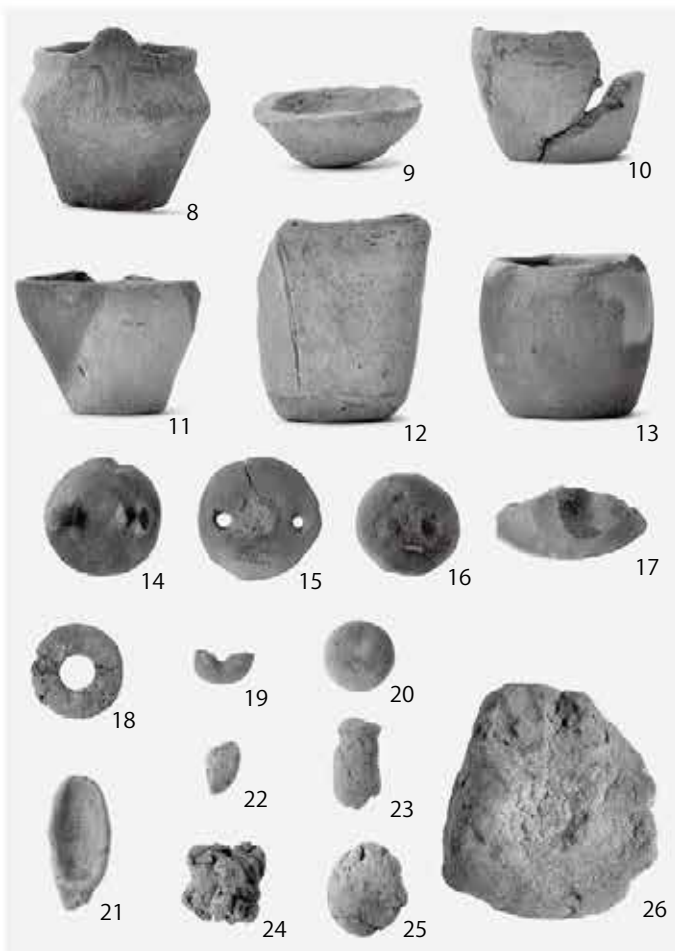
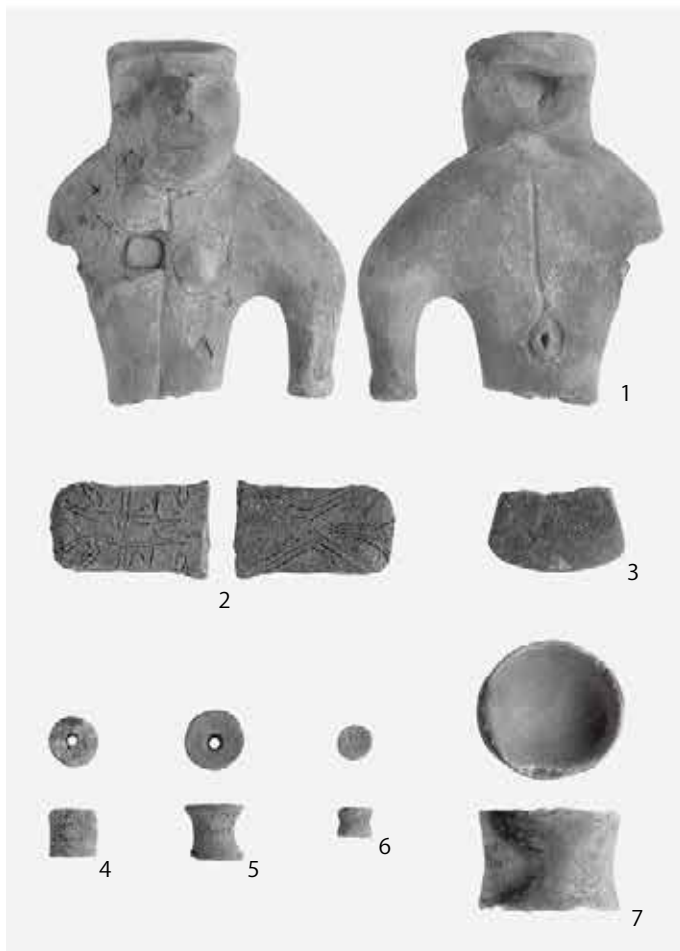
(78)P171

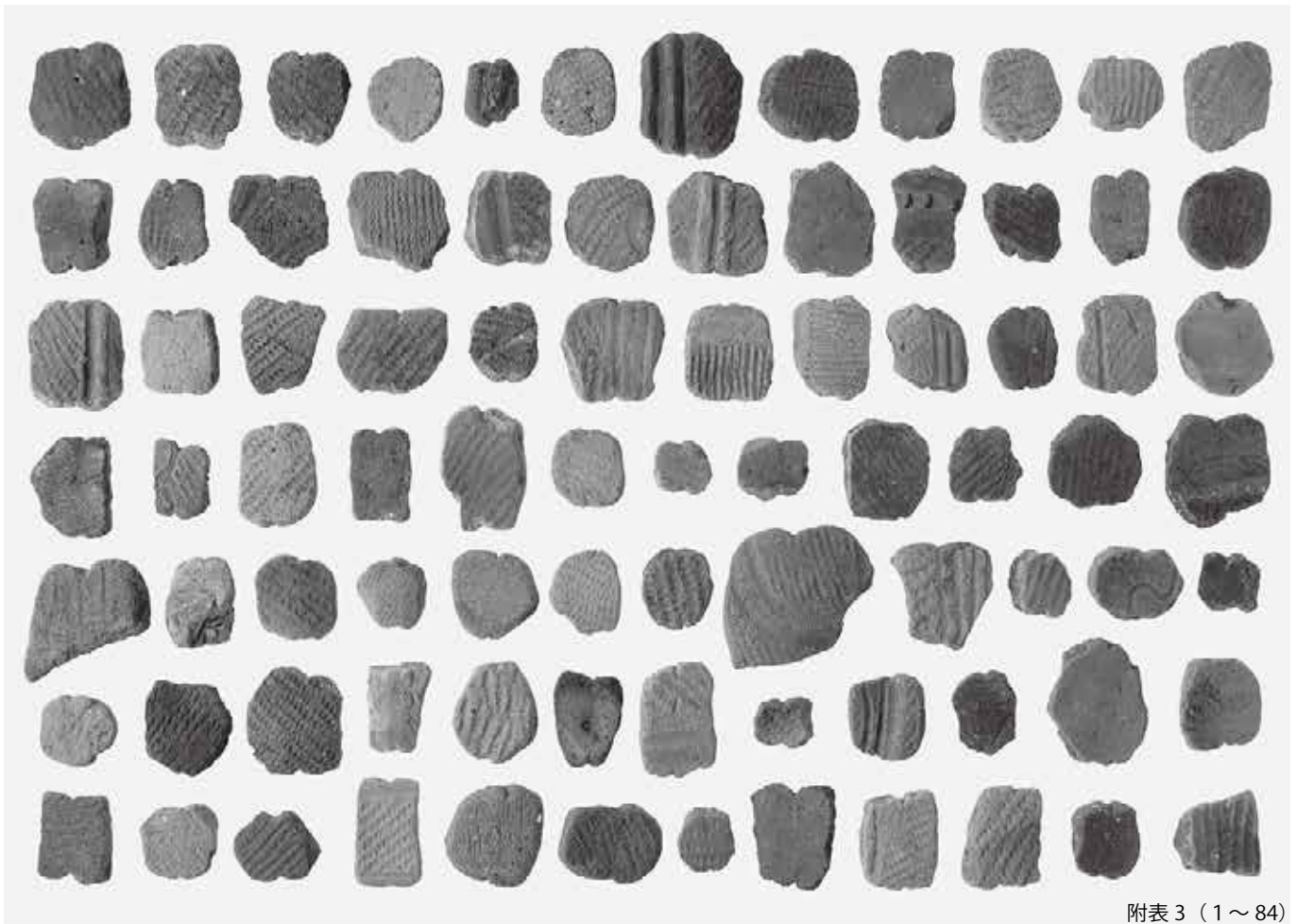


(78) 遺構外 (撚糸文土器)

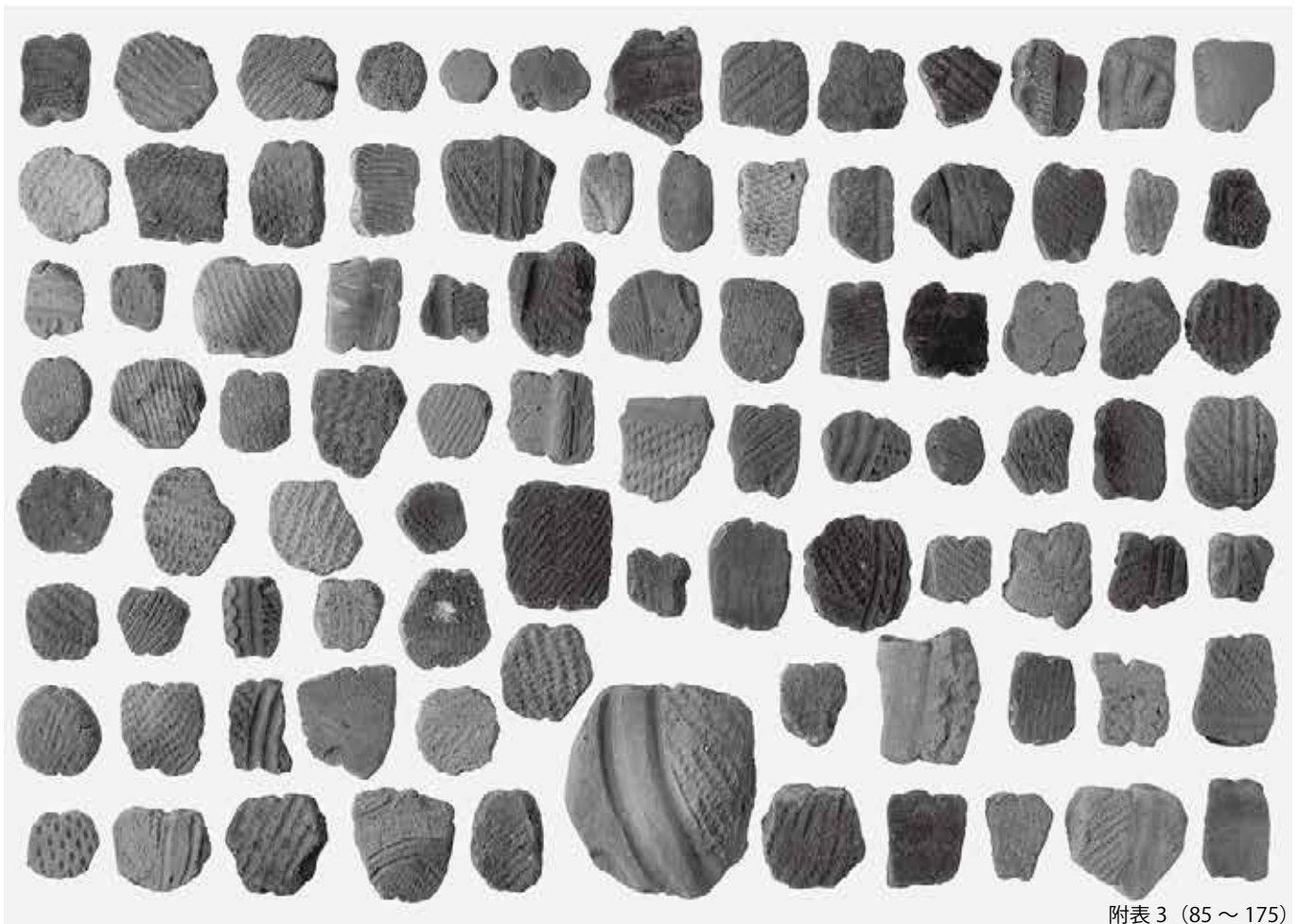


(78) 遺構外 (堀之内 2 式・加曾利 B 式土器)



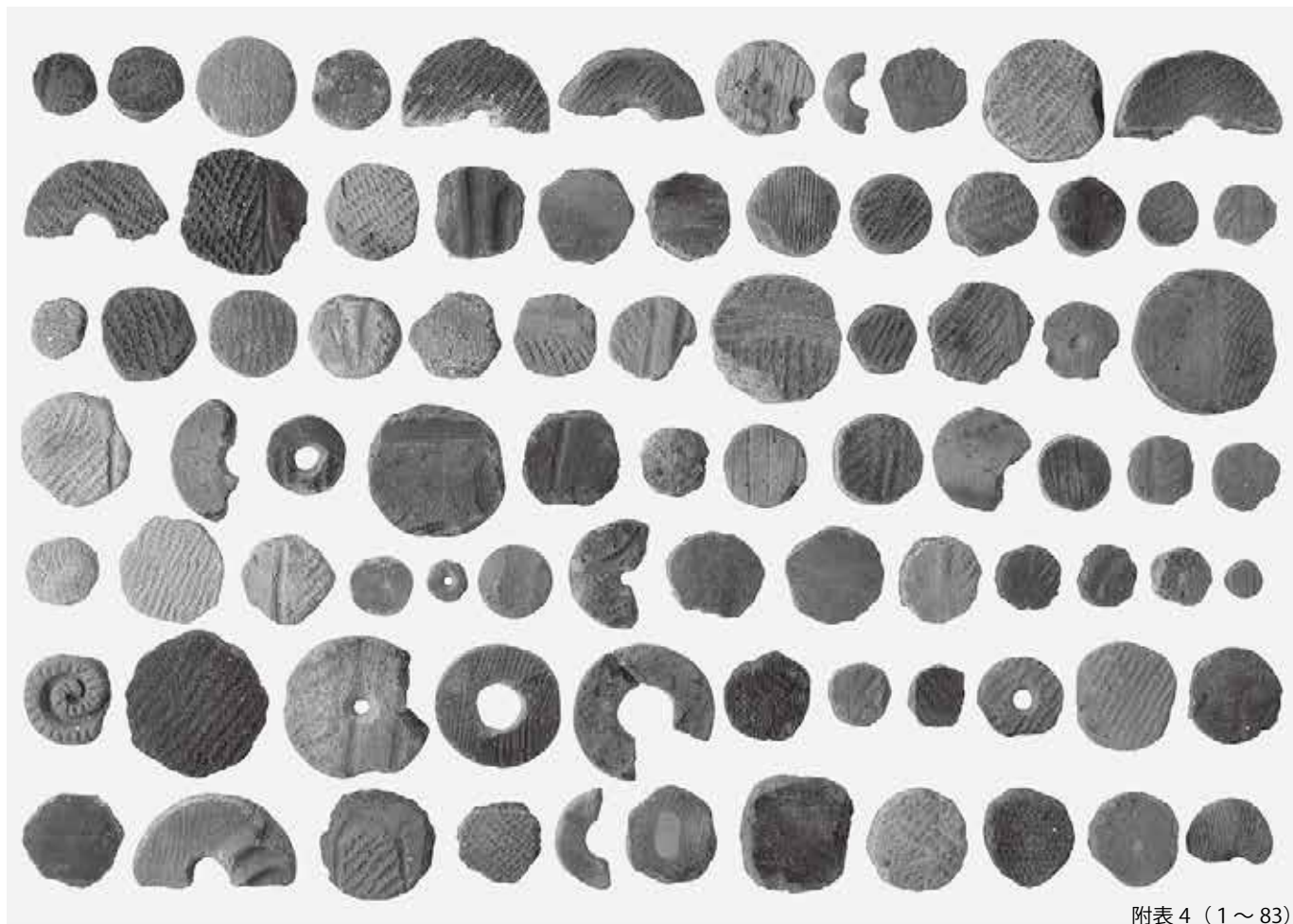


附表3 (1~84)

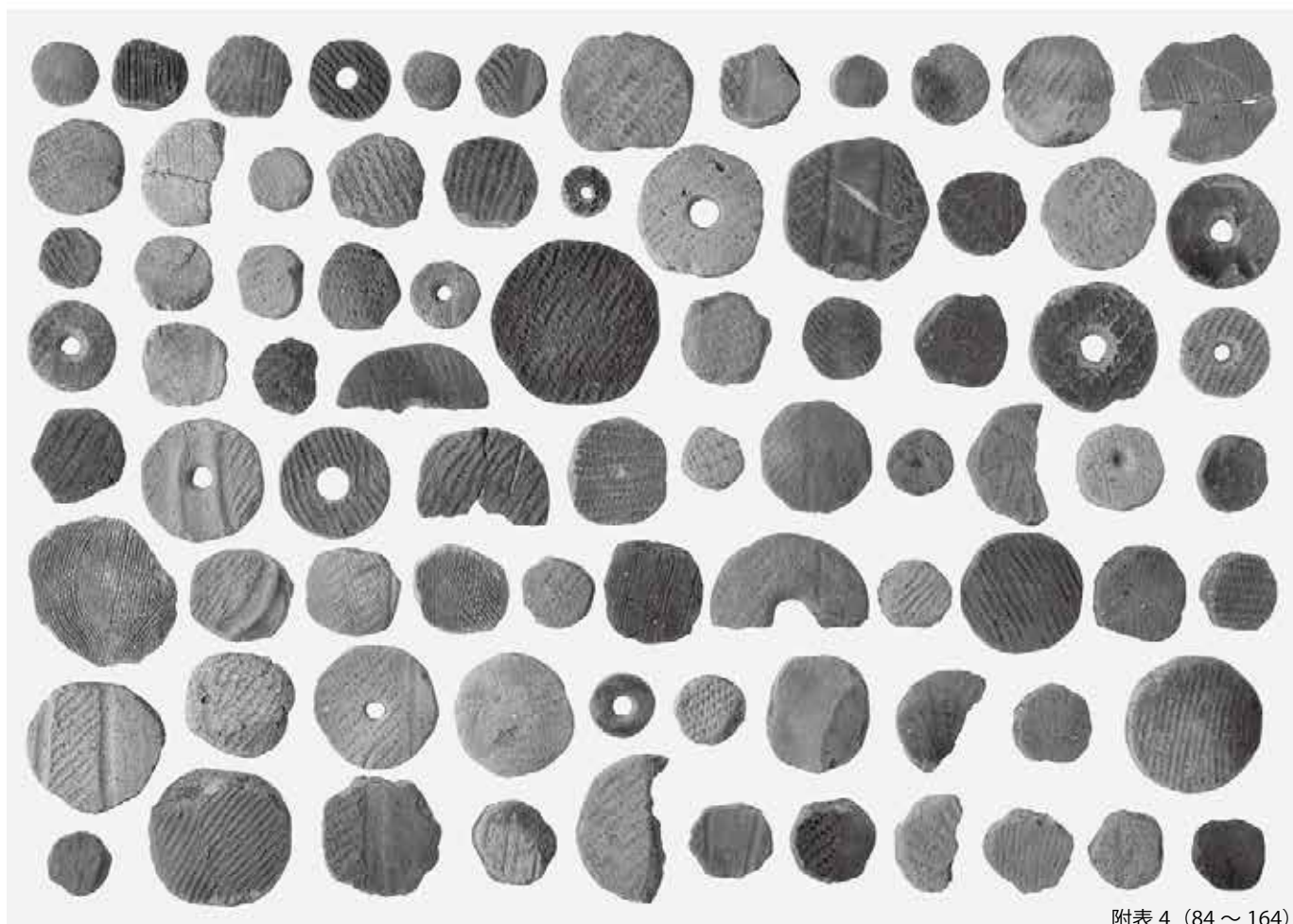


附表3 (85~175)

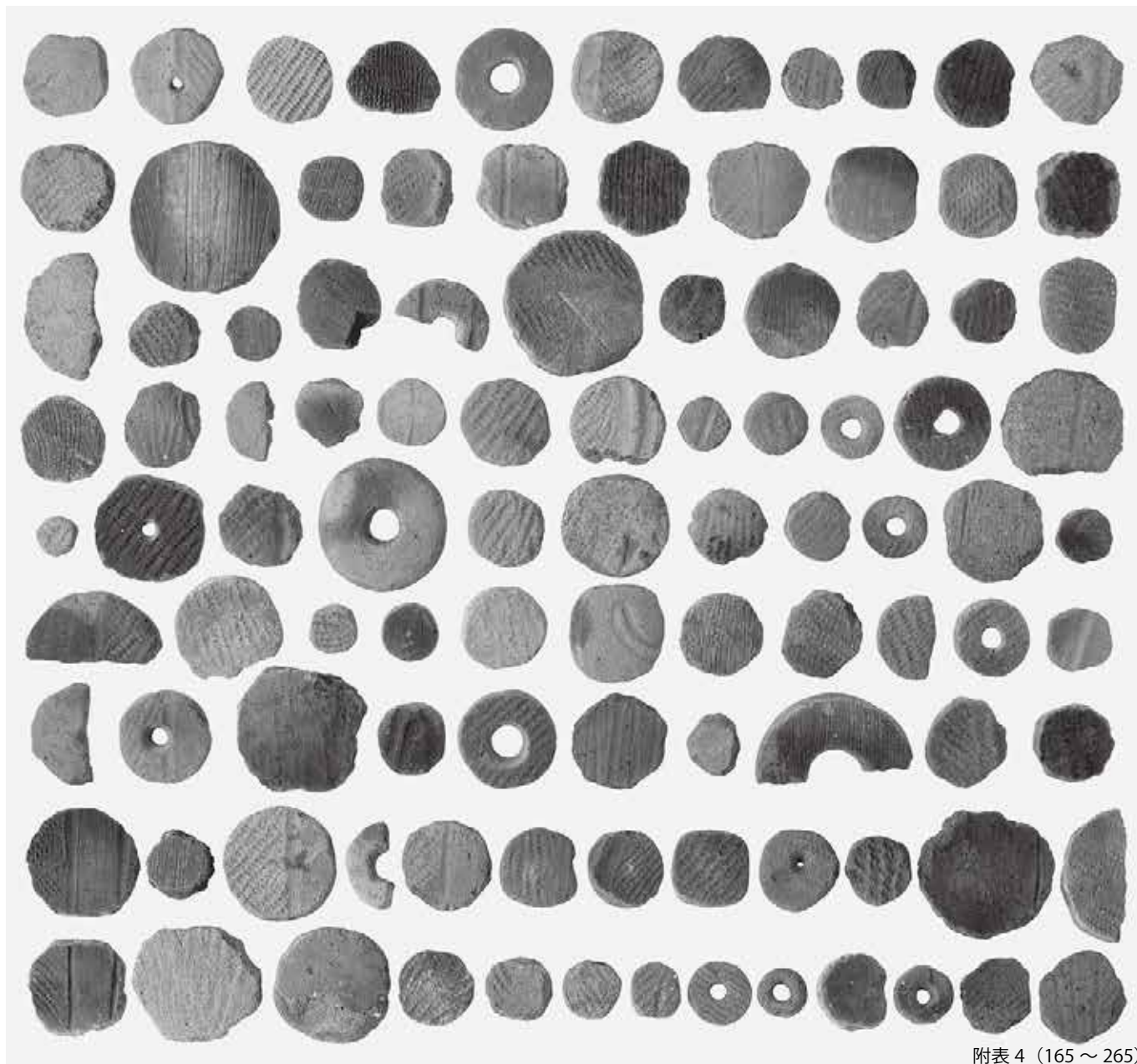
土器片錘



附表4 (1~83)

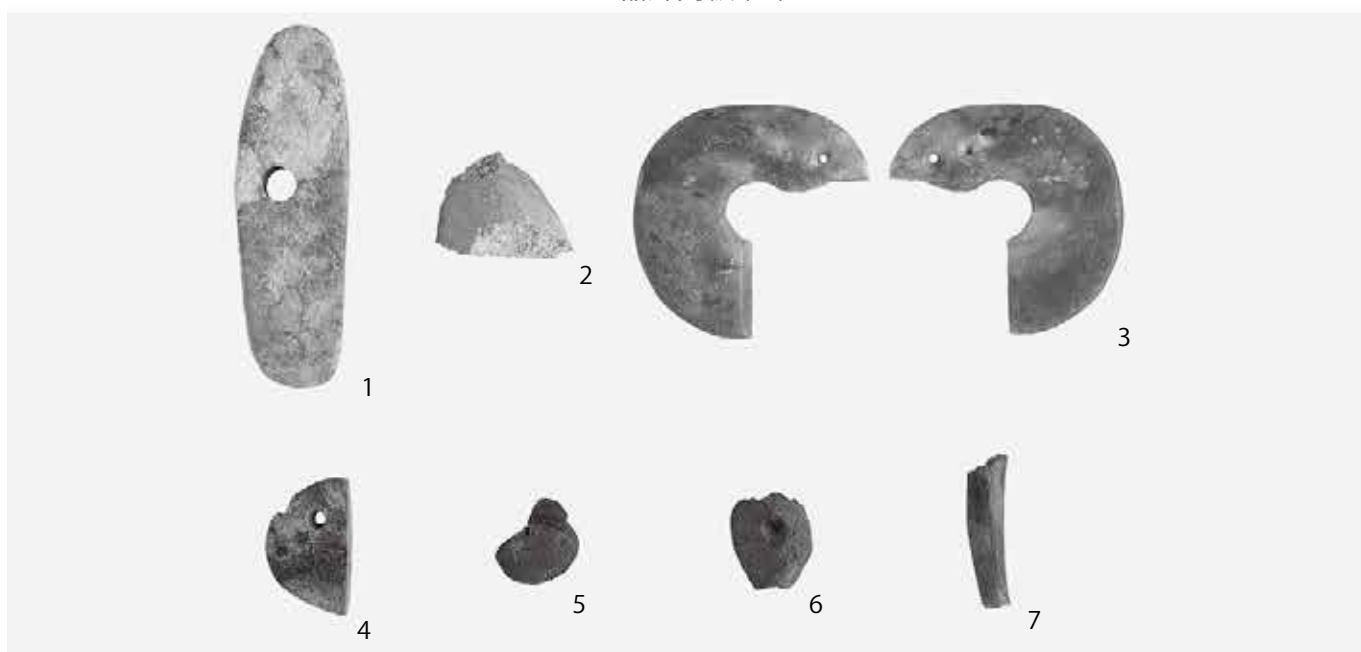


附表4 (84~164)



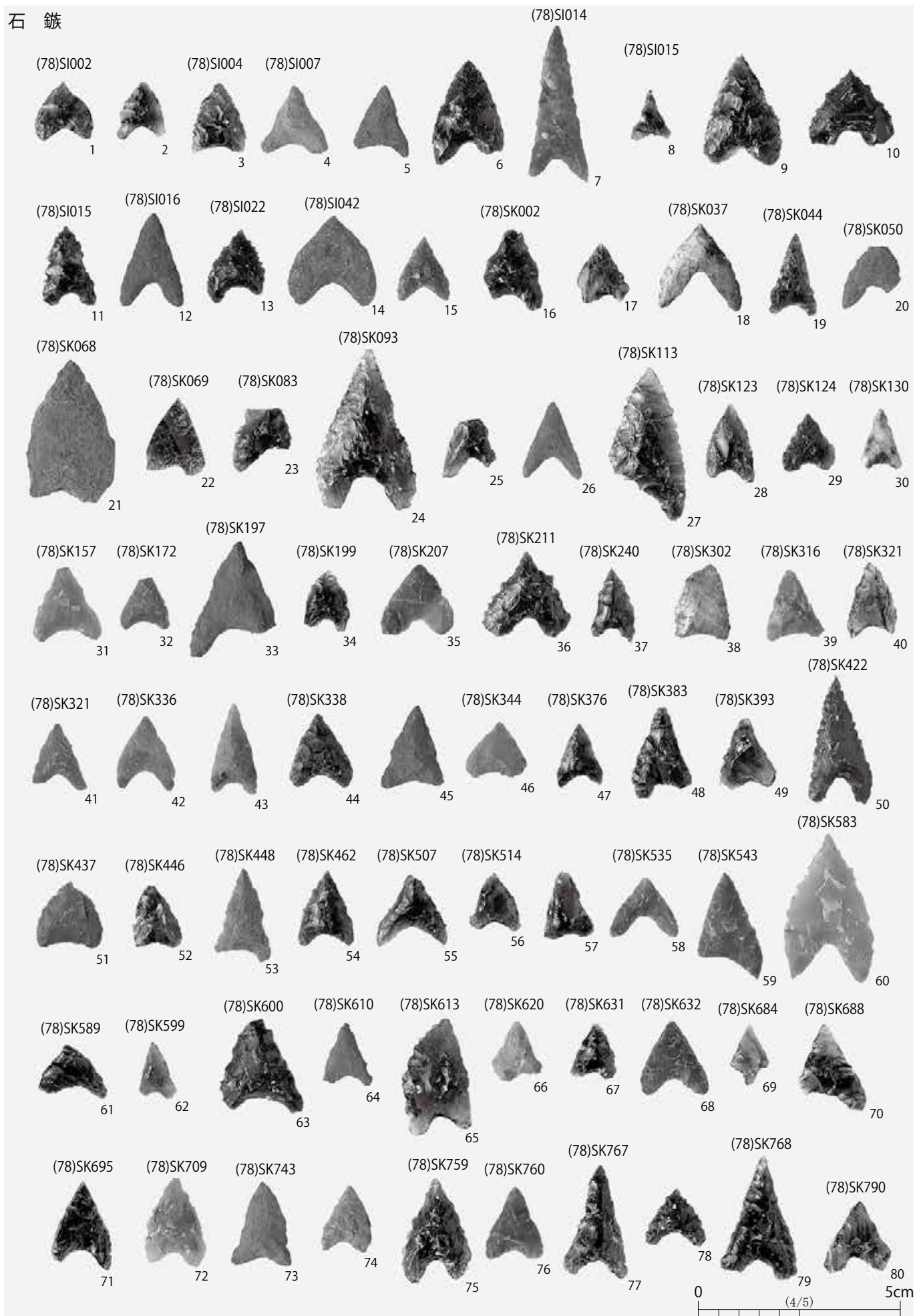
附表4 (165 ~ 265)

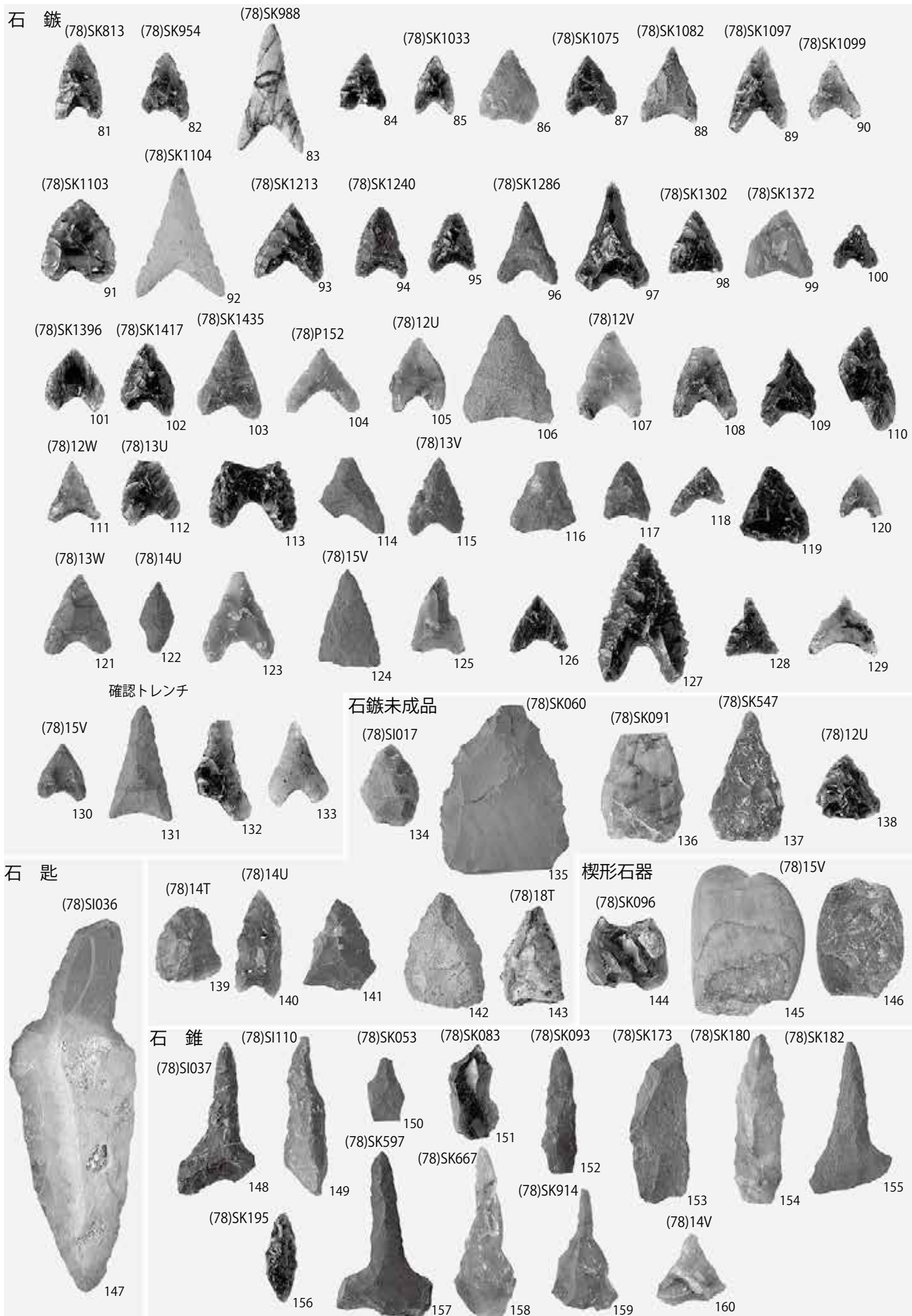
土器片円板(2)



縄文時代石製装身具

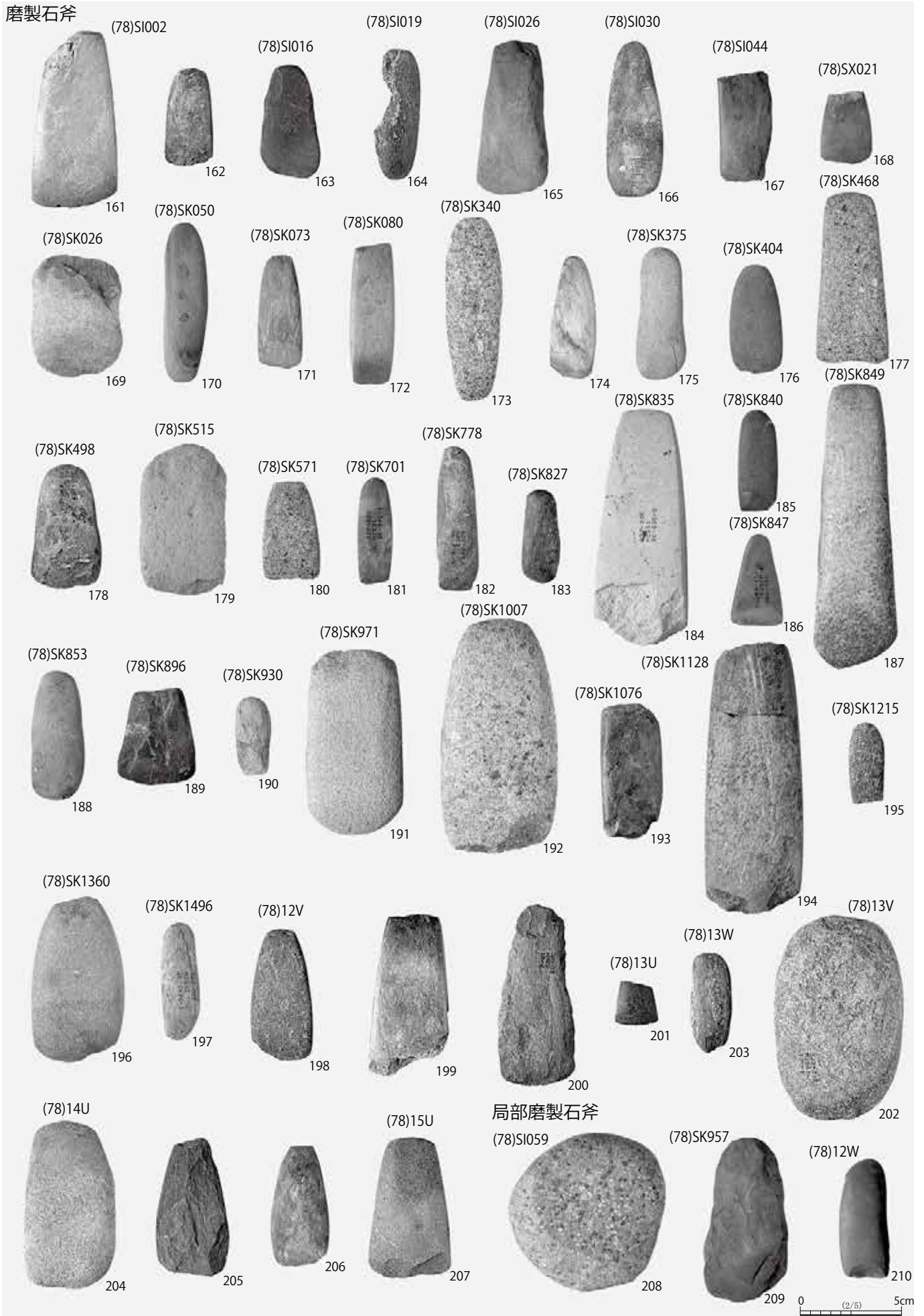
石 鏃





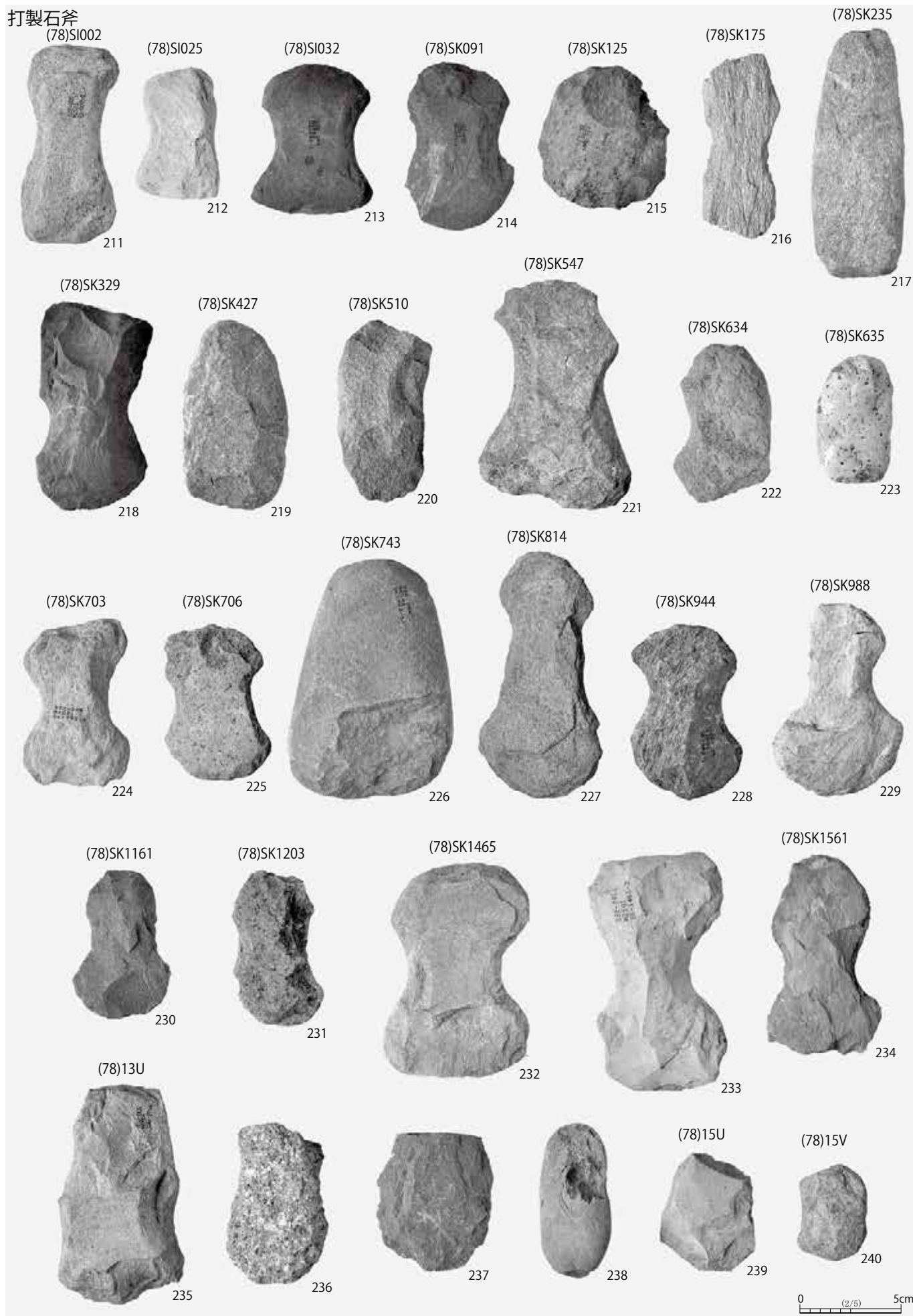
縄文時代石器(3)

磨製石斧





打製石斧



縄文時代石器(5)

礫器 (78)SI059



241

(78)SI110



242

スタンプ形石器 (78)SK684



243

磨石類

(78)SI002



244

(78)SI029



245

(78)SI030



246

(78)SI055



247

(78)SI100



248

(78)SK044



249

(78)SK107



250

(78)SK191



251

(78)SK527



252

(78)SK560



253

(78)SK570



254

(78)SK603



255

(78)SK607



256

(78)SK641



257

(78)SK660



258

(78)SK669



259

(78)SK679



261

(78)SK805



262

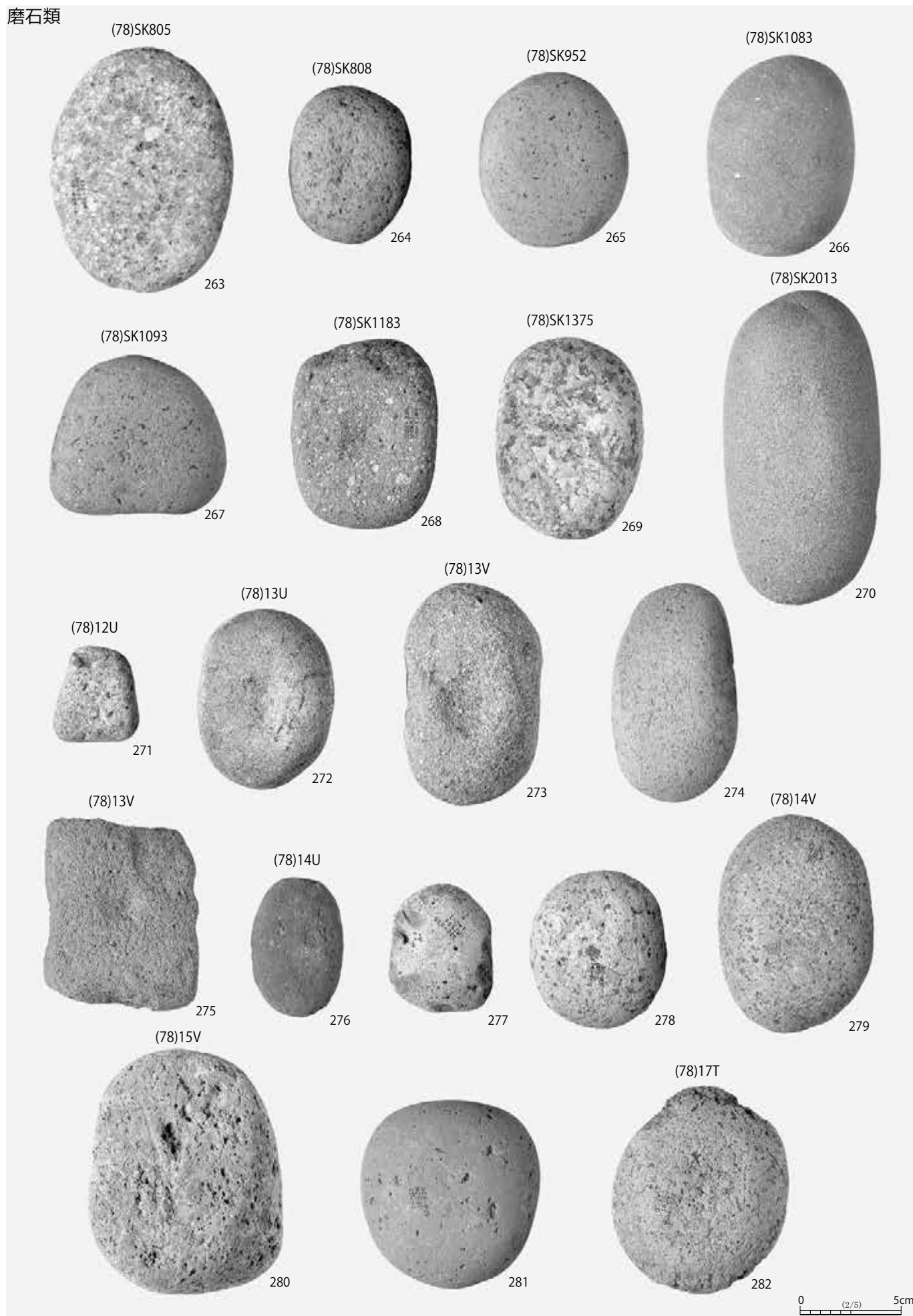
(78)SK676



260

0 (2/5) 5cm

磨石類



縄文時代石器(7)

敲石



0 (2/5) 5cm

砥石



0 (2/5) 5cm

石皿

(78)SI002



290

(78)SI005



291

0 (1/3) 5cm

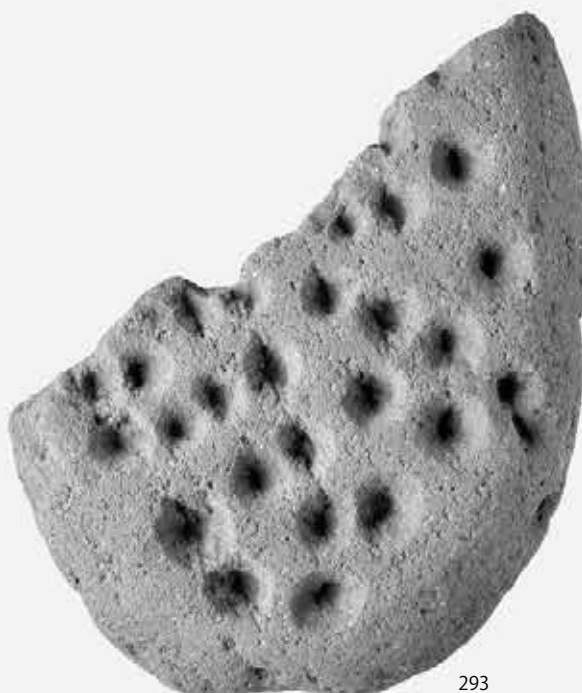
石 皿

(78)SK050



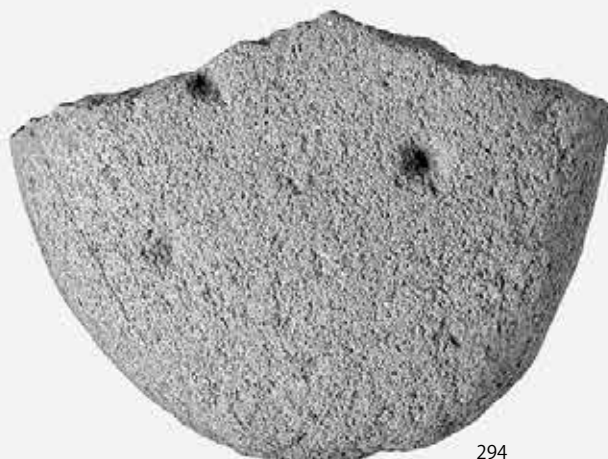
292

(78)SK180

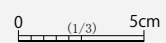


293

(78)SK223

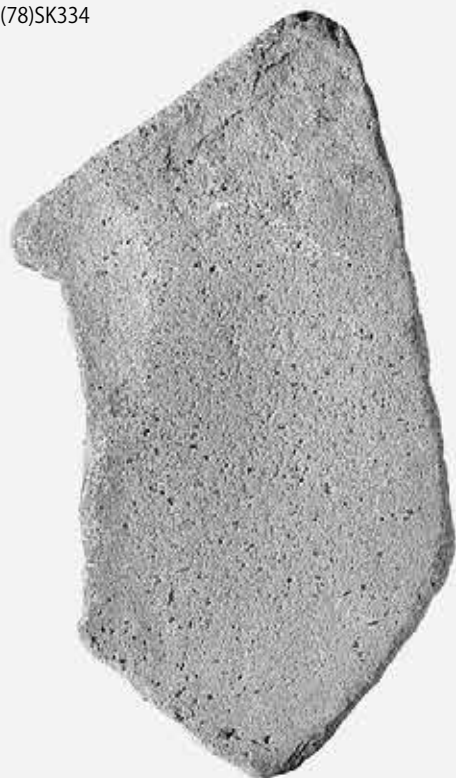


294



石 皿

(78)SK334



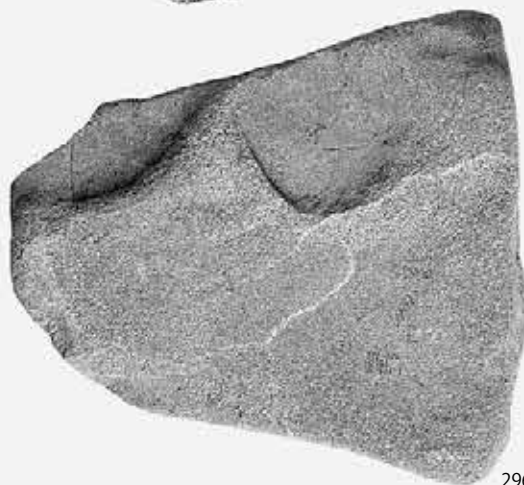
295



(78)SK334



296



(78)13W



297



0 (1/3) 5cm

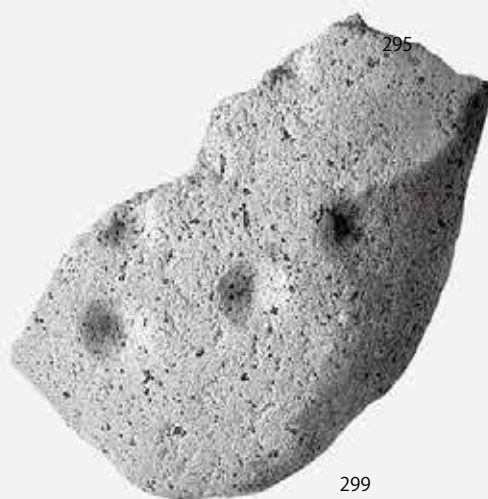
石 皿

(78)15T



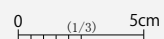
298

(78)15V



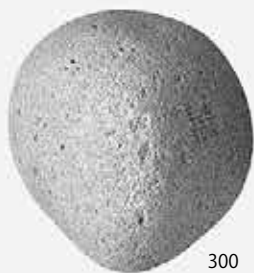
295

299



台 石

(78)SK709



300

(78)12V

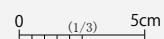


301

(78)14T



302



石 棒

(78)SK091

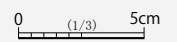


303

(78)SK1076



304



浮 子

(78)SK332



305

(78)SK507



306

(78)SK817



307

(78)SK1211

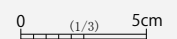


308

(78)13T

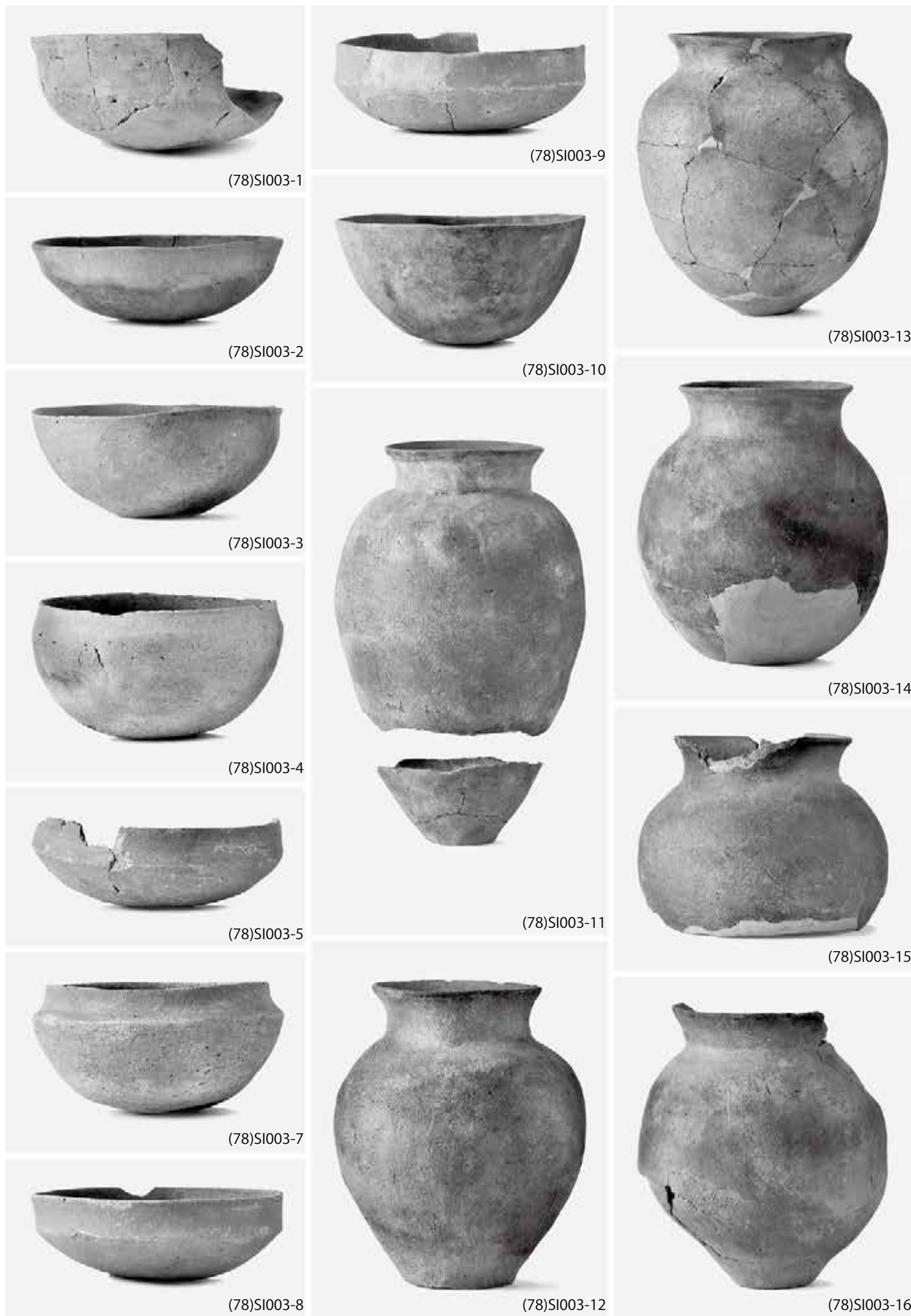


309

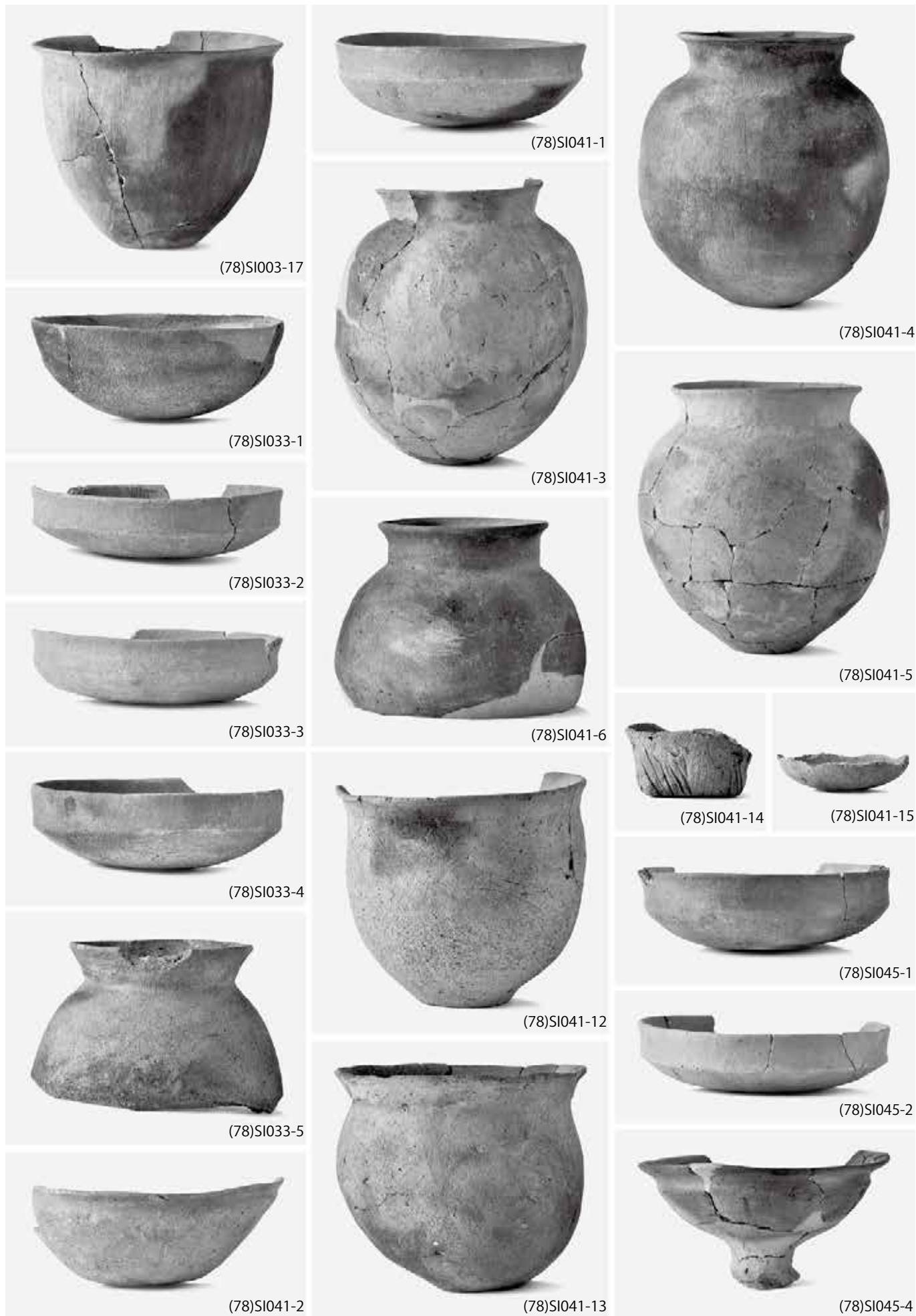


縄文時代石器(12)





古墳時代土器(1)



古墳時代土器(2)



(78)SI045-3



(78)SI045-5



(78)SI049-1



(78)SI052-1



(78)SI003-18



(78)SI041-16

古墳時代土器(3)・土製品



(78)SK1469-1



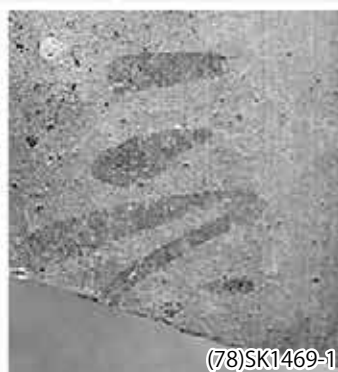
(78)SK1469-2



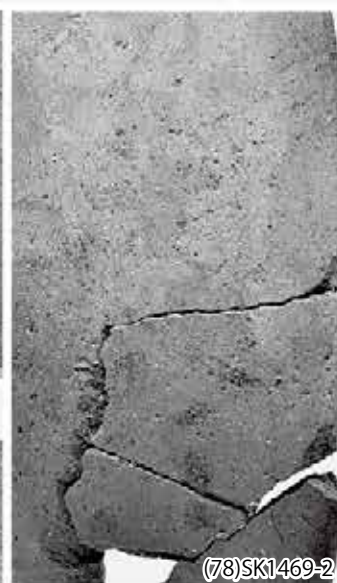
(78)SK1469-3



(10)・(78)SB419-2



(78)SK1469-1



(78)SK1469-2



(78)SK1469-3



(10)・(78)SB419-1



(78)15U-11

奈良・平安時代土器・墨書土器

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	しすいまちいづみはらやまいせき4							
書名	酒々井町飯積原山遺跡4							
副書名	酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書							
巻次	5							
シリーズ名	千葉県教育振興財団調査報告							
シリーズ番号	第742集							
編著者名	木原高弘 西川博孝 橋本勝雄 小林昂博							
編集機関	公益財団法人 千葉県教育振興財団							
所在地	〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡 809 番地の2 TEL 043 (424) 4850							
発行年月日	西暦 2015 年 11 月 27 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
いづみはらやまいせき 飯積原山遺跡	しすいまちいづみはらやまいせき 酒々井町飯積字 ふじかき 藤蕪562 ほか	12322	005	35 度 42 分 58 秒 (日本測地系)	140 度 17 分 59 秒	19971201～ 19980327 20130408～ 20140227	24,663	土地区画整理 事業に伴う埋 蔵文化財調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
飯 積 原 山 遺 跡	集落跡	旧石器時代	遺物集中地点	1 か所				
		縄文時代	竪穴住居跡	68 軒	縄文土器、土偶、耳栓、 土器片円板、土器片錘、 石鏃、楔形石器、打製 石斧、磨製石斧、石皿、 凹石、敲石、磨石類、 石棒、原石			
		古墳時代	竪穴住居跡	6 軒	土師器、紡錘車			
		奈良・平安時代	竪穴住居跡	1 軒	土師器、須恵器			
			掘立柱建物跡	8 棟				
	土坑	1 基						
	溝状遺構	2 条						
	中・近世	道路状遺構	1 条					
要 約	<p>飯積原山遺跡は、印旛沼に近い高崎川に北面する台地上に立地する。このうち、本書には平成 25 年度に発掘調査を実施した遺跡北東側の舌状台地部を中心とした地区の成果を所収した。</p> <p>旧石器時代は、立川ロームⅣ下・Ⅴ層段階の礫群を主体とする遺物集中地点が 1 か所検出された。</p> <p>縄文時代は、中期中葉から後期前葉を中心とした時期で、袋状土坑、円形土坑を伴う竪穴住居跡群が長軸約 200m、短軸約 100mの環状に分布し、きわめて密度の濃い状況で検出された。中央広場は自然地形の凹地を利用し、住居跡及び土坑はこれを取り巻く高所に占地していた。</p> <p>古墳時代は、中期末から後期前葉の小規模な集落が検出された。飯積上台遺跡と时期的に補完するもので、2 遺跡間で集落が遷移したと推測される。</p> <p>奈良・平安時代は、8 世紀第 4 四半期から 9 世紀第 3 四半期にかけての竪穴住居跡群、掘立柱建物群が検出された。庄所、村落寺院、居宅、荘園村落が計画的に配置された初期荘園と捉えられる集落である。今回報告の (78) 区においては、竪穴住居跡は北側の舌状台地部において単独で検出された。掘立柱建物跡群は、(10) 区、(13) 区において検出された庄所と捉えた第 1 建物群に連続するもので、その構成・変遷が明らかとなった。</p>							

千葉県教育振興財団調査報告第 742 集

## 酒々井町飯積原山遺跡 4

—酒々井南部地区埋蔵文化財調査報告書 5—

---

平成 27 年 11 月 27 日発行

編 集	公益財団法人	千葉県教育振興財団
発 行	独立行政法人	都市再生機構 首都圏ニュータウン本部 東京都新宿区西新宿 6-5-1
印 刷	公益財団法人 株式会社	千葉県教育振興財団 千葉県四街道市鹿渡 809 番地の 2 東 プ リ 千葉県船橋市咲が丘 1-11-9

---